

平成30年度版

筑波大学年次報告書

国立大学法人
筑波大学

はじめに

グローバル化が進む中で、我々は環境問題や経済格差の問題、国際資源競争や金融危機といった様々な地球規模課題に直面している。さらに、我が国は課題先進国として、少子高齢化に伴う労働人口の減少、経済状況の停滞等、世界の国々が今後直面する課題にいち早く対応していく必要に迫られている。このような多様で複合的な課題解決と、これを基盤とした未来創成のためには、原動力が必要である。すなわち、真に人がなすべきことを見出すことができ、自らの専門的な能力をさらに高めることに強い意欲を持ち、多様な学問分野に精通し、未来社会をデザインし創出できる力である。加えて、新たな研究分野を開拓し、あらゆる産業や組織と協働して社会変革を起こすイノベーション力である。この原動力を持つ人材を生み出す「研究型総合大学」となるべく、本学は学問分野間の壁を越えた新たな学問を創成し、その精神に基づく教育研究成果を社会に実装することを目指している。

本学は、建学の理念として「開かれた大学」を掲げ、学問分野間の壁が低い教育研究組織の構造や、海外の有力大学に比肩する国際性を実現するとともに、我が国最大のサイエンスシティである筑波研究学園都市の立地を活かし、他の機関や組織の壁を超える数々の実績を有している。これらを踏まえ、学問分野や国境、組織を超えて協働し、独自の研究分野で世界を牽引し続けるとともに、あらゆる壁に縛られない研究力の強化、人材育成、社会実装を実現するため、不断の改革を行っているところである。

この改革を着実に前に進めるために、本学の置かれている状況や自らの活動成果を常に的確かつ客観的に把握しておくことが必要不可欠である。今年次報告書が、その基礎資料として本学の改革・改善のために大いに活用されることを期待したい。

令和2年3月

筑波大学長 永田 恭介

目 次

<p>I 総論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1</p> <p>II 各組織の自己評価と組織評価結果・・・・ 41</p> <p>III 各種資料</p> <p>1 管理運営関係</p> <p> (1) 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89</p> <p> (2) 運営組織等・・・・・・・・・・・・・・・・ 95</p> <p> (3) 制定改廃法人規則等・・・・・・・・・・ 97</p> <p> (4) 主要行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113</p> <p> (5) 役員・役職教員名簿・・・・・・・・・・ 115</p> <p> (6) 役員・教職員数・・・・・・・・・・・・・ 121</p> <p> (7) 予算決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123</p> <p>2 教育関係</p> <p> (1) 学年暦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 134</p> <p> (2) 学生数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135</p> <p> (3) 授業科目数及び授業担当教員数・・・・ 142</p> <p> (4) 卒業・修了者等数・・・・・・・・・・・・・ 144</p> <p> (5) 特別支援学校教員資格認定試験・・・・ 158</p> <p> (6) 学生の身分異動・・・・・・・・・・・・・ 159</p> <p> (7) 入学者選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161</p> <p>3 研究関係</p> <p> (1) 紀要等発行状況・・・・・・・・・・・・・ 172</p> <p> (2) 各種受賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 180</p> <p> (3) 科学研究費助成事業採択状況・・・・・・ 185</p> <p> (4) 研究プロジェクト支援経費・・・・・・・・ 187</p> <p> (5) その他の研究費・・・・・・・・・・・・・ 202</p> <p> (6) 各種研究費年度別取得状況・・・・・・ 205</p> <p> (7) 日本学術振興会特別研究員採用状況・・ 206</p> <p> (8) 工業所有権等・・・・・・・・・・・・・ 206</p> <p> (8) 大学発ベンチャー累計設立数・・・・・・ 207</p> <p>4 学内共同教育研究施設等関係</p> <p> (1) 学内共同教育研究施設等勤務教職員数・・ 208</p> <p> (2) 学内共同教育研究施設等利用概況・・・・ 209</p> <p> (3) 理療科教員養成施設・・・・・・・・・・・・・ 215</p> <p>5 学生生活関係</p> <p> (1) 学生の表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 216</p> <p> (2) 学生の懲戒・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 229</p> <p> (3) 学生の交通事故・・・・・・・・・・・・・ 229</p> <p> (4) 福利厚生施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 230</p> <p> (5) 奨学生数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 231</p> <p> (6) アルバイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 234</p> <p> (7) 学生団体数及び加入者数・・・・・・・・・・ 234</p> <p> (8) 課外活動団体の主な成績・・・・・・・・・・ 235</p> <p> (9) 就職等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 241</p>	<p>6 国際交流関係</p> <p> (1) 教職員等の交流・・・・・・・・・・・・・・・・ 250</p> <p> (2) 学生の交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 251</p> <p> (3) 国際交流協定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 253</p> <p> (4) 国際会議等の開催・・・・・・・・・・・・・ 269</p> <p> (5) 国別交流者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 272</p> <p>7 社会連携・大学公開関係</p> <p> (1) 社会貢献プロジェクト・・・・・・・・・・・・・ 273</p> <p> (2) 地方自治体との連携協定・・・・・・・・・・ 274</p> <p> (3) 高大連携事業一覧・・・・・・・・・・・・・ 275</p> <p> (4) 公開講座実施状況・・・・・・・・・・・・・ 277</p> <p> (5) 教員免許状更新講習・・・・・・・・・・・・・ 279</p> <p> (6) 大学会館施設利用状況・・・・・・・・・・・・・ 280</p> <p> (7) 視察・来訪者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 281</p> <p> (8) 広報刊行物等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 285</p> <p> (9) エクステンションプログラム実績・・・・ 286</p> <p> (10) 現金による寄附受入実績・・・・・・・・・・ 287</p> <p>8 医療・保健関係</p> <p> (1) 附属病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 288</p> <p> (2) 保健管理センター・・・・・・・・・・・・・ 290</p> <p>9 附属図書館関係</p> <p> (1) 利用統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 296</p> <p> (2) 基盤統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 297</p> <p> (3) 推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 298</p> <p> (4) オリエンテーション・講習会・・・・・・ 299</p> <p>10 施設・環境関係</p> <p> (1) 平成29年度施設整備状況(竣工ベース)・・・・ 300</p> <p> (2) 施設所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 309</p> <p> (3) 大学構内施設配置図・・・・・・・・・・・・・ 310</p> <p> (4) 施設整備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 311</p>
--	---

I 総論

1 大学の基本的な目標等

筑波大学は、国内的にも国際的にも「開かれた大学」として、旧来の固定観念に捉われない柔軟な教育研究組織と次代の求める新しい大学の仕組みを率先して実現することを基本理念とし、我が国の大学改革を先導する役割を担っている。社会経済状況が大きく変化し、持続的な競争力と高い付加価値を生み出す自律的な改革が大学に求められる中、筑波大学は未来を構想しその実現に挑むフロンランナーと自らを位置付け、本学に根ざす人材育成マインド「師魂理才」の下、地球規模課題の解決に向けた知の創造とこれを牽引するグローバル人材の創出を目指す世界的な教育研究の拠点としての機能を充実・強化すべく、以下の目標を掲げる。

1. 高い倫理観の下、自然と人間、社会と文化に係る幅広い学問分野における深い専門性を追求するとともに、分野融合型の領域を開拓し、研究機能の再編成と国際性の強化により、卓越した知の創造拠点として世界トップレベルの研究を展開する。
2. 世界から多様な学生を受け入れるとともに、高度で最先端の研究成果に裏打ちされ、学生の個性と能力を開花させる教育システムを学位プログラムにより構築し、豊かな人間性と創造的な知力を生涯にわたって養い、自立してグローバルに活躍できる人材を育成する。
3. 国際的互換性のある教育と世界トップレベルの研究活動を多彩な分野を擁する総合大学として展開し、世界の国々や地域とのネットワークの中心としての存在感を高めるとともに、国際的な信頼性と発信力を備え、国際性が日常化された大学を実現する。
4. 科学技術が集積するイノベーション創出拠点 TSUKUBA における中核的役割を担い、教育研究諸機関及び産業界との連携を強化し、自らの教育研究機能を高めるとともに、我が国のグローバルな産業競争力強化に貢献する。
5. 教職員のそれぞれが専門的かつ多様な能力を高めつつ、学長のリーダーシップの下、情報ガバナンスと経営基盤の強化及び学内資源の再配分を推進し、自律的に教育研究機能を改革することにより、世界と社会の変化に最も迅速に対応しうる大学として我が国の大学改革を先導する。

◇ 未来を構想しその実現に挑むフロンランナーとして

本学は、前身校の歴史と伝統の上に「新構想大学」として設立され、国内的にも国際的にも開かれた大学であることを理念に、これまで我が国の大学の在り方を先導してきた。

第3期にあっては、本学に根ざす人材育成マインド「師魂理才」の下、地球規模課題の解決に向けた知の創造とこれを牽引するグローバル人材の創出を担う世界的な研究教育の拠点としての機能を充実・強化させるべく、国境や機関、制度といった様々な「壁」を越えたトランスボーダー連携による研究教育等の展開を核とした5つの基本目標を掲げた。

第3期中期目標期間の3年目となった平成30年度においては、急激な社会変化により、大きな構造転換が必要とされる中、本学及び筑波研究学園都市のグローバル化を主導し、国際的プレゼンス向上に取り組むとともに、知の創出と継承、すなわち研究とそれを継承する人材育成について、将来に対するしっかりとした展望を持って臨むことを念頭に、研究・教育から業務運営に亘る各分野において、研究教育の質の向上及び業務運営の改善・効率化に係る施策を実施したほか、持続的な「競争力」を持ち、高い付加価値を生み出す体制への転換を推進した。

2 研究教育等の質の向上の状況

1. グローバル化の推進に向けた大学運営上の取組

◇ グローバル化に向けたトランスボーダー連携拠点の拡大

○ キャンパス・イン・キャンパス構想に係る取組

- ・ 海外のパートナー大学との間でキャンパス機能を共有し、国境や機関の壁を越えたトランスボーダーな教育研究交流を実現するための取組であるキャンパス・イン・キャンパス（以下、「CiC」）構想に係る取組として、新たにオハイオ州立大学と協定を締結し、CiC パートナー校は累計で8校となった。さらに、ボーフム大学との協定締結の手続きを行い、補足協定の合意内容に係る調整段階まで進めることができた。
- ・ CiC パートナー校の特徴を活かした授業科目の登録を拡充するとともに、本学の英語による授業科目を加えた約2,400科目を科目ジュークボックス[※]に登録し、学生の興味関心に応じた科目の提供及び留学の促進を図ることができた。

※海外のパートナー大学が相互に授業科目を提供し合う「ジュークボックス」のようなシステムを構築し、登録された海外のパートナー大学の授業科目を学生が自由に履修できる制度

<CiC 協定パートナー大学>

○ 海外における高機能中核拠点の整備

CiC 構想の戦略的機能を担う高機能海外拠点の一環として、国立台湾大学との研究者交流のマッチング・ファンド形式を活用したプログラムに係る協定を 11 月に締結した。双方の大学における共同研究を促進するため、1～3ヶ月の期間で相手機関へ派遣し、受入れ大学側がその現地滞在にかかる経費を支援するものである。12月にこれを受けた「筑波大学・国立台湾大学 教員交流プログラム」の学内公募を開始し、平成 31 年度（令和元年度）から本プログラムによる本学教員 2 名の派遣を予定している。



○ 海外の優秀な学生を獲得する取組

CiC 構想における学生交流の活性化に向けて現地パートナー校におけるプロモーション活動（例：ボルドー大学国際フェア、サンパウロ大学日本留学説明会、国立台湾大学海外留学フェア、マレーシア工科大学（UTM）国際連携教育プログラムセミナー開催等）を行った。併せてパートナー校以外の各国の留学フェアの開催・参加、高等学校訪問、教育機関等への訪問・説明会を行い、現地の留学動向等に関する情報を収集しつつ、本学と現地機関との関係構築を行った。また、学内留学フェアにおいて CiC ブースを設置し、平成 29 年度に CiC 協定を締結したグルノーブル大学の職員とともに、CiC による学生交流に関して、留学希望者に PR を行った。

○ 学生及び教職員の国際化に資するワンストップサービス等の実現

- ・ 日本人学生と留学生とが日常的に国際交流が行える交流の場として、「スチューデント・コモンズ」を設置しており、グローバル化に資する情報を広く提供し、学生の国際交流活動を支援するとともに、留学希望者への相談、情報提供、留学に伴う英文書類作成の支援を実施している。これらの留学相談内容のデータベース化により、情報共有とワンストップサービス体制を充実し、日本人学生の海外派遣支援を強化した。
- ・ 様々な国籍の留学生と日本人学生の英語をはじめとした多言語による交流会である Global Chat (Multilingual, Culture, English) を週 4 回実施し、日本人学生と留学生の交流を促進するとともに日本人学生の海外留学への動機づけを強化した。なお、この取組については、平成 29 年度まで Cosmos Café、GC Chat in English、GC Chat in Japanese として、それぞれ実施していたが、Global Chat (Multilingual, Culture, English) とパッケージ化することにより、学生への認知度を向上させることができた。
- ・ 春季及び秋季海外留学フェアを開催するとともに、Go Abroad (海外留学総合案内冊子)、海外安全ハンドブック (冊子) を作成、新入生全員に配布するなど、留学を目指す学生への情報提供を充実させ、海外留学プログラムへの参加を促進した。

○ 募集要項及び教務関係重要文書の複数言語化

大学院課程の英語版募集要項について、昨年度までに作成した12の英語版に加え、平成30年度には、新たに6つの英語版募集要項を作成・公開し、合計18募集要項で複数言語化を実現した。英語版を作成予定である23募集要項のうち、残りの5募集要項については、大学院改組再編後の学位プログラムに応じた募集要項において実現すべく、関係する教育組織及び支援室と準備を進めている。

また、教務関係文書についても、大学院便覧の一部英語化、本学のリクルート戦略地域に対応したマレーシア語、スペイン語等による学士課程学位プログラムのリーフレット作成、「シラバス作成のためのガイドライン」改訂版の作成に合わせて英語版シラバスの作成依頼を行うなど、全学的な複数言語化を推進した。

◇ 筑波研究学園都市全体のグローバル化の牽引

○ 国際会議「つくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) 2018」の開催

平成30年9月に「Driving Sustainable Development」をテーマとして「つくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) 2018」を開催した。9年目となる今回は、内閣府、文部科学省、経済産業省、茨城県、つくば市を後援組織とし、33か国、162機関から273名の発表者と、1,600名を越す来場者を迎え、海外の協定校や筑波研究学園都市に所在する研究機関との共同主催を含む43のセッションが行われた。

Society 5.0の実現を支える基盤技術としてのAIやその周辺分野・応用分野の若手研究者・技術者が政府や産業界の関係者と議論することにより、参加者の交流の促進を図るとともに、筑波研究学園都市の存在を内外にアピールした。

○ TGSWの実績を踏まえた「筑波会議」構想の推進

本学及び筑波研究学園都市のプレゼンス向上のため、これまでのTGSWの開催実績を踏まえ、国内外の若手研究者や学生等が科学や社会の抱える課題などについて議論する国際会議「筑波会議」を平成31年（令和元年）に開催する予定であり、会議開催に向けた準備として、企画委員会（4回開催）によるプログラム構成及びセッション案の検討を行った。さらに、筑波会議プレイベントとして2月にはシンポジウム「人文社会系分野における研究評価～シーズからニーズへ～」を開催し、3月にはトークセッション「魚が食べられなくなったらどうしよう！？～みんなで考えるSDGs～」を開催し、会議の機運醸成を図ることができた。

◇ 中期計画で設定した主な数値や指標等の現状値

【中期計画-1 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
CiC協定パートナー大学	10	5	7	8

【中期計画-5 関連】

平成33年度におけるTGSW 国外参加

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
参加機関	30	46	88	84
参加者	300	300	262	298

2. 国際的に互換性のある教育の実施に向けた大学運営上の取組

◇ 国内外の大学や研究開発法人などとのトランスポーター連携による教育の実施

○ 国内外の国公立大学との多様な形態による共同学位プログラム等の実施

- 平成29年9月に設置した、ボルドー大学、国立台湾大学との3大学によるジョイント・ディグリープログラム「国際連携食料健康科学専攻」において、平成30年度は本学から1名、ボルドー大学から5名、国立台湾大学から5名、計11名の学生が入学した。また、平成29年度に入学した第1期生については、半年毎に各大学で学ぶセメスターを一通り完了し、主にインターンシップ及び特定課題研究の完成に取り組む第4セメスターの履修を行っている。
- 平成28年度に設置した、鹿屋体育大学との2つの共同専攻「スポーツ国際開発学共同専攻」（修士課程）、「大学体育スポーツ高度化共同専攻」（3年制博士課程）において、平成30年度は3年制博士課程の完成年度を迎え、最初の修了生3名を輩出した。
- 平成29年度に設置した、信州大学、山梨大学、静岡大学との4大学連携による「山岳科学学位プログラム」（博士前期課程）において最初の修了生5名を輩出した。

- 平成 29 年度に設置した「地球規模課題学位プログラム」(学士課程)において、キャンパス機能の共有を目指した Campus-with-Campus 協定に基づき、国際基督教大学 (ICU) で平成 30 年 4 月から 6 月の間、ICU の学生寮に滞在し、主に基礎科目を中心として科目履修を行った。修得した単位は、卒業要件に算入することとしている。また、ICU での学修期間終了後には、各学生から ICU における学習についてプレゼンテーションを行い、次年度以降の派遣に向けた課題の抽出を行った。

○ 筑波研究学園都市の研究機関との協働による学位プログラムの実施

- 筑波研究学園都市の研究開発法人及び企業の開発研究部門の研究者との協働で実施する「協働大学院方式」による先駆的な学位プログラムとして平成 27 年 10 月に開設した「ライフイノベーション学位プログラム (区分制博士課程)」において、平成 30 年度は博士後期課程の完成年度を迎え、最初の修了生 7 人を輩出した。魅力ある教育内容と指導体制により、世界から多様かつ優秀な学生を惹きつけ、平成 30 年 10 月現在の在籍学生数は 43 名 (博士前期課程 15 名、博士後期課程 28 名) となっており、学生の出身国籍は 13 か国 (日本人学生 15 名、外国人留学生 28 名) と多岐にわたっている。
- 「協働大学院方式」による新たな学位プログラム (リスク・レジリエンス工学学位プログラム) の開設に向け、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの設定と、それに基づく教育課程の編成、達成度評価項目の設定、履修モデルを策定した。さらに、本学位プログラムの運営母体であるレジリエンス研究教育推進コンソーシアム※参画機関から客員教員 11 名・非常勤講師 16 名を採用し、1 年前倒しで研究指導体制と 7 つの授業科目の準備を完了した。これらの取組により、開設前年度である平成 31 年度 (令和元年度) に試行を可能とする教育体制を整えた。また、国内外 10 機関における中・長期インターンシッププログラムの実施準備を完了した。
- 平成 30 年 12 月に同コンソーシアム主催の第 1 回シンポジウム「安全・安心を創る～レジリエンス研究教育推進コンソーシアムが目指すもの～」を都内で開催し、一般参加者 40 名を含む 84 名の参加を得て、研究・教育活動の成果を発信した。
 ※平成 29 年度に企業、研究機関、大学の協働により設立。リスク・レジリエンス分野の新たな研究領域を探求するとともに、参画機関が培ってきた知識や技術を本学の学位プログラムに実装し、共同研究成果の発信やアカデミックなグローバル人材の輩出によりレジリエンス社会の実現に貢献することを目的としている。平成 30 年度に新たに 2 機関が参画し、参画機関は 13 機関 (企業 4、団体 1、研究機関 7 (うち海外 1)、大学 1) となった。

○ 国内外の政府・大学等の要請に基づく教育業務の受託

- 関係大学に教員を派遣し、授業を実施するなどの教育業務の支援を行うとともに、関係大学等のニーズを調査し、状況に合わせた各種プログラム等の企画立案を行った。エジプト日本科学技術大学 (E-JUST) についてはリベラルアーツ支援に加えて遺産科学の支援検討、日越大学については、現地教育体制の改善に向けて本学教員の長期派遣を決定、マレーシア日本国際工科院 (MJIIT) については現地ニーズに合わせたプログラムの改善を行った。
- より効果の高いプログラム内容を構築し、MJIIT、日越大学の学生をインターンシップとして受入れた。学生の生活面としてはコミュニケーションアプリを活用した緊急連絡体制の構築、交通系 IC カードの使用等、より生活しやすい体制構築を図った。
- 本学の教育システムの様々な資源を活用した海外分校の設置及び運営の実現性について、これまでのタスクフォースによる検討状況を踏まえ、喫緊の検討課題に対して迅速に対応するため、マレーシア海外分校設置準備室の設置を決定し、同準備室を中心に日本国内及び現地の関係機関との交渉及び連絡調整を行うこととした。また、同準備室の設置に先んじて関係教職員による現地調査 (フィージビリティスタディ) に着手した。
- トルクメニスタンと日本との友好のシンボルとされるオグズハン工科大学に本学の理工系「力学」及び「電磁気学」の授業を担当する教員を派遣した。これにより、オグズハン工科大学において本学教員による理工学系の授業を実施する体制を整えた。これに伴い、本学から 5 名の教員がオグズハン工科大学を訪問し特別講演を行った。講義や代表団の実験室視察の様子はトルクメニスタンのメディアに取り上げられた。

○ グローバル人材の育成に向けた教育体制の整備

附属坂戸高等学校における世界共通のカリキュラムである国際バカロレア (IB) のうち、高校 2～3 年生を対象としたディプロマ・プログラム教育体制が整い、1 回生として 9 名を迎えた。教育研究科において国際教育修士プログラムの学生の授業参観並びに附属坂戸高等学校の IB 教員との交流会を実施した。

○ 外部英語能力検定試験の受験率向上に向けた取組

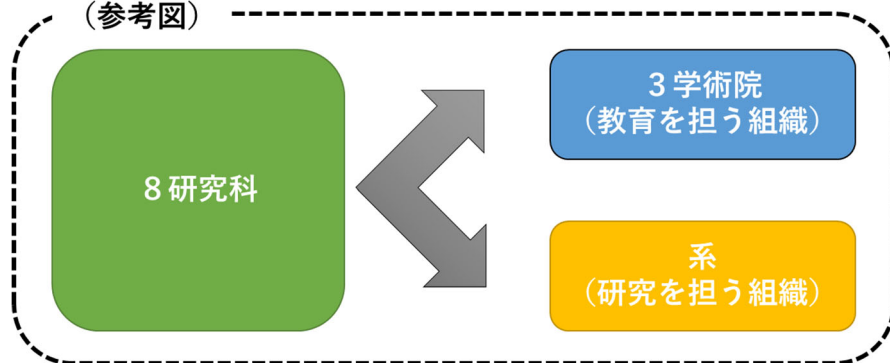
- ・ 学群3年次生の外部英語能力検定試験の受験率向上に向け、以下の取組を行った。
- ・ 学群3年次生対象のTOEFL ITPテストを3回実施した（5月、11月、2月）。
- ・ 受験率は65.6%（平成29年度より11.2%増加。250人余り受験者増）に達し、特に、本テストの受験を開設科目の履修要件（必須化）としている教育組織の学生の受験率は軒並み90%を超えている。
- ・ 平成30年度に実施したTOEFL ITPテストを未受験の3年次生を対象として、他の外部英語能力試験の個人受験状況について調査を行った。
- ・ 科目履修要件等の推進のため、各教育組織に学群3年次生のTOEFL ITPテスト受験の必須化について依頼した。

◇ **我が国の高等教育をリードする学位プログラム制への移行及び教育体系の構築**

○ 学位プログラム制への全学的移行

- ・ 本学では、学生の個性と能力の伸長のために、従来の組織の枠を越えて幅広い学問分野の教員が協働して教育にあたることのできるよう、現在の研究科・専攻による教育システムから学位プログラムを中心とした新しい教育システムに全面移行する（令和2年度予定）こととしている。
- ・ このため、既存の研究科については、研究を担う組織である系と明確に区別し、現在の8研究科85専攻を、教育を担う組織である3学術院6研究群（及び専門職大学院の専攻、共同専攻、国際連携専攻）に改組再編することとし、その具体的な教育内容・教育体制等について検討を進め、新組織に置く各学位プログラムの教育課程の編成を完了した。新組織の学生定員については、現専攻の定員充足状況を踏まえた上で、各分野における今後の人材育成の展開等を見据えて計画した。
- ・ 従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現するため、「不断の改革」を進めるべく、これらの改革構想について、次年度の設置申請に向けて学内法定会議での意思決定を行うことができた。
- ・ 本学大学院の改革構想について大学院進学希望者を主たる対象とした学内説明会及び意見聴取（質疑応答・アンケート）、並びに企業アンケートを実施した。その結果、本構想に対する建設的な意見が多く得られた。平成31年3月には本構想及び新組織で学生受入れを行うための入学試験の実施方法等について本学ウェブサイト上で公表した。
- ・ 学位プログラム制への移行と併せて、学士課程から大学院課程にわたる全学的な点検・評価の仕組みを構築する観点から、教育のPDCAを有効に機能させること等を目的とした全学的な教学マネジメント機関のあり方に関して検討するためのタスクフォースを設置し、当該機関のコンセプト・組織構成・想定する具体的な業務等を整理するとともに平成31年2月に「教学マネジメント室（仮称）設置準備室設置要項」を制定し、令和2年度の本格始動に向けた準備体制を整えた。

（参考図）



○ 学位プログラムの充実

- ・ 博士課程教育リーディングプログラムや世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）等の成果をもとに、本学の強みである生命医科学と理・工・情報学の共同体制による新たな学問領域である「ヒューマニクス」の創生をテーマに掲げた「ヒューマニクス学位プログラム」を構想し、卓越大学院プログラムに採択された。これを受け、平成31年4月からの学生受入に向けて、グローバル教育院に置く学位プログラムとして規程整備を行うとともに教育環境及び運営体制を整備し、平成31年1月に入学試験を行い、10名の受入を決定した。
- ・ スーパーグローバル大学創成支援事業の取組の一つとして、本学における工学系の学士課程では初となる、英語による学修のみで学位が取得できる「総合理工学位プログラム」（学士課程）の開設準備を進めた。本プログ

ラムは、超スマート社会（Society5.0）における次世代のモノづくりを牽引するグローバル人材の育成を目的としており、令和元年9月から学生受入を開始することとし、平成31年2～3月に入学試験を実施した。（入学予定者：4名）

○ 教育の質保証体制の充実

- 本学の教育改革の中心となる学位プログラム制への全面移行にあたって教育の内部質保証を強化するために、学士課程から大学院課程にわたる全学的な教学マネジメントを推進する組織として「教学マネジメント室（仮称）」を置くこととし、令和2年度からの本格稼働に向けて準備室の設置を決定した。同準備室では、各学位プログラムに関する定量的・定性的データを毎年収集し分析する「モニタリング」、5～7年ごとに学位プログラムの総合的な評価を行う「プログラムレビュー」、新たな学位プログラムの開設等について学内で審査を行う仕組み等について具体的検討を行うこととしている。
- 海外連携大学とのカリキュラムの対照作業（チューニング）及び国内外の他大学との単位互換の促進のため、科目ナンバリング作業を進め、3月までに全ての科目について付番を完了した。これにより、教育課程の体系的な編成や、教育課程の可視化が可能となり、学位プログラム制への移行に向けた基盤構築ができた。本取組によって、将来的には、科目数の精選や、異なる学位プログラムにまたがる共同開講、科目の共通化などが期待できる。
- 学位授与時に学生が備えているべき知識・能力（コンピテンス）の明確化にあたって、世界の多様な場、変化の激しい社会で生涯にわたる活躍を支える資質として汎用的能力を養うことが重要であるとの認識の下、学士課程と大学院課程ともに全学共通の汎用コンピテンスを設定した。
- 大学院課程については、令和2年度の新組織設置構想において、汎用コンピテンス及び専門コンピテンスに関する全学的方針を定め、それに基づき各学位プログラムのコンピテンスを明確にし、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに反映した。学士課程については、全学共通の汎用コンピテンスを定めるとともに、平成31年度（令和元年度）から導入するSF（Specialty Finding）教育（学士課程における総合智教育プログラムと言える新学士課程教育）を踏まえて各学群・学類においてディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを点検し、平成31年度版「筑波スタンダード」に反映した。
- 博士又は修士にふさわしい研究能力に加えて、特に社会における現実の具体的課題に即した「現場力」の養成を重視した学位プログラムが授与する学位を「専門学位」と位置づけ、「専門学位」が備えるべき特徴を整理した。これに基づき、令和2年度の新組織設置構想において、社会科学、工学、環境科学、保健学及び体育・スポーツ学等の分野において20の学位プログラム／専攻が授与する学位を専門学位と位置づけた。

○ 総合智を涵養する教育体系の構築

- 学群における教育改革として、SF教育の導入や、大学院における学位プログラム制への移行といった本学の教育改革を進めるにあたり、併せて教養教育の見直しが必要であることから、「学士課程から大学院課程にわたる総合智教育」を構築することとしている。平成30年度においては、「総合智教育※」について、定義を確定させるとともに、各教育組織において、この理念に基づく教育課程の編成を行った。
※高度な専門知識とそれを活かす多様で学際的な知識の修得で得られる総合的な知的基盤に加え、倫理観、人間性、論理性、国際性、コミュニケーション力、豊かな心身基盤、マネジメント・企画調整力などの汎用智がバランスよく培われた高度な知的人材を育て上げるための教育の体系
- いわゆる教養科目だけではなく、他分野の専門科目の履修を促す仕組みを全学的に組み込むことで、これを本学におけるリベラルアーツの学びとしてとらえ、共通的に学ぶ外国語や情報、体育、国語、芸術とともに本学の教養教育と位置付け、これを推進する全学組織として高等教育アクティブセンター（仮称）の体制構築の準備を行った。
- 令和3年度（令和2年度実施）に総合選抜（大括り入試）の導入を予定していることから、SF教育を先行して実施するため、全学必修の総合科目「学問への誘い」を新規開設することとし、各学群選出委員（約半数が学群長）からなる制作実施委員会を設置し、授業計画及び実施検討・準備を行った。
- 「学問への誘い」のテキストを兼ね、本学のSF教育の理念とそれを表す新たなカリキュラム、「大学での学び」を説明した「初年次学修ガイド」を新たに編集・制作した。

○ 不断の改革による教育の成果

日本経済新聞社及び日経 HR が発表した「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」において、総合ランキング1位となった。この調査は、上場企業等の人事担当者に対して採用実績のある大学のイメージを調査したものである。CiC 構想による海外協定校との教育研究交流の活性化、学問横断的な履修カリキュラムを

実践し、社会ニーズに的確に対応するとともに、「筑波スタンダード」による学位の質の保証と持続的向上を目指す本学の教育宣言を広く社会に公表するといったユニークな学びの環境を整備してきたことが学生の資質向上に結び付いたものとして、企業の人事担当者から高い評価を得た。

◇ 世界から多様かつ優秀な学生を受入れる入学者選抜の実施

○ 総合選抜の導入を含む入学者選抜改革

- ・ 全学学群入試改革検討委員会の下に設置した総合選抜検討専門委員会及び検討課題ごとの WG において検討を重ね、本学の入試改革の一環として、幅広い関心に基づいて様々な学問領域を知り、広い視野から自らの専門分野を主体的に選択する機会を提供するために、学群・学類の枠を越えて選抜を行う入試である「総合選抜」について、各入試区分に係る募集人員、選抜方針、大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の試験教科・科目、配点等の具体的事項に関して、平成 30 年 7 月に「2021 年度入学者選抜の変更及び検討状況について」として公表した。さらに、「総合選抜」における「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法、大学入学共通テストの「英語」における民間の資格・検定試験の利用、及び「国語」「数学」における記述式問題の活用等に関して検討を行い、その検討状況について平成 31 年 3 月末に公表を行った。
- ・ 総合選抜学生の移行システムとの連携も踏まえつつ、教育関係システム (TWINS 及び KdB) の一体的な利用環境整備を行った。また、総合選抜学生の移行についての方針と詳細な運用方法の検討を重ね、移行システムに必要な要件を確定させてシステム仕様を策定し、調達を開始した。

○ グローバル入学者選抜システムの構築に向けた取組

- ・ 帰国生徒特別入試に係る Web 出願システムを構築し、7 月に入学試験を実施した。その後、検証を行い、次年度に向けて改修等の準備を進めている。さらに、当初計画になかった「総合理工学位プログラム」においても係る Web 出願システムを構築し、3 月に入学試験を実施した。
- ・ 全学学群入試改革検討委員会の下に設置した留学生特別プログラム検討専門委員会において「留学生募集人員枠設定方針について」を作成し、学群入学定員の 5% を目安として、既に留学生特別プログラムを開設している学群は、令和 3 年度入試で可能な範囲で留学生募集人員枠を設定することとした。

◇ 社会人受入の拡充など社会的ニーズに対応した取組

○ 実践的なアントレプレナー教育 (起業家教育) の実施

- ・ アントレプレナーシップに関する科目の充実化や海外大学等におけるアントレプレナーシップ教育体制の構築等を持続的に実施できる組織整備として、担当教員を国際産学連携本部に教授として採用した。
- ・ 文部科学省からの補助事業として「次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)」を平成 29 年度から実施しており、平成 30 年度は前年度も開講した発展編に加えて基礎編も開講し、基礎編には 10 チーム 39 人、発展編には 8 チーム 22 人が参加した。基礎編の 1 チームが発展編に進み、発展編終了後には、2 チームが起業準備を進め、1 チームが企業との共同研究について話し合いを開始し、1 チームが VC (ベンチャーキャピタル) からの投資を打診されるなど、具体的な教育成果を得た。
- ・ 平成 28 年度から授業科目として開講しているアントレプレナー教育科目「つくば・クリエイティブ・キャンプ (TCC) ・ベーシック」(主に学部生対象) 及び「同アドバンスト」(主に大学院生対象) を引き続き開講し、ベーシックには 8 チーム 50 人、アドバンストには 4 チーム 26 人が受講した。その結果、ベーシックの 1 チームが EDGE-NEXT の発展編に進み、アドバンストの 1 チームが顧客を獲得し、2 チームがアドバンスト終了後も活動を継続しているなど、具体的な教育成果を得た。
- ・ アントレプレナー教育プログラムの充実化のため、基礎知識 (知財やファイナンス等) に関して広く講義する内容の総合科目と自由科目の新設準備について、同プログラムの実施アンケート結果を全学で共有するなど、教育課程編成への反映作業を進め、平成 31 年度 (令和元年度) からの開設が決定した。

○ 早期修了プログラムの拡大等

- ・ 生命環境科学研究科国際地縁技術開発科学専攻において博士後期課程早期修了プログラムを開始し、実施組織は 4 研究科 21 専攻に拡大した。平成 30 年度は 33 名の社会人学生を受入れ、27 名が 1 年で修了した。
- ・ 履修証明プログラムについて、平成 31 年度 (令和元年度) から総時間数の要件が従来の 120 時間から 60 時間に短縮され、より短時間で修了可能な制度に変更されることに伴い、120 時間未満のプログラムの実施に向けた具体的な検討を行っている。平成 30 年度は 46 プログラムを実施するとともに、履修証明プログラムの次年度実施予定及び総時間数要件の短縮に伴う実施見込を全学で調査した。要件緩和によりさらに受講しやすくな

ることから、開設プログラム数の増加を図り、社会人を対象とした学習機会の提供を一層促進する。

◇ 大学入学者選抜の実施体制の強化に関する取組

- ・平成31年度入試の実施に万全を期すため、実施体制の強化等に関して、以下の対応を行った。
- ・学群入学試験実施委員会において、委員長（教育担当副学長）から、出題専門委員会委員に対し、不適切な出題の未然防止及び出題ミス of 早期発見を図るため、改めてマニュアル等の確認を十分に行った上で作題に当たるよう要請した。
- ・推薦入試実施にあたり、学群教育会議において、出題・合否判定ミス等の防止に関する依頼を行った。
- ・センター試験及び前後期日程試験の実施にあたり、学群教育会議において、教育担当副学長から文部科学省からの通知を踏まえ、入試ミスの防止及び出題ミス of 早期発見並びに入試ミスの際の迅速かつ組織的な対応等、入試の円滑な実施に万全を期すよう要請した。
- ・前期日程試験の入試問題の最終確認に際し、新たに第三者を加え、これまでの学内外における出題ミスの前例を再度確認した上で試験問題の確認作業を行った。さらに試験日当日には試験時間内に作題委員以外の者が解答を行うなど、出題ミス of 早期発見に努めた。
- ・採点に際して、実施委員会委員長から、各科目の採点員に対して、改めて採点ミス防止に関する注意喚起を行った。
- ・平成30年度リスクマネジメントセミナーにおいて、全部局長（大学院の組織長を含む）に対し、入試ミスに係るリスク事象に備えた危機管理意識や知識の向上を図った。
- ・中期計画で設定した主な数値や指標等の現状値

【中期計画-2 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
英語だけで履修可能な教育プログラム開設	60	49	52	62

※上記に加え平成31年度（令和元年度）に「総合理工学位プログラム」（学士課程）を開設予定

【中期計画-11 関連】

学群第一学年及び第三学年の外部の英語能力検定試験受験率

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
学群一年次生	90%以上	67.9%	98.9%	99.4%
学群三年次生		42.5%	54.4%	65.6%
（全体）	—	54.9%	76.2%	82.0%

【中期計画-12 関連】

附属高等学校、附属坂戸高等学校における在学中の海外での武者修行経験者

KPI	目標値	H29 実績値	H30 実績値
附属高等学校	SGH 対象者の80%以上	45%	100%
附属坂戸高等学校		100%	100%
全体	—	56%	100%

【中期計画-15 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
履修証明プログラム数	33	24	44	46

◇ 教育に関する全国共同利用拠点の取組状況

(1) 『日本語・日本事情遠隔教育拠点』

(グローバルコミュニケーション教育センター (CEGLOC))

留学生(渡日前含む)に対する日本語と日本事情の教育支援を目的とし、日本語学習者の自律学習を支援するための日本語学習サイトやスマートフォン用アプリのほか、初級から上級までの学習者の日本語力を測定するためのWeb日本語テストとして「J-CAT」※と「TTBJ」※を引き続き提供した。また、日本語教育関係者への支援として本学で開発した教科書『SFJ (Situational Functional Japanese)』に対応したビデオ教材や大規模なウェブコース「筑波ウェブコース」を提供し、日本語教育全体に資する取組を継続して行ってきた。加えて、平成30年度には多文化共生サポートアプリ「SuMo Japan」のAndroid版を開発、公開した。

そのほか、本拠点の更なる利用促進を図るため、広報活動の強化に取組み、外部講師を招いた講演会を3回、シンポジウムを1回主催したほか、本学の海外拠点と連携した日本留学フェアにおける広報、日本語教育学会、北海道大学、ユライ・ドブリラ大学プーラ(クロアチア)及びホーチミン市師範大学(ベトナム)と連携した日本語教育イベントを行った。

本拠点では平成22年度から段階的にコンテンツの開発・公開、取組の強化を行っており、コンテンツの年間利用者数は延べ60,000人を超えるまでになった。また、第2期認定期間(平成26年度～平成31年度(令和元年度))の目標であった筑波日本語eラーニングの利用者数10,000人、日本語Webテスト年間受験者数25,000人、筑波ウェブコースの年間ページビュー数10万回も達成し、第2期の最終年度を残し、目標達成となった。

※J-CAT: 日本語の総合能力を測るテスト

※TTBJ: 日本語の分野(文法、漢字)ごとの能力を測るテスト

(2) 『ナチュラルヒストリーに根ざした山岳科学教育拠点』

(山岳科学センター)

本拠点では、生物多様性にフォーカスを当てた様々な実習を他大学生へ公開し(公開実習)、他大学の実習の受入れ(受託実習)及び他大学学生の研究指導の受入れ(研究指導)などの活動を行ってきた。平成30年度からは、運営母体が生物学だけでなく農学、環境科学、地球科学の分野にまたがって活動する山岳科学センターとして拠点認定を受けたことに伴い、引き続き公開実習等の活動を行っていくとともに、教育内容の高度化、教育内容の広範化、運営面の強化に力を入れ、山岳全体に関わる幅広い自然環境関連問題を解決できる人材の輩出に貢献することとしている。

豊かな森と草原の山岳フィールドを舞台に、生物多様性の実体を理解・活用・保全する人材の育成と教育プログラムの開発・普及に向け、学部生向けに年間9つの公開実習を実施し、大学院生向けに7つの公開実習を実施した。これらは、他大学では類を見ない、多様な生物分類群を網羅した野外実習のラインナップとなっており、積極的な広報活動の結果、公開実習の利用者数は183人(前年度比12人増)となっている。また、学内外の実習の受入れ、研究指導(常駐学生を除く)も含めた総利用者数についても769人(前年度比46人増)となっており、拠点としての活動が活性化している。

運営面の強化として、平成30年度は、本センターの研究部門やフィールドステーションの情報をウェブサイト上で新たに整備し、併せて本拠点事業に関する情報を再整備することにより、統合的で分かりやすいウェブサイトを開発した。また、最新の設備を活用した魅力的なフィールド教育・研究が行えるよう、林冠タワーやDNAシーケンサー等の既存設備に加え、フィールドIT(無線LAN、タブレット等)環境を整備するとともに、ドローンの導入による山地河川の地形測量や植生モニタリング手法の構築を行い、施設設備の充実化と安全管理体制の強化を図った。

(3) 『多様な発達特性を有する学生に対する支援人材教育拠点』

(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター)

大学等における発達障害学生の増加に伴い、発達特性を踏まえた合理的配慮の提供や学生対応が求められていることから、多様な発達特性を有する学生への教職員の対応能力を向上するための教育拠点として、平成30年度から新たに認定を受け活動を開始した。

これまでの実績をもとに、拠点としての活動を着実に進めるため、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター教育関係共同利用運営委員会を開催し、新たな活動計画として、「教員、職員、専門的職員等の各層別のニーズに即したプログラムの開発」や「Learning Support Book (LSB) の内容の充実や各大学への普及」について検討し、次年度以降の本格稼働に向けた実施体制を整えた。

平成30年度の具体的な活動については、発達障害学生支援に関する他大学を対象とした研修会(新規開催)

として、基礎的な発達障害の理解と支援に関するオンサイト型 FD/SD 研修会を 2 回開催した。(1 回目：140 名参加。2 回目：札幌・つくば・東京・岐阜・富山・京都・福岡の全国 7 箇所ですべて同時配信を行い 263 名参加。)

また、発達障害学生支援に関する相談対応として、各大学等からの発達障害学生支援に関する訪問・見学者対応 28 件(前年度 18 件)、電話・メール等での相談対応 9 件(前年度 10 件)を行うとともに、国際的な対応に向けた取組として、オハイオ州立大学(アメリカ)、ハンブルグ大学(ドイツ)、マヒドン大学(タイ)からの訪問・見学者対応も行った。

さらに、発達障害学生支援に有効なデータベース構築と配信の確立に向けて、支援情報配信サービス「Learning Support Book (LSB)」について前年度が 43 校の大学等教職員に試験配信していたのに対し、約 1.4 倍の 61 校まで増加した。また、センター内に「LSB 共同利用・自走化タスクフォース」を設置し、環境整備の検討を開始するとともに、学外の発達障害当事者約 40 名を「発達障害当事者レビューア」として登録する制度を新設し、LSB の要望についてコメントを受け、他大学での共同利用促進に向けた改善を図ることができた。

このほか、発達障害の診断又は傾向のある学生の心理検査や知能検査等のアセスメントを組織的に行うために、専任のアセッサーを 8 月から雇用して試行的運用を開始するとともに、アセッサーの研修プログラムの開発に着手し学生のアセスメント・支援提供・評価までのシームレスな支援モデルを構築した。

3. 学生の自立性を高めるための支援の実施に向けた大学運営上の取組

◇ グローバル人材の育成及び国際性の日常化に向けた取組

○ 海外派遣学生数の増加に向けた取組

平成 30 年度においては、合計 2,593 名（前年度 2,385 名（208 名増））の学生を海外派遣した。主な取組は以下のとおり。

- ・ 新たな短期海外語学研修プログラムとして、平成 30 年 9 月の夏季休業期間中にフィリピン・セブ島の CPI (Cebu Pelis Institute) にて 4 週間の短期海外語学研修プログラムを企画・実施し、学生 11 名を派遣した。平成 31 年 3 月の春季休業期間中にも同プログラムを実施し、学生 10 名を派遣した。いずれも派遣者数を大きく上回る応募者があった。
- ・ 海外留学のための奨学金として、本学独自の事業である「はばたけ！筑大生交換留学支援プログラム」について、平成 29 年度の支給対象者数は 7 人であったが、学内の交換留学支援奨学金の集約や留学フェアでの積極的な周知等により平成 30 年度の支給対象者数は 21 人となり、前年度比で 3 倍の増加となった。応募者の中から、協定校への派遣学生に対して独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）奨学金を 7 名採用するなど、派遣学生の申請に係る負担を軽減した。

○ 学生宿舍（グローバルヴィレッジ）を活用した異文化交流の促進

グローバル・レジデンス整備事業の一環であるグローバルヴィレッジ民間附帯事業として「折形体験教室」、地元の中学生、高校生と留学生との交流イベント「留学生と一緒に連想ゲーム」を開催するとともに、本学主催の「夏祭り」、「ニューイヤーパーティー」を開催。また、ボランティアによる「生け花教室」が 3 クール、延べ 36 回、「お茶会」が 2 回開催され、日本人学生と留学生の交流促進を図った。

◇ 多様な学生へのキャリア形成等を見据えた支援の充実

○ 外国人留学生への支援

外国人留学生に対しては、日本における就職の意識付けを行うことを目的とした「日本で働くための準備講座」を 6 月に実施するとともに、エントリーシート作成、面接対策等の日本国内企業への就職のための能力を高めることを目的とした「外国人留学生のためのキャリア・就職支援講座（10 月以降全回）」を開講した。

○ TA・TF 業務見直し及び環境整備

学生の主体的かつ能動的な学修を促進する授業内容及び方法の実質化並びに質的向上に資するため、教育活動における補助的な教育業務を支援する TA（ティーチング・アシスタント）・補助的な教育業務の内容を自ら計画の上、授業等の進行管理をしながら展開して実施する TF（ティーチング・フェロー）の管理・補助的業務や積極的授業進行業務などの内容を再整理、また TA・TF 研修の見直しを行い、更なる充実化を実現させるための方策として、TA・TF 業務の明確化を行うとともに規則改正を行い、TA ハンドブックを更新しウェブサイトに掲載した。また、平成 31 年度（令和元年度）運用開始に向けて、授業時間外の業務時間管理について検討の上、TA の勤務時間等に係る基本方針を作成した。

○ 同窓会の連携拡大に向けた取組

海外同窓会ネットワークである T-NET (Tsukuba Alumni Network) を活用し、台湾校友会との連携を開始した。このほか、国内同窓会である茗溪・筑波産業人倶楽部との連携を開始した。さらに、筑波大学公式アプリを開発し同窓生との連携を一層強化した。

○ ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターの取組

博士・ポストクへのキャリア形成支援を実施するとともに、障害学生用支援 機器購入費等の経費確保のため、クラウドファンディングを実施し、「視覚障害のある学生が手軽に読み書きできる小型点字ディスプレイの購入」「運動障害のある大学院生が実施したインタビューの音声データの文字起こしによる調査研究活動支

援」「聴覚障害のある学生の学びを支援する遠隔情報機器の購入」等を行い、障害のある学生への支援を拡充した。

◇ 中期計画で設定した主な数値や指標等の現状値

【中期計画-22 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
在学期間内に学生を海外派遣	半数相当	約 38%	約 40%	約 43%

【中期計画-23 関連】

KPI	目標	実績
グローバル・レジデンスの整備	平成 30 年度までに整備	平成 29 年度整備

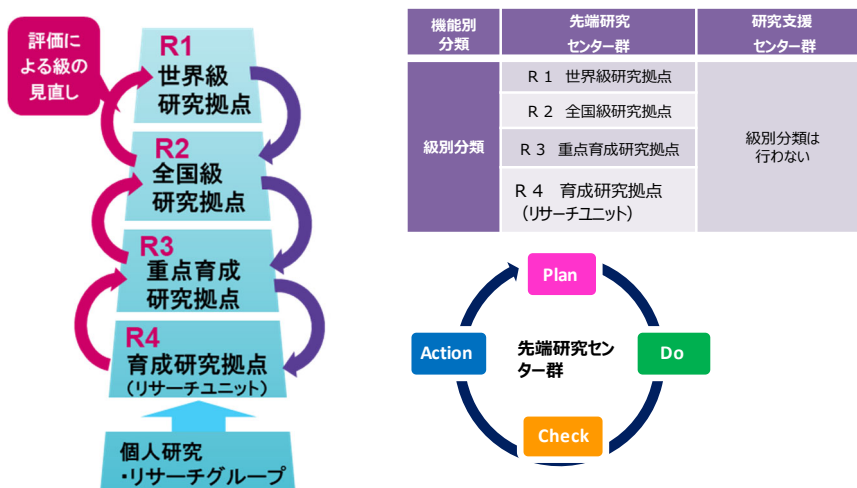
4. 世界トップレベルの研究の推進に向けた大学運営上の取組

◇ 既存の研究センターの見直し・集約等をはじめとする「研究循環システム」の構築に資する取組及び研究支援体制の充実

○ 研究センターの級別分類等の研究の成長ステージに応じた効果的な研究推進体制の構築

- ・ 本学の強み・特色に重点配分を行いつつ、新たな強み・特色を持続的に生み出すには、研究の成長ステージに応じた効果的な研究推進体制「研究循環システム」を構築することが必要である。「研究循環システム」を構築し、本学の研究全体の新陳代謝（ターンオーバー）を活性化させる一つの方策として、研究センターを機能別（先端研究センター群、研究支援センター群）に分類した上で、先端研究センター群については、R 1：世界級研究拠点、R 2：全国級研究拠点、R 3：重点育成研究拠点、R 4：育成研究拠点（リサーチユニット）に級別の認定を行い重点的かつ戦略的な資源配分を行った。また、各研究センターを5年毎に評価（3年目に中間評価）するため、今後の評価の基礎となるセンターの活動計画書を審議するとともに、評価要綱骨子を作成し、評価システムを確立した。
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）の達成は、世界的に大きな解決課題となっており、SDGsの多くの項目に寄与する微生物学について、既存の関連研究（戦略的創造研究推進事業（ERATO）、寄附講座等）との相乗効果が得られる体制を構築するため、微生物学を研究対象とした微生物サステナビリティ研究センターを平成30年10月に設置した。

<「研究循環システム」の構築>



○ 世界最高水準の研究拠点形成のための体制整備

- ・ 世界級研究拠点（R 1）で一定の評価を受けたセンターについては部局化（重点研究センター化）を行い資源のさらなる重点配分を行うこととしており、本学におけるこれらの取組を実質化し、国際共同利用・共同研究拠点等の世界最高水準の拠点形成を恒常的に可能とする体制を構築するため、平成30年度においては、世界展開研究拠点形成機構（仮称）の創設準備を開始した。
- ・ 本取組は、本学の強み・特色である世界級の研究センター（計算科学研究センター、生存ダイナミクス研究センター、国際統合睡眠医科学研究機構（IIIS））を全学的組織である世界展開研究拠点形成機構（仮称）に位置付け、本学の研究資源の戦略的活用等による総合的な支援により、世界的に展開を図ることで、当該研究センターの分野を超えてさらに発展させるとともに、これらの成果等を全学的組織で蓄積することにより本学の研究教育の新たな可能性を追求するものである。
- ・ 本機構で世界級の研究センターの形成を図るために作られた各種制度が、本学全体に、さらには国全体に浸透するよう、本学発の研究組織マネジメントを確立し、モデルケースとして学内外への発信を行う。

○ URA 等を活用した重点的な研究支援

- ・ 文部科学省「研究大学強化促進事業」における基盤的な研究力強化策の1つとして、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等をマネジメントする人材の充実した研究支援体制の確立に向けて、令和4年度には

「URA40 人体制」を構築し、世界水準の研究環境を実現することとしている。平成 30 年度は、部局の研究現場で研究支援を行う 11 件の部局 URA の公募を行い、審査の上、6 名を採用して 34 名の体制となった。

- ・ 科研費及びその他外部資金の獲得に向け、URA を中心に、科研費セミナー、外国人向けセミナー（科研費）、申請書改善支援、ヘルプデスク、模擬ヒアリング等の支援を実施した。

○ 人文社会科学分野における新たな研究評価指標の情報発信

人文社会科学の新たな研究評価指標として iMD(index for Measuring Diversity: 学術誌の 1 年あたりの多様性を著者の所属機関とそれらが立地する国に応じた重み付けを行い、定量化する指標)を開発し、特許を出願しており、平成 31 年 2 月には出願公開となった。本指標は、Scopus 等の商用データベースに収録されていない論文について、簡便かつ客観的に算出することができ、世界大学ランキングで評価対象外となっていた学術誌を定量的に評価可能とするものである。平成 30 年度には、本指標の利活用促進のため、大学マネジメントセミナー（国立大学協会主催：11 月）及び研究大学強化促進事業シンポジウム（本学主催：2 月）等により、積極的な情報発信を行った。

◇ 分野融合型の領域の開拓と研究機能の再編成と国際性の強化による卓越した知の創造拠点の展開

○ 国際統合睡眠医科学研究機構（IIIS）における取組

中国トップレベルの北京生命科学研究所（NIBS）とノーベル賞受賞者を多数輩出しているテキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター、IIIS の 3 機関の共同研究契約を締結し、NIBS が IIIS のアジア初の海外サテライトとなった。これにより、中国人研究者の交流が倍増し、国際連携が一層強化された。また、IIIS のスピンアウトベンチャーである（株）S'UIMIN に対し、TLO の機能を委託することとした。これにより、知財管理体制が強化されたばかりでなく、IIIS の持続可能な成長にとって重要な知財収入の還元を可能とする体制整備が図られた。

○ 国際的研究プロジェクトへの貢献

フランス共和国タラ財団の「タラ号」海洋探検プロジェクト調査について、タラ号が日本近海を回航しサンゴを中心とした海洋調査を行うための全面的なパートナーとして、これまで本学の下田臨海実験センターが中心となり活動を支援してきた実績をもとに、日本の研究機関で初めてとなるタラ財団との協力協定を平成 30 年 5 月に締結した。また、この協定に先立ち、サンゴ礁の現状と危機を訴える国際シンポジウムを開催し、海洋生物学分野における本学のプレゼンス向上に寄与するとともに、国内外への情報発信を行うことができた。

○ 開発研究センター制度による社会還元型研究の推進

社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進するため、外部資金により事業運営を行う産学官の共同研究体制として開発研究センター制度を導入しており、これまで 5 つのセンターを設置し、社会還元型研究を推進してきたところである。平成 30 年度は、以下の取組を行った。

- ・ 個人の QOL を維持・向上させる画期的なテラーメイドプログラムの開発研究を推進するために、「テラーメイド QOL プログラム開発研究センター」を 2 月に設置した。同センターは、食と運動と睡眠を通して個々人の QOL を向上するプログラムを提供する。
- ・ 働く人への心理支援に関する研究と社会貢献の両面から、ワンストップでのサービス提供拠点を形成するために、「働く人への心理支援開発研究センター」を平成 31 年 4 月から設置することを決定した。社会ニーズに沿った実践的研究を促進し、働く人に対する高品質の心理支援サービスの提供、心理支援者の質的向上等の機能強化を図ることとしている。
- ・ プレジジョン・メディシン開発研究センターは、株式会社 iLac と特別共同研究事業契約を結んで、次世代ハイスループットヒトゲノム配列解析システム 3 台を稼働させ、年間 18,000 人の完全ゲノム配列シーケンスができるシステム構築を進めた。シーケンスサンプルの前処理については、「まほろ」（双腕ヒト型ロボット）3 台を使用して、ライブラリサンプルを作製した。1 年半で約 5,000 例のホールゲノムエクソン解析を実施した。
- ・ ヘルスサービス開発研究センターは、茨城県筑西市及び県西部メディカルセンターと予防医学の寄附研究について協定を締結した。同開発研究センターは、平成 31 年 4 月から筑西市の資金提供により同病院内に地域予防医学部門の研究室を開設した。

- 平成 30 年度における 6 つの開発研究センターの民間との共同研究は 2.72 億円であり、大型共同研究の 24%、1 センターあたり約 4,500 万円となっております、共同研究の大型化に貢献している。

○ つくば国際戦略総合特区事業の推進

- 茨城県、つくば市等と本学が連携し、つくばの科学技術の集積を活用したライフイノベーション及びグリーンイノベーションを推進することにより我が国の成長・発展に貢献することを目的として平成 24 年に国際戦略総合特区の認定を受け、各プロジェクトを実施している。
- 平成 30 年度においては、昨年度 9 つ目のプロジェクトとして「植物機能を活用したヒトの健康増進に資する有用物質生産システムの開発事業化」が追加されたことに伴い、つくば機能植物イノベーション研究センターにおける研究施設・設備の整備を行うとともに、一般の方に事業の意義を理解いただくための、国際戦略総合特区の事業概要や各プロジェクトを紹介するセミナーを実施するなど、各プロジェクト推進のための支援を行った。

○ TIA 連携の推進

- TIA※の中核 5 機関が組織の枠を超えて連携し、新領域を開拓するための調査研究や連携活動を支援する「TIA 連携プログラム探索推進事業」(かけはし事業)において、企業が参画するテーマを新たに 4 課題採択し、継続も含めて 47 件の研究を推進した。
- デバイス機器の開発のプラットフォーム構築について、平成 29 年度に学際物質科学研究センター (TIMS) と数理物質融合科学センター (CiRFSE) 環境エネルギー材料研究拠点との融合により改組されたエネルギー物質科学研究センター (TREMS) が研究を推進した。

※ TIA : 産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、東京大学及び筑波大学が協力して運営するオープンイノベーション拠点

○ オープンサイエンスに向けた統合的データベースの構築

- ORCID (Open Researcher and Contributor ID) を利用した研究者情報の効果的な登録方法等を検討し、ORCID の登録促進を図った。
- リポジトリ登録対象の学術雑誌掲載論文について、TRIOS (本学の研究者情報システム) 掲載論文から抽出する方法に変更し登録を行った。登録対象として調査した論文 2,102 件のうち、734 件についてつくばリポジトリに登録した。また、TRIOS 業績へのリポジトリハンドル付与については、TRIOS の改修により 3,000 件以上実施し、システムの連携を推進した。

◇ 中期計画で設定した主な数値や指標等の現状値

【中期計画-26 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
研究領域において世界 100 位以内を実現	相当数	1 分野 QS 世界大学 ランキング Sports- related Subjects (26 位)	2 分野 QS 世界大学ラ ンキング Sports- related Subjects (25 位) Library & Information Management (37 位)	1 分野 QS 世界大学ラ ンキング Sports- related Subjects (49 位)

【中期計画-27 関連】

KPI	目標	H30 実績
開発研究センターのシステム確立	平成 29 年度	平成 29 年度に確立済 (H30 現在 6 つのセンター設置)

【中期計画-34 関連】

KPI	目標	実績
大学院教育における研究倫理科目	平成 30 年度までに必修化	平成 30 年度に大学院共通科目、専門科目等で必修化

◇ 共同利用・共同研究拠点の取組状況

(1) 『先端学際計算科学共同研究拠点』（計算科学研究センター）

① 共同利用・共同研究拠点としての取組と成果

計算科学研究センターでは、共同利用・共同研究拠点として、学際共同利用プログラムにより 67 課題のプロジェクトを採択し共同研究を実施した。文部科学省「ポスト『京』開発事業」における重点課題についても、学際共同利用プログラムのプロジェクトの一部として実施した。これらの共同研究により、学術論文 221 件を公表した。10 月には、センターシンポジウムとして「10th symposium on Discovery, Fusion, Creation of New Knowledge by Multidisciplinary Computational Sciences」を開催し、計算科学・計算機科学のフロンティア、分野間の連携を議論した。

② センター独自の取組と成果

- ・ センターのメニーコア型大規模スーパーコンピュータシステム「COMA」並びに最先端共同 HPC 基盤施設の「Oakforest-PACS」によって学際的な計算科学を推進した。
- ・ 日本国内で全国共同利用に供されるスーパーコンピュータとして初めて、GPU と FPGA を混載するシステムとして「多重複合型演算加速スーパーコンピュータ：Cygnus（シグナス）」の開発を進め、導入を完了した。
- ・ 国際連携として、12 月にエジンバラ大学（EPCC）との協定に基づく合同ワークショップを EPCC において開催し、米国ローレンスバークレー国立研究所（LBNL）との協定に基づく合同ワークショップを LBNL で開催した。また、韓国ソウル市梨花女子大にて、韓国科学技術情報研究院と共に HPC Winter School とワークショップを開催し、国際的な活動を進めた。
- ・ 「計算基礎科学連携拠点」を基盤として、文部科学省「ポスト『京』開発事業」重点課題について代表機関として連携研究を推進するとともに、萌芽的課題についても、分担機関として研究を推進した。さらに、医学分野との連携により、計算科学による医療技術の開拓を目的とした「計算メディカルサイエンス推進事業」を進めた。

③ 共同利用・共同研究体制を強化する取組や拠点の意義に即した取組状況

計算科学研究センターは、科学諸分野と計算機科学分野の協働・融合を軸とした「学際計算科学」の推進をミッションとし、「学際共同利用プログラム」、先進的な計算機技術に基づく新たな計算機の開発・製作、計算科学諸分野の融合、異分野間連携、国際連携の推進、人材育成のための教育プログラム、スクール開催等を実施している。センターの国際活動の活性化と国際的プレゼンスの向上を図るため、①海外研究者中期招聘、②マンスリーサバティカル制度導入、③計算メディカルサイエンス推進事業（医計連携国際化事業）の 3 つの取組を実施する学内予算措置（戦略イニシアティブ（SS））を 10 年時限で決定し、国際的頭脳循環のハブとしての機能強化の枠組みができあがった。また、本学の国立大学経営改革促進事業の採択を受け、上記の 3 つの取組の加速と、関連した設備の整備を行った。

④ 「今後の共同利用・共同研究体制の在り方について」に即した取組状況

計算科学研究センターは、本学の研究センター組織再編の下で、先端研究センター群の中の世界級研究拠点（R1）に位置付けられており、全学戦略枠や戦略的分野拡充による人員配置及びプロジェクト予算の配

分等を通じて重点的な機能強化が行われ、本学の独立した部局の一つとして大学の研究力強化に貢献している。

平成 29 年度から創始した「計算メディカルサイエンス推進事業」は、医学分野と計算科学との連携基盤を作るものであり、平成 30 年度は 3D バーチャル手術や睡眠ビッグデータ解析の実現に向けた検討を行った。本事業は、将来的には、産業界との連携へと発展が見込まれることから、センターの持つ学際性を活かした人材育成によって、機能強化を加速し、国際的なハブ拠点の形成を目指す。

(2) 『形質転換植物デザイン研究拠点』(遺伝子実験センター)

(平成 29 年 4 月 1 日より本センターはつくば機能植物イノベーション研究センター (T-PIRC) の一部へ改組)

① 共同利用・共同研究拠点としての取組と成果

本拠点では、形質転換先端技術、評価施設及び遺伝資源を活用し、植物重要形質発現に関わる遺伝子群の機能理解に関する国内外の共同研究及び実用化候補作物の作出につながる民間企業との共同研究を行うとともに、遺伝子組換え植物の社会受容に関わる情報発信活動及び遺伝資源に関するリスク評価・管理技術・知財管理・データベース等のノウハウについて、国内外の研究者コミュニティとの共用化を図ることとしている。

平成 30 年度は、形質転換先端技術を活用した植物重要形質発現に関わる遺伝子群の機能理解に関する共同研究及び国内トップクラスの規模の研究施設・設備を活用した実用化候補作物作出に繋がる共同研究 (39 件) を公募・実施した。その結果、本拠点が関わる論文として、20 報 (うち 16 報が国際学術誌) を発表した。このほか、海外連携研究機関利用型課題としてベトナム国ホーチミン市バイオテクノロジーセンターを利用した遺伝子組換えサトウキビ栽培を実施した。

また、平成 30 年度に行われた共同利用・共同研究拠点の中間評価において、A 評価を獲得することができた。

② センター独自の取組と成果

学内外における遺伝子組換え実験の安全管理、学内共同利用施設としての高度な遺伝子関連実験機器・実験場の提供を行っており、遺伝子組換え生物等に関する安全管理を推進した。また、学内共同利用・共同研究の推進に努め、平成 30 年度は合計 381 名のセンター利用者登録・利用があった。地域連携として、つくば市・茨城県へ遺伝子組換え生物安全管理に関する情報提供を行うとともに、遺伝子関連実験技術の普及・教育に関連して、科学技術週間等に参加し、高校生や高校教員に対する公開講座・特別講義・実習を行った (7 件)。さらに、研究者を対象とした公開セミナーを 7 件実施したほか、国内外のシンポジウムや研究セミナー、技術セミナー等を 7 件実施するなど、積極的な情報発信を行った。

研究面では、遺伝子組換え体の第一種使用について、ミラクリン産生組換えトマト、花色改変組換えコチンチン、水利用効率改変組換え交雑アスペン (ポプラ) を実施しており、ゲノム編集技術を用いて機能性成分であるギャバ含有量の高いトマトを開発し、この研究成果をもとに、大学発ベンチャーとしてサナテックシード (株) を設立した。また、植物遺伝子における基礎研究及び植物科学のトランスレーショナルリサーチに関わる研究成果が Scientific Reports 誌、PLOS Genetics 誌、Plant Biotechnology Journal 誌、Plant Cell Reports 誌等に掲載されるなど、高インパクトな研究成果を発信したほか、センター教員が関わる論文として、55 報 (うち 50 報が国際学術誌) を発表した。

さらに、T-PIRC 附属施設農場において、農林水産省「知」の集積と活用による革新的技術創造促進事業として「高付加価値野菜品種ごとに適した栽培条件を作出できる AI-ロボット温室の開発」が採択されており、平成 30 年度にはその研究用温室 5 棟が完成し運用を開始した。本施設では、本学で開発されたトマト新品種も含めたさまざまな高付加価値トマトを商業生産するため、ICT を活用したスマート栽培システム開発を行った。

③ 「共同利用・共同研究体制の強化に向けて」に即した取組状況

- IR 機能の強化として、本拠点の関連学会からの人員を含む運営協議会による外部評価を実施している。また平成 30 年度は拠点の中間評価にあたり、国内外の学術・産学連携団体等からサポーターを受けたことから、この中から International Advisory Board の設置に向けた海外有識者の委員候補者の検討を進めた。

- ・ アウトリーチ活動として、T-PIRC 教員により本学が主催する国際会議「つくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) 2018」(平成 30 年 9 月開催)にて国際シンポジウム (T-PIRC Symposium: Leading University Forum on Plant Resilience and Innovation) を開催した。このほか、国内外の研究者を招いた T-PIRC セミナーを 7 回開催するなど、積極的な情報発信に努めている。
- ・ 拠点独自の形質転換植物試験栽培設備を活用することにより、平成 30 年度は、共同研究課題を 39 件採択し、これまでの年 30 件程度の採択数に比べて大幅に増加させた。

④ 「今後の共同利用・共同研究体制の在り方について」に即した取組状況

- ・ 植物科学研究を推進している他拠点 (岡山大学資源植物科学研究所、鳥取大学乾燥地研究所、琉球大学熱帯生物圏研究センター) と連携し、昨年度、植物研究拠点アライアンスを設立したところであり、平成 30 年度は、アライアンス内での共同研究の推進及び共通機器の相互利用に向けた制度の取りまとめ、共同による大型予算獲得に向けた申請準備を行った。
- ・ 大学の研究交流協定を締結する海外大学・研究機関を活用した国際共同研究ネットワークの構築・共同研究への活用を進めており、遺伝子組換えサトウキビ栽培について、ベトナム国ホーチミン市バイオテクノロジーセンターとの共同研究を開始した。
- ・ 産業界との連携強化のため、遺伝子の構造・機能に関する研究 (基礎・基盤研究) から生産・流通研究 (社会実装研究) まで One-Stop Shop で産官学協働研究を行い、継続的にベンチャー企業を生み出す新たな研究施設 (T-PIRC インダストリアルゾーン) として、研究棟及び遺伝子組換えほ場の整備を行った。今後、温室や研究棟の更なる整備を行い、企業所属研究者の大学への常駐 (平成 30 年度、准教授 1 名、助教 1 名) を促進するとともに、産業界との共同研究事業による資金獲得の増加を目指すこととしている。

5. 産学連携機能の強化とイノベーション創出

◇ 産学官連携の実績及び共同研究増加に向けた取組

○ 他機関等との連携による産学連携の推進

- 平成 30 年 5 月に茨城県庁において、茨城県と本学との間で、つくば産学連携強化プロジェクトに関する覚書を締結した。本締結により、県はプロジェクトに係る費用の一部として 1,000 万円の負担金を拠出、本学はプロジェクトで支援した共同研究について、県が行うベンチャー企業の創出に係る取組との連携などを図ることになった。
- 全国の中小企業が大学の研究シーズを閲覧し、地域を越えた産学連携を可能とする「産学連携プラットフォーム」を平成 28 年度に開始しており、現在までに 12 の大学・国立研究機関が参加し、この産学連携プラットフォームを通じて 14 件の新たな産学連携（共同研究等）がスタートしている。

○ AI を活用した特別共同研究の展開

企業との特別共同研究事業契約を締結し、AI 技術を活用した未来の店舗デザイン及びショッピング体験に関する開発と実証実験の推進を目的とした特別共同研究事業を開始した。人工知能科学センター（C-AIR）との連携により、幅広い学問領域からの視点を取り入れ、企業が持つインターネットビジネス領域における知見や技術を活用することで、複合的な考察に取組むことについて合意された。

○ 産学連携情報発信の強化

- 平成 30 年 7 月に科学技術振興機構（JST）東京本部において、JST の協力を得て「筑波大学新技術説明会」を開催した。本取組は、「つくば産学連携強化プロジェクト」の成果公開の一環として、平成 21 年度に開始して以来これまで 9 回開催しており、今回は「医療・福祉」・「情報」分野から 7 課題の技術について、企業からの連携・ライセンス相談を行いながら提案を行った。
- 平成 30 年 8 月に東京ビッグサイトで開催された「イノベーション・ジャパン 2018～大学見本市&ビジネスマッチング～」に出展し、大学等シーズ展示コーナーにおいて、教員 4 名の研究成果を展示し、マッチングを図ったほか、大学組織展示コーナーでは「未来社会工学開発研究センター」を展示し、企業と大学の連携モデルとして発信を行った。
- 本学が保有する特許について、利活用の促進を図るため、平成 30 年 9 月に「国際産学連携本部 YouTube チャンネル」を開設し、国際産学連携本部が企画した動画や特許をわかりやすく紹介した「特許インフォグラフィックス」などの配信を開始した。
- 本学主催の国際シンポジウム「つくばグローバルサイエンスウィーク（TGSW）2018」において、「産学連携による持続的発展に向けたイノベーションの創出（Innovation for the Sustainable Development by Industry-University Collaboration）」をテーマにセッションを実施した。
- 平成 31 年 3 月に東京キャンパス文京校舎において第 1 回筑波大学産学連携シンポジウムを開催した。人文社会、体育、芸術、情報、医学まで、産業界との新たな連携に向け、マッチングイベントとして、ポスター展示により本学のトピックス 100 件を紹介した。参加者は 172 名に上り、研究内容や産学連携活動をアピールするための有意義な機会となった。

◇ 大学発ベンチャーの活躍

○ 各種受賞実績

- 平成 30 年 6 月に、めぶきフィナンシャルグループである常陽銀行と足利銀行が開催するビジネスプランコンテスト「第 2 回めぶきビジネスアワード」で、応募総数 637 件の中から本学発ベンチャーの「PLIMES 株式会社（CEO: 鈴木 健嗣（システム情報系・教授）」が優秀賞に、「アートロン株式会社（代表取締役: 熊田博明（医学医療系・准教授）」が大学発イノベーション賞にそれぞれ選ばれた。
- 平成 30 年 8 月に科学技術振興機構主催の「大学発ベンチャー表彰 2018」において、「ストリームテクノロジー株式会社（代表取締役: 山際伸一（システム情報系・准教授）」が「科学技術振興機構理事長賞」を受賞した。

- 平成 30 年 10 月から 11 月にかけての 3 日間、第 7 回アジアアントレプレナーシップアワード(AEA2018)において、本学発ベンチャーの PLIMES 株式会社(CEO:鈴木健嗣教授)が、IP Bridge 賞並びに 31VENTURES 賞を受賞した。

○ 大学発ベンチャーの情報発信

- 平成 30 年 12 月に、東京キャンパス文京校舎において「第 1 回筑波大学発ベンチャーシンポジウムー新たな成長の時代を迎えてー」を開催し、189 名が参加した。キーンノートとして、本学発ベンチャーであるピクシーダストテクノロジーズ株式会社 CEO の落合陽一氏（図書館情報メディア系准教授）から「新たな時代の産学連携」と題した講演が行われ、本学の特別共同研究事業制度の革新性について紹介した。その後、本学発ベンチャーによるプレゼンテーションが 3 部構成で行われ、14 社の代表が登壇し、起業に至った経緯から、開発技術、資金調達状況や新たなビジネスモデルまで、大学発ベンチャーの活動及びつくば地域が全国有数のスタートアップ発祥地域であることをアピールする機会となった。
- 本学発ベンチャーは累計 140 社となり、平成 30 年度の資金調達が 50 億円に急拡大した。

○ 実践的なアントレプレナー教育の実施

(P11 「◇社会人受入の拡充など社会的ニーズに対応した取組」に記載)

◇ **産学官連携を推進するためのマネジメント強化等に関する取組**

- 本学の学際性を活かした組織的な連携体制の構築を進めており、民間企業で現場のトップを経験した人材を産官学共創プロデューサーとして迎え、企画・マネジメント機能の確立を目指している。産学官連携における費用負担の適正化・管理業務の高度化に向けた取組として間接経費の割合を検討するとともに、共同研究費拡大による資金獲得に努めている。
- 企業研究開発投資の呼び込みを目的に、連携手法として拠点型共同研究拡大により、企業研究開発投資を拡大するために①企業の研究開発拠点の設置拡大②組織対組織連携に向け企業トップと構想する大型テーマ拡大③大型化を促進する規制改訂：ストックオプション制度、調達迅速化④大型投資を呼込む企業で実績を持つマネジメント人材の確保による産学共創プロデューサー組織(オープンイノベーション機構)の創設に向けて取組んだ。これらの取組により、平成 30 年度の民間企業との共同研究は約 17 億円となり、大型の共同研究の割合が増加した。

◇ **中期計画で設定した主な数値や指標等の現状値**

【中期計画-35 関連】

(千円)

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値 (決算ベース)
間接経費・ 知財収入	平成 24 年度比 100%増 (106,928)	約 224%増 (173,061)	約 229%増 (175,854)	約 379%増 (255,924)

【中期計画-36 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
共同研究件 数	平成 24 年度比 70%増 (約 528 件)	約 52%増 (472 件)	約 66%増 (516 件)	約 74%増 (542 件)

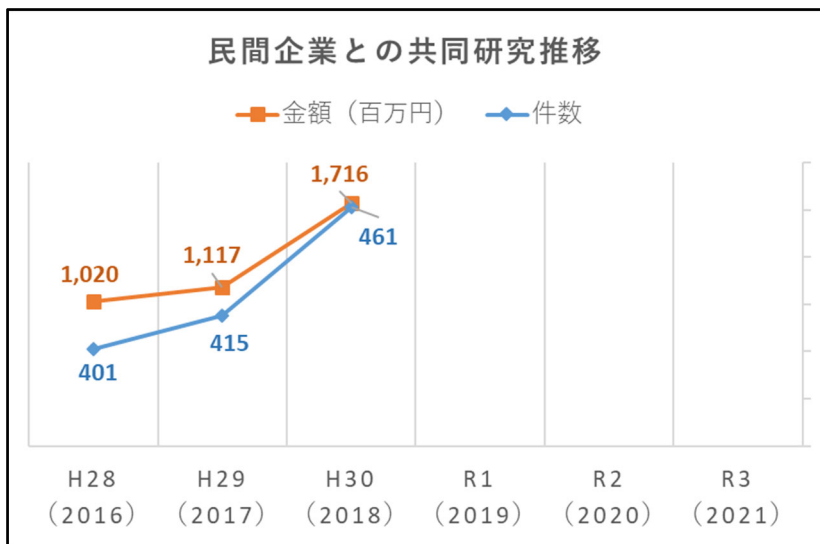
<平成 30 年度産学連携関係実績>

- 民間企業との共同研究
件数 461 件 (平成 24 年度比 187% (246 件))
受入額 17 億 1,584 万円 (平成 24 年度比 447 % (3 億 8,377 万円))
- 海外民間企業との共同研究 (平成 30 年 12 月現在)
件数 5 件 (平成 24 年度比 83 % (6 件))

受入額 58,780 千円 (平成 24 年度比 938% (6,264 千円))

- ・ 特別共同研究事業
件数 11 件 受入額 2 億 5,488 万円
- ・ 特許権実施収入額 3,547 万円 (平成 24 年度比 278% (1,276 万円))

<共同研究のうち、特に伸びが顕著な民間企業との共同研究の推移>



6. 社会との連携・地域貢献の推進／知的成果の幅広い社会還元

(産学連携関連についてはP19「産学連携機能の強化とイノベーション創出」において記載)

◇ オリンピック・パラリンピックに向けた取組

○ ボランティア養成の取組

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等へ向け、大規模なスポーツ大会を運営するにあたり、障害の有無に関わらず、観客や選手の方々に対応できるボランティアが社会的に求められていることから、多くの学生が障害者スポーツのボランティアや障害者支援に携わり、生涯にわたって「共生社会の形成」に積極的に参画することを図り、次のスポーツボランティア養成に関する取組を実施した。

- ・ 国際スポーツボランティア育成セミナーを文京区等との共催で推進した。「筑波大・神田外大国際スポーツボランティア人材育成プログラム」、「筑波・文京国際スポーツボランティア人材育成プログラム」、「筑波・文京ボランティア育成セミナー」と題して、計7回を開催し、参加者総数424名がセミナーを修了した。内容は、オリンピックの歴史や精神、おもてなしマナー、障害者競技体験、外国人とのコミュニケーションなどであり、参加者からは好評を得た。
- ・ 他機関と連携して次のボランティアに関するセミナーを実施した。
 - ・ スポーツボランティア育成プログラム、スポーツボランティア育成セミナー（台東区と共催）
 - ・ 7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座（神田外語大学、慶応義塾大学、上智大学、東京大学、立教大学、早稲田大学と共催）
- ・ 学内のボランティア養成科目を次のとおり実施した。
 - ・ 基礎講座（春98人、秋122人受講）
 - ・ 実践講座（春32人、秋17人受講）
 - ・ スキルアップ講座（春8人、秋9人受講）
 - ・ オリンピック・パラリンピックボランティア説明会（7回）
 - ・ 課外活動団体への説明会（6回）
 - ・ ボランティア登録説明会（2回）
- ・ 受験生のための筑波大学説明会においてボランティア募集のチラシ配付等を行った。この結果、320名の者が本学の大学コードを用いて登録した。

○ オリンピック・パラリンピック理念に基づく教育研究及び情報発信

- ・ つくば国際スポーツアカデミー（TIAS）では、次代の国際スポーツ界・スポーツビジネス界を担う、オリンピック精神を体得したグローバル人材の育成を目指し、大学院修士課程レベルの教育プログラムの開発及び提供を行った。
- ・ 国際オリンピック委員会（IOC）認可のオリンピック研究センターとして設立したオリンピック教育プラットフォーム（CORE）では、スポーツ庁の委託を受けて、附属学校教育局、附属学校群と協力して、おもてなし講座やインクルーシブ教育といったオリンピックやパラリンピックの理念を普及するための教育プログラムを全国に展開した。
- ・ 附属学校群11校の児童生徒及び一般参加者を対象とした「共生社会を目指すスポーツ交流とシンポジウムの集い」を平成30年12月に開催した。パラリンピアン講演、パラリンピック競技種目（ボッチャ）や附属坂戸高校で開発中のアダプテッドスポーツ※の体験など交流の機会を設け、300名を超える参加者を得て、今後の共生社会の在り方に関する情報の発信となった。

※性別や年齢、体力やスポーツ経験の有無に関わらず誰でも気軽に参加できるようルールや用具を工夫し適合（adapt）させたスポーツ

◇ 地域貢献の推進及び知識・成果の幅広い社会還元

○ エクステンションプログラムの実績

- ・ 本学及び筑波研究学園都市発の高度で先駆的な研究・教育等の成果の集大成を社会に還元することを目的として、産官学各分野で活躍されている研究者や著名人を講師陣に迎え、最先端研究や実践、文化への理解、経営など、その場でしか聞くことの出来ない最新の課題に焦点をあてたプログラムである「筑波大学 STEAM リーダーシッププログラム」を実施した。本プログラムは、社長が考える社長候補、経営企画層の若手、ベンチャー企業や将来的に組織を担う人材 8 名を対象に実施した。(受講料：350 万円)
- ・ このほかキャリア・プロフェッショナル養成講座等、合計 19 件の講座を開設し、延べ 582 名の受講者を受入れ、受講料収入 44,000 千円を達成した。

(参考) 昨年度実績：講座数 14 件、受講料収入 30,000 千円

○ つくば 3E フォーラムの推進

筑波研究学園都市のネットワーク強化による省エネルギー・低炭素の科学都市構築に向けた取組である「つくば 3E フォーラム」の活動では、平成 31 年 1 月に第 12 回となる「つくば 3E フォーラム会議」を開催するなどの活動を行った。会議では、「SDGs 中の 3E」をテーマとして、民間企業の方の基調講演や研究者等による事例発表、自治体関係者も加えたパネルディスカッション等を行い、昨年度より多い約 120 名の参加を得た。また、平成 30 年 10 月につくば国際会議場で開催された第 17 回世界湖沼会議では、フォーラム内に設置したバイオマススクフォースが取組んでいるアクアポニクス（水耕栽培と水産養殖を掛け合わせた次世代の循環型有機農業）に関する環境教育教材の展示を行った。

○ 公開講座の実績

剣道、バレーボールなどの公開講座（56 講座、1,626 人受講）、『つくばキッズメディカルユニバーシティ 2018』～小学生対象の医療現場体験ツアー～、2019 茨城国体に向けたジュニアアスリートへのメディカルサポート、つくさか地域食育支援プロジェクト ～食と協働の学習支援～などの社会貢献事業等によりスポーツへの参加機会、健康増進への意識づくりを提供するとともに、様々な人とコミュニケーションをとれるスキルやダイバーシティを受入れる感覚、個を活かす強力なユニットで動ける力を備えたグローバルな感覚をもったインクルーシブ社会の担い手を創出することを目指し、なないろサッカーフェスタ、なないろスポーツフェスタ等の実施によりアダプテッドスポーツへの理解を深めた。

○ 中央図書館における特別展の実施

中央図書館において 10 月から 11 月まで、特別展「グローバルに挑む群像 -幕末から明治へ-」を開催した。本特別展は、幕末・維新时期から明治前半期を中心に、グローバルな世界に挑戦した人々の姿を附属図書館所蔵の貴重資料から取り上げ日本近代のあり方を考えていくもので、「明治 150 年」を記念する本学における取組の一つとして開催し、学内外から 2,080 名が訪れた。また会期中にはギャラリートークが 4 回開催されて延べ 99 名の参加があり、広く注目を集めた。

○ アスレチックデパートメントの設置

本学では、大学スポーツ振興の全国的議論が本格化する以前から、大学における競技スポーツを組織的にマネジメントするアスレチックデパートメント（AD）の必要性を学内外に発信するとともに、全国に先駆けて AD を設置した。

これにより、運動部の会計の透明化と責任所在の明確化、学生アスリートの学業充実、安全・安心の確保、競技力向上、大学における競技スポーツに関する情報発信による大学の価値向上、大学スポーツの産業化による地域経済の活性化等への貢献が期待される。

平成 30 年度は、男女バレーボール部、男女ハンドボール部及び硬式野球部が AD に参入し、AD 専属のアスレチックトレーナーを採用して附属病院とも連携した学生アスリートの健康管理を行っている。その結果、硬式野球部で熱中症が大幅減、男子ハンドボール部でケガによる離脱者なしで関東リーグ制覇など、ケガや体調不良者の減少により安全・安心を優先しながら試合成績の向上にもつながっている。

<附属病院による地域医療への貢献>

- ・ 外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）の認証取得に向けて、書面審査及び平成 31 年 4 月の訪問調査及び書面調査に必要な整備を行った。また、附属病院内における表示板の多言語化等を行い、多くの外国人研究者が居住する研究学園都市に位置する医療機関として、医療サービスを外国人が安心・安全に享受できる体制構築を図った。
- ・ 地域医療教育センター等（地域臨床教育センター、地域臨床教育ステーション等を含む。）の教育・研究機能の拡充のため、新たに県内 11 箇所目となる地域医療教育センターを自治医科大学と合同で開設した。他大学との合同によるセンターの設立は初のケースである。また、12 箇所目となる新たな地域医療教育センターの開設を決定し、平成 31 年度（令和元年度）より茨城県内において入院治療まで一般的な保健医療を提供する二次医療圏（9 箇所）に地域医療教育センター等が設置されることとなった。
- ・ 救急・災害医療拠点機能の強化策として、「高次救急センター」を新たに設置するとともに、平成 28 年度に作成した事業継続計画（BCP）の改定を行った。高次救急センターは、合併症を有する患者や難治症例を 24 時間体制で受入れ、第 3 次救急医療機関でも対応困難な重症救急患者を受入れることを目的とした院内医療施設として新たに設置したものである。これまで、茨城県内には高度救命救急センターとして認可された施設がなく、合併症や複数診療科・多職種スタッフのマンパワーを要するケースは本学附属病院が対応してきたが、今後「高次救急センター」を新たに整備・運用し、各救命救急センター・救急病院とのスムーズな患者連携やバックアップ機能を担うことにより、茨城県内の救急医療体制のさらなる充実と救急医療施設の効率的な運用の促進を図っていく。

<附属学校による地域貢献活動の推進>

○ 地域との連携

地域の教育委員会との連携体制については、4 自治体教育委員会（文京区・世田谷区・目黒区・茨城県大子町）との間で運営組織が構築され、活動を行った。

地域の教育委員会と連携した教育研究活動は、平成 30 年度は 26 自治体において行われた。教育委員会における委員会に附属学校教員が委員として参加し、公立学校における児童生徒の学力向上に関する検討に助言を行った。教育委員会開催の研修会・公開講座に附属学校教員が講師として参加し、附属学校における教育研究成果を踏まえた講義を行った。

地域の幼稚園・学校、住民との連携した活動では、幼稚園・学校との園児・児童生徒の交流活動、学校への講師派遣、特別支援教育に関する相談支援活動、住民対象の公開講座・講演会（約 50 回）、スポーツスクールを附属学校群全校で行った。

附属学校における研究発表会や研修会・講習会には、日本全国から多数の学校教員（附属学校全体で 2,000 名以上）が参加した。

7. 附属病院機能の強化

7-1. 質の高い医療人育成及び臨床研究の推進

○ 医療人材育成に向けた取組

- ・ 茨城県内の若手医師を欧米等の臨床現場に派遣し、研修を重ねて高度な技術を習得し、国際感覚と地域医療への使命感を持ち合わせた高い倫理観の優秀な人材を育成することを目的として、「茨城県グローバル人材育成プログラム」を実施し、平成30年度は8名（平成29年度7名）を派遣した。
- ・ 臨床技能トレーニングの安全性確保のための人体の構造と機能を再現したシミュレータやバーチャル教材でトレーニングを行うシミュレーション教育について、シミュレータの移設等を進め、利用頻度の高い若手医師の利便性を高めたことにより、平成30年度の利用実績は、利用件数257件（平成29年度215件）、利用者数延べ6,000名（平成29年度延べ5,959名）となった。
- ・ 令和2年度に予定されている厚生労働省の臨床研修制度の大幅な見直しに伴い、必修科目増加などに対応した新規プログラムの作成を完了した。臨床研修プログラムでは73名（平成29年度67名）の研修医の採用を内定し、また、専門研修プログラムでは111名（平成29年度98名）の専攻医の採用を内定した。
- ・ 一般社団法人日本専門医機構の専門医共通講習として認定された、医療安全、感染症対策、医療倫理等に関する講習を実施し、受講者に対する修了証を発行する体制を整えた。また、医療保健福祉分野に関わる専門職における多職種連携について講習会の定期開催を開始した。さらに、全国の国立大学に先駆けて実施している看護師特定行為研修については、前後期合わせて22名（平成29年度17名）が受講し看護師のスキル高度化を図るなど、高度医療人の育成に向けた各種プログラムの一層の充実を図っている。

○ 新たな医療技術の研究・開発

- ・ BNCT※装置の性能向上を図る再設計などが完了し、臨床試験の実施が可能な性能に達したと評価したため、平成31年度（令和元年度）からの皮膚がん等の医師主導治験に向けて非臨床試験を開始し、漸次臨床試験に進むこととしている。
※ BNCT (Boron Neutron Capture Therapy) : ホウ素中性子捕捉療法 : がんに取り込まれやすいホウ素化合物を使用し、がん細胞を選択して破壊する新しい治療法。
- ・ 未来医工融合センターにおいては、ロボットスーツ HAL による脳卒中患者の歩行障害の新治療を目指した医師主導治験その他の臨床研究を実施している。また、ドライビングシミュレーターの研究では、脳卒中やてんかん患者から取得したデータの分析結果が「国土交通省自動運転プログラムガイドライン ASV-6」に反映されることとなった。加えて、センシング技術を使用したウェアラブルデバイスの臨床研究を開始した。
- ・ 新たな医師主導治験として、ロミプロスチム臍帯血移植（平成30年8月）及びアテゾリズマブ膀胱癌温存療法（平成30年11月）をそれぞれ開始した。平成28年度以降これまで4件が開始され、さらに次年度において1件開始予定である。
- ・ 高度化された次世代型陽子線治療装置の導入可能性調査を実施し、複数のグループから本事業への参加に関心がある旨の回答を得た。

○ 共同研究の実績

つくば臨床医学研究開発機構（T-CreD0）における平成30年度の共同研究の受入件数は28件、受入金額は157,943,993円であった。前年度と比較すると、受入件数200%（前年度14件）、金額337%（前年度153,551,988円）と大幅に増加している。

7-2. 質の高い医療の提供及び開発

○ 健康増進等に向けた取組

- ・ スポーツ医学・健康科学センターにおいて、延べ3,122人に対してアスレティックリハビリテーションを実施したほか、高齢の肥満者や生活習慣病者、サルコペニアを有する者に対する3次元加速度訓練による骨格筋訓練等を実施した。

- ・ 人間ドックの安定的な運用に向け、平成 30 年 10 月から営業日を週 3 日から週 4 日に拡大するとともに、平成 31 年 1 月からは利用率の高い脳ドックの検診枠を週 1 日 4 枠から週 2 日 6 枠への拡大を実施した。その結果、受診者数は目標の 800 人を上回る 836 人となり、前年度と比較して 212 名、約 34%増加した。また、自治体等助成団体との契約については、新たに、3 自治体及び 4 人間ドック代行会社と契約するとともに、既契約団体については、積極的に訪問するなど広報活動を展開した。

○ 附属病院による地域医療への貢献に向けた取組

(P22 「6. 社会との連携・地域貢献の推進／知的成果の幅広い社会還元」に記載)

7-3. 継続的・安定的な病院運営

○ 診療指標及び経営指標について

- ・ 診療指標としては、県内唯一の特定機能病院として 7 対 1 看護体制は維持しつつ、手術人数の増加 (9,087 人→9,217 人) を達成した。また、高次救急センターを設置して救急医療拠点機能を強化したことにより、救急車搬送患者の受入数が増加 (3,941 人→4,071 人) した。
- ・ 経営指標としては、臨床指標の向上による診療単価の上昇 (外来：21,563 円→22,635 円、入院：88,461 円→90,944 円) に伴い、病院収入金額は前年度実績を 6.4 億円上回る約 329.1 億円を達成した。
- ・ 支出については、▲2.1 億円 (医薬品・診療材料購入価格の見直し▲1.7 億円、後発医薬品への切替え▲0.3 億円、外部検査委託費の削減▲0.1 億円) のコスト削減を達成した。
- ・ 収入増に伴う医薬品等診療材料費の増加、老朽化した医療機器の更新及び病院機能強化に向けた投資及び人事院勧告を準用した給与引上等の特殊要因により支出額も増加しているが、コスト削減の取組により前年度実績から約 11.8 億円増加した約 328.9 億円の支出に止めることができ、4 期連続の黒字化を達成した。
- ・ 抗菌薬適正使用の教育・啓発等を行うため、抗菌薬適正使用支援センターを設置し、抗菌薬の適正な使用の推進を行った。
- ・ 平成 31 年 1 月に実施した ISO9001:2015 再認証(更新)審査の結果、再認証となった。

8. 附属学校教育の充実

8-1. 教育課題の解決に向けた研究の推進

○ グローバル人材育成システムの構築

附属 11 校の協力体制の下に、「社会の要請に基づく、国際的視野を持った基礎学力の修得や生涯学習体系の基礎モデルとなる先導的な初等・中等教育拠点の形成」を目標に、将来構想の基本方針として、先導的教育拠点・教師教育拠点・国際教育拠点を掲げて取組んでおり、平成 30 年度は以下の取組を行った。

- ・ 四校研（筑波大学、附属小・中・高等学校の教員で構成する研究会）を中心に各教科・教科外のグローバルな素養を育てるカリキュラム開発を行い、平成 28～30 年度の研究成果を報告書にまとめ、公表した。附属学校教育研究発表会では、四校研の成果に、附属特別支援学校の配慮事項、SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校の附属坂戸高等学校、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校の附属駒場中・高等学校の内容も加え、本学附属学校群のグローバルな素養を育てるカリキュラム開発として研究発表を行った。
- ・ 本学とハワイ大学が協働開発した高校生のためのフィールドワークに基づく探求型学習プログラム「筑波-ハワイ大学 STEMS2 プログラム」で、平成 31 年 3 月にマウイ島（ハワイ島での自然災害により場所を変更）において高校生研修を実施した。

○ インクルーシブ教育モデル開発

- ・ 附属特別支援学校 5 校の協働により、各特別支援学校の専門性をもとに、特別支援教育に限らず全ての教育活動場面において活用できる教材と指導法に関するデータベースを公開しており、360 件の教材が掲載されている。データベースのコンテンツの翻訳や効果が顕著な教材教具を随時追加するなど充実を図った。さらに、平成 30 年 9 月及び平成 31 年 3 月に特別支援教育に関するセミナーを開催し、新たに開発した教材教具をポスターで発表したりパンフレットを配布するなど、今後のデータベース活用に向けた広報活動にも取り組んだ。
- ・ 附属学校群の普通学校と特別支援学校の児童生徒が 2 泊 3 日の共同生活を通して相互理解と交流を促進することを目的として、平成 30 年度まで 4 年間継続してきた「黒姫高原共同生活」の実績をもとに、新たに平成 30 年 8 月に神奈川県三浦市で 1 泊 2 日の「三浦海岸共同生活」を実施した。附属中・高等学校、駒場高等学校、坂戸高等学校、聴覚特別支援学校及び久里浜特別支援学校の児童生徒 28 名が参加し、マリンスポーツや物づくりなどの体験や寝食を共にすることを通じて障害者理解に関する意識向上を図った。

8-2. 大学及び附属学校間の連携強化

附属学校群では、教育・研究・運営等に関する事項を審議するため、各附属学校及び附属学校群全体で各種委員会等を設置し、定期的を開催している。

大学と附属学校の連携による研究活動については、大学の教員、学群生、大学院生、留学生及び理療教員養成施設の学生が附属学校群をフィールドとして研究を行い、研究成果を各学校に還元している。さらに一部の附属学校では、大学教員、附属学校教員、学生等が参加した研究会を開催している。また、附属学校教育指導教員と全附属学校の教員が参加するプロジェクト研究をはじめ、他大学も含めた大学との連携による研究活動を実施している。

大学と附属学校の連携による教育活動については、附属学校における教育研究活動の成果を踏まえ、大学教員による附属学校での授業、附属学校教員による大学での授業が相互に行われた。

その他、附属学校 7 校で介護体験等も含めた教育実習が行われ、500 名（うち約 4 割は他大学学生）の学生が参加した。また、他大学の教員による授業や助言活動、海外大学からの視察、学群生や大学院生の附属学校授業見学も行われた。

8－3. 地域との連携、社会貢献活動の推進

(P22 「6. 社会との連携・地域貢献の推進／知的成果の幅広い社会還元」に記載)

8－4. 附属学校の体制・機能の見直し

附属学校教育局教育長による附属学校群訪問を行い、各学校の意見や要望を聴取した。今後、附属学校将来構想検討委員会などにおいて整理の上、実施可能な事案は着手していく。また、同委員会において、機能的な統合を目指して各学校の強みや特色などの中・長期的な戦略の具体的な内容について引き続き検討する。

また、「教員需要の減少期における教員養成・研修機能の強化に向けて（平成29年8月29日報告書）」において、早急に対応すべきこととされている「成果の追跡と深化」に関し、附属学校や附属学校教育局が開催する研究大会・研究発表会などの参加者を対象として事後の活用状況などを調査・分析するため、9月に調査項目を決定し、その後、メールマガジンの配信とともに、登録者への追跡調査を開始した。

一. 業務運営の改善及び効率化に関する特記事項

◇ 年度計画を上回って実施したと考える取組の注目すべき点・成果等

○ 大学戦略室による経営的な観点からの中長期の大学戦略についての検討と情報ガバナンス機能の強化【計画-51 関連】

- ・ 大学戦略室を改組する形で設置された大学経営改革室は、大学戦略室による答申内容を踏まえつつ、次なるステップとして、今後の社会変化その他の本学を取り巻く環境の変化を見据え、10～20年後にも本学が世界的な大学間競争に参加しうる大学として存続し、その教育研究がさらに発展するために、将来の経営基盤強化のための具体的な方策や大学経営を強化するうえでの必要な要件などについて提言をまとめることをミッションとしている。このため、室員構成でも、教職協働体制であることに加え、より具体的かつ多面的な検討を行うため、企業経営者やマーケティング専門家といった外部有識者を加えている。平成30年度は、計4回の全体会議及びメール等による作業を通じ、検討を進めた。会議における議論だけでなく、各室員においては方策の検討、意見照会に対する回答をはじめとした作業を対応したほか、室員とは別の外部有識者に第三者意見を伺い、国内外の大学等の現地視察調査、リカレント教育に係る市場調査などを企画・実施した。
- ・ 定量的評価指標を用いた教育研究組織評価の結果等に基づき、学長と部局長（系長）との対話の場を設け、部局長の評価について適切に運用した。
- ・ 平成30年度末でサーバ更新を迎える「IR情報共有サイト」について、関連部局と協議し「大学作成情報マネジメントシステム」と連携を図りながらデータの共有・利用のための体制を構築する方向で検討を行い、情報の一元化に向け環境を整えた。

○ 先進的で特色ある全学的な研究組織マネジメント体制の構築【計画-51 関連】

本学では、「学長のリーダーシップの下、大学運営と各組織における教育研究等の諸活動の活性化に資する適正な体制の整備・活用を行う（中期目標23）」としており、この目標達成に向けた中期計画51において、長期的な視点等からの大学運営のための体制構築や評価の学内資源配分等への反映を掲げている。これに伴い、教育研究活動の活性化に資することを目的に、研究組織のマネジメント体制の強化を図るため、大学に「文化」として根付いている教・教分離体制を最大限活用し、大学の研究全体の新陳代謝（ターンオーバー）を活性化させる、より緊張感のある「研究循環システム」の構築を図っている。平成30年度には、国内の大学では類を見ない全学的な研究組織マネジメントの取組として、研究センターを機能別（先端研究センター群、研究支援センター群）に分類した上で、先端研究センター群については、R1：世界級研究拠点、R2：全国級研究拠点、R3：重点育成研究拠点、R4：育成研究拠点（リサーチユニット）として級別の認定を行い、それぞれの級に応じた重点的かつ戦略的な資源配分を可能とする体制を整備した。

なお、当該見直しにより、5つの研究センターの廃止や所掌の見直しによる他部局への移管などを実施し、これらにより生み出された学内資源を戦略的に活用している。

また、研究組織に位置づけられるR1～R3の研究センターについては、5年毎の評価（3年目に中間評価）により入れ替えが行われるPDCAサイクルを構築（研究センターの活動状況によっては廃止もありうる）しており、平成30年度には評価要項骨子を作成するとともに、今後の評価の肝となる各研究センターの活動計画書を学長が機構長である研究戦略イニシアティブ推進機構において審議し、当該計画の深化を図るなど、全学的な研究組織マネジメント体制の充実を図った。

さらにこの体制のさらなる深化を図るため、平成30年度には国際共同利用・共同研究拠点等の世界最高水準の拠点形成を恒常的に可能とする体制の構築を検討し、当該組織整備に必要な資源を確保している。具体的にはR1（世界級研究拠点）として一定の評価を受けた研究センターを平成31年度（令和元年度）に新たに創設される全学的組織である世界展開研究拠点形成機構（仮称）に位置づけ、学内資源の重点配分、学内研究戦略総合特区（仮称）、本学の研究資源の戦略的活用等による総合的な支援を図ることとした。

○ 年俸制や混合給与を活用した人事給与制度に関する取組【計画-53 関連】

- ・ 年俸制教員業績評価対象者205名に対して業績評価を行い、その評価結果を年俸に反映した。年俸制適用教員の比率については、第3期中期計画において平成33年度までに30%とすることをKPIとして設定していた（平成27年度末時点では24.2%）が、平成30年度末時点で32.3%に達し、すでにKPI設定値を上回っている。平成30年度のみで年俸制適用教員比率は約2%増加している（平成29年度末30.3%→平成30年度末32.3%）。

- ・ 混合給与制度のクロスアポイントメントシステム適用教員については、第3期中期計画において平成33年度までに平成27年度比で倍増させることをKPIとして設定していた（平成27年度末時点では8名）が、平成30年度末時点で33名に達し、KPI設定値を大幅に上回っている。また平成30年度には、クロスアポイントメントシステムの適用範囲を新たに民間企業にまで拡張することとし、同年10月から2名について同システムの適用を開始した。さらに、ハイブリッドサラリーシステム適用教員については、平成27年度末時点で1名に対し、平成30年度末時点で14名と大幅に適用を拡大した。

○ 情報セキュリティ強化に向けた取組【計画-57 関連】

情報セキュリティの更なる徹底に向け、以下のとおり情報セキュリティマネジメントの強化を図った。

(1) 情報セキュリティに係る規則の運用状況

- ・ 情報の格付け及び取扱制限に関する規程に基づき、取扱実施状況調査を実施
- ・ 平成29年度に全面改定した情報の格付け関連規程等に基づく情報の取扱い及び UTOS（筑波大学オンラインストレージシステム：University of Tsukuba Online Storage）利用の促進を、説明会開催、通知、利用者サポート環境整備等により推進
- ・ 本学の情報セキュリティ状況等に基づきセキュリティリスク評価を実施し、情報セキュリティ対策基本計画の後期計画（平成31年（令和元年）～令和3年）を策定

(2) 個人情報や研究情報等の重要な情報の適切な管理を含む情報セキュリティの向上

- ・ 学生、教職員を対象としたeラーニング（INFOSS情報倫理）を推進。学内講師による本学状況を踏まえた、教職員及び学生、また、システム管理者を対象としたセミナーを開催。
- ・ 全教職員を対象とした標的型攻撃メール訓練を2回実施。
- ・ キャンパスネットワーク上の全グローバルIPアドレスに対する脆弱性診断を定期実施。
- ・ 国立情報学研究所と協力しながら学内から学外への監視を実施するとともに、次期キャンパスネットワーク整備に関するWGを組織し議論を開始。

(3) その他、インシデント対応に係る未然防止、被害最小化や被害拡大防止のための取組及び再発防止策の実施

- ・ 情報セキュリティに係るリスクマネジメントの有効性、情報セキュリティ対策の適切性を検証し、情報セキュリティの改善につながる助言を行うことを目的として、監査室及び情報セキュリティリスク管理室の共同により、平成28年度から情報セキュリティ監査を実施している。平成30年度は、情報セキュリティに対する組織的な取組状況、物理的及び環境的セキュリティ管理状況、情報システムの運用管理やアクセス制御状況、情報セキュリティインシデント対応体制状況等の項目について、4つの部局情報環境委員会に対してヒアリング及び書面による監査を実施し、問題点の有無等について確認するとともに、情報セキュリティの改善若しくは高度化に繋がる助言・提言を行った。

上記の取組により、制度面と設備面の双方で情報セキュリティマネジメントの徹底による実質化を図ることができた。特に、制度面で「情報の格付け及び取扱制限に関する規程」の運用を開始し、法人文書の機密性に応じた取扱いが徹底されたほか、設備面で、学外への機密情報持ち出し防止のためのクラウド型オンラインストレージシステム「UTOS（University of Tsukuba Online Storage）」の運用を開始したことにより、教職員及び学生の情報セキュリティに係る意識向上が図られた。

また、本学で初めて実施した「標的型攻撃メール訓練」においては、未開封率が、初回の83.4%から2回目98.1%に向上しており、教職員の意識に、情報セキュリティの徹底が着実に浸透していることが結果として表れている。

◇ その他に特記すべき事項

○ ダイバーシティの実現に関する取組【計画-55 関連】

- ・ LGBT等に関する相談体制整備の必要とされたことから、学内各組織の一層の連携（守秘義務内での事例の情報共有）を図るため、キャリアカウンセラー等を中心に専門的なセミナー等を実施した。
- ・ 任意団体「work with Pride」が策定した企業・団体等におけるLGBTなどの性的マイノリティに関する取組の評価指標において、大学初となる昨年度の「GOLD」受賞に続き、「PRIDE指標2018」においても「GOLD」を受賞し、他大学だけではなく、企業をもリードする取組として高く評価された。
- ・ 「大学執行部と共に女性研究者の研究環境を考える会」を開催し、女性研究者の研究活動やワークライフバランス、キャリア等に関する現状と課題等について議論を行い、組織との連携体制について検討を行った。

○ 業務システムの整備・高度化による業務の効率化・合理化【計画-59 関連】

- ・ 教育情報システム (TWINS) を更新し、10 月から運用を開始した。また、TWINS 及び関連システムとの連携強化に向けて、到達度評価システムのプロトタイプを利用した改善点の抽出と仕様策定を実施した。
- ・ 電子図書館システム (TULIPS) の更新について、モバイル向けインターフェイスの拡充、検索機能の高速化等を更新し、平成 31 年 3 月から運用を開始した。
- ・ 一貫したデータ管理を実施するため、研究者情報システム (TRIOS) と大学教員業績評価支援システム (TESSA) の連携強化を図り、平成 30 年 7 月から運用を開始した。

○ 「働き方改革」につながる業務の効率化、業務改善に向けた取組

(1) 職場環境等の整備

長時間労働の是正に向けて、組織単位での時間外勤務状況データをもとに各組織の現状について情報交換を行った上で、今後大学として必要な取組についての意見交換を行った。平成 31 年度 (令和元年度) 以降、平成 30 年度に意見交換した内容をもとに、引き続き検討を行うこととしている。

(2) 事務効率化推進の実例

- ・ 採用 3 年目までの職員を対象とした人材育成重点期間職員振返り研修において発表された業務改善に繋がるアイデアについて、関係組織及び業務改革推進本部作業部会において実現に向けて検討を行った結果、避難訓練時のやさしい日本語での案内実施、引継ぎ時のチェックシート掲載など提案内容の一部については実際の業務に反映させることができた。
- ・ 学内各所で作成される電子データの所在情報やそのデータに掲載されている項目、管理者の情報等を収集蓄積し、それらの情報の網羅的な探索を可能にした学内専用システム「リソースファインダー」を構築し、運用を開始した。これにより、各部局等における調査業務や資料作成等の負担軽減を図った。
- ・ 大学本部等事業場の過半数代表者選出における電子投票の導入により、投票所の設営、受付、開票等の作業を省略することができた。加えて、投票結果の即時判明、手作業による票数の数え間違い防止、遠隔地に勤務する職員の投票の利便性向上等の効果が得られた。
- ・ 扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当等の諸手当について、電子申請を導入し、事務処理の効率化を図った。
- ・ 附属図書館において、教員を対象とした公費文献複写等の料金の共通経費化を、平成 29 年 11 月から試行した。これにより各部局等での文献複写に係る集計業務や予算振替業務が不要となり、業務の軽減化を図ることができた。平成 30 年度の利用状況検証を踏まえ、平成 31 年度 (令和元年度) からの本実施が決定した。

(3) 人材育成の取組

- ・ グローバル人材育成を推進するための各系支援室の良好な取組等を共有する SD セミナーを 5 回、危機管理セミナーを 2 回実施し、本学におけるグローバル化への取組や事務系職員の海外研修の成果を共有した。
- ・ 主任及び係長級昇任時の職員を対象とした階層別研修において、本学が目指す国際性の日常化の更なる意識拡大を図るため、これまでの放送大学科目履修に加え、TOEIC 受験 (目標 500 点以上) を選択肢として取り入れた。

◇ ガバナンスの強化に関する取組について

○ 学長のリーダーシップの確立

副学長の業務について円滑かつ多角的に遂行することを目的として、学長が必要と認める場合における副学長補佐の数の定めについて、従来では原則 2 人以内とし、学長が必要と認める場合に 4 人以内とすることができるとしているところを、学長が必要と認める場合の上限を撤廃した。

○ 学長の選考・業績評価

学長選考会議において、毎年、学長からの業務実績報告の説明と質疑応答により業績評価を行い、評価結果を学内外に公表している。

平成 30 年度においては、学長の再任審査の時期でもあるため、複数回の学長選考会議を開催し、当該年度だけでなく、現任期中の業績調書や所信表明書等に基づき、面談 (プレゼンテーション及び質疑応答) を行い、再任を決定した。

○ 監事の役割の強化

法人法等の改正による監事の監査機能の強化を受けて、本学では、平成 27 年度から監事による重要文書の調査及び監事への重要事項の報告に関する制度を運用している。これは、監事による監事監査が有効に機能し法人業務の適正性の確保に資するため、中期計画や財務諸表等の認可・承認申請などのほか、リスクマネジメントや内部統制など法人の業務運営に大きな影響を及ぼすおそれのある事項全般について、監事に対する確実かつ十分な情報伝達がなされることを担保する制度であり、例えば重要文書の場合には、法定会議等への付議に先立ち、監事が担当組織から対面により事案の説明を受けた上で、内容の相当性や意思決定プロセスの適法性などを調査し、必要に応じて助言・提言を行っており、制度の実効性が保たれた運用とすることで、監事の日常的な監査機能の実質的な強化に繋げている。

○ 経営能力のある教職員の育成

- 平成 30 年度から設置した大学経営改革室は、10～20 年後にも本学が世界的な大学間競争に参加しうる大学として存続し、その教育研究がさらに発展するために、将来の経営基盤強化のための具体的な方策や大学経営を強化するうえでの必要な要件などについて提言をまとめることをミッションとしている。室員の構成については、教職協働体制であることに加え、より具体的かつ多面的な検討を行うため、企業経営者やマーケティング専門家といった外部有識者を加えており、副次的効果として本学の将来を担う経営人材の育成にも寄与するものである。
- 管理職を補佐する体制を強化するとともに各組織におけるネクストリーダーを育成し、組織運営における意思決定に多くの女性が参画する環境を構築する趣旨から、系、博士課程研究科等の組織の長の補佐、ダイバーシティマネジメントの取組を職務内容とする特別補佐を設置し、主に女性の教員を配置することについて決定した。

◇ 中期計画で設定した数値や指標等の現状値

【中期計画-53 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
若手教員	25%	21.4%	20.6%	20.1%
女性教員	20%	18.2%	18.2%	18.5%
外国人教員	10%	7.0%	6.9%	6.7%
年俸制適用教員	30%	28%	30.3%	32.3%
混合給与適用教員	平成 27 年度比 倍増 (18 名)	18 名	26 名	47 名
(うちクロスアポイントメント)	16 名	16 名	19 名	33 名
(うちハイブリッドサラリー)	2 名	2 名	7 名	14 名

【中期計画-55 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
女性管理職	20%程度	14.7%	12.5%	13.8%

二. 財務内容の改善に関する特記事項

◇ 年度計画を上回って実施したと考える取組の注目すべき点・成果等

○ 附属病院の安定的な経営に関する取組【計画-63 関連】

- ・ 附属病院再開発事業（病棟 B 改修）の計画の見直しにより概算要求を行い、平成 30 年 10 月の附属病院施設計画委員会において要求水準書の確定を行った。平成 31 年度事業政府予算案として認められたため、平成 31 年 1 月に事業者募集公告を行った。
- ・ 附属病院における対収益 1 %以上の黒字確保に向けた重点施策として、年度当初及び上半期実績後の 2 回策定して全職員対象の運営方針説明会、各種会議等で周知した。フォローアップは診療科別の粗利額・率と併せて各指標毎に各種会議等で報告するとともに、人的（医師）・物的（病床）資源配分時における評価指標として活用している。これらの収入確保及びコスト削減の取組等により見込まれる黒字を原資として、医師等医療従事者の増員、医療機器の購入拡大や、手術室の増室整備再稼働など、病院機能のさらなる強化に向けた投資を実施しつつ、4 期連続の黒字を達成した。
- ・ 平成 29 年度決算を基礎値とし、将来的な外的リスク及び病院再開発に要する経費等も反映した中長期財務シミュレーションを策定した。なお、当該シミュレーションは毎年度の決算結果を踏まえて見直しを行うこととしている。
- ・ 予防医学研究センター及びスポーツ医学・健康科学センター等の自立化事業について、定期的に収支状況を作成して院内で情報共有するとともに、収支改善に向けた取組を実施している。具体的には予防医学研究センターで行う人間ドックの営業日を週 3 日から週 4 日に拡大、及び需要の高いオプション検査（脳ドック）枠を拡大するなど、収支改善に向けた施策を行った。

○ 財政維持を勘案した戦略的な教員配置の取組【計画-64 関連】

- ・ 人件費の効率的な運用を推進するなかで、本学は、各部局の強みをさらに強化しつつ新分野を開拓すべく、大学の戦略と学長のリーダーシップの下で各部局に承継教員人事ポイントを競争的に配分する 2 種類の制度を運用している。そのひとつである「全学戦略ポイント」は、外部資金で雇用されている優秀な若手教員の承継化、研究力強化に資する若手・女性・外国人承継教員の採用促進、国際テニユアトラック助教の採用等のための人事ポイントを、競争原理のもとで大学本部が部局に配分するものとして平成 28 年度より運用している制度である。平成 30 年度は、当該制度により、大学本部から部局に 16 枠相当のポイントを配分決定した。
- ・ もうひとつの制度が、平成 29 年度より運用されている「戦略的分野拡充ポイント」である。本制度は学長裁量経費を原資として、新たな研究分野開拓等のための教員配置を行う人事ポイントを、競争原理のもとで大学本部が各部局に機動的に配分するものである。平成 30 年度は、本制度により、大学本部から部局に 22 枠相当のポイントを配分決定した。これら 2 種類の制度で配分決定した計 38 枠相当のポイントは、平成 30 年度に本学で行われた承継教員採用人事の 50%に相当する。
- ・ また、平成 30 年度は、国立大学改革強化推進補助金を活用したポイント配分の前倒し方策の策定や、若手・女性・外国人教員の雇用促進に優れた実績を示した組織への人事ポイントの追加配分方策の策定等を行い、戦略的分野拡充ポイント制度の機能強化を図った。
- ・ さらに、教育研究力強化の支援、国際化、業務の多様化・高度化等に対応するために、事務系職員の戦略的な再配置を行う「事務系戦略枠」により、学長のリーダーシップのもとで 11 枠を競争的に配置した。

○ 会計業務の一元集中化による合理化の実現【計画-65 関連】

契約業務等の一元集中化に伴う業務マニュアルの整備や財務会計システムの運用改善などの 15 項目にわたる見直しについて効果を検証した結果、支払書類の適正化や不正防止体制の強化など、業務の質の向上が図られたとともに、業務作業時間についても削減が図られたことを確認できた。

業務作業時間の削減が図られた主な項目は以下のとおり。

- ・ 財務会計システムの利用方法及び作業工程の改善
- ・ 請求書受理印の省略に伴う業務の簡素化

上記の業務作業時間の削減について、非常勤職員の年間業務時間に換算すると、年間約 2.5 人分の作業時間（約 4,000 時間）に相当し、人件費に換算した場合、620 万円の削減効果があった。（当初予定していた平成 30 年度までの削減予定額 7,280 万円を上回る 7,720 万円の削減効果となる）

また、予算の早期執行に向けた取組として、私金立替払いの運用厳格化を実施したほか、旅費業務における省

力化を図るため、RPA (Robotic Process Automation) による財務会計システムへの入力作業及び帳票出力について試行的に一部導入した。

○ 事業の存廃に係る意思決定の明確化【計画-65 関連】

エビデンスに基づく意思決定システムの確立に向け、事業の存廃などを評価するシステムについて、学副懇談会において4件の試行を行った。当初計画では、試行を踏まえて様式を作成し、平成31年度(令和元年度)以降の法定会議へ導入することを想定していたが、より実質的なシステムとして学内に周知・運用していくため、インプット・アウトプット数値の様式や手順などを取扱要項として定め、平成31年度(令和元年度)からの法定会議における本格実施を決定した。

◇ **施設マネジメントに関する取組について**

(P54 「その他業務運営に関する特記事項」に記載)

◇ **その他に特記すべき事項等**

○ 外部資金獲得のための体制強化【計画-60 関連】

- ・ URA 研究戦略推進室、研究推進部、国際産学連携本部/産学連携部、財務部の組織間連携、及び、URA、技術移転マネージャー、事務職員の職種連携により、本学研究シーズの政策等へのマッチングを強化した。また、申請書改善支援、ヒアリング支援、配分機関との公募説明会の開催などを通して、公募型研究資金の獲得支援活動を実施した。
- ・ 研究担当副学長のもとに設置した、URA 研究戦略推進室、研究推進部、国際産学連携本部/産学連携部、財務部の連携による「外部資金獲得コアチーム」により、重点課題の獲得支援を実施した。また、企業や行政機関等、学内外のステークホルダーから本学の研究へのアプローチを高めることを目的とした研究の見える化の試行を実施した。

○ 学生への新たな経済支援モデルの策定【計画-61 関連】

- ・ 博士後期課程の学生に係る RA (リサーチ・アシスタント) 制度の充実・強化として、間接経費が1件当たり1,000万円以上(文科省の科研費において、審査分野が人文社会系であるものは500万円以上)の外部資金について、以下のとおり実施した。

対象プロジェクト：9プロジェクト

配分 RA 支援経費計：9,288千円

- ・ 住民税非課税世帯の学群生に対し、授業料の全額免除を実施した。
- ・ 新たな経済支援の枠組みとして、未就学児を養育する学生に対し、安心して学業に専念できる経済支援「育児支援奨学金」を創設し、実施した。
- ・ 授業料を含めた本学全体の維持・運営に係る経費の今後の在り方等について「受益者負担の在り方検討プロジェクトチーム」を平成30年12月に設置し、検討を開始した。

○ 大学の多様な活動を支える基金の整備・運用等【計画-62 関連】

(P47 「財務基盤の強化に関する取組について」に記載)

○ 土地・施設の有効活用【計画-66 関連】

- ・ 吾妻2丁目職員宿舍敷地をアリーナ事業候補地とすることについて平成29年12月21日役員会で決定し、学内関係者による検討会議においてアリーナ推進に向けて検討を行った。
- ・ 常盤台宿舍整備を含めた土地の有効活用に関するタスクフォースを設置し、現設置戸数6棟140戸に対する必要戸数の見直し、集約化、空いた敷地に民間活力を導入した事業等について検討を行った。サウンディング調査結果を踏まえ、事業の収益性や実現性についてさらに検討を進める。
- ・ 春日地区における宿泊等複合施設整備事業については、事業契約の締結に向けて、平成31年2月に入札公告を行った。

- ・平成30年12月～平成31年2月にかけて、用途廃止及び用途廃止予定の職員宿舎9敷地について、単身・独身用宿舎の整備を含めた土地活用の可能性等、民間事業者等との対話によるサウンディング型市場調査を実施した。3月に現地調査を実施し、サウンディング結果を施設部内で取りまとめた。
- ・附属病院における患者利便性の向上を図ることを目的としたコンビニエンスストア、カフェ、理容室、薬店等に移設するアメニティモールの設置について、平成30年2月に事業契約を締結し、平成30年10月に工事期間中における土地の財産貸付契約を締結した。

○ 多様な財源を活用した整備手法による整備【計画-67 関連】

- ・スペースチャージ制度により約47百万円、公募スペース施設使用料41百万円により研究室及び実験室の空調機整備を行い、教育研究環境の改善を図った。
- ・民間事業者の資金及び経営能力等を活用した事業として、筑波キャンパス南地区内に、学生や教職員等の福利厚生と利便性の向上を目的とした小規模店舗を整備するため、民間事業者と平成30年4月にショッピングプラザ事業契約を締結した。この契約に基づき、民間事業者の資金による建物整備を行い、ショッピングプラザ(SAKURA TERRASSE：サクラテラス)の運営を10月から開始した。
- ・企業からの資金獲得に努めた成果として、物納寄附により次のとおり教育研究施設等の整備を行うことができた。
 - ・つくば機能植物イノベーション研究センター農場部門（温室2棟）
 - ・ショッピングプラザ（屋外サイン、外灯、インターロッキング・境界ブロック・石敷、芝生）

<ショッピングプラザ(SAKURA TERRASSE：サクラテラス)>



◇ **財務基盤の強化に関する取組について**

- 「国立大学経営力戦略」（平成27年6月：文部科学省）等を踏まえ、大学の自主財源を多様化し財務基盤の強化を図るため、「人事戦略」、「外部資金獲得戦略」及び「収益的事業の展開」の3つの柱からなる収支構造改革を目的とした「第3期中期目標期間における経営力強化方策(平成29年3月23日役員会決定)」を策定し、実現に向け取組んでいるところ、平成30年度における実績は以下のとおりである。

(1) 人事戦略

- ① 教員のポイント見直しや事務系職員の配置見直し等により、410百万円（目標：377百万円）を見直した。
- ② 「戦略的分野拡充ポイント」を活用した配置については、65名に達した。（対前年度：25名増）
（※内訳：教員抜擢昇任人事制度3名、機能強化経費の効率的活用8名、新分野開拓・後任不補充解消54名）
- ③ 「全学戦略ポイント」を活用した配置については、48名に達した。（対前年度16名増）
（※内訳：卓越研究員4枠、国際テニュアトラック11枠、若手人材支援11枠、研究力強化22枠）

- ④ クロスアポイントメントシステム等の一層の推進により、適用教員等は53名に達した。(対前年度27名増)
 (※内訳：クロスアポイントメント33名、ハイブリッドサラリー20名：目標18名の約3倍に増加)

(2) 外部資金獲得戦略

- ① 数値目標全体では、受託・共同研究、寄附金などの増により、前年度実績(11,273百万円)を上回る12,479百万円(目標14,312百万円)を獲得した。また、教育・国際関係等を含む外部資金全体で15,097百万円を獲得した。
- ② 平成31年2月に外部資金で運営するテラーメイドQOLプログラム開発研究センターを設置した。
- ③ 国立研究機関と共同研究を実施する「つくば産学連携強化事業」において、さらに茨城県からも支援(10百万円)が得られた。
- ④ 全学を対象とする企業とのマッチングの機会として「筑波大学産学連携シンポジウム」を平成31年3月に開催し、140社を超える企業等の参加があった。本学の研究内容や産学連携活動をアピールし、産業界との連携を推進している。

(3) 収益的事業の展開

- ① 数値目標全体では、クラウドファンディングやエクステンションプログラムなどの増により、前年度実績(1,858百万円：財産処分収入951百万円を除く)を上回り、2,079百万円を獲得(目標2,057百万円)した。
- ② クラウドファンディングは、5事業合計29百万円を獲得(目標：25百万円)した。
- ③ エクステンションプログラムは、19講座合計54百万円を獲得(目標：30百万円)した。
- ④ 広告掲載料は、「学食トレイ」を使用した広告掲載事業契約を締結し、年間1百万円を獲得した。
- ⑤ 基金事業は、「創基151年筑波大学50周年記念基金」を創設し、教職員の給与控除による寄附を開始した。また、附帯事業では「ショッピングプラザ(SAKURA TERRASSE：サクラテラス)」をオープンした。
- ⑥ 熊本県、玉名市、和水町及び南関町とのスポーツ等を通じた地域経済の活性化に関する連携協定を締結し、「嘉納治五郎・金栗四三 特別展」を実施した。
- ⑦ 土地等の有効活用については、「春日地区における宿泊等複合施設整備」の事業化を決定するとともに、本学が保有する職員宿舎の土地活用の可能性等について「土地等の有効活用に関するサウンディング型市場調査」を実施した。

- 資金運用商品の範囲を拡大して運営資金(自己収入)の増収を図るため、国立大学法人法第34条の3における業務上の余裕金の運用にかかる認定申請(第2関係)を行い、平成30年10月に文部科学大臣より認定された。これを受け、規則の改正等を行い、新たに円預金(元本償還通貨特約型)及び社債の運用を開始するなど、運用商品を拡大し、昨年度に比べて10百万円の増額が図れた。また、次年度の資金運用計画においても、更なる運用益の増額を見込んでいる。

◇ 中期計画で設定した数値や指標等の現状値

【中期計画-60 関連】

KPI	目標値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値
共同研究件数	平成24年度比 平成29年度に 50%増 (約466件) 平成34年度に 倍増 (622件)	約52%増 (472件)	約66%増 (516件)	約74%増 (542件)

三. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する特記事項

◇ 年度計画を上回って実施したと考える取組の注目すべき点・成果等

○ 定量的評価指標を用いた組織評価の実施【計画-68 関連】

- ・ 定量的評価指標を中核として実施した組織評価について、学群については学類単位（学科相当）、大学院については専攻単位又は学位プログラムまで、対象組織を拡大して実施した。加えて、各組織に教育研究の方向性を同じくする他大学等の組織（ベンチマーク）を設定し、各種指標での本学の現状値とベンチマークした他大学の組織の数値との比較結果を共有の上、教育研究の活性化に向けた議論を行った。組織評価における対話は、執行部と各組織の長との間で実施しており、対象組織の拡大に伴い、対話日程も拡大（2日間8時間→4日間21時間）した。ベンチマークの設定を新たに実施したことにより、設定にあたっての各組織内での議論や、組織評価での執行部との対話による議論を通じて、各組織における教育研究の方向性の共有及び目標の明確化を図ることができた。
- ・ 組織評価結果に基づく予算配分について、重点研究センター及び共同利用・共同研究拠点を新たに対象組織として配分を行った。また、定量的評価指標の見直しも含めた改善を図り、平成31年度（令和元年度）は一部定量的評価指標を変更することが決定した。

◇ その他に特記すべき事項等

○ 電子ジャーナル等の整備【計画-69 関連】

平成31年度（令和元年度）以降の電子ジャーナル等整備方針に基づき、30,000タイトル以上の電子ジャーナル及びデータベースを整備した。これらには平成31年度（令和元年度）より新たに全学的整備対象としたものも含まれており、学術情報基盤を安定・強化することができた。

○ 世界的な教育研究拠点としての戦略的な広報活動【計画-70 関連】

東京キャンパスの立地を活かし文京区と連携し、東京キャンパスにおいて、本学の教員の監修による参加体験型学習プログラム（実験、工作、観察、ワークショップなど）「ちょこっと探究クラブ」を実施した。また、サテライトオフィス・つくば市交流サロンにおいて、「NHK大河ドラマ「いだてん」展」の展示を開催した。

また、平成30年11月に東京キャンパスにおいてマレーシアのマハティール首相に対する名誉博士号授与式を行った。国内外から複数のメディアが取材に訪れ、大きな広報効果が得られた。

○ 筑波大学アーカイブズの設定【計画-71 関連】

- ・ 延べ19の組織から439点の法人文書ファイル等の移管を受入れるとともに、延べ7名の寄贈者から2,196点の文書等の寄贈を受入れた。
- ・ 筑波大学50年史資料編の編纂準備として、アーカイブズ所蔵資料の「評議会議事録等」、「年次報告書」、「規則等原議」等のデータ化を行った。

◇ 中期計画で設定した数値や指標等の現状値

【中期計画-71 関連】

KPI	目標	実績
公文書館（アーカイブズ）を設置	平成30年度までに設置	平成29年4月に公文書管理法に定める「国立公文書館等」として指定

四. その他業務運営に関する特記事項

○ 危機管理体制の強化に関する具体的方策【計画-72 関連】

大規模災害発生時における関東・甲信越地区国立大学法人等間の連携・協力に関する協定書（平成30年5月締結）に基づく担当事務連絡会議を主催（平成30年9月）し、事業継続計画（BCP）に関する情報交換及び意見交換を行った。さらに他大学を訪問して、早期復旧に向けた取組や事業継続計画（BCP）の策定状況について調査を行った。これらの調査の結果、危機管理体制の強化として、自然災害（大地震）を想定した大規模災害発生後の安全確保及び大学が行うべき業務の特定、復旧体制等をリスクマネジメント基本計画の下に、筑波大学業務継続計画（BCP）を第一版として策定し、会議及び教職員専用サイトにて周知した。平成30年度筑波地区防災訓練（平成30年11月実施）において、「つくば市における研究機関等緊急時連絡対応方針」に基づき、つくば市との被災状況報告訓練を実施し、緊急時の連絡体制の確認を行った。また、大規模災害発生時の相互支援体制の構築に向けて、つくば市（科学技術振興課、危機管理課）と連携方法等について継続的に協議を重ねていくこととした。

◇ その他に特記すべき事項等

○ 安全管理・事故防止に関する具体的方策【計画-73 関連】

- ・ 安全衛生に関する実践的科目を学士課程及び大学院課程合わせて4科目開設した。さらに、大学として学生・教職員が身に付けるべき安全衛生に関する教育のうち、講演会・説明会では身に付けることができない教育課程の中で身につける安全衛生に関する実践的教育について、アンケート結果を全学で共有し、教育課程編成を進めることとした。
- ・ 衛生管理者のスキルアップを図るため「耐震固定」をテーマとした研修会を実施したほか、外部講師による「安全衛生管理者の心構えと労働安全衛生に関する事業者の責務」と題した特別講演会を開催した。さらに、既存の巡視用マニュアルについて、オートクレーブ及び遠心分離機に関する項目の追加等の見直しを行い、衛生管理者による職場巡視の質の向上を図った。
- ・ 薬品・高圧ガス管理システムの登録データ（一部）を利用して、毒劇物の保管状況等に関する調査検討を行った。これをもとに毒劇物の適正管理を全学で適用させるための手法を策定した。さらに、平成31年度（令和元年度）は特定毒物の調査や棚卸の調査等を実施して更なる検証を図る。

◇ 法令遵守（コンプライアンス）に関する取組について

○ 情報セキュリティ強化に向けた取組

（P39 「情報セキュリティ強化に向けた取組【計画-57 関連】」に記載）

○ その他の取組

＜障害者差別解消法への対応＞

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」及び「筑波大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、全教育組織にダイバーシティ・アクセシビリティ担当教員を配置し、連携を密にしながら障害のある学生等に対する合理的配慮の提供を行っている。また、主に教職員を対象とした「障害学生支援懇談会」を2回開催し、支援事例の情報共有に努めた。

＜安全管理・事故防止＞

学生及び教職員の連携により防犯体制を整備強化するとともに、学生の防犯意識やモラルの向上を図るため、前年度の事件・事故の分析結果をもとに、全学生を対象とした防犯・法令遵守に関する啓発冊子（セーフティライフ）を更新した。なお、新入生のフレッシュマン・セミナーにおいても注意喚起を行っている。また、学内関連組織と情報共有を図り、留学生を対象としたオリエンテーション（英語対応）において、日本における生活習慣や防犯等について注意喚起を行っている。

＜水質汚濁防止法に基づく対応＞

水質汚濁防止法に基づく「特定施設」の届出について、行政への届出状況の管理徹底を図るため、ドラフトチャンバー等の特定施設を記載した「棟別平面図」を平成29年度に教職員専用サイトへの公開を行った。この「棟別平面図」に基づき、届出内容と施設の実態について調査したところ、届出されている施設が既に廃棄されてい

るなど、一部の事態にかみ離があったため、改めて現場調査を実施し実態把握を行い「特定施設使用廃止届出書」等を提出した。また再発防止のため利用者に対する説明会を3回実施した。

◇ 施設マネジメントに関する取組について

(1) 施設の有効利用や維持管理（予防保全を含む）に関する事項

- ・ 全学的観点から戦略的に柔軟な施設配分を行うために策定した「スペースの流動化・共用化に関する基本構想」に基づき、戦略的な施設の有効活用・配分方策として、新たなスペースの確保に繋げるために「公募スペース運用ガイドライン」を策定し、既存スペースの再配分を実施している。平成30年度の公募スペースは約15,000㎡で、全体の約84%に当たる12,600㎡を競争的外部資金を獲得したプロジェクト研究チームや拠点未整備の組織に配分し、約16%に当たる2,400㎡を耐震改修工事の移転スペース等として活用した。
- ・ 公募スペース運用ガイドラインに基づき、5年を超え継続利用する利用者に対して、継続利用の可否を判定するため、平成30年11月に「点検・評価」を実施し、12月開催の施設・土地委員会において「点検・評価」結果を審議し、継続利用が了承された。
- ・ インフラ長寿命化計画に基づき、これまでの調査等を踏まえた個別施設計画の策定作業に着手し、施設・土地委員会の下にWGを設置し、優先順位の評価項目及び対象施設の調査区分（経過年数・改修履歴・点検結果等）について整理した。

(2) キャンパスマスタープラン等に基づく施設整備に関する事項

- ・ 建物の計画（アメニティの形成）に沿って、6B棟トイレ改修、医学食堂2階トイレ改修を実施した。
- ・ 設備計画（太陽光発電設備）に沿って、1D棟に10KW、1A棟と1H棟に5.5KWを設置した。
- ・ 設備計画（照明設備）に沿って、3C・D棟廊下の照明器具及び中央監視室、2G棟103室、本部棟4階ホール、3K棟4室の各部屋の照明器具をLED器具に更新した。
- ・ 設備計画（空調設備）に沿って、学術情報メディアセンターB408室他、中央図書館、TARAセンターA棟109室、工学系学系F棟835室、生物・農林学系D棟等、総合研究棟B802室他、3D棟311室他を高効率空調に更新した。

(3) 多様な財源を活用した整備手法による整備に関する事項

(P46 「(2)財務内容の改善に関する特記事項」に記載)

(4) 環境保全対策や積極的なエネルギーマネジメントの推進に関する事項

本学において、地球温暖化対策は以前から実施してきたが、地球温暖化対策とエネルギー対策を一体的に取組む全学体制を整備するため、平成29年3月に「筑波大学エネルギー管理規則」を制定し対策を強化した。

この規則に基づき、平成30年度に「環境・エネルギー対策委員会」を設置し、委員である各系長等の働きかけにより、各部局においても省エネ・節電の取組を推進している。

本委員会では、毎月開催される運営会議及び教育研究評議会において「筑波キャンパスCO2排出量・エネルギー使用量実績」として報告を行い、また、教職員専用サイトに掲載する「筑波大学電力情報システム」により電気計量単位のリアルタイム情報を大学の構成員に提供するなど、適正なエネルギーの使用を働きかけてきた。

また、平成30年度に「省エネ・節電行動計画」を夏季と冬季期間用から年間を通じての節電行動計画に変更し、ベース電力の削減を目指している。

(主な取組)

① 「省エネ・節電標語」による省エネ・節電意識の周知

各附属学校の協力により、エネルギー消費量の多い夏季と冬季に小学生が作成した「省エネ・節電標語」を本学ウェブサイトで公表、学内掲示板等への掲示により省エネ・節電の取組を広く周知した。

② 学生による省エネ推進活動の実施

「筑波大学学生人材バンク」を活用し、短期雇用(夏7人、冬6人、計13人)の学生による講義室等の節電確認を行った。その際、簡易温度計付きシールをエアコンのリモコンに貼り、利用者に設定温度以上の利用を控えるよう意識啓発を行った。

③ 連続休暇による光熱費の抑制

夏の冷房期間中に8月13日から16日まで連続して休暇を取得することによって、設備停止や照明等の使用停止による光熱費を削減した。

④ 再生可能エネルギー導入の促進

再生可能エネルギーの拡大として太陽光発電設備等の導入を進めているが、平成30年度には1D棟に10KW、1H棟と1A棟に5.5KWの太陽光発電設備を設置した。

⑤ 高効率機器への更新による省エネ対策

空調設備の更新で、学術情報メディアセンターB408室他、中央図書館、TARAセンターA棟109室、工学系学系F棟835室、生物・農林学系D棟等、総合研究棟B802室他、3D棟311室他を高効率空調に更新した。さらに照明設備では、3C・D棟廊下の照明器具をLED器具に更新した。少額工事で中央監視室、2G棟103室、本部棟4階ホール、3K棟4室の照明器具をLED器具に更新した。

◇ 中期計画で設定した数値や指標等の現状値

【中期計画-73 関連】

KPI	目標値	実績値
安全衛生に関する実践的科目	平成30年度までに4科目開講	学士課程及び大学院課程合わせて4科目開講 ・大学院共通科目「化学物質の安全衛生管理」 ・総合科目Ⅱ「安全衛生と化学物質」 ・総合科目Ⅲ「事例に学ぶ環境安全衛生と化学物質」 ・環境化学リスク論

II 各組織の自己評価と組織評価結果

1 自己評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標・計画

1 グローバル化に関する目標・計画

年度計画-1

- ① 平成 29 年度にユトレヒト大学及びグルノーブル大学を加えて7大学に拡大したキャンパス・イン・キャンパス構想に係る協定大学を1校増やす。
→ 計画を上回って実施している。
- ② グルノーブル大学との間で科目ジュークボックスを活用した履修コースを整備する。
→ 計画を実施している。

年度計画-2

- ① スチューデント・コモンズにおいて、海外留学相談及び情報提供サービスの一層の充実を図るとともに、外国文化週間等のイベントを通して、日本人学生の異文化理解を深化させることにより、日本人学生と留学生の交流を促進し、日本人学生の海外留学への動機づけを強化する。
→ 計画を実施している。
- ② 英語だけで履修可能な教育プログラムを更に拡大するなど、海外からの優秀学生受入れに向けた環境整備を推進する。
→ 計画を実施している。

年度計画-3

- ① 各系支援室に配置されているエリア・コモンズの更なる機能向上を図るとともに、エリア・コモンズのグッド・プラクティス等に係るSDセミナーを4回以上実施し、業務内容の共有と改善を図り、部局における国際交流支援体制を強化する。
→ 計画を実施している。
- ② 英語版作成予定の23の大学院学生募集要項のうち、新たに6募集要項英語版を作成するなど、引き続き主要広報資料及び教務関係重要文書の複数言語化を推進する。
→ 計画を実施している。
- ③ 中期目標・中期計画の英語翻訳を進め、学内外において周知を図る。
→ 計画を実施している。

年度計画-4

- ① 高機能中核海外拠点において、国際協働教育研究の推進に向け、教員の相互派遣等に活用しうる現地とのマッチングファンド研究費の検討・現地との調整を進める。
→ 計画を実施している。
- ② キャンパス・イン・キャンパス事業の本格化に向け、高機能中核海外拠点におけるリクルーティング活動の強化を図るべく、現地留学フェアの開催、現地教育機関等へのプロモーション等を積極的に進める。
→ 計画を実施している。

年度計画-5

- ① つくばグローバル・サイエンス・ウィーク (TGSW)の参加機関、参加者の更なる増加を図る。
→ 計画を実施している。
- ② TGSWにおいて、科学技術、社会変化等に関する筑波研究学園都市の外国人研究者や若手研究者による横断的なセッションを開催する。
→ 計画を実施している。
- ③ 附属病院において、外国人患者の受入れ体制及び院内環境整備の一環として、「外国人患者受入れ医療機関認証制度」(JMIP)の認証を取得する。
→ 計画を実施している。

2 国際的互換性のある教育の実施に向けての目標・計画

年度計画-6

- ① 本学学士課程と同様の組織編成原理に基づき、学校教育法第100条ただし書の規定により置くことができる研究科以外の教育研究上の基本となる組織として、教育を担う組織と研究を担う組織の設置手続を行う。
→ 計画を実施している。

- ② 広報活動をはじめ、新しい教育課程への移行準備を完了させ、新組織への学生受入に向けた入学試験を実施する。
→ 計画を実施している。
- ③ 教育イニシアティブ推進機構を設置し、学位の質保証並びに評価を行う機関としての体制を整備する。
→ 計画を実施している。

年度計画-7

- ① 学群及び大学院学教育会議で承認された方針に基づき、引き続き各教育組織において科目のナンバリングコードの付番及びカリキュラムマップを作成する。
→ 計画を実施している。
- ② 各学位プログラムのコンピテンスを策定し、平成31年度版筑波スタンダードに反映する。
→ 計画を実施している。

年度計画-8

- ① 大学院における新しい教育体制の整備に合わせて、学位の系統を研究学位、専門学位、専門職学位の3系統に整理し、これに基づき各学位プログラムの学位系統を明確化する。
→ 計画を実施している。
- ② 学士課程及び大学院課程の各学位プログラムのディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを一層明確化・体系化し、これに基づき教育課程の点検・見直しを行う。
→ 計画を実施している。

年度計画-9

- ① 初年次に複数の専門分野に触れることにより広い視野を育てることを目的として構想している「Specialty Finding Term教育」の平成31年度開始に向けて、実施体制整備及び実施準備を行う。
→ 計画を上回って実施している。
- ② 教養教育及び総合智教育等の共通教育を推進する全学組織として「高等教育アクティブセンター」（仮称）を設置する。
→ 計画を十分実施していない。

年度計画-10

新たな分野横断型学位プログラムを構想し、平成31年度開設に向けて準備を進める。
→ 計画を実施している。

年度計画-11

- ① 外部の英語能力検定試験として、引き続き TOEFL ITP テストを一元的に実施し、特に第三学年生の受験率向上に向けて、各学群学類の専門語学等の科目との紐付けを進めるとともに、年間複数回実施する。
→ 計画を実施している。
- ② TOEFL ITP テスト以外の外部英語能力検定試験の受験者及び受験結果の把握を進める。
→ 計画を実施している。

年度計画-12

国際バカロレア・ディプロマプログラム（DP）の教育体制の整備を推進するとともに、DP コースと大学院における国際教育修士プログラムとの連携活動計画を策定し実施する。
→ 計画を実施している。

年度計画-13

- ① 教育情報システム（TWINS）、教育課程編成システム（KdB）の更新を完了し、一体的な運用を開始する。
→ 計画を実施している。
- ② 教育改革の工程に合わせ、TWINS 及び関連システムとの連携強化に関する更新仕様の策定を行う。
→ 計画を実施している。

年度計画-14

TA（ティーチング・アシスタント）・TF（ティーチング・フェロー）の業務明瞭化等見直しに基づくハンドブックの改訂を行い、学生の能動的学修を実現しやすい体制整備を進める。
→ 計画を実施している。

年度計画-15

- ① 博士後期課程早期修了プログラムの実施専攻の更なる拡大を図るとともに、履修証明プログラム等の充実方策を検討する。
→ 計画を実施している。
- ② 社会人等に対し適正な対価を徴収するエクステンションプログラムを17件程度実施する。
→ 計画を上回って実施している。

年度計画-16

各形態による共同学位プログラムに関連し、以下を実施する。

- ① 科目ジュークボックスの利用者拡大に向け、Campus-in-Campus 協定を締結した各大学の特徴等を活かした登録科目を拡充する。また、学内留学フェアでの説明や「Go Abroad！」などの学内留学広報誌にも掲載するなどし、周知の拡大を図る。
→ 計画を実施している。
- ② 国際基督教大学（ICU）との Campus-with-Campus 協定に基づき、本学学士課程の地球規模課題学位プログラム第1期生（平成29年10月入学）をICUに派遣し、ICUにおいて1年次春学期の学修を進める。
→ 計画を実施している。

年度計画-16の2

- ① 関係大学等との協議により、それぞれのニーズを調査するとともに、状況に合わせた各種プログラム等の企画立案を行う。
→ 計画を上回って実施している。
- ② インターンシップの受け入れ規定等を整備し、受け入れ体制の構築を図る。
→ 計画を実施している。

年度計画-17

本学と研究機関・企業の連携により平成29年度に発足した「レジリエンス研究教育推進コンソーシアム」の参画機関との協働による新たな学位プログラムの開設準備を進める。
→ 計画を上回って実施している。

年度計画-18

- ① グローバル入学者選抜システムの確立に向け、未導入の帰国生徒特別入試に係る Web 出願システムを導入する。
→ 計画を上回って実施している。
- ② 平成29年度に学内で取りまとめた、海外からの優秀な留学生獲得増加に向けた今後の方向性を踏まえ、学士課程でこれまで実施してきた分野横断型英語プログラムである「地球規模課題学位プログラム（学士）」入試や医学群医学類で導入した「海外教育プログラム特別入試」等での国際バカロレア資格（IB）及びアビトゥア等その他の海外教育プログラム修了者を対象とした入学者選抜の実施状況や出願状況等の検証・分析を行う。
→ 計画を実施している。
- ③ 第3期中期目標期間中の実施を視野に外国人学生を対象とする新たな入試制度の検討に着手する。
→ 計画を実施している。

年度計画-19

大括り入試の導入に向け、当該入試に係る入試区分、科目、配点、募集人員及び入試問題等の詳細について検討を行い、決定事項について順次公表する。
→ 計画を実施している。

年度計画-20

- ① 学校教育法第100条ただし書の規定により置くことができる研究科以外の教育研究上の基本となる組織として、教育を担う組織と研究を担う組織をそれぞれ設置する。
→ 計画を実施している。
- ② 既存の教育組織の入学定員を見直すために必要な手続きを行う。
→ 計画を実施している。
- ③ 教育イニシアティブ推進機構を設置し、学位の質保証並びに評価を行う機関としての体制を整備する。
→ 計画を実施している。

年度計画-21

学問の進展や社会のニーズに的確に対応した学位プログラムの展開が可能になるよう、人文社会科学分野、図書館情報学分野などを含めて全学的に大学院の組織の見直しを進める。

→ 計画を実施している。

3 学生の自立性を高めるための支援等に関する目標・計画

年度計画-22

① 本学独自の海外留学支援事業「はばたけ！筑大生」の改善策を引き続き実施するとともに、新たな短期海外語学研修プログラムを開発の上、試行する。

→ 計画を実施している。

② 協定校への交換留学への応募と奨学金申請との連携、情報の共有化を図り、派遣学生の申請に係る負担軽減を図る。

→ 計画を実施している。

③ 「はばたけ！筑大生」による協定校への交換留学支援者数の増加（前年度比 30%増）を図る。

→ 計画を実施している。

年度計画-23

グローバルヴィレッジの全面運用開始に伴い、日本人学生と留学生の交流をより一層促進する方策を検討の上、実施する。

→ 計画を実施している。

年度計画-24

① 多様な学生のキャリア支援の実現に向け、発達障害学生支援プロジェクトの実践・研究成果を基に、発達障害の診断または可能性のある学生に対するアセスメント・支援・評価までのシームレスな支援モデルを構築する。

→ 計画を上回って実施している。

② 外国人学生の日本企業への就職について、支援プログラムを実施する。

→ 計画を実施している。

③ 海外の同窓会ネットワーク（Tネット）を含む、学外同窓組織等との連携を開始する。

→ 計画を実施している。

4 世界トップレベルの研究の推進に向けての目標・計画

年度計画-25

① URA 研究戦略推進室、研究推進部、産学連携部の連携により、顕著な成果につながる可能性のある研究者を発掘するとともに、引き続き重点的な支援を実施する。

→ 計画を実施している。

② 招致期間が終了する2ユニットについて、期間中の業績を評価する。

→ 計画を実施している。

年度計画-26

① 学内の戦略的資源配分等により、R1（世界級研究拠点）、R2（全国級研究拠点）及びR3（重点育成研究拠点）へ、各段階に相応した重点的な支援を行う。

→ 計画を実施している。

② 国際統合睡眠医科学研究機構（IIIS）においては、アジアにおける研究ネットワークの拡大を狙った中国での IIIS サテライトの設立、ビジネスセクターとの連携による知財・ビジネスシーズ活用を推進する。

→ 計画を上回って実施している。

年度計画-27

本学の強みを活かした分野において社会還元に特化した研究を進める開発研究センターによる企業等との共同研究を通じて外部資金の獲得を積極的に推進する。

→ 計画を実施している。

年度計画-28

TIA-nano 方式を一層発展させた連携形態によるイノベーション研究プラットフォームを構築し、研究開発法人、企業研究所、その他の研究機関と協働してイノベーション研究を推進する。

→ 計画を実施している。

年度計画-29

評価のルールを定め、平成 29 年度に確定した級別分類に基づき、R1～R3 毎に、評価に向けた研究センターの目標等を策定する。

※ R1：世界級研究拠点 R2：全国級研究拠点 R3：重点育成研究拠点

→ 計画を上回って実施している。

年度計画-29 の 2

R1(世界級研究拠点)に人事委員会を置き、それぞれの研究戦略に基づく人事を行う。

→ 計画を実施している。

年度計画-30

① 定量的評価指標を中核として実施した組織評価について、学群については学類単位（学科相当）、大学院については専攻単位又は学位プログラムまで、対象組織を拡大して実施する。

→ 計画を実施している。

② 組織評価結果に基づき、引き続き重点及び戦略的経費の予算配分を実施し、検証を行った上で、定量的評価指標の見直しも含めた改善を図る。

→ 計画を実施している。

③ 研究者情報システム「TRIOS」と大学教員業績評価支援システム「TESSA」のシステム間の連携を高め、大学教員業績評価を円滑に実施するとともに、教員のエフォート管理の方策を検討する。

→ 計画を実施している。

年度計画-31

① 学内の戦略的資源配分において、戦略イニシアティブ（SS）等の重点的な支援を実施する。

→ 計画を実施している。

② 5年後の「URA 40人体制」の構築に向けて、配置計画の検証及び見直しを行う。

→ 計画を実施している。

年度計画-32

① 平成 30 年 1 月 1 日時点で 29.7%に達した年俸制教員については、引き続き適用教員の増加を図りつつ、年俸制教員業績評価を的確に実施する。

→ 計画を上回って実施している。

② 混合給与の導入について、研究開発法人等との混合給与制度（平成 30 年 1 月時点で 19 人適用）に加えて、企業等との導入について検証を行う。

→ 計画を上回って実施している。

年度計画-33

研究者情報システム「TRIOS」、機関リポジトリ、大学教員業績評価支援システム「TESSA」、論文受理報告書登録システムのデータベースの連携が構築されたことを踏まえ、ORCID（Open Researcher and Contributor ID）等を利用した研究者情報の効果的な登録方法等を検討する。

→ 計画を実施している。

5 研究の健全化に向けての目標・計画

年度計画-34

研究における不正行為や研究費の不正使用の防止に繋げるため、研究倫理科目として大学院共通科目、専門科目（論文指導を行う特別研究科目）等を必修化する。

→ 計画を実施している。

6 産学連携機能とイノベーション創出に向けての目標・計画

年度計画-35

① 産学官共創プロデュースを担当する専門人材を 3 名配置する。

→ 計画を実施している。

② 技術移転マネージャーの業務評価サイクルを推進することで、民間共同研究費や知財収入につい

て前年度比 20%増加を目指す。

→ 計画を実施している。

年度計画-36

- ① 引き続き世界トップ企業との連携を大学経営に資するべく体制を整備する。
→ 計画を実施している。
- ② 大型の共同研究や特別共同研究事業の件数と共同研究費の増加に向け、包括協定の締結や特別共同研究事業を推進し、平成 24 年度に比べ共同研究件数の 60%増を実現する。
→ 計画を実施している。

年度計画-37

- ① 起業文化醸成や起業に向けた実践的なアントレプレナー教育プログラムとして学士課程に自由科目としてベーシックとアドバンスドに分けて開講している「つくばクリエイティブキャンプ」について、参加者を前年度比 20%増加する。
→ 計画を実施している。
- ② 平成 31 年度の学位プログラム化による総合科目の枠組みの整理に基づき、アントレプレナー教育プログラムの開設科目を検討する。
→ 計画を実施している。

年度計画-38

- ① 筑波研究学園都市内の研究開発法人等との連携により知的財産権に関する事務などを共同で処理するつくば知的財産活用センター（仮称）の設置に向けて、引き続き学内関連組織や学外組織と連携を強化する。
→ 計画を実施している。
- ② つくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）において、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による「橋渡し研究戦略的推進プログラム」採択を受け、つくばグローバル・イノベーション推進機構（TGI）やつくばライフサイエンス推進協議会等との連携を強化しつつ拡充を図る。
→ 計画を実施している。

年度計画-39

- 学内関連組織や学外組織と連携を強化し、保有する特許等の知的財産について、事業化シナリオの作成等による高付加価値化を図り、その活用を推進する。
- 計画を実施している。

年度計画-40

- 世界トップの創薬企業やエレクトロニクス産業を中心に海外企業との連携を拡大し、海外企業との共同研究費について、引き続き前年度比 20%増加を目指す。
- 計画を実施している。

7 筑波研究学園都市を含めた地域との連携に向けての目標・計画

年度計画-41

- ① つくば 3E フォーラムの活動を通じて、筑波研究学園都市の自治体や研究機関等との連携を推進し、環境・エネルギー等に関する社会的な課題に対して、タスクフォースを中心としたプロジェクト及び積極的な社会発信を実施する。
→ 計画を実施している。
- ② 地球温暖化対策とエネルギー対策について、全学体制で一体的に取組を推進する。
→ 計画を実施している。
- ③ 太陽光発電設備等の導入の拡張、空調設備及び照明設備等の高効率機器へ更新を推進する。
→ 計画を実施している。

年度計画-42

- ① 理数分野で特に意欲や突出した能力を有する全国の小中学生を対象に特別プログラムを実施する。
→ 計画を実施している。
- ② オリンピック・パラリンピック教育の一環として、全学を対象としたボランティア養成科目を開設し、特に障がい者への支援に必要とする知識・技能を習得した学生を育成する。
→ 計画を上回って実施している。

8 附属病院に関する目標・計画

年度計画-43

- ① 次世代医療人を育成する一環として、引き続き、若手医師等海外派遣事業と茨城県グローバル人材育成プログラム等の一層の拡充を図る。
→ 計画を実施している。
- ② 高度医療人の育成に向けた各種プログラムの検証・拡充等を行う。
→ 計画を実施している。

年度計画-44

- ① 次世代がん治療（BNCT）の一環として、皮膚悪性腫瘍に対する医師主導治験届提出と治験を実施する。
→ 計画を実施している。
- ② 予防医学研究センターの整備・拡充の一環として、人間ドックの安定運用に向けた予約枠の拡充及び自治体等との契約拡大を図る。
→ 計画を実施している。

年度計画-45

- ① 地域臨床教育センター等の拡充・機能強化を図るとともに、各センターの教育・研究機能の効果測定を行う。
→ 計画を実施している。
- ② 救急・災害医療拠点機能の強化策として、高次救命救急センターを設置するとともに、BCP（事業継続計画）に基づき備蓄品等の整備を進める。
→ 計画を実施している。

年度計画-46

- ① つくば臨床医学研究開発機構（T-CReD0）の人員補強を図り、医療シーズの増加に対応しつつ、筑波研究学園都市等における産官学連携による共同研究を推進する。
→ 計画を上回って実施している。
- ② 医師主導の治験を新たに2件開始する。
→ 計画を実施している。

年度計画-47

- ① スポーツ医学・健康科学センターの機能の整備・拡充による一層の利用者増大を図り、関連する医療サービスの確立に向けた研究を推進する。
→ 計画を実施している。
- ② 未来医工融合研究センターにおいて、筑波研究学園都市内の研究所等との連携による共同研究を推進する。
→ 計画を実施している。

9 附属学校に関する目標・計画

年度計画-48

- ① 附属学校への巡回を通じ助言・指導を行う体制の構築や附属学校群における研究協議会等への参加者への追跡調査の実施などにより、附属学校群の機能強化を図る。
→ 計画を実施している。
- ② ハワイ大学と連携し、従来の理系教育に社会科学などを加えた文理融合型の新しい理系教育（STEMS2）の方法論の開発に向けた検討を進める。
→ 計画を実施している。

年度計画-49

- ① 附属学校群において展開するグローバルな素養を育成するカリキュラムを開発する。
→ 計画を実施している。
- ② お茶の水女子大学と連携し、キャリア教育プログラムの開発を進める。
→ 計画を上回って実施している。
- ③ 体育系の大学院と連携した委員会組織の下、附属学校群におけるオリンピック・パラリンピック教育の一環としてボランティア教育プログラムを改良、発信するとともに、インクルーシブ教育と連動

して、障害者スポーツ活動とパラリンピック教育を推進する。

→ 計画を上回って実施している。

年度計画-50

① 学内外との連携・協働により「教材・指導法データベース」の活用状況について調査、検証を行う。

→ 計画を実施している。

② 附属学校群における各種共同活動、教師による実践研究及び大学との連携活動等の成果を活用した「筑波型インクルーシブ教育プログラム」案を作成する

→ 計画を上回って実施している。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標・計画

1 組織運営の改善に関する目標・計画

年度計画-51

① 学長直轄の大学戦略室を改組再編し、企業経営者等の外部有識者を加えた大学経営改革室を設置し、大学戦略室が策定した答申に基づく大学経営改革について具体の検討を進める。

→ 計画を上回って実施している。

② 定量的評価指標を用いた教育研究組織評価の結果等に基づき、学長と部局長（系長）との対話の場を設け、部局長の評価について適切に運用する。

→ 計画を実施している。

③ 大学作成情報の所在情報等を管理するシステムである「大学作成情報マネジメントシステム」の運用開始に伴い、情報登録の推進や登録ガイドライン策定及び制度化の検討など、環境整備を図る。

→ 計画を実施している。

④ IR等を目的として、関連部署との連携等を通し、情報の統合的マネジメント基盤づくりを推進する。

→ 計画を実施している。

年度計画-52

通常会議、電子会議を含め、年7回程度経営協議会を開催し、機動的で必要に応じた審議の場を設定する。うち、通常形式の会議においては、法定の審議事項以外について幅広い意見交換を行ない、経営協議会学外委員からの多面的な意見を大学運営に反映させる。

→ 計画を実施している。

年度計画-53

① 平成30年1月1日時点で29.7%に達した年俸制教員については、引き続き適用教員の増加を図りつつ、年俸制教員業績評価を的確に実施する。

→ 計画を上回って実施している。

② 混合給与の導入について、研究開発法人等との混合給与制度（平成30年1月時点で19人適用）に加えて、企業等との導入について検証を行う。

→ 計画を上回って実施している。

年度計画-54

本学留学生を活用したパートナー研修を拡大実施し、国際感覚を身に付ける機会を広げ、職員のグローバル化を推進する。

→ 計画を実施している。

年度計画-55

① 学内における更なるダイバーシティの推進・環境整備のため、学内関係部署との連携体制に向けた課題と改善策を検討する。

→ 計画を実施している。

② ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（DACセンター）内における相談体制等の検証と改善を進める。

→ 計画を実施している。

2 法令遵守等に関する目標・計画

年度計画-56

- ① 学内外のコンプライアンス違反事例を収集・検討のうえ、教職員研修での講義を通じてコンプライアンス意識の向上を図る。
→ 計画を実施している。
- ② コンプライアンス違反事例の収集・検証結果や最近の関連法令の改正内容を踏まえて、コンプライアンスマニュアルやコンプライアンスチェックリストを更新・拡充し、全教職員に周知する。
→ 計画を実施している。

年度計画-57

情報セキュリティの更なる徹底に向け、以下のとおり実施する。

- ① 学生・教職員のe-ラーニング及びセミナーによる情報セキュリティ教育の徹底に向けた取組
→ 計画を上回って実施している。
- ② セキュリティ監査の実施
→ 計画を上回って実施している。
- ③ 更新に向けた現キャンパス情報ネットワークシステムの評価
→ 計画を実施している。
- ④ 情報セキュリティ対策基本計画の後期計画策定
→ 計画を実施している。
- ⑤ 情報の盗難・漏えい防止のための総合的な情報セキュリティ対策の本運用実施
→ 計画を上回って実施している。

年度計画-58

- ① 監事による重要文書の調査及び監事への重要事項の報告に関する制度の運用を通じて、監事の日常的な監査機能を強化する。
→ 計画を実施している。
- ② 会計監査人とも連携し、不正が発生するリスクに対する重点的・効果的な内部監査を実施する。
→ 計画を実施している。

3 事務等の効率化・合理化に関する目標・計画

年度計画-59

業務システムの機能整備・高度化の一環として、以下のとおり実施し、業務の効率化・合理化を推進する。

- ① 教育改革の工程に合わせた教育情報システム（TWINS）及び関連システムとの連携強化に関する更新仕様の策定
→ 計画を実施している。
- ② 電子図書館システム（TULIPS）の更新
→ 計画を実施している。
- ③ 研究者情報システム（TRIOS）と大学教員業績評価支援システム（TESSA）等の連携の運用開始
→ 計画を実施している。

III 財務内容の改善に関する目標・計画

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標・計画

年度計画-60

- ① URA 研究戦略推進室、研究推進部、産学連携部の強みを活かして、研究に係る各種政策の立案段階から、概算要求、公募課題設定などの流れに対応した戦略的活動を実施する。
→ 計画を実施している。
- ② 外部資金獲得コアチームを中心として、各組織への外部資金獲得情報提供等を強化する。
→ 計画を実施している。

年度計画-61

平成 29 年度に策定した授業料と奨学金が一体となった経済支援の運用モデルを踏まえ、導入に向けた詳細設計を行う。

→ 計画を実施している。

年度計画-62

- ① 奨学寄附金全体の受入規模を持続的に拡大していくため、大学として、寄附金増額のための戦略的方針と行動計画を策定する。
→ 計画を実施している。
- ② 計画に基づき、恒常的募金活動に代わり、50周年基金活動に特化した活動を開始する。
→ 計画を実施している。
- ③ 附帯事業について、試行結果に基づき、随時本格事業を実施する。
→ 計画を実施している。
- ④ 寄附講座制度及び寄附研究部門制度、特別共同研究事業制度等に分かれている相談窓口・受入窓口の一元化を推進する。
→ 計画を実施している。

年度計画-63

- ① 病棟B改修計画を推進する。
→ 計画を実施している。
- ② 対収益1%以上の黒字確保に向けた重点施策の策定及びフォローアップを実施する。
→ 計画を上回って実施している。
- ③ 施設・設備整備計画を反映した中長期財務シミュレーションを策定する。
→ 計画を実施している。
- ④ 利益確保に向けた投資事業の収支状況等の進捗管理を行う。
→ 計画を上回って実施している。

2 経費の抑制に関する目標・計画

年度計画-64

財政維持を勘案しつつ、以下のとおり実施する。

- ① 教員について、戦略的な教員配置計画に基づき、柔軟かつ機動的な配置を推進する。
→ 計画を上回って実施している。
- ② 事務職員について、組織や職員配置、業務内容を見直し、戦略的に重点配置する。
→ 計画を実施している。

年度計画-65

- ① 平成29年度に実施した契約業務等の一元集中化による効果の検証を踏まえ、最適な組織体制への再編整備を図るとともに、更なる業務の効率化や経費節減を推進する。
→ 計画を実施している。
- ② エビデンスに基づく意思決定システムの確立に向け、事業の存廃などを評価するシステムの導入に向け、試行を実施する。
→ 計画を実施している。

3 資産の運用管理の改善及び施設設備の整備・活用等に関する目標・計画

年度計画-66

- ① 国の規制緩和に応じた取組を踏まえ、職員宿舍敷地等の土地・施設の有効活用等の検討を実施する。
→ 計画を実施している。
- ② 職員宿舍の再開発整備計画を進める。
→ 計画を実施している。

年度計画-67

- ① スペースチャージ制度により専有面積の最適化を図るとともに教育研究環境の維持管理を進める。
→ 計画を実施している。
- ② グローバルレジデンス整備事業を着実に実施する。
→ 計画を実施している。
- ③ キャンパスマスタープランの見直し及びインフラ長寿命化計画(行動計画)に基づく個別施設計画の策定に着手するとともに施設設備の計画的な修繕と維持管理を進める。
→ 計画を実施している。

IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標・計画

1 評価の充実に関する目標・計画

年度計画-68

- ① 定量的評価指標を中核として実施した組織評価について、学群については学類単位（学科相当）、大学院については専攻単位又は学位プログラムまで、対象組織を拡大して実施する。
→ 計画を上回って実施している。
- ② 組織評価結果に基づき、引き続き重点及び戦略的経費の予算配分を実施し、検証を行った上で、定量的評価指標の見直しも含めた改善を図る。
→ 計画を実施している。
- ③ 新たに重点研究センター及び共同利用・共同研究拠点に対しても重点及び戦略的経費の予算を配分する。
→ 計画を実施している。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標・計画

年度計画-69

- ① 平成31年度以降の電子ジャーナル等整備方針に基づき全学に必要なジャーナルを拡大整備し、安定的な学術情報基盤を提供する。
→ 計画を実施している。
- ② 地域への公開事業の一環として、「明治150年」関連施策の推進を受けて、附属図書館資料からみる明治150年をテーマとして特別展を開催する。
→ 計画を実施している。

年度計画-70

- 東京キャンパスの立地を活かして文京区と連携し、東京キャンパスにおける広報イベントを拡大し、より充実した内容で実施することにより、広報活動を推進する。
→ 計画を実施している。

年度計画-71

- ① アーカイブズ機能の充実を図る。
→ 計画を実施している。
- ② 筑波大学50年史編纂委員会の下に設置した専門委員会において、50年史編纂に向けて資料収集等の準備を行う。
→ 計画を実施している。

V その他業務運営に関する重要目標・計画

1 安全管理に関する目標・計画

年度計画-72

- ① 事業継続計画（BCP）策定のため、他大学における大規模災害時の早期復旧に向けた取り組み等を調査する。
→ 計画を上回って実施している。
- ② つくば市等近隣機関と協働して初動対応の訓練を実施する等、大規模災害発生時の相互支援体制について検討を行う。
→ 計画を実施している。

年度計画-73

- ① 安全衛生に関する実践的科目について、これまでに開講した科目の検証結果等に基づき、全4科目を総括する。
→ 計画を実施している。
- ② 学内全域で職場巡視を行う衛生管理者に対してスキルアップを図るため、研修会開催に加え、巡視マニュアルの検討・作成を行う。
→ 計画を実施している。
- ③ 毒劇物の保管状況について、薬品・高圧ガス管理システムを利用して毒劇物を管理している組織等において、実地調査を試行する。
→ 計画を実施している。

2 教育研究組織の評価結果

平成 30 年度活動評価結果報告書

○は優れた取組として高く評価できる
●は改善が必要な取組として今後の改善を求める

1. 系

[人文社会系]

- 西アジア文明研究センターでは、新学術領域研究、基盤研究 (A) (B) (C)、受託研究等を獲得し、現代文明の基層を成す古代西アジア文明の総合的研究に本格的に取り組む体制を確立している。
- タイ王国最高裁判所、日本財団等の外部資金を獲得し、組織的にプログラムを推進している。
- 研究推進室、教育推進室、国際化推進室、社会連携室及び情報化推進室を設置し、室長 5 名のうち 2 名、室員 27 名中 10 名は女性教員を登用し、ネクストリーダーの育成を図っている。
- 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 論文等の研究成果の公表の増加に向けて、一層の努力を期待する。

[ビジネスサイエンス系]

- 系のホームページや各研究グループのホームページを整備することで、研究成果発信の充実を図っている。特に国際経営プロフェッショナル研究グループは、教員の研究活動内容や専攻の主たる活動を WEB サイトに掲載するプロセスを見直し、積極的な対外発信を行うよう努め、毎月数件程度のアップデートを実施している。
- 統計数理研究所、東京大学等他研究機関との連携を見据えて、プレ戦略イニシアティブ支援研究拠点形成ワークショップを 2 回開催し、電力市場、政策形成、データサイエンスに関連する研究報告を実施している。
- 外部資金は増加しているものの更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。

[数理物質系]

- 各域から若手教授 1 名ずつを選定した総合政策室において系の研究力強化など、系が有する問題に関する議論を行い、若手教員の意見を入れた系の運営を心掛けている。
- 富士電機パワーエレクトロニクス寄附講座、トヨタ自動車・デンソーパワーエレクトロニクス寄附講座の第三期（令和元年度から令和 3 年度）を実現している。
- TIA の枠組みを活用しつつ、（民間の参加する）協働大学院の開設を模索している。
- FWCI の高さは高く評価できる。
- 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。
- 女性教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。

[システム情報系]

- 「若手教員のための共有業務支援者プロジェクト」として秘書担当者を希望若手教員に割り当てるなど、若手の研究環境整備を推進している。
- トヨタ自動車との共同により設置した「未来社会工学開発研究センター」を継続的に運営すると共に、同社との共同研究「次世代社会システムとモビリティのあり方研究」を推進し、その成果を産業競争力懇談会(COCN)における平成29～30年度の推進テーマ「地域社会の次世代自動車交通基盤」として実施している。
- イクボス・コンペ昼食会を実施し、女性教員や若手教員とベテラン教員が意見交換を行い、そこで提起された課題についてベテラン教員が対応を考える試みを実施している。
- 女性教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。

[生命環境系]

- 科研費以外の政府機関からの研究資金の獲得額が8.5億円を超え、第2期中期目標期間終了時点(約2.8億円)と比較して3倍以上増加している。
- 系の教職員掲示板を刷新し、研究資金、輸出入管理、安全管理、コンプライアンスなどに関する情報へのQuick Links(日本語と英語)を作り、これらの情報を得やすくするよう工夫している。
- 部局URA2名体制で、プレアワード業務や教員の資金獲得につながる種々の活動のサポートを行っている。

[人間系]

- オハイオ州立大学との研究・教育交流を推進している。
- 系所属教員が中核となって申請、採択されたプレ戦略イニシアティブ課題を推進し、若手教員主導で新しい学術領域の創成に向けての学際共同研究を支援している。
- 人間系英語論文校閲経費支援及び英語論文投稿・掲載経費支援プログラムを立ち上げ、教員の査読付き英語論文の投稿・発表を奨励した結果、査読付き英語論文が大きく増加している。
- 若手教員は増加しているものの更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。

[体育系]

- 株式会社ドームとの包括的連携協力に関する協定による公式戦ユニフォームの無償提供等の運動部サポート、日本版アスレチックデパートメント・モデルの構築に関する共同研究を通じて、アスレチックデパートメント発足及び運営に貢献している。
- 指定国立大学法人の申請要件である受託・共同研究収益、寄付金収益、特許権実施等収入が大きく増加している。
- 英文論文の増加に向けて、一層の努力を期待する。

〔芸術系〕

- 大手民間企業との共同研究を継続しつつ、国際産学連携本部と綿密な連携体制をとることによって、過年度からの受託研究も継続的に獲得している。
 - 平成 29 年度まで採択された文化庁委託事業「Fine Art Universiade」の経験を活用した美術分野の若手教員により、国内外の芸術系・美術教育系大学が連携した学生のキャンパス・アーティスト・イン・レジデンスプログラムを実施し、国際的な研究力の発信につなげている。
 - 部局 URA と協力し、研究活動の活性化を図るために、国内の芸術系大学および研究組織との比較評価に活用できる指標「Art University 11」（仮称）の設定を検討している。
 - 若手教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔医学医療系〕

- オミクス解析に必要となる個人情報に該当する大規模データを扱う上で必要な生体認証システム、監視カメラなどを備えた「医学医療系大規模データ管理室」を整備している。
 - Summer Research Program を行い、世界 20 か国から 300 名の応募があり参加者のレベルが向上している。また、参加した学生の大学院受験が増加している。
 - 外部資金は増加しているものの更なる増加に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔図書館情報メディア系〕

- シラクアラ大学と共同して、記憶資源の保存と利用に関するシンポジウム「Preserving and Using Disasters Archives: Linking Japanese and Indonesian Experiences」をインドネシア・アチェにて平成 31 年 3 月に開催している。
- 全員参加の月例教員会議を開催して情報共有を行っている。
- 英文論文の増加に向けて、一層の努力を期待する。

2. 学群

〔人文・文化学群〕

- 学群主導により、3学類の教育体制の見直しを進めている。
 - 学群として大学院修士課程と一体となったASIP（地域研究イノベーション学位プログラム）を社会・国際学群とともに推進している。
 - TOEFLのスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔人文・文化学群人文学類〕

- 大手就職支援企業の支援による就職支援の説明会の開催など様々な就職支援によって、就職率が上昇している。
 - SF教育などを念頭に17コースを11コースに再編している。
 - TOEFLのスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔人文・文化学群比較文化学類〕

- カナダ・プリンスエドワード島大学における留学体験プログラムの実施など、積極的に学生の海外派遣を推進している。
 - 学生たちが継続的に東日本大震災の復興支援活動に取り組んでいる（筑波大学コトノハチーム）として平成30年7月5日に復興大臣から感謝状を贈呈されている。
 - 外国人学生率及び学生の海外渡航率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔人文・文化学群日本語・日本文化学類〕

- SDGs 課題4「質の高い教育をみんなに」に焦点化し、「多文化共生・日本語教育」を柱とするカリキュラムの検討を行い、実装の準備をしている。
- 国際化に積極的に取り組んでおり、外国人学生率及び学生の海外渡航率が上昇している。
- TOEFLのスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[社会・国際学群]

- 国連ユースボランティア・プログラムを単位化して学生の参加を促している。
 - 全米模擬国連への参加を継続し、併せて高大連携の取組を継続している。
 - 学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[社会・国際学群社会学類]

- 抽象的空論に陥ることなく現実の社会を分析するために、社会調査実習、経済実験、工場・各種機関の見学、経営・現場当事者との対話なども重視している。
 - アクティブ・ラーニングを推進している。
 - 学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[社会・国際学群国際総合学類]

- 国連ユースボランティア・プログラムの選考を経て本学初の合格者としてマラウイ共和国の国連事務所に派遣されている。
- TOEFL 受験対策に関する外部の講座などに参加する学生に対して、学類独自の支援を行っている。
- 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間学群]

- 国際交流の一環として、台湾嘉義大学に8名の学生を派遣している。
 - 学群コア・カリキュラムの開発と編成を推進している。
 - 「人間学専門学群」構想を検討している。
 - TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間学群教育学類]

- モスクワ市立教育大学での短期研修の授業科目化（単位化）の計画を具体化している。
 - 学生の進路選択の拡大のため、「教育インターンシップ基礎論」「教育インターンシップ実践演習」について、令和元年度からつくば市教育委員会からの全面協力を受け、つくば市内の12校の小中学校での短期実習を必修化している。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアは上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間学群心理学類]

- 国家資格「公認心理師」の受験資格取得可能なカリキュラムを整備している。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間学群障害科学類]

- オハイオ州立大（OSU）の College of Education and Human Ecology と短期研修の単位化を進めている。
- 外国人学生率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[生命環境学群]

- アジア圏だけでなく、アメリカ、カナダ等からも英語プログラムの受験者が増加している。
 - 外国人学生率及び学生の海外渡航率が上昇している。
 - TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[生命環境学群生物学類]

- マンチェスター大学との間で 20 年間毎年 2~3 名の学生の相互交流をしており、新たな交流プログラムとして、筑波大学学士とマンチェスター大学修士の学位を取得する交流協定の締結の準備が進んでいる。
 - 日本人学生と留学生の卒業要件を一致させ、英語での教育課程の充実を推進している。
 - TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[生命環境学群生物資源学類]

- 本学協定校の国立台湾大学および京都大学とのジョイントクラスにより、ICT を活用した遠隔授業を食品工学関連の 3 科目開講している。
 - 推薦入学の学生を主な対象としていた入学前リメディアル教育を、Japan-Expert コースの学生にまで拡げ、大学の授業をスムーズに受講できるようにしている。
 - 学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[生命環境学群地球学類]

- フィールドワーク教育を積極的に推進しており、その成果などを「ジオカフェ」や「ジオキッズゼミナール」などのイベントとして実施し、社会に還元している。
- 学生の海外渡航率及び就職率が大きく上昇している。
- TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[理工学群]

- 各学類のカリキュラム委員会や共通の数学、物理、化学の各 WG などの努力により SF 教育プログラム準備が完了している。特に数学は学群内外の多くの学類学生が受講し、学類によって内容に関する希望が異なるため、受講学類の割り振りや講義内容の検討のために「学群共通数学検討委員会」を設置している。
 - 海外短期留学や「宇宙開発工学演習」における海外 PBL などへの経済的支援を昨年度に引き続き実施し、学生の海外渡航率が大きく上昇している。
 - 外国人学生率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[理工学群数学類]

- 数学類のみに提供していた数学リテラシーを全学の高大接続のための重要科目として令和元年度から拡大実施することを決定している。
 - 基礎科目（微積分、線形代数、数学リテラシー）の独自教科書や教材を作成し、グローバルスタンダードに見合う教育の質を確保している。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[理工学群物理学類]

- アクティブ・ラーニングとして、課題探求セミナーを1~3年生向けに開講し、少人数制で教員と共に自己の興味に合わせた課題を遂行している。
 - 科学英語 I において e-learning を取り入れており、科学英語 II においては外国人教員による英語を用いたプレゼンテーション能力を身につけさせている。
 - 外国人学生率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[理工学群化学類]

- 外国人教員の化学英語の授業の基礎外書講読と専門外書講読を開講し、また実験科目のテキストの英文化を進め、専門的教育の構築を進めている。
 - 一日体験化学教室、出前授業、国際化学オリンピック国内予選の化学グランプリ等を担当し、高校生への化学教育に努めている。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[理工学群応用理工学類]

- 学群教育改革推進事業として4名の4年生を海外インターンシップ（アメリカ、オーストラリア、中国、フランス）へ派遣している。
- 外国人教員による専門英語の継続開講、クロスアポイントメント制を活用した外国人教員の増員（英語による実験系科目の指導）、新たな外国人教員の人事公募の開始を行っている。
- 外国人学生率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

〔理工学群工学システム学類〕

- 理工学群のグローバル化推進のために、総合理工学位プログラムの立ち上げを行い、必要とされる英語での講義の準備を進めている。
 - 2年次、3年次にも学類独自で英語科目を立ち上げ、これらの科目も必修化して、これまで4.5単位であった英語を令和元年度入学者から7単位としている。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔理工学群社会工学類〕

- 社会連携、高大連携を積極的に推進している。
- 学生の海外渡航率が大きく上昇している。
- 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[情報学群]

- OenPiT2（文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成」）を推進し、合宿等を通じて他大学学生との交流・共同作業を行っている。
 - 「アメリカ西海岸で学ぶ Science & IT 海岸派遣プログラム」の説明会を4回開催し、参加を推奨し、渡航に対する支援を行っている。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[情報学群情報科学類]

- ACM(Association for Computing Machinery)が主催する国際大学対抗プログラミングコンテスト(ICPC)への支援を継続的に行い、情報科学類生2名を含むチームが世界大会に進出し、135チーム中21位を獲得している。
 - 平成31年度入学者向けのカリキュラム改定で、2年次英語必修科目、3年次英語 CLIL 科目(Computer Science in English A、B)の新設を行い、1年生から4年生まで切れ目のない英語教育が可能となっている。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[情報学群情報メディア創成学類]

- OenPiT2等のPBL型授業の拡充と他大学学生との交流・共同作業を推進している。
 - 学生用ワークスペースの整備と自主利用のための学生による管理運用など、学生の自律的、自主的な活動や交流を重視し、奨励・支援している。
 - 学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[情報学群知識情報・図書館学類]

- ピッツバーグ大学との連携教育プログラムを開始し、ピッツバーグ大学 iSchool への留学という進路を意識させている。
- PBL型授業科目を新設、外部機関(図書館、作業療法士会)との連携を含めた実践型PBLを専門科目として展開している。
- TOEFLのスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[医学群]

- グローバル人材獲得のために、特別入試（国際バカロレア入試など）を実施している。
 - 国際交流に力を入れ、多くの海外短期留学を実施している。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[医学群医学類]

- 適性試験の導入や研究型人材入試の検討など、継続的に入試改革を実施している。
 - 医学教育分析センター（IR）委員会にて、平成 18 年以降の入学に対して入試区分毎に入学後の成績・留年率・国家試験合格率などの評価・比較を行っている。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[医学群看護学類]

- Japan-Expert プログラムを実施し、毎年 2~3 名の入学を受け入れている。
 - 文部科学省から提示されたモデル・コア・カリキュラムに合わせて令和元年からカリキュラムを改正した。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[医学群医療科学類]

- 文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム CoMSEP (Coordinated、 Continuing、 Medical Staff Education Program) の一環として、茨城県立医療大学と共同で学部間交流事業を実施している。
- 3 年次から医療科学主専攻と国際医療科学主専攻に分かれるため、2 年次に主専攻の希望調査を行い、主専攻の選択に関して担任教員が適宜指導と支援を行っている。
- 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[体育専門学群]

- 国内に留まらず国際競技大会で活躍できる学生の養成を目標に、入試を改革し支援体制を強化した結果、24人の学生が日本代表（年齢別代表を含む）として海外の大会で優れた成績を収めている。
- 学群教育改革推進事業「体育・スポーツによる国際交流・国際支援とスポーツ科学学習プログラム」を活発に展開させ、総勢で25名の学生を海外に派遣している。
- 外国人学生率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

〔芸術専門学群〕

- 毎年開催していた就職支援セミナーに加え、令和元年度からのカリキュラム再編に伴い「芸術キャリア教育」（1単位）を新設することになっている。
- 就職支援委員会を組織化し、本学群の正式な活動として位置づけるとともに、情報の共有と提供を進め、学生と企業とが接する機会を増やしている。
- インターンシップ参加率が大きく上昇している。
- 外国人学生率、学生の海外渡航率及び TOEFL のスコアの上昇に向けて、一層の努力を期待する。

3. 研究科

[人文社会科学研究科]

- 「日独韓共同修士プログラム(TEACH)」を継続させてきたが、第4期中期目標・中期計画期間中の人文社会系の研究・教育の方向を踏まえ、ボン大学・高麗大学との関係の維持に留まらず、TEACHの経験を活かしてエラスムス・プラス(Erasmus+)に加わっている大学との提携に昇華させていくべく準備を行っている。
 - 志願倍率及び入学定員充足率などは良好な状態である。
 - 学生の海外渡航率は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
 - 学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人文社会科学研究科哲学・思想専攻(一貫制博士課程)]

- 平成30年度「教育戦略推進プロジェクト支援事業」に「インドネシア・ガジャマダ大学との相補的・協同的グローバル教育研究交流を通じての共同学位プログラム構築に向けての連携基盤の形成」が採用され、相互に2名の教員を派遣して授業を行い、共同学位プログラム構築に向けて議論を進めている。
 - 平成30年度「筑波大学社会貢献(地域貢献)プロジェクト」に「哲学カフェによる地方創生」が採用され、東日本大震災被災地活性化に向けた継続的対話の場の創出に「哲学カフェ」を活かす試みを行っている。
-

[人文社会科学研究科歴史・人類学専攻(一貫制博士課程)]

- 学生の進路指導の一環として、専攻教育会議において、各種公募を会議資料として配布して説明を行うとともに、指導教員を通して院生に情報を周知している。
-

[人文社会科学研究科文芸・言語専攻(一貫制博士課程)]

- 博士論文については、最優秀博士論文賞および優秀博士論文賞を設け、修士論文については、4月に新入生オリエンテーションの一貫として、修士論文発表会を行い、そこでの教員、学生の投票に基づき、最優秀修士論文発表賞、優秀修士論文発表賞を授与することで、博士課程早期修了の促進、学生のインセンティブ向上を図っている。
- 学位プログラム制への移行に際して、文学サブプログラム、言語学サブプログラムともに、専門基礎科目と専門科目とに分け、さらに演習科目の位置づけを明確化することで、授業科目の体系化を行っている。

[人文社会科学研究科現代語・現代文化専攻（区分制博士課程）]

- カナダのプリンスエドワード島大学(UPEI)において「英語で授業ができる教員養成のためのTA・TF海外研修プログラム」を実施している。
 - 学外から講師を招き、「読ませる論文執筆のために－AWSuMと統計処理－」を実施し、効果的な研究成果公開への知識を深めている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人文社会科学研究科国際公共政策専攻（区分制博士課程）]

- 社会的ニーズに応えうる人材を育成すべく、環境社会学や法社会学、公共経済学や社会倫理学等を総合的に扱える教育研究基盤の整備を検討している。
 - 入試実施体制の効率化と志願者の増加を企図して専攻入試改革を実施している。
-

[人文社会科学研究科国際地域研究専攻（修士課程）]

- これまでに培ってきた実績を踏まえつつも、現在の学生の入学目的や社会のニーズを考慮して、学位プログラム化における専攻の目指すべき姿を検討し、決定している。
 - これまで多数の学生（特に開発途上国からの若手行政官を対象とする英語特別プログラム生）が、政策研究を目的として入学している現状と、これからの社会のニーズも検討した結果、本専攻は国際公共政策専攻と共に「国際公共政策学位プログラム」として再スタートすることを決定している。
-

[人文社会科学研究科国際日本研究専攻（区分制博士課程）]

- 東アジアや中央アジア以外の国からの受入学生を増やす方針のもと、ヨーロッパ、北米、南米、アフリカからの受入れを強化している。
- ホーチミン市師範大学からの指定校推薦により、毎年前期課程に留学生を受入れている。

〔ビジネス科学研究科〕

- 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及び学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔ビジネス科学研究科経営システム科学専攻（博士前期課程）〕

- 経営学における情報分析技術の活用など他の経営系大学院にはない本専攻の独自性や優位性について情報発信の強化を検討している。
 - データサイエンス分野における社会人教育プログラムを充実させることを目的に米国特許庁が公開する特許データセット、財務情報を補完するデータセットとしてコンセンサス情報（経営者の業績予測）の教育用データセットの構築を行っている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔ビジネス科学研究科企業法学専攻（博士前期課程）〕

- 優れた修士論文を選考して掲載する学生紀要『企業法学の序曲』の発刊や、学会や研究会への参加のための旅費の補助など、学生の研究インセンティブの向上・教育環境の改善のための施策を継続的・重点的に行っている。
 - 授業評価アンケートを通じて、学生のニーズ等の把握に努め、学生の履修ニーズの高い科目の開設等に積極的に反映させている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔ビジネス科学研究科企業科学専攻（博士後期課程）〕

- ビジネスイノベーション支援型データ・システムズサイエンス研究拠点ワークショップ」を開催し、電力市場、政策形成、データサイエンスに関連する研究報告を行っている。
 - ポーfum大学経済学部から、博士留学生1名を受入れ、研究交流を実施している。
 - 知識科学に関する国際シンポジウム KSS18 を東京キャンパスで主催し、講演および学生を含む論文発表を行なっている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔ビジネス科学研究科法曹専攻（専門職学位課程）〕

- 初回としては一定の成果を収めたエクステンションプログラムを今後もさらに魅力的な形で提供すべく計画している。
- チューターの人選において、これまで顕著な司法試験合格実績を有する他法科大学院の出身者を起用し、他法科大学院の学修カルチャーの移植を図っている。

[ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻（専門職学位課程）]

○『Business Study』を実施し、10名の学生がベルリンを訪問し、複数企業を訪問すると共に、それら企業の経営課題に対する提言・議論を行うなど有意義な体験型学習を実施している。

○海外ビジネススクールとの学生交流協定に基づく『Tsukuba Short-term Study Program(TSSP)』により、延べ10名（タイ、ドイツ、香港、マレーシア、米国）の本専攻学生が海外（タイ、ドイツ、香港、マレーシア、アメリカ）での学習経験を積むと同時に、提携校から2名（タイ、ドイツ）の学生の受入れ、グローバルな学習機会の提供を行っている。

〔数理物質科学研究科〕

- 後期課程学生の経済的支援のために RA 経費の支給を推進している。
 - グルノーブル・アルプス大学とダブルディグリープログラムを実施している。
 - つくば共鳴教育プログラムにより海外の大学・研究機関で研究する機会を与えている。
 - 外国人学生率及び学生の海外渡航率は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔数理物質科学研究科数学専攻（区分制博士課程）〕

- 海外派遣支援を独自に行ってきたことで研究の前線における世界水準を早期に知り、著しい研究成果を得るに至る院生が多く現れ、優れた修士論文を提出する学生や博士後期課程の早期修了者を輩出している。
 - 前期課程 2 年生が主体となって運営する筑波国際数学ワークショップを継続的に開催し、本専攻の魅力を発信している。
 - 平成 30 年度からトヨタとの共同研究を開始し、未来社会工学開発センターにて数学の博士号取得者がポスドクとして雇用されている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔数理物質科学研究科物理学専攻（区分制博士課程）〕

- TIA 連携の一つとして、サマーオープンフェスティバルを開催している。
 - 教育戦略推進プロジェクト支援事業「最先端学外施設、国際研究拠点を活用した先端国際物理学プログラム」やグルノーブル・アルプス大学とのダブルディグリープログラムなど学生が参加している国際的な活動を広く紹介し、国際性をもった大学院生活を送ることができることを周知している。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔数理物質科学研究科化学専攻（区分制博士課程）〕

- グルノーブル・アルプス大学とのダブルディグリープログラムの設立に向けて準備を進めており、グルノーブル・アルプス大学から 2 名の大学院生を受け入れている。
- 博士課程を修了して博士号を取得した民間企業で働く研究者を講師とする「企業研究者概論」を令和元年度から開講することを決定し、準備を進めている。
- 外国人学生率は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。

〔数理物質科学研究科ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程）〕

- 理工融合の理念に基づき、学生が産業界の研究開発の状況を身近に感じられるよう、企業所属の研究者が連携大学院教員として講義を担当し、特色ある内容の授業を開講している。
 - 社会人向けには講義科目を土曜日に開講し、また、日本語を解さない留学生への配慮として、同一趣旨の講義で日本語・英語の両方で行う授業を開講するなど、学生のニーズに応じた配慮を行っている。
 - 外国人学生率は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔数理物質科学研究科電子・物理工学専攻（区分制博士課程）〕

- トヨタ自動車・デンソーパワーエレクトロニクス寄附講座及び富士電機パワーエレクトロニクス寄附講座については、2期目の最終年度としてTIA連携及びTREMS連携を含めたパワーエレクトロニクスコースの強化を図っている。
 - 博士号取得者の就職状況が順調であることを学生及び保護者に周知している。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。（前期課程）
-

〔数理物質科学研究科物性・分子工学専攻（区分制博士課程）〕

- つくば共鳴教育プログラムを利用した学生の海外派遣、グルノーブル・アルプス大学との博士後期課程のダブルディグリープログラムなど、学生の国際交流を継続的に行っている。
 - 専攻の研究内容を理解する基礎科目を充実・整備している。また、外国人留学生および日本人学生を対象に英語で講義する科目の増加を図っている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。（前期課程）
-

〔数理物質科学研究科物質・材料工学専攻（3年制博士課程）〕

- 英語による情報発信、各教員による外国籍学生向けのリクルート活動を強化している。
- 国内外からのインターンシップ生、研修生の受け入れに関して一層の強化を図っている。
- 志願倍率及び入学定員充足率など全体的に良好な状態である。

[システム情報工学研究科]

- 学生本位の視点に立ったカリキュラム構築を基本に、専攻間の壁を越えた研究群単位でのカリキュラムの見直しを行い、専攻間での科目共有や統合・廃止を進めた結果、現在の開設科目より前・後期合わせて約 23%（前期：約 14%、後期：約 45%）の科目を削減することに成功し、教員の教育に係る負担軽減も実現している。
 - UEA を雇用して、教育改善や留学生の受入などを組織的に推進している。
 - 学生の海外派遣率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
 - 学生の論文生産性は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[システム情報工学研究科社会工学専攻（区分制博士課程）]

- 日越大学事業や、社会人を対象とする社会連携講座「地域未来創生教育コース」などを強かに推進している。
 - 全学学位プログラム化に先んじて、平成 26 年度から実質的に学位プログラム化を行っている。
-

[システム情報工学研究科リスク工学専攻（区分制博士課程）]

- 大学院教育のさらなる充実とグローバル展開を目指し、台湾の国立機関を含む 2 機関を本教育体制の運営母体であるレジリエンス研究教育推進コンソーシアムに加えると同時に、令和元年度からの実質的な協働大学院方式による教育体制のスタートのために、カリキュラムの抜本的改訂を行っている。
 - コンソーシアムからの社会人入学生を想定し、コンソーシアムからの 11 名の客員教授・准教授による研究指導体制を整えている。
-

[システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻（区分制博士課程）]

- 英語で実施される講義のみを履修することで修士の学位が取得できる「コンピュータサイエンス英語プログラム」を平成 26 年度から運営している。
-

[システム情報工学研究科知能機能システム専攻（区分制博士課程）]

- ジャーナル論文発表や国際会議発表などの研究成果を単位化し、座学中心のカリキュラムから研究重視・研究成果評価型への移行を進め、学生の研究にモチベーションの向上と研究力の早期育成を図っている。
- 研究の視野を広げる施策として、いわゆるラボローテーションを推奨している。
- ジャーナル論文および国際会議発表に対して定量的な基準を設けて、ハイクオリティ論文およびハイクオリティ国際会議を指定し、それらへの成果発表を促すことにより、研究の質の向上を図っている。

[システム情報工学研究科構造エネルギー工学専攻（区分制博士課程）]

- グルノーブル大学に教員団を派遣し、共同研究、教育課程の共同実施等について検討を行っている。
- 主指導教員 1 名のほか、2 名の副指導教員を決めて 3 名による指導を行っており、学生は学期ごとに 3 名の指導教員と面談を行い、履修や研究についての相談ができる仕組みを作っている。

〔生命環境科学研究科〕

- 留学生の割合が40%を超えており、英語プログラムの一層の充実により、さらに多くの留学生が英語のみで学位を取得できるように支援している。
 - 平成19年度より日中韓大学院生フォーラムを企画・運営し、平成30年度は日本がホスト国となり、総勢200名の参加者を集めて開催している。また、今後はより多くのアジア諸国を取り込むことを計画している。
 - 学生の海外派遣率及び学生の論文生産性は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔生命環境科学研究科地球科学専攻（博士前期課程）〕

- 平成25年度から実施している「野外実験特別ティーチングアシスタント」および「フィールドワーク特別ティーチングアシスタント」制度を継続し、博士前期の学生を中心に野外実験特別TAの育成を行っている。平成30年度は13名の野外実験特別TAを育成し、6の野外実験にのべ15名のTAを派遣し、1名のフィールドワーク特別TAを認定している。
 - ユタ州立大学とのダブルディグリープログラムの議論を継続して行い、最終調整を進めている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔生命環境科学研究科生物科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）〕

- 国立台湾大学とのダブルディグリープログラム（前期課程）の策定を、学位プログラム化後の実施を目途に進めている。
 - サイエンスコミュニケーション人材の養成について、関連する専門科目を複数開講するなど、積極的に行っている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔生命環境科学研究科生物資源科学専攻（博士前期課程）〕

- 学生のキャリア支援に関する就職情報などを生物資源学類と共有し、学習管理システムmanaba上に「生物資源学類・キャリア支援」を開設して、学生に情報が行き届く様に、キャリア支援情報を配信している。
 - 英語の教育プログラムを見直し、令和元年度から「国際農業科学プログラム」を開設する準備を進めている。
-

〔生命環境科学研究科環境科学専攻（博士前期課程）〕

- JICAの奨学金プログラムであるJDS（人材育成奨学計画）、ABE-Initiative（アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ）、Pacific LEADS（太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム）等の諸プログラムを獲得している。

[生命環境科学研究科国際連携持続環境科学専攻（博士前期課程）]

- 平成30年度末には、マレーシア・日本国際工科院（MJIIT）と共同で提出したAUN SEED Netに採択され、国際共同教育・研究を深化する起点を得ている。
 - 本専攻の取組を、インターネット（専攻HP）やセミナー開催（TGSW2018や研究セミナー）、留学フェア、合同セミナーへの学群生（筑波大およびMJIIT-UTM双方）の参加を通じて、学内外への周知を実施している。なお、平成31年度は、筑波大学ホーム院生が3名入学している（筑波大定員3名、充足率100%）。
-

[生命環境科学研究科山岳科学学位プログラム]

- 日本プロジェクト産業機構（JAPIC）と連携して、森林及び木材産業界でのインターンシップ及び就職先の開拓を行っている。
 - グローバル化及び国際化に向けて、海外での実習やインターンシップ先の開拓を行い、ヨーロッパではフランスのグルノーブル大学、オーストリアのインスブルック大学、アジアでは台湾国立大学及びガジャマダ大学と海外実習が早期に実現できるように調整を行っている
 - 初年度は6名、2年目は11名、3年目は16名と確実に学生数を増やしてきている。
-

[生命環境科学研究科地球環境科学専攻（博士後期課程）]

- 卒業生で帰国後に大学の教員となったものと密接に連絡をとり、優秀な学生を研究生として派遣してもらい、その中で優秀なものを正規の大学院生として入学させて、指導を行い、修了させるという、ルーティンができています。
-

[生命環境科学研究科地球進化科学専攻（博士後期課程）]

- 中国地質大学ダブルディグリープログラムを継続して実施している。
 - チュラロンコン大学とのダブルディグリープログラムに関する議論を開始している。
 - 日本学術振興会の特別研究員（DC1、DC2）として、5名の学生が研究に従事し、年度内に新たに1名がPD、1名がDC1に採択されている。
-

[生命環境科学研究科環境バイオマス共生学専攻（一貫制博士課程）]

- 後期の必修科目としてインターンシップ系科目を設定し、現場実践力を養成している。
-

[生命環境科学研究科国際地縁技術開発科学専攻（博士後期課程）]

- 英語だけで履修できるプログラムとして、当専攻が単独で実施している乾燥地資源科学プログラムがあり、各国政府の奨学生の受け皿となっている。

〔生命環境科学研究科生物圏資源科学専攻（博士後期課程）〕

- ボルドー大学、国立台湾大学との連携強化に尽力し、国際連携食料健康科学専攻の運営を担っている。
 - グローバルフード・セキュリティ協働プログラムにおいて4名の留学生を受け入れている。
-

〔生命環境科学研究科生物機能科学専攻（博士後期課程）〕

- 平成28年度から早期修了プログラムに参画し、平成29年度から履修生を受け入れている。平成30年度は5名の履修生が入学し、通算8名が学位を取得している。
-

〔生命環境科学研究科生命産業科学専攻（博士後期課程）〕

- 国費留学生の優先配置プログラムをこれまで継続して6年間確保してきているが、新規の優先配置プログラム獲得についても目指している。
 - 日本学生支援機構主催の留学生交流支援事業「生命産業分野における若手研究者育成プログラム」に採択され、このプログラムを学内のTsukuba Short-term Study Program (TSSP)として位置づけ、短期で学生を受け入れ、国際共同研究の推進、大学院教育の国際化の一環として活用している。
-

〔生命環境科学研究科持続環境学専攻（博士後期課程）〕

- 国際性の日常化という本学ミッションに沿った質の高い留学生の確保を、中国「国家建設高レベル大学公派研究生項目」事業、文部科学省「戦略的環境リーダー育成拠点形成」事業、JICA「人材育成奨学計画」事業等を通じて行っている。
-

〔生命環境科学研究科先端農業技術科学専攻（3年制博士課程）〕

- 第4期に向けて、入学者を確保すべく、都道府県、国立研究開発法人の職員に働きかけを強めるとともに専攻の専門分野を広げる等の対策を進める方向で検討している。

[人間総合科学研究科]

- 「戦略プロジェクト」6件を採択し、目標と計画に資する取組みを推進している。
 - 志願倍率及び入学定員充足率などは良好な状態である。
-

[人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻（修士課程）]

- 体育系教員のほかに、医学系、看護系教員も授業を行っている。さらには社会の一線で活躍しているトップリーダーなどの授業も行われ、学際的教育を推進している。
 - 毎年オリンピックや世界選手権のメダリストが、将来競技団体の指導的役割を担うことを目指し、研究力、マネージメント力、プロモーション力などを修得するために入学している。
 - 外国人学生率及び学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻（修士課程）]

- 講義の英語化、海外の大学を結んだTV講義、外国人教員による英語教育、学生の海外派遣など、教育のグローバル化を推進している。
 - 文部科学省「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択され、現地に教員を派遣した説明会や入試を実施している
 - 学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科教育学専攻（博士前期課程）]

- 中国・東北師範大学に加えて華東師範大学とのダブルディグリープログラムの導入を進めている。
 - 大学院生の国際的な研究交流を促進するため、教育戦略プロジェクト経費及び人間総合科学研究科の教育戦略経費を獲得し、ロシア、カザフスタン及び中国において、英語によるラウンドテーブルの開催及び同国の研究者・院生との交流の機会を設けている。
-

[人間総合科学研究科教育基礎学専攻（博士後期課程）]

- 教育戦略プロジェクト経費を獲得し、ロシア及びカザフスタンの教育系主要大学と教員及び大学院生の研究交流を実施している。前年度のウズベキスタンに続くものであり、日本の研究大学においてロシア語圏との研究交流ができる唯一の大学である強みを生かし、研究交流の拠点形成を図っている。
- 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間総合科学研究科学校教育学専攻（博士後期課程）]

- 博士前期課程でダブルディグリープログラムを開設した東北師範大学とこれまで研究交流を続けてきた華東師範大学、北京師範大学との間で、博士後期課程における国際共同学位プログラムの開設に向けて協議を進めている。
-

[人間総合科学研究科心理専攻（博士前期課程）]

- 国際学会発表・英文誌投稿への支援として、英語で心理学論文の書き方指導の授業（心理学先端研究）を行っている。
 - 平成30年度教育戦略プロジェクト支援事業として、「アクティブ・ラーニングによる心理職コンピテンシー形成プログラムの構築」が採択され（心理学専攻と共同）、これにより、公認心理師養成課程の体制を整備している。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科心理学専攻（博士後期課程）]

- 産業技術総合研究所からの連携大学院教員・採用の効果が現れ、新たな領域に関心をもつ大学院生が入学してきている。
 - 国際的な研究成果の発信への支援として、エントリーレベルでの論文作成支援授業（心理学先端研究）、国際学会発表を通じての海外の研究者とのネットワーキングの促進を指導している。
-

[人間総合科学研究科障害科学専攻（区分制博士課程）]

- 教員がオハイオ州立大学を訪問し、交流に関する事前協議を行っている。
 - 中国人留学生のキャリア支援プログラムとして、3名の学生が中国の特別支援学校（北京启暗学校、蘭州市城関区輔読学校）を見学するとともに、北京師範大学教育学部、西北師範大学教育学部を訪問し、学生および教員の研究交流を実施している。
-

[人間総合科学研究科生涯発達専攻（博士前期課程）]

- 平成29年度から推進してきた働く人への心理支援に関するプロジェクトは、平成31年4月1日付けで、「働く人への心理支援開発研究センター」として設立が認められている。
- 「働く人への心理支援開発研究センター」の一部として位置づけられる、「キャリア・プロフェッショナル養成講座」は、平成29年度の試行実施を経て、平成30年度からはエクステンションプログラムとして、大学としての社会貢献を実現している。
- 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間総合科学研究科生涯発達科学専攻（博士後期課程）]

○グローバル教育の内容と研究水準の実態を把握し、生涯発達科学の複合性と融合性がもたらす成果をさらに向上させるために、スタンフォード大学、シドニー大学、国立台湾彰化師範大学、南イリノイ大学との共同カリキュラム開発に基づく実践的な国際教育推進（G-CBL）の取り組みを行っている。

●外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻（3年制博士課程）]

○平成29年度に国立保健医療科学院と連携して国立大学法人で唯一の博士（公衆衛生学）プログラムを開始して30年度には軌道に乗り、学際横断連携型の教育体制を構築している。

○学生の研究業績の質量向上に向けた支援として、教員による学生の論文投稿の奨励と指導、国際学会発表者による成果発表の機会設定、若手研究者による海外のテニユア獲得に関する講演会、英語論文作成の研修会、および学生の英語論文投稿に係る校正翻訳費の補助を行っている。

●外国人学生率及び学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻（区分制博士課程）]

○大学院共通科目「研究倫理」および構成研究推進協会（APRIN）提供の研究倫理教育eラーニングを必修とし、感性認知脳科学総合演習で研究倫理講習を行うなど、研究倫理教育を積極的に実施している。

○専門科学英語、プレミアム論文セミナーに加えてIntensive Scientific English Training Programを実施している。

●学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間総合科学研究科スポーツ医学専攻（3年制博士課程）]

○早期修了を推進し、3名の早期修了者を輩出している。

○スポーツ医学の学際性をより強調し、魅力的な専攻になるように、メディカルコンディショニング分野、アスレティックトレーニング分野、スポーツトランスレーショナル分野の3分野への再編を進めている。

●学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間総合科学研究科生命システム医学専攻（一貫制博士課程）]

- 日本学術振興会特別研究員には、平成 31 年度 DC1、DC2 申請者 14 名中 5 名 (35.7%) が採択され、全国平均 (19.6%) を上回る採択率となっている。
 - 外国人にとって快適なキャンパス実現のために、大学院教務・学生支援担当とは別に専攻事務室を置き、英語に堪能な職員を採用し、窓口対応に加え学生向け文書の英語化も行っている。
 - 学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科疾患制御医学専攻（一貫制博士課程）]

- 文部科学省「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に「高度医療エキスパート育成のためのトランスボーダープログラム」を申請して採択され、過去 2 年間に医学系 2 専攻で計 8 名を特別枠奨学金受領者として採用し、うち疾患制御医学専攻に 3 名が入学している。
 - 外国人学生率は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科看護科学専攻（区分制博士課程）]

- 学生のメンタルヘルスを安定させるため、学生生活支援委員会を中心に相談・支援を充実させ学位の授与率を保てるように努力している。
 - 高度専門職業人の育成として専門看護師の養成を行っており、平成 30 年度は家族看護専門看護師を輩出した。また、助産師の養成を行い、国家試験も 100%合格となっている。
 - 外国人学生率及び学生の論文生産性は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科体育学専攻（博士前期課程）]

- スポーツ・オリンピック学学位プログラムは、平成 29 年度 17 名、平成 30 年度 19 名が修了し、来年度の学位プログラム化時の独立へ向けて順調に進んでいる。
 - 「つくばサマーインスティテュート(TSI)」の受講生は、平成 28 年度 9 名、平成 29 年度 12 名であったが、平成 30 年度は 18 名に増加している。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科体育科学専攻（博士後期課程）]

- 人間総合科学研究科戦略プロジェクト、スポーツ庁委託事業「スポーツ研究イノベーション拠点形成プロジェクト (SRIP)」における若手研究者育成プログラム、次世代健康スポーツ科学学位プログラムの授業科目を連携させている。
- 学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間総合科学研究科コーチング学専攻（3年制博士課程）]

- 在学期間内に多くの学生を海外において武者修行させるために、海外交流事業を制度化し、海外で開催される国際学会での発表、海外の大学や研究機関での調査・研究等にかかる経費を助成支援している。これにより平成30年度の国際学会発表数は、平成29年度の8件から16件に、また英語論文発表数は2件から4件に、さらに国際学会での受賞数は0件から3件にそれぞれ増加している。
 - 複数の授業科目において、学生自らのコーチング実践活動を省察させ、それをスーパーバイズする過程を通して、学生の能動的な学修を促進している。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科芸術専攻（区分制博士課程）]

- 24年間刊行を続けてきた『芸術学研究』を、令和元年度をもって終刊とし、学内紀要としての性格を改めて国際的な査読付き学術誌として高い水準を確立することを目的に、学生、修了生の成果発表に資するための査読付き学術誌を新たに発刊することを計画している。
 - 修了研究に対し、「筑波大学芸術賞」、「茗溪会賞（作品の部）」、「芸術専攻優秀論文賞」、「芸術専攻優秀作品賞」を設け、専門委員会にて選考する顕彰制度を継続して実施している。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科世界遺産専攻（博士前期課程）]

- 平成29年にユネスコ高等教育局よりユネスコチェアプログラムとして認められ、アジア・太平洋地域の遺産保護における自然と文化の関係に関する人材育成プログラムの実施を通じて、アジア・太平洋地域の専門家との交流を強化し、学生に対しても英語でのコミュニケーション能力を高める機会としている。
 - JICAおよび本学が支援するエジプト日本科学技術大学における、博物館、保存科学を中心とした大学院専攻を設置する計画に対して、カリキュラム策定に協力している。
 - 学生の論文生産性は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻（博士後期課程）]

- 学位取得者の半分は大学の教員になり、それ以外も研究所等の専門性が高い職種において活躍している。
- 学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）]

- スポーツ国際開発学の先端研究機関であるユトレヒト大学と共同し、ヨハネスブルグ大学を加えた3大学で「グローバル・マスタープログラム」を開講し、筑波大学、ヨハネスブルグ大学でのプログラムを実行している
 - 第6回スポーツ国際開発国際シンポジウムを開催し、スポーツ国際開発学に関する講演のほか、ワークショップを行っている。
 - 外国人学生率及び学生の論文生産性は上昇しているものの更なる上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年制博士課程）]

- コースワークを中心に学修を進め、3年の修業年限内の学位取得を目指し、達成している。
 - 入試情報の多言語化や外国人学生の受け入れ体制の見直しを実施している。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[人間総合科学研究科国際連携食料健康科学専攻（修士課程）]

- キャンパス・イン・キャンパス協定校である国立台湾大学ならびにボルドー大学との国際共同学位プログラムで、3大学の共同学位プログラムとしては日本初のプログラムであり、学問領域としては医学と農学にまたがる学際的なプログラムでもある。本専攻はキャンパス・イン・キャンパスの構想と理念のもと、相互の強みを生かした相補的な教育課程であり、本専攻の学生は3大学で授業や研究指導を受けることが義務付けられていることから、学生のモビリティ（海外派遣）を促進する仕組みが組み込まれている。
- 海外派遣及びインターンシップは必須としており、円滑に実施している。

[人間総合科学研究科スポーツウエルネス学位プログラム]

- 関係諸機関やスポーツ健康システム・マネジメント専攻同窓会組織等を通じた働きかけを行い、さらに大学院説明会を通して広報活動に力を入れ、入学者の確保に努めている。
- 海外の研究拠点との連携強化として、オーストラリア・ビクトリア大学 ISEAL との共同研究が続けられている。
- 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

[図書館情報メディア研究科]

- 学会発表支援の中でも、国際会議の支援を優先するシステムを採用することにより、前期課程・後期課程あわせて延べ41名が国際会議で発表している。
 - 外国人学生の増加に向け、海外での説明会の開催、「JAPAN STUDY SUPPORT」の「スカウト機能」の利用の検討、さらにPittsburgh大学との3+2プログラム協定締結の検討などを行っている。
 - 外国人学生率及び学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻（区分制博士課程）]

- 履修証明プログラム（図書館経営管理コース）を実施しており、広報の強化等により、平成30年度は7名の受講申請者があり、3名の修了生を輩出している。
- 本研究科では英語プログラムを平成24年より実施しており、平成30年度の入学者は前期課程・後期課程あわせて5名である。
- 外国人学生率及び学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。

〔教育研究科〕

- 学生のキャリア支援のための「教職セミナー」を、FD活動を兼ねて開催し、つくば市立元校長の講演、高等学校長3名によるシンポジウム等を開催している。
 - 外国人学生率、学生の海外渡航率及びインターンシップ参加率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔教育研究科スクールリーダーシップ開発専攻（修士課程）〕

- 小学校教員専修免許状が取得可能になったことから、本専攻から3名が小学校教員として就職している。
 - つくば市内の公立学校において、教員及び大学院生が授業やカウンセリング活動の補助にあたり、学校現場への貢献と学生の研究の両面に寄与している。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔教育研究科教科教育専攻（修士課程）〕

- 専攻必修科目「教科教育論」について、従来の対面授業に学習管理システム manaba を活用した e-learning を取り入れ、各教科の動画コンテンツを充実させたコースワークとハイブリッド型アクティブ・ラーニングを実施している。
 - 学生のニーズを踏まえた授業内容改善(数学セミナーA、B: 数学教育、附属学校教員との協働:保健体育教育)、各教科教育の実践知を積極的に活かす高大連携(附属高校、県立笠間高校や公立中学校での実験授業:社会科教育、附属坂戸高校と連携した野外実習インターンシップ:理科教育)や地域貢献活動(夏休みアートたんけん隊:芸術科教育)を継続して行っている。
 - 外国人学生率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

〔教育研究科教育学（国際教育）修士プログラム〕

- 第1期生（13名）がIB教員資格（IBCTL）を取得し、一部の学生はIB校やIB教員養成大学に就職している。
- 平成30年12月15日に本プログラム主催でシンポジウム「国際バカロレアを活用した大学入試に関する教育シンポジウム」（つくば国際会議場）を開催し、IB校の教員や研究者とのネットワークの拡充に努めている。

4. グローバル教育院

[グローバル教育院地球規模課題学位プログラム（学士課程）]

- 英語プログラム、アクティブ・ラーニング、PBL を中心として課題解決に取り組む、新たな教育方法が試行されている。
 - 欧州（EU、フランス・ドイツ・イタリア）の大学教員・研究者・実務者等が講義、演習、実習を通じて学生指導に参画し、また一部の学生は国連本部で行われる模擬国連に参加し、優秀賞を受賞するなど、成果を上げている。
-

[グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム（一貫制博士課程）]

- 学位論文審査申請の要件として、72 以上の単位取得、QE1、QE2 の合格、中間評価の合格、英語力の涵養（TOEIC860 点相当）、2 報以上の国際誌発表となっている。この高いハードルを乗り越え修了した学生の就職率は 100%であり、すべて希望の正規の職につき、国の内外でグローバルリーダー人材候補として活躍している。
 - 学生による達成度自己評価システム (GLiD) を構築し、運用している。
 - 学生の海外渡航率及びインターンシップ参加率の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[グローバル教育院エンパワーメント情報学プログラム（一貫制博士課程）]

- 履修学生に対して 3 回の達成度審査を実施し、学位取得に向けてのきめ細かなフォローアップを行っている結果、工学以外も含めて幅広い分野の学生が学位を取得することに成功している。
 - 平成 29 年度までに修了した学生全員が就職しており、平成 30 年度の修了生 9 名も全員が進路を決定している。
 - 学生の論文生産性の上昇に向けて、一層の努力を期待する。
-

[グローバル教育院ライフイノベーション学位プログラム（区分制博士課程）]

- 新たな大学院教育の方式として協働大学院方式を導入し平成 27 年 10 月に開設し、本学位プログラムをモデルとして、平成 30 年度には他分野で協働大学院方式を導入する新たな学位プログラムが開設されるなど、大きく貢献している。
- 英語だけで履修可能な分野横断型の学位プログラムであり、Oxford 大学や Montpellier 大学の教員の参画も得て着実に実施している。

5. センター

[計算科学研究センター]

- 「最先端共同 HPC 基盤施設」においては、東京大学との協働によりスーパーコンピュータ Oakforest-PACS を運用し、メニーコアアーキテクチャというポスト「京」（「富岳」）コンピュータに供されるアプリケーションとシステムソフトウェアの開発を支援している。
 - 医学分野との連携により、計算科学による医療技術の開拓を目的とした「計算メディカルサイエンス推進事業」の実研究を開始し、その成果の一部である 3DCG バーチャル手術技術は医療系との連携やサイバニクス研究センターとの人材共有を含めた連携に発展している。
 - 学際共同利用プログラムにより 67 課題のプロジェクトを採択し共同研究を実施し、学術論文 235 件が発表されている。10 月には、例年開催しているセンターシンポジウムを初めて国際化し、“10th Symposium on Discovery, Fusion, Creation of New Knowledge by Multidisciplinary Computational Sciences”として開催している。
 - 女性教員の増加に向けて、一層の努力を期待する。
 - 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。
-

[生存ダイナミクス研究センター]

- 生存ダイナミクス研究センターとして改組し、世界級研究拠点を目指すセンターとして活動を開始している。
 - 旧 TARA プロジェクトの枠組みを見直し、学外・学内向けの TARA プロジェクトの公募を行い、学内から 16 件、学外から 12 件の公募を採択し、センター教員との共同研究を実施している。
 - 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。
-

[つくば機能植物イノベーション研究センター]

- ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) トマト事業、ABS 補助事業の拠点としてバイオリソース・遺伝資源や遺伝子組換え植物に関する国際共同研究・国際連携研究を積極的に推進している。
- SIP「新たな育種体系の確立」(H26-H30)、SIP「バイオ産業・農業に貢献する精密ゲノム編集技術の開発」(H30-R4)、AMED・NBRP「トマトバイオリソース中核拠点形成」(H29-R3)等の大型事業のほか、「ノンアレルギーソバ品種育成に向けたソバの効率的育種基盤の構築」(H29-H30)、「ナタネ類の遺伝的・生態的特性の把握およびリスク評価手法の確立」(H29-H30)、そのほか、農水省、農研機構から受託研究を実施中である。
- 共同利用・共同研究拠点中間審査において A 評価を受け、着実に外部から評価されている。
- 外部資金の増加に向けて、一層の努力を期待する。

[アイソトープ環境動態研究センター]

- 平成 30 年度に文部科学省に、福島大学環境放射能研究所、弘前大学被ばく医療総合研究所、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構福島研究開発部門福島環境安全センター、量子科学技術研究開発機構量子医学・医療部門高度被ばく医療センター福島再生支援研究部、国立環境研究所福島支部と共同で共同利用・共同研究拠点として申請し、認定され、令和元年度から本学 3 つめの共同利用・共同研究拠点として活動している。
- 新たな共同利用・共同研究体制の充実のための予算配分を受け、弘前大学と共同で 27 課題の共同研究を採択し、弘前大学及び筑波大で研究発表を行うとともに、通常のセミナーにおいても議論を行い、多くの新しい共同研究を開始している。
- 特別経費が採択され、今後のデータのアーカイブ化に向けた取り組みが始まっている。

Ⅲ 各種資料

1 管理運営関係

(1) 沿革

- 昭 37. 9 東京教育大学、5学部の統合移転候補地の調査を決定
38. 9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
42. 7 東京教育大学、「総合大学として発展することを期し、条件付きで筑波に土地を希望する」ことを決定
42. 9 筑波地区への移転予定機関として、東京教育大学、東京医科歯科大学医学部附属病院霞ヶ浦分院等 36 機関を閣議了解
44. 7 東京教育大学、「筑波における新大学のビジョンの実現を期して筑波に移転する」旨を表明
44. 11 文部省に筑波新大学創設準備調査会を設置
45. 5 筑波研究学園都市建設法成立
46. 6 東京教育大学、「筑波新大学に関する基本計画案」を決定
46. 7 筑波新大学創設準備調査会、「筑波新大学のあり方について」文部大臣に報告
46. 10 文部省に筑波新大学創設準備会を設置
47. 5 筑波研究学園都市に新設移転する研究教育機関として、筑波新大学（仮称）等 42 機関を閣議決定、東京教育大学に筑波新大学創設準備室を設置
47. 8 政府機関の移転を繰り上げ、昭和 50 年度までに完了することを閣議了解
48. 2 国立学校設置法等の一部を改正する法律案を閣議決定
48. 10 筑波大学設置「国立学校設置法等の一部を改正する法律（昭和 48 年法律第 103 号）」
三輪知雄、学長に就任
第一学群「人文学類、社会学類、自然科学類」、医学専門学群、体育専門学群、26 学系、
体育センター、農林技術センター、附属図書館、保健管理センターを設置
49. 4 外国語センター、加速器センター、計算センター（昭 53. 4 学術情報処理センターに改組）、企画調査室を設置
50. 4 第二学群「比較文化学類、人間学類、生物学類、農林学類（平 6. 4 生物資源学類に改称）」、
芸術専門学群、大学院修士課程「地域研究研究科（平成 20. 4 人文社会科学研究科に改組・再編）」、
大学院博士課程「哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、社会科学研究科、
生物科学研究科、数学研究科、物理学研究科、化学研究科、地球科学研究科」、
教育機器センター、アイソトープセンター、水理実験センター（平 12. 4 陸域環境研究センター（～平 22. 3）に転換）、
附属病院創設準備室を設置
50. 10 国民体力特別プロジェクト研究組織（～昭 55. 3）を設置
51. 4 「（修士課程）経営・政策科学研究科（平 17. 4 システム情報工学研究科に改組・再編）、
体育研究科（平 20. 4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、「（博士課程）教育学研究科、
心理学研究科、心身障害学研究科、農学研究科、体育科学研究科、芸術学研究科」を設置
51. 5 低温センター、分析センター、動物実験センター（平成 13. 4 生命科学動物資源センターに転換）、
下田臨海実験センター、附属病院を設置

51. 8 宮島龍興、学長に就任
52. 4 第三学群「社会工学類、情報学類、基礎工学類（平 10.4 工学基礎学類に改組）」、「(修士課程) 教育研究科（平 20.4 人間総合科学研究科に一部改組・再編）、環境科学研究科（平 19.4 生命環境科学研究科に改組・再編）、芸術研究科（平 19.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、工作センター、菅平高原実験センターを設置
52. 5 核物性特別プロジェクト研究組織（～昭 57.3）を設置
53. 3 東京教育大学閉学
53. 4 「(修士課程) 理工学研究科（平 16.4 数理物質科学研究科、平 17.4 システム情報工学研究科及び生命環境科学研究科に改組・再編）」、「(博士課程) 社会工学研究科」、理療科教員養成施設、学校教育部、附属 10 学校を設置
53. 5 ラテンアメリカ特別プロジェクト研究組織（～昭 58.3）を設置
53. 10 筑波大学医療技術短期大学部を併設
54. 4 「(修士課程) 医科学研究科（平 18.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、プラズマ研究センターを設置
55. 4 福田信之、学長に就任
「(博士課程) 医学研究科」、粒子線医科学センター（～平 2.3）、運動処方特別プロジェクト研究組織（～昭 57.3）を設置
56. 4 「(博士課程) 工学研究科」を設置
57. 4 熱帯農林資源特別プロジェクト研究組織（～昭 62.3）、老化特別プロジェクト研究組織（～昭 62.3）を設置
58. 4 「(第三学群) 国際関係学類（平 7.4 国際総合学類に改組）」、本能特別プロジェクト研究組織（～昭 63.3）を設置
59. 4 留学生教育センター（平 3.4 留学生センターに改称）、遺伝子実験センターを設置
60. 4 「(第二学群) 日本語・日本文化学類」を設置
61. 4 阿南功一、学長に就任
大学研究センターを設置
62. 5 物質の進化特別プロジェクト研究組織（～平 4.3）、変換技術開発特別プロジェクト研究組織（～平 4.3）を設置
63. 4 代謝特別プロジェクト研究組織（～平 5.3）を設置
- 平元. 4 大学院修士課程に夜間開講の専攻を設置
大学院修士課程において昼夜開講制を実施
2. 6 陽子線医学利用研究センター（～平 12.3）を設置
3. 4 「(第三学群) 工学システム学類」を設置
4. 4 江崎玲於奈、学長に就任
「(博士課程) 国際政治経済学研究科」、計算物理学研究センター（～平 14.3）、新国際システム特別プロジェクト研究組織（～平 9.3）、循環器系バイオシステム特別プロジェクト研究組織（～平 9.3）を設置
大学院博士課程において連携大学院方式（第一号連携大学院方式）を実施
5. 4 「(修士課程) バイオシステム研究科（平 17.4 生命環境科学研究科に改組・再編）」、地球環境変化特別プロジェクト研究組織（～平 10.3）を設置

- 6 . 5 先端学際領域研究センター（平 22. 10 生命領域学際研究センターに改組）
- 7 . 4 大学院博士課程において昼夜開講制を実施
- 8 . 4 大学院博士課程に夜間開講の専攻（後期 3 年博士課程）を設置
- 9 . 4 東西言語文化の類型論特別プロジェクト研究組織（～平 14. 3）、感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織（～平 14. 3）を設置
10. 4 北原保雄、学長に就任
動的脳機能とこころのアメニティ特別プロジェクト研究組織（～平 15. 3）を設置
11. 4 構造工学系を機能工学系に改称、アドミッションセンターを設置
12. 4 「(博士課程) 生命環境科学研究科、数理物質科学研究科、システム情報工学研究科（社会工学研究科、生物科学研究科、農学研究科、数学研究科、物理学研究科、化学研究科、地球科学研究科、工学研究科の改組）」、陽子線医学利用研究センター（～平 22. 3）を設置
13. 4 「(博士課程) 人文社会科学研究科、ビジネス科学研究科、人間総合科学研究科（哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、教育学研究科、心理学研究科、心身障害学研究科、社会科学研究科、国際政治経済学研究科、経営・政策科学研究科（経営システム科学専攻、企業法学専攻及び企業科学専攻）、医学研究科、体育科学研究科及び芸術学研究科の改組）」を設置
14. 4 産学リエゾン共同研究センター、教育開発国際協力研究センター、計算物理学研究センター（～平 24. 3；平 16. 4 計算科学研究センターに改組）、ナノサイエンス特別プロジェクト研究組織（～平 19. 3）、獲得性環境因子の生体応答システム特別プロジェクト研究組織（～平 19. 3）の設置
大学院修士課程において連携大学院方式を実施
14. 10 図書館情報大学と統合「国立学校設置法の一部を改正する法律（平成 14 年法律第 23 号）」
医学専門学群「医学類、看護・医療科学類」、図書館情報専門学群、「(博士課程) 図書館情報メディア研究科」、図書館情報学系、知的コミュニティ基盤研究センター（～平 24. 3）を設置
15. 4 学際物質科学研究センターを設置（～平 25. 3）
比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト研究組織（～平 20. 3）を設置
16. 4 国立大学法人筑波大学設置「国立大学法人法（平成 15 年法律第 112 号）」
岩崎洋一、学長に就任
看護科学系、特別支援教育研究センター、北アフリカ研究センター、学術情報メディアセンター（教育機器センター及び学術情報処理センターを統合）、研究基盤総合センター（加速器センター、低温センター、アイソトープセンター、分析センター及び工作センターを統合）、附属久里浜養護学校、大学院修士課程芸術研究科「世界遺産専攻」を設置
大学院博士課程において連携大学院方式（第二号連携大学院方式）を実施（数理物質科学研究科物質・材料工学専攻）
大学院博士課程数理物質科学研究科を 5 年一貫制博士課程から区分制博士課程に転換
17. 4 大学院専門職学位課程「ビジネス科学研究科法曹専攻、国際経営プロフェッショナル専攻」、大学院博士課程生命環境科学研究科「生命産業科学専攻」を設置

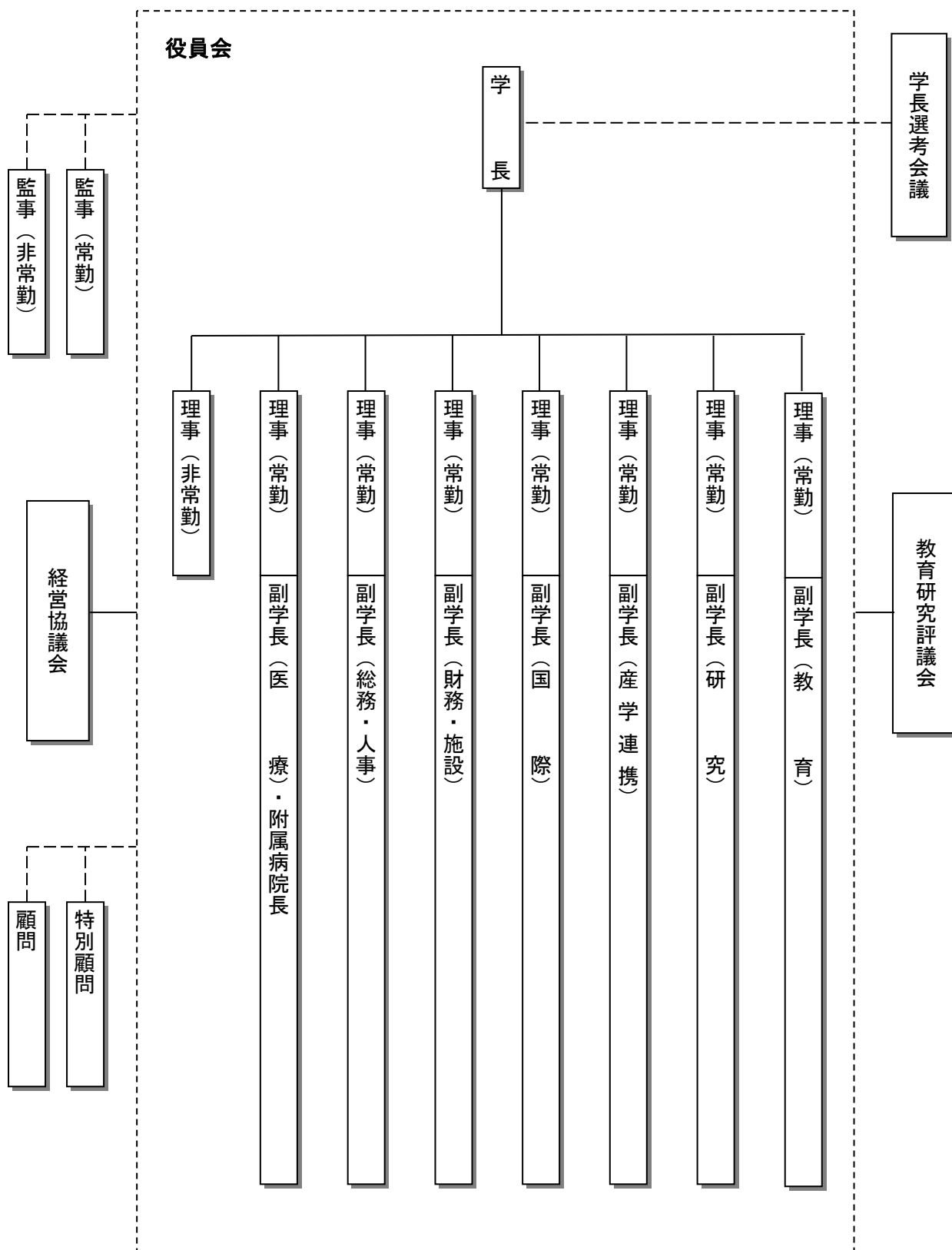
- 大学院博士課程において連携大学院方式（第二号連携大学院方式）を実施（生命環境科学研究科先端農業技術科学専攻）
- 大学院博士課程システム情報工学研究科、大学院博士課程生命環境科学研究科（構造生物科学専攻、情報生物科学専攻、国際地縁技術開発科学専攻、生物圏資源科学専攻、生物機能科学専攻）を5年一貫制博士課程から区分制博士課程に転換
18. 4 大学院修士課程教育研究科「スクールリーダーシップ開発専攻」、大学院博士課程人間総合科学研究科「フロンティア医科学専攻（修士課程）、コーチング学専攻（後期のみの博士課程）、世界文化遺産学専攻（後期のみの博士課程）」、アイソトープ総合センターを設置
18. 10 次世代医療研究開発・教育統合センターを設置
19. 4 学群改組を実施（9学群23学類により編制）
- 人文・文化学群「人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類」、社会・国際学群「社会学類、国際総合学類」、人間学群「教育学類、心理学類、障害科学類」、生命環境学群「生物学類、生物資源学類、地球学類」、理工学群「数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類」、情報学群「情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類」、医学群「医学類、看護学類、医療科学類」、体育専門学群、芸術専門学群
- 大学院博士課程生命環境科学研究科（地球環境科学専攻、地球進化科学専攻）、大学院博士課程人間総合科学研究科（芸術学専攻）を5年一貫制から区分制に転換
- 大学院博士課程生命環境科学研究科「地球科学専攻（博士前期課程）、環境科学専攻（博士前期課程）、地球環境科学専攻（博士後期課程）、地球進化科学専攻（博士後期課程）、持続環境学専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程人間総合科学研究科「看護科学専攻（修士課程）、世界遺産専攻（博士前期課程）、芸術専攻（博士前・後期課程）」を設置
- 附属盲学校、聾学校、大塚養護学校、桐が丘養護学校、久里浜養護学校を特別支援学校に変更
- 「学校教育法等の一部を改正する法律（平成18年法律第80号）」
20. 4 大学院人文社会科学研究科（現代文化・公共政策専攻、国際政治経済学専攻、社会科学専攻）、大学院博士課程人間総合科学研究科（教育学専攻、学校教育学専攻、心理学専攻、感性認知脳科学専攻、体育科学専攻）を5年一貫制から区分制に、大学院博士課程人間総合科学研究科（ヒューマン・ケア科学専攻、スポーツ医学専攻）を5年一貫制から後期3年博士課程に転換
- 大学院人文社会科学研究科「現代語・現代文化専攻、国際公共政策専攻、経済学専攻、法学専攻（以上、博士前・後期課程）、国際地域研究専攻（博士前期課程）、国際日本研究専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程人間総合科学研究科「障害科学専攻（博士前・後期課程）心理専攻、生涯発達専攻、体育学専攻、スポーツ健康システム・マネジメント専攻（以上、博士前期課程）、教育基礎学専攻、生涯発達科学専攻、生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻（以上、博士後期課程）」を設置
- 大学院修士課程教育研究科「特別支援教育専攻」を設置
21. 4 山田信博、学長に就任
- 大学院博士課程人間総合科学研究科「看護科学専攻（博士後期課程）」を設置

23. 4 教員組織である系（人文社会系、ビジネスサイエンス系、数理物質系、システム情報系、生命環境系、人間系、体育系、芸術系、医学医療系、図書館情報メディア系）を設置
大学院博士課程生命環境科学研究科「生物科学専攻（博士後期課程）」を設置
23. 10 サイバニクス研究センターを設置
23. 12 グローバル教育院を設置
24. 3 学系を廃止
24. 4 ヒューマンバイオロジー学位プログラム（5年一貫制博士課程）を設置
大学院博士課程数理物質科学研究科「ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程生命環境科学研究科「生命共存科学専攻（5年一貫制）」を設置
24. 12 国際統合睡眠医科学研究機構を設置
アイソトープ環境動態研究センター（アイソトープ総合センター及び陸域環境研究センターを統合）を設置
25. 4 永田恭介、学長に就任
グローバル・コモンズ機構を設置
26. 4 エンパワーメント情報学プログラム（5年一貫制博士課程）を設置
システム情報工学研究科に社会工学学位プログラム（前期2年博士課程、後期3年博士課程）、サービス工学学位プログラム（前期2年博士課程）を設置
利益相反・輸出管理マネジメント室を設置
27. 4 ライフイノベーション学位プログラム（前期2年博士課程、後期3年博士課程）を設置
グローバルコミュニケーション教育センター（外国語センター及び留学生センターを統合）を設置
高細精医療イノベーション研究コアを設置
27. 6 つくば臨床医学研究開発機構を設置
27. 7 ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターを設置
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターを設置
27. 10 ダイバーシティ・アクセビリティ・キャリアセンター（キャリア支援室、ダイバーシティ推進室、障害学生支援室を統合）を設置
つくばスポーツ医学・健康科学センターを設置
28. 4 リサーチアドミニストレーター研究支援室を設置
情報ガバナンス室を設置
大学戦略室を設置
筑波大学50周年史編纂委員会を設置
筑波大学アーカイブズを設置
29. 1 プレジジョン・メディシン開発研究センターを設置
29. 4 地球規模課題学位プログラム（学士）を設置
山岳科学学位プログラム（修士課程）を設置
つくば機能植物イノベーション研究センター（遺伝子実験センター・農林技術センター（農場部門）を統合）を設置
人工知能科学センターを設置

- 山岳科学センター（菅平高原実験センター及び農林技術センター演習林部門を統合）を
設置
- トランスボーダー医学研究センターを設置
- スポーツイノベーション開発研究センターを設置
- 未来社会工学開発研究センターを設置
29. 6 国際イニシアティブ推進機構を設置
29. 7 ヘルスサービス開発研究センターを設置
- オリンピック・パラリンピック総合推進室を設置
29. 9 国際ジョイントディグリープログラム・人間総合科学研究科国際連携食料健康科学専攻
（修士課程）を開設
29. 10 エネルギー物質科学研究センター（TREMS）（学際物質科学研究センター・数理物質融合
科学センター（環境エネルギー材料研究拠点）を統合）を設置
- 宇宙史研究センターを設置
30. 4 研究センター等再編を実施（3センター群により編制）
- 先端研究センター群「計算科学研究センター、生存ダイナミクス研究センター、つくば
機能植物イノベーション研究センター、下田臨海実験センター、プラズマ研究センター、
地中海・北アフリカ研究センター、サイバニクス研究センター、アイソトープ環境動態
研究センター、人工知能科学センター、陽子線医学利用研究センター、山岳科学センタ
ー、ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター、トランスボーダー医学研究
センター、宇宙史研究センター、エネルギー物質科学研究センター、大学研究センター」、
研究支援センター群「研究基盤総合センター、生命科学動物資源センター、学術情報メ
ディアセンター」、教育等センター群「グローバルコミュニケーション教育センター、体
育センター、アドミッションセンター、保健管理センター」
- 大学経営改革室を設置
- アスレチックデパートメントを設置
30. 10 微生物サステイナビリティ研究センターを設置
31. 2 テーラーメイド QOL プログラム開発研究センターを設置

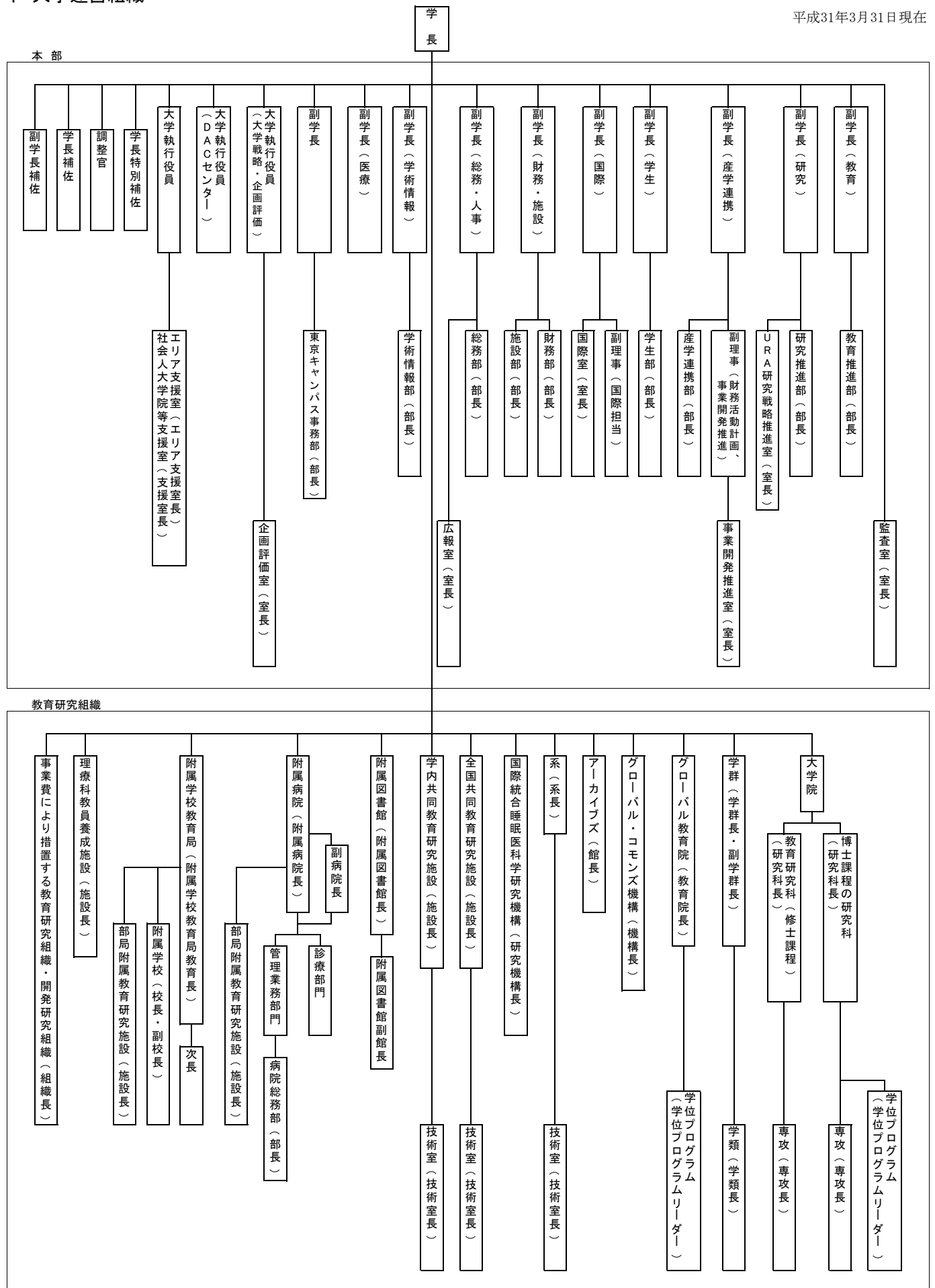
(2) 運営組織等
ア 法人運営組織

平成 31 年 3 月 31 日現在



イ 大学運営組織

平成31年3月31日現在



(3) 制定改廃法人規則等

○法人規則

- ・ 国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成30年5月24日法人規則第40号）
- ・ 国立大学法人筑波大学本部等職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成30年7月26日法人規則第42号）
- ・ 国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成30年7月26日法人規則第43号）
- ・ 国立大学法人筑波大学附属病院職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成30年7月26日法人規則第44号）
- ・ 国立大学法人筑波大学附属病院非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成30年7月26日法人規則第45号）
- ・ 国立大学法人筑波大学附属学校職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成30年7月26日法人規則第46号）
- ・ 国立大学法人筑波大学附属学校非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成30年7月26日法人規則第47号）
- ・ 国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成30年9月27日法人規則第48号）
- ・ 国立大学法人筑波大学利益相反規則の一部を改正する法人規則（平成30年10月25日法人規則第49号）
- ・ 国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則の一部を改正する法人規則（平成30年11月29日法人規則第50号）
- ・ 国立大学法人筑波大学財務規則の一部を改正する法人規則（平成30年12月20日法人規則第51号）
- ・ 筑波大学学群学則の一部を改正する法人規則（平成30年12月20日法人規則第52号）
- ・ 筑波大学寄附講座及び寄附研究部門に関する規則の一部を改正する法人規則（平成30年12月20日法人規則第53号）
- ・ 共催及び後援に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年1月24日法人規則第1号）
- ・ 国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年1月24日法人規則第2号）
- ・ 国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年1月24日法人規則第3号）
- ・ 国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年1月24日法人規則第4号）
- ・ 筑波大学における特別の課程の編成に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年2月7日法人規則第5号）
- ・ 国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年1月24日法人規則第6号）
- ・ 国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年1月24日法人規則第7号）

- ・国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年1月24日法人規則第8号）
- ・国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年2月28日法人規則第9号）
- ・国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則の一部を改正する法人規則（平成31年2月28日法人規則第10号）
- ・筑波大学学群学則の一部を改正する法人規則（平成31年2月28日法人規則第11号）
- ・筑波大学大学院学則の一部を改正する法人規則（平成31年2月28日法人規則第12号）
- ・国立大学法人筑波大学における個人番号及び特定個人情報の取扱いに関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第13号）
- ・国立大学法人筑波大学海外拠点規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第14号）
- ・国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第15号）
- ・国立大学法人筑波大学本部等職員の勤務時間及び休暇に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第16号）
- ・国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第17号）
- ・国立大学法人筑波大学附属病院職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第18号）
- ・国立大学法人筑波大学附属病院職員の勤務時間及び休暇に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第19号）
- ・国立大学法人筑波大学附属病院非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第20号）
- ・国立大学法人筑波大学附属病院非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第21号）
- ・国立大学法人筑波大学附属学校職員の勤務時間及び休暇に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第22号）
- ・国立大学法人筑波大学附属学校非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第23号）
- ・国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第24号）
- ・国立大学法人筑波大学基金規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第25号）
- ・国立大学法人筑波大学エネルギー管理規則の一部を改正する法人規則（平成31年3月28日法人規則第36号）

○法人規程

- ・国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成30年4月26日法人規程第64号）
- ・筑波大学特定臨床研究倫理審査委員会の組織及び運営に関する規程の一部を改正する法人規程（平成3

- 0年4月26日法人規程第65号)
- ・ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター規程の一部を改正する法人規程（平成30年5月24日法人規程第67号)
 - ・筑波大学臨床研究審査委員会の組織及び運営に関する規程の一部を改正する法人規程（平成30年6月28日法人規程第68号)
 - ・筑波大学学生表彰に関する規程の一部を改正する法人規程（平成30年7月26日法人規程第69号)
 - ・国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成30年9月27日法人規程第70号)
 - ・国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する法人規程（平成30年9月27日法人規程第71号)
 - ・筑波大学アーカイブズにおける保存、利用等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成30年9月28日法人規程第72号)
 - ・国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成30年12月17日法人規程第73号)
 - ・国立大学法人筑波大学財務規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成30年12月20日法人規程第74号)
 - ・国立大学法人筑波大学資金運用委員会規程の一部を改正する法人規程（平成30年12月20日法人規程第75号)
 - ・筑波大学検定料免除規程（平成30年12月20日法人規程第76号)
 - ・国際産学連携本部規程の一部を改正する法人規程（平成30年12月20日法人規程第77号)
 - ・国立大学法人筑波大学法人文書の開示の手続きに関する規程の一部を改正する法人規程（平成30年12月28日法人規程第78号)
 - ・国立大学法人筑波大学外部資金臨床研究取扱規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月4日法人規程第1号)
 - ・国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第2号)
 - ・国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第3号)
 - ・国立大学法人筑波大学本部等職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第4号)
 - ・国立大学法人筑波大学附属病院職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第5号)
 - ・国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第6号)
 - ・国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第7号)
 - ・国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第8号)
 - ・国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第9号)
 - ・国立大学法人筑波大学附属学校教員の再雇用に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月

24日法人規程第10号)

- ・教育・学生支援組織に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第11号）
- ・筑波大学学生担当教員等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第12号）
- ・国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第13号）
- ・国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第14号）
- ・国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第15号）
- ・国立大学法人筑波大学附属学校教員の再雇用に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年1月24日法人規程第16号）
- ・筑波大学学位規程の一部を改正する法人規程（平成31年2月28日法人規程第17号）
- ・国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成31年3月28日法人規程第18号）
- ・国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成31年3月28日法人規程第19号）
- ・国立大学法人筑波大学附属病院職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年3月28日法人規程第20号）
- ・国立大学法人筑波大学が任用する研究職員に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年3月28日法人規程第21号）
- ・筑波大学動物実験取扱規程の一部を改正する法人規程（平成31年3月28日法人規程第22号）
- ・国立大学法人筑波大学商標取扱規程の一部を改正する法人規程（平成31年3月28日法人規程第23号）
- ・筑波大学特定認定再生医療等委員会の組織及び運営に関する規程の一部を改正する法人規程（平成31年3月28日法人規程第24号）

○法人細則

- ・創基151年筑波大学50周年記念基金細則（平成30年5月17日法人細則第11号）
- ・エンパワーメント情報学プログラムの人材養成目的等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成30年4月26日法人細則第12号）
- ・国立大学法人筑波大学の会計事務分掌及び専決に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成30年5月31日法人細則第13号）
- ・ライフイノベーション学位プログラムの人材養成目的等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成30年6月21日法人細則第14号）
- ・国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成30年9月27日法人細則第15号）
- ・先端研究センター群に区分される教育研究施設の分類等に関する細則の一部を改正する法人細則（平成30年9月27日法人細則第16号）
- ・国立大学法人筑波大学余裕金運用細則の全部を改正する法人細則（平成30年12月20日法人細則第

17号)

- ・国立大学法人筑波大学政府調達事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成31年1月21日法人細則第1号）
- ・筑波大学学群入学選抜等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成31年2月21日法人細則第2号）
- ・国立大学法人筑波大学の会計責任者等の使用する公印に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成31年2月28日法人細則第3号）
- ・国立大学法人筑波大学の教育研究組織に置かれる特別補佐の選考、任期等に関する法人細則（平成31年2月28日法人細則第4号）
- ・筑波大学大学院長期履修学生に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成31年2月28日法人細則第5号）
- ・国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成31年3月28日法人細則第6号）
- ・国立大学法人筑波大学の会計責任者等の使用する公印に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成31年3月28日法人細則第7号）
- ・国立大学法人筑波大学の会計事務分掌及び専決に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成31年3月28日法人細則第8号）
- ・国立大学法人筑波大学債権管理事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成31年3月28日法人細則第9号）
- ・筑波大学学生証に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成31年3月29日法人細則第10号）

○学長告示

- ・国立大学法人筑波大学大学本部等事業場及び東京キャンパス事業場の適用範囲についての一部を改正する学長告示（平成30年4月1日学長告示第1号）

○附属病院規程

- ・筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成30年6月18日附属病院規程第3号）
- ・筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成30年12月3日附属病院規程第4号）
- ・筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成30年12月17日附属病院規程第5号）
- ・筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成31年3月11日附属病院規程第1号）
- ・筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成31年3月28日附属病院規程第2号）

○附属病院細則

- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年4月16日附属病院細則第35号）

- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年5月21日附属病院細則第36号）
- ・筑波大学附属病院臓器提供・移植支援委員会細則（平成30年5月21日附属病院細則第37号）
- ・筑波大学附属病院の高難度新規医療技術を用いた医療提供に関する細則（平成30年6月18日附属病院細則第38号）
- ・筑波大学附属病院高難度新規医療技術検討委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年6月18日附属病院細則第39号）
- ・筑波大学附属病院臨床医療管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年6月18日附属病院細則第40号）
- ・筑波大学附属病院栄養サポートセンターの組織及び運営に関する細則（平成30年6月18日附属病院細則第41号）
- ・筑波大学附属病院抗菌薬適正使用支援センターの組織及び運営に関する細則（平成30年6月18日附属病院細則第42号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年7月2日附属病院細則第43号）
- ・筑波大学附属病院特定行為に係る診療の補助管理委員会細則（平成30年7月24日附属病院細則第44号）
- ・筑波大学附属病院特別委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年7月24日法人細則第45号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年7月24日附属病院細則第46号）
- ・筑波大学附属病院病院利用細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年9月3日附属病院細則第47号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年9月3日附属病院細則第48号）
- ・筑波大学附属病院セルプロセッシングファクトリー運営委員会細則（平成30年9月3日附属病院細則第49号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年9月12日附属病院細則第50号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年10月1日附属病院細則第51号）
- ・筑波大学附属病院研修登録医受入細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年10月22日附属病院細則第52号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年11月5日附属病院細則第53号）
- ・筑波大学附属病院医療連携患者相談センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年11月5日附属病院細則第54号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年11月19日附属病院細則第55号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成30年12月3日附属病院細則第56号）

6号)

- ・筑波大学附属病院外国人受入れ体制支援委員会細則（平成31年1月21日附属病院細則第1号）
- ・筑波大学附属病院歯科技工室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年1月21日附属病院細則第2号）
- ・筑波大学附属病院実習生受入細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年1月21日附属病院細則第3号）
- ・筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター分譲細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月4日附属病院細則第4号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月4日附属病院細則第5号）
- ・筑波大学附属病院診療情報提供細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第6号）
- ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第7号）
- ・筑波大学附属病院研修登録医受入細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第8号）
- ・筑波大学附属病院レジデント等臨床研修細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第9号）
- ・筑波大学附属病院臨床修練運営細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第10号）
- ・筑波大学附属病院看護部長候補者選考及び再任審査に係る細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第11号）
- ・筑波大学附属病院病院登録医採用手続細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第12号）
- ・筑波大学附属病院陽子線治療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第13号）
- ・筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第14号）
- ・筑波大学附属病院保険診療委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第15号）
- ・筑波大学附属病院医療情報経営戦略部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第16号）
- ・筑波大学附属病院財務経営委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第17号）
- ・筑波大学附属病院地域医療調整委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第18号）
- ・筑波大学附属病院物流センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第19号）
- ・筑波大学附属病院医療機器管理センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第20号）
- ・筑波大学附属病院医療材料選定委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属

病院細則第 2 1 号)

- ・筑波大学附属病院薬事委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 2 2 号)
- ・筑波大学附属病院総合災害・救急マネジメント室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 2 3 号)
- ・筑波大学附属病院医療機器等導入審査委員会に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 2 4 号)
- ・筑波大学附属病院病態栄養部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 2 5 号)
- ・筑波大学附属病院病棟及び外来の管理に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 2 6 号)
- ・筑波大学附属病院緩和ケアセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 2 7 号)
- ・筑波大学附属病院総合周産期母子医療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 2 8 号)
- ・筑波大学附属病院検査部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 2 9 号)
- ・筑波大学附属病院手術部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 0 号)
- ・筑波大学附属病院放射線部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 1 号)
- ・筑波大学附属病院救急・集中治療部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 2 号)
- ・筑波大学附属病院リハビリテーション部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 3 号)
- ・筑波大学附属病院輸血部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 4 号)
- ・筑波大学附属病院光学医療診療部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 5 号)
- ・筑波大学附属病院病理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 6 号)
- ・筑波大学附属病院血液浄化療法部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 7 号)
- ・筑波大学附属病院脳死判定委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 8 号)
- ・筑波大学附属病院つくばヒト組織診断センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 3 9 号)
- ・筑波大学附属病院つくばヒト組織診断センター病理組織検査等受託細則の一部を改正する附属病院細則（平成 3 1 年 2 月 2 5 日附属病院細則第 4 0 号)
- ・筑波大学附属病院つくばヒト組織診断センター病理解剖受託細則の一部を改正する附属病院細則（平成

- 31年2月25日附属病院細則第41号)
- ・筑波大学附属病院総合がん診療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第42号)
 - ・筑波大学附属病院外来化学療法室の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第43号)
 - ・筑波大学附属病院クリティカルパス委員会細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第44号)
 - ・筑波大学附属病院放射線治療品質管理委員会細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第45号)
 - ・筑波大学附属病院外来診療委員会細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第46号)
 - ・筑波大学附属病院入院診療委員会細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第47号)
 - ・筑波大学附属病院小児総合医療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第48号)
 - ・筑波大学附属病院小児集中治療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第49号)
 - ・筑波大学附属病院認知症疾患医療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第50号)
 - ・筑波大学附属病院虐待対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第51号)
 - ・筑波大学附属病院つくば市バースセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第52号)
 - ・筑波大学附属病院臨床心理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第53号)
 - ・筑波大学附属病院外来診療の運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第54号)
 - ・筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第55号)
 - ・筑波大学附属病院医療連携患者相談センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第56号)
 - ・筑波大学附属病院輸血療法委員会細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第57号)
 - ・筑波大学附属病院遺伝診療部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第58号)
 - ・筑波大学附属病院つくばスポーツ医学・健康科学センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第59号)
 - ・筑波大学附属病院つくば予防医学研究センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則 (平成31年2月25日附属病院細則第60号)
 - ・筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター分譲細則の一部を改正する附属病院細則 (平成

- 31年2月25日附属病院細則第61号)
- ・筑波大学附属病院高次救急センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第62号）
 - ・筑波大学附属病院難病医療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第63号）
 - ・筑波大学附属病院臓器提供・移植支援委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第64号）
 - ・筑波大学附属病院栄養サポートセンターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第65号）
 - ・筑波大学附属病院外国人受入れ体制支援委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第66号）
 - ・筑波大学附属病院臨床医療管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第67号）
 - ・筑波大学附属病院ISO・医療業務支援部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第68号）
 - ・筑波大学附属病院感染管理部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第69号）
 - ・筑波大学附属病院感染対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第70号）
 - ・筑波大学附属病院におけるインフォームドコンセントの実施に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第71号）
 - ・筑波大学附属病院の高難度新規医療技術を用いた医療提供に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第72号）
 - ・筑波大学附属病院抗菌薬適正使用支援センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第73号）
 - ・筑波大学附属病院奨学金貸与細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第74号）
 - ・筑波大学附属病院病院利用細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第75号）
 - ・筑波大学附属病院研修生受入細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第76号）
 - ・筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター研究用標本作製等受託細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年2月25日附属病院細則第77号）
 - ・筑波大学附属病院古河・坂東地域医療教育センターの組織及び運営に関する細則（平成31年3月11日附属病院細則第78号）
 - ・筑波大学附属病院の保有する診療に係る個人情報の保護管理に関する細則（平成31年3月25日附属病院細則第79号）
 - ・筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成31年3月25日附属病院細則第80号）

○附属学校教育局細則

- ・附属学校教育局情報セキュリティの組織及び運営に関する細則（平成30年11月28日附属学校教育局細則第3号）
- ・国立大学法人筑波大学附属学校教育局研究倫理委員会細則の一部を改正する附属学校教育局細則（平成31年3月8日附属学校教育局細則第1号）

○部局細則

博士課程の研究科

ビジネス科学研究科

- ・ビジネス科学研究科の教育に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年11月16日ビジネス科学研究科部局細則第2号）

図書館情報メディア科学研究科

- ・図書館情報メディア研究科の人材養成目的等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年5月16日図書館情報メディア研究科部局細則第1号）
- ・図書館情報メディア研究科の入学選抜に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年5月16日図書館情報メディア研究科部局細則第2号）

学群

生命環境学群

- ・生命環境学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成30年6月28日生命環境学群部局細則第1号）
- ・生命環境学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成30年12月20日生命環境学群部局細則第2号）
- ・生命環境学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成31年2月28日生命環境学群部局細則第1号）

情報学群

- ・情報学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成31年1月16日情報学群部局細則第1号）

系

人文社会系

- ・人文社会系情報環境委員会運営等細則（平成30年11月28日人文社会系部局細則第1号）

ビジネスサイエンス系

- ・筑波大学ビジネスサイエンス系情報セキュリティ組織及び運営等細則（平成30年11月16日ビジネスサイエンス系部局細則第1号）
- ・ビジネスサイエンス系運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月22日ビジネスサイエンス系部局細則第1号）
- ・ビジネスサイエンス系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月22日ビジネスサイエンス系部局細則第2号）
- ・ビジネスサイエンス系年俸制教員業績評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月22日ビジネスサイエンス系部局細則第3号）
- ・ビジネスサイエンス系情報セキュリティ組織及び運営等細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月22日ビジネスサイエンス系部局細則第4号）

数理物質系

- ・数理物質系大学教員のテニュアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年9月6日数理物質系部局細則第4号）
- ・数理物質系情報セキュリティ組織及び運営等細則（平成30年11月9日数理物質系部局細則第5号）

システム情報系

- ・システム情報系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年4月12日システム情報系部局細則第2号）
- ・システム情報系情報セキュリティ組織及び運営等細則（平成31年1月9日システム情報系部局細則第1号）
- ・システム情報系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月25日システム情報系部局細則第2号）
- ・システム情報系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月25日システム情報系部局細則第3号）

生命環境系

- ・微生物サステナビリティ研究センター細則（平成30年10月10日生命環境系部局細則第1号）
- ・山岳科学センター細則の一部を改正する部局細則（平成30年10月10日生命環境系部局細則第2号）
- ・生命環境等 SIRT に関する細則（平成30年11月14日生命環境系部局細則第3号）
- ・生命環境系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年1月10日生命環境系部局細則第1号）

人間系

- ・人間系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年7月24日人間系部局細則第2号）
- ・人間系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年7月24日人間系部局細則第3号）
- ・人間系研究倫理委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年12月20日人間系部局細則第4号）
- ・人間系研究倫理委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年2月28日人間系部局細則第1号）
- ・人間系利益相反委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年2月28日人間系部局細則第2号）

体育系

- ・体育系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年10月4日体育系部局細則第2号）
- ・体育芸術エリアリスクマネジメント細則（平成30年12月5日体育系部局細則第3号）

芸術系

- ・芸術系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年6月7日芸術系部局細則第2号）

- ・芸術系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年9月6日芸術系部局細則第3号）
- ・体育芸術エリアリスクマネジメント細則（平成31年1月9日芸術系部局細則第1号）

医学医療系

- ・医学医療系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年7月5日医学医療系部局細則第3号）
- ・医学医療系教員のテニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則（平成31年1月23日医学医療系部局細則第1号）
- ・医学医療系運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月29日医学医療系部局細則第2号）
- ・医学医療系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月29日医学医療系部局細則第3号）
- ・医学医療系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月29日医学医療系部局細則第4号）
- ・国立大学法人筑波大学トランスボーダー医学研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月29日医学医療系部局細則第5号）
- ・国立大学法人筑波大学トランスボーダー医学研究センター（部門：生命科学動物資源センター）利用細則（平成31年3月29日医学医療系部局細則第6号）
- ・国立大学法人筑波大学トランスボーダー医学研究センター（部門：生命科学動物資源センター）遺伝子改変マウス作製等受託細則（平成31年3月29日医学医療系部局細則第7号）

図書館情報メディア系

- ・図書館情報メディア系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年4月12日図書館情報メディア系部局細則第8号）
- ・図書館情報メディア系におけるテニユアトラック制に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年4月12日図書館情報メディア系部局細則第9号）
- ・図書館情報メディア系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年6月7日図書館情報メディア系部局細則第10号）
- ・図書館情報メディア系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年10月4日図書館情報メディア系部局細則第11号）
- ・図書館情報メディア系情報セキュリティ組織及び運営細則（平成30年11月21日図書館情報メディア系部局細則第12号）
- ・図書館情報メディア系業績評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年10月17日図書館情報メディア系部局細則第13号）

先端研究センター群

計算科学研究センター

- ・計算科学研究センター人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成30年6月12日計算科学研究センター部局細則第4号）
- ・筑波大学計算科学研究センター人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成31年1月10日計

算科学研究センター部局細則第1号)

- ・筑波大学計算科学研究センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月11日計算科学研究センター部局細則第2号）
- ・筑波大学計算科学研究センター電子計算機システム等利用負担金の額及び負担方法を定める細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月12日計算科学研究センター部局細則第3号）

トランスボーダー医学研究センター

- ・国立大学法人筑波大学トランスボーダー医学研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成30年4月25日医学医療系部局細則第2号）

宇宙史研究センター

- ・国立大学法人筑波大学宇宙史研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成30年4月1日数理物質系部局細則第1号）

エネルギー物質科学研究センター

- ・国立大学法人筑波大学エネルギー物質科学研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成30年4月1日数理物質系部局細則第2号）

研究支援センター群

研究基盤総合センター

- ・筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年6月18日研究基盤総合センター部局細則第5号）
- ・研究基盤総合センター利用負担金及び負担方法に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年7月24日研究基盤総合センター部局細則第6号）
- ・筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年7月24日研究基盤総合センター部局細則第7号）
- ・筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年9月18日研究基盤総合センター部局細則第8号）
- ・筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年12月13日研究基盤総合センター部局細則第9号）
- ・筑波大学研究基盤総合センターオープンファシリティ推進室登録機器共同利用等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月22日研究基盤総合センター部局細則第1号）

生命科学動物資源センター

- ・国立大学法人筑波大学生命科学動物資源センター細則の一部を改正する部局細則（平成30年4月25日医学医療系部局細則第1号）

学術情報メディアセンター

- ・全学センター等情報環境委員会細則（平成30年11月2日学術情報メディアセンター部局細則第2号）

教育等センター群

体育センター

- ・体育センター細則の一部を改正する部局細則（平成30年6月27日体育センター部局細則第1号）
- ・体育センター体育施設等の使用に関する細則の一部を改正する部局細則（平成30年8月22日体育センター部局細則第2号）

アドミッションセンター

- ・アドミッションセンター細則の一部を改正する部局細則（平成31年3月8日アドミッションセンター部局細則第1号）

附属図書館

- ・筑波大学附属図書館運営委員会専門委員会細則を廃止する附属図書館部局細則（平成30年7月26日附属図書館部局細則第2号）
- ・筑波大学附属図書館収書専門委員会細則（平成30年7月26日附属図書館部局細則第3号）
- ・筑波大学附属図書館ボランティア専門委員会細則（平成30年7月26日附属図書館部局細則第4号）
- ・筑波大学附属図書館オープンアクセス専門委員会細則（平成30年7月26日附属図書館部局細則第5号）
- ・筑波大学附属図書館リスクマネジメント専門委員会細則（平成30年7月26日附属図書館部局細則第6号）
- ・筑波大学附属図書館情報環境委員会運営等細則（平成30年7月26日附属図書館部局細則第7号）

開発研究センター

未来社会工学開発研究センター

- ・未来社会工学開発研究センターの組織及び運営に関する細則（平成30年10月1日未来社会工学開発研究センター部局細則第1号）

アスレチックデパートメント

- ・アスレチックデパートメント細則（平成31年1月18日アスレチックデパートメント部局細則第1号）

(4) 主要行事

入 学 式 学群(理療科教員養成施設を含む), 大学院
学群(秋学期入学), 大学院 (秋学期入学)

新入生オリエンテーション 学群(4月入学)
大学院

私費外国人研究生(4月入学)

国費外国人留学生(4月入学)

私費外国人研究生(10月入学)

国費外国人留学生(10月入学)

私費外国人研究生(12月入学)

スポーツ・デー 春 季
秋 季

入学試験等(学群)

- ・受験生のための筑波大学説明会
- ・平成31年度個別学力検査等(前期日程・後期日程)
- ・平成31年度アドミッションセンター入試
- ・平成31年度推薦入試
- ・平成30年度帰国生徒特別入試
- ・平成31年度帰国生徒特別入試(体育専門学群、芸術専門学群)
- ・平成31年度国際科学オリンピック特別入試
- ・平成31年度私費外国人留学生入試
- ・平成31年度私費外国人留学生特別コース入試
- ・平成31年度国際バカロレア特別入試
- ・平成30年度私費外国人留学生 Japan-Expert(学士)プログラム特別入試
- ・平成30年度地球規模課題学位プログラム(学士)入試
- ・平成31年度海外教育プログラム特別入試
- ・平成31年度学群編入学試験
- ・平成31年度学群編入学試験(社会・国際学群社会学類)
- ・平成31年度私費外国人留学生特別コース入試(編入学)
- ・平成31年度大学入試センター試験

入学試験(大学院)

平成31年度大学院入学者選抜(修士課程・博士課程・専門職学位課程)

入試期 7月期・8月期・10月期・2月期

(ビジネス科学研究科の入試期 9月期・11月期・2月期)

(特別プログラム入試については、上記に限らず実施)

- ・推薦入試
- ・一般入試
- ・社会人特別選抜
- ・外国人留学生等の特別選抜
- ・本学の博士前期課程（修士課程を含む。）から博士後期課程への進学に関する特別選抜

永年勤続者（20年）表彰式

永年勤続者（退職時）表彰式

名誉教授称号授与式

学園祭（雙峰祭）

卒業式・学位記授与式

学群・大学院（9月期）

大学院（3月期）

学群（理療科教員養成施設を含む）

(5) 役員・役職教員名簿

平成31年3月1日現在

役 職 名	氏 名	任 期
学長	永田 恭介	27. 4. 1～31. 3. 31
副学長・理事（教育担当）	清水 諭	30. 4. 1～31. 3. 31
副学長・理事（研究担当）	木越 英夫	30. 4. 1～31. 3. 31
副学長・理事（産学連携担当）	金保 安則	30. 4. 1～31. 3. 31
副学長（学生担当）	佐藤 忍	30. 4. 1～31. 3. 31
副学長・理事（国際担当）	BENTON Caroline F.	30. 4. 1～31. 3. 31
副学長・理事（財務・施設担当）	石野 利和	30. 4. 1～31. 3. 31
副学長・理事（総務・人事担当）	稲垣 敏之	30. 4. 1～31. 3. 31
副学長（企画評価・学術情報担当）・附属図書館長	阿部 豊	30. 4. 1～31. 3. 31
副学長・理事（医療担当）・附属病院長	原 晃	30. 4. 1～32. 3. 31
副学長・附属学校教育局教育長	茂呂 雄二	30. 4. 1～31. 3. 31
理事（非常勤）	浅島 誠	30. 4. 1～31. 3. 31
監事	佐藤 総一郎	28. 4. 1～32. 8. 31
監事（非常勤）	井原 宏	28. 4. 1～32. 8. 31
大学執行役員（DACセンター担当）	五十嵐 浩也	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員（筑波会議担当）・学長補佐・学長補佐室長	池田 潤	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員（国際戦略担当）	大根田 修	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	青木 三郎	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	山田 雄二	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	齋藤 一弥	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	加藤 和彦	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	松本 宏	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	小川 園子	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	西保 岳	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	太田 圭	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	加藤 光保	30. 4. 1～31. 3. 31
大学執行役員	溝上 智恵子	30. 4. 1～31. 3. 31
学長特別補佐	馬場 忠	30. 4. 1～31. 3. 31
学長特別補佐	庄司 一子	30. 4. 1～31. 3. 31
学長特別補佐（非常勤）	河野 一郎	30. 4. 1～31. 3. 31
学長特別補佐（非常勤）	武田 修三郎	30. 4. 1～31. 3. 31
学長特別補佐（非常勤）	沼田 治	30. 4. 1～31. 3. 31
学長特別補佐（非常勤）	吉岡 高志	30. 4. 1～31. 3. 31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

【系長】

人文社会系長	青木 三郎	30. 4. 1～33. 3.31
ビジネスサイエンス系長	山田 雄二	30. 4. 1～33. 3.31
数理物質系長	齋藤 一弥	30. 4. 1～33. 3.31
システム情報系長	加藤 和彦	30. 4. 1～33. 3.31
生命環境系長	松本 宏	30. 4. 1～33. 3.31
人間系長	小川 園子	30. 4. 1～33. 3.31
体育系長	西保 岳	30. 4. 1～33. 3.31
芸術系長	太田 圭	30. 4. 1～33. 3.31
医学医療系長	加藤 光保	30. 4. 1～33. 3.31
図書館情報メディア系長	溝上 智恵子	30. 4. 1～33. 3.31

【博士課程研究科長】

人文社会科学研究科長	竹中 佳彦	30. 4. 1～32. 3.31
ビジネス科学研究科長	大塚 章男	30. 4. 1～32. 3.31
数理物質科学研究科長	坪井 明人	30. 4. 1～32. 3.31
システム情報工学研究科長	大澤 義明	30. 4. 1～32. 3.31
生命環境科学研究科長	田中 博	30. 4. 1～32. 3.31
人間総合科学研究科長	内山 治樹	30. 4. 1～32. 3.31
図書館情報メディア研究科長	中山 伸一	30. 4. 1～32. 3.31

【専攻長】

人文社会科学研究科		
哲学・思想専攻長（一貫制）	保呂 篤彦	29. 4. 1～31. 3.31
歴史・人類学専攻長（一貫制）	伊藤 純郎	30. 4. 1～32. 3.31
文芸・言語専攻長（一貫制）	杉本 武	29. 4. 1～31. 3.31
現代語・現代文化専攻長（区分制）	畔上 泰治	29. 4. 1～31. 3.31
国際公共政策専攻長（区分制）	土井 隆義	30. 4. 1～32. 3.31
法学専攻長（区分制）	根本 信義	29. 4. 1～31. 3.31
国際地域研究専攻長（修士）	箕輪 真理	30. 4. 1～32. 3.31
国際日本研究専攻長（前期）	平山 朝治	29. 4. 1～31. 3.31
国際日本研究専攻長（後期）	海後 宗男	30. 4. 1～32. 3.31
ビジネス科学研究科		
経営システム科学専攻長（前期）	佐藤 忠彦	29. 4. 1～31. 3.31
企業法学専攻長（前期）	本田 光宏	29. 4. 1～31. 3.31
企業科学専攻長（後期）	倉橋 節也	30. 4. 1～32. 3.31
法曹専攻長（専門職学位課程）	森田 憲右	29. 4. 1～31. 3.31
国際経営プロフェッショナル専攻長（専門職学位課程）	平井 孝志	30. 4. 1～32. 3.31
数理物質科学研究科		
数学専攻長（区分制）	秋山 茂樹	30. 4. 1～32. 3.31
物理学専攻長（区分制）	初貝 安弘	30. 4. 1～32. 3.31
化学専攻長（区分制）	小島 隆彦	30. 4. 1～32. 3.31
ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻長（後期）	黒田 眞司	29. 4. 1～31. 3.31
電子・物理工学専攻長（区分制）	佐々木 正洋	29. 4. 1～31. 3.31
物性・分子工学専攻長（区分制）	日野 健一	29. 4. 1～31. 3.31
物質・材料工学専攻長（3年制博士課程）	武田 良彦	29. 4. 1～31. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
システム情報工学研究科		
社会工学専攻長（区分制）	吉瀬 章子	29. 4. 1～31. 3.31
リスク工学専攻長（区分制）	遠藤 靖典	29. 4. 1～31. 3.31
コンピュータサイエンス専攻長（区分制）	大矢 晃久	30. 4. 1～32. 3.31
知能機能システム専攻長（区分制）	藪野 浩司	30. 4. 1～32. 3.31
構造エネルギー工学専攻長（区分制）	武若 聡	29. 4. 1～31. 3.31
社会システム・マネジメント専攻長（後期）	吉瀬 章子	29. 4. 1～31. 3.31
生命環境科学研究科		
地球科学専攻長（前期）	角替 敏昭	29. 4. 1～31. 3.31
生物科学専攻長（前期）	中田 和人	30. 4. 1～32. 3.31
生物資源科学専攻長（前期）	市川 創作	30. 4. 1～32. 3.31
環境科学専攻長（前期）	張 振亜	30. 4. 1～32. 3.31
国際連携持続環境科学専攻長（前期）	辻村 真貴	29. 9. 1～31. 3.31
地球環境科学専攻長（後期）	浅沼 順	29. 4. 1～31. 3.31
地球進化科学専攻長（後期）	角替 敏昭	30. 4. 1～32. 3.31
生物科学専攻長（後期）	中田 和人	29. 4. 1～31. 3.31
環境バイオマス共生学専攻長（一貫制）	中村 顕	30. 4. 1～32. 3.31
国際地縁技術開発科学専攻長（後期）	松下 秀介	29. 4. 1～31. 3.31
生物圏資源科学専攻長（後期）	大澤 良	30. 4. 1～32. 3.31
生物機能科学専攻長（後期）	田中 俊之	30. 4. 1～32. 3.31
生命産業科学専攻長（後期）	中村 幸治	29. 4. 1～31. 3.31
持続環境学専攻長（後期）	辻村 真貴	29. 4. 1～31. 3.31
先端農業技術科学専攻長（3年制博士課程）	三森 眞琴	29. 4. 1～31. 3.31
生命共存科学専攻長（一貫制）	中村 顕	30. 4. 1～32. 3.31
人間総合科学研究科		
スポーツ健康システム・マネジメント専攻長（修士）	水上 勝義	30. 4. 1～32. 3.31
フロンティア医科学専攻長（修士）	入江 賢児	30. 4. 1～32. 3.31
教育学専攻長（前期）	藤井 穂高	30. 4. 1～32. 3.31
教育基礎学専攻長（後期）	藤井 穂高	30. 4. 1～32. 3.31
学校教育学専攻長（後期）	片平 克弘	29. 4. 1～31. 3.31
心理専攻長（前期）	濱口 佳和	30. 4. 1～32. 3.31
心理学専攻長（後期）	原田 悦子	30. 4. 1～32. 3.31
障害科学専攻長（区分制）	原島 恒夫	30. 4. 1～32. 3.31
生涯発達専攻長（前期）	岡田 昌毅	30. 4. 1～32. 3.31
生涯発達科学専攻長（後期）	小澤 温	30. 4. 1～32. 3.31
ヒューマン・ケア科学専攻長（3年制博士課程）	庄司 一子	29. 4. 1～31. 3.31
感性認知脳科学専攻長（区分制）	山中 敏正	30. 4. 1～32. 3.31
スポーツ医学専攻長（3年制博士課程）	前田 清司	30. 4. 1～32. 3.31
生命システム医学専攻長（一貫制・医学4年）	土屋 尚之	30. 4. 1～32. 3.31
疾患制御医学専攻長（一貫制・医学4年）	千葉 滋	30. 4. 1～32. 3.31
看護科学専攻長（前期）	水野 道代	30. 4. 1～31. 3.31
看護科学専攻長（後期）	水野 道代	30. 4. 1～31. 3.31
体育学専攻長（前期）	木塚 朝博	30. 4. 1～32. 3.31
体育科学専攻長（後期）	藤井 範久	30. 4. 1～32. 3.31
コーチング学専攻長（3年制博士課程）	會田 宏	30. 4. 1～32. 3.31
芸術専攻長（前期）	内藤 定壽	30. 4. 1～32. 3.31
芸術専攻長（後期）	長田 年弘	29. 4. 1～31. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
世界遺産専攻長（前期）	吉田 正人	30. 4. 1～32. 3.31
世界文化遺産学専攻長（後期）	吉田 正人	30. 4. 1～32. 3.31
スポーツ国際開発学共同専攻長（修士）	本田 靖	29. 4. 1～31. 3.31
大学体育スポーツ高度化共同専攻長（3年制博士課程）	高木 英樹	30. 4. 1～32. 3.31
国際連携食料健康科学専攻長（修士）	熊谷 嘉人	29. 9. 1～31. 8.31
図書館情報メディア研究科		
図書館情報メディア専攻長（区分制）	佐藤 哲司	30. 4. 1～32. 3.31

【修士課程研究科長】

教育研究科長	清水 美憲	30. 4. 1～32. 3.31
--------	-------	-------------------

【学位プログラムリーダー】

ヒューマンバイオロジー学位プログラムリーダー	澁谷 彰	30. 4. 1～31. 3.31
エンパワーメント情報学プログラムリーダー	岩田 洋夫	30. 4. 1～32. 3.31
ライフイノベーション学位プログラムリーダー	磯田 博子	29. 4. 1～31. 3.31
サービス工学学位プログラムリーダー	渡邊 俊	29. 4. 1～31. 3.31
ヒューマニクス学位プログラムリーダー	柳沢 正史	31. 1. 1～32. 3.31
地球規模課題学位プログラムリーダー	青木 三郎	29. 4. 1～31. 3.31

【学群長】

人文・文化学群長	大倉 浩	30. 4. 1～32. 3.31
社会・国際学群長	関根 久雄	30. 4. 1～32. 3.31
人間学群長	綾部 早穂	30. 4. 1～32. 3.31
生命環境学群長	荒川 洋二	30. 4. 1～32. 3.31
理工学群長	西岡 牧人	30. 4. 1～32. 3.31
情報学群長	和田 耕一	30. 4. 1～32. 3.31
医学群長	榊 正幸	30. 4. 1～32. 3.31
体育専門学群長	中川 昭	30. 4. 1～32. 3.31
芸術専門学群長	野中 勝利	30. 4. 1～32. 3.31

【副学群長】

理工学群副学群長	守橋 健二	30. 4. 1～32. 3.31
----------	-------	-------------------

【学類長】

人文・文化学群		
人文学類長	三宅 裕	30. 4. 1～32. 3.31
比較文化学類長	徳丸 亜木	30. 4. 1～32. 3.31
日本語・日本文学類長	谷口 孝介	30. 4. 1～32. 3.31
社会・国際学群		
社会学類長	平沢 照雄	30. 4. 1～32. 3.31
国際総合学類長	潘 亮	30. 4. 1～32. 3.31
人間学群		
教育学類長	藤田 晃之	30. 4. 1～32. 3.31
心理学類長	佐藤 有耕	30. 4. 1～32. 3.31
障害科学類長	川間 健之介	30. 4. 1～32. 3.31
生命環境学群		
生物学類長	和田 洋	30. 4. 1～32. 3.31
生物資源学類長	茂野 隆一	30. 4. 1～32. 3.31
地球学類長	松井 圭介	30. 4. 1～32. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
理工学群		
数学類長	竹内 潔	30. 4. 1～32. 3.31
物理学類長	重田 育照	30. 4. 1～32. 3.31
化学類長	中谷 清治	30. 4. 1～32. 3.31
応用理工学類長	松石 清人	30. 4. 1～32. 3.31
工学システム学類長	丸山 勉	30. 4. 1～32. 3.31
社会工学類長	川島 宏一	30. 4. 1～32. 3.31
情報学群		
情報科学類長	亀山 幸義	30. 4. 1～32. 3.31
情報メディア創成学類長	河辺 徹	30. 4. 1～32. 3.31
知識情報・図書館学類長	歳森 敦	30. 4. 1～32. 3.31
医学群		
医学類長	田中 誠	30. 4. 1～32. 3.31
看護学類長	森 千鶴	30. 4. 1～32. 3.31
医療科学類長	久武 幸司	30. 4. 1～32. 3.31

【グローバル教育院】

グローバル教育院長	清水 諭	30. 4. 1～31. 3.31
-----------	------	-------------------

【グローバル・コモンズ機構】

グローバル・コモンズ機構長	Benton Caroline F.	30. 4. 1～31. 3.31
---------------	--------------------	-------------------

【アーカイブズ】

アーカイブズ館長	中野目 徹	30. 4. 1～32. 3.31
----------	-------	-------------------

【国際統合睡眠医科学研究機構】

国際統合睡眠医科学研究機構長	柳沢 正史	24.12. 1～
----------------	-------	-----------

【教育研究施設の長】

(先端研究センター群)

計算科学研究センター長	梅村 雅之	29. 4. 1～31. 3.31
生存ダイナミクス研究センター長	林 純一	30.12. 1～31. 3.31
つくば機能植物イノベーション研究センター長	江面 浩	30. 4. 1～32. 3.31
下田臨海実験センター長	笹倉 靖徳	30. 4. 1～32. 3.31
プラズマ研究センター長	中嶋 洋輔	29. 4. 1～31. 3.31
地中海・北アフリカ研究センター長	磯田 博子	30. 4. 1～32. 3.31
サイバニクス研究センター長	鈴木 健嗣	29.10. 1～31. 3.31
アイソトープ環境動態研究センター長	恩田 裕一	29. 4. 1～31. 3.31
人工知能科学センター長	櫻井 鉄也	30. 4. 1～32. 3.31
陽子線医学利用研究センター長	榮 武二	30. 4. 1～32. 3.31
山岳科学センター長	石田 健一郎	29. 4. 1～31. 3.31
微生物サステナビリティ研究センター長	高谷 直樹	30.10. 1～32. 3.31
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター長	征矢 英昭	29. 4. 1～31. 3.31
トランスボーダー医学研究センター長	高橋 智	29. 4. 1～31. 3.31
宇宙史研究センター長	金谷 和至	29.10. 1～31. 3.31
エネルギー物質科学研究センター長	鍋島 達弥	29.10. 1～31. 3.31
大学研究センター長	清水 諭	30. 4. 1～31. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

(研究支援センター群)

研究基盤総合センター長	河井 昌道	29. 4. 1～31. 3.31
生命科学動物資源センター長	杉山 文博	29. 4. 1～31. 3.31
学術情報メディアセンター長	亀山 啓輔	30. 4. 1～32. 3.31

(教育等センター群)

グローバルコミュニケーション教育センター長	磐崎 弘貞	30. 4. 1～32. 3.31
体育センター長	山田 幸雄	29. 4. 1～31. 3.31
アドミッションセンター長	大谷 奨	30. 4. 1～32. 3.31
保健管理センター所長	坂本 透	30. 4. 1～32. 3.31

【理療科教員養成施設長】

理療科教員養成施設長	緒方 昭広	30. 4. 1～32. 3.31
------------	-------	-------------------

【附属学校長】

附属小学校長	甲斐 雄一郎	29. 4. 1～32. 3.31
附属中学校長	野津 有司	29. 4. 1～32. 3.31
附属駒場中学校長	林 久喜	29. 4. 1～32. 3.31
附属高等学校長	大川 一郎	29. 4. 1～32. 3.31
附属駒場高等学校長	林 久喜	29. 4. 1～32. 3.31
附属坂戸高等学校長	田村 憲司	29. 4. 1～32. 3.31
附属視覚特別支援学校長	柿澤 敏文	29. 4. 1～32. 3.31
附属聴覚特別支援学校長	鄭 仁豪	30. 4. 1～32. 3.31
附属大塚特別支援学校長	柘植 雅義	29. 4. 1～32. 3.31
附属桐が丘特別支援学校長	宇野 彰	29. 4. 1～31. 3.31
附属久里浜特別支援学校長	下山 直人	29. 4. 1～31. 3.31

(6) 役員・教職員数

ア 役員・教職員数総表

平成31年3月1日現在

部局名	学長	理事・ 監事	副学長・ 系長	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	大学教 員計	研究員等	附属学校 教員	事務・ 技術・ 医療職員	合計
学長	1									0				1
理事・監事		10								0				10
副学長（理事でない）			3							3				3
本部（教員）				16	6		5			27				27
調整官										0				0
監査室										0			3	3
企画評価室										0			8	8
広報室										0			7	7
事業開発推進室										0			7	7
国際室										0			24	24
URA研究戦略推進室										0			14	14
総務部										0			82	82
財務部										0			67	67
施設部										0			41	41
教育推進部										0			73	73
学生部										0			58	58
研究推進部										0			65	65
産学連携部										0			53	53
学術情報部										0			79	79
人文社会系			1	86	82	4	37			210	7			217
人文社会エリア支援室										0			30	30
ビジネスサイエンス系			1	28	21	1	3		1	55				55
社会人大学院等支援室										0			17	17
数理物質系			1	68	69	27	54		1	220	14			234
数理物質エリア支援室										0			32	32
数理物質科学等技術室										0			11	11
システム情報系			1	68	78	6	45			198	7			205
システム情報エリア支援室										0			42	42
システム情報工学等技術室										0			13	13
生命環境系			1	79	77	13	68		8	246	21			267
生命環境エリア支援室										0			48	48
生命環境科学等技術室										0			22	22
人間系			1	45	33	4	21		9	113	5			118
人間エリア支援室										0			17	17
体育系			1	44	41	2	29		16	133	12			145
芸術系			1	25	19		13		1	59	2			61
体育芸術エリア支援室										0			37	37
医学医療系			1	121	106	173	98	1	3	503	7			510
医学医療エリア支援室										0			65	65
医学医療系技術室										0			37	37
図書館情報メディア系			1	21	20	5	14		1	62	2			64
図書館情報エリア支援室										0			19	19
利益相反・輸出管理マネジメント室										0			2	2
スポーツResearch&Developmentコア										0	6			6
グローバル・コモンズ機構										0			17	17
国際統合睡眠医科学研究機構				5	9		15			29	24		21	74
計算科学研究センター				15	10	3	13			41	22			63
生存ダイナミクス研究センター				5		4	8			17	3			20
つくば機能植物イノベーション研究センター技術室										0			14	14
下田臨海実験センター										0	1			1
地中海・北アフリカ研究センター										0	2			2
サイバニクス研究センター										0	1			1
アイソトープ環境動態研究センター										0	4		6	10
人工知能科学センター										0	3			3
研究基盤総合センター技術室										0			11	11
グローバルコミュニケーション教育センター										0	2			2
循環バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター										0	7			7
ヘルスサービス開発研究センター										0	1			1
附属病院										0			1,125	1,125
病院総務部										0			223	223
附属学校教育局										0	1		58	59
附属学校										0		527		527
合計	1	10	13	626	571	242	423	1	40	1,916	154	527	2,448	5,056

イ 役員数

学長	理事	監事
1	8	2

ウ 大学教員異動状況

採用

	大学	研究所	企業	その他	総計
教授	12	4	8	6	30
准教授	17	1	5	8	31
講師	6	0	5	7	18
助教	41	5	5	37	88
特任助教	2	1	2	12	17
総計	78	11	25	70	184

退職

	大学	研究所	企業	定年	その他	総計
教授	6	0	2	31	7	46
准教授	17	0	4	5	13	39
講師	2	0	2	2	1	7
助教	17	2	4	1	18	42
特任助教	2	0	2	0	3	7
総計	44	2	14	39	42	141

(7) 予算決算

ア 貸借対照表

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部			
I 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		246,462,830	
建物	158,722,136		
建物減価償却累計額	△76,897,189		
建物減損損失累計額	△718,107		81,106,840
構築物	11,732,072		
構築物減価償却累計額	△6,914,313		
構築物減損損失累計額	△16,060		4,801,699
機械装置	112,576		
機械装置減価償却累計額	△101,699		10,877
工具器具備品	62,116,075		
工具器具備品減価償却累計額	△49,176,418		12,939,657
図書			10,294,661
美術品・收藏品			913,907
船舶	256,275		
船舶減価償却累計額	△193,765		62,509
車両運搬具	148,887		
車両運搬具減価償却累計額	△134,249		14,639
建設仮勘定			178,862
その他の有形固定資産			6,924
有形固定資産合計			356,793,404
2 無形固定資産			
商標権			301
特許権			200,637
借地権			235,000
電気施設利用権			20,851
ソフトウェア			192,315
電話加入権			8,549
特許権仮勘定			172,339
その他の仮勘定			443
その他の無形固定資産			56,842
無形固定資産合計			887,277
3 投資その他の資産			
投資有価証券			2,400,367
長期前払費用			15,560
破産債権、再生債権、更生債権その他これらに準ずる債権	20,198		
貸倒引当金	△20,198		—
長期未収附属病院収入	23,794		
徴収不能引当金	△23,794		—
長期未収金	46,348		
貸倒引当金	△23,174		23,174
その他の投資等			2,115
投資その他の資産合計			2,441,215
固定資産合計			360,121,896
II 流動資産			
現金及び預金		14,351,921	
未収学生納付金収入			88,349
未収附属病院収入	5,636,826		
徴収不能引当金	△14,330		5,622,496
未収金	998,970		
有価証券			4,117,580
たな卸資産			42,012
医薬品及び診療材料			230,570
前渡金			5,226
前払費用			42,258
未収収益			11,287
その他の流動資産			236,119
流動資産合計			25,742,909
資産合計			385,864,805

負債の部

I 固定負債

資産見返負債

資産見返運営費交付金等	10,742,739
資産見返補助金等	2,443,301
資産見返寄附金	3,373,600
資産見返物品受贈額	8,471,789
建設仮勘定見返運営費交付金	139,216
建設仮勘定見返施設費	46,092

大学改革支援・学位授与機構債務負担金

350,206

長期借入金 3,271,387

長期リース債務 3,646,240

長期PFI債務 20,766,215

引当金

退職給付引当金 697,258

環境対策引当金

—

資産除去債務 242,486

その他の固定負債 113,632

固定負債合計

54,704,473

II 流動負債

運営費交付金債務 1,740,174

寄附金債務 4,806,852

前受受託研究費 396,954

前受共同研究費 1,158,424

前受受託事業費等 181,644

前受金 100,579

預り科学研究費補助金等 614,357

預り金 835,593

一年以内返済予定大学改革支援・学位授与機構債務負担金 193,387

一年以内返済予定長期借入金 4,071,245

リース債務 1,476,680

PFI債務 1,734,720

未払金 9,835,301

未払費用 107,716

未払消費税等 53,497

賞与引当金 665,570

その他の流動負債 —

流動負債合計

27,990,415

負債合計

82,694,888

純資産の部

I 資本金

政府出資金 231,333,303

資本金合計

231,333,303

II 資本剰余金

資本剰余金 134,825,080

損益外減価償却累計額(△) △66,989,733

損益外減損損失累計額(△) △701,279

損益外利息費用累計額(△) △24,576

資本剰余金合計

67,109,491

III 利益剰余金

前中期目標期間繰越積立金 2,444,221

前期未処分利益 —

当期未処分利益 953,485

(うち当期総利益 953,485)

利益剰余金合計

4,727,122

純資産合計

303,169,917

負債純資産合計

385,864,805

イ 損益計算書

損 益 計 算 書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:千円)

経常費用			
業務費			
教育経費		6,832,944	
研究経費		6,756,059	
診療経費			
材料費	12,755,399		
委託費	3,660,041		
設備関係費	3,807,043		
研修費	—		
経費	1,037,586	21,260,069	
教育研究支援経費		2,313,295	
受託研究費		3,951,419	
共同研究費		1,391,485	
受託事業費等		1,199,901	
役員人件費		172,542	
教員人件費			
常勤教員給与	27,084,239		
非常勤教員給与	596,292	27,680,531	
職員人件費			
常勤職員給与	17,749,111		
非常勤職員給与	3,623,503	21,372,614	92,930,859
一般管理費			2,845,925
財務費用			
支払利息			488,544
その他財務費用		—	—
雑損			31,485
経常費用合計			96,296,814
経常収益			
運営費交付金収益		35,478,222	
授業料収益		7,915,405	
入学金収益		1,364,570	
検定料収益		325,031	
附属病院収益		33,226,143	
受託研究収益		4,694,605	
共同研究収益		1,586,940	
受託事業等収益		1,319,793	
施設費収益		150,980	
補助金等収益		2,243,904	
寄附金収益		2,496,203	
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金等戻入	1,397,882		
資産見返補助金等戻入	903,646		
資産見返寄附金戻入	681,821		
資産見返物品受贈額戻入	13,568	2,996,916	
財務収益			
受取利息		9,476	
有価証券利息		33,989	

為替差益	609		
有価証券評価益	17,580	61,655	
その他財務収益	—		
雑益			
公開講座収入	64,397		
財産貸付料収入	318,453		
学生寄宿舍収入	767,828		
文献複写料収入	4,768		
研究関連収入	961,957		
徴収不能引当金戻入	—		
その他の雑益	884,518	3,134,909	
経常収益合計			96,995,278
経常利益			698,465
固定資産除却損		42,726	
災害損失		—	
損害賠償金		4,890	47,616
貸倒引当金繰入		—	
その他の臨時損失		—	
固定資産売却益		—	
貸倒引当金戻入		—	
運営費交付金収益		—	
資産見返運営費交付金等戻入		20,306	
資産見返寄附金戻入		14,392	
資産見返物品受贈額戻入		0	
資産見返補助金戻入		0	
その他の臨時利益		29,993	64,692
当期純利益			715,541
目的積立金取崩額			125,469
前中期目標期間繰越積立金取崩額			112,476
当期総利益			953,485

キャッシュ・フロー計算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:千円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
教育研究業務支出	△15,048,557
診療業務支出	△18,599,140
人件費支出	△50,869,593
その他の業務支出	△2,972,319
運営費交付金収入	39,790,443
授業料収入	7,581,148
入学金収入	1,347,244
検定料収入	325,631
附属病院収入	32,905,960
受託研究収入	4,630,050
共同研究収入	1,858,814
受託事業等収入	1,298,079
補助金等収入	3,045,376
補助金等の精算による返還金の支出	△4,749
寄附金収入	3,368,196
その他の業務収入	3,142,271
預り金の増加	143,402
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>11,942,256</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△10,900,000
有価証券の償還による収入	7,100,000
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△4,828,140
定期預金の預入による支出	△25,600,000
定期預金の払戻による収入	30,000,000
施設費による収入	1,450,441
その他の投資支出	△522
その他の投資収入	1,910
小計	<u>△2,776,310</u>
利息及び配当金の受取額	42,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△2,733,521</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	752,907
長期借入金の返済による支出	△4,034,063
大学改革支援・学位授与機構債務負担金の返済による支出	△247,868
リース債務の返済による支出	△1,368,724
その他の財務支出	△1,974,362
小計	<u>△6,872,109</u>
利息の支払額	△567,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△7,439,363</u>
IV 資金に係る換算差額	<u>△860</u>
V 資金増加額	1,768,512
VI 資金期首残高	<u>4,883,409</u>
VII 資金期末残高	<u><u>6,651,921</u></u>

利益の処分に関する書類

		(単位：円)
I	当期未処分利益	953,485,208
	当期総利益	953,485,208
II	利益処分類	
	積立金	709,942,434
	国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第44条第3項により文部科学大臣の承認を受けようとする額	243,542,774
	(教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てるものである)	
		953,485,208
		953,485,208

国立大学法人等業務実施コスト計算書
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:千円)

I 業務費用

(1)損益計算書上の費用

業務費	92,930,859	
一般管理費	2,845,925	
財務費用	488,544	
雑損	31,485	
臨時損失	47,616	96,344,429

(2)(控除)自己収入等

授業料収益	△7,915,405	
入学金収益	△1,364,570	
検定料収益	△325,031	
附属病院収益	△33,226,143	
受託研究収益	△4,694,605	
共同研究収益	△1,586,940	
受託事業等収益	△1,319,793	
寄附金収益	△2,496,203	
資産見返連営費交付金等戻入(授業料分)	△609,153	
資産見返寄附金戻入	△681,821	
財務収益	△61,655	
雑益	△2,172,953	
臨時利益	△55,714	△56,509,986

業務費用合計		39,834,444
--------	--	------------

II 損益外減価償却相当額		4,658,577
---------------	--	-----------

III 損益外減損損失相当額		60,286
----------------	--	--------

IV 損益外利息費用相当額		942
---------------	--	-----

V 損益外除売却差額相当額		3,392
---------------	--	-------

VI 引当外賞与増加見積額		5,880
---------------	--	-------

VII 引当外退職給付増加見積額		△577,567
------------------	--	----------

VIII 機会費用

国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用		11,182
------------------------------------	--	--------

政府出資等の機会費用	—	11,182
------------	---	--------

IX 国立大学法人等業務実施コスト(I + II + III + IV + V + VI + VII + VIII)		43,997,136
--	--	------------

ウ 決算報告書

平成30年度 決算報告書

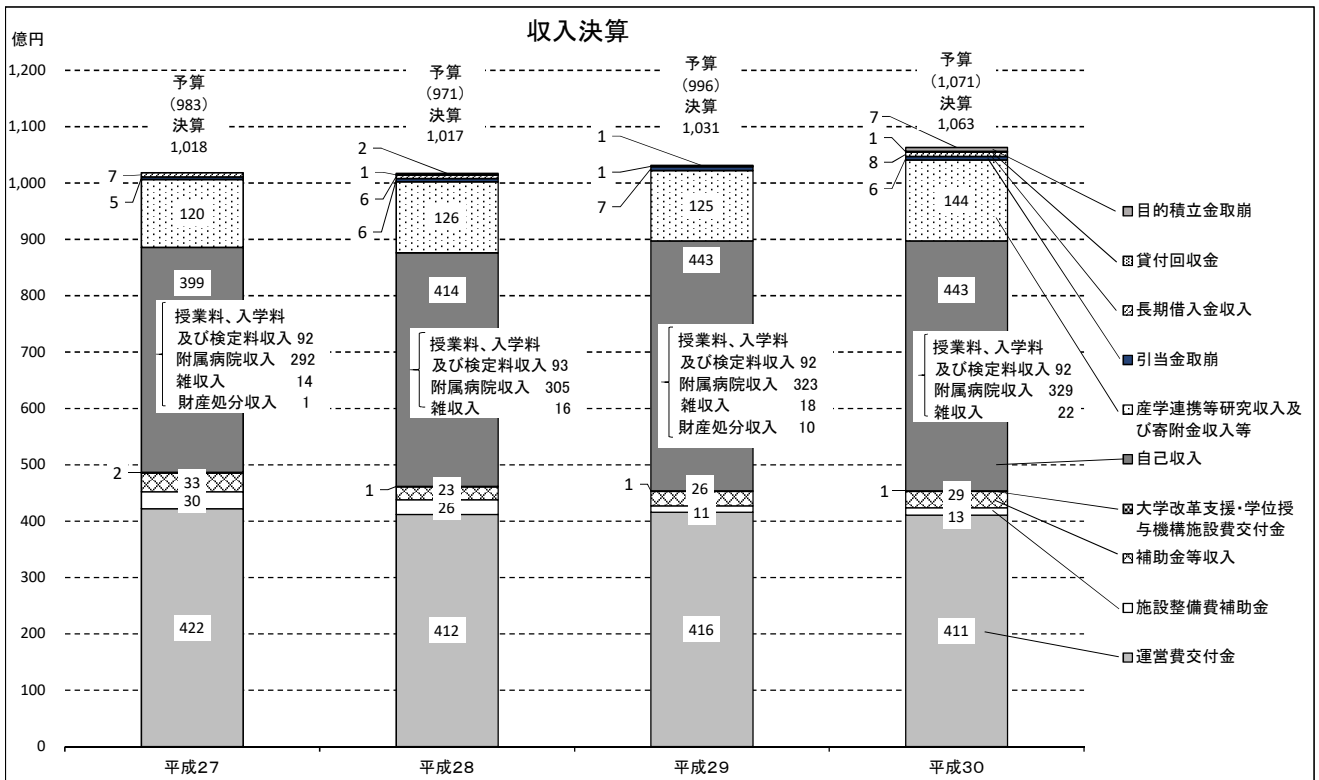
国立大学法人筑波大学

(単位：百万円)

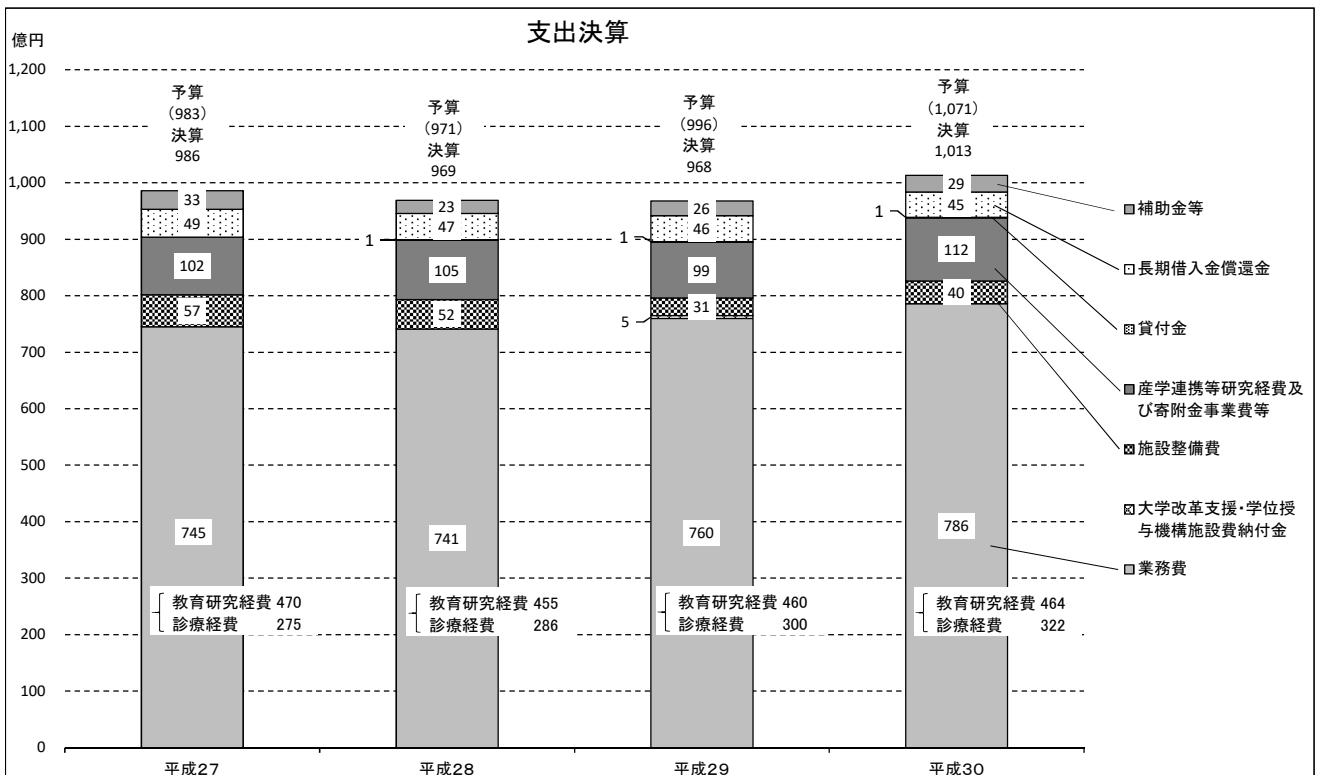
区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	40,659	41,054	396	(注1)
施設整備費補助金	2,297	1,336	△961	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	2,127	2,940	813	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	114	114	—	
自己収入	44,485	44,334	△151	
授業料、入学科及び検定料収入	9,336	9,241	△95	(注4)
附属病院収入	32,570	32,906	336	(注5)
財産処分収入	475	—	△475	(注6)
雑収入	2,104	2,187	83	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	12,715	14,426	1,711	(注8)
引当金取崩	640	625	△15	(注9)
長期借入金収入	3,323	753	△2,570	(注10)
貸付回収金	5	1	△4	(注11)
目的積立金取崩	743	734	△9	(注12)
出資金	—	—	—	
計	107,107	106,317	△790	
支 出				
業務費	80,233	78,620	△1,613	(注13)
教育研究経費	47,780	46,408	△1,372	
診療経費	32,453	32,213	△241	
施設整備費	7,544	4,013	△3,530	(注14)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	2,127	2,932	805	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	12,715	11,201	△1,513	(注16)
貸付金	5	0	△5	(注17)
長期借入金償還金	4,484	4,484	△0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
出資金	—	—	—	
計	107,107	101,251	△5,856	
収入－支出	—	5,066	5,066	

- (注1) 運営費交付金については、追加配分による増加などの要因により、予算額に比して決算額が396百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、(医病)病棟Bの事業計画の見直しなどにより、予算額に比して決算額が961百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が813百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者数の減少などにより、予算額に比して決算額が95百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、高度急性期医療の展開により、予算額に比して決算額が336百万円多額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、事業計画の見直しにより、予算額に比して決算額が475百万円少額となっています。
- (注7) 雑収入については、著作権特許権収入などの増加により、予算額に比して決算額が83百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に資金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が1,711百万円多額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、退職者が減少したため、予算額に比して決算額が15百万円少額となっています。
- (注10) 長期借入金収入については、事業計画の見直しにより、予算額に比して決算額が2,570百万円少額となっています。
- (注11) 貸付回収金については、学生などへの貸与が予算段階の見込みより減額したため、予算額に比して決算額が4百万円少額となっています。
- (注12) 目的積立金取崩については、事業計画の見直しにより、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。
- (注13) 業務費については、翌年度に継続して行う事業を繰越したことや、診療経費の節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,613百万円少額となっています。
- (注14) 施設整備費については、(注2)及び(注10)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が3,530百万円少額となっています。
- (注15) 補助金等については、(注3)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が805百万円多額となっています。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、翌年度に継続して行う事業を繰越したことにより、予算額に比して決算額が1,513百万円少額となっています。
- (注17) 貸付金については、(注11)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。

エ 収入支出概況

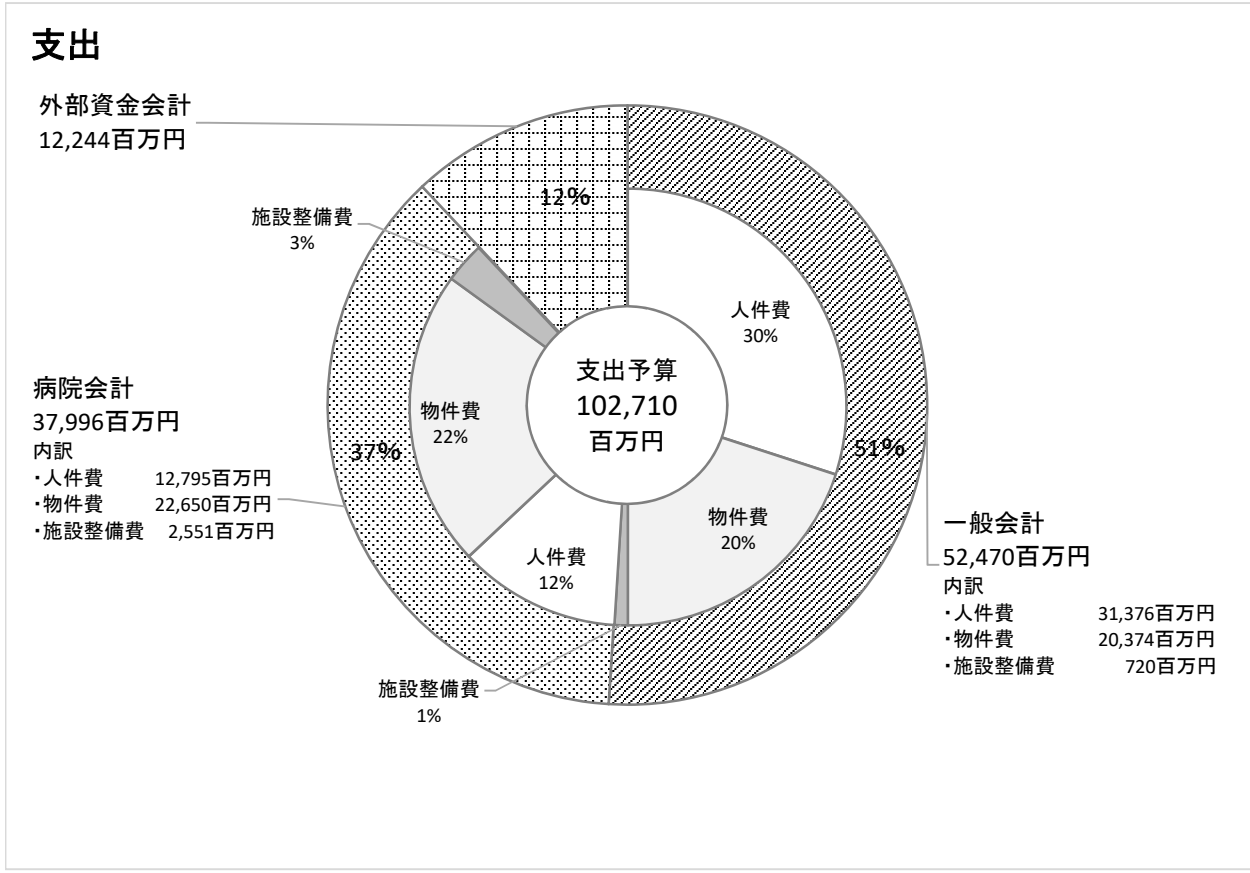
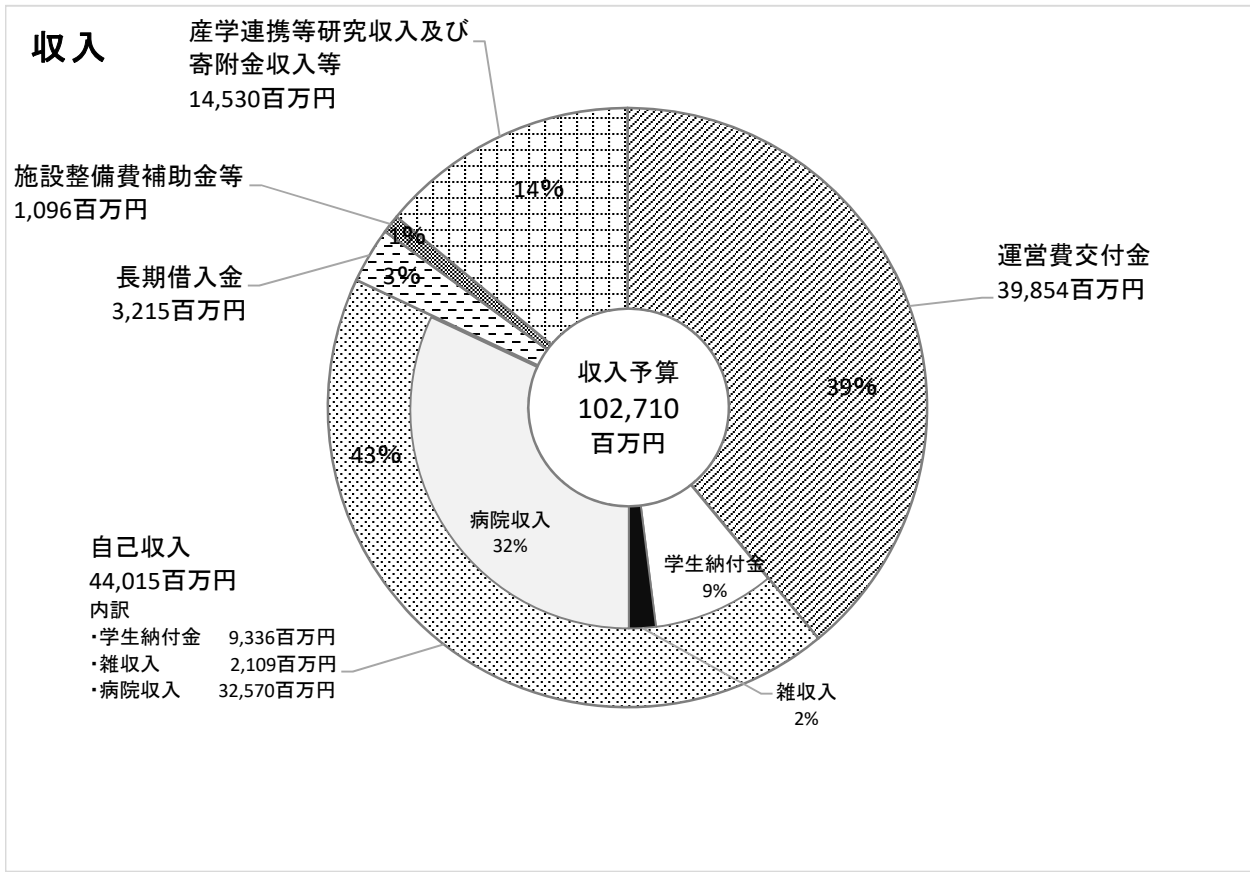


(注) 表中数字は決算額を、()は年度計画予算総額を指す。



(注) 表中数字は決算額を、()は年度計画予算総額を指す。

才 平成30年度予算構成図(当初配分予算)



(注) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等の外部資金会計における収入と支出の差異は、支出予算において間接経費を一般会計に繰り入れているため生じたものである。

2 教育関係

(1) 学年暦

平成30年度 学年暦

事 項	学 群	大 学 院 【 】は 東京キャンパス
春学期（4月1日～9月30日）		
学年開始	4月 1日（日）	4月 1日（日）
春季休業	4月 1日（日）～ 4月 5日（木）	4月 1日（日）～ 4月 5日（木） 【 4月 1日（日）～ 4月 6日（金）】
入学式	4月 6日（金）	4月 6日（金） 【 4月 7日（土）】
新生オリエンテーション	4月 6日（金）～ 4月11日（水）	4月 6日（金）～ 4月 9日（月） 【 4月 7日（土）】
春学期授業開始	4月12日（木）	4月10日（火） 【 4月10日（火）】
春季スポーツ・デー	5月12日（土）～ 5月13日（日）	5月12日（土）～ 5月13日（日）
春A Bモジュール期末試験	6月26日（火）～ 7月 2日（月）	6月26日（火）～ 7月 2日（月）
春A B Cモジュール期末試験	8月 1日（水）～ 8月 7日（火）	8月 1日（水）～ 8月 7日（火） 【 7月24日（火）～ 7月25日（水）、 8月 2日（木）～ 8月 4日（土）】
春学期授業終了	8月 7日（火）	8月 7日（火） 【 7月28日（土）】
期末試験予備日	8月 8日（水）	8月 8日（水） 【 7月31日（火）～ 8月 1日（水）】
夏季休業	8月 9日（木）～ 9月30日（日）	8月 9日（木）～ 9月30日（日） 【 8月 5日（日）～ 9月30日（日）】
卒業式	9月25日（火）	
大学院学位記授与式		9月25日（火）
秋学期（10月1日～3月31日）		
秋学期入学式	9月28日（金）	9月28日（金）
★1 開学記念日	10月 1日（月）	10月 1日（月）
秋学期授業開始	10月 1日（月）	10月 1日（月） 【10月 2日（火）】
筑波キャンパス電気設備点検（全学停電）	10月27日（土）、10月28日（日）	10月下旬（予定）
★2 学園祭	11月 2日（金）～11月 4日（日）	11月 2日（金）～11月 4日（日）
秋季スポーツ・デー	11月17日（土）～11月18日（日）	11月17日（土）～11月18日（日）
秋A Bモジュール期末試験	12月17日（月）、 12月20日（木）～12月26日（水）	12月17日（月）、 12月20日（木）～12月26日（水）
冬季休業	12月27日（木）～ 1月 6日（日）	12月27日（木）～ 1月 6日（日） 【12月23日（日）～ 1月 7日（月）】
秋A B Cモジュール期末試験	2月 4日（月）、 2月 8日（金）～ 2月14日（木）	2月 4日（月）、 2月 8日（金）～ 2月14日（木） 【 1月29日（火）～ 1月31日（木）、 2月 8日（金）、2月16日（土）】
秋学期授業終了	2月14日（木）	2月14日（木） 【 2月 9日（土）】
期末試験予備日	2月15日（金）	2月15日（金） 【 2月 5日（火）～ 2月 7日（木）】
春季休業	2月16日（土）～ 3月31日（日）	2月16日（土）～ 3月31日（日） 【 2月17日（日）～ 3月31日（日）】
卒業式	3月25日（月）	
大学院学位記授与式		3月25日（月） 【 3月30日（土）】
学年終了	3月31日（日）	3月31日（日） 【 3月31日（日）】

（備 考）

- ★1 10月1日（月）の開学記念日は、休講とせずに授業を実施する。（東京キャンパスを除く）
- ★2 学園祭の実施に伴い、11月2日（金）及び11月5日（月）の授業は臨時休講とする。（東京キャンパスを除く）
- 3 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び研究科の授業は、臨時休講とする。（東京キャンパスを除く）
- 4 授業日数確保のため、下記のとおり曜日を振替えて授業を実施する。（東京キャンパスを除く）
7月17日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。10月9日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
10月31日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。11月20日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。
1月15日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。1月17日は振替え授業日とし、金曜日の授業を実施する。
1月23日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
- 5 推薦入試の実施に伴い、11月28日（水）～11月30日（金）は全日臨時休業とする。（東京キャンパスを除く）
- 6 大学入試センター試験の実施に伴い、1月18日（金）及び1月21日（月）は全日臨時休業とする。（東京キャンパスを除く）
- 7 医学類に係る卒業日は平成31年3月8日とし、卒業式は上記日程に従い実施する。
- ※ 学期(学期の区分)は、春学期と秋学期の2学期とし、5週単位の6つ(春A、春B、春C、秋A、秋B、秋C)のモジュールで構成する。

(2) 学生数

ア 学群

(平成31年3月1日現在)

学群・学類	人文・文化学群				社会・国際学群			人間学群				生命環境学群				理工学群						情報学群				医学群				体育専門学群	芸術専門学群	グローバル教育院	合計		
	人文	比文	日・日	計	社会	国際	計	教育	心理	障害	計	生物	資源	地球	計	数学	物理	化学	応理	工以	社工	計	情報	創成	知識	計	医学	看護	医療	計					
入学定員(1年次)	120	80	40	240	80	80	160	35	50	35	120	80	120	50	250	40	60	50	120	130	120	520	80	50	100	230	135	70	37	242	240	100		2,102	
入学定員(編入学)※					10		10						10		10				10			10	10	10	10	30	5	10	3	18				78	
取容定員	480	320	160	960	340	320	660	140	200	140	480	320	500	200	1,020	160	240	200	500	520	480	2,100	340	220	420	980	790	300	154	1,244	960	400		8,804	
1年	学生数(女子)	131	85	41	257	86	87	173	39	52	39	130	86	129	51	266	41	60	50	123	136	121	531	82	53	108	243	135	75	40	250	246	107	7	2,210
	一般学生(女子)	54	59	32	145	33	51	84	18	32	24	74	40	71	16	127	3	9	18	15	17	38	100	4	6	56	66	44	73	29	146	68	88	5	903
	外国人学生(女子)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	外国人留学生(女子)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	外国人留学生(女子)	0	1	1	2	6	6	12	1	2	1	4	6	8	1	15	0	0	0	3	4	1	8	2	1	2	5	0	3	0	3	0	5	5	59
2年	学生数(女子)	126	83	47	256	94	97	191	36	55	39	130	97	147	56	300	41	62	52	126	137	126	544	86	55	107	248	143	73	37	253	247	108	6	2,283
	一般学生(女子)	60	54	35	149	35	55	90	10	35	30	75	43	69	18	130	4	7	12	12	12	22	69	14	12	50	76	53	68	23	144	64	89	3	889
	外国人学生(女子)	1	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3	2	6	0	0	3	3	4	0	0	4	0	0	0	17
	外国人留学生(女子)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	5
	外国人留学生(女子)	0	3	4	7	12	13	25	0	1	0	1	15	20	3	38	2	3	1	3	4	3	16	1	2	1	4	0	2	0	2	0	1	6	100
3年	学生数(女子)	128	90	47	265	104	99	203	37	51	36	124	100	163	57	320	42	66	53	139	136	125	561	99	64	112	275	142	82	41	265	255	110	0	2,378
	一般学生(女子)	72	61	37	170	39	55	94	19	30	23	72	53	92	18	163	6	6	17	21	14	31	95	9	20	70	99	55	81	30	166	76	87	0	1,022
	外国人学生(女子)	126	88	43	257	97	84	181	36	50	35	121	78	138	52	268	41	63	51	132	131	123	541	92	63	110	265	141	81	40	262	254	108	0	2,257
	外国人学生(女子)	71	59	33	163	33	45	78	19	30	22	71	40	79	15	134	6	6	16	20	14	31	93	9	20	68	97	54	80	29	163	76	85	0	960
	外国人留学生(女子)	0	0	1	1	0	2	2	1	0	1	2	2	1	0	3	1	0	0	1	1	1	4	5	0	1	6	1	0	0	1	1	0	0	20
4年	学生数(女子)	155	102	53	310	116	127	243	43	66	42	151	116	171	68	355	45	78	58	155	166	144	646	131	73	138	342	133	84	49	266	273	138	0	2,724
	一般学生(女子)	68	59	35	162	45	69	114	16	38	30	84	49	90	18	157	4	8	14	17	11	27	81	9	15	74	98	50	82	30	162	89	106	0	1,053
	外国人学生(女子)	154	99	51	304	106	121	227	43	63	42	148	100	147	59	306	45	76	56	143	161	141	622	126	71	137	334	129	84	47	260	272	138	0	2,611
	外国人学生(女子)	67	56	35	158	40	66	106	16	35	30	81	41	76	14	131	4	8	14	14	11	26	77	9	15	74	98	48	82	29	159	89	106	0	1,005
	外国人留学生(女子)	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	1	5	2	0	9	2	0	1	3	4	0	0	4	0	0	0	20
5年	学生数(女子)	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	7
	一般学生(女子)	1	2	2	5	9	6	15	0	3	0	3	15	24	8	47	0	1	1	7	3	3	15	3	2	0	5	0	0	2	2	1	0	0	93
	外国人学生(女子)	1	2	0	3	4	3	7	0	3	0	3	7	14	4	25	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	41
	外国人留学生(女子)																																		
	外国人留学生(女子)																																		
6年	学生数(女子)																											125			125				125
	一般学生(女子)																											37			37				37
	外国人学生(女子)																											124			124				124
	外国人学生(女子)																											36			36				36
	外国人留学生(女子)																											1			1				1
合計	学生数(女子)	540	360	188	1,088	400	410	810	155	224	156	535	399	610	232	1,241	169	266	213	543	575	516	2,282	398	245	465	1,108	812	314	167	1,293	1,021	463	13	9,854
	一般学生(女子)	254	233	139	626	152	230	382	63	135	107	305	185	322	70	577	17	30	61	65	54	118	345	36	53	250	339	284	304	112	700	297	370	8	3,949
	外国人学生(女子)	536	351	177	1,064	363	370	733	153	217	154	524	340	532	214	1,086	166	258	207	518	554	505	2,208	383	239	456	1,078	799	308	164	1,271	1,019	454	2	9,439
	外国人学生(女子)	252	226	131	609	131	203	334	62	130	105	297	149	281	61	491	16	30	60	61	52	113	332	36	53	245	334	277	299	110	686	297	365	2	3,747
	外国人留学生(女子)	1	1	1	3	3	2	5	1	0	1	2	3	2	1	6	1	1	2	6	6	3	19	7	0	5	12	13	0	0	13	1	1	0	62
外国人留学生(女子)	0	1	1	2	2	2	4	0	0	1	1	3	1	0	4	0	0	0	2	0	1	3	0	0	2	2	7	0	0	7	0	1	0	24	
外国人留学生(女子)	3	8	10	21	34	38	72	1	7	1	9	56	76	17	149	2	7	4	19	15	8	55	8	6	4	18	0	6	3	9	1	8	11	353	
外国人留学生(女子)	2	6	7	15	19	25	44	1	5	1	7	33	40	9	82	1	0	1	2	2	4	10	0	0	3	3	0	5	2	7	0	4	6	178	

注) 1 一般学生、外国人学生、外国人留学生及び女子は内数で示す。
 2 一般学生には、外国人学生及び外国人留学生を除く。
 3 ※は3年次編入学を示す。ただし、医学群医学類においては2年次編入学を示す。

イ 大学院

(平成31年3月1日現在)

研究科・専攻	収容定員	1年					2年					3年					4年					5年					合計																						
		学生数	(女子)	一般学生	(女子)	外国人学生	(女子)	外国人留学生	(女子)	学生数	(女子)	一般学生	(女子)	外国人学生	(女子)	外国人留学生	(女子)	学生数	(女子)	一般学生	(女子)	外国人学生	(女子)	外国人留学生	(女子)	学生数	(女子)	一般学生	(女子)	外国人学生	(女子)	外国人留学生	(女子)	学生数	(女子)	一般学生	(女子)	外国人学生	(女子)	外国人留学生	(女子)								
		教育研究科	スクールリーダーシップ開発専攻	39	19	6	19	6			24	8	23	7			1	1																			43	14	42	13	0	0	1	1					
	教科教育専攻	160	59	18	58	17	1	1	81	30	78	28			3	2																				140	48	136	45	1	1	3	2						
	教育学(国際教育)修士プログラム		11	7	6	4	1	4	3	15	11	12	8	1	1	2	2																																
	計	199	89	31	83	27	2	1	4	3	120	49	113	43	1	1	6	5																															
人文社会科学研究科(一貫制博士課程)	哲学・思想専攻	30	6	2	3	1		3	1	6	5					1	10	6	6	2			4	4	2	1	1	1	1	17	6	17	6																
	歴史・人類学専攻	60	11	4	5	1		6	3	14	4	12	3			2	12	4	10	3			2	1	1	1			1	1	22	14	17	13	1	1	4												
	文芸・言語専攻	100	17	6	10	2		7	4	19	14	12	7			7	13	6	9	2			4	4	10	5	7	2		3	3	41	27	23	13	4	2	14	12										
	計	190	34	12	18	4		16	8	39	18	29	10			10	8	35	16	25	7			10	9	13	7	8	2	5	5	80	47	57	32	5	3	18	12										
人文社会科学研究科(修士課程)	国際地域研究専攻	72	39	18	5	2	1	1	33	15	51	26	13	6			38	20																															
	計	72	39	18	5	2	1	1	33	15	51	26	13	6			38	20																															
人文社会科学研究科(博士前期課程)	現代語・現代文化専攻	20	8	2	8	2				10	5	9	5			1																																	
	国際公共政策専攻	30	15	7	11	3			4	4	15	10	12	8			3	2																															
	国際地域研究専攻																																																
	国際日本研究専攻	50	39	29	8	7			31	22	75	53	18	14			57	39																															
	計	100	62	38	27	12			35	26	100	68	39	27			61	41																															
人文社会科学研究科(博士後期課程)	現代語・現代文化専攻	24	6	4	5	3			1	5	3	5	3				15	9	15	9																													
	国際公共政策専攻	30	6	4	3	2	1		2	2	3	1	2	1			17	7	13	4	1	1	3	2																									
	法学専攻																2	1	1																														
	国際日本研究専攻	57	22	12	7	3			15	9	26	16	6	3			20	13	39	30	14	9	1	1	24	20																							
	計	111	34	20	15	8	1		18	12	34	20	13	7			21	13	73	47	43	22	2	2	28	23																							
ビジネス科学研究科(博士前期課程)	経営システム科学専攻	60	30	9	29	8	1	1		46	7	46	7																																				
	企業法学専攻	60	30	7	30	7			56	18	55	17	1	1																																			
	計	120	60	16	59	15	1	1		102	25	101	24	1	1																																		
ビジネス科学研究科(博士後期課程)	企業科学専攻	69	23	6	23	6			25	4	25	4					91	19	90	19	1																												
	計	69	23	6	23	6			25	4	25	4					91	19	90	19	1																												
ビジネス科学研究科(専門職学位課程)	法曹専攻(法科大学院)	108	34	12	33	12	1		31	8	31	8					40	7	39	7	1																												
	計	108	34	12	33	12	1		31	8	31	8					40	7	39	7	1																												
ビジネス科学研究科(専門職学位課程)	国際経営プロフェッショナル専攻	60	33	13	22	6	8	4	3	32	10	26	9	5			1	1																															
	計	60	33	13	22	6	8	4	3	32	10	26	9	5			1	1																															
数理物質科学研究科(博士前期課程)	数学専攻	54	24		24				33	1	32	1																																					
	物理学専攻	100	60	7	59	6			1	67	4	64	4																																				
	化学専攻	96	47	13	44	10			3	48	8	46	8																																				
	電子・物理学専攻	108	66	6	56	3			10	3	66	8	57	6	1		8	2																															
	物性・分子工学専攻	122	69	16	53	11			16	5	76	13	65	10																																			
	計	480	266	42	236	30			30	12	290	34	264	29	1		25	5																															
数理物質科学研究科(博士後期課程)	数学専攻	36	3		2				1	4		4					5		5																														
	物理学専攻	60	7	1	6	1			1	10	1	6	1	1			3	18	14																														
	化学専攻	48	4	2	1				3	2	5	1	3				2	1	8	8																													
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻	75	11	1	7		1		3	1	7	1	6	1			1	10	3	7	2																												
	電子・物理学専攻	48	10	2	5				5	2	4		1				3	20	4	12	1	1																											
	物性・分子工学専攻	39	3		2				1	5	2	3					2	2	13	2	6	1				</																							

ウ 科目等履修生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生

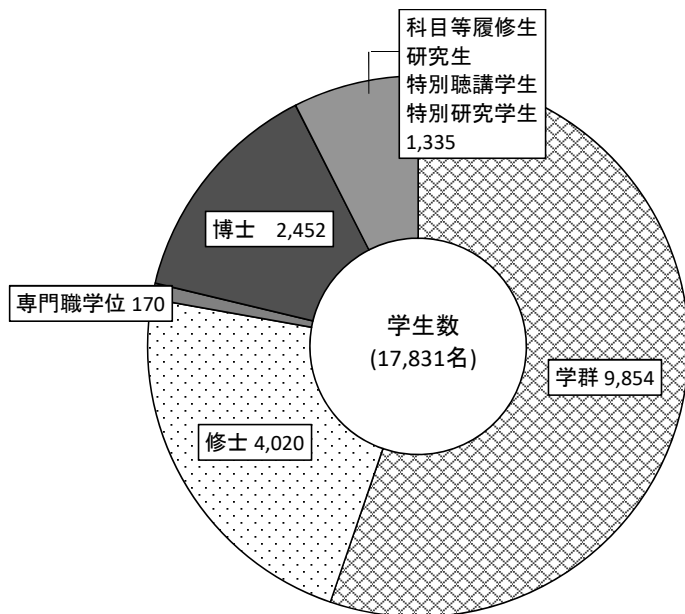
(平成30年度)

所 属		科目等履修生		研究生		特別聴講学生		特別研究学生		計												
学 群	人文・文化	人文学類	21	(10)			29	(18)	※29	※(18)	50	(28)	※29	※(18)								
		比較文化学類	5	(4)			36	(24)	※36	※(24)	41	(28)	※36	※(24)								
		日本語・日本文化学類	2	(1)	17	(5)	※17	※(5)	59	(36)	※59	※(36)	78	(42)	※76	※(41)						
	国際社会・学人	社会学類	4		1			10	(7)	※10	※(7)	15	(7)	※10	※(7)							
		国際総合学類	1	(1)				49	(29)	※49	※(29)	50	(30)	※49	※(29)							
		教育学類	19	(9)	8	(3)		1		※1		28	(12)	※1	※(0)							
	生命環境	心理学類			2	(1)		3	(2)	※3	※(2)	5	(3)	※3	※(2)							
		障害科学類	2	(1)	5	(3)		2	(1)	※2	※(1)	9	(5)	※2	※(1)							
		生物学類	3					8	(6)	※7	※(5)	11	(6)	※7	※(5)							
	理工学群	生物資源学類	4	(1)	2			105	(76)	※105	※(76)	111	(77)	※105	※(76)							
		地球学類	1					2		※2		3	(0)	※2	※(0)							
		数学類	1									1	(0)	※0	※(0)							
		物理学類	2		1	(1)						3		※0	※(0)							
		化学類	1									1	(0)	※0	※(0)							
		応用理工学類	2	(1)	3							5	(1)	※0	※(0)							
	情報学群	工学システム学類	1		1			1	(1)	※1	※(1)	3	(1)	※1	※(1)							
		社会工学類	2	(2)				3	(1)	※3	※(1)	5	(3)	※3	※(1)							
		情報科学類	3					2	(1)	※2	※(1)	5	(1)	※2	※(1)							
	医学群	情報メディア創成学類			2			1	(1)			3	(1)	※0	※(0)							
		知識情報・図書館学類	2		2							4	(0)	※0	※(0)							
医学類		3	(2)	1			3	(2)	※1	※(1)	7	(4)	※1	※(1)								
体育芸術	看護学類												※0	※(0)								
	医療科学類						2	(2)	※1	※(1)	2	(2)	※1	※(1)								
	体育専門学群	29	(10)	17	(7)		15	(12)	※15	※(12)	61	(29)	※15	※(12)								
芸術専門学群	12	(11)	1	(1)		2	(1)	※2	※(1)	15	(13)	※2	※(1)									
学 群 計		120	(53)	※0	※(0)	63	(21)	※17	※(5)	333	(220)	※328	※(216)	0	(0)	※0	※(0)	516	(294)	※345	※(221)	
大 学 院	修士・博士前期・専門職学位課程	教育研究科	2	(1)	22	(13)	※21	※(12)	1	(1)	※1	※(1)					25	(15)	※22	※(13)		
		人文社会科学研究科(修士・博士前期課程)			58	(44)	※58	※(44)	7	(5)	※7	※(5)	25	(14)	※25	※(14)	90	(63)	※90	※(63)		
		ビジネス科学研究科(博士前期・専門職学位課程)	46	(14)	※2	※(2)			3				49	(14)	※2	※(2)						
		数理物質科学研究科(博士前期課程)	5		45	(9)	※41	※(9)	7		※2		6	(2)	※6	※(2)	63	(11)	※49	※(11)		
		システム情報工学研究科(博士前期課程)	2	(1)	※1	※(0)	134	(52)	※132	※(51)	5	(2)	※5	※(2)	10	(3)	※10	※(3)	151	(58)	※148	※(56)
		生命環境科学研究科(博士前期課程)	2		※1	※(0)	79	(48)	※76	※(47)	14	(3)	※2	※(1)	14	(12)	※14	※(12)	109	(63)	※93	※(60)
		人間総合科学研究科(修士・博士前期課程)	59	(44)	※2	※(2)	84	(40)	※78	※(40)	12	(5)	※12	※(5)	13	(7)	※13	※(7)	168	(96)	※105	※(54)
		図書館情報メディア研究科(博士前期課程)					18	(11)	※18	※(11)	1	(1)	※1	※(1)	1		※1		20	(12)	※20	※(12)
		小 計	116	(60)	※6	※(4)	440	(217)	※424	※(214)	50	(17)	※30	※(15)	69	(38)	※69	※(38)	675	(332)	※529	※(271)
	一貫制・博士後期・3年制博士課程	人文社会科学研究科(一貫制博士課程)	1		18	(12)	※17	※(11)	19	(14)	※19	※(14)	17	(12)	※17	※(12)	55	(38)	※53	※(37)		
		人文社会科学研究科(博士後期課程)	1	(1)	※1	※(1)	3	(3)	※3	※(3)	2	(2)	※2	※(2)	4	(2)	※4	※(2)	10	(8)	※10	※(8)
		ビジネス科学研究科(博士後期課程)			1	(1)											1		※0	※(0)		
		数理物質科学研究科(博士後期・3年制博士課程)			5	(4)	※5	※(4)					4	(1)	※2	※(1)	9	(5)	※7	※(5)		
		システム情報工学研究科(博士後期課程)			6	(2)	※5	※(2)					4	(1)	※3	※(1)	10	(3)	※8	※(3)		
生命環境科学研究科(博士後期・3年制博士課程)			10	(4)	※9	※(3)					7	(6)	※7	※(6)	17	(10)	※16	※(9)				
生命環境科学研究科(一貫制博士課程)			2	(1)	※2	※(1)									2	(1)	※2	※(1)				
人間総合科学研究科(博士後期・3年制博士課程)			24	(9)	※8	※(2)					5	(3)	※5	※(3)	30	(12)	※24	※(9)				
人間総合科学研究科(医学の課程)			4		※2						1	(1)	※1	※(1)	9	(2)	※4	※(1)				
図書館情報メディア研究科(博士後期課程)											1	(1)	※1	※(1)	1	(1)	※1	※(1)				
小 計	2	(1)	※1	※(1)	73	(36)	※51	※(26)	29	(17)	※23	※(17)	46	(27)	※40	※(26)	144	(80)	※115	※(70)		
大 学 院 計		118	(61)	※7	※(5)	513	(253)	※475	※(240)	73	(34)	※53	※(32)	115	(65)	※109	※(64)	819	(412)	※644	※(341)	
合 計		238	(114)	※7	※(5)	576	(274)	※492	※(245)	406	(254)	※381	※(248)	115	(65)	※109	※(64)	1,335	(706)	※989	※(562)	

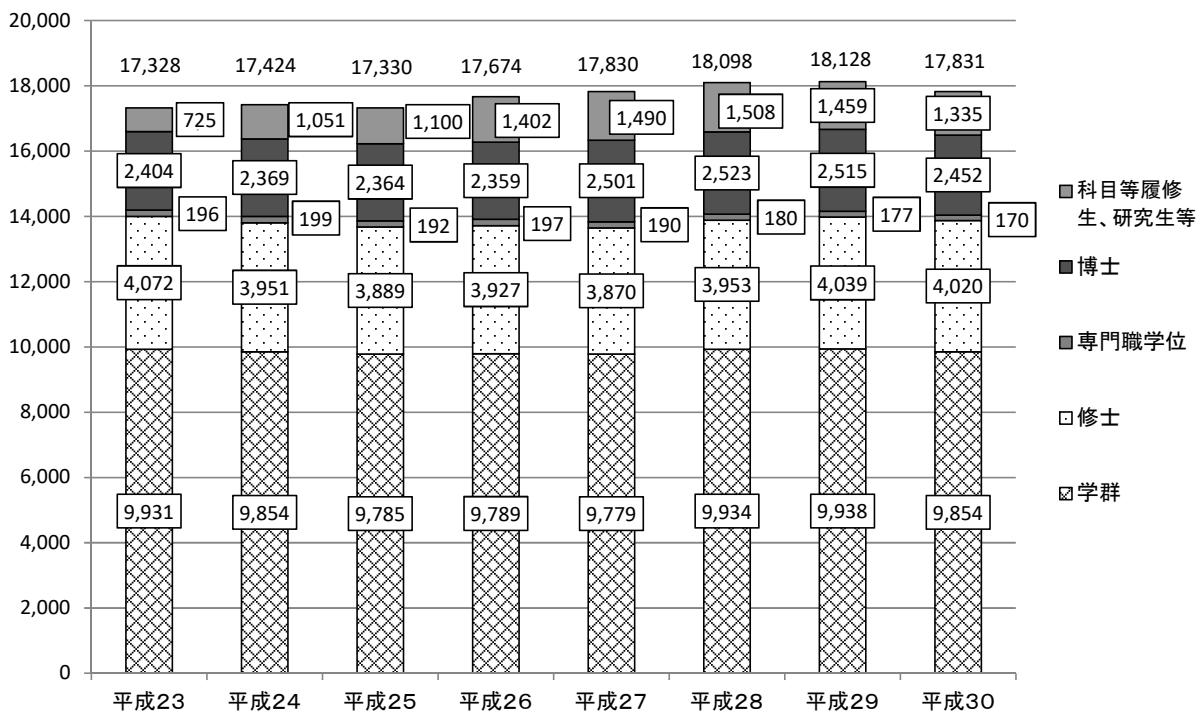
(注) 1 () は女子を、※は外国人留学生(ただし、科目等履修生については、外国人の履修者)を、それぞれの内数で示す。
2 日本語・日本文化研修留学生は、平成28年入学者までを学群の科目等履修生、平成29年度入学者より学群の特別聴講学生として受け入れている。

エ 学生数の内訳及び近年の推移

【平成30年度 学生数の内訳】



【近年の推移】



オ 附属学校の定員・現員

(平成31年3月1日現在)

学 校 名	入学定員	総定員	現 員							計	
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次			
附属小学校	128	832	127	125	124	124	125	158	783		
附属中学校	200	600	208	200	199				607		
附属駒場中学校	120	360	123	123	123				369		
附属高等学校	240	720	234	239	239				712		
附属駒場高等学校	160	480	163	162	163				488		
附属坂戸高等学校	160	480	162	158	165				485		
附属 視覚 特別 支援 学校	幼稚部	5	10	7	5				12		
	小学部	9	54	2	6	4	8	4	3	27	
	中学部	12	36	11	12	11				34	
	高等部	16	56	16	18	17				51	
	高等部 専攻科	鍼灸手技療法科	16	48	12	9	9				30
		音楽科	8	16	2	1					3
		理学療法科	8	24	2	10	1				13
		鍼灸手技療法研修科	8	8	1						1
小 計	82	252							171		
附属 聴覚 特別 支援 学校	幼稚部	10	35	7	7	8				22	
	小学部	12	72	10	12	12	12	12	12	70	
	中学部	12	36	13	14	14				41	
	高等部	24	72	27	23	21				71	
	高等部 専攻科	造形芸術科	8	16	3	2					5
		ビジネス情報科	8	16	5	6					11
		歯科技工科	10	30	2	7	4				13
	小 計	84	277							233	
附属 大塚 特別 支援 学校	幼稚部	5	10	4	6					10	
	小学部	4	24	4	4	4	4	2	3	21	
	中学部	6	18	6	5	6				17	
	高等部	8	24	8	8	8				24	
	小 計	23	76							72	
附属 桐が丘 特別 支援 学校	小学部	8	63	13	17	9	10	13	8	70	
	中学部	12	39	11	10	12				33	
	高等部	12	39	7	11	9				27	
	小 計	32	141							130	
附属 久里浜 特別 支援 学校	幼稚部	6	18	4	7	6				17	
	小学部	6	36	6	6	6	6	6	6	36	
	小 計	12	54							53	
附属学校合計		1,241	4,272							4,103	

(3) 授業科目数及び授業担当教員数

ア 学 群

(ア) 基礎科目(共通科目等)

(平成31年3月31日現在)

共通科目等	授業科目数	授 業 担 当 教 員 数		
		常勤	非常勤	計
総 合 科 目	283	1,019	134	1,153
体 育	325	45	26	71
外 国 語	780	62	49	111
情 報 報	71	36	25	61
国 語	44	6	4	10
芸 術	18	30	2	32
自 由 科 目 (特 設)	24	29	69	98
教職科目及び博物館に関する科目	211	96	85	181
合 計	1,756	1,323	394	1,717

(注) 1. 授業科目数は、他学群・学類開設科目を指定しているものを除く。

2. 総合科目における授業担当教員数は延人数

(イ) 専門基礎科目・専門科目

(平成31年3月31日現在)

学 群 ・ 学 類	授 業 科 目 数			授 業 担 当 教 員 数				
	専門科目	専門基礎科目	計	教育会議構成員	教育会議構成員以外の教員	非常勤	計	
全 学 群 対 象	0	14	14	0	0	11	11	
人 文 ・ 文 化 学 群	学 群 コ ア	0	10	10	4	3	1	8
	人 文 学 類	389	49	438	51	24	21	96
	比 較 文 化 学 類	180	88	268	57	27	12	96
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	71	20	91	17	4	11	32
	小 計	640	167	807	129	58	45	232
社 会 ・ 国 際 学 群	学 群 共 通 科 目	0	2	2	1	0	11	12
	社 会 学 類	160	9	169	30	14	10	54
	国 際 総 合 学 類	124	28	152	34	17	27	78
	社 会 国 際 学 教 育 プ ロ グ ラ ム	46	24	70	0	23	10	33
	小 計	330	63	393	65	54	58	177
人 間 学 群	学 群 コ ア	0	12	12	35	0	1	36
	教 育 学 類	81	7	88	28	7	34	69
	心 理 学 類	47	10	57	35	1	9	45
	障 害 科 学 類	84	9	93	39	0	15	54
	小 計	212	38	250	137	8	59	204
生 命 環 境 学 群	学 群 コ ア	0	8	8	33	0	0	33
	生 物 学 類	152	47	199	78	66	20	164
	生 物 資 源 学 類	197	27	224	111	5	23	139
	地 球 学 類	105	22	127	44	19	10	73
	生 命 環 境 学 際 プ ロ グ ラ ム	112	31	143	135	7	9	151
小 計	566	135	701	401	97	62	560	
理 工 学 群	学 群 共 通 科 目	5	0	5	3	0	2	5
	数 学 類	65	48	113	39	18	4	61
	物 理 学 類	48	27	75	67	23	4	94
	化 学 類	38	16	54	36	22	7	65
	応 用 理 工 学 類	158	68	226	82	0	8	90
	工 学 シ ス テ ム 学 類	263	25	288	74	10	38	122
	社 会 工 学 類	126	35	161	48	5	27	80
	小 計	703	219	922	349	78	90	517
情 報 学 群	学 群 共 通 科 目	4	3	7	7	1	18	26
	情 報 科 学 類	77	22	99	56	20	16	92
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	36	46	82	30	19	31	80
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	74	43	117	42	4	8	54
	小 計	191	114	305	135	44	73	252
医 学 群	医 学 類	33	13	46	418	73	75	566
	看 護 学 類	61	29	90	32	19	15	66
	医 療 科 学 類	65	30	95	58	46	19	123
	小 計	159	72	231	508	138	109	755
体 育 専 門 学 群	213	105	318	120	3	48	171	
芸 術 専 門 学 群	294	50	344	52	5	18	75	
合 計	3,308	977	4,285	1,896	485	573	2,954	

(注) 授業科目数は、他学群・学類開設科目を指定しているものを除く。

イ 大学院

(ア) 大学院共通科目

(平成31年3月31日現在)

科目群	授業科目数	授 業 担 当 教 員 数		
		常勤	非常勤	計
生命・環境・研究倫理	5	12	5	17
研究マネジメント力養成	2	7	1	8
情報伝達力・コミュニケーション力養成	16	14	13	27
国際性養成	10	17	26	43
キャリアマネジメント	8	17	3	20
知的基盤形成	18	63	30	93
身心基盤形成	22	26	4	30
合計	81	156	82	238

(注) 非常勤には、連携大学院方式による教員を含まない。

(イ) 研究科

(平成31年3月31日現在)

課程・研究科		授業科目数	授 業 担 当 教 員 数				
			教育会議構成員	教育会議構成員以外の教員	非常勤	計	
修士課程	教 育 研 究 科	233	113	86	11	210	
	小 計	233	113	86	11	210	
博士課程	人 文 社 会 学 研 究 科	一貫	396	85	1	13	99
		前期	569	111	69	41	221
		後期	200	95	14	11	120
	ビ ジ ネ ス 学 研 究 科	前期	152	30	1	31	62
		後期	86	34	2	21	57
		専門職	160	26	4	68	98
	数 理 物 質 学 研 究 科	前期	515	265	32	85	382
		後期	268	255	32	5	292
	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	前期	310	214	65	74	353
		後期	81	216	37	21	274
	生 命 環 境 学 研 究 科	一貫	64	24	2	1	27
		前期	873	252	50	85	387
		後期	453	255	49	9	313
	人 間 総 合 学 研 究 科	一貫	194	367	2	15	384
		修士	122	259	11	40	310
		前期	786	299	27	50	376
		後期	82	192	15	7	214
		3年制	96	88	12	9	109
	図 書 館 情 報 メ デ ィ ア 研 究 科	前期	67	57	4	10	71
		後期	42	50	4	0	54
グ ロ ー バ ル 教 育 院	一貫	88	119	78	42	239	
	前期	35	119	0	10	129	
	後期	5	119	0	10	129	
小 計		5,644	3,531	511	658	4,700	
合 計		5,877	3,644	597	669	4,910	

(注) 1. 授業科目数は、他研究科開設科目を指定しているもの及び研究指導を除く。

2. 非常勤には、連携大学院方式による教員を含まない。

(4) 卒業・修了者等数

ア 学群卒業生

(平成31年3月31日現在)

学群・学類		卒業 年次 定員	編入学 定員	本年度卒業生(学位「学士」取得者)数		累計	
				学位記	計		
人文・ 学文化	人文学類	120		人文学	124 (55) ※0	124 (55) ※0	942 (491) ※0
	比較文化学類	80		文学	0 (0)	66 (43) ※1	646 (459) ※8
	日本語・日本文化学類	40		比較文化学	66 (43) ※1	44 (31) ※1	324 (239) ※3
	小計	240	<0>	文学	44 (31) ※1	234 (129) ※2	1,912 (1,189) ※11
社会・ 国際学群	社会学類	80	<10>	社会学	25 (12) ※1	97 (41) ※9	741 (297) ※30
				政治学	29 (14)		
				政治学	19 (6)		
				経済学	16 (5)		
	国際総合学類	80	<10>	国際社会学	8 (4) ※8	101 (64) ※13	680 (416) ※48
小計	160	<10>	国際関係学	46 (25)	198 (105) ※22	1,421 (713) ※78	
人間学群	教育学類	35		国際開発学	42 (30)	36 (16) ※0	288 (129) ※1
	心理学類	50		国際社会学	13 (9) ※13	60 (39) ※3	408 (241) ※1
	障害科学類	35		障害科学	22 (17)	35 (28) ※0	288 (219) ※1
				特別支援教育学	2 (2)		
小計	120	<0>	社会福祉学	11 (9)	131 (83) ※3	984 (589) ※9	
生命 学環境	生物学類	80		理学	102 (47) ※12	102 (47) ※12	696 (307) ※28
	生物資源学類	120	<10>	生物資源学	119 (67) ※9	141 (76) ※11	1,124 (609) ※52
	地球学類	50		農学	22 (9) ※2	56 (14) ※2	439 (135) ※6
	小計	250	<10>	理学	56 (14) ※2	299 (137) ※25	2,259 (1,051) ※86
理工学群	数学類	40		理学	40 (4)	40 (4) ※0	345 (48) ※6
	物理学類	60		理学	61 (8)	61 (8) ※0	492 (52) ※15
	化学類	50		理学	54 (13)	54 (13) ※0	437 (117) ※5
	応用理工学類	120	<10>	工学	128 (16) ※4	128 (16) ※4	1,071 (118) ※46
	工学システム学類	130		工学	136 (9) ※3	136 (9) ※3	1,132 (84) ※42
	社会工学類	120		社会工学	115 (23) ※2	115 (23) ※2	1,002 (190) ※28
情報学群	情報科学類	80	<10>	情報科学	37 (3)	109 (8) ※1	747 (47) ※24
情報メディア創成学類	50	<10>	情報メディア科学	72 (5) ※1	55 (13)	489 (121) ※7	
知識情報・図書館学類	100	<10>	図書館情報学	120 (66)	120 (66) ※0	883 (506) ※3	
小計	230	<30>	情報科学	284 (87) ※1	284 (87) ※1	2,119 (674) ※34	
医学群	医学類	134	<5>	医学	114 (43)	114 (43)	625 (220)
	看護学類	70	<10>	看護学	78 (76)	78 (76) ※1	622 (593)
	医療科学類	37	<3>	医療科学	31 (23)	42 (27) ※1	308 (199) ※9
	小計	241	<18>	国際医療科学	11 (4) ※1	234 (146) ※1	1,555 (1,012) ※9
体育	専門学群	240		体育学	248 (81)	248 (81)	9,780 (2,556) ※7
芸術	専門学群	100		芸術学	104 (81)	104 (81) ※0	3,987 (2,480) ※21
第一学群	人文学類			人文学	0 (0)	0 (0)	3,965 (1,916) ※15
	社会学類			社会学	0	0 (0)	3,669 (1,197) ※37
				政治学	0		
				政治学	0		
自然学類			理学	0 (0)	0 (0)	6,828 (1,374) ※17	
小計				0 (0)	0 (0)	14,462 (4,487) ※69	
第二学群	比較文化学類			文学	0	0 (0)	2,758 (1,693) ※15
	日本語・日本文化学類			比較文化学	0	0 (0)	1,454 (1,110) ※18
	人間学類			人間科学	0 (0)	0 (0)	3,949 (2,242) ※17
	生物学類			生物資源学	0 (0)	0 (0)	2,686 (1,099) ※20
	生物資源学類			生物資源学	0	0 (0)	2,474 (1,155) ※16
	農林学類			農学	0 (0)	0 (0)	2,057 (514) ※4
小計				0 (0)	0 (0)	15,378 (7,813) ※90	
第三学群	社会工学類			社会工学	0 (0)	0 (0)	3,835 (559) ※57
	国際総合学類			国際関係学	0	0 (0)	1,242 (777) ※70
	国際関係学類			国際関係学	0	0 (0)	1,001 (466) ※64
	情報学類			情報科学	0	0 (0)	3,017 (377) ※67
	工学システム学類			情報工学	0	0 (0)	1,988 (165) ※47
	工学基礎学類			工学	0 (0)	0 (0)	1,215 (76) ※11
	基礎工学類			工学	0	0 (0)	3,765 (500) ※20
	小計				0 (0)	0 (0)	16,063 (2,920) ※336
医学 専門学群	医学専門学群			医学	0 (0)	0 (0)	3,259 (906) ※7
	看護学類			看護学	0 (0)	0 (0)	315 (297)
	医療科学類			医療科学	0 (0)	0 (0)	160 (111)
	小計				0 (0)	0 (0)	3,734 (1,314) ※7
図書館 情報 専門学群	図書館情報専門学群			図書館情報学	0 (0)	0 (0)	696 (436) ※7
	図情大からの移籍学生			図書館情報学	0	0 (0)	3,819 (2,550) ※34
小計				0 (0)	0 (0)	4,515 (2,986) ※41	
合計	2,101	<78>		2,266 (922) ※63	2,266 (922) ※64	82,648 (30,393) ※940	

- (注) 1. () は女子を、※は外国人留学生を、それぞれ内数で示し、< >は編入学定員を外数で示す。
 2. 卒業生数には、第2学期推薦入学等々の年度途中卒業生58名を含む。
 3. 累計には、東京教育大学からの移籍学生を含む。
 4. 第二学群農林学類は、平成6年度から生物資源学類へ名称変更。
 5. 第三学群国際総合学類は、平成7年度に国際関係学類を改組。
 6. 第三学群工学基礎学類は、平成10年度に基礎工学類を改組。
 7. 図情大からの移籍学生の累計は、平成15年度をもって閉学した図書館情報大学の卒業生を含む。

イ 大学院修了者等

(ア) 修士課程修了者

(平成31年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
地域研究	地域研究	国際学修士		563 (287) ※ 207
		修士(国際学)		8 (6)
		修士(地域研究)		1,002 (615) ※ 335
教 育	障害児教育	教育学修士		290 (125) ※ 18
		修士(教育学)		595 (415) ※ 45
	スクールリーダーシップ開発	修士(教育学)	20 (6) ※ 1	197 (76) ※ 15
		教育学修士		735 (189) ※ 42
	教科教育	修士(教育学)	74 (26) ※ 3	2,136 (828) ※ 67
		教育学修士		30 (12)
	カウンセリング	修士(教育学)		2 (2)
		修士(カウンセリング)		395 (257) ※ 2
		修士(リハビリテーション)		403 (228)
		修士(学術)		1
特別支援教育	修士(特別支援教育学)		101 (71) ※ 9	
教育学(国際教育)修士プログラム	修士(教育学)	12 (9) ※ 2	12 (9) ※ 2	
経営・政策科学	経営・政策科学	経済学修士		540 (48) ※ 128
		修士(経済学)		333 (65) ※ 60
		修士(ビジネス)		109 (32) ※ 49
		修士(社会工学)		56 (5) ※ 6
		修士(経営科学)		272 (67) ※ 136
		修士(公共政策)		1
	経営システム科学	経営学修士		25 (2)
		修士(経営学)		256 (47)
		修士(経営システム科学)		121 (19)
	企業法学	修士(法学)		320 (47)
理工学	理工学	工学修士		772 (30) ※ 56
		修士(工学)		2,326 (181) ※ 197
		理学修士		411 (44) ※ 6
		修士(理学)		733 (118) ※ 16
環境科学	環境科学	学術修士		922 (127) ※ 36
		修士(学術)		91 (21) ※ 3
		修士(環境科学)		1,686 (590) ※ 185
バイオシステム	バイオシステム	修士(学術)		851 (299) ※ 90
医科学	医科学	医科学修士		242 (63) ※ 7
		修士(医科学)		681 (352) ※ 32
体 育	体育方法学	体育学修士		251 (60) ※ 14
		修士(体育学)		429 (123) ※ 71
	コーチ学	体育学修士		328 (25) ※ 15
		修士(体育学)		679 (120) ※ 54
	健康教育学	体育学修士		218 (42) ※ 12
		修士(体育学)		429 (182) ※ 33
	スポーツ健康科学	修士(体育学)		235 (81) ※ 6
スポーツ科学	修士(体育学)		379 (97) ※ 27	
スポーツ健康システム・マネジメント	修士(体育学)		58 (11)	
	修士(保健学)		54 (46)	
芸 術	美 術	芸術学修士		175 (45) ※ 9
		修士(芸術学)		440 (210) ※ 40
	デザイン	芸術学修士		190 (49) ※ 43
		修士(芸術学)		28 (15) ※ 3
		修士(デザイン学)		481 (171) ※ 159
	世界遺産	修士(世界遺産学)		34 (31) ※ 2
		修士(学術)		20 (14) ※ 2

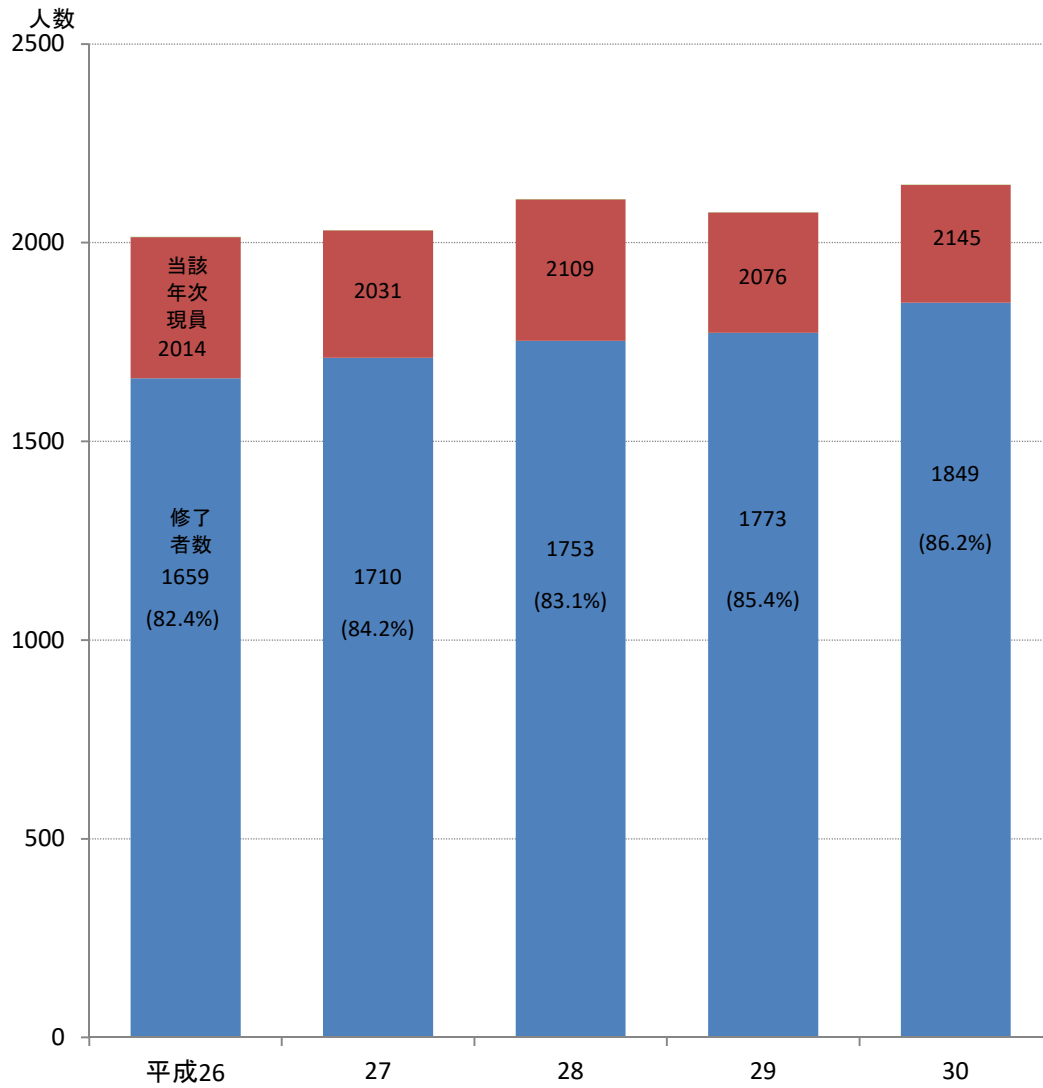
研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計	
人文社会科学	現代語・現代文化	修士(文学)	1 (1)	28 (19) ※ 2	
		修士(言語学)	7 (4)	42 (21) ※ 7	
		修士(学術)	1 ※ 1	13 (9) ※ 2	
	国際公共政策	修士(国際政治経済学)	3 (3)	37 (21) ※ 19	
		修士(政治学)	3 (2) ※ 1	11 ※ 2	
		修士(社会学)	6 (3) ※ 2	55 (29) ※ 18	
		修士(国際公共政策)		47 (20) ※ 35	
	国際地域研究	修士(国際学)	8 (6) ※ 8	477 (316) ※ 359	
		修士(経済学)	16 (7) ※ 16	37 (13) ※ 36	
		修士(地域研究)	22 (12) ※ 14	55 (30) ※ 33	
		修士(公共政策)	2 (1) ※ 2	12 (6) ※ 12	
		修士(学術)	1 (1)	14 (11) ※ 11	
	国際日本研究	修士(国際日本研究)	9 (7) ※ 9	10 (8) ※ 9	
		修士(社会科学)	17 (13) ※ 13	49 (34) ※ 39	
		修士(人文科学)	20 (13) ※ 17	45 (34) ※ 41	
		修士(日本語教育学)	10 (9) ※ 8	26 (20) ※ 19	
	法学	修士(法学)		6 ※ 4	
修士(経済学)			29 (17) ※ 14		
数理物質科学	数学	修士(理学)	28 (1) ※ 1	225 (19) ※ 8	
		修士(数学)		86 (7) ※ 2	
	物理学	修士(理学)	61 (4) ※ 1	618 (57) ※ 17	
		修士(物理学)		43 (6) ※ 4	
	化学	修士(理学)	43 (6) ※ 3	601 (148) ※ 17	
		修士(理学)		146 (34) ※ 4	
	物質創成先端科学	修士(数学)		1	
		修士(物理学)		2	
		修士(工学)		101 (6) ※ 9	
	電子・物理工学	修士(工学)	59 (7) ※ 9	805 (63) ※ 78	
	物性・分子工学	修士(工学)	72 (11) ※ 12	929 (102) ※ 82	
	システム情報工学	社会システム工学	修士(工学)		221 (40) ※ 49
			修士(社会工学)		224 (48) ※ 25
			修士(社会経済)		24 (1) ※ 9
		経営・政策科学	修士(ビジネス)		414 (181) ※ 272
			修士(公共政策)		26 (7) ※ 9
		リスク工学	修士(工学)	28 (5) ※ 7	346 (38) ※ 54
修士(社会工学)			3	42 (8) ※ 5	
コンピュータサイエンス		修士(工学)	117 (10) ※ 28	1,499 (151) ※ 327	
知能機能システム		修士(工学)	124 (13) ※ 19	1,329 (113) ※ 174	
社会工学		修士(社会工学)	95 (42) ※ 49	344 (149) ※ 169	
	修士(サービス工学)	29 (7) ※ 3	70 (18) ※ 10		
構造エネルギー工学	修士(工学)	86 (5) ※ 7	981 (47) ※ 56		
生命環境科学	生物科学	修士(生物科学)		39 (18) ※ 7	
		修士(理学)	35 (17) ※ 4	513 (218) ※ 32	
	生物資源科学	修士(学術)	2 ※ 1	65 (30) ※ 21	
		修士(生物工学)	14 (8) ※ 4	254 (110) ※ 58	
		修士(生物資源工学)	24 (12) ※ 18	157 (70) ※ 79	
		修士(農学)	95 (47) ※ 20	1,175 (554) ※ 176	
		修士(バイオディプロマシー)		5 (3) ※ 2	
	環境科学	修士(環境科学)	77 (36) ※ 54	836 (331) ※ 319	
		修士(理学)	47 (18) ※ 10	428 (129) ※ 57	
	地球科学	修士(地球科学)		7 (1)	
修士(地球環境科学)			1		
山岳科学学位プログラム		修士(山岳科学)	5 (1)	5 (1)	
ビジネス科学	企業法学	修士(法学)	31 (12)	474 (103) ※ 1	
	経営システム科学	修士(経営システム科学)	1	52 (6)	
		修士(経営学)	29 (5)	441 (87) ※ 1	

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人間総合科学	スポーツ健康システム・マネジメント	修士(体育学)	16 (11)	133 (46) ※ 2
		修士(保健学)	9 (5)	112 (80) ※ 3
	スポーツ国際開発学共同	修士(スポーツ国際開発学)	7 (2)	14 (4)
		修士(医科学)	51 (28) ※ 10	596 (285) ※ 57
	フロンティア医科学	修士(公衆衛生学)	8 (7) ※ 5	97 (66) ※ 42
		修士(ヒューマン・ケア科学)	4 (1) ※ 1	36 (25) ※ 7
	教育学	修士(教育学)	4 (2)	127 (70) ※ 48
	心理	修士(心理学)	16 (14) ※ 1	163 (101) ※ 14
	障害科学	修士(障害科学)	24 (20) ※ 5	241 (168) ※ 52
		修士(特別支援教育学)	26 (22) ※ 7	75 (55) ※ 10
	生涯発達	修士(カウンセリング)	24 (16)	229 (159)
		修士(リハビリテーション)	26 (16)	229 (121)
	感性認知脳科学	修士(感性科学)	5 (2) ※ 2	51 (23) ※ 17
		修士(行動科学)	4 (1) ※ 1	61 (37) ※ 8
		修士(神経科学)	5 (1) ※ 1	35 (17) ※ 5
		修士(学術)		1
	体育学	修士(体育学)	100 (30) ※ 2	1,200 (353) ※ 63
		修士(スポーツ・オリンピック学)	20 (10) ※ 19	55 (27) ※ 46
		修士(スポーツ国際開発学)		2 (1)
		修士(コーチング学)	1 (1)	11 (4)
	看護科学	修士(看護科学)	13 (9) ※ 1	161 (146) ※ 9
	芸術	修士(芸術学)	28 (23) ※ 2	342 (249) ※ 30
		修士(デザイン学)	27 (15) ※ 5	363 (191) ※ 98
	世界遺産	修士(世界遺産学)	14 (10) ※ 9	101 (74) ※ 35
		修士(学術)	3 (3) ※ 2	73 (50) ※ 10
	図書館情報メディア	図書館情報メディア	修士(図書館情報学)	22 (18) ※ 6
修士(情報学)			36 (10) ※ 8	339 (119) ※ 68
修士(学術)				22 (12) ※ 4
グローバル教育院	ライフイノベーション 学位プログラム	修士(食料革新学)	4 (3) ※ 4	11 (6) ※ 11
		修士(病態機構学)	5 (3) ※ 5	6 (4) ※ 6
		修士(医科学)	4 (1) ※ 1	4 (1) ※ 1
		修士(環境制御学)	1 (1) ※ 1	1 (1) ※ 1
計			1,849 (677) ※ 448	41,387 (12,809) ※ 5,753

(注) 1 ()は女子を、※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され、単に「修士」とすることとされた。

【修士課程修了状況の推移】



()内は、修了対象年次の現員に対する修了者率(%)を示す。

(イ) 博士課程修了者

(平成31年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	果	計	
人文社会科学	哲学・思想	博士(文学)	5(3)	33(10)※	3	
	歴史・人類学	博士(文学)	1※1	41(21)※	8	
	文芸・言語	博士(文学)	2(1)※1	62(35)※	31	
		博士(言語学)	6(5)※5	87(51)※	41	
	現代文化・公共政策	博士(言語学)		15(10)※	6	
		博士(文学)		7(3)※	1	
		博士(学術)		4(2)		
	経済学	博士(政治学)		14(8)※	5	
		博士(経済学)		1		
	社会科学	博士(経済学)		3	※2	
		博士(社会学)		16(8)※	5	
		博士(法学)		2(1)※	1	
	国際政治経済学	博士(国際政治経済学)		31(11)※	21	
	現代語・現代文化	博士(文学)	2(2)	4(4)		
		博士(言語学)	2	21(8)		
	法学	博士(法学)		2	※1	
		国際公共政策	博士(国際政治経済学)		3(1)※	1
			博士(政治学)	1	6(3)※	3
			博士(社会学)		2(1)	
			博士(国際公共政策)		5(2)※	3
博士(学術)		1(1)				
国際日本研究	博士(学術)	5(3)※	5	※16		
	博士(国際日本研究)	3	※2	20(13)※	14	
	博士(社会科学)	3(1)※	1	5(3)※	3	
	博士(人文科学)	3(3)※	3	3(3)※	3	
	博士(日本語教育学)	1(1)※	1	1(1)※	1	
ビジネス科学	企業科学	博士(システム・マネジメント)	4	43(6)		
		博士(経営学)	5(2)	62(9)		
		博士(法学)	3(2)	33(6)		
数理物質科学	数学	博士(理学)	5	66(6)※	6	
		博士(数学)		11		
	物理学	博士(理学)	14	※2	131(9)※	8
		博士(物理学)			14(1)※	1
	化学	博士(理学)	8	※1	121(15)※	9
	物質創成先端科学	博士(理学)			30(6)※	6
		博士(工学)			9	※3
	電子・物理工学	博士(工学)	16(4)※	5	154(12)※	26
	物性・分子工学	博士(工学)	9(1)※	3	135(12)※	43
ナノサイエンス・ナノテクノロジー	博士(工学)	10	※2	44(1)※	9	
	博士(理学)	4(2)※	1	19(7)※	3	
物質・材料工学	博士(工学)	9(3)※	6	143(34)※	93	
システム情報工学	社会システム工学	博士(工学)		12(2)※	4	
		博士(社会工学)		18(4)※	7	
		博士(社会経済)		10(3)※	5	
	社会システム・マネジメント	博士(マネジメント)			12(5)※	8
		博士(社会経済)			9(2)※	1
		博士(社会工学)			15(1)※	2
		博士(工学)	1	※1	42(8)※	16
	リスク工学	博士(工学)	4		67(8)※	14
		博士(社会工学)			6(1)※	2
	コンピュータサイエンス	博士(工学)	9(1)※	3	217(17)※	74
	知能機能システム	博士(工学)	17(3)※	4	202(17)※	46
	構造エネルギー工学	博士(工学)	12(1)※	5	116(10)※	31
	社会工学(社会工学学位プログラム)	博士(社会工学)	4	※1	27(8)※	9
計量ファイナンス・マネジメント	博士(ファイナンス)			2(1)※	2	
	博士(マネジメント)			4(2)※	4	
	博士(社会工学)			2		
生命環境科学	地球環境科学	博士(理学)	10(3)※	6	100(30)※	40
	地球進化科学	博士(理学)	6	※2	44(13)※	13
	生物科学	博士(理学)	12(5)※	4	69(21)※	12
		博士(生物科学)	9(2)		52(12)※	2
		博士(学術)			10	
	構造生物科学	博士(理学)			44(11)※	2
		博士(生物科学)			2	
情報生物科学	博士(理学)			83(27)※	5	
	博士(生物科学)			5(2)※	1	

研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計
生命環境科学	生命共存科学	博士（理学）		68（18）※ 25
		博士（農学）		11（3）※ 1
		博士（生命共存科学）		7（1）※ 4
	環境バイオマス共生学	博士（学術）	2（1）※ 1	7（2）※ 4
		博士（学術）		37（18）※ 20
	国際地緑技術開発科学	博士（生物資源工学）	8（4）※ 7	53（22）※ 49
		博士（農学）	8（3）※ 5	93（34）※ 36
	生物圏資源科学	博士（学術）		23（12）※ 16
		博士（農学）	11（1）※ 5	148（44）※ 67
	生物機能科学	博士（生物工学）	6 ※ 1	92（25）※ 29
		博士（農学）	8（5）※ 3	93（29）※ 11
		博士（学術）	1	23（5）
	生命産業科学	博士（農学）	6（4）※ 3	38（15）※ 15
		博士（生物科学）	1 ※ 1	17（13）※ 8
		博士（生物工学）	2	79（29）※ 50
		博士（学術）		14（4）※ 4
持続環境学	博士（環境学）	16（9）※ 14	162（60）※ 102	
先端農業技術科学	博士（農学）	4（3）※ 1	57（19）※ 12	
人間総合科学	教育学	博士（教育学）		2
	学校教育学	博士（教育学）		21（11）※ 5
	教育基礎学	博士（教育学）	2（1）	9（7）※ 3
	心理学	博士（心理学）	3（2）	51（18）※ 2
		博士（学術）	1	2 ※ 1
	障害科学	博士（障害科学）	9（6）	43（24）※ 3
	心身障害学	博士（心身障害学）		15（10）※ 3
		博士（ヒューマン・ケア科学）	8（5）※ 1	122（88）※ 9
	ヒューマン・ケア科学	博士（心理学）	2	37（12）※ 1
		博士（心身障害学）		1（1）※ 1
		博士（教育学）	1	10（4）※ 1
		博士（体育科学）		4（1）
		博士（医学）		3（2）
		博士（学術）		29（24）※ 2
	生涯発達科学	博士（カウンセリング科学）	1	24（14）
		博士（生涯発達科学）	5（3）	21（12）
		博士（リハビリテーション科学）	1	21（7）
	感性認知脳科学	博士（感性科学）	3（1）※ 3	27（12）※ 19
		博士（神経科学）	1（1）※ 1	34（12）※ 2
		博士（行動科学）	3	28（14）※ 2
		博士（学術）	1	6（4）※ 2
	スポーツ医学	博士（スポーツ医学）	24（8）※ 1	133（45）※ 22
		博士（医学）		2（1）※ 1
		博士（学術）		2
	先端応用医学	博士（医学）		105（21）※ 11
	分子情報・生体統御医学	博士（医学）		76（36）※ 18
	病態制御医学	博士（医学）		79（26）※ 9
	機能制御医学	博士（医学）		53（17）※ 4
	社会環境医学	博士（医学）		69（31）※ 11
	生命システム医学	博士（医学）	15（6）※ 9	139（55）※ 37
	疾患制御医学	博士（医学）	51（14）※ 7	345（95）※ 24
	看護科学	博士（看護科学）	5（5）	33（27）※ 1
	体育科学	博士（体育科学）	5	100（19）※ 15
		博士（健康スポーツ科学）	3	4（1）
		博士（学術）		17（5）※ 4
	芸術	博士（芸術学）	5（4）	70（39）※ 11
博士（デザイン学）			28（16）※ 12	
世界文化遺産学	博士（世界遺産学）	2（1）	16（11）※ 5	
	博士（学術）	3（1）※ 1	17（13）※ 8	
コーチング学	博士（コーチング学）	7（1）	39（7）※ 2	
芸術学	博士（芸術学）		19（9）※ 3	
	博士（デザイン学）		17（7）※ 9	
スポーツウエルネス学位プログラム	博士（スポーツウエルネス学）	2（1）	2（1）	
大学体育スポーツ高度化共同専攻	博士（体育スポーツ学）	3（2）	3（2）	
図書館情報メディア	図書館情報メディア	博士（図書館情報学）	3（2）	33（19）※ 6
		博士（情報学）	2 ※ 1	43（13）※ 13
		博士（学術）	1	21（13）※ 5

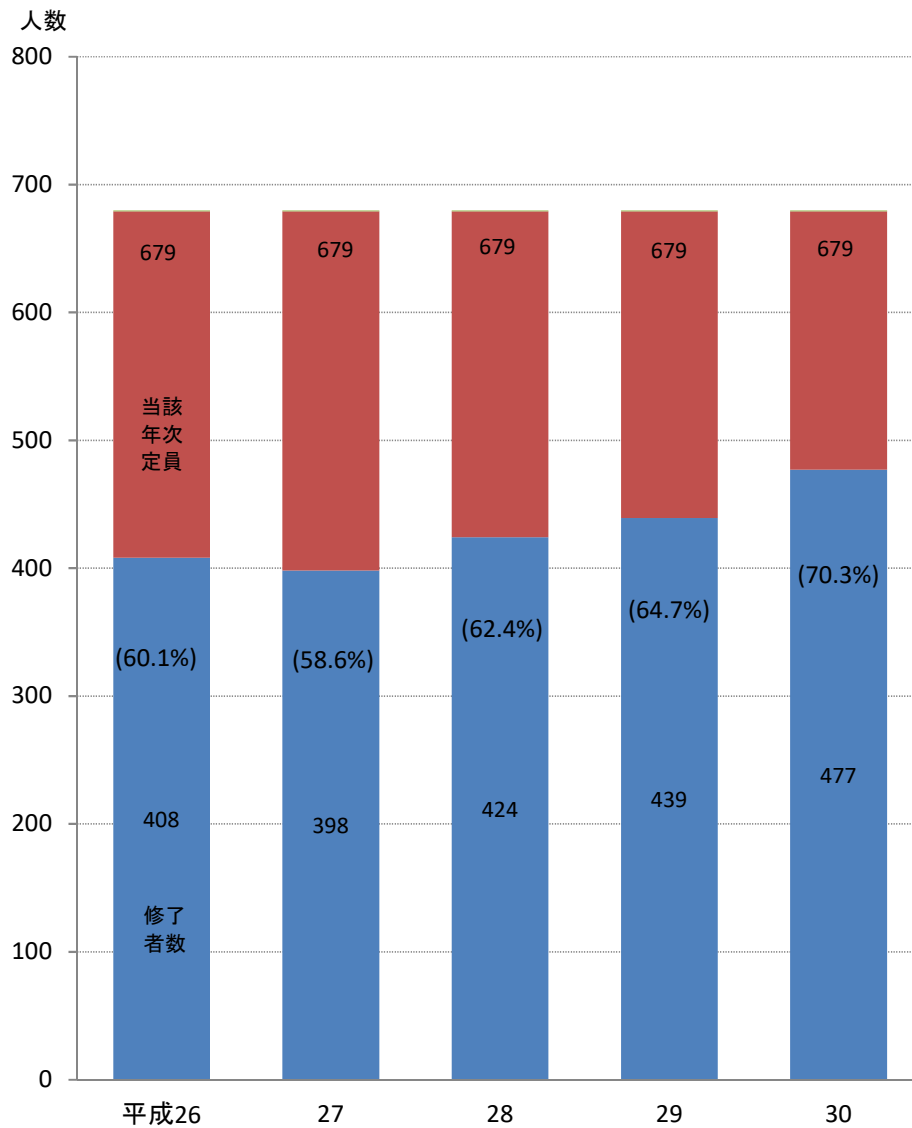
研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計	
グローバル教育院	ヒューマンバイオロジー学位プログラム	博士（人間生物学）	11（ 5）※ 4	28（ 13）※ 14	
	エンパワーメント情報学プログラム	博士（人間情報学）	9（ 2）※ 3	16（ 5）※ 8	
	ライフイノベーション学位プログラム	博士（医科学）	1	1	
		博士（食料革新学）	2（ 1）※ 1	2（ 1）※ 1	
哲学・思想	哲学	博士（病態機構学）	4 ※ 1	4 ※ 1	
		文学博士		3	
	倫理学	博士（文学）		5（ 1）※ 1	
		文学博士		8（ 1）※ 2	
	宗教学・比較思想学	博士（文学）		2	
		博士（学術）		3 ※ 2	
文学博士			2		
歴史・人類学	史学	博士（文学）		3	
		博士（学術）		2	
		文学博士		3	
	文化人類学	博士（文学）		1	
		博士（学術）		11（ 2）※ 8	
		文学博士		9（ 4）※ 3	
文芸・言語	文学	博士（学術）		3（ 1）※ 1	
		文学博士		6（ 2）※ 6	
		博士（文学）		9（ 2）※ 3	
	各国文学	博士（学術）		2（ 1）※ 1	
		文学博士		2（ 1）※ 2	
		博士（文学）		22（ 13）※ 14	
	言語学	博士（学術）		2（ 2）※ 1	
		文学博士		2（ 2）※ 1	
		博士（言語学）		11（ 4）※ 2	
教育学	教育学	博士（学術）		6（ 2）※ 5	
		文学博士		8（ 3）※ 7	
	教育基礎学	博士（言語学）		47（ 22）※ 35	
		教育学博士		3 ※ 2	
心理学	教育学	教育学博士		6（ 4）※ 5	
		博士（教育学）		12（ 8）※ 10	
	学校教育学	教育学博士		2 ※ 2	
心身障害学	心身障害学	博士（教育学）		17（ 7）※ 14	
		博士（心身障害学）		6（ 1）	
		学術博士		44（ 13）※ 5	
		教育学博士		4（ 1）※ 2	
		博士（学術）		22（ 10）※ 2	
社会科学	法学	博士（心身障害学）		24（ 11）※ 6	
		学術博士		25（ 15）※ 6	
	経済学	博士（学術）		1（ 1）	
		法学博士		11 ※ 2	
	社会学	博士（法学）		23（ 3）※ 11	
		社会学博士		1 ※ 1	
	社会工学	計量計画学	博士（社会学）		7（ 1）※ 4
			経済学博士		8（ 2）※ 5
経営工学		博士（社会学）		24（ 3）※ 17	
		学術博士		1	
社会工学	計量計画学	学術博士		1 ※ 1	
		博士（社会経済）		13（ 3）※ 8	
		博士（経営工学）		1	
	経営工学	学術博士		10（ 1）※ 8	
		博士（経営工学）		27（ 6）※ 18	
	都市・地域計画学	博士（社会経済）		1 ※ 1	
		学術博士		11（ 1）※ 8	
	計量ファイナンス・マネジメント	博士（社会工学）		3 ※ 1	
		博士（都市・地域計画）		30（ 3）※ 20	
	国際政治経済学	社会経済システム	博士（経営学）		6（ 1）※ 4
博士（計量ファイナンス）				1	
都市・環境システム		博士（社会経済）		3（ 1）※ 3	
		博士（社会工学）		9（ 2）	
経営・政策科学	企業科学	博士（都市・環境システム）		2 ※ 2	
		博士（数理工学）		1 ※ 1	
国際政治経済学	国際政治経済学	博士（学術）		2（ 1）※ 1	
		博士（国際政治経済学）		21（ 4）※ 15	
		博士（法学）		5（ 1）	
経営・政策科学	企業科学	博士（経営学）		8（ 3）	
		博士（システムズ・マネジメント）		10（ 1）	

研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計	
生物科学	生物学	理学博士		36 (2) ※ 6	
		博士（理学）		56 (16) ※ 5	
		博士（生物科学）		3	
	生物物理化学	理学博士		34 (4) ※ 2	
		博士（理学）		85 (23) ※ 9	
		博士（学術）		8 (1)	
		博士（生物科学）		1	
農 学	農林学	農学博士		41 (4) ※ 13	
		博士（農学）		87 (9) ※ 35	
	農林工学	農学博士		21 ※ 10	
		博士（農学）		99 (13) ※ 53	
	応用生物化学	農学博士		59 (6) ※ 18	
		博士（農学）		175 (41) ※ 50	
		学術博士		7	
			博士（学術）		42 (8) ※ 5
	数 学	数 学	理学博士		19 ※ 1
博士（理学）				53 (6) ※ 6	
博士（数学）				17 (1) ※ 3	
物理学	物理学	理学博士		119 (2) ※ 3	
		博士（理学）		122 (7) ※ 9	
		博士（物理学）		21 (1) ※ 1	
		学術博士		1	
化 学	化 学	理学博士		98 (6) ※ 6	
		博士（理学）		94 (9) ※ 7	
地球科学	地理学・水文学	理学博士		46 (3) ※ 19	
		博士（理学）		50 (8) ※ 15	
	地質学	理学博士		28 (3) ※ 6	
		博士（理学）		75 (15) ※ 28	
工 学	物理工学	工学博士		32 ※ 8	
		博士（工学）		102 (3) ※ 21	
	物質工学	工学博士		21 ※ 3	
		博士（工学）		132 (6) ※ 31	
	構造工学	工学博士		18 ※ 3	
		博士（工学）		86 (6) ※ 26	
	知能機能工学	博士（工学）		54 (4) ※ 9	
	電子・情報工学	工学博士		21 ※ 8	
博士（工学）			134 (9) ※ 42		
医 学	形態系	医学博士		19 (1)	
		博士（医学）		103 (24) ※ 17	
	生化系	医学博士		30 (4) ※ 1	
		博士（医学）		114 (42) ※ 13	
	生理系	医学博士		53 (3) ※ 2	
		博士（医学）		173 (50) ※ 24	
	生物系	医学博士		19 (4) ※ 1	
		博士（医学）		67 (19) ※ 7	
環境生態系	医学博士		34 (6) ※ 2		
	博士（医学）		81 (36) ※ 7		
体育科学	体育科学	教育学博士		30 (3) ※ 12	
		博士（体育科学）		88 (11) ※ 22	
		学術博士		5	
		博士（学術）		20 (6) ※ 6	
芸術学	芸術学	学術博士		4 (1) ※ 1	
		博士（芸術学）		34 (25) ※ 9	
		博士（デザイン学）		39 (11) ※ 23	
計			477 (150) ※ 139	9,229 (2,352) ※ 2,327	

(注) 1 () は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「博士」とすることとされた。

【博士課程修了状況の推移】



()内は、年次定員に対する修了者率(%)を示す。

(ウ) 博士課程修士学位授与者

(平成31年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
人文社会科学	哲学・思想	修士(文学)	8 (1) ※ 1	106 (43) ※ 14
		修士(文学)	13 (2) ※ 1	159 (68) ※ 16
	歴史・人類学	修士(言語学)	15 (10) ※ 6	180 (101) ※ 61
		修士(文学)	2 (2) ※ 1	124 (69) ※ 35
	文芸・言語	修士(学術)		7 (6) ※ 2
		修士(学術)		16 (8) ※ 3
		修士(言語学)		26 (16) ※ 7
		修士(政治学)		28 (13) ※ 10
	現代文化公共政策	修士(文学)		17 (11) ※ 1
		修士(経済学)		10 (2) ※ 2
		修士(社会学)		21 (14) ※ 5
	社会科学	修士(法学)		24 (16) ※ 4
		修士(国際政治経済学)		94 (36) ※ 76
		修士(学術)		2 (2)
数理物質科学	数学	修士(理学)		43 (1)
		修士(数学)		4
	物理学	修士(理学)		58 (5)
		修士(物理学)		13 (1)
	化学	修士(理学)		66 (14) ※ 2
		修士(理学)		36 (6)
	物質創成先端科学	修士(工学)		22 (2)
		修士(物理学)		3
	電子・物理工学	修士(工学)		66 (3)
	物性・分子工学	修士(工学)		76 (7) ※ 2
システム情報工学	社会システム工学	修士(社会経済)		7 ※ 1
		修士(社会学)		53 (8) ※ 6
		修士(工学)		27 (2) ※ 6
	リスク工学	修士(工学)		48 (5) ※ 4
		修士(社会工学)		5 (1)
	コンピュータサイエンス	修士(工学)		159 (11) ※ 15
	知能機能システム	修士(工学)		134 (9) ※ 6
	構造エネルギー工学	修士(工学)		101 (5) ※ 1
	計量ファイナンス・マネジメント	修士(ファイナンス)		15 ※ 1
		修士(マネジメント)		3 (1) ※ 3
修士(社会工学)			10	
生命環境科学	地球環境科学	修士(理学)		79 (25) ※ 4
		修士(地球環境科学)		3 (2)
	地球進化科学	修士(理学)		63 (20) ※ 4
		修士(地球科学)		1
	構造生物科学	修士(理学)		36 (13)
		修士(生物科学)		3 (2) ※ 1
	情報生物科学	修士(理学)		98 (37)
		修士(生物科学)		8 (1)
	生命共存科学	修士(理学)		120 (44) ※ 10
		修士(農学)		29 (5) ※ 1
		修士(生命共存科学)		19 (6) ※ 6
	環境バイオマス共生学	修士(学術)		1
		修士(農学)	1 (1)	12 (7) ※ 1
		修士(理学)	14 (4) ※ 3	51 (18) ※ 8
		修士(学術)		1
	国際地縁技術開発科学	修士(農学)		54 (24) ※ 6
修士(生物資源工学)			16 (4) ※ 7	
修士(学術)			14 (7) ※ 3	
生物圏資源科学	修士(農学)		89 (31) ※ 15	
	修士(学術)		4 (3) ※ 1	
生物機能科学	修士(農学)		38 (12) ※ 1	
	修士(生物工学)		25 (5) ※ 2	
	修士(学術)		3	
人間総合科学	教育学	修士(教育学)		37 (20) ※ 8
	学校教育学	修士(教育学)		37 (13) ※ 4
	心理学	修士(心理学)		46 (20)
	心身障害学	修士(学術)		1
		修士(心身障害学)		46 (24) ※ 4

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
人間総合科学	ヒューマン・ケア科学	修士(ヒューマン・ケア科学)		43 (40) ※ 10
		修士(教育学)		5 (4)
		修士(心理学)		51 (28) ※ 1
		修士(体育科学)		2 (1)
		修士(心身障害学)		1
	感性認知脳科学	修士(学術)		2 (1)
		修士(感性科学)		18 (7) ※ 8
		修士(行動科学)		28 (18) ※ 2
		修士(神経科学)		26 (11) ※ 1
	スポーツ医学	修士(スポーツ医学)		54 (15) ※ 16
	体育科学	修士(学術)		6 (3)
		修士(体育科学)		62 (11) ※ 9
	芸術学	修士(デザイン学)		17 (8) ※ 5
		修士(学術)		1
修士(芸術学)			36 (26) ※ 5	
哲学・思想	哲 学	文学修士		19 (1)
		修士(文学)		18 (3) ※ 1
	哲学・思想	修士(文学)		1
	倫理学	文学修士		20 (3) ※ 6
		修士(文学)		18 (4) ※ 2
		修士(学術)		5 ※ 4
	宗教学・比較思想学	文学修士		30 (9) ※ 7
		修士(文学)		20 (3) ※ 1
修士(学術)			3 (1)	
歴史・人類学	史 学	文学修士		88 (14) ※ 12
		修士(文学)		71 (23) ※ 2
		修士(学術)		10 (3) ※ 2
	文化人類学	文学修士		65 (16) ※ 10
		修士(文学)		48 (10) ※ 3
		修士(学術)		5 (3) ※ 2
文芸・言語	文 学	文学修士		20 (7) ※ 2
		修士(文学)		23 (11) ※ 7
		修士(学術)		1 (1) ※ 1
	各国文学	文学修士		107 (39) ※ 12
		修士(文学)		65 (22) ※ 4
		修士(学術)		10 (4) ※ 9
	言語学	文学修士		118 (24) ※ 16
		修士(言語学)		117 (56) ※ 36
		修士(学術)		5 (4) ※ 1
教育学	教育学	教育学修士		65 (4) ※ 4
	教育基礎学	教育学修士		29 (10) ※ 4
		修士(教育学)		64 (21) ※ 5
	学校教育学	教育学修士		37 (6) ※ 5
		修士(教育学)		62 (18) ※ 11
心理学	心理学	教育学修士		94 (19) ※ 6
		修士(心理学)		111 (48) ※ 9
心身障害学	心身障害学	教育学修士		71 (16) ※ 4
		修士(教育学)		23 (12) ※ 4
		修士(心身障害学)		48 (22) ※ 4
社会科学	法 学	法学修士		17 (5) ※ 2
		修士(法学)		35 (9) ※ 14
	経済学	経済学修士		12 ※ 2
		修士(経済学)		21 (7) ※ 7
	社会学	社会学修士		23 (6) ※ 8
	修士(社会学)		37 (12) ※ 15	
	計量計画学	経済学修士		2 (1)
社会工学	計量計画学	学術修士		11 ※ 1
		修士(社会経済)		19 (2) ※ 7
	経営工学	学術修士		19 ※ 5
		修士(経営工学)		38 (8) ※ 15
	都市・地域計画学	学術修士		8 (1) ※ 1
		修士(都市・地域計画)		32 (5) ※ 12
	社会経済システム	修士(社会経済)		7 ※ 1

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
社会工学	システム情報数理	修士(社会工学)		1
		修士(数理工学)		12 (1) ※ 3
	都市・環境システム	修士(社会工学)		12 (6)
		修士(都市・環境システム)		7 (1) ※ 1
	計量ファイナンス・マネジメント	修士(社会工学)		3
		修士(計量ファイナンス)		10 (2) ※ 2
		修士(経営学)		5 (2) ※ 3
国際政治経済学	国際政治経済学	修士(国際政治経済学)		52 (18) ※ 34
		修士(学術)		57 (24) ※ 33
生物科学	生物学	理学修士		52 (7) ※ 4
		修士(理学)		78 (27) ※ 1
		修士(生物科学)		6 (1)
	生物物理化学	理学修士		74 (16) ※ 2
		修士(理学)		113 (44) ※ 2
		修士(生物科学)		1 (1)
農 学	農林学	農学修士		64 (2) ※ 14
		修士(農学)		122 (29) ※ 18
	農林工学	農学修士		47 (1) ※ 8
		修士(農学)		80 (15) ※ 13
	応用生物化学	農学修士		112 (13) ※ 10
		修士(農学)		177 (51) ※ 12
数 学	数 学	理学修士		90 (2) ※ 2
		修士(理学)		76 (11) ※ 2
		修士(数学)		46 (5)
物理学	物理学	理学修士		178 (6) ※ 1
		修士(理学)		156 (9)
		修士(物理学)		54 (5)
化 学	化 学	理学修士		111 (13) ※ 4
		修士(理学)		117 (19) ※ 1
		修士(化学)		3 (1)
地球科学	地理学・水文学	理学修士		83 (5) ※ 15
		修士(理学)		79 (11) ※ 2
		修士(地球科学)		1
	地質学	理学修士		42 (6) ※ 6
		修士(理学)		74 (14) ※ 19
		修士(地球科学)		1
工 学	物理工学	工学修士		53
		修士(工学)		155 (4) ※ 1
	物質工学	工学修士		58 (4)
		修士(工学)		172 (10) ※ 2
	構造工学	工学修士		63 (1)
		修士(工学)		171 (7) ※ 3
知能機能工学	修士(工学)		101 (4) ※ 1	
電子・情報工学	工学修士		60 (1) ※ 2	
	修士(工学)		203 (11) ※ 9	
体育科学	体育科学	教育学修士		96 (11) ※ 23
		修士(体育科学)		118 (24) ※ 27
芸術学	芸術学	学術修士		34 (15) ※ 2
		修士(芸術学)		35 (22) ※ 5
		修士(デザイン学)		23 (9) ※ 9
計			53 (20) ※ 12	8,359 (1,986) ※ 1,008

(注) 1 () は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「修士」とすることとされた。

(エ) 論文博士学位授与者

(平成31年3月31日現在)

	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
平成3年6月までの 学位授与数	文学博士		72 (4) ※ 11
	教育学博士		86 (13) ※ 12
	法学博士		1
	経済学博士		2
	社会学博士		2 (1) ※ 1
	理学博士		290 (19) ※ 11
	農学博士		67 (1) ※ 6
	工学博士		33 (1)
	学術博士		22 (1) ※ 3
	医学博士		122 (13) ※ 1
	平成3年7月以降の 学位授与数	博士(文学)	4
博士(言語学)		3 (1)	73 (16) ※ 11
博士(国際日本研究)		1 (1) ※ 1	3 (1) ※ 3
博士(教育学)		6 (2) ※ 1	113 (19) ※ 9
博士(心理学)		1 (1)	80 (29) ※ 3
博士(心身障害学)			27 (9) ※ 1
博士(法学)		1	24 (3) ※ 4
博士(政治学)			3 (2) ※ 1
博士(経済学)			11 (1)
博士(社会学)			23 (9) ※ 2
博士(経営学)			8 (2)
博士(社会工学)			3 ※ 1
博士(社会経済)			10 ※ 1
博士(経営工学)			6 (1) ※ 1
博士(数理工学)			1 ※ 1
博士(都市・地域計画)			4 (1) ※ 2
博士(ファイナンス)			1
博士(マネジメント)			1
博士(システムズ・マネジメント)			5 (1)
博士(国際政治経済学)			15 (10) ※ 7
博士(理学)		6 (1)	282 (45) ※ 20
博士(生物科学)			6 (3) ※ 1
博士(数学)			8 (2)
博士(物理学)			1
博士(化学)			2 (1)
博士(地球科学)			1 ※ 1
博士(農学)		3 (1) ※ 1	228 (32) ※ 28
博士(生物資源工学)			5 ※ 1
博士(生物工学)			19 (6) ※ 4
博士(工学)		8 ※ 2	312 (24) ※ 37
博士(環境学)		1 ※ 1	1 ※ 1
博士(生命共存科学)			1
博士(感性科学)			10 (3) ※ 1
博士(障害科学)		1	6 (1)
博士(行動科学)			8 (3)
博士(神経科学)			5 (1)
博士(リハビリテーション科学)			2 (1)
博士(スポーツ医学)		2	12 (3)
博士(医学)		4 (2)	398 (71) ※ 7
博士(看護科学)			1
博士(体育科学)		2 (1)	105 (9) ※ 7
博士(ヒューマン・ケア科学)			5 (5)
博士(芸術学)			34 (7) ※ 1
博士(世界遺産学)			1
博士(コーチング学)		2	9
博士(デザイン学)			19 (7) ※ 2
博士(学術)	3 (1)	81 (24) ※ 13	
博士(図書館情報学)	2 (1)	8 (3) ※ 2	
博士(情報学)		9 (1) ※ 1	
計	50 (12) ※ 6	2,921 (454) ※ 239	

(注) 1 () は女子を, ※は外国人をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「博士」とすることとされた。

(オ) 専門職課程修了者

(平成31年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
ビジネス科学	国際経営プロフェッショナル	国際経営修士(専門職)	30 (10) ※ 1	393 (142) ※ 50
	法曹(法科大学院)	法務博士(専門職)	21 (6)	338 (72)
計			51 (16) ※ 1	731 (214) ※ 50

(注) 1 ()は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

(5) 特別支援学校教員資格認定試験

科目	受験者数	第1次試験 合格者数	第2次試験 合格者数	合格率
聴覚障害教育	56 [9]	21 [9]	11	19.6%
肢体不自由教育	193 [22]	51 [22]	9	4.7%
合 計	249 [31]	72 [31]	20	8.0%

(注) 1. []は、第1次試験免除者を内数で示す。

2. 試験日程等は、次のとおりである。

第1次試験	8月5日(日)	場所	東京キャンパス文京校舎
第2次試験	9月30日(日)	場所	東京キャンパス文京校舎及 び 附属聴覚特別支援学校
最終合格発表	11月27日(火)		文部科学省ホームページ及び官報にて官庁報告

(6) 学生の身分異動

ア 学群

学群・学類		休学	退学	除籍	計
文化学群 人文・ 学群	人文学類	22 (9)	8 (7)		30 (16)
	比較文化学類	25 (11)	3	1 (1)	29 (12)
	日本語・日本文化学類	10 (4)	6 (5)		16 (9)
社会学群 社会・ 国際学群	社会学類	9 (3)	1 (1)		10 (4)
	国際総合学類	9 (1)	2 (1)	1	12 (2)
人間学群	教育学類	12 (3)	1 (1)		13 (4)
	心理学類	7 (2)	3		10 (2)
	障害科学類	3 (3)	1		4 (3)
生命環境学群 生命・ 環境学群	生物学類	20 (8)	6 (3)		26 (11)
	生物資源学類	24 (8)	4 (2)		28 (10)
	地球学類	7 (1)	4 (1)		11 (2)
理工学群	数学類	9 (1)	6 (1)	1	16 (2)
	物理学類	13	6	1	20 (0)
	化学類	3 (1)	3 (2)		6 (3)
	応用理工学類	24 (3)	6		30 (3)
	工学システム学類	20 (3)	9 (2)		29 (5)
	社会工学類	14 (2)	2		16 (2)
情報学群	情報科学類	17	3 (1)	1	21 (1)
	情報メディア創成学類	11 (3)	2 (2)		13 (5)
	知識情報・図書館学類	16 (4)	5 (3)		21 (7)
医学群	医学類	15 (4)	4 (2)		19 (6)
	看護学類	8 (8)	3		11 (8)
	医療科学類	5 (3)	4		9 (3)
体育専門学群		18 (7)	5 (2)		23 (9)
体育専門学群		21 (15)	1 (1)	1 (1)	23 (17)
グローバル教育院 地球規模課題学位プログラム			1 (1)		1 (1)
学群計		342 (107)	99 (38)	6 (2)	447 (147)

(注) () は女子を内数で示す。

イ 大学院

所 属		休学	退学	除籍	計
教育研究科	修士課程	11 (5)	2 (1)		13 (6)
人文社会科学研究科	一貫制博士課程	50 (28)	35 (22)		85 (50)
	修士課程	6 (1)	1 (1)		7 (2)
	博士前期課程	10 (10)	4 (3)		14 (13)
	博士後期課程	36 (21)	22 (17)	1 (1)	59 (39)
ビジネス科学研究科	博士前期課程	25 (5)	11 (2)	2	38 (7)
	博士後期課程	60 (11)	16 (2)		76 (13)
	専門職学位課程	30 (9)	11 (2)	2 (1)	43 (12)
数理物質科学研究科	一貫制博士課程				0 (0)
	博士前期課程	26 (4)	18 (4)	1	45 (8)
	博士後期課程	14 (2)	8 (1)	1	23 (3)
	3年制博士課程		1 (1)		1 (1)
システム情報工学研究科	一貫制博士課程				0 (0)
	博士前期課程	37 (4)	31 (3)	3 (1)	71 (8)
	博士後期課程	40 (6)	11 (2)	1	52 (8)
生命環境科学研究科	一貫制博士課程	2	11 (4)		13 (4)
	博士前期課程	29 (12)	22 (7)	3 (3)	54 (22)
	博士後期課程	41 (18)	32 (12)		73 (30)
	3年制博士課程	4 (1)			4 (1)
人間総合科学研究科	一貫制博士課程	32 (10)	15 (7)	2 (2)	49 (19)
	修士課程	13 (7)	4 (2)	3	20 (9)
	博士前期課程	56 (23)	20 (12)	2 (2)	78 (37)
	博士後期課程	124 (69)	35 (13)	3 (2)	162 (84)
	3年制博士課程	69 (37)	12 (3)	1	82 (40)
図書館情報メディア研究科	博士前期課程	10 (2)	3 (1)		13 (3)
	博士後期課程	25 (11)	6 (6)		31 (17)
グローバル教育院	一貫制博士課程	2 (1)	2 (1)		4 (2)
	博士前期課程				0 (0)
	博士後期課程				0 (0)
大学院計		752 (297)	333 (129)	25 (12)	1,110 (438)

(注) () は女子を内数で示す。

(7) 入学者選抜

ア 学群

(ア) 平成31年度入学者選抜 (4月入学)

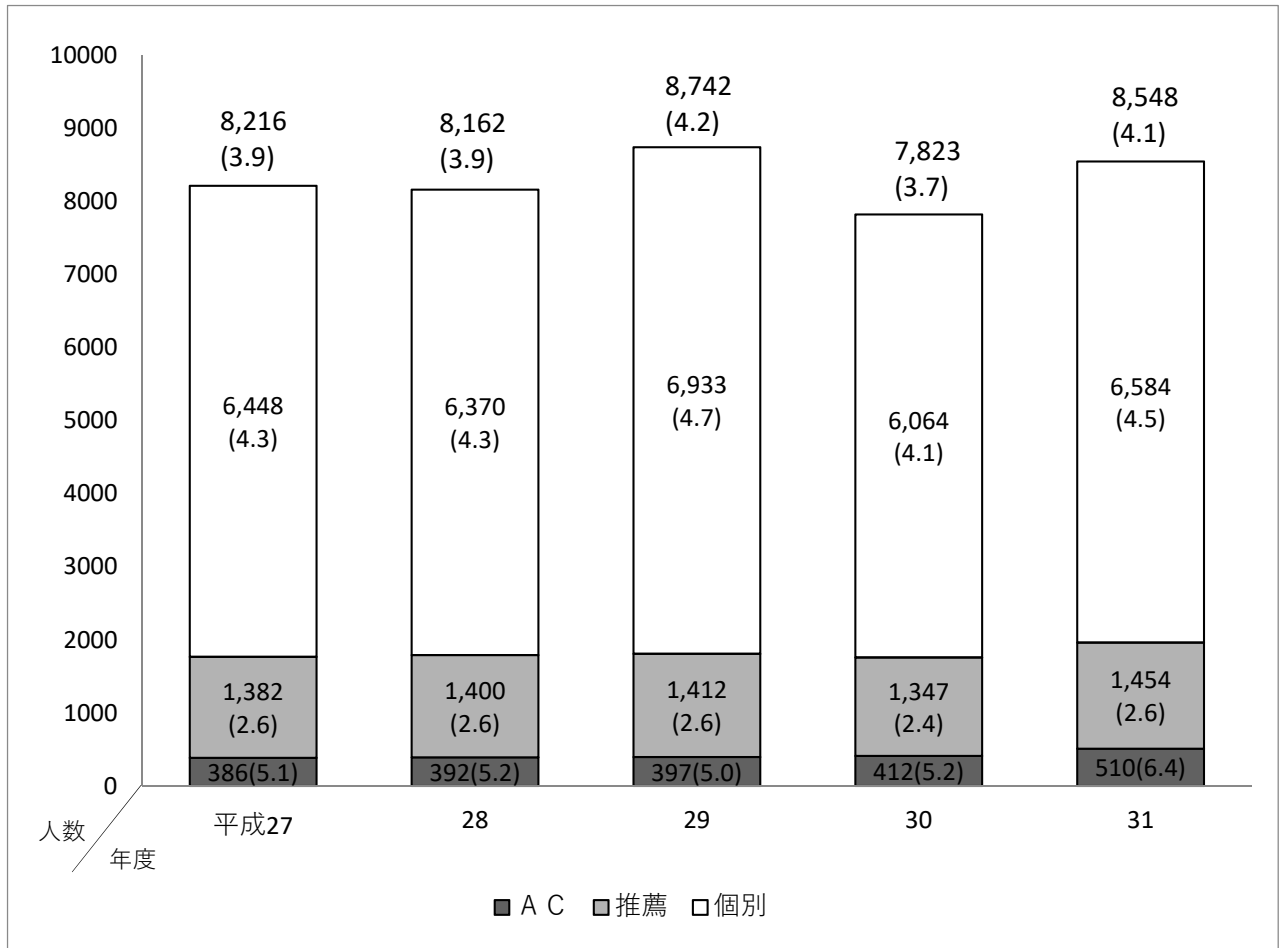
(平成31年4月1日現在)

学群・学類	入学定員	アドミッションセンター入試 (国際科学オリンピック特別入試、 国際アカデミア特別入試、 海外教育プログラム特別入試を含む)				推薦入試 (帰国生徒特別入試(体育、芸術)を含む)				個別学力検査等 (前期日程・後期日程)				私費外国人留学生入試			合格者 数計	入学者数計		
		募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	合格 者数	入学 者数				
人文・文化学群	人文学類	120	5	(14) 27	(3) 6	(3) 5	28	(21) 44	(14) 30	(14) 30	87	(194) 506	(34) 103	(32) 94	(1) 6	(0) 1	(0) 1	(51) 140	(49) 130	#(0) 1
	比較文化学類	80	5	(27) 50	(4) 5	(4) 5	20	(28) 36	(15) 20	(14) 19	55	(130) 250	(37) 64	(33) 56	(3) 6	(0) 1	(0) 1	(56) 90	(51) 81	
	日本語・ 日本文化学類	40	3	(12) 14	(2) 2	(2) 2	10	(13) 17	(8) 10	(8) 10	28	(95) 153	(20) 30	(19) 28	(3) 6	(0) 0	(0) 0	(30) 42	(29) 40	
	小計	240	13	(53) 91	(9) 13	(9) 12	58	(62) 97	(37) 60	(36) 59	170	(419) 909	(91) 197	(84) 178	(7) 18	(0) 2	(0) 2	(137) 272	(129) 251	#(0) 1
社会・国際学群	社会学類	80		(0) 0	(0) 0	(0) 0	16	(28) 52	(10) 16	(10) 15	65	(136) 472	(23) 76	(20) 65	(11) 19	(2) 2	(2) 2	(35) 94	(32) 82	
	国際総合学類	80		(1) 1	(0) 0	(0) 0	20	(39) 54	(17) 20	(17) 20	60	(78) 176	(31) 63	(31) 60	(2) 9	(0) 2	(0) 2	(48) 85	(48) 82	
	小計	160		(1) 1	(0) 0	(0) 0	36	(67) 106	(27) 36	(27) 35	125	(214) 648	(54) 139	(51) 125	(13) 28	(2) 4	(2) 4	(83) 179	(80) 164	
人間学群	教育学類	35		(0) 0	(0) 0	(0) 0	7	(10) 15	(7) 7	(7) 7	28	(63) 135	(15) 29	(15) 28	(2) 5	(0) 1	(0) 0	(22) 37	(22) 35	
	心理学類	50		(1) 2	(0) 1	(0) 1	12	(52) 66	(11) 12	(11) 12	38	(97) 207	(17) 40	(17) 40	(7) 12	(1) 1	(0) 0	(29) 54	(28) 53	
	障害科学類	35		(0) 0	(0) 0	(0) 0	15	(23) 29	(12) 15	(12) 15	20	(47) 66	(17) 23	(17) 22	(2) 3	(0) 0	(0) 0	(29) 38	(29) 37	
	小計	120		(1) 2	(0) 1	(0) 1	34	(85) 110	(30) 34	(30) 34	86	(207) 408	(49) 92	(49) 90	(11) 20	(1) 2	(0) 0	(80) 129	(79) 125	
生命環境学群	生物学類	80	8	(15) 39	(2) 5	(2) 5	20	(19) 37	(10) 21	(10) 21	54	(90) 212	(28) 56	(26) 54	(11) 22	(1) 1	(0) 0	(41) 83	(38) 80	
	生物資源学類	120	4	(11) 22	(2) 3	(2) 3	33	(55) 76	(22) 33	(22) 33	84	(149) 322	(41) 88	(39) 84	(2) 8	(0) 0	(0) 0	(65) 124	(63) 120	
	地球学類	50	2	(2) 5	(0) 2	(0) 2	10	(15) 30	(3) 10	(3) 10	38	(33) 116	(10) 39	(10) 38	(1) 3	(0) 1	(0) 1	(13) 52	(13) 51	
	小計	250	14	(28) 66	(4) 10	(4) 10	63	(89) 143	(35) 64	(35) 64	176	(272) 650	(79) 183	(75) 176	(14) 33	(1) 2	(0) 1	(119) 259	(114) 251	
理工学群	数学類	40	2	(1) 3	(0) 0	(0) 0	10	(4) 33	(1) 10	(1) 9	31	(11) 92	(6) 33	(6) 31	(2) 5	(0) 0	(0) 0	(7) 43	(7) 40	#(0) 1
	物理学類	60	2	(2) 7	(0) 1	(0) 1	15	(3) 26	(0) 16	(0) 16	43	(28) 161	(6) 44	(5) 43	(2) 8	(0) 1	(0) 1	(6) 62	(5) 61	
	化学類	50	2	(1) 10	(0) 2	(0) 2	13	(12) 21	(7) 13	(7) 13	35	(32) 107	(11) 37	(11) 35	(6) 17	(0) 1	(0) 0	(18) 53	(18) 50	#(0) 1
	応用理工学類	120		(0) 1	(0) 1	(0) 1	16	(10) 43	(5) 16	(4) 15	104	(43) 372	(11) 114	(11) 104	(5) 17	(2) 5	(2) 3	(18) 136	(17) 123	#(0) 1
	工学システム 学類	130	8	(4) 32	(1) 5	(1) 5	20	(15) 78	(6) 21	(5) 20	105	(75) 561	(10) 112	(8) 105	(5) 28	(0) 2	(0) 1	(17) 140	(14) 131	#(0) 3
	社会工学類	120		(0) 0	(0) 0	(0) 0	22	(13) 33	(10) 22	(10) 22	98	(106) 566	(17) 111	(17) 101	(4) 9	(0) 1	(0) 0	(27) 134	(27) 123	
	小計	520	14	(8) 53	(1) 9	(1) 9	96	(57) 234	(29) 98	(27) 95	416	(295) 1,859	(61) 451	(58) 419	(24) 84	(2) 10	(2) 5	(93) 568	(88) 528	#(0) 6
情報学群	情報科学類	80	8	(4) 35	(0) 5	(0) 4	10	(7) 36	(2) 11	(2) 10	66	(26) 369	(3) 72	(2) 68	(4) 24	(1) 3	(1) 2	(6) 91	(5) 84	#(0) 2
	情報メディア 創成学類	50	4	(6) 36	(1) 3	(0) 2	8	(12) 37	(3) 8	(3) 8	40	(40) 217	(6) 46	(6) 45	(2) 10	(0) 0	(0) 0	(10) 57	(9) 55	
	知識情報・ 図書館学類	100	5	(13) 31	(0) 5	(0) 3	40	(61) 89	(28) 40	(28) 40	57	(80) 261	(17) 65	(14) 57	(3) 6	(1) 3	(1) 3	(46) 113	(43) 103	
	小計	230	17	(23) 102	(1) 13	(0) 9	58	(80) 162	(33) 59	(33) 58	163	(146) 847	(26) 183	(22) 170	(9) 40	(2) 6	(2) 5	(62) 261	(57) 242	#(0) 2
医学群	医学類	135	5	(8) 15	(2) 2	(2) 2	58	(111) 248	(19) 59	(19) 59	74	(77) 209	(30) 77	(28) 74	(5) 7	(0) 0	(0) 0	(51) 138	(49) 135	
	看護学類	70		(2) 2	(0) 0	(0) 0	25	(55) 58	(25) 25	(25) 25	45	(117) 124	(47) 49	(43) 45	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(72) 74	(68) 70	
	医療科学類	37		(0) 1	(0) 0	(0) 0	12	(25) 31	(11) 12	(11) 12	25	(30) 49	(15) 27	(15) 25	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(26) 39	(26) 37	
	小計	242	5	(10) 18	(2) 2	(2) 2	95	(191) 337	(55) 96	(55) 96	144	(224) 382	(92) 153	(86) 144	(5) 8	(0) 0	(0) 0	(149) 251	(143) 242	
体育専門学群	240	12	(55) 131	(3) 15	(3) 15	88	(50) 120	(38) 92	(38) 92	140	(107) 494	(33) 145	(32) 144	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(74) 252	(73) 251		
芸術専門学群	100	5	(32) 46	(2) 3	(2) 3	35	(122) 145	(31) 35	(31) 35	62	(297) 387	(49) 67	(47) 65	(4) 7	(1) 2	(0) 1	(83) 107	(80) 104	#(1) 1	
合 計	2,102	80	(211) 510	(22) 66	(21) 61	563	(803) 1,454	(315) 574	(312) 568	1,482	(2,181) 6,584	(534) 1,610	(504) 1,511	(87) 239	(9) 28	(6) 18	(880) 2,278	(843) 2,158	#(1) 10	
前年度合計	2,102	80	(184) 412	(28) 62	(22) 55	551	(764) 1,347	(320) 553	(317) 549	1,476	(2,035) 6,064	(564) 1,645	(532) 1,543	(108) 239	(19) 29	(12) 19	(931) 2,289	(883) 2,166	#(1) 10	

(注)1. ()内は、女子を内数で、入学者数計欄中#は国費、外国政府派遣または日韓共同理工系留学生を外数で示す。

2. アドミッションセンター入試とは、書類選考と面接・口述試験によって、多面的・総合的に評価する自己推薦型の入試である。

[志願者数の推移]



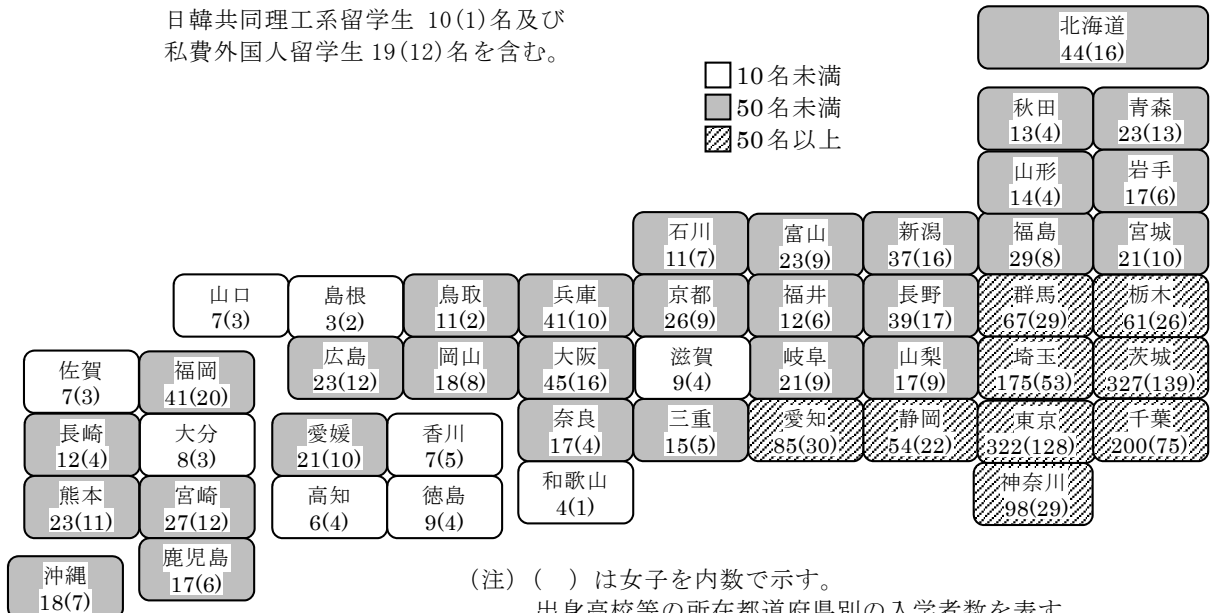
(注) () は、志願倍率を示す。
私費外国人留学生入試を除く。

[平成 31 年度都道府県等別入学者数]

平成 31 年 4 月 1 日現在

高卒認定試験	5(1)
外国の学校等	10(6)

(注) 外国の学校等には、国費、政府派遣、日韓共同理工系留学生 10(1)名及び私費外国人留学生 19(12)名を含む。



(注) () は女子を内数で示す。
出身高校等の所在都道府県別の入学者数を表す。

(イ) 平成30年度入学者選抜 (秋学期入学)

(平成30年10月1日現在)

学群・学類	帰国生徒特別入試(10月入学)			学群英語コース入試			Japan-Expert(学士)プログラム特別入試		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
人文・文化学群	人文学類								
	比較文化学類								
	日本語・日本文化学類						(7)	(2)	(2)
	小計						21	2	2
社会・国際学群	社会学類	(0)	(0)	(0)	(18)	(1)	(0)		
	国際総合学類	4	1	0	34	5	4		
	小計	(5)	(2)	(1)	(30)	(5)	(3)		
人間学群	教育学類								
	心理学類								
	障害科学類								
	小計								
生命環境学群	生物学類	(2)	(0)	(0)	(20)	(3)	(2)		
	生物資源学類	2	0	0	43	5	4		
	地球学類	(1)	(1)	(1)	(11)	(5)	(3)	(0)	(0)
	小計	2	1	1	21	7	5	10	2
理工学群	数学類								
	物理学類								
	化学類								
	応用理工学類								
	工学システム学類								
	社会工学類								
	小計	(0)	()	()	(2)	(2)	(1)		
情報学群	情報科学類	0			8	3	1		
	情報メディア創成学類								
	知識情報・図書館学類								
	小計	(3)	(1)	(1)	(33)	(10)	(6)	(3)	(0)
医学群	医学類	4	1	1	72	15	10	10	2
	看護学類								
	医療科学類								
	小計								
体育専門学群									
芸術専門学群							(4)	(0)	(0)
合計	17	4	2	153	28	20	49	8	8
前年度合計	(18)	(6)	(6)	(91)	(44)	(30)	(17)	(4)	(4)
	32	8	7	171	63	45	33	8	8

(注) 1. ()内は、女子を内数で示す。

2. 帰国生徒特別入試とは、海外帰国生徒(海外で2年以上継続在学)の学校推薦入試選抜を行うものである。(旧第2学期推薦入試)

3. 学群英語コース入試とは、英語で授業を受け学位が取得できるコースの入試である。

(入学時期は平成30年9月。医学群医療科学類は第3年次編入学)

地球規模課題学位プログラム(学士)入試			
	志願者数	合格者数	入学者数
合計	(11)	(6)	(5)
	21	9	7
前年度合計	(13)	(5)	(3)
	27	9	6

(ウ) 編入学

(平成31年4月1日現在)

学群・学類	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	
人文・文化学群	人文学類				
	比較文化学類				
	日本語・日本文化学類				
	小計				
社会・国際学群	社会学類	10	(30) 80	(7) 10	(7) 10
	国際総合学類				
	小計	10	(30) 80	(7) 10	(7) 10
人間学群	教育学類				
	心理学類				
	障害科学類				
	小計				
生命環境学群	生物学類	若干名	(8) 20	(2) 3	(2) 3
	生物資源学類	10	(14) 34	(4) 11	(4) 11
	地球学類	若干名	(6) 10	(1) 2	(1) 2
	小計	10	(28) 64	(7) 16	(7) 16
理工学群	数学類	若干名	(1) 7	(0) 1	(0) 0
	物理学類	若干名	(2) 14	(1) 3	(1) 3
	化学類	若干名	(6) 15	(0) 1	(0) 1
	応用理工学類	10	(6) 61	(1) 21	(1) 12
	工学システム学類	若干名	(2) 80	(0) 6	(0) 2
	社会工学類	若干名	(2) 26	(0) 2	(0) 1
	小計	10	(19) 203	(2) 34	(2) 19
	情報学群	情報科学類 (単願)	10	(1) 19	(0) 3
情報科学類 (併願 第1志望)	(1) 58	(0) 13		(0) 11	
情報科学類 (併願 第2志望)		(0) 0		(0) 0	
情報メディア創成学類 (単願)	(3) 18	(0) 2		(0) 2	
情報メディア創成学類 (併願 第1志望)	(2) 50	(0) 8		(0) 8	
情報メディア創成学類 (併願 第2志望)		(0) 2		(0) 1	
知識情報・図書館学類	10	(20) 51		(6) 13	(6) 12
小計	30	(27) 196		(6) 41	(6) 36
医学群	医学類	5	(50) 124	(6) 8	(3) 5
	看護学類	10	(25) 27	(9) 10	(9) 10
	医療科学類	3	(6) 8	(1) 1	(1) 1
	小計	18	(81) 159	(16) 19	(13) 16
体育専門学群					
芸術専門学群					
合計		(185) 702	(38) 120	(35) 97	
前年度合計		(140) 631	(29) 128	(28) 96	

(注) 1. ()内は、女子を内数で示す。

2. 編入学とは、大学等に2年以上在学した者で、2年又は3年次に入学するものである。

イ 大学院 (ア) 平成31年度大学院入学者選抜

(平成31年4月1日現在)

平成31年度大学院入学者数 (課程別)

研究科	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
修士課程	224 (0)	372 (0)	152	60	353 (0)	144	59	223 (0)	96	29	22 (0)	201 (0)	88	27
博士前期課程	1,427 (39)	2,772 (65)	934	644	2,637 (62)	888	605	1,707 (43)	513	309	129 (3)	1,578 (40)	489	292
専門職学位課程	66	226	66	21	206	59	19	83	25	2	17	66	20	1
一貫制博士課程	59 (1)	142 (0)	54	68	134 (0)	51	64	84 (0)	30	26	13 (0)	71 (0)	25	21
一貫制博士課程(3年次編入)		10 (0)	5	4	10 (0)	5	4	9 (0)	4	4	1 (0)	8 (0)	3	4
博士後期課程	507 (39)	503 (23)	174	122	487 (21)	169	116	396 (21)	129	98	10 (1)	386 (20)	126	94
3年制博士課程	51 (15)	88 (25)	32	23	84 (24)	30	22	60 (17)	23	15	2 (2)	58 (15)	22	14
医学を履修する博士課程	62 (0)	79 (0)	23	5	78 (0)	23	5	77 (0)	23	5	6 (0)	71 (0)	23	3
合 計	2,396 (94)	4,192 (113)	1,440	947	3,989 (107)	1,369	894	2,639 (81)	843	488	200 (6)	2,439 (75)	796	456

注) 1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。
2. 特別プログラム等の対象者は除く。

平成31年度大学院入学者数 (研究科別)

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
教 育	修士	スクールリーダーシップ開発	20	23	15	6	20	14	6	16	11	4	1	15	10	4
		社会人特別選抜		4	1	0	4	1	0	4	1	0	0	4	1	0
		教科教育	80	96	25	3	88	22	3	69	18	1	5	64	18	1
		社会人特別選抜		13	6	0	11	4	0	7	3	0	1	6	3	0
		教育学(国際教育) 修士プログラム	若干名	24	14	15	24	14	15	9	7	4	0	9	7	4
		社会人特別選抜		3	2	0	3	2	0	2	1	0	0	2	1	0
計		100	163	63	24	150	57	24	107	41	9	7	100	40	9	
人 文 社 会 学 科	一貫制	哲学・思想	6	14	4	3	13	4	3	5	2	1	0	5	2	1
		歴史・人類学	12	32	15	20	30	14	20	16	7	8	2	14	7	8
		文芸・言語	20	32	22	16	30	20	15	19	12	5	4	15	10	4
	小 計	38	78	41	39	73	38	38	40	21	14	6	34	19	13	
	一貫制 (3年次編入)	哲学・思想	若干名	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0
		歴史・人類学	若干名	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
		文芸・言語	若干名	4	2	1	4	2	1	3	1	1	0	3	1	1
	小 計	6	6	3	2	6	3	2	5	2	2	1	4	1	2	
	修士	国際地域研究	36	14	8	8	13	8	7	12	8	7	0	12	8	7
		小 計	36	14	8	8	13	8	7	12	8	7	0	12	8	7
	博士前期	現代語・現代文化	10	19	8	4	17	8	4	11	3	2	0	11	3	2
		国際公共政策	15	40	26	29	34	24	26	15	9	9	2	13	9	9
		国際日本研究	25	76	59	71	70	55	65	35	26	30	3	32	24	27
		社会人特別選抜	若干名	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
		小 計	50	136	94	104	122	88	95	62	39	41	5	57	37	38
	博士後期	現代語・現代文化	8	9	2	2	7	2	1	6	2	1	0	6	2	1
		国際公共政策	10	5	1	2	5	1	2	5	1	2	0	5	1	2
		国際日本研究	19	14	10	11	14	10	11	11	8	9	0	11	8	9
社会人特別選抜		若干名	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小 計		37	29	13	15	27	13	14	22	11	12	0	22	11	12	
計	161	263	159	168	241	150	156	141	81	76	12	129	76	72		

注) 1. 教育研究科の定員には、現職教員1年制プログラムを含む。
2. 修士課程国際地域研究専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
ビ ジ ネ ス 学 科	博士前期	※経営システム科学	30	126	32	0	122	32	0	36	11	0	5	31	10	0
		※企業法学	30	56	18	0	53	16	0	30	9	0	5	25	9	0
	小 計	60	182	50	0	175	48	0	66	20	0	10	56	19	0	
	博士後期	※企業科学	23	52	16	0	49	13	0	22	5	0	2	20	5	0
		小 計	23	52	16	0	49	13	0	22	5	0	2	20	5	0
	専門職学位	※法曹	36	136	33	0	120	27	0	48	15	0	13	35	11	0
		※国際経営プロフェッショナル	30	90	33	21	86	32	19	35	10	2	4	31	9	1
小 計		66	226	66	21	206	59	19	83	25	2	17	66	20	1	
計		149	460	132	21	430	120	19	171	50	2	29	142	44	1	

注) 1. ※は、専ら夜間において教育を行う課程。

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数					
数理工質科学	博士前期	数学	26	33	2	0	30	2	0	24	0	0	4	20	0	0					
		社会人特別選抜	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0				
		物理学	48	107	14	5	98	12	5	64	7	0	10	54	5	0					
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		化学	46	73	4	22	12	69	4	20	11	52	2	12	7	4	48	2	11	7	
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		電子・物理工学	51	103	1	13	29	102	1	13	29	70	1	6	11	5	65	1	6	11	
		社会人特別選抜	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		物性・分子工学	59	118	11	22	30	110	11	20	28	81	7	12	14	7	74	7	12	14	
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		小計	240	437	16	73	76	412	16	67	73	292	10	37	32	30	0	262	10	34	32
		博士後期	数学	12	6	0	0	6	0	0	6	0	0	0	6	0	0	0			
	社会人特別選抜		若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	物理学		20	9	2	0	9	2	0	9	2	0	9	2	0	9	2	0			
	社会人特別選抜		若干名	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	化学		16	7	2	0	3	6	1	0	2	6	1	0	2	6	1	0	2		
	社会人特別選抜		若干名	4	0	0	4	0	0	4	0	0	0	4	0	0	4	0	0		
	ナノイテック・ナノテクノロジー		25	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	0	4	1	2		
	社会人特別選抜		若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	電子・物理工学		16	10	2	4	10	2	4	10	2	4	1	9	2	3					
	社会人特別選抜		若干名	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0			
	物性・分子工学	13	15	3	4	8	15	3	4	8	15	3	4	8	0	15	3	4	8		
	社会人特別選抜	若干名	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0			
	小計	102	59	6	9	17	58	5	9	16	57	5	9	16	1	0	56	5	9	15	
	3年制博士	物質・材料工学	9	21	21	8	18	20	20	8	17	14	14	6	12	2	2	12	12	5	11
		社会人特別選抜	若干名	2	2	0	1	2	2	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	小計	9	23	23	8	19	22	22	8	18	15	15	6	13	2	2	13	13	5	12	
計	351	519	45	90	112	492	43	84	107	364	30	52	61	33	2	331	28	48	59		

注) 1. { }内は、連携大学院方式を内数で示す。
2. 博士前期課程電子・物理工学専攻、物性・分子工学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

システム情報工学	博士前期	社会工学	98	181	3	57	67	174	3	54	64	132	2	33	35	7	125	2	33	34	
		社会人特別選抜	10	6	1	1	6	1	1	6	1	1	6	1	1	1	1	5	1	1	0
		リスク工学	28	51	9	13	51	9	13	47	8	12	4	43	8	12	4	43	8	12	
		社会人特別選抜	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
		コンピュータサイエンス	111	229	7	30	77	208	6	27	69	146	5	14	36	13	1	133	4	14	31
		社会人特別選抜	2	4	2	1	4	2	1	4	2	1	4	2	1	1	3	2	1		
		知能機能システム	106	196	17	15	34	181	16	12	29	140	10	8	17	14	1	126	9	7	16
		社会人特別選抜	2	3	0	1	3	0	1	2	0	1	2	0	1	0	2	0	1		
	構造エネルギー工学	66	134	6	13	23	125	6	11	20	97	5	6	9	10	87	5	6	8		
	社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	小計	427	805	33	127	217	753	31	116	198	575	22	72	112	50	2	525	20	71	103	
	博士後期	社会工学	21	14	8	11	14	8	11	11	6	8	0	11	6	8	11	6	8		
		社会人特別選抜	5	6	1	1	5	1	1	5	1	1	0	5	1	1	5	1	1		
		リスク工学	10	4	2	2	4	2	2	3	1	1	0	3	1	1	3	1	1		
		社会人特別選抜	2	9	0	1	7	0	0	7	0	0	7	0	0	7	0	0			
		コンピュータサイエンス	24	22	2	12	20	2	11	18	2	10	18	2	2	10	0	18	2	10	
		社会人特別選抜	4	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0			
		知能機能システム	22	23	4	2	8	22	3	2	7	19	3	2	6	2	1	17	2	6	
		社会人特別選抜	2	9	1	2	0	9	1	2	0	9	1	2	0	0	9	1	2	0	
		構造エネルギー工学	14	6	2	0	3	6	2	0	3	6	2	0	3	0	6	2	0	3	
		社会人特別選抜	2	5	0	1	5	0	1	5	0	1	5	0	1	1	4	0	0		
	小計	106	102	9	17	39	96	8	17	36	87	8	14	30	3	1	84	7	14	29	
	計	533	907	42	144	256	849	39	133	234	662	30	86	142	53	3	609	27	85	132	

注) 1. { }内は、連携大学院方式を内数で示す。
2. 博士後期課程社会工学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数	外国人留学生数	受験者数	女子内数	外国人留学生数	合格者数	女子内数	外国人留学生数	辞退者数	入学者数	女子内数	外国人留学生数
生命環境科学	一貫制	環境バイオマス共生学	21 {1}	23	4	5	23	4	5	20	4	3	2	18	2	1
		小計	21 {1}	23 {0}	4	5	23 {0}	4	5	20 {0}	4	3	2 {0}	18 {0}	2	1
	一貫制 (3年次編入)	環境バイオマス共生学	若干名	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
		社会人特別選抜		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	博士前期	小計		2 {0}	1	1	2 {0}	1	1	2 {0}	1	1	0 {0}	2 {0}	1	1
		地球科学	39 {3}	73 {3}	33	23	72 {3}	32	23	61 {3}	25	16	3 {1}	58 {2}	25	16
		生物科学	47 {6}	65 {3}	22	8	63 {2}	20	8	54 {1}	19	5	2	52 {1}	18	5
		社会人特別選抜	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
		生物資源科学	92 {8}	145 {2}	74	23	141 {2}	72	23	131 {2}	69	20	6	125 {2}	64	20
		社会人特別選抜	14	2	1	0	2	1	0	2	1	0	0	2	1	0
		環境科学	59 {2}	61	26	29	59	26	28	46	22	19	3	43	22	18
		社会人特別選抜	10	4	3	2	4	3	2	3	3	2	0	3	3	2
		国際連携持続環境科学	6	3	2	0	3	2	0	3	2	0	0	3	2	0
		山岳科学学位プログラム	若干名	16 {1}	7	2	16 {1}	7	2	16 {1}	7	2	1	15 {1}	6	1
		社会人特別選抜		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	小計		269 {19}	371 {9}	169	87	362 {8}	164	86	318 {7}	149	64	15 {1}	303 {6}	142	62
	博士後期	地球環境科学	11 {2}	12 {1}	4	4	11 {1}	4	3	11 {1}	4	3	1	10 {1}	3	2
		地球進化科学	8	7 {1}	1	2	7 {1}	1	2	7 {1}	1	2	0	7 {1}	1	2
		社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		生物科学	26 {6}	13 {2}	7	3	13 {2}	7	3	13 {2}	7	3	0	13 {2}	7	3
		社会人特別選抜	若干名	17	7	0	17	7	0	17	7	0	0	17	7	0
		国際地線技術開発科学	18	5	1	5	5	1	5	4	1	4	1	3	1	3
		社会人特別選抜	4 {3}	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0
		生物圏資源科学	16	9	2	2	9	2	2	9	2	2	0	9	2	2
		社会人特別選抜	4 {2}	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0
		生物機能科学	17 {3}	6	3	2	6	3	2	6	3	2	0	6	3	2
		社会人特別選抜	4	6	0	0	6	0	0	6	0	0	0	6	0	0
生命産業科学		10	2	1	0	2	1	0	2	1	0	0	2	1	0	
社会人特別選抜		2	7	2	0	7	2	0	7	2	0	0	7	2	0	
持続環境学	8 {2}	11	4	6	11	4	6	9	2	6	0	9	2	6		
社会人特別選抜	4	5	4	0	5	4	0	5	4	0	0	5	4	0		
小計		132 {19}	106 {4}	36	24	105 {4}	36	23	102 {4}	34	22	2 {0}	100 {4}	33	20	
3年制博士	先端農業技術科学	6 {6}	2 {2}	0	0	2 {2}	0	0	2 {2}	0	0	0	2 {2}	0	0	
小計		6 {6}	2 {2}	0	0	2 {2}	0	0	2 {2}	0	0	0 {0}	2 {2}	0	0	
計		428 {45}	504 {15}	210	117	494 {14}	205	115	444 {13}	188	90	19 {1}	425 {12}	178	84	

注)1. { }内は、連携大学院方式を内数で示す。なお、博士前期課程山岳科学学位プログラムについては、定員に内数を明示していないが、連携大学院方式の募集あり。
2. 博士前期課程生物資源科学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

人間総合科学	修士	フロンティア医科学	50	114	52	27	112	52	27	62	30	12	13	49	24	10
		社会人特別選抜	若干名	15	4	1	14	3	1	9	2	1	0	9	2	1
		保健医療システム・マネジメント ※	24	59	22	0	57	21	0	26	12	0	1	25	11	0
		スポーツ国際開発学共同	5	7	3	0	7	3	0	7	3	0	1	6	3	0
		国際連携食料健康科学	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		88	195 {0}	81	28	190 {0}	79	28	104 {0}	47	13	15 {0}	89 {0}	40	11
	博士前期	教育学	18	18	6	6	18	6	6	13	4	4	1	12	3	3
		心理	16	77 {2}	46	9	76 {2}	45	9	16	12	0	3	13	10	0
		障害科学	45	30	20	7	28	19	6	27	18	5	1	26	18	5
		社会人特別選抜	若干名	5	3	0	5	3	0	5	3	0	0	5	3	0
		感性認知脳科学	14	30 {5}	17	15	29 {5}	16	15	19 {4}	10	6	1	18 {4}	9	6
		看護科学	15	21	20	1	20	19	1	14	13	0	0	14	13	0
		社会人特別選抜	若干名	4	3	0	4	3	0	2	2	0	0	2	2	0
		体育学	100	194	67	15	190	64	14	104	35	4	3	101	35	4
		社会人特別選抜	15	22	6	3	22	6	3	16	6	1	0	16	6	1
		芸術	45	96	61	50	93	60	48	55	37	14	3	52	34	14
		社会人特別選抜	15	8	6	3	7	5	3	6	4	2	0	6	4	2
	世界遺産	15	23	14	18	23	14	18	17	11	13	2	15	10	11	
	生涯発達 ※	46	195	116	0	189	111	0	49	26	0	0	49	26	0	
	小計		344 {0}	723 {7}	385	127	704 {7}	371	123	343 {4}	181	49	14 {0}	329 {4}	173	46
	博士後期	教育基礎学	8	7	4	0	7	4	0	5	2	0	0	5	2	0
		学校教育学	6	9	3	0	9	3	0	7	2	0	0	7	2	0
		心理学	6	3 {1}	2	0	3 {1}	2	0	1 {1}	1	0	0	1 {1}	1	0
		障害科学	10	19	17	3	19	17	3	13	12	1	0	13	12	1
		感性認知脳科学	10	10 {3}	4	3	10 {3}	4	3	10 {3}	4	3	0	10 {3}	4	3
		看護科学	8	11	7	1	11	7	1	9	5	1	1	8	4	1
		体育科学	15	24	9	5	23	8	5	15	7	2	0	15	7	2
芸術		10	13	7	7	12	6	7	8	5	4	0	8	5	4	
社会人特別選抜		若干名	4	4	0	4	4	0	3	3	0	0	3	3	0	
世界文化遺産学	7	6	4	1	6	4	1	6	4	1	0	6	4	1		
生涯発達科学 ※	6	27	15	0	26	15	0	8	4	0	0	8	4	0		
小計		86 {0}	133 {4}	76	20	130 {4}	74	20	85 {4}	49	12	1 {0}	84 {4}	48	12	

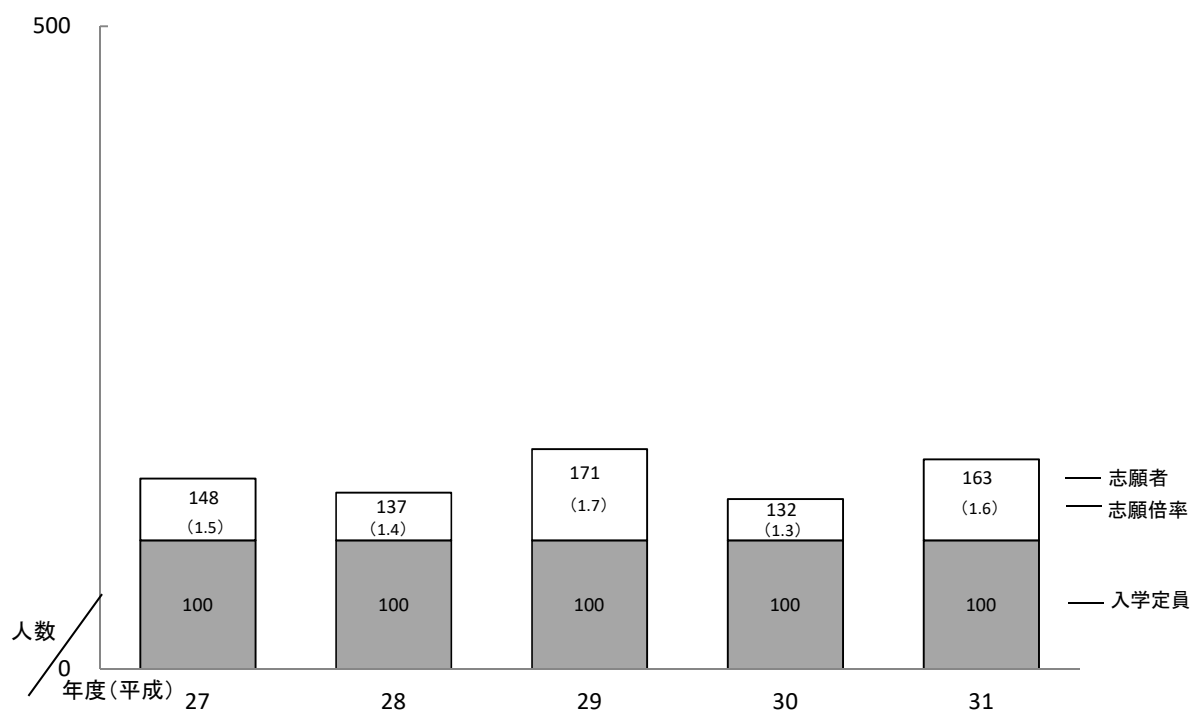
研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数		外国人留学生内数	受験者数	女子内数		外国人留学生内数	合格者数	女子内数		外国人留学生内数	辞退者数	入学者数	女子内数		外国人留学生内数	
					女子内数	外国人留学生内数			女子内数	外国人留学生内数			女子内数	外国人留学生内数							
人間総合科学	医学の課程	生命システム医学	28	16	5	1	15	5	1	15	5	1	2	13	5	1					
		社会人特別選抜	若干名	8	3	1	8	3	1	8	3	1	3	5	3	0					
		疾患制御医学	34	32	9	3	32	9	3	32	9	3	1	31	9	2					
		社会人特別選抜	若干名	23	6	0	23	6	0	22	6	0	0	22	6	0					
	小計	62	(0)	79	(0)	23	5	78	(0)	23	5	6	(0)	71	(0)	23	3				
	3年制博士	ヒューマン・ケア科学	18	23	15	3	22	14	3	18	11	2	0	18	11	2					
		スポーツ医学	10	21	6	1	20	6	1	14	4	0	0	14	4	0					
		コーチング学	5	13	2	0	12	1	0	7	1	0	0	7	1	0					
		大学体育スポーツ高度化共同	3	3	1	0	3	1	0	3	1	0	0	3	1	0					
		スポーツウエルネス学位プログラム ※	若干名	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	1	0	0					
	小計	36	63	24	4	60	22	4	43	17	2	0	43	17	2						
計		616	(0)	1,193	(11)	589	184	1,162	(11)	569	180	652	(8)	317	81	36	(0)	616	(8)	301	74

注) 1. ()内は、連携大学院方式の内数で示す。なお、修士課程フロンティア医科学専攻、博士前期課程心理専攻、感性認知科学専攻、博士後期課程心理学専攻、感性認知科学専攻、医学の課程生命システム医学専攻及び疾患制御医学専攻、3年制博士課程ヒューマン・ケア科学専攻、スポーツ医学専攻については、定員に内数を明示していないが、連携大学院方式の募集あり。
2. ※は、専ら夜間において教育を行う課程。
3. 修士課程スポーツ国際開発共同専攻及び3年制博士課程大学体育スポーツ高度化共同専攻には、鹿屋体育大学を主として在籍する者を除く。
4. 修士課程フロンティア医科学専攻の再入学者1名、博士前期課程生涯発達専攻の再入学者1名、博士後期課程体育科学専攻の再入学者1名を除く。
5. 修士課程フロンティア医科学専攻、医学の課程生命システム医学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
6. 博士前期課程感性認知科学専攻には、デュアルディグリープログラム(前専攻)の1名を除く。

図書館情報メディア	博士前期	図書館情報メディア	37	101	29	31	93	28	28	42	11	9	5	37	9	9
		社会人特別選抜	若干名	13	7	0	12	6	0	5	4	0	0	5	4	0
	小計	37	114	36	31	105	34	28	47	15	9	5	42	13	9	
	博士後期	図書館情報メディア	21	9	4	4	9	4	4	8	4	3	0	8	4	3
		社会人特別選抜	若干名	2	1	0	2	1	0	2	1	0	1	1	0	0
	小計	21	11	5	4	11	5	4	10	5	3	1	9	4	3	
計	58	125	41	35	116	39	32	57	20	12	6	51	17	12		

グローバル教育院	一貫制	ヒューマン・イノベーション学位プログラム	16	6	11	14	6	9	8	2	3	4	4	1	2	
		エンバートメント情報学プログラム	11	0	6	10	0	5	9	0	4	1	8	0	3	
		ヒューマンニクス学位プログラム	14	3	7	14	3	7	7	3	2	0	7	3	2	
		小計	41	9	24	38	9	21	24	5	9	5	19	4	7	
	一貫制(3年次編入)	エンバートメント情報学プログラム	2	1	1	2	1	1	2	1	1	0	2	1	1	
		小計	2	1	1	2	1	1	2	1	1	0	2	1	1	
	博士前期	ライフイノベーション学位プログラム	4	0	2	4	0	2	4	0	2	0	4	0	2	
		小計	4	0	2	4	0	2	4	0	2	0	4	0	2	
		博士後期	ライフイノベーション学位プログラム	11	2	3	11	2	3	11	2	3	0	11	2	3
			小計	11	2	3	11	2	3	11	2	3	0	11	2	3
計	58	12	30	55	12	27	41	8	15	5	36	7	13			

[修士課程研究科志願者数の推移]



※博士前期課程を除く。

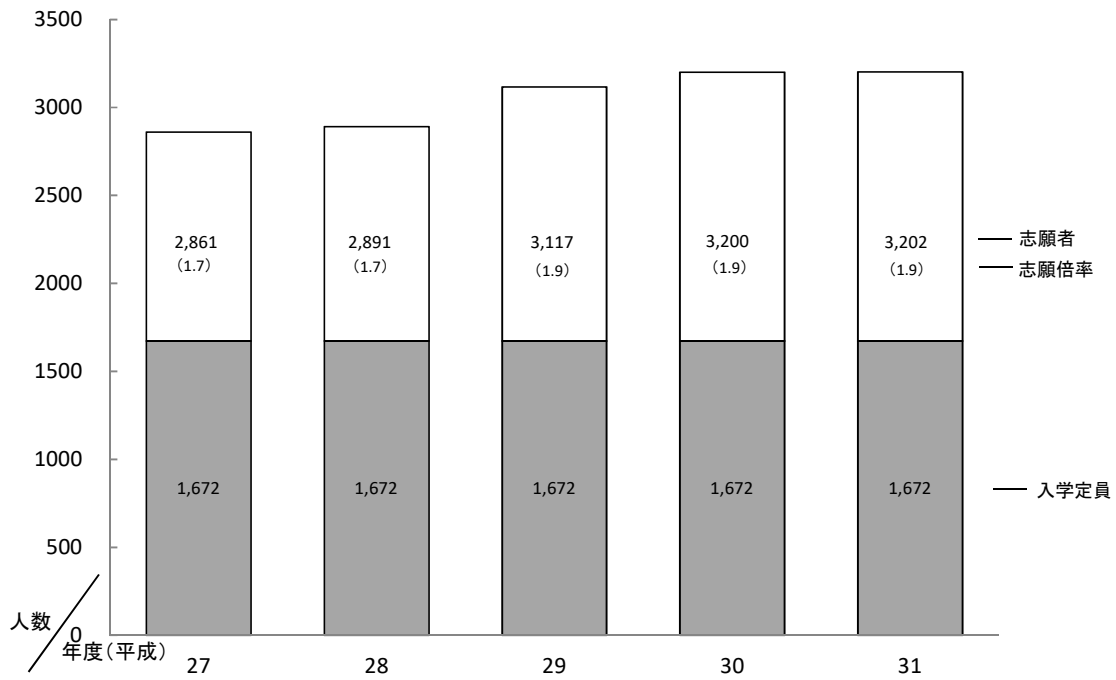
人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻を除く。

平成27年度より、人文社会科学研究科国際地域研究専攻を除くものとした。

平成28年度より、人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻を除くものとした。

平成29年度より、人間総合科学研究科国際連携食料健康科学専攻を除くものとした。

[博士課程研究科志願者数の推移]



※後期3年制博士課程及び博士後期課程を除く。

大学院学則に基づく博士前期課程を含む。

人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻を含む。

平成27年度より、人文社会科学研究科国際地域研究専攻を含むものとした。

平成28年度より、人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻を含むものとした。

平成29年度より、人間総合科学研究科国際連携食料健康科学専攻を含むものとした。

(イ)再入学・特別プログラム等

平成31年4月1日現在

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
【再入学】																
人間総合科学	修士	フロンティア医科学		1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
	博士前期	生涯発達		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	博士後期	体育科学		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	計			3	0	1	3	0	1	3	0	1	0	3	0	1
【人文社会科学研究科 ASIP】																
人文社会科学	修士	国際地域研究		2	2	0	2	2	0	2	2	0	0	2	2	0
	計			2	2	0	2	2	0	2	2	0	0	2	2	0
【数理物質科学研究科 グルノーブル・アルプス大学とのDouble Master Degree Agreementに基づき派遣される大学院学生を募集する外国人留学生特別選抜】																
数理物質科学	博士前期	電子・物理工学		3	2	3	3	2	3	3	2	3	0	3	2	3
		物性・分子工学		3	0	3	3	0	3	3	0	3	0	3	0	3
		計		6	2	6	6	2	6	6	2	6	0	6	2	6
【システム情報工学研究科 知能機能システム専攻における感性認知脳科学専攻とのデュアルディグリープログラム】																
人間総合科学	博士前期	感性認知脳科学		1 (1)	0	1	1 (1)	0	1	1 (1)	0	1	0	1 (1)	0	1
	計			1 (1)	0	1	1 (1)	0	1	1 (1)	0	1	0	1 (1)	0	1
【システム情報工学研究科 海外居住者特別選抜】																
システム情報工学	博士後期	社会工学		1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
	計			1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
【生命環境科学研究科 国立台湾大学とのダブルディグリープログラム】																
生命環境科学	博士前期	生物資源科学		1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
	計			1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
【生命環境科学研究科 国際農業科学プログラム】																
生命環境科学	博士前期	生物資源科学		2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2
	計			2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2
【人間総合科学研究科 鹿屋体育大学との共同専攻(主として鹿屋体育大学に在籍)】																
人間総合科学	修士	スポーツ国際開発学共同		3	0	1	3	0	1	2	0	1	0	2	0	1
	3年制博士	大学体育スポーツ高度化共同		2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
	計			5	0	1	5	0	1	4	0	1	0	4	0	1
【人間総合科学研究科 マスター・オブ・パブリックヘルスプログラム】																
人間総合科学	修士	フロンティア医科学		1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
	計			1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
【人間総合科学研究科 海外居住者特別選抜】																
人間総合科学	医学の課程	生命システム医学		2	1	2	2	1	2	2	1	2	0	2	1	2
	計			2	1	2	2	1	2	2	1	2	0	2	1	2

3 研究関係

(1) 紀要等発行状況

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
東南アジア教育課程基準：数学・理科	国内外の主要大学、研究機関、学内組織等	東南アジア教育大臣機構理数教育開発センター
哲学・思想論集 第44号	国内外の主要大学、研究機関、国立国会図書館、Web公開	『哲学・思想論集』編集委員会・哲学・思想専攻
歴史人類 第47号	国内外の主要大学、研究機関、学内組織等	歴史・人類学専攻
先史学・考古学研究 第30号	国内外の主要大学、研究機関、学内組織等	歴史・人類学専攻
文藝言語研究 74巻、75巻	国内外の主要大学、研究機関、国立国会図書館、つくばリポジトリ	文芸・言語専攻
論叢 現代語・現代文化 VOL. 20	国内外の関係大学、関連研究機関	現代語・現代文化専攻
筑波法政75号～78号	Web公開	筑波法政学会
経済学論集第71号	各大学図書館、Web公開	国際日本研究専攻
「国際日本研究」第11号（印刷版）	国内：国立国会図書館他 国外：「国際日本研究」第11号（印刷版）に関する通知を送付 Web公開	国際日本研究専攻
「国際日本研究」第11号（オンライン版）	Web公開	国際日本研究専攻
平成30年度 日本語教育実践研究論文集	日本語教育に関心のある教員、学生等	国際日本研究専攻 日本語教師養成プログラム
筑波大学地域研究 第40号	国内外の大学附属図書館及び学内外の研究者、国立国会図書館、Web公開	国際地域研究専攻
筑波ロー・ジャーナル 24号	主要大学法学部・法科大学院・図書館等	編集：筑波ロー・ジャーナル編集委員会 発行：ビジネス科学研究科企業法学専攻、法科大学院

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
筑波ロー・ジャーナル 25号	主要大学法学部・法科大学院・図書館等	編集：筑波ロー・ジャーナル 編集委員会 発行：ビジネス科学研究科企業法学専攻、法科大学院
大学研究 第45号	学内関係者・国内大学・文部科学省・図書館等	大学研究センター
2017（平成29）年度筑波大学数理物質系数域年次報告	学内組織・学内関係者	数域
Tsukuba Journal of Mathematics, Vol.42 No.1, No.2	国内外の大学、研究機関、学内関係者	数域
2018（平成30）年度物理学域年次研究報告	Web公開	物理学域
筑波大学数理物質系宇宙史研究センター 2017年度 活動報告書	国立私立大学、関連研究機関、学内組織の長、学内関係部局等	宇宙史研究センター
平成30年度年報筑波大学エネルギー物質科学研究センター	国立私立大学、関係研究機関、学内組織の長	エネルギー物質科学研究センター
Annual Rreport 2017-2018 No.41	Web公開	社会工学域
Tsukuba Geoenvironmental Sciences Vol.14	Web公開	地球環境科学専攻
人文地理学研究 39号	Web公開	地球環境科学専攻
地域研究年報 41号	Web公開	人文地理学・地誌学研究会
Earth Evolution Sciences University of Tsukuba Vol.13	Web公開	生命環境系 地球進化科学専攻
筑波大学農林社会経済研究 第34号	Web公開	生命環境科学研究科 農林社会経済学領域

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
教育学系論集 第43巻第1号	国公立大学、関連研究機関	人間系（教育学域）
教育学系論集 第43巻第2号	国公立大学、関連研究機関	人間系（教育学域）
筑波大学心理学研究 第56号, 第57号	国立図書館、心理学関係学部を持つ 全国の国立大学、主要私立大学、主 要な研究所	人間系（心理学域）
筑波大学臨床心理学論文集 第33号	心理相談室を設置している全国の主 要な大学、公的相談機関	筑波大学心理相談室
筑波大学発達臨床心理学研究 第29号	心理相談室を設置している全国の主 要な大学、公的相談機関	筑波大学発達臨床心理相談室
筑波大学体育系紀要 第42巻	体育関係大学、研究機関	編集：体育系紀要・ 業績集編集委員会 発行：筑波大学・体育系
筑波大学芸術年報2018	国公立大学、美術館・博物館、関 連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系社会貢献推進室 発行：芸術系
芸術研究報39	Web公開	編集：芸術系図書・研究報委 員会 発行：芸術系
芸術研究報・作品集30	国公立大学、美術館・博物館、関 連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系図書・研究報委 員会 発行：芸術系
芸術学研究 No. 23	Web公開	編集：芸術学研究編集委員会 発行：人間総合科学研究科博 士後期課程芸術専攻
藝叢 34号	国内主要大学及び博物館・美術館等	芸術系美術史研究室
石井コレクション研究6：池田龍雄	国公立大学及び国内主要美術館	編集：寺門臨太郎 発行：芸術系
Art Writing 第13号	全国高等学校、美術館、大学図書 館、報道機関等	編集・発行 芸術支援研究室

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
筑波大学芸術専門学群・博士課程芸術専攻 第20回 彫塑展 図録	来場者の内の希望者・国内の美術科 のある高等学校・芸術系大学	彫塑研究室
書芸術研究 第12号	国立大学附属図書館、書コースを有 する大学の研究室	人間総合科学研究科書研究室
図書館情報メディア研究 16巻1号 2018年	Web公開	図書館情報メディア研究編集 委員会
図書館情報メディア研究 16巻2号 2018年	Web公開	図書館情報メディア研究編集 委員会
筑波大学グローバルコミュニケーション教育 センター外国語教育論集 第41号	Web公開	グローバルコミュニケーション 教育 センター外国語教育部門
筑波大学グローバルコミュニケーション教育 センター日本語教育論集 第34号	Web公開	グローバルコミュニケーション 教育 センター日本語教育部門
大学体育研究 第41号	国公立体育系大学、学内関係部局	体育センター
体育センター年次報告書（平成30年度版）	学内関係部局	体育センター
計算科学研究センター 平成29年度 年次報告書	文部科学省、学内組織の長、学内関 係部局、センター関係者	計算科学研究センター長
計算科学研究センター 平成29年度 研究評価	学内組織の長、センター関係者	計算科学研究センター研究評価委員会
プラズマ研究センター 平成29年度 年次報告	国内外の関係者、関係大学、関連研 究機関	プラズマ研究センター
UTTC Annual Report 2017 (UTTAC-87, 2018)	Web公開	研究基盤総合センター 応用加速器部門
研究紀要 74集	平成30年度学習公開・研究発表会参 加者	附属小学校

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
研究資料〈教育課程研究〉総合学習研究	研究協議会来校者他	附属中学校
第46回研究協議会発表要項	研究協議会来校者他	附属中学校
研究紀要 第71号	国立大学附属中学校・筑波大学関係	附属中学校
研究紀要 第60巻	文部科学省及び関係機関、国立大学附属高等学校、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール研究開発実施報告書～5年間の研究開発と平成30年度の取り組みを中心に～（最終報告）	文部科学省、SGH関係校、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 日中高校生交流」	文部科学省、SGH関係校、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 ASIA PACIFIC YOUNG LEADERS SUMMIT-2018」	文部科学省、SGH関係校、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「第9回（2018年度）国際学術シンポジウム報告書」	文部科学省、SGH関係校、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 University of Prince Edward Island研修2018」	文部科学省、SGH関係校、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 HWA CHONG INSTITUTIONへの短期留学 研究課題」	文部科学省、SGH関係校、学内関係部局、学内関係者	附属高等学校
筑波大学附属駒場論集 第58集	国立大学附属中学校、附属高等学校学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
第45回教育研究会報告書	教育研究会参加者、講師・助言者等	附属駒場中・高等学校
スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告書 第2年次	文部科学省、(独)科学技術振興機構、SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
SSH数学科教員研修会資料	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
SSH数学科教員山口研修会資料	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
SSH数学科公開特別授業事例集	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
SSH数学科課題研究論文集「Café Bollweck 2018」	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
SSH台湾研究交流会発表要旨集「Academic and Cultural Exchange Program in Taichung 2018」	研究交流参加生徒・教員（本校、国立台中第一高級中学）等	附属駒場中・高等学校
SSH台湾生徒研究交流会2018実施報告書	研究交流参加生徒・教員（本校、国立台中第一高級中学）等	附属駒場中・高等学校
数学科科学研究会論文集「Café Bollweck 2018」	SSH関係学校、学内関係部局、研究関係者	附属駒場中・高等学校
SSH総合講座「水俣から日本を考える」実習報告書	SSH関係学校、学内関係部局、研究関係者	附属駒場中・高等学校
高2 課題研究発表要旨・資料集：Science Dialogue Presentation Scripts and PPTs 2018	SSH関係学校、学内関係部局、研究関係者	附属駒場中・高等学校
研究紀要 第56集	文部科学省、学内関係者、国立大学附属学校、全国総合学科高等学校、埼玉県公立高等学校等	附属坂戸高等学校
第7回高校生国際EDSシンポジウム発表資料集	文部科学省、学内関係者、国立大学附属学校、全国総合学科高等学校、埼玉県公立高等学校等	附属坂戸高等学校
「先進的な総合学科を活かした持続可能なアセアン社会を創るグローバル人材の育成」（文部科学省スーパーグローバルハイスクール事業 最終報告書）	文部科学省、学内関係者、国立大学附属学校、全国総合学科高等学校、埼玉県公立高等学校等、SGH認定校・アソシエイト校	附属坂戸高等学校
平成30年度「エネルギー教育モデル校事業」実践報告書（経済産業省資源エネルギー庁委託事業）	資源エネルギー庁、学内関係者等	附属坂戸高等学校

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
研究紀要 50巻	全国視覚特別支援学校、各関係機関等	附属視覚特別支援学校
視覚障害教育研究協議会資料集	第15回視覚障害教育研究協議会参加者	附属視覚特別支援学校
筑波大学聾学校紀要 第41巻	全国の公私立聾学校、各種関係機関等	附属聴覚特別支援学校
季刊誌「聴覚障害」(773号～776号)	全国の公私立聾学校、各種関係機関等	附属聴覚特別支援学校
研究紀要 第63集	特別支援学校(養護学校)、障害児教育研究機関、学内関係部局	附属大塚特別支援学校
文部科学省受託事業 「インクルーシブ教育システム構築モデル事業：学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解(心のバリアフリー)の推進」交流実践報告書	文部科学省、学内関係者、国立大学附属学校、学内・学外関係機関	附属大塚特別支援学校
研究紀要 第54巻	学内関係者・各関係機関・附属学校・公立肢体不自由学校	附属桐が丘特別支援学校
自閉症教育実践研究協議会プレゼンテーション資料集	自閉症教育実践研究協議会参加者	附属久里浜特別支援学校
自閉症教育実践研究協議会授業公開学習指導案集	自閉症教育実践研究協議会参加者	附属久里浜特別支援学校
自閉症教育実践研究協議会実践研究集録	自閉症教育実践研究協議会参加者	附属久里浜特別支援学校
筑波大学学校教育論集 第41巻	国立教育政策研究所 教育図書館、国立特殊教育総合研究所、国立国語研究所、国文学研究資料館、国立国会図書館、メディア教育開発センター、私学教育研究所 教科書研究センター、中央教育研究所、北海道立図書館、日本教育研究連合会	附属学校教育局
附属学校研究発表会報告書	Web公開、文部科学省、国立大学附属学校等	附属学校教育局

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
附属学校国際教育推進委員会報告書 第10集	Web公開、文部科学省、国立大学附属学校等	附属学校教育局
筑波型インクルーシブ教育実践報告書	文部科学省、国立大学附属学校等	附属学校教育局
筑波大学理療科教員養成施設紀要 第4巻第1号	全国視覚特別支援学校、各関係機関等	理療科教員養成施設

(2) 各種受賞

所属	氏名	受賞名	受賞月
人文社会系	黒川 義教	日本国際経済学会・第8回特定領域研究奨励賞(小田賞)	H30.10
人文社会系	卯城 祐司	2018年度全国英語教育学会・学会賞(学術奨励賞)	H30.8
人文社会系	青木 三郎	独立行政法人日本学術振興会 平成29年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H30.7
ビジネスサイエンス系	倉橋 節也	計測自動制御学会システム・情報部門2018年論文賞	H30.11
ビジネスサイエンス系	倉橋 節也	日本シミュレーション&ゲーミング学会2018年論文賞	H30.11
ビジネスサイエンス系	中村 亮介	第61回日経・経済図書文化賞	H30.11
ビジネスサイエンス系	立本 博文	日本公認会計士協会 2017年度 第46回協会学術賞(学術-MCS賞)『プラットフォーム企業のグローバル戦略』有斐閣	H30.5
ビジネスサイエンス系	立本 博文	組織学会2018年度 学会賞(高宮賞)著書部門『プラットフォーム企業のグローバル戦略』有斐閣	H30.6
ビジネスサイエンス系	立本 博文	電気通信普及財団 第34回テレコム社会科学賞 奨励賞『プラットフォーム企業のグローバル戦略』有斐閣	H31.3
数理物質系	都甲 薫	第10回 応用物理学会シリコンテクノロジー分科会研究奨励賞	H30.12
数理物質系	市川 淳士	平成30年度 第60回有機合成化学協会賞	H30.12
数理物質系	鈴木 義和	接合科学共同利用・共同研究賞	H30.11
数理物質系	小島 隆彦	平成30年度 錯体化学会学術賞	H30.7
数理物質系 (エネルギー物質科学研究センター)	桑原 純平	平成29年度 高分子学会Polymer Journal論文賞-日本ゼオン賞	H30.5
数理物質系	植田 暁子	平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞	H30.4
数理物質系 (エネルギー物質科学研究センター)	中村 潤児	平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)	H30.4
数理物質系 (エネルギー物質科学研究センター)	初貝 安弘	平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)	H30.4
システム情報系	鈴木 勉	日本オペレーションズ・リサーチ学会フェロー	H31.3

所属	氏名	受賞名	受賞月
システム情報系	西岡 牧人	日本燃烧学会論文賞	H30.11
システム情報系	イリチュ(佐藤) 美佳	2nd Runner-Up Theoretical Paper Award	H30.11
システム情報系	谷口 守	環境システム優秀論文賞	H30.10
システム情報系	牧野 昭二	服部報公会 2018年(第88回)報公賞	H30.10
システム情報系	河辺 徹	独立行政法人日本学術振興会 平成29年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H30.7
システム情報系	山本 幹雄	独立行政法人日本学術振興会 平成29年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H30.7
システム情報系	山口 佳樹	ISC 2018 HPC in ASIA poster award	H30.6
システム情報系	牧野 昭二	電子情報通信学会 平成29年度 功績賞	H30.6
システム情報系	櫻井 鉄也	平成30年度科学技術分野 文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)	H30.4
システム情報系	工藤 博幸	平成30年度科学技術分野 文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)	H30.4
生命環境系	藏満 司夢	第63回日本応用動物昆虫学会大会 Best English Presentation Award	H31.3
生命環境系	壽崎 拓哉	日本植物生理学会 奨励賞	H31.3
生命環境系	柴 小菊	平成30年度日本動物学会奨励賞	H30.12
人間系	ラミチャネ・カマル	国際青年会議所(JCI)「2018年 世界の傑出した若者たち(TOYP)10人」	H30.11
人間系	田中 怜	日本教育方法学会研究奨励賞	H30.9
人間系	濱田 博文	独立行政法人日本学術振興会 平成29年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H30.7
体育系	坂本 拓弥	日本体育学会浅田学術奨励賞	H30.8
体育系	坂本 拓弥	日本体育・スポーツ哲学学会第40回大会ベストプレゼンテーション賞	H30.9
体育系	片岡 千恵、野津 有司	一般社団法人日本学校保健学会賞	H30.12

所属	氏名	受賞名	受賞月
体育系	小崎 恵生 前田 清司	Young Investigator Award 副会長賞 (第9回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会)	H31.3
体育系	福田 崇 日本スケート連盟ス ピードスケート日本代 表チーム医・科学サ ポートグループ	秩父宮記念スポーツ医・科学賞 奨励賞	H31.3
芸術系	池田 真利子	日本地理学会賞	H31.3
芸術系	庄 怡 (Yizhuang)	AIC(国際色彩学会) Student Paper Award Runner-up Prize	H30.9
芸術系	益子 宗	デジタルサイネージアワード2018 インタラクティブ部門賞	H30.6
芸術系	益子 宗	平成30年度(第36回)IT賞 IT特別賞(技術活用賞)	H30.11
医学医療系	山海 知子	茨城県保健福祉部長賞	H31.2
医学医療系	石井 一弘	茨城県知事賞	H31.2
医学医療系	玉岡 晃	茨城県知事賞	H31.2
医学医療系	佐々木 哲也	平成30年度一般財団法人予防衛生協会 研究奨励賞	H30.10
医学医療系	岩上 将夫	第24回日本薬剤疫学会学術総会 奨励賞	H30.10
医学医療系	高橋 智	2018 ISS Award for Compelling Results	H30.7
医学医療系	堀 大介	第91回日本産業衛生学会 若手優秀演題賞	H30.5
医学医療系	林 洋平	平成30年度科学技術分野 文部科学大臣表彰 若手科学者賞	H30.4
医学医療系	矢作 直也	第21回日本臨床分子医学会学会賞	H30.4
図書館情報メディア系	辻 泰明	第7回情報メディア学会論文賞	H30.6
図書館情報メディア系	小泉 公乃	第47回日本図書館情報学会賞	H30.11
計算科学研究センター	建部 修見	The 6th International Workshop on Computer Systems and Architectures, Best Paper Award	H30.11
計算科学研究センター	原田 隆平	日本物理学会 第13回若手奨励賞(領域12)	H30.10

所属	氏名	受賞名	受賞月
計算科学研究センター	藤田 典久	ISC 2018 HPC in ASIA poster award	H30.6
計算科学研究センター	小林 諒平	ISC 2018 HPC in ASIA poster award	H30.6
計算科学研究センター	吉川 耕司	ISC 2018 HPC in ASIA poster award	H30.6
計算科学研究センター	梅村 雅之	ISC 2018 HPC in ASIA poster award	H30.6
計算科学研究センター	塩川 浩昭・北川 博之	DEIM2018 優秀論文賞	H30.6
計算科学研究センター	宍戸 英彦	AIPネットワークラボ長賞	H30.4
計算科学研究センター	日下 博幸	大気環境学会平成30年度最優秀論文賞	H30.9
計算科学研究センター	北川 博之	WebDB Forum 2018優秀論文賞	H30.9
計算科学研究センター	亀田 能成・北原 格・ 宍戸 英彦	IWAIT Best Paper Award	H31.1
計算科学研究センター	天笠 俊之	BigComp 2019Best Paper Award Runner-up	H31.3
計算科学研究センター	塩川 浩昭	情報処理学会2018山下記念研究賞	H31.3
生存ダイナミクス研究センター	佐藤 和貴	第10回血液疾患免疫療法学会学術集会 若手奨励賞	H30.09
生存ダイナミクス研究センター	山城 義人	The 5th GenTAC Early Career Developing Award	H30.10
山岳科学センター(井川演習林)	上治 雄介	第20回森林管理技術賞 学術貢献賞	H30.9
ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター	佐々木 銀河	日本特殊教育学会 第30回 研究奨励賞	H30.9
国際統合睡眠医科学研究機構	柳沢 正史	第23回慶應医学賞	H30.9
国際統合睡眠医科学研究機構	森田 えみ	日本睡眠学会第43回定期学術集会 ベスト・プレゼンテーション賞	H30.7
国際統合睡眠医科学研究機構	本多 隆利	日本睡眠学会第43回定期学術集会 ベスト・プレゼンテーション賞	H30.7
国際統合睡眠医科学研究機構	本多 隆利	第68回リンダウ・ノーベル賞受賞者会議(生理学・医学) 1st Prize: Best Presentation Award	H30.6

所属	氏名	受賞名	受賞月
国際統合睡眠医科学研究機構	大石 陽	第23回日本睡眠学会研究奨励賞	H30.5
附属病院	廣嶋 悠一	平成29年度茨城県立中央病院臨床研究最優秀賞	H30.5
附属病院	田中 隆造	第111回日本泌尿器科学会茨城地方会 ベストプレゼンテーション賞	H30.6
附属病院	石田 俊樹	JASTRO2018優秀教育展示賞	H30.10
附属病院	村上 基弘	JASTRO2018優秀教育展示賞	H30.10
附属病院	高橋 宏彰	第54回日本医学放射線学会秋季大会 優秀展示賞 Bronze	H30.10
附属病院	松山 政史	第3回抗酸菌研究会ベストプレゼンテーション賞	H30.11
附属病院	池田 篤史	第32回日本泌尿器内視鏡学会 総会賞	H30.11
附属病院	池田 篤史、西山 博之(他 他施設5名)	日本メディカルAI学会奨励賞-JMAI Award 優秀賞	H31.1
附属病院	中島 健太郎	日本内科学会第648回関東地方会奨励賞	H31.2
附属病院	池田 篤史	EAU(European Association of Urology)19 ベストポスター賞	H31.2
附属病院	原 拓真	日本間脳下垂体腫瘍学会 研究奨励賞	H31.2
附属病院	貞廣 威太郎	日本循環器学会循環器再生医科学賞(基礎部門)	H31.3
産学連携部産学連携企画課	上田 博嗣	JBDA創業大賞	H30.12

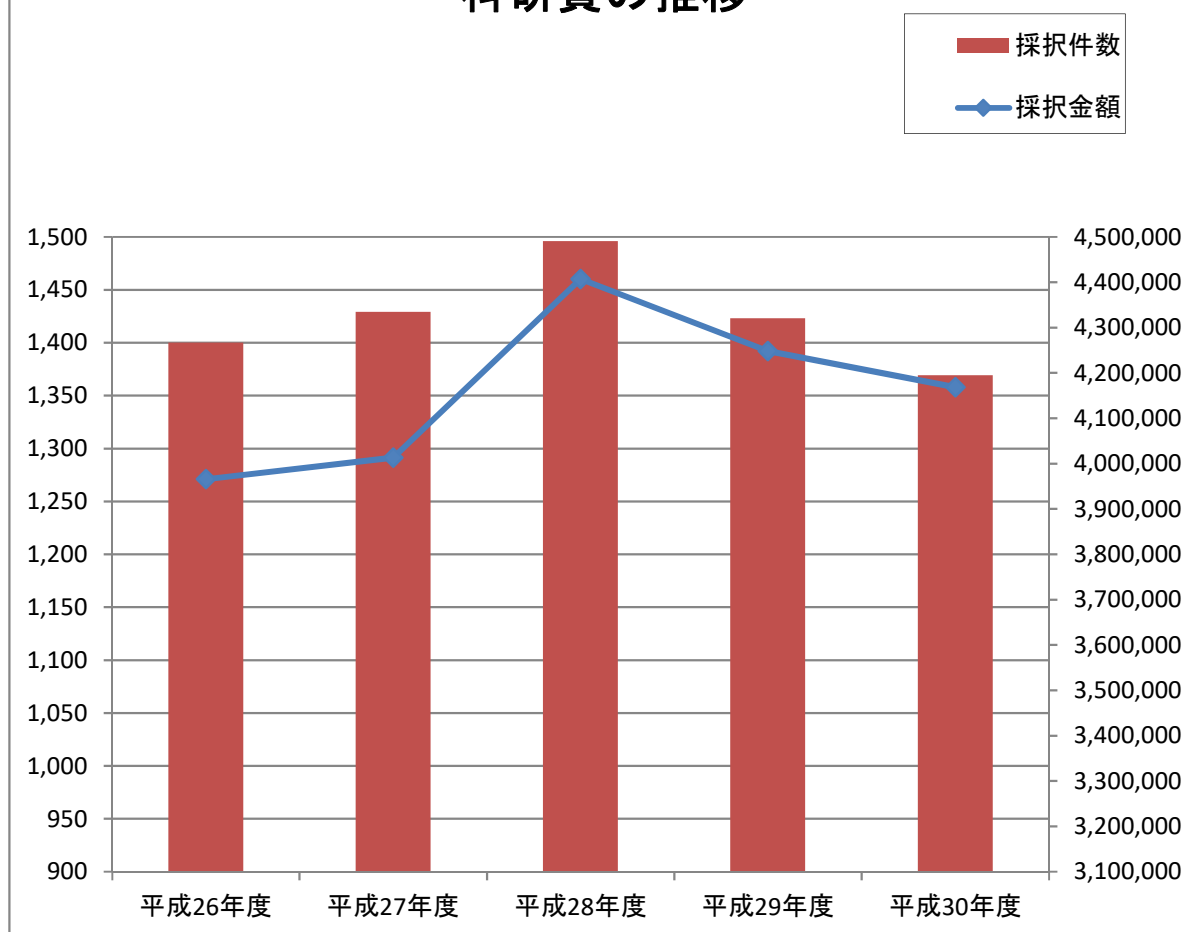
(3) 科学研究費助成事業採択状況(新規+継続分)

平成31年3月31日現在
(単位:千円)

系 等	特別推進研究		新学術領域研究		基盤研究(S)		基盤研究(A)		基盤研究(B)		基盤研究(C)		国際情報発信強化(B)		若手研究(A)		若手研究(B)		若手研究		研究活動スタート支援		挑戦的萌芽研究		挑戦的研究(萌芽)		挑戦的研究(開拓)		研究成果公開促進費		特別研究員奨励費		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
人文社会系	0	0	5	58,370	0	0	2	25,740	19	66,430	48	50,570	0	0	0	0	11	9,230	5	5,850	5	4,550	7	5,590	2	4,420	0	0	0	0	18	15,280	122	246,030
ビジネスサイエンス系	0	0	0	0	0	0	2	19,500	2	8,840	22	24,727	0	0	0	0	2	2,600	0	0	1	1,300	0	0	2	4,160	0	0	0	0	0	0	31	61,127
数理物質系	1	154,050	18	93,600	1	50,700	14	149,630	29	165,490	49	63,505	0	0	4	21,970	16	18,200	5	11,830	2	2,860	2	2,340	16	43,030	0	0	0	0	31	24,870	188	802,075
システム情報系	0	0	4	30,550	1	34,190	10	89,960	31	142,610	51	69,160	1	6,110	4	25,350	11	12,220	12	27,040	1	1,560	7	5,850	17	41,340	1	10,010	0	0	18	15,100	169	511,050
生命環境系	0	0	5	77,480	1	23,530	12	122,980	33	146,120	50	70,720	0	0	2	11,440	24	34,840	4	8,320	2	2,990	6	5,590	7	20,410	0	0	0	0	43	43,685	189	568,105
人間系	0	0	1	3,510	1	38,870	3	36,400	9	32,890	36	44,200	0	0	3	13,910	6	8,710	6	6,760	1	1,560	7	5,460	3	6,500	0	0	0	0	10	9,430	86	208,200
体育系	0	0	2	23,140	0	0	3	41,080	7	27,430	27	28,860	0	0	2	9,880	8	7,930	7	12,090	1	520	3	3,120	0	0	0	0	0	0	8	8,330	68	162,380
芸術系	0	0	0	0	0	0	6	51,610	8	28,600	14	16,380	0	0	0	0	1	390	2	4,030	0	0	1	1,170	0	0	0	0	1	2,800	6	6,660	39	111,640
医学医療系	0	0	10	147,030	2	79,950	4	46,327	37	192,400	147	209,820	0	0	4	18,200	32	45,890	17	31,460	3	2,990	7	7,540	19	50,570	0	0	0	0	11	10,140	293	842,317
図書館情報メディア系	0	0	0	0	0	0	2	23,010	5	23,010	23	32,500	0	0	2	13,910	5	5,850	2	3,640	0	0	0	0	4	11,050	0	0	0	0	0	0	43	112,970
計算科学研究センター	0	0	6	18,330	0	0	0	0	9	37,830	7	9,360	1	1,170	3	8,320	4	3,640	1	1,690	0	0	1	910	0	0	0	0	0	0	1	1,100	33	82,350
生存ダイナミクス研究センター	0	0	5	48,290	1	33,020	1	11,830	2	9,620	7	10,400	0	0	1	8,190	1	2,080	3	5,070	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5,200	27	133,700
附属病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4,940	0	0	1	4,550	13	16,640	6	9,880	3	3,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	39,910
国際統合睡眠医科学研究機構	1	152,100	6	37,830	0	0	0	0	7	28,990	7	10,530	0	0	1	6,370	6	7,280	6	14,430	1	1,560	0	0	2	4,550	0	0	0	0	6	6,000	43	269,640
地中海・北アフリカ研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	780	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	780	
ヘルスサービス開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,560	
本部任用教員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5,850	0	0	0	0	1	650	2	2,860	0	0	0	0	2	4,680	0	0	0	1	800	10	14,840	
合計	2	306,150	62	538,130	7	260,260	59	618,067	198	910,260	495	651,522	2	7,280	27	142,090	142	176,930	78	144,950	21	25,350	41	37,570	74	190,710	1	10,010	1	2,800	159	146,595	1,369	4,168,674

※ 転入・転出状況を反映した。
 ※ 奨励研究は除く。
 ※ 学長、副学長、名誉教授等は元の所属部局に加算した。
 ※ 本部任用教員等はまとめて計上。(内訳:教育推進部(1)、環境安全管理室(1)、国際産学連携本部(1)、筑波会議・TGSW推進ユニット(1)、ダイバーシティ・A・センター(4)、高細精医療イノベーション研究コア(1))
 ※ 間接経費を含む。
 ※ 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)):2件、29,380千円(全研究期間分)の採択あり。(うち平成30年度の交付決定は0件)

科研費の推移



年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
採択件数	1,400	1,429	1,496	1,423	1,369
採択金額	3,965,618	4,013,175	4,407,088	4,248,540	4,168,674

(単位:千円)

(4) 研究プロジェクト支援経費

ア 戦略イニシアティブ (SS), (S), (A) 採択・配分状況<平成 30 年度>

(ア) 総括表

(単位:千円、以下同じ。)

配分先	平成 29 年度採 択 A	平成 30 年度採 択 SS	平成 30 年度採 択 S	平成 30 年度採 択 A	配分金額
人文社会系	0	0	0	0	0
ビジネスサイエンス系	0	0	0	0	0
数理物質系	0	0	0	0	0
システム情報系	0	0	0	0	0
生命環境系	1	0	0	0	4,000
人間系	0	0	0	0	0
体育系	0	0	0	0	0
芸術系	0	0	0	0	0
医学医療系	0	0	0	0	0
図書館情報メディア系	0	0	0	0	0
計算科学研究センター	0	1	0	0	10,000
生存ダイナミクス研究センター	0	1	0	0	10,000
つくば機能植物イノベーション研究センター	0	0	1	0	5,500
下田臨海実験センター	0	0	1	0	4,500
地中海・北アフリカ研究センター	0	0	1	0	5,500
アイソトープ環境動態研究センター	0	0	1	0	7,000
人工知能科学センター	*0	0	*1	0	7,000
陽子線医学利用研究センター	0	0	1	0	5,500
山岳科学センター	0	0	0	1	3,200
微生物サステナビリティ研究センター	0	0	0	1	2,800
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター	0	0	0	1	2,800
トランスボーダー医学研究センター	0	0	0	1	2,900
宇宙史研究センター	0	0	0	1	3,100
合 計	1	2	6	5	73,800

*人工知能科学センターについては、平成 29 年度に戦略イニシアティブ A として採択されていたが、平成 30 年度に戦略イニシアティブ S として改めて採択されたため、平成 30 年度採択 S 欄にのみ記載している（配分金額については、戦略イニシアティブ S として採択された際に、配分済であった戦略イニシアティブ A との差額のみを配分している）。

(イ) 研究代表者等

1) 新規<戦略イニシアティブ SS>R1

代表者		拠 点 名	配分額
所属部局・職	氏名		
計算科学研究センター・センター長	梅村 雅之	計算科学研究センター (重点研究センター)	10,000
生存ダイナミクス研究センター・センター長	花岡 文雄 (~30.11) 林 純一 (30.12~)	生存ダイナミクス研究センター (重点研究センター)	10,000

2) 新規<戦略イニシアティブS>R2

代表者		拠点名	配分額
所属部局・職	氏名		
つくば機能植物イノベーション研究センター・センター長	江面 浩	つくば機能植物イノベーション研究センター	5,500
下田臨海実験センター・センター長	笹倉 靖徳	下田臨海実験センター	4,500
地中海・北アフリカ研究センター・センター長	磯田 博子	地中海・北アフリカ研究センター	5,500
アイソトープ環境動態研究センター・センター長	恩田 裕一	アイソトープ環境動態研究センター	7,000
人工知能科学センター・センター長	櫻井 鉄也	人工知能科学センター	7,000
陽子線医学利用研究センター・センター長	榮 武二	陽子線医学利用研究センター	5,500

3) 新規<戦略イニシアティブA>R3

代表者		拠点名	配分額
所属部局・職	氏名		
山岳科学センター・センター長	石田 健一郎	山岳科学センター	3,200
微生物サステナビリティ研究センター・センター長	高谷 直樹	微生物サステナビリティ研究センター	2,800
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター・センター長	征矢 英昭	ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター	2,800
トランスボーダー医学研究センター・センター長	高橋 智	トランスボーダー医学研究センター	2,900
宇宙史研究センター・センター長	金谷 和至	宇宙史研究センター	3,100

4) 継続<戦略イニシアティブA>

代表者		拠点名	配分額
所属部局・職	氏名		
生命環境系・教授	野村 暢彦	ERATO (野村集団微生物制御プロジェクト)	4,000

イ プレ戦略イニシアティブ（研究拠点提案型）、（研究プロジェクト提案型）申請・採択・配分状況 <平成30年度>

(ア) 総括表

系	新規申請件数		新規採択件数		継続件数		配分金額
	拠点	プロジェクト	拠点	プロジェクト	拠点	プロジェクト	
人文社会系	2	-	0	-	1	-	1,000
ビジネスサイエンス系	1	-	1	-	0	-	1,000
数理物質系	2	-	1	-	2	-	2,500
システム情報系	1	-	0	-	0	-	0
生命環境系	0	-	0	-	1	-	1,400
人間系	1	-	1	-	0	-	1,000
体育系	0	-	0	-	1	-	900

芸術系	0	-	0	-	0	-	0
医学医療系	2	-	0	-	1	-	300
図書館情報メディア系	0	-	0	-	0	-	0
合 計	9	-	3	-	6	-	8,100

(イ) 研究代表者等

1) 新規採択

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
研究拠点提案型	ビジネスサイエンス系・教授	山田 雄二	市場取引とオープン化を基盤とするビジネスイノベーション支援のためのデータサイエンス研究拠点の形成	1,000
	数理物質系・教授	重川 秀実	極限量子計測・量子生命科学	1,000
	人間系・教授	小川 園子	ソーシャル・ニューロダイバーシティ科学研究拠点の創成と推進	1,000

2) 継続 (平成 29 年度採択)

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
研究拠点提案型	数理物質系・教授	守友 浩	次世代物質・デバイス戦略開発拠点	1,000
	生命環境系・教授	高谷 直樹	微生物サステイナビリティ研究拠点	1,400
	体育系・教授	高木 英樹	医体工連携による水中運動医学のイノベーションを目指した国際的研究拠点の形成	900
	医学医療系・准教授	涌水 理恵	小児医療現場における「患者・家族からの暴力・暴言・ハラスメント」対応力強化研究拠点	300

3) 継続 (平成 28 年度採択)

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
研究拠点提案型	人文社会系・教授	山田 重郎	国際研究拠点としての「西アジア文明研究センター」の確立	1,000
	数理物質系・准教授	山本 洋平	光と物質・生命科学のアンサンブルによる新現象の発掘と解明	500

ウ 研究基盤支援プログラムSタイプ（スタートアップ支援）申請・採択・配分状況
（平成30年度）

（ア）総括表

組織名	Sタイプ							配分金額 (合計)
	平成30年度採択 (採択1年目)			平成29年度採択 (採択2年目)		平成28年度採択 (採択3年目)		
	申請 件数	採択 件数	配分金額	継続 件数	配分金額	継続 件数	配分金額	
人文社会系	1	1	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000
ビジネスサイエンス系	1	0	0	0	0	0	0	0
数理物質系	5	1	1,000,000	2	1,950,000	0	0	2,950,000
システム情報系	0	0	0	1	935,200	1	996,800	1,932,000
生命	2	1	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000
人間系	1	0	0	0	0	0	0	0
医学医療系	2	2	2,000,000	2	2,000,000	2	1,800,000	5,800,000
合 計	12	5	5,000,000	5	4,885,200	3	2,796,800	12,682,000

（イ）採択状況

	所属部局・職	氏名	研究課題名	平成30年度 配分金額	
S タイプ (採 択 1 年 目)	人文社会系	助教	関 能徳	経済投票における財政政策に関する有権者の選好の役割: 多国間統計分析とサーベイ実験	1,000,000
	数理物質系	准教授	藤岡 淳	強相関トポロジカル半金属における電子・光機能性の開拓	1,000,000
	生命環境系	准教授	平川 秀彦	ゲル状多酵素複合体のサイズ制御	1,000,000
	医学医療系	准教授	宮腰 昌利	病原性細菌のRNA制御ネットワークの解明	1,000,000
	医学医療系	助教	黒川 宏美	エリスロポエチンを用いた新規抗がん剤効果増強効果のin vivo 検討と機序解明	1,000,000
S タイプ (採 択 2 年 目)	数理物質系	准教授	伊藤 良一	グラフェンの多孔質化による高効率エネルギーデバイスの開発	1,000,000
	数理物質系	助教	飯田 崇史	無機シンチレータを用いた地下素粒子実験による宇宙史解明への挑戦	950,000
	システム情報系	准教授	安藝 裕久	需要家とアグリゲータの参入を想定した需要サイド電力システム運用シミュレーション モデルの開発	935,200
	医学医療系	助教	孫 略	小児脳腫瘍幹細胞に対する陽子線治療の効果の最適化	1,000,000
	医学医療系	講師	日下部 学	医原性リンパ増殖性疾患の遺伝子変異と治療反応性の解明	1,000,000
S タイプ (採 択 3 年 目)	システム情報系	助教	新宅 勇一	金属材料の組織設計のための微視的メカニズムに基づくき裂進展解析手法の開発	996,800
	医学医療系	講師	秋山 梓	局所進行子宮頸癌におけるPIK3CA遺伝子変異解析に基づいた新規分子標的治療の探索	900,000
	医学医療系	助教	宮寺 浩子	ゲノム編集によるMHC変異マウスの樹立と自己免疫疾患発症機序の解明	900,000

エ 研究基盤支援プログラムAタイプ（若手研究者研究奨励費）申請・採択・配分状況
 （平成30年度）

（ア）総括表

（単位：千円）

所 属	申請件数					採択件数					配分額
	准教授	講師	助教	研究員	計	准教授	講師	助教	研究員	計	
人文社会系(CEGLOC含む)	0	0	4	2	6	0	0	1	1	2	1,453
数理物質系	0	0	6	3	9	0	0	3	0	3	2,435
システム情報系	1	0	3	1	5	0	0	1	0	1	1,000
生命環境系(下田・菅平含む)	0	0	2	2	4	0	0	1	0	1	1,000
人間系	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0
体育系	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	1,000
芸術系	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
医学医療系	0	1	3	3	7	0	0	2	1	3	2,837
国際統合睡眠医科学研究機構	0	0	0	6	6	0	0	0	3	3	3,000
計算科学研究センター	0	0	4	2	6	0	0	0	0	0	0
人工知能科学センター	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	23	25	50	0	0	8	6	14	12,725

(イ) 採択状況

(単位:千円)

A タイプ	所属部局・職		氏名	研究課題名	配分額
	人文社会系	助教	金谷 優	Ideophoneと言語進化に関する予備研究	743
	人文社会系	研究員	松岡 薫	人口減少社会における地域コミュニティの再生と民俗芸能の役割に関する現代民俗学的研究	710
	数理物質系	助教	渡邊 祥正	初期宇宙における分子ガス探査に向けた重水素化学の研究	685
	数理物質系	助教	竹内 耕太	高次元VC-dimensionによる機械学習の数学的研究	750
	数理物質系	助教	武安 光太郎	自発的電気化学反応を利用した新規低温アルコール合成システム	1000
	システム情報系	助教	川口 一画	非言語的情報を活用したスマートアシスタントシステムの開発	1000
	生命環境系	特任助教	平岡 真合乃	冷温帯林流域からの細粒土砂流出におけるニホンジカによる採食の影響評価	1000
	体育系	研究員	小峰 昇一	Nrf2の賦活化は、運動負荷誘発性の酸化ストレス応答を制御し、筋疲労・筋損傷を抑制する	1000
	医学医療系	助教	讃岐 勝	数値数式融合計算による中規模構造化行列の高速rank計算法の開発	960
	医学医療系	研究員	VUONG CAT KHANH	脂肪の間葉系幹細胞におけるエージングの効果に関する研究	1000
	医学医療系	助教	福重 瑞穂	住血吸虫症治療効果に影響する因子の特定:システムティックレビュー及びメタアナリシス	877
	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	宮竹 功一	睡眠圧および睡眠が覚醒に必須な神経細胞種に及ぼす遺伝子発現変化の網羅的解析	1000
	国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	須貝 智也	ピロリジン骨格を基盤とする3Dケミカルライブラリーの創製と医薬品探索への応用	1000
国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	Olga Malyshevskaya	Identification of brain regions and signaling pathways involved in cannabinoid convulsive	1000	

オ 研究基盤支援プログラムBタイプ（ステップ・アップ支援）申請・採択・配分状況
 （平成30年度）

（ア）総括表

（単位：千円）

組織名	Bタイプ		
	申請件数	採択件数	配分金額
人文社会系	2	2	3,790
数理物質系	7	6	5,658
システム情報系	6	4	8,981
生命環境系	9	9	14,274
体育系	2	1	900
医学医療系	2	2	1,700
図書館情報メディア系	1	1	777
計算科学研究センター	1	1	4,500
合 計	30	26	40,580

（イ）採択状況

（単位：千円）

所属部局・職		氏 名	研 究 課 題 名	配 分 額
人文社会系	教授	海後 宗男	ソーシャルイノベーションによるウェルビーイングの向上政策の国際比較実証研究	790
人文社会系	教授	田中 洋子	正規・非正規労働の歴史的構造変化についての国際比較研究	3,000
数理物質系	教授	神田 晶申	メゾスコピック超伝導体における渦糸状態操作と量子技術への展開	1,840
数理物質系	准教授	淵辺 耕平	フッ素置換カルベン錯体を利用する有機フッ素化合物合成法	1,000
数理物質系	講師	南 英俊	高温超伝導体が発現するテラヘルツ波発振現象の理解と発振特性向上の研究	800
数理物質系	講師	山田 洋一	完全配向熱活性型遅延蛍光(TADF)分子膜による発光機構解明と高発光効率薄膜創成	900
数理物質系	助教	辻本 学	層状構造を有する銅酸化物高温超伝導体のテラヘルツ電磁応答と素子応用	548
数理物質系	助教	山崎 信哉	リポソーム界面における希土類元素抽出機構の解明および希土類相互分離に関する検討	570
システム情報系	教授	阿部 豊	浮遊技術を用いた非接触無容器プロセス制御技術の創出	4,281
システム情報系	教授	岡島 敬一	ポストFIT時代に対応する地域水素エネルギー需給統合モデルの開発	900
システム情報系	教授	松島 亘志	細粒土の力学・熱化学連成メゾスケールモデルー長期挙動のメカニズム解明に向けてー	3,000
システム情報系	准教授	伊達 央	モデル予測制御のための専用アクセラレータ	800

B
タ
イ
プ

生命環境系	教授	戒能 洋一	蛾の産卵が茶葉の誘導を引き起こし寄生蜂を刺激するまでの化学的・分子生物学的解明	800
生命環境系	教授	呉羽 正昭	複雑化する日本のインバウンド・ツーリズムに関する地理学的研究	1,450
生命環境系	教授	小林 達彦	植物由来メチレンジオキシ化合物新規代謝経路の解明と物質生産への応用	5,000
生命環境系	教授	繁森 英幸	食素材由来機能性物質による認知症改善効果に関する研究	750
生命環境系	教授	千葉 智樹	ユビキチンリガーゼKLHL7の基質探索による網膜色素変性症の原因解明	800
生命環境系	教授	張 振亜	微細藻類の新規グラニュール技術による資源回収型畜産廃棄物処理及び藻類飼料の生産	2,700
生命環境系	准教授	小野 道之	アサガオの光周性花成誘導の分子的基盤の解明	900
生命環境系	准教授	福田 直也	レタス類に関する生育環境応答型のクロロゲン酸高蓄積機構解明	974
生命環境系	助教	木下 奈都子	香りセンサー植物による虫害ストレスの可視化:早期発見による予防型精密ナノ農業	900
体育系	助教	洪 性賛	次世代スポーツ流体解析最適化手法の確立	900
医学医療系	准教授	太刀川 弘和	大学連携とIT技術を用いた若者の自殺予防対策の未来	900
医学医療系	講師	岡本 嘉一	MRI検診車によるスポーツ検診とその大量画像解析による潜在病態明確化の試み	800
図書館情報メディア系	准教授	上保 秀夫	対話によって初歩検索ユーザの情報ニーズを顕在化させる情報検索システムの開発	777
計算科学研究センター	教授	藏増 嘉伸	格子QCDシミュレーションの新展開が担う標準理論を超える物理の探索	4,500

カ 研究基盤支援プログラムCタイプ(ステップ・アップ強化)配分状況 〈平成30年度〉

(千円)

採択部局	配分額
人文社会系	500
数理物質系	690
システム情報系	1,800
生命環境系	1,150
人間系	1,250
芸術系	500
医学医療系	1,000
計算科学研究センター	250
合計	7,140

キ 海外教育研究ユニット招致 招致・配分状況 <平成30年度>

(ア) 総括表

(単位:千円)

系	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	配分金額
人文社会系	1	0	0	0	5,000
数理物質系	0	2	0	1	30,000
下田臨海実験センター(生命環境系)	0	1	0	0	10,000
人間系	0	0	0	1	10,000
体育系	0	0	1	0	10,000
医学医療系	1	0	0	0	10,000
合計	2	3	1	2	75,000

(イ) 受入責任者等

(単位:千円)

受入責任者			PI			運営費 配分額	備考
所属	職名	氏名	所属機関	職名	氏名		
人文社会系	教授	吉水 千鶴子	Department of Indian and Tibetan Studies, Aisa-Asica Institute, University of Hamburg	教授	Harunaga Isaacson Dorji Wangchu Michael Zimmerman	5,000	平成26年度招致 研究重点型 (期間:H26~30)
医学医療系	教授	加藤 光保	Leiden University Medical Center	教授	Peter ten Dijke	10,000	平成26年度招致 研究重点型 (期間:H26~30)
数理物質系	教授	西堀 英治	デンマークオーフス大学・材料結晶学センター	教授・センター長	Bo Brummerstedt Iversen	10,000	平成27年度招致 研究重点型 (期間:H27~R1)
下田臨海実験センター (生命環境系)	教授	稲葉 一男	ブリマス大学(英国)海洋科学工学部	教授	Jason Hall-Spencer	10,000	平成27年度招致 研究重点型 (期間:H27~R1)
人間系	教授	小川 園子	Emory University, Atlanta, USA	William P. Timmie Professor	Larry J. Young, Ph.D.	10,000	平成29年度招致 研究重点型 (期間:H29~R3)
数理物質系	教授 特命教授	黒田 眞司 秋本 克洋	Université Grenoble Alpes	教授	GHEERAERT ETIENNE MARIETTE HENRI VALLEE CHRISTOPHE	10,000	平成27年度招致 教育重点型 (期間:H27~R1)
体育系	教授	征矢 英昭	University of California, Irvine	准教授	Yassa, Michael A	10,000	平成28年度招致 CiC型 (期間:H28~R2)
数理物質系	教授 講師	三明 康郎 中條 達也	Institute for Subatomic Physics, Utrecht University	Full Professor and Institute Director Assistance Professor(UD)	Full Professor and Institute Director Assistance Professor(UD)	10,000	平成29年度招致 CiC型 (期間:H29~R3)

ク 産学連携推進プロジェクト申請・採択・配分状況（平成30年度）

（ア）総括表

（単位：千円）

系等	つくば産学連携強化プロジェクト			共同研究実用化ブーストプロジェクト			産学連携推進プロジェクト						合 計		
							共同研究プロジェクト			ベンチャー創業プロジェクト					
	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額
人文社会系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
ビジネスサイエンス系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
数理物質系	14 (0)	9 (0)	9,000 (0)	2 (0)	1 (0)	2,000 (0)	4 (1)	3 (1)	760 (0)	5 (3)	3 (3)	0 (0)	25 (4)	16 (4)	11,760 (0)
システム情報系	4 (0)	2 (0)	2,000 (0)	5 (0)	5 (0)	9,000 (0)	9 (5)	9 (5)	1,520 (0)	4 (0)	3 (0)	1,140 (0)	22 (5)	19 (5)	13,660 (0)
生命環境系	18 (0)	6 (0)	6,000 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (2)	4 (2)	760 (0)	4 (2)	2 (2)	0 (0)	36 (4)	12 (4)	6,760 (0)
人間系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
体育系	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	2 (0)	1,660 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	2 (0)	1,660 (0)
芸術系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
医学医療系	10 (0)	6 (0)	6,000 (0)	4 (0)	3 (0)	4,660 (0)	3 (4)	2 (4)	760 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	18 (5)	12 (5)	11,420 (0)
図書館情報メディア系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
国際統合睡眠医科学研究機構	1 (0)	1 (0)	1,000 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1,000 (0)
つくば機能植物イノベーション研究センター	2 (0)	1 (0)	1,000 (0)	1 (0)	1 (0)	660 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	2 (0)	1,660 (0)
ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2,000 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2,000 (0)
大学発ベンチャー企業等										3 (2)	2 (2)	0 (0)	3 (2)	2 (2)	0 (0)
合 計	50 (0)	25 (0)	25,000 (0)	25 (0)	13 (0)	19,980 (0)	24 (12)	18 (12)	3,800 (0)	17 (8)	11 (8)	1,140 (0)	116 (20)	67 (20)	49,920 (0)

注）（ ）内の数字は、継続研究課題の申請件数、採択件数及び採択金額で内数。

(イ) 種目別採択状況

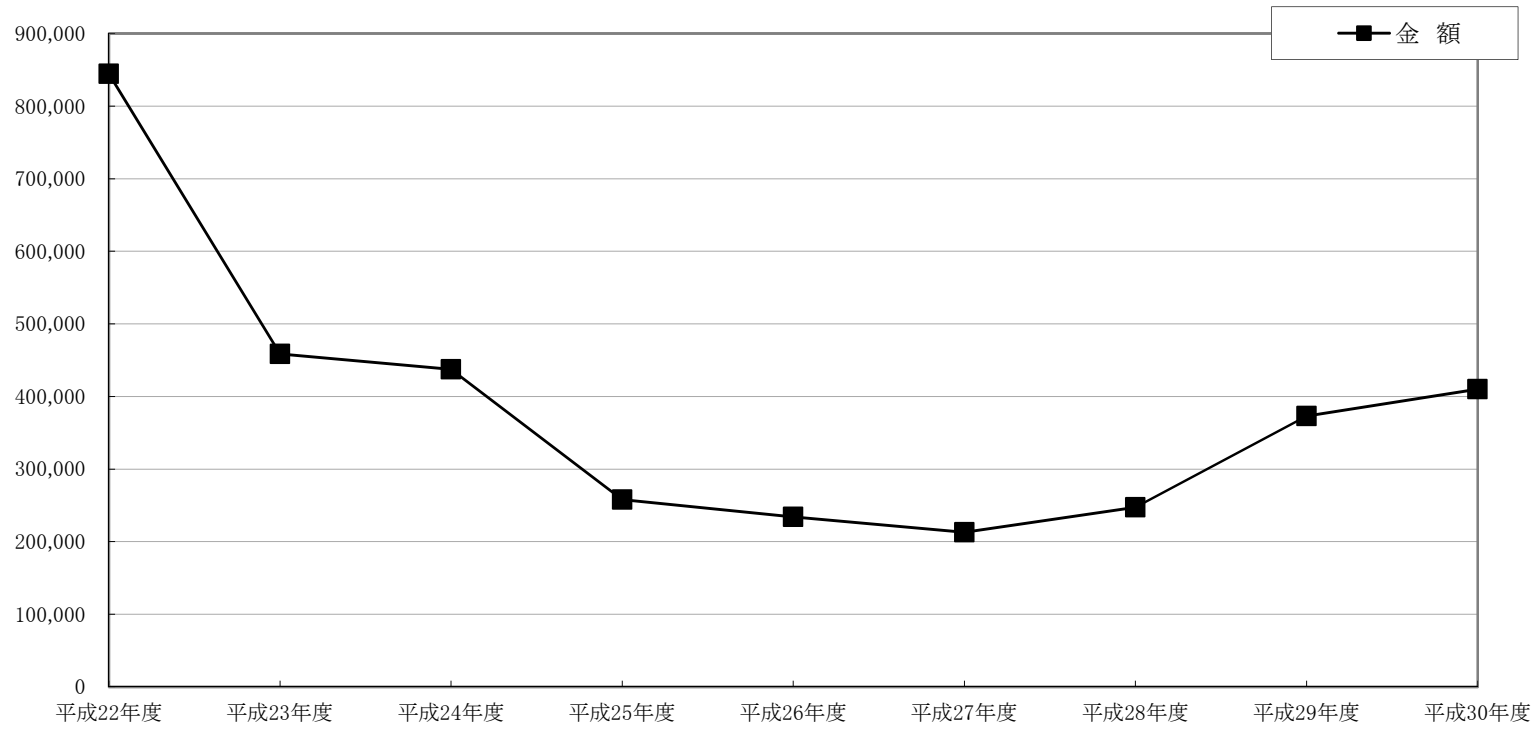
(単位:千円)

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額		
	配分先(所属)・職	氏名				
つくば産学連携強化プロジェクト	30年度新規採択分(合わせ技ファンド)	数理工質系 教授	岩室憲幸	ショットバリアダイオード内蔵SiCトレンチMOSFET破壊メカニズム解明とその耐量向上に関する研究	1,000	
		数理工質系 教授	佐々木正洋	金属元素添加による表面改質に基づいた超高品位4H-SiC溶液成長法の開発	1,000	
		数理工質系 教授	柳原英人	次世代型不揮発性メモリ用単結晶トンネル磁気抵抗素子の開発	1,000	
		数理工質系 講師	桑原純平	藻類オイルと硫黄を原料とする赤外透過材料の開発	1,000	
		システム情報系 准教授	松田哲也	複合材料の適用による温室構造の耐候性設計および補強技術の確立	1,000	
		生命環境系 教授	大澤良	高タンパク質ソバ品種育成に向けたタンパク質含量差異の探索	1,000	
		生命環境系 准教授	野口良造	環境保全型食料生産の確立に向けた極低温信号増幅器型マイクロ波放射計による農業環境大気中のH ₂ Oガス、NH ₃ ガスの測定手法の確立	1,000	
		生命環境系 助教	津田麻衣	雄性不稔突然変異系統を利用したダイズ循環選抜システムの開発	1,000	
		生命環境系 助教	吉岡洋輔	メロンにおける新奇形質「単為結果性」の原因遺伝子の探索	1,000	
		医学医療系 教授	山崎正志	革新的医療機器開発:感染を予防する骨固定材料・成長因子含有アパタイトコーティングネジ	1,000	
		医学医療系 准教授	熊田博明	BNCTの標準的中性子計測技術の開発	1,000	
		医学医療系 助教	松本孔貴	分子標的型陽子線治療増感剤の胆がんマウスにおける治療効果検証	1,000	
		(30年度)新規採択分(業)	数理工質系 教授	神原貴樹	高品質な共役高分子材料の低コスト製造とデバイス特性評価	1,000
			数理工質系 助教	Muhammad Monirul Islam	Electrodeposition of silicon-metal(Ni, Fe) nanocomposites for application as anode in lithium-ion batteries	1,000
	医学医療系 助教		松本孔貴	放射線・化学・温熱療法の特性を併せ持つ多機能ナノ粒子の開発	1,000	
	30年度新規採択分(茨城県支援事業)	数理工質系 准教授	丸本一弘	蒸着型ペロブスカイト太陽電池の電荷・欠陥状態の解析と高効率化・長寿命化	1,000	
		数理工質系 助教	藤田健志	フロンの低GWP代替物であるヒドロフルオロオレフィンの触媒的変換反応	1,000	
		数理工質系 客員准教授	吉田昭二	ナノ構造中の核スピンドYNAMICS計測が可能な時間分解走査トンネル顕微鏡法の開発	1,000	
		システム情報系 助教	善甫啓一	副次的な知覚操作による擬似的な味覚変化を与えるMRシステム	1,000	
		生命環境系 教授	市川創作	食品機能性成分の消化動態を評価可能な人胃・小腸消化シミュレーターの開発	1,000	
		生命環境系 助教	Utada, Andrew Shinichi	Fabrication of magnetic biosensors for detection of bacteria and bacteria-derived membrane vesicles	1,000	
		医学医療系 教授	大河内信弘	リアルタイム腹腔鏡下肝切除手術ナビゲーションシステムの開発	1,000	
		医学医療系 助教	旗野健太郎	多孔性アルミナを用いた ⁹⁹ Mo/ ^{99m} Tcジェネレータ用吸着材の開発	1,000	
		国際統合睡眠医科学研究機構 教授	柳沢正史	敗血症性ショックに対するオレキシンの薬理作用および薬物動態の検証に関する研究-医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センターとの共同研	1,000	
		つくば機能植物イノベーション研究センター 助教	野中聡子	トマトにおけるジーンターゲット系の構築と高日持ち性形質の付与	1,000	

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額	
	配分先(所属)・職	氏名			
共同研究実用化ブーストプロジェクト	30年度新規採択分(採択研究)	数理工学系 教授	重川秀実	ナノバイオ計測法を用いたがん-正常細胞間競合機構解明の試み	2,000
		システム情報系 教授	伊藤誠	日本型シェアードスペース実現のための路面設計と評価の技術開発	3,000
		システム情報系 准教授	長谷部浩二	電子連結車両による端末交通システムの実現に向けた知的運行管理システムの研究開発	2,000
		システム情報系 助教	善甫啓一	仮想的な拡張知覚によるポストヒューマンの自己違和尺度の探索	2,000
		医学医療系 講師	阿久津博義	経鼻内視鏡手術における「熟練技術」：モーションキャプチャーと電気生理学的検査による手術動作の定量評価	2,000
		医学医療系 助教	柴綾	SFNを標的としSCFFbx7ユビキチンリガーゼ活性亢進を促す初期肺腺癌治療薬の開発	2,000
		ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 准教授	佐々木銀河	発達障害児者におけるポジティブカルテの実装	2,000
	30年度新規採択分(奨励研究)	システム情報系 教授	星野准一	海洋環境アニメーション技術に基づくサービス方式の構築と社会実装	1,000
		システム情報系 教授	矢野博明	電子連結車両における移動・物資運搬のための支援技術開発	1,000
		体育系 教授	武政徹	脂質過酸化に着目した新たながん領域診断のための基礎的検討	1,000
		体育系 研究員	言上智洋	動き解析人口知能「スキルグルーピング」を用いた泳動作ガイドサービスの開発	660
		医学医療系 講師	松井裕史	脂質過酸化に着目した新たながん領域診断のための基礎的検討	660
		つくば機能植物イノベーション研究センター 助教	藤内直道	画像情報に基づくトマト植物体器官の自動識別のためのロボット、AIシステム、及び栽培技術の研究開発	660
	30年度新規採択分(共同研究プロジェクト)	数理工学系 准教授	Cedric Mannequin	新しい半導体デバイス開発のための原子層エッチング技術の開発	380
		数理工学系 助教	森 龍也	テラヘルツ分光による機能性ガラスの新規物性評価法の普及のための基盤構築とニーズ探索	380 (ILC等施設利用)
システム情報系 教授		伊藤 誠	視野障害者運転能力の評価と支援	380 (ILC等施設利用)	
システム情報系 教授		岡島 敬一	雰囲気熱処理炉排気ガス有効活用のためのレジリエント燃料電池発電システムの開発	380 (ILC等施設利用)	
システム情報系 准教授		山口 佳樹	AI支援型システムの学習効率を高めるフレームワーク構築	380 (ILC等施設利用)	
システム情報系 准教授		横田 茂	宇宙輸送機用の次世代大電力電気推進機の開発	380 (ILC等施設利用)	
生物環境系 助教		石賀 康博	セルロースナノファイバーを用いた植物保護資材の開発	380 (ILC等施設利用)	
生物環境系 助教		蓑田 歩	硫酸性温泉紅藻を利用した低濃度貴金属リサイクルシステムの開発	380 (ILC等施設利用)	
医学医療系 教授		新井 哲明	機能的近赤外分光分析法 (Functional near-infrared spectroscopy : fNIRS)による認知症および軽度認知機能障害 (MCI) における認知機能の低下	380 (ILC等施設利用)	
医学医療系 教授		倉田 昌直	肝切除術におけるリアルタイムナビゲーション手術支援システムの開発	380	
28年度継続採択		数理工学系 准教授	後藤博正	バイオカーボンヘリカルコイルの応用	0 (ILC等施設利用)
		システム情報系 教授	相山康道	視覚を用いた産業用ロボットの新たなダイレクト教示手法開発	0 (ILC等施設利用)
		システム情報系 教授	伊藤 誠	視野障害者向け簡易運転能力評価システムの開発	0 (ILC等施設利用)

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額	
	配分先(所属)・職	氏名			
産学連携推進プロジェクト	分(共同研究プロジェクト)	システム情報系 教授	星野 聖	超軽量で廉価な眼球計測メガネの開発 (ILC等施設利用)	0
		システム情報系 准教授	岡島敬一	3軸電子コンパス診断技術を用いた燃料電池スタック最適運転に関する制御手法の開発 (ILC等施設利用)	0
		システム情報系 准教授	山際伸一	非侵襲的な血中物質計測手法によるヘルスケアサービスクラウド技術の開発 (ILC等施設利用)	0
		生命環境系 教授	北村 豊	県内産ブルーベリー100%使用の美味健康ブルーベリーワインの開発 (ILC等施設利用)	0
		生命環境系 助教	蓑田 歩	藻類を利用したリンの回収とリサイクルについての検討 (ILC等施設利用)	0
	業分30(ベンチャー採択)	システム情報系 教授	櫻井 鉄也	次世代精密シミュレーションのための数理解析ソフトウェア開発 (ILC等施設利用)	380
		システム情報系 教授	鈴木 健嗣	在宅嚔下機能スクリーニングを実現する嚔下機能サービス開発 (ILC等施設利用)	380
		システム情報系 助教	善甫 啓一	知覚拡張技術のサービス化と社会実装 (ILC等施設利用)	380
	28年度継続採択分(ベンチャー創業プロジェクト)	数理物質系 教授	門脇和男	固有ジョセフソンテラヘルツレーザー光を用いたイメージングシステムの開発 (ILC等施設利用)	0
		数理物質系 准教授	小林伸彦	バイオマテリアル理論設計システムの開発 (ILC等施設利用)	0
		数理物質系 准教授	蓮沼 隆	電子デバイスの雑音計測技術を基にした信号計測とデータ解析サービスへの展開 (ILC等施設利用)	0
		生命環境系 教授	宮崎 均	源生林あしたばを用いたヒト及び家畜の生殖能力の改善 (ILC等施設利用)	0
		生命環境系 准教授	坂本和一	アンチエイジングに向けた生理活性物質の生理作用解析と機能性ヘルスケア製品の開発 (ILC等施設利用)	0
		医学医療系 准教授	熊田博明	BNCT用治療計画装置を中核としたベンチャー起業に向けた研究 (ILC等施設利用)	0
		人間総合科学研究科 大学院生	遠山寛人	超高精細イメージでの文化財の保存と活用 (ILC等施設利用)	0
株式会社空間知能化研究所 代表取締役		伊藤昌平	遠隔無人探査機(ROV)、自立型無人潜水機(AUV)、自律航行無人艇(ASV)の開発 (ILC等施設利用)	0	

研究プロジェクト支援経費(配分金額)の推移



(単位:千円) (単位:千円)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
金 額	844,309	458,438	437,253	257,903	234,184	212,913	247,252	372,987	410,033

- 注) ・戦略イニシアティブ推進機構経費を含む。
 ・平成22年度～24年度は筑波大学革新的研究等支援プログラムを含む。
 ・平成25年度以降は系・研究科経営経費を除く。

(5) その他の研究費

ア 寄附金(学術研究関係)および研究助成金<平成30年度>

(金額:円)

部 局 名	1. 寄附金 (学術研究関係)		2. 研究助成金		3. 寄附研究部門		4. クラウドファンディング		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
人文社会系	6	2,200,000	14	48,569,000	0	0	0	0	20	50,769,000
ビジネスサイエンス系	6	9,620,000	3	1,550,000	0	0	0	0	9	11,170,000
数理物質系	22	31,600,000	23	39,120,620	0	0	0	0	45	70,720,620
システム情報系	33	26,146,560	34	104,835,565	0	0	0	0	67	130,982,125
生命環境系	20	23,348,774	27	38,880,989	0	0	0	0	47	62,229,763
人間系	5	4,900,000	8	7,807,800	0	0	0	0	13	12,707,800
人間系(東京地区)	1	150,000	1	500,000	0	0	0	0	2	650,000
体育系	29	51,940,854	12	13,690,000	0	0	0	0	41	65,630,854
芸術系	6	3,250,000	4	2,402,863	0	0	0	0	10	5,652,863
医学医療系	423	296,238,620	105	114,690,221	0	0	1	1,417,000	529	412,345,841
図書館情報メディア系	7	8,500,098	1	1,400,000	0	0	1	19,060,130	9	28,960,228
国際統合睡眠医学科学研究機構	1	500,000	21	42,300,000	0	0	1	3,576,000	23	46,376,000
計算科学研究センター	2	1,400,000	0	0	0	0	0	0	2	1,400,000
生存ダイナミクス研究センター	4	4,469,919	12	20,800,000	0	0	0	0	16	25,269,919
ブラズマ研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人工知能科学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下田臨海実験センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アウトプ 環境動態研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地中海・北アフリカ研究センター	6	16,272,752	0	0	0	0	0	0	6	16,272,752
つくば機能植物イノベーション研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サイバニクス研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プレシジョン・メディスン開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未来社会工学開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スマートイノベーション開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルスケア・ヒューズ開発研究センター	1	2,000,000	0	0	0	0	0	0	1	2,000,000
テラーメイドQOLプログラム開発研究センター	2	1,000,000	0	0	0	0	0	0	2	1,000,000
高細精医療イノベーション研究コア	2	4,000,000	0	0	0	0	0	0	2	4,000,000
研究基盤総合センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つくば臨床医学研究開発機構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グローバルコミュニケーション教育センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術情報メディアセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
附属病院	5	1,750,000	19	15,573,677	5	159,172,000	0	0	29	176,495,677
附属学校	0	0	3	1,131,525	0	0	0	0	3	1,131,525
計	581	489,287,577	287	453,252,260	5	159,172,000	3	24,053,130	873	1,101,711,837

定義

1. 寄附金(学術研究関係)……国立大学法人筑波大学寄附金等取扱規程第2条第1項
2. 研究助成金……国立大学法人筑波大学寄附金等取扱規程第2条第2項
3. 寄附研究部門……国立大学法人筑波大学寄附講座及び寄附研究部門取扱規程第2条第2項

イ 受託研究費

(金額：円)

部 局 名	受託研究費		医薬品等受託研究費		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
人文社会系	2	9,963,470			2	9,963,470
ビジネスサイエンス系	4	6,496,000			4	6,496,000
数理物質系	36	360,492,164			36	360,492,164
システム情報系	56	520,274,755			56	520,274,755
生命環境系	55	961,488,403			55	961,488,403
人間系	10	25,848,779			10	25,848,779
体育系	14	171,493,642			14	171,493,642
芸術系	1	3,087,500			1	3,087,500
医学医療系	60	375,532,126			60	375,532,126
図書館情報メディア系	6	101,698,000			6	101,698,000
計算科学研究センター	21	452,044,847			21	452,044,847
生存ダイナミクス研究センター	3	7,550,000			3	7,550,000
国際産学連携本部	2	46,351,000			2	46,351,000
アイソトープ環境動態研究センター	5	32,137,479			5	32,137,479
サイバニクス研究センター	1	72,000,000			1	72,000,000
国際統合睡眠医科学研究機構	14	276,746,700			14	276,746,700
地中海・北アフリカ研究センター	1	24,480,300			1	24,480,300
薬類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	2	209,525,000			2	209,525,000
人工知能科学センター	1	49,999,000			1	49,999,000
ヘルスサービス開発研究センター	3	23,921,067			3	23,921,067
附属病院（つくば臨床医学研究開発機構）	147	1,003,481,016	328	133,071,783	475	1,136,552,799
合 計	444	4,734,611,248	328	133,071,783	772	4,867,683,031

※医薬品等受託研究費は、産学連携等実施状況調査における治験等受入実績の件数、金額である。

〔過去5年間の推移〕

(金額：千円)

		26	27	28	29	30
受託研究費	件数	305	322	357	400	444
	金額	3,818,136	4,928,020	4,940,870	4,260,627	4,734,611
医薬品等受託研究費	件数	1,832	288	314	291	328
	金額	179,309	129,271	182,124	57,027	133,071
合 計	件数	2,137	610	671	691	772
	金額	3,997,445	5,057,291	5,122,994	4,317,654	4,867,683

※医薬品等受託研究費は、産学連携等実施状況調査における治験等受入実績の件数、金額である。

ウ 民間等との共同研究費

(金額：円)

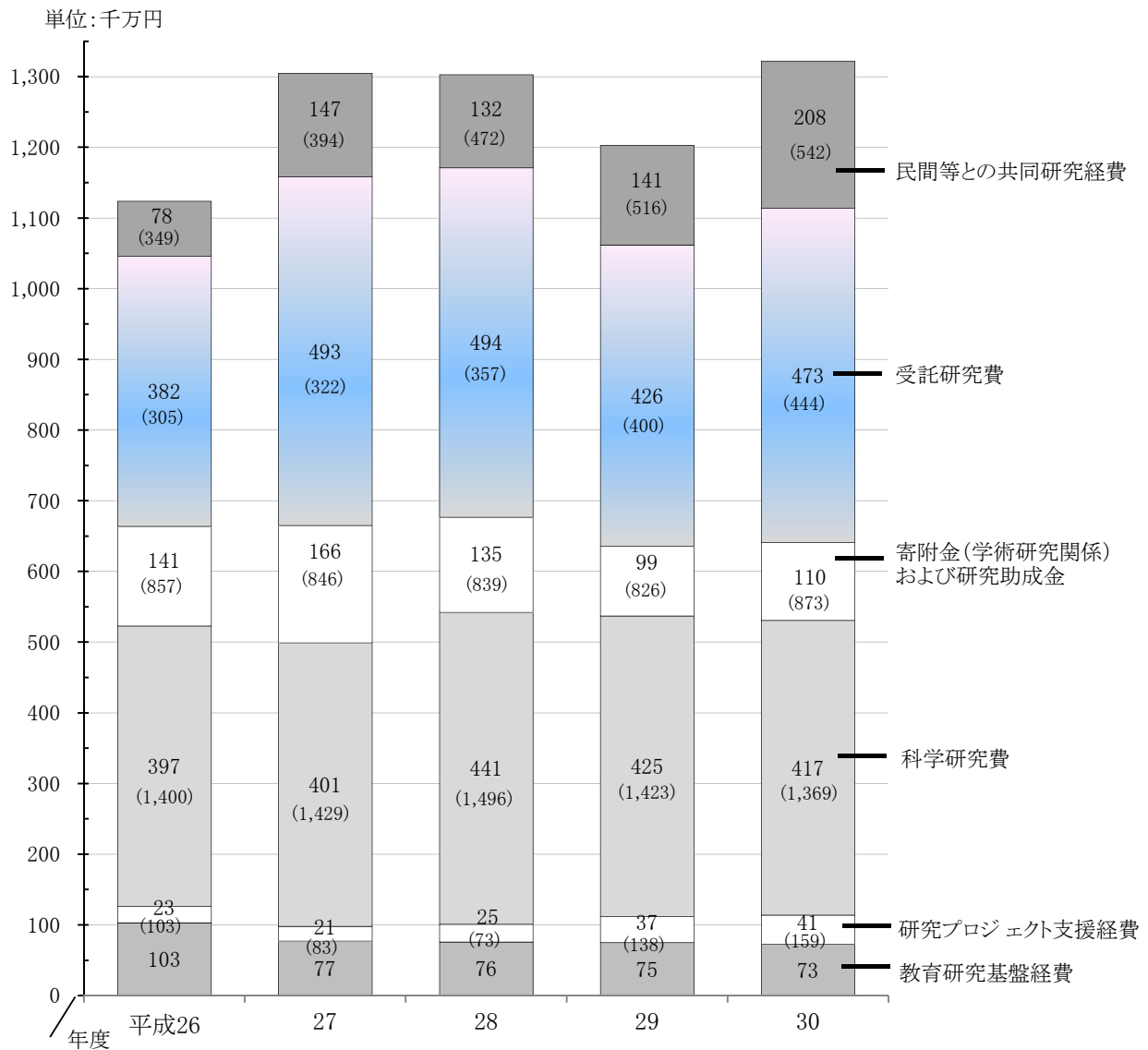
部 局 名	件 数	研究員 受入数	金 額
人文社会系	1	0	110,000
ビジネスサイエンス系	3	0	1,650,000
数理物質系	61	8	178,139,658
システム情報系	90	7	198,086,009
生命環境系	89	14	226,688,062
人間系	8	0	27,510,000
体育系	66	0	102,013,574
芸術系	17	3	22,498,105
医学医療系	58	14	111,685,951
図書館情報メディア系	11	1	41,051,400
計算科学研究センター	11	1	18,747,000
プラズマ研究センター	25	0	143,929,000
生存ダイナミクス研究センター	6	0	137,127,030
国際産学連携本部	14	8	243,334,930
学術情報メディアセンター	5	2	1,507,500
サイバニクス研究センター	1	0	0
国際統合睡眠医科学研究機構	17	2	67,302,000
附属病院（つくば臨床医学研究開発機構）	50	2	517,943,993
陽子線医学利用研究センター	1	0	495,000
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	3	0	20,820,000
アイソトープ環境動態研究センター	2	0	3,000,000
ヘルスサービス開発研究センター	3	0	14,179,500
計	542	62	2,077,818,712

【過去5年間の推移】

(金額：千円)

項 \ 年度	26	27	28	29	30
件 数	349	394	472	516	542
金 額	778,249	1,466,370	1,318,676	1,410,848	2,077,818

(6) 各種研究費年度別取得状況



* ()内数字は件数を示す。

各種経費とその割合

(単位: 千万円)

区分	教育研究基盤経費	研究プロジェクト支援経費	科学研究費	学外からの研究費(外部資金)				合計
				計	寄附金(学術研究関係)および研究助成金	受託研究	民間等との共同研究	
平成26年度	103 (9.2)	23 (2.0)	397 (35.3)	601 (53.5)	141	382	78	1,124
平成27年度	77 (5.9)	21 (1.6)	401 (30.7)	806 (61.8)	166	493	147	1,305
平成28年度	76 (5.8)	25 (1.9)	441 (33.8)	761 (58.4)	135	494	132	1,303
平成29年度	75 (6.2)	37 (3.1)	425 (35.3)	666 (55.4)	99	426	141	1,203
平成30年度	73 (5.5)	41 (3.1)	417 (31.5)	791 (59.8)	110	473	208	1,322

()内は研究費の合計に占める割合を示す。

(7) 日本学術振興会特別研究員採用状況

区 分 \ 年 度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用
S P D		0		0		0		0		0		0
P D	55	9	62	8	51	6	61	6	30	4	34	6
D C	317	70	337	62	328	68	320	55	277	62	296	62
計	372	79	399	70	379	74	381	61	307	66	330	68

区 分 \ 年 度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用
R P D	5	1	7	0	6	2	7	3	13	0	5	0

(8) 工業所有権等（平成31年3月31日現在）

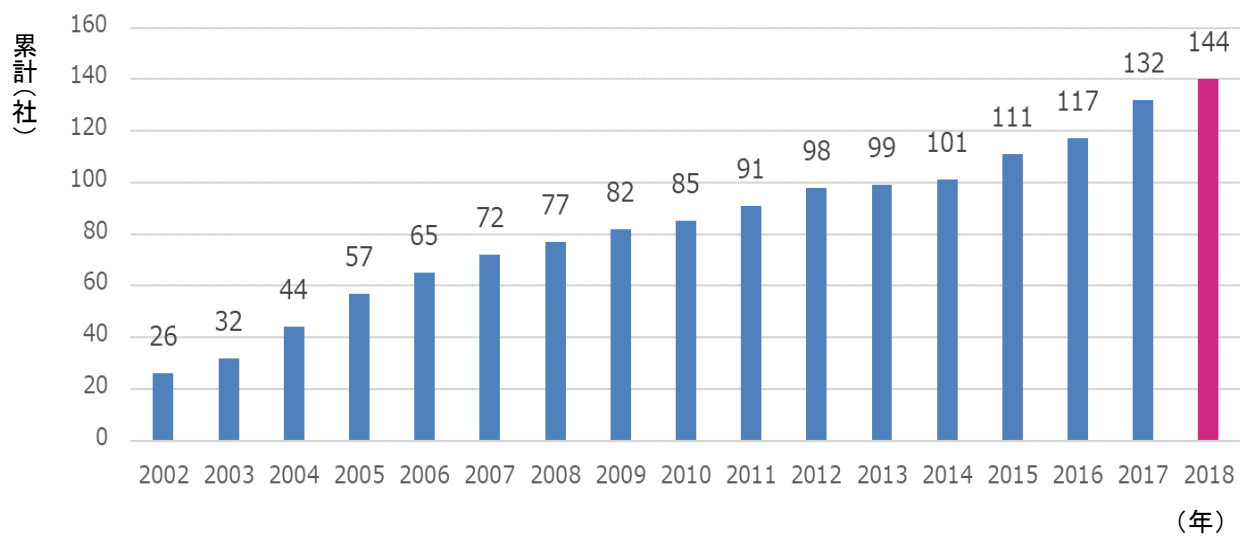
ア 発明等の届け出状況

年度	発明等の届け出数	発明者に権利帰属	法人(国)に権利帰属数
26	142	28	114
27	102	20	82
28	132	6	115
29	125	12	113
30	128	14	114

イ 現有特許件数

	国内特許件数	外国特許件数	合計
登録済	438	299	737
申請中	315	176	491

(9) 大学発ベンチャー累計設立数



4 教育研究施設等関係

(1) 教育研究施設等勤務職員数

[先端研究センター群]

(平成31年3月1日現在)

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
計算科学研究センター	15	10	3	13			41	22	3	9		75
生存ダイナミクス研究センター	5		4	8			17	3	1	5		26
つくば機能植物イノベーション研究センター	7	5	1	9			22	1	14	5		42
下田臨海実験センター	2	2		6			10	1	4	1		16
プラズマ研究センター	1	3	3				7		4	1		12
地中海・北アフリカ研究センター	2	2					4	2		1		7
サイバニクス研究センター	2	3					5	1		5		11
アイソトープ環境動態研究センター	3	3	1	2		1	10	4	6	2		22
人工知能科学センター							0	3		1		4
陽子線医学利用研究センター	4	3	2	1	1		11			2		13
山岳科学センター	2	6		5		1	14		10	1		25
微生物サステナビリティ研究センター	10	7		5			22					22
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター							0	1		1		2
トランスポーター医学研究センター				2			2					2
宇宙史研究センター	4	3		1			8					8
エネルギー物質科学研究センター	8	1					9			1		10
大学研究センター		3	1				4			1		5
合計	65	51	15	52	1	2	186	38	42	36	0	302

[研究支援センター群]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
研究基盤総合センター	1	4	1	1			7		12	2		21
生命科学動物資源センター	2	1		2			5		15	2		22
学術情報メディアセンター	2	8	1	1			12		8	4		24
合計	5	13	2	4	0	0	24	0	35	8	0	67

[教育等センター群]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
グローバルコミュニケーション教育センター	10	16		11			37	2	1	4		44
体育センター	8	9	1	7		5	30			3		33
アドミッションセンター	3	1					4			2		6
保健管理センター	2	2	3	4			11			1	8	20
合計	23	28	4	22	0	5	82	2	1	10	8	103

[事業費により措置する教育研究組織]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
つくば臨床医学研究開発機構	6	1					7		13	14	6	40
薬類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター							0	7	1	2		10
プレジジョン・メディシン開発研究センター	1						1			1		2
未来社会工学開発研究センター							0		1	3		4
スポーツイノベーション開発研究センター							0					0
ヘルスサービス開発研究センター		2					2	1		2		5
テラーメイドQOLプログラム開発研究センター							0					0
合計	7	3	0	0	0	0	10	8	15	22	6	61

[国際統合睡眠医学研究機構]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
国際統合睡眠医学研究機構	6	9		15			30	24	8	15		77

[理療科教員養成施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	医療職員	合計
理療科教員養成施設	1	1	2				4		2	2		8

(2) 教育研究施設等利用概況

施設名	利用状況	業績等
計算科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・共同利用・共同研究者の受入れ状況：416人 (内訳：大学332・研究機関53・民間機関5・外国機関21・その他5) ・54研究施設 (内訳：大学28・研究機関8・民間機関3・外国機関10・その他5) ・見学者数：2,505人 	論文数：235件 (内、国際学術誌掲載229件) 受賞総数：15件 研究会・シンポジウム等開催15件 (参加者総数1,003人)
生存ダイナミクス研究センター	TARAプロジェクトの実施：8件 一般見学者：546名 公開セミナー参加者：324名(開催数14件) 共同研究プロジェクト：学外12、学内16 授業等利用：20名(授業件数5件)	論文数：28件 キックオフシンポジウム参加者：297名 国際シンポジウム参加者：91名
つくば機能植物イノベーション研究センター	(遺伝子実験センター) 共同利用者：302名(占有178、機器124) 一般見学者：716名 (次世代農業研究部門) 学生の実験、実習、大学院生・教職員の研究：43,014名 視察、見学、外国人訪問、公開講座等：1,001名	発表論文数：69 報
下田臨海実験センター	教育・研究等でセンターを利用する学内・学外の利用者は、延べ9,101人となっており、共同利用・共同研究の利用については延べ7,160人(うち国際共同研究など海外から267人)となっている。 さらに、海洋酸性化の研究を進めるため式根島ステーションでは、年間延べ282人の利用者を受け入れた。 授業臨海実習として、13件の臨海実習を行い、延べ1,319人の実習生等を受け入れている。また、全国の高校生を対象として、公開講座を行い、25人の高校生を受け入れた。 宿泊施設の利用状況について年間の宿泊者は、延べ6,960人の利用があった。	論文数：42件
プラズマ研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・教員：9名 ・PD：3名 ・大学院生：24名 ・学類生：10名 ・見学者：39件、1,234名 ・双方向型共同研究(筑波大学受入分)の実施：24件 ・自然科学研究機構核融合科学研究所との共同研究：1件 	論文：45編 国際会議(プロシーディングス、アブストラクト、講演)：69件 解説・紀要等：1件 国内学会・国内会議・研究会等：75件 受賞：3件
地中海・北アフリカ研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ○視察 <ul style="list-style-type: none"> ・エジプト国Kafrelsheikh大学学長 ・エジプト大使館:参事官1名 ○見学・取材 <ul style="list-style-type: none"> ・UAE大学3名 ○研修 <ul style="list-style-type: none"> ・SATREPSプログラムJICA長期研修員：3名 ・SATREPSプログラムJICA短期研修員：11名 	論文：47編 学会発表：国内52件、国際29件 著書：1冊 定期セミナー：2回 特別セミナー：1回 キックオフシンポジウム TJS Water 2018シンポジウム開催
サイバニクス研究センター	教員3名、大学院生47名、学群生4名、研究員等11名 視察等： 文部科学省研究振興局学術機関課 西井知紀課長他 2名 岡山県立岡山朝日高校 21名 永岡桂子文部科学副大臣他 2名 インドの大学教員及び政府関係者 39名 台湾大学元学長 他 5名 その他： サイバニクス研究室見学会 サイバニクスインタフェース デバイスの研究開発・実験	
アイソトープ環境動態研究センター	(放射線安全管理部) 放射線業務従事者登録数：264名(内研究利用者数：57名、管理区域入退システム入室者数：延べ3,901名) A型エックス線装置使用者個人管理：9名 学類・大学院授業：428名 放射線管理教育 <ul style="list-style-type: none"> ・新規講習会参加者：196名 ・更新講習会参加者：186名 ・X線講習会参加者：83名 ・新規利用者ガイダンス：18名 教員免許更新講習：31名 施設見学 <ul style="list-style-type: none"> ・磐城桜ヶ丘高等学校、高松桜井高等学校、東京農業大学第三高等学校、桐生高等学校等 授業・講習会を除く管理区域一時立入者：306名 「アイソトープ環境動態研究センターセミナー」を計11回開催 (平成30年4月-平成31年3月) ・筑波大・弘前大共同研究事業「平成30年度成果報告会」を開催(平成31年3月)	総論文数：45件(国際共著18件) セミナー開催回数：11回 共同研究事業成果報告会の開催 学会発表：(国内48件、国外14件) 合計62件

施設名	利用状況	業績等
人工知能科学センター	<p>①センターにおける分野間の連携強化のため、研究紹介を行うランチトークの定期開催、および「C-AIR基盤機械技術ワークショップ」(平成30年12月6日)を開催した。</p> <p>②海外大学との研究交流を推進するため、復旦大学(中国)、アイントホーフェン工科大学(オランダ)との国際交流協定に参加した。また、デラウェア大学およびジョンスホプキンス大学を訪問し情報交換を行った(平成30年11月4日～11月9日)。アリゾナ州立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、ボーフム大学(ドイツ)を訪問した。台湾中山医学大学(平成30年6月8日)、香港行政長官(平成30年10月30日)、国立台湾大学(平成31年3月6日)からの筑波大訪問時にセンター説明等を実施した。</p> <p>③オハイオ州立大学とのワークショップ(10月26日)、日米デジタルイノベーションハブワークショップ(11月26日)、復旦大学とのワークショップ(12月25日)等の海外大学と連携したワークショップを開催した。</p> <p>④データサイエンス人材育成に貢献するため、エクステンションプログラム「ゼロから始めるデータ分析実践講座」を平成30年3月3日～4日に開催し、40名の参加者があった。</p>	<p>①センター教員と学内外のセンター外教員・研究者が共同で研究課題の提案を行う「C-AIR共同研究プロジェクト」を実施し、21件の課題を実施した。また、自動運転や新しい交通システムでのAIの活用について未来社会工学開発研究センターと共同研究を開始した。</p> <p>②AI分野における研究力強化を進め、人工知能分野のトップ会議であるIJCAI-18およびAAAI-19にそれぞれ論文が採択された。</p> <p>③NEDO次世代人工知能・ロボット中核技術開発などの大型プロジェクトに採択されるなど、基盤研究と応用研究の協力による外部資金獲得に向けた取り組みを進めた。また、農林水産省「知」の集積と活用場「産学官連携協議会」と「次世代育種技術研究開発プラットフォーム」に加入し、T-PIRCと「31イノベーション創出強化推進事業」に応募した。</p>
陽子線医学利用研究センター	<ul style="list-style-type: none"> 陽子線治療患者数: 356名(先進医療177名、臨床研究3名、保険診療166名、自由診療4名、外国人6名)(昨年度280名) 治療予定日実施率: 230日/230日(100%) 学内見学者数117名 学外視察・見学者数590名(うち国外16か国から50名) 	<p>論文: 88編 著書: 3件 学会等発表: 118件 講演: 5件 公開セミナー4回(参加人数932名)</p>
山岳科学センター	<p>学生の実験・実習、大学院生、教職員の研究、公開講座等、視察・見学等、セミナー及び研究会、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 苗畑地区: 1,599名 菅平高原実験所: 8,086名 八ヶ岳演習林: 1,112名 井川演習林: 426名 	<p>筑波実験林: 論文2編、学会発表2件 菅平高原実験所: 研究論文数 35編 八ヶ岳演習林: 論文2編、学会発表1件、絶滅危惧種シンポジウム+第5回地元感謝デー1件 井川演習林: 研究論文数4編 http://www.msc.tsukuba.ac.jp/ens/res-1st_2017.html</p>
微生物サステナビリティ研究センター	<p>平成30年10月に発足</p> <ul style="list-style-type: none"> 微生物サステナビリティ研究センター特別セミナー(11/13) 筑波学微生物サステナビリティ研究センター発足記念シンポジウム(3/4) 	<p>原著論文: 72件</p>
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター	<p>H27年7月に新設。毎年100名超規模の国際フォーラムを含むサイエンスウィークを開催(H30年度参加者延べ223人)。その他、研究会・ワークショップ・セミナー等を16件開催(H30年度参加者延べ564人)。H30年度共同利用・共同研究課題の公募を行い、学内外併せて35件を採択・実施した。</p>	<p>論文数: 141件(内国際学術誌: 99件、Top10: 9件) プレスリリース: 8件、研究発表数: 268件(内国際会議での発表: 97件)、受賞数: 12件</p>
トランスボーダー医学研究センター	<p>遺伝子解析の共同研究を促進するNGS meetingを12回開催し、昨年度整備した「TMRCガレージ」での「NGSオフィスアワー」のミーティングを45回開催して、遺伝子解析に伴う共同研究を推進した。JAXAとの連携研究分野である「宇宙生物学分野」を設置し、宇宙生物学に関する共同研究を開始した。遺伝子の受託解析を1,412検体について行なった。統合予定の生命科学動物資源センターでは、188件の遺伝子改変マウス等の受託作製を実施した。</p>	<p>Nature, Nature Communicationsに論文が発表された。ISSR&D(宇宙関係の世界最大の学会)で表彰された。</p>
宇宙史研究センター	<ul style="list-style-type: none"> クロスアポイントメント教員: 7名 海外教育研究ユニット招致(ソウル大、ユトレヒト大): PI教授 3名、副PI助教 1名 連携教員: 学外15名、学内7名 5th International Workshop on "Universe Evolution and Matter Origin"(参加者数: 54名、内 海外より13名) International Workshop for "Development and Applications of Fast-Timing Semiconductor Devices"(参加者数: 18名、内 海外より4名) 第1回TChOワークショップ(参加者数: 89名) International Workshop on "Forward Physics and Forward Calorimeter Upgrade in ALICE"(参加者数: 40名、内 海外より9名) 筑波大学学園祭展示、科学技術週間展示 	<p>2018年度業績: 査読付き論文、査読付き国際会議プロシーディングス: 235本 SCOPUS Top10論文(2018/12/14調査): 51本 国際会議発表: 68件(内、基調講演・招待講演: 20件) 国内会議・学会発表: 115件(内、招待講演: 17件)</p>

施設名	利用状況	業績等
エネルギー物質科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・筑波大学エネルギー物質科学研究センター (TREMS) 全体会議 ・第6回TIAナノグリーン・サマースクール ・TGSW 2018 Session 4-1 「持続可能な社会の実現に向けた光と分子・物質・生命科学のアンサンブル」 ・TGSW 2018 Session 7-1 「材料研究に関する学生ポスター発表会」 ・2018 Joint Symposium on Energy Materials Science and Technology (Workshop of Pre-Strategic Initiatives) ・Southeast Asia Collaborative Symposium on Energy Materials 2018 (SACSEM2018) ・超分子化学講演会 「難分離性混合物の分離を志向したカリックスアレーン結晶による有機分子の包接に関する研究」 ・第一回ブレ戦略研究会「次世代物質・デバイス戦略開発拠点 第一回TIA かけはし研究会「温度変化で発電するモバイル発電器」 ・第2回T I Aかけはし研究会「温度変化で発電するモバイル発電器」 ・物質科学セミナー「キラリティーを持つ多環芳香族化合物の合成と分子機能の開拓」 ・第2回ブレ戦略研究会「次世代物質・デバイス戦略開発拠点 第3回T I Aかけはし研究会「温度変化で発電するモバイル発電器」 ・エネルギー物質科学研究センターTREMS ワークショップ (成果報告会) ・第3回ブレ戦略研究会「次世代物質・デバイス戦略開発拠点」 ・Meeting on an interaction program between University of Tsukuba and Chonnam University ・The 2nd Southeast Asia Collaborative Symposium on Energy Materials (SACSEM 2nd) 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム開催 (15回) ・講演会・セミナー開催 (23回) ・論文 201件 ・学会発表 (国際会議197件、国内会議310件)
大学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ○履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」 (受講生延べ34名) ・大学マネジメントセミナー：全5回・10時間 " (TV配信)：筑波大学つくばキャンパス (参加者延べ435名) ・大学マネジメント講義：全25科目・149時間 ・大学マネジメント研究Ⅰ：12.5時間 ・大学マネジメント研究Ⅱ：12.5時間 ・大学マネジメントフィールド調査：5時間 ○来訪者 ・30.10.2 大学ガバナンス・経営、IR視察団大学IR学 (台湾) 23名 	<ul style="list-style-type: none"> 論文：2編 著書：3件 学会発表・講演：17件
研究基盤総合センター	<p>(応用加速器部門)</p> <p>応用加速器部門 2018年度利用登録者数 計122名 (教職員34名、学生65名、学外23名)</p> <p>2018年度 加速器施設利用統計 施設利用日数：161日 共用事業 産学連携・学外研究利用：14課題</p> <p>1MVタンデロン加速器利用実績 加速器運転時間：429 時間 ビーム利用時間：180 時間 実験利用者総数：135 名</p> <p>6MVタンデム加速器利用実績 加速器運転時間：1634 時間 ビーム利用時間：1286 時間 実験実施課題数：60 件 実験利用者総数：459 名</p> <p>施設見学者数：571 名 (内 中学・高校生：397 名) 高校生 体験実習1 件</p> <p>(低温部門)</p> <p>液体ヘリウム供給：609件、43,493リットル 液体窒素供給：4,151件、164,568リットル 低温容器貸出：56件 大型装置共同利用：14件 低温寒剤利用説明会受講者数：544名 (教職員60名、学生484名) 液体ヘリウム利用説明会受講者：25名 (教職員4名、学生21名) 見学者：76名 (分析部門)</p> <p>委託分析：学内 8機種、127件/23.5時間/1,096検体 学外 11機種、13件/57.0時間/36検体 共同利用：学内 22機種、延3,234名、8,972時間 学外 22機種、延 40名、136時間</p> <p>利用部局：6学系 (工作部門)</p> <p>機械工作関係：165件、延2273.5時間 ガラス工作関係：249件、延833.5時間 共同利用：289件 842時間</p> <p>部門主催講習会受講者：機械24名、ガラス1名 授業支援：大学院共通科目 (全学対象) 48名 学類授業支援 (化学対象) 60名 見学者：77名</p>	<p>研究業績</p> <p>発表論文：37 編 書籍・解説等：2 編 国際学会招待講演：5件 国際学会発表：26件 国内学会招待講演：8件 国内学会発表：37件</p> <p>研究教育利用</p> <p>博士論文：3 編 修士論文：6 編 卒業論文：3 編</p> <p>セミナー開催：12 件</p> <p>発表論文：16編 口頭発表：27件</p> <p>論文：57編</p>

施設名	利用状況	業績等
学術情報メディアセンター	<p>○計算機システム関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全学計算機システムの利用者登録数：20,270件 2. 汎用レンタルサーバ設置件数：72件 3. 専用レンタルサーバ設置件数：32件 4. ウェブホスティング件数：29件 5. サーバハウジング件数：7件 6. 統一認証システム登録者数：34,075件 7. グループウェアシステム登録者数：3,799件 <p>○ネットワーク関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DNSに登録されているドメイン数：224件 2. DNSに登録されているメールサーバ数：605件 3. 無線LANアクセスポイントへの利用者登録数(学内)：30件 無線LANアクセスポイントへの利用者登録数(学外)：4,894件 <p>○e-ラーニング関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習管理システム(manaba)有効利用者数：38,203件 2. 学習管理システム(manaba)の有効コース数：12,784件 3. 遠隔講義・自動収録システムの利用科目数：126件 4. 遠隔講義・自動収録システムの動画登録数：856件 5. オープンコースウェア(OCW)の登録コース数(公開分)：70件 <p>○メディア機器関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. AV利用件数：119件 2. ビデオ配信件数：1件 3. ビデオ制作：37件 4. ライブ中継件数：2件 	論文・国際会議論文：18編 口頭発表：29件
グローバルコミュニケーション教育センター	<p>(外国語教育部門)</p> <p>共通科目外国語授業：770科目 メディアライブラリー利用者：1,500名</p> <p>(日本語教育部門)</p> <p>合計科目数=261科目</p> <p>○集中日本語コース 科目数=2科目、学生数=20名</p> <p>○日韓共同理工系学部留学生日本語コース 科目数=1科目、学生数=6名</p> <p>○補講日本語コース 科目数=140科目、受講者数=1,720名</p> <p>○総合日本語コース 科目数=66科目、受講者数=892名</p> <p>○日本語(外国語科目) 科目数=10科目、受講者数=82名</p> <p>○学群英語コース ・外国語(日本語) 科目数=10科目、受講者数=107名 ・総合科目II 科目数=10科目、受講者数=244名</p> <p>○Japan-Expert日本語(※秋学期のみ開講) 科目数=18科目、学生数=8名</p>	公開講演会：5回 シンポジウム：6回 FD研修会：11回
体育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外体育施設(陸上競技場他)：約528,070人 ・屋内体育施設(中央体育館他)：約779,669人 	FD研修会：2回
アドミッションセンター	<ol style="list-style-type: none"> 1. アドミッションセンター入試の実施 2. 国際化学オリンピック特別入試の実施 3. 国際バカロレア特別入試の実施 4. 海外教育プログラム特別入試の実施 5. 「筑波大学入学案内2019」の発行及び配布(72,000部) 6. 「AC入試・特別入試GUIDE BOOK 2020リーフレット」の発行及び配布(10,000部) 7. 進学相談の実施(56件) 8. 大学見学(広報室所掌)団体対応(14回) 9. 東京キャンパス「進学相談」の実施(11回、101件) 10. 東京キャンパス「春の進学説明会」の実施(3日間延べ3,881人) 11. 受験生対象大学説明会・進学説明会への参加(100回) 12. 「受験生のための筑波大学説明会」における進学相談(379件)及び概要説明(1,962人)の実施 13. 全学入試関係参考資料(「帰国生徒特別入試選考のための参考資料」「推薦入試選考のための参考資料」)の作成及び提供 14. 全学入試関係情報の提供(Webサイト「アドミッションセンター」及び携帯サイト等) 15. 各教育組織パンフレットの高校宛一括発送(1回、1,373校) 	大学入学者選抜改革推進委託事業「高大での教育改革を目指した理数分野における入学者選抜改革」の実施
生命科学動物資源センター	<ul style="list-style-type: none"> ・動物実験計画：411件、利用者登録数：751名 ・利用者数：延べ78,441名(214名/日平均) ・動物導入数：4種、24,199匹 ・飼育動物数：57,998匹/日平均 ・講習会の受講者数：166名、見学者：131名 	遺伝子改変マウス作製事業 TG:90件、VC:32件、CH:5件、AS:14件

施設名	利用状況	業績等
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	<p>本センターの設立趣旨から、外部資金の獲得による研究開発を強力に推進した。2016年度より継続している経産省資源エネルギー庁「微細藻類を活用したバイオ燃料生産のための実証事業」に(一般社団法人)藻類産業創成コンソーシアムのメンバー企業9社とともに取り組み、下水利用による藻類バイオ原油生産と下水浄化があわせて可能となったことから、バイオ原油生産コストが下がり、化石由来原油と競争力をもつ可能性が示唆される成果を得た。また、平成29年10月に筑波大学、藻バイオテクノロジーズ(株)、日本電気(株)、三菱マテリアル(株)の4機関の共同でスタートした環境省の二酸化炭素削減に関する大型プロジェクトを、継続発展させ、その成果をインドのハイデラバードで開催された持続可能な発展のためのバイオテクノロジー国際会議(BioSD)で発表し、この取り組みの先進性を示した。国際共同事業としてはインドネシアにおけるパームオイル工場排水に関する環境-経済問題を藻類で解決するプロジェクトの取り組みを本格的に開始するために不可欠な技術開発とプラント設計について、高砂熱学工業(株)との共同研究を実施した。</p> <p>また、地域貢献の一環として、小貝川東部浄化センター(茨城県筑西市)に設置した藻類バイオマス生産施設の一般公開を、2018年11月に実施し、多くの参加者があった。</p>	<p>見学受入件数：11件 論文発表数：22件 (海外22件) 学会発表：103件 (国内78件、海外25件) 特許申請数：2件 (国内2件)</p>
プレジジョン・メディスン開発研究センター	<p>平成28年度第2次補正予算(国立大学法人先端研究等施設整備費補助金)(1000ドルシーケンス拠点のための設備整備)【文科省】で獲得した次世代シーケンサーを用いた我が国初の1000ドルゲノム開発研究を目指したオミックス解析拠点をセットアップ完了し、平成29年1月に新設。国内の複数の上場企業と連携を図り、最先端のゲノム解析システムや質量分析システムを用いて科学的証拠に基づいたがんや様々な病気の診断システムを開発に着手した。がんゲノム医療中核拠点病院の指定を受けた複数の大学及び医療機関からの依頼を受け、がん関連サンプルの全ゲノム解析、全エクソン解析、RNA seq解析を行った。</p>	<p>筑波大発ベンチャー企業(株)iLACとの特別共同研究事業開始(平成29年4月1日～) 産業界との共同研究事業プロジェクト：計6件 産総研発ベンチャーのRBI社(安川電機子会社)と共同研究事業を推進し、ゲノム解析の前処理の全自動化(全ゲノム、全エクソン)に成功し、臨床サンプルを用いた全ゲノム解析を推進している。一方、茨城県との連携推進を図るため当センターの研究活動及びゲノム解析に関する勉強会及び意見交換会等を実施した。 海外においては、米国屈指のゲノム解析医療機関を訪問し、連携強化に向けて、現地KOLとの情報交換及び今後の共同研究の可能性について協議した。</p>
未来社会工学開発研究センター	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究に係わるトップ懇談会(ポスターセッション含む)70名 プロジェクト会議 3回 各40名 	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究 2プロジェクト
スポーツイノベーション開発研究センター		
ヘルスサービス開発研究センター	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究のデータ分析のためセンター利用：学内外研究者の利用者数 のべ256名 ヘルスサービスリサーチ研究会(センターの研究成果の共有)@東京キャンパス：参加者のべ135名(4/27-21名、6/15-21名、8/24-26名、10/19-24名、12/21-16名、2/22-27名) 医療・介護レセプト活用会議(学内外の研究者による)@東京キャンパス：4/27-15名、6/15-16名、8/24-17名、10/19-15名、10/21-16名、2/22-12名) 医療・介護二次データ活用会議(学内外の研究者による)@医学系学系棟821討議室 毎月第3金曜日開催：のべ参加者数90名 日本国際保健医療学会第33回東日本地方会(H30.7.7開催)@筑波大学学生会館：参加者205名(学生54名、一般151名、うち外国人22名) 	<ul style="list-style-type: none"> 論文：35編 総説その他：7編 学会発表：国内学会 口頭 27件 ポスター 34件 国際学会 口頭 6件 ポスター 34件 講演会：国外 2件 国内 11件 自由集会(日本公衆衛生学会)：1件 受賞(学会 奨励賞)：1件 HSRセミナー開催：5回 外国人受託研究員：1名(半年) 平成30年6月23日、Gerge Maison大学の学生9名(大学院生5名、学部生4名)の訪問を受け入れ日本高齢者介護の現状についてレクチャーを行う。 茨城県西部メディカルセンターの臨床・予防部門支援について筑西市と平
テラーメイドQOLプログラム開発研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ヒト介入研究 <ul style="list-style-type: none"> テラーメイド健康運動教室：202名 認知機能低下予防教室：40名 講習会、講座等 <ul style="list-style-type: none"> エクステンションプログラム「コミュニティヘルス&フィットネスコーディネーター養成(基礎)講座」：83名 その他 <ul style="list-style-type: none"> COI全体会議(計4回)：63名 	<ul style="list-style-type: none"> 論文発表：国内1件、海外4件 学会発表：国内1件、海外3件 招待講演：国内1件 特許申請数：国内1件 受託研究事業：国内2件 JST-COI「食と健康の達人」拠点 JST-OPERA「低COI2と低環境負荷を実現する微細藻バイオファイナリーの創出」 共同研究事業：国内8件

施設名	利用状況	業績等
つくば臨床医学研究開発機構	<p>○講演会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財セミナー「医療分野の知的財産」… 29名 ・臨床研究法に関する説明会… 90名 <p>○教育・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理等教育レベル1… 新規：1,528名（のべ：3コマ）、更新：1,443名 ・倫理等教育レベル2… 330名（のべ：8コマ） ・医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス講座… 476名（のべ：9回） ・グローバル医薬品・医療機器開発マネジメント講座… 24名 <p>○臨床試験・治験支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理指針に基づく臨床研究倫理審査新規件数… 364件 ・臨床研究法に基づく特定臨床研究審査新規件数… 24件 ・臨床研究のプロジェクト支援… 20プロジェクト ・医師主導の治験プロジェクト支援… 4プロジェクト ・治験契約件数… 132件 ・治験実施支援（CRC支援等）… 132件 <p>○プロトコール相談… 59件</p> <p>○シーズ・知財相談… 76件</p> <p>○監査業務（医師主導治験監査業務）… 4件</p> <p>○センター利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来医工融合研究センター支援プロジェクト… 6件 ・C P F利用プロジェクト… 3件 <p>○来訪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来医工融合研究センター… 13件 ・文部科学省、カリフォルニア大学サンディエゴ校、日本医療機器協会 	
国際統合睡眠医学研究機構	<p>WPI-IIISセミナー開催：17回</p> <p>中高生向けレクチャー・ラボツアー：17回</p>	研究論文数：142報
理療科教員養成施設	<p>○理療臨床部 利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療日数：166日 ・患者数：4,582名（初見患者：198名、再来患者：4,384名） <p>○講習会、講座等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許法認定公開講座 特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習 臨床医学総論および臨床医学各論 受講者：18名 ・公開講座 「東洋医学でリフレッシュ！」 受講者：22名 ・特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業（自立教科等担当教員講習会） 参加者：85（うち免許状更新講習参加34） ・ブラインドパラリンピックスポーツミーティング（隔月1回） <p>○共催等による研究会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第43日本東洋医学系物理療法学会 参加者：100名 ・「実技セミナー」開催 参加者：30名 日本理療科教員連盟との共催 <p>○その他</p>	<p>○研究助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金（基盤研究（C））（研究代表者：濱田 淳）：「鍼実技実習における視覚障害学生の治療教育プログラムの開発に関する教材論的研究」 ・（株）ナイガイとの産学連携研究「機能性を重視したレッグウェアの開発」（研究代表者：和田恒彦） ・筑波大学教育戦略推進プロジェクト支援事業（研究代表者：和田恒彦）：「筑波型インクルーシブ教育システムによる視覚障害パラリンピアンへの支援」 <p>○広報刊行物等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理療科教員養成施設概要」：学内関係部局、文部科学省、来訪者等科学省、都道府県庁、全国盲学校等視覚障害関係機関、全国鍼灸関係専門学校、来訪者へ配布 ・「理療臨床部はりきゅう治療室案内」：はりきゅう治療受療希望者へ配布 ・「筑波大学視覚障害者アスリート支援」（筑波大学視覚特別支援学校、理療科教員養成施設、大学院スポーツ医学専攻による視覚障害者アスリートに対する支援、各施設の紹介）：全国視覚特別支援学校、競技団体、眼科、一般へ配布 ・筑波大学理療科教員養成施設紀要 第4巻1号；理療科教員養成施設：全国の視覚特別支援学校、視覚障がい者センター、鍼灸専修学校へ配布

(3) 理療科教員養成施設

ア 学生数 (平成31年3月1日現在)

総定員	1年	2年	計
40	16(4)	18(1)	34(5)

(注) ()は、女子を内数で示す。

イ 卒業生数 (平成31年3月31日現在)

定員	卒業生数	累計
20	18(1)	869(178)

(注) ()は、女子を内数で示す。

ウ 入学者選抜 (平成31年4月1日現在)

入学定員	試験別	志願者数	合格者数	入学者数
20	一般入試	8(2)	7(2)	11(2)
	推薦入試	7(2)	4(0)	

(注) ()は、女子を内数で示す。

エ 奨学金 (平成31年3月1日現在)

学生数	日本学生支援機構	その他	比率(%)
34(5)	1(1)	0	2.94

(注) ()は、女子を内数で示す。

オ 就職 (平成31年3月31日現在)

卒業生数	就職者数	就職者の内訳				進学者	その他
		盲学校等教員	視力障害センター等教員	専修学校等教員	治療院等		
18(1)	14(0)	14(0)	0	0	0	2(1)	2(0)

(注) ()は、女子を内数で示す。

カ 患者数 (平成31年3月31日現在)

診療日数	患者数				1日平均患者数
	初見者数	再来者数	学用者数	計	
166	198	4,384	0	4,582	28

5 学生生活関係
 (1) 学生の表彰

平成 30 年 7 月

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	生命環境学群 生物学類 (3年次) あべ まいこ 阿部 真生子	第4条 第1項 第1号	1. サイエンス・インカレ（文部科学省主催）での受賞 2018年3月 第7回サイエンス・インカレ 文部科学大臣賞(最高賞) 受賞した。 2. 国際会議での受賞 2017年9月 Tsukuba Global Science Week 2017 & Interdisciplinary Workshop on Science and Patents Student Presentation Award

(団体)

No.	団体名称 代表者	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	筑波大学代表 ACM-ICPC チーム 「5000-cho-en」 【代表者】 数理物質科学研究科 博士前期課程 電子・物理工学専攻 (2年次) ろくごう やすあき 六郷 泰昭	第4条 第1項 第2号	2017-2018年シーズンの国際大学対抗プログラミングコンテスト (ACM-ICPC)において、アジア地区大会を勝ち抜いて、2018年4月19 日開催の世界大会（世界大会）に出場し、2問を正答して 「Honorable Mention」を取得した。

No.	所属 (年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	人間総合科学研究科 博士後期課程 体育科学専攻 (3年次) お ち げんた 越 智 元 太	第4条 第1項 第1号	博士学位論文の研究内容を学術誌に論文投稿を行い、ニューロイメージング研究のトップジャーナルである NeuroImage 誌 (IF:5.8)、生理学のコアジャーナルである J Physiol Sci (IF=2.1)などに掲載された。さらに、関係する共著論文もメジャー国際誌4編 (NeuroImage (IF:5.8) 2編 ; Hippocampus (IF:3.9) ; Sci Rep (IF:4.3)) あり、学会やフォーラム発表も国内外で 11 回 (筆頭) 行った。
2	生命環境科学研究科 博士後期課程 持続環境学専攻 (2年次) リ グツ Li Jie	第4条 第1項 第1号	極めて優れた学術論文が環境廃水処理分野において著名な国際誌 (Chemical Engineering Journal (IF: 6.21)、 Bioresource Technology (IF:5.65) に筆頭著者として 2 編掲載された。
3	生命環境科学研究科 博士後期課程 国際地縁技術開発科学 専攻 (3年次) ム ハ マ ド ア ン ソ リ Muhammad Ansori ナスティオン Nasution	第4条 第1項 第1号	博士論文「Environmental Impact Evaluations for Treatment Technologies of Palm Oil Mill Effluent Using LCA and Multi-Criteria Decision Support System (LCA と多基準決定支援システムを用いたパームオイル搾油排水処理技術の環境インパクト評価)」に関する内容として、高い IF を有する 3 編の学術論文(うち筆頭 2 編)が受理、公開された。 1) Journal of Cleaner Production, Volume 184, 20 May 2018, Pages 1028-1040, doi:10.1016/j.jclepro.2018.02.299. (2018) (IF: 5.715) / (5-year IF: 6.207) . 2) Journal of Material Cycles and Waste Management, First Online: 16 June 2017, :1-13 doi:10.1007/s10163-017-0638-9 (2018) (IF: 1.604) . 3) Energies, 11 (3), 521 doi:10.3390/en11030521 (2018) (IF: 2.262)

No.	所属（年次） 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	体育専門学群 （2年次） ほしこ けいた 星子 啓太	第4条 第1項 第2号	第 17 回世界剣道選手権大会 男子団体戦 優勝
2	体育専門学群 （3年次） たけなか みほ 竹中 美帆	第4条 第1項 第2号	第 29 回ユニバーシアード競技大会（2017／台北）の日本代表選手団旗手を務め、大会では柔道女子 63kg 級において金メダルを獲得、また女子団体戦においても全試合で勝利して日本チームの金メダル獲得に貢献した。
3	体育専門学群 （3年次） かじはら ゆうみ 梶原 悠未	第4条 第1項 第2号	アジア競技大会 2018 ジャカルタ大会（インドネシア）において、自転車競技女子日本代表選手として出場し、オムニウムで優勝（金メダル）した。
4	体育専門学群 （3年次） みとま かおる 三吉 薫	第4条 第1項 第2号	第 18 回アジア競技大会 第 2 位（サッカー） 2 試合出場 1 得点
5	体育専門学群 （3年次） やました じゅん 山下 潤	第4条 第1項 第2号	2018 年 第 18 回アジア競技大会 男女混合 4×400m リレー 5 位（第 4 走者）
6	体育専門学群 （3年次） おざわ ひろき 小澤 宙輝	第4条 第1項 第2号	第 18 回アジア競技大会 男子バレーボール競技 第 5 位
7	体育専門学群 （3年次） やまぐち ゆうき 山口 勇樹	第4条 第1項 第2号	第 24 回世界学生ハンドボール選手権大会 第 3 位

8	体育専門学群 (2年次) <small>みなみ もえひ</small> 南 萌華	第4条 第1項 第2号	FIFA U-20 ワールドカップ 2018 フランス大会 (2018 年 8 月 24 日決勝) において、U-20 女子日本代表 (ヤングなでしこ) のキャプテンとして出場して優勝 (世界チャンピオン) し、フェアプレー賞を受賞した。個人賞として、Adidas ブロンズボール賞 (優秀選手賞) を受賞した。
9	体育専門学群 (2年次) <small>ながの ふうか</small> 長野 風花	第4条 第1項 第2号	FIFA U-20 ワールドカップ 2018 フランス大会 (2018 年 8 月 24 日決勝) において、U-20 女子日本代表 (ヤングなでしこ) として出場して優勝 (世界チャンピオン) し、フェアプレー賞を受賞した。
10	体育専門学群 (2年次) <small>くわだ ともか</small> 桑添 友花	第4条 第1項 第2号	2018 年 第 17 回 U20 世界陸上競技選手権大会 女子槍投 第 2 位

(団体)

No.	団体名称 代表者	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	体育会ダンス部 【代表者】 体育専門学群 (3 年次) <small>さいとう せな</small> 齋藤 瀬奈	第4条 第1項 第2号	第 31 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル (神戸) において文部科学大臣賞を受賞した。 作品名：巡礼

平成 30 年 3 月
(大学院)

No.	所属 (年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	教育研究科 教科教育専攻 (2 年次) <small>あびこ ひとし</small> 安孫子 仁	第 4 条 第 1 項 第 1 号	1. 日本数学教育学会の第 51 回秋期研究大会に投稿した次の研究論文が審査の結果、論文発表として採択された。 「ミクロアイデンティティに着目した数学的探究に関する研究」 (日本数学教育学会 第 5 1 回秋期研究大会発表集録, pp. 17-24, 2018 年) 2. 日本数学教育学会 学会賞 (大学院生研究奨励部門) を受賞した。

2	人文社会科学研究所 一貫制博士課程 文芸・言語専攻 (4年次) いしだ たかし 石田 崇	第4条 第1項 第1号	・一般社団法人 電子情報通信学会 第16回ヒューマンコミュニケーション賞を受賞した。 論文名「“OK, Google!”の言語学 - 言語使用の三層モデルからみたウエイクワードの特殊性-」(共著)
3	数理物質科学研究科 博士後期課程 化学専攻 (3年次) しもやま よしひろ 下山 祥弘	第4条 第1項 第1号	1. 博士論文に含まれる研究成果について、現在までに3報の査読付き原著論文を国際的にインパクトの高い学術雑誌 (<i>Angew. Chem. Int. Ed.</i> , <i>ACS Catalysis</i> 等) に発表し、高い評価を得ている。 2. 錯体化学会第66回討論会(2016年9月)で英語講演を行い、学生講演賞を受賞した。さらに、43 rd International Conference on Coordination Chemistry (ICCC2018 ; 2018年8月)で Best Poster Award を受賞した。
4	数理物質科学研究科 博士前期課程 物理学専攻 (2年次) でぐち ゆうか 出口 裕佳	第4条 第1項 第1号	オークランドで行われたアジア結晶学連合とオーストラリアおよびニュージーランド結晶学会が合同で主催した AsCA 2018/CRYSTAL 32 にて RISING STAR AWARD を受賞した。
5	生命環境科学研究科 博士後期課程 地球環境科学専攻 (3年次) ラナガラガ マンジュラ RANAGALAGE MANJULA マヒンダ MAHINDA	第4条 第1項 第2号	1. 博士後期課程の3年間で、計13の論文(うち筆頭論文5編)を執筆した。 2. 若手研究者に授与されるスリランカ最高の学術賞である CVCD Excellence Award (人文・芸術・社会科学分野)を受賞した。 3. インドの地理学研究者と共同研究を実施し、その成果として国際共著論文を国際誌に公表した。 4. 2編の査読付き論文を出版した。
6	生命環境科学研究科 博士前期課程 地球科学専攻 (2年次) いらい ゆうき 岩井 優祈	第4条 第1項 第1号	「防災」に関する現代的課題への関心から、巨大津波対策という問題に対し調査・研究を進めてきた。研究成果は国内外で好評を博しており、これまでに4つの賞を受賞している。2018年に中国で開催された「The 13th China-Japan-Korea Joint Conference on Geography & 3rd Asian Conference on Geography」では、250人余りの参加者の中から最優秀論文賞に輝いた。
7	生命環境科学研究科 博士後期課程 地球進化科学専攻 (3年次) おくわき りょう 奥脇 亮	第4条 第1項 第1号	震源過程解析手法の理論的な背景を明らかにし、新しい解析手法を開発する研究を行っており、博士課程在学中に下記の3編の筆頭著者の論文を査読付き国際学術雑誌で発表した。 1) Okuwaki et al., 2018, <i>Geophys. J. Int.</i> , doi: 10.1093/gji/ggy505 2) Okuwaki&Yagi, 2018, <i>Geophys. J. Int.</i> , doi: 10.1093/gji/ggx502 3) Okuwaki&Yagi, 2017, <i>Geophys. Res. Lett.</i> , doi: 10.1002/2017GL075956 学会でも高い評価を受けており、学生優秀発表賞を、日本地球惑星科学連合 2018年大会、JpGU-AGU Joint Meeting 2017 で受賞している。

8	<p>生命環境科学研究科 博士前期課程 地球科学専攻 (2年次)</p> <p>たかはし かずき 高橋 一輝</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>南極・昭和基地周辺にみられる大陸衝突型造山帯の岩石学的・年代学的研究をもとに当該地域のテクトニクスに関する研究を行い、この地域が25億年前の大陸、10億年前の火山弧、そしてそれらの衝突により形成された縫合帯によって構成されていることを初めて明らかにした。博士前期課程の2年間で査読付き学術雑誌に筆頭論文3編を含む4編の論文を掲載した。平成29年11月にタイ王国で開催された第16回国際 Gondwana 会議に参加する学生のための「Scholarship Award (奨学賞)」を同年9月に受賞した。</p>
9	<p>システム情報工学 研究科 博士後期課程 構造エネルギー 工学専攻 (3年次)</p> <p>チョウ ウ Qiao Yu</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>Li-02 電池に関する研究を精力的に進め、在学3年間で多大な成果をあげた。筆頭著者として9件、共同筆頭著者として4件、共著者として15件の論文発表を行った。これらには、高インパクトファクターの学術誌が多数含まれている (Adv. Energy Mater. IF=30, J. Mater. Chem. IF=21, H. Energy Environ. Sci. IF=12等)。</p>
10	<p>システム情報工学 研究科 博士前期課程 社会工学専攻サービス 工学学位プログラム (2年次)</p> <p>むらえ ゆうな 村江 優奈</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>サービス研究のトップ国際会議である Frontiers in Service Conferenc (FIS) に査読付国際会議論文 (Murae Y. et al., Two aspects of customer participation behavior: Empirical analysis in Japanese home delivery service) が採択され、2018年9月に米国で学会発表を行った。FIS での発表をふまえて論文を修正し、フルペーパーとして Journal of Marketing Development and Competitiveness(JMDC)へ投稿し、採択された(Y. Murae et al., (2019) "Two Aspects of Customer Participation Behaviors and the Different Effects in Service Delivery: Evidence from Home Delivery Services," 13(1))。</p>
11	<p>システム情報工学 研究科 博士後期課程 コンピュータ サイエンス専攻 (3年次)</p> <p>とう うよう 董 于洋</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>筆頭著者として国際ジャーナル論文3件、査読付き国際会議論文4件、第二著者として査読付き国際会議論文1件を発表した。(内、国際会議論文2件は発表予定) これらの中には、下記の ACM Transactions や EDBT、ICDE というトップレベルの国際ジャーナルや国際会議を含む。さらに、国際会議 Best Paper Award を含む2件の学会賞を受賞した。</p> <p>○Yuyang Dong, H. Chen, J. X. Yu, K. Furuse, H. Kitagawa. "Weighted Aggregate Reverse Rank Queries". ACM Transactions on Spatial Algorithms and Systems, TSAS. 2018, Volume 4 Issue 2, 5:1-5:23.</p> <p>○Yuyang Dong, H. Chen, J. X. Yu, K. Furuse, H. Kitagawa. "Grid-Index algorithm for reverse rank queries". Proc. 20th International Conference on Extending Database Technology (EDBT 2017), pp. 306-317, Venice, Italy, March 21-24, 2017.</p> <p>○Yuyang Dong, H. Chen, H. Kitagawa. "Continuous Search on Dynamic Spatial Keyword Objects" Proc. 35th IEEE International Conference on Data Engineering (ICDE 2019) (short paper), Macau, China, April 8-12, 2019 (to appear).</p>

12	人間総合科学研究科 3年制博士課程 スポーツ医学専攻 (3年次) おいかわ きたし 及川 哲志	第4条 第1項 第1号	大学院在学中に、マイクロ RNA と運動誘発性血管新生との関連を世界に先駆けて検討し、自然科学系で高い評価を受けている Am J Physiol Heart Circ Physiol. (IF: 3.6; アメリカ生理学会機関誌) や Am J Physiol Cell Physiol. (IF: 3.5; アメリカ生理学会機関誌) などをはじめ、国際学術誌 3 篇に筆頭著者として論文を公表 (公表予定) した。
13	人間総合科学研究科 博士前期課程 体育学専攻 (2年次) さいき まさと 才記 壮人	第4条 第1項 第1号	学群 3 年時から取り組む研究成果を Nature 姉妹誌として知られる権威ある国際誌、 <i>Scientific Reports</i> (IF: 4.12) に刊行させた。研究では、ビタミン B ₁ 誘導体 (フルスルチアミン、別名アリナミン) 摂取に新たな中枢効果として、意欲を司る前頭前皮質におけるドーパミン (DA) 放出促進と、それによる自発的身体活動性の亢進効果を発見した。
14	人間総合科学研究科 博士後期課程 学校教育学専攻 (2年次) とくい ちあき 得居 千照	第4条 第1項 第1号	日本の社会科教育関連学会の最高峰である日本社会科教育学会において、2018 年度日本社会科教育学会賞 (論文部門) を受賞した。これは、同学会の機関誌『社会科教育研究』第 132 号に掲載された研究論文、得居千照「哲学対話における『学習としての評価』の役割—高等専門学校『対話としての哲学・倫理入門』『現代社会論』の実践分析を手がかりに—」(単著) が高く評価された結果である。 なお、2017 年刊行の機関誌には、8 件の論部が掲載された。
15	人間総合科学研究科 博士後期課程 学校教育学専攻 (3年次) たなか れい 田中 稔	第4条 第1項 第1号	教育方法学分野における全国誌『教育方法学研究』(2017 年) に論文が掲載された。その他にも『関東教育学会紀要』(2016 年)、『筑波教育学研究』(2018 年) 等、合計 5 本の論文 (掲載決定済み含む) が専門学会誌に掲載された。
16	人間総合科学研究科 修士課程 スポーツ健康システム ・マネジメント専攻 (1年次) たかたに そうすけ 高谷 惣亮	第4条 第1項 第1号	2018 年 10 月 20 日～ハンガリー (ブタペスト) で開催されたレスリング世界選手権フリースタイル 79kg 級に出場し、11 位の成績を収めた。
17	人間総合科学研究科 3年制博士課程 コーチング学専攻 (3年次) とべ なおと 戸邊 直人	第4条 第1項 第2号	第 18 回アジア競技大会 (ジャカルタ/パレンバン) に日本代表選手として走高跳に出場し、第 3 位に入賞し、銅メダルを獲得した。

18	人間総合科学研究科 博士前期課程 世界遺産専攻 (2年次) 深見 利佐子	第4条 第1項 第2号	2018年8月に開催されたアジア大会において、女子柔道52Kg級に父の母国であるタイの代表として出場し、銅メダルを獲得した。
19	図書館情報 メディア研究科 博士前期課程 図書館情報 メディア専攻 (2年次) 橋爪 智	第4条 第1項 第1号	【研究】 ○査読付き国際会議論文 1. Satoshi Hashizume, Akira Ishii, Kenta, Suzuki, Kazuki Takazawa, and Yoichi Ochiai Trans-scale Playground: An Immersive Visual Telexistence System for Human Adaptation, In HCI International 2019 (to appear). 2. Satoshi Hashizume, Amy Koike, Takayuki Hoshi, and Yoichi Ochiai, Sonovortex: Aerial Haptic Layer Rendering by Aerodynamic Vortex and Focused Ultrasound, In HCI International 2019 (to appear). 3. Hashizume S., Sakamoto S., Suzuki K., Ochiai Y. (2018) LIVEJACKET: Wearable Music Experience Device with Multiple Speakers. In: Streit N., Konomi S. (eds) Distributed, Ambient and Pervasive Interactions: Understanding Humans. DAPI 2018. Lecture Notes in Computer Science, vol 10921. Springer, Cham. 他4件 【受賞及び栄誉】 1. ImagineCup 2018 国内予選選出 [Telewheelchair] 2. 2017 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA 学生カテゴリーエンターテインメント部門入賞 [Telewheelchair] 3. Mashup Award 2017 Microsoft Tech 賞 (日本マイクロソフト) 受賞 [Telewheelchair] 他6件
20	グローバル教育院 エンパワーメント 情報学プログラム (5年次) 小木曾 里樹	第4条 第1項 第1号 及び 第3号	・査読付雑誌論文：2編 (2編とも筆頭) ・査読付国際会議論文：6編 (うち4件は筆頭) ・学会での表彰：1件 ・学会・企業主催コンテスト等での表彰：3件 ・若手研究者交流会主催・講演等、社会貢献活動：5件

(学群)

No.	所属 (年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	生命環境学群 生物学類 (4年次) 鈴木 佑弥 <small>すずき ゆうや</small>	第4条 第1項 第1号	<p><学術論文></p> <ol style="list-style-type: none"> 2017年 東京蜘蛛談話会誌 KISHIDAIA に短報 10 本掲載 (筆頭) 2018年 東京蜘蛛談話会誌 KISHIDAIA に短報 22 本掲載 (筆頭) 2018年 原著を Entomological Science に投稿中 (英文・筆頭、IF:1.069) 他 1 件 <p><国内学会受賞></p> <ol style="list-style-type: none"> 2017年 第49回日本蜘蛛学会沖縄大会 口頭発表 学生発表賞を受賞した。
2	生命環境学群 生物資源学類 (4年次) 福田 紗弓 <small>ふくだ きゆみ</small>	第4条 第1項 第1号	<ul style="list-style-type: none"> • Tsukuba Global Science Week 2018 2018年9月20-22日 つくば国際会議場 “Chemotropism and plasticity in filamentous fungi analyzed by microfluidic Devices の発表で「Best Poster Award」を受賞した。 • 第18回糸状菌分子生物学コンファレンス 2018年11月15-16日 アオーレ長岡 「マイクロ流体デバイスを用いた糸状菌の屈性と可塑性の解析」の発表で「学生優秀ポスター発表賞」を受賞した。
3	理工学群 応用理工学類 (4年次) 上村 尚暉 <small>うえむら なおき</small>	第4条 第1項 第1号	<p>○国際会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Structural Observation of Tungsten during 4000 K-Class Laser Microprocessing (poster) <u>Naoki Uemura</u>, Koichi Murakami, and Tokushi Kizuka Tsukuba Global Science Week-Interdisciplinary Workshop on Science and Patent 2018 (Tsukuba International Congress Center, 2018, 9, 21) 2. Development of 4000 K-Class High-Temperature <i>In Situ</i> Transmission Electron Microscopy: Application to High-temperature Materials (poster) <u>Naoki Uemura</u>, Koichi Murakami, and Tokushi Kizuka The 4th Symposium on Strategic Innovation Promotion Program Innovative Measurement and Analysis for Structural Materials (Science Plaza, 2018, 11, 13-15) 3. <i>In Situ</i> High-Temperature TEM using 4000 K-Class Laser heating (poster) Koichi Murakami, Naoki Uemura, and Tokushi Kizuka Tsukuba Global Science Week-Interdisciplinary Workshop on Science and Patent 2018 (Tsukuba International Congress Center, 2018, 9, 21) 他 2 件 <p>○国内会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4000 K 級レーザー加熱法を用いた耐熱材料の高温処理 (口頭) <u>上村尚暉</u>、村上浩市、木塚徳志 2018, 9, 19-21 第163回日本金属学会秋期講演大会、東北大学 2. 4000K 級高温その場電子顕微鏡観察のためのレーザー加熱法の開発 (口頭) 村上浩市、<u>上村尚暉</u>、木塚徳志 2018, 9, 19-21 第163回日本金属学会秋期講演大会、東北大学

4	<p>理工学群 工学システム学類 (4年次)</p> <p>かめい たかふみ 亀井 陸史</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>卒業研究の成果として、「査読付国際会議2件」を含む、以下計6件の業績を挙げた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. RIMS 共同研究集会・発表 2. 数値流体力学シンポジウム・発表 3. 機械学会関東支部関東学生会卒業研究発表講演会・発表 4. AJKFluids (4年に一度開催の米国機械学会主催・流体工学国際会議, 前回参加者は32か国から500名超)に発表 5. INTERNOISE2019 (振動騒音学会主催、50年弱の歴史を有する一流国際会議)に発表 6. 京都大学数理解析研究所講究録・論文掲載
5	<p>情報学群 情報科学類 (4年次)</p> <p>やくら ひろむ 矢倉 大夢</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Top Conference を含む4件の難関国際会議での論文発表を行った。 2. 国内学会において最優秀論文賞を含む4件の受賞を受けた。 3. データ解析・セキュリティに関する国際コンペティションにおいて2件の入賞を果たした。 4. セキュリティに関する国内コンペティションにおいて4件の入賞を果たし、2015年度、2016年度に文部科学大臣賞を連続受賞した。

6	<p>情報学群 情報メディア創成学類 (4年次)</p> <p>すずき いっぺい 鈴木 一平</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>【受賞】 1. <u>JASSO 独立行政法人日本学生支援機構 平成 29 年度優秀学生顕彰大賞 (学術分野)</u> 2. 2017 Asia Digital Art Award FUKUOKA 学生/エンターテイメント (産業応用) 部門 大賞→ 共同プロジェクト(Silk Fabricator) 3. 2017 Asia Digital Art Award FUKUOKA 学生/エンターテイメント (産業応用) 部門 入賞 → 共同プロジェクト(ReverseCAVE) 他 6 件</p> <p>【研究】 以下の査読あり国際会議において論文採択, 口頭発表, 招待発表, ポスター発表, デモ発表の実績がある。 ○査読付き論文発表 (3 件) 1. <u>Ippei Suzuki</u>, Shinnosuke Ando, and Yoichi Ochiai. 2018. 70 - 1: “Unphotogenic Light” : Evaluation and Detail of the High-Speed Projection Method to Prevent Secret Photography with Small Cameras. SID Symposium Digest of Technical Papers. 49, 1, 930-933. 他 2 件</p> <p>○招待発表 1. <u>Ippei Suzuki</u>, Shinnosuke Ando, and Yoichi Ochiai. 2018. Protection Method from Secret Photography. In the 25th International Display Workshops (IDW '18).</p> <p>○査読付きポスター発表 1. Yoichi Ochiai, Kazuki Otao, Yuta Itoh, Shouki Imai, Kazuki Takazawa, Hiroyuki Osone, Atsushi Mori, and <u>Ippei Suzuki</u>. 2018. Make your own retinal projector: retinal near-eye displays via metamaterials. In ACM SIGGRAPH 2018 Posters (SIGGRAPH '18). ACM, New York, NY, USA, Article 48, 2 pages. 他 5 件</p> <p>○査読付きデモ発表 1. Yoichi Ochiai, Kazuki Otao, Yuta Itoh, Shouki Imai, Kazuki Takazawa, Hiroyuki Osone, Atsushi Mori, and <u>Ippei Suzuki</u>. 2018. Make your own retinal projector: retinal near-eye displays via metamaterials. In ACM SIGGRAPH 2018 Emerging Technologies (SIGGRAPH '18). ACM, New York, NY, USA, Article 13, 2 pages. 他 4 件</p> <p>○査読付きその他 (ビデオショーケース) 1. Akira Ishii, <u>Ippei Suzuki</u>, Masaya Tsuruta, Shuta Nakamae, Junichi Suzuki, and Yoichi Ochiai. 2018. Video Showcase ReverseCAVE: CAVE-based Visualization Methods of Public VR Towards Shareable VR Experience. In Extended Abstracts of the 2018 CHI Conference on Human Factors in Computing Systems (CHI EA '18). ACM, New York, NY, USA, Paper VS01, 1 pages.</p>
---	--	----------------------------	---

7	<p>医学群 医療科学類 (4年次)</p> <p>難波 菜摘</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>卒業研究として行った研究論文” Association of <i>MUC5B</i> Promoter Polymorphism with Interstitial Lung Disease in Myeloperoxidase-Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis” を筆頭著者として、リウマチ学の原著論文掲載誌としては第1位の impact factor (12.350)を誇る Annals of the Rheumatic Diseases に投稿し、採択された。また、日本リウマチ学会(JCR)主催「第5回 JCR ベーシックリサーチカンファレンス」(2018年11月2日-3日、東京)において、演題「ANCA 関連血管炎における間質性肺疾患合併と <i>MUC5B</i> プロモーター多型との関連」を発表し、一般演題 61題中、6題のみが選出された「優秀演題賞」を受賞した。</p>
8	<p>体育専門学群 (4年次)</p> <p>佐々木 健志</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2018 柔道グランプリ・フフホト大会 81kg 級優勝 2018 ジャカルタ・アジア大会 柔道 81kg 級 5位 2018 柔道グランドスラム・大阪大会 81kg 級優勝 2018 柔道ワールドマスターズ・広州大会 81kg 級優勝</p>
9	<p>体育専門学群 (4年次)</p> <p>田川 兼三</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2018 柔道グランプリ・ブダペスト大会 66kg 級優勝</p>
10	<p>体育専門学群 (1年次)</p> <p>関根 聖隆</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2018 バハマ・世界ジュニア柔道選手権大会 100kg 級優勝</p>
11	<p>体育専門学群 (4年次)</p> <p>山岸 夏希</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2018年8月3日~11日、ラトビア国リガ市およびスイグルダ市で開催された「2018年オリエンテーリング世界選手権大会」に日本代表選手として出場</p>
12	<p>体育専門学群 (4年次)</p> <p>玉木 祥護</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>第18回アジア競技大会 バスケットボール競技(男子) 第7位</p>
13	<p>体育専門学群 (4年次)</p> <p>牧野 イサム</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>第24回世界学生ハンドボール選手権大会 第3位</p>

(団体)

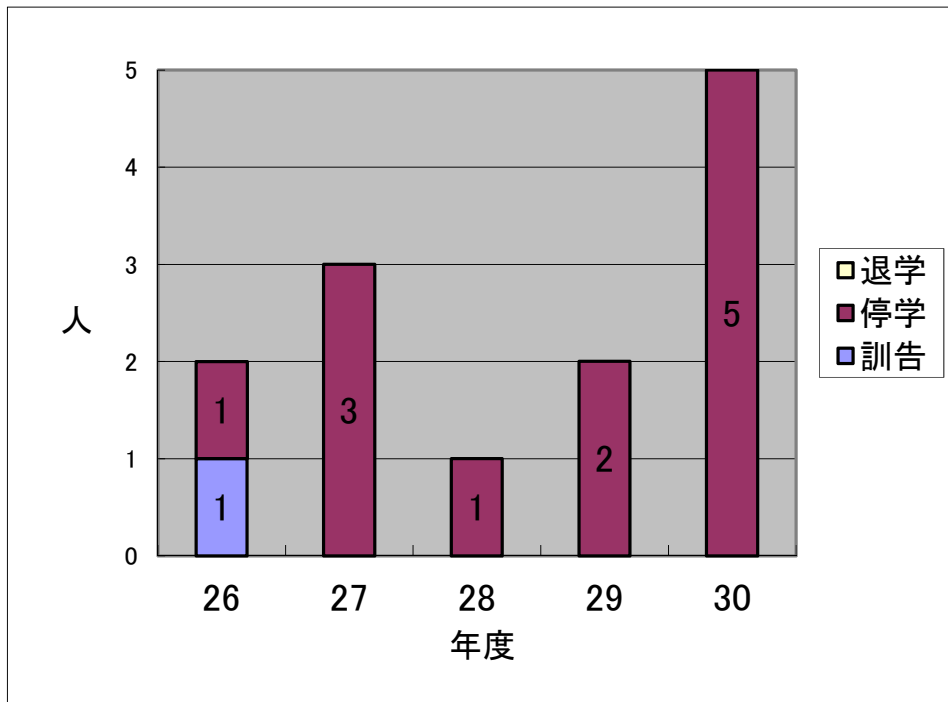
No.	団体名称 代表者	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	体育会 女子バレーボール部 【代表者】 体育専門学群 (4年次) まるお はるか 丸尾 遥香	第4条 第1項 第2号	第65回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会ミキブルーンスーパーカレッジバレー2018 優勝
2	体育会 陸上競技部 【代表者】 体育専門学群 (4年次) わかぞの あかひ 若園 茜	第4条 第1項 第2号	2018年 天皇賜盃 第87回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子総合優勝
3	体育会 バドミントン部 【代表者】 体育専門学群 (4年次) うしき あゆこ 牛木 鮎子	第4条 第1項 第2号	第69回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体優勝(5連覇)

※ 適用条項は、「筑波大学学生表彰に関する規程」第4条第1項の各号の規定による。

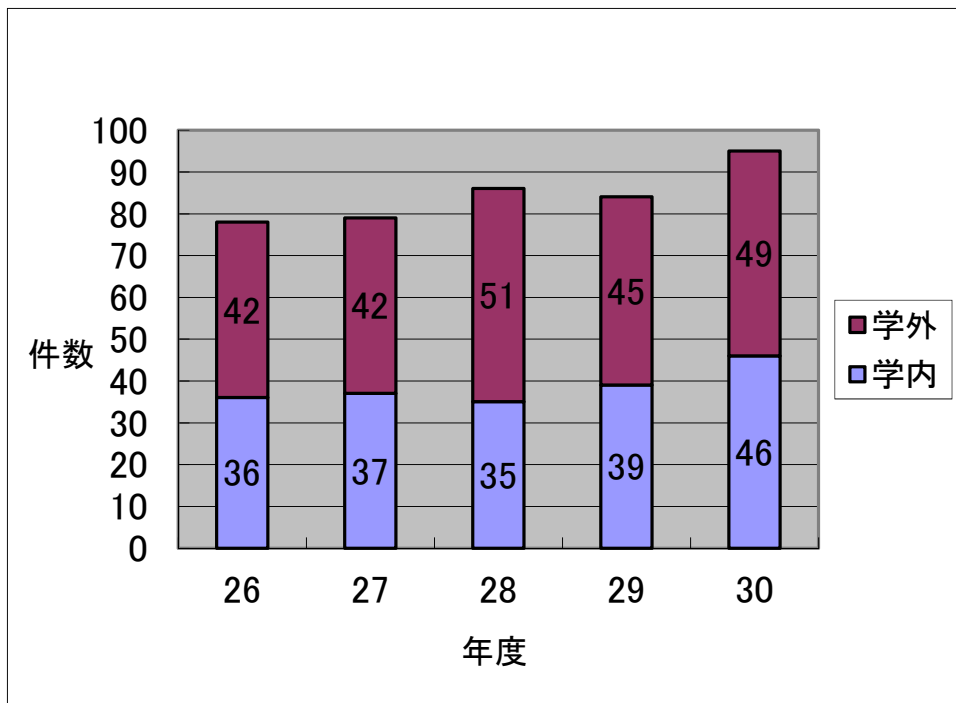
第4条 学生表彰は、次の各号のいずれかに該当する学生又は学生団体に対し行うことができる。

- (1) 筑波大学における卒業論文、修士論文又は博士論文、卒業制作又は修了制作、研究その他の学修の成果が優れていると認められるもの
- (2) 筑波大学における課外活動の成果が特に顕著であり、かつ、筑波大学の課外活動の振興に功績があったと認められるもの
- (3) 社会活動において顕著な功績があったと認められるもの
- (4) その他前3号と同等の学生表彰に価する功績があったと認められるもの

(2) 学生の懲戒



(3) 学生の交通事故



(4) 福利厚生施設

場 所	業 種	席数
第一エリア	食堂	232
	喫茶	82
	書籍・文具	
	パン販売	
	自動販売機	
第二エリア	食堂	336
	小食堂	64
	喫茶(ハラル)	72
	書籍・文具	
	パン販売	
	自動販売機	
第三エリア	食堂	138
	フードコート	285
	そば・うどん	
	カレー	
	中華	
	ハラル	
	喫茶	
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	パン販売	
	自動販売機	
銀行キャッシュコーナー		
(総合研究棟B)	パン販売、弁当販売	
医学エリア	食堂	200
	喫茶	36
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	パン販売	
	自動販売機	
(4B棟)	パン販売	
	自動販売機	
体育・芸術エリア	食堂(1階)	144
	喫茶(2階)	105
	画材・文具	
	喫茶(3階)	40
	写真・スポーツ用品	
	パン販売	
	自動販売機	
(総合研究棟D)	パン販売	

場 所	業 種	席数
春日エリア	食堂	188
	書籍・文具	
	自動販売機	
大学会館(本館)	レストラン	150
	大学オリジナルグッズ	
	自動販売機	
大学会館(別館)	郵便局	
	郵便局キャッシュコーナー	
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	画材等	
	トラベルサービス	
	銀行キャッシュコーナー	
	自動販売機	
本部棟	レストラン	52
	パン販売	
	自動販売機	
中央図書館	コーヒーショップ	36
	銀行キャッシュコーナー	
平砂学生宿舎	食堂	180
	電化製品	
	理容	
	浴場	
	シャワー室	
	自動販売機	
追越学生宿舎	電化製品	
	シャワー室	
	自動販売機	
一の矢学生宿舎	食品・日用雑貨	
	電化製品	
	理容	
	シャワー室	
	自動販売機	

(5) 奨学生数

ア 日本学生支援機構奨学生

(ア) 学群

(平成31年3月1日現在)

学群 ・ 学類		学生数	第一種	第二種	貸与併用	給付	計	比率 (%)
人文・文化学群	人文学類	537	73	48	9	1	131	24.4
	比較文化学類	352	61	29	12	1	103	29.3
	日本語・日本文化学類	178	26	20	5	0	51	28.7
	小計	1,067	160	97	26	2	285	26.7
社会・国際学群	社会学類	366	38	41	8	2	89	24.3
	国際総合学類	372	53	31	7	2	93	25.0
	小計	738	91	72	15	4	182	24.7
人間学群	教育学類	154	21	13	4	1	39	25.3
	心理学類	217	32	23	3	2	60	27.6
	障害科学類	155	18	13	5	2	38	24.5
	小計	526	71	49	12	5	137	26.0
生命環境学群	生物学類	343	36	23	3	3	65	19.0
	生物資源学類	534	64	40	7	2	113	21.2
	地球学類	215	15	33	5	2	55	25.6
	小計	1,092	115	96	15	7	233	21.3
理工学群	数学類	167	24	18	1	0	43	25.7
	物理学類	259	33	23	10	0	66	25.5
	化学類	209	18	21	5	3	47	22.5
	応用理工学類	524	66	39	12	1	118	22.5
	工学システム学類	560	58	43	15	3	119	21.3
	社会工学類	508	54	62	11	1	128	25.2
	小計	2,227	253	206	54	8	521	23.4
情報学群	情報科学類	390	63	27	12	0	102	26.2
	情報メディア創成学類	239	28	24	3	1	56	23.4
	知識情報・図書館学類	461	65	38	12	2	117	25.4
	小計	1,090	156	89	27	3	275	25.2
医学群	医学類	812	42	44	15	1	102	12.6
	看護学類	308	53	33	9	1	96	31.2
	医療科学類	164	31	14	5	0	50	30.5
	小計	1,284	126	91	29	2	248	19.3
体育専門学群		1,020	141	155	56	7	359	35.2
芸術専門学群		455	71	57	20	1	149	32.7
合 計		9,499	1,184	912	254	39	2,389	25.2

(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 平成30年度の貸与月額、次のとおりである。

第一種（自宅外通学） 51,000円, 30,000円からの選択制

第一種（自宅通学） 45,000円, 30,000円からの選択制

第二種 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円からの選択制

3. 平成30年度の給付月額は、次のとおりである。

自宅外通学 20,000円

自宅通学 0円

(イ) 大学院

(平成31年3月1日現在)

課程・研究科	学生数	奨学生数				比率 (%)	
		第一種	第二種	併用	計		
貫修士課程 相当(修士・ 博士前期・ 一貫制博士課程)	教育研究科	199	47	1	5	53	26.6
	人文社会科学研究科	132	31	0	3	34	25.8
	ビジネス科学研究科	328	3	3	1	7	2.1
	数理解物質科学研究科	501	216	8	6	230	45.9
	システム情報工学研究科	806	363	15	9	387	48.0
	生命環境科学研究科	452	151	2	9	162	35.8
	人間総合科学研究科	829	217	6	14	237	28.6
	図書館情報メディア研究科	95	22	1	4	27	28.4
	グローバル教育院	22	2	0	0	2	9.1
	小計	3,364	1,052	36	51	1,139	33.9
当博士課程 後期(一貫制 博士課程)	人文社会科学研究科	169	22	1	0	23	13.6
	ビジネス科学研究科	139	0	1	0	1	0.7
	数理解物質科学研究科	116	24	0	0	24	20.7
	システム情報工学研究科	159	23	0	1	24	15.1
	生命環境科学研究科	183	25	0	2	27	14.8
	人間総合科学研究科	837	101	3	5	109	13.0
	図書館情報メディア研究科	68	6	1	2	9	13.2
	グローバル教育院	36	0	0	0	0	0.0
	小計	1,707	201	6	10	217	12.7
合計	5,071	1,253	42	61	1,356	26.7	

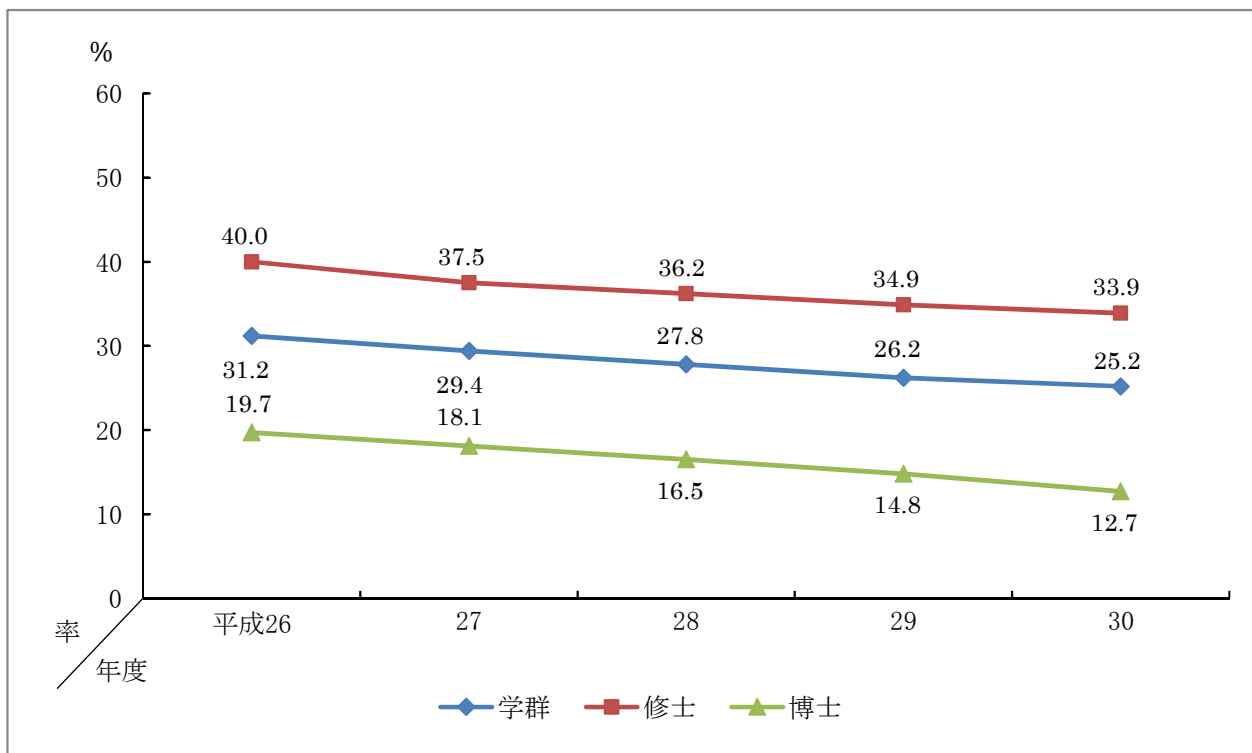
(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 専門職学位課程は、修士課程に含む。

3. 平成30年度の貸与月額、次のとおりである。

第一種 (修士課程・博士前期課程)	1・2年	50,000円・88,000円からの選択制
第一種 (一貫制博士課程)	1・2年	50,000円・88,000円からの選択制
第一種 (一貫制博士課程)	3～5年	80,000円・122,000円からの選択制
第一種 (博士後期課程・博士医学課程)	1～4年	80,000円・122,000円からの選択制
第二種		50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円からの選択制

(ウ) 奨学生比率の推移



イ 地方公共団体・民間育英団体奨学生

(平成31年3月1日現在)

奨学団体	学 群						大 学 院						合 計	
	給 与		貸 与		小 計		給 与		貸 与		小 計			
	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数
地方公共団体	3	3	10	18	14	21	1	1	0	0	1	1	15	22
民間育英団体	42	127	6	18	48	145	32	84	2	3	34	87	82	232
合 計	45	130	16	36	61	166	33	85	2	3	35	88	96	254

(6) アルバイト

(求人件数)

職 種	H25	H26	H27	H28	H29	※H30
家庭教師	49	42	66	41	56	31
塾講師	114	102	105	99	99	43
語学教師	6	5	6	4	9	11
一 般	946	972	953	872	754	592
合 計	1,115	1,121	1,130	1,016	918	677

※平成31年3月1日から民間サービス会社のWEBサイトを利用する方法に移行したため、平成30年度については平成30年4月～平成31年2月までの求人件数となっている。

平成30年6月1日現在

(7) 学生団体数及び加入者数

*()内は前年同月の数

系別	課外活動団体		一般学生団体		計	
	団体数	加入者数	団体数	加入者数	団体数	加入者数
文化系	37 (37)	1,497 (1,504)	65 (58)	1,650 (1,435)	102 (95)	3,147 (2,939)
体育系	71 (74)	3,412 (3,395)	33 (33)	1,838 (1,990)	104 (107)	5,250 (5,385)
芸術系	29 (29)	1,318 (1,375)	13 (15)	478 (493)	42 (44)	1,796 (1,868)
合 計	137 (140)	6,227 (6,274)	111 (106)	3,966 (3,918)	248 (246)	10,193 (10,192)

(注) 1. 課外活動団体：学長が認定した学生団体のうち、援助・育成に値するもの

2. 一般学生団体：学長が認定した学生団体のうち、課外活動団体以外のもの

(8) 課外活動団体の主な成績

【文化系】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
E. S. S.	ALL Japan	下田彬	3位	デパート
	NAFAT	下田彬	1位	デパート
	LESSCスピーチコンテストインオータム	団体	3位	スピーチ
囲碁部	平成30年度春季関東学生囲碁団体戦	団体	一般4部 2位	
	平成30年度秋季関東学生囲碁団体戦	団体	一般3部 5位	
歌留多部	第3回全国かるた競技福島大会	手塚亮太	優勝	A級
	第25回全日本大学かるた選手権大会	手塚亮太	優勝	大学代表戦の部
将棋部	関東大学将棋連盟 春季団体戦	団体	4位	BII級
	関東大学将棋連盟 秋季団体戦	団体	3位	BII級

【芸術系】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
吹奏楽団	茨城県アンサンブルコンテスト大学部門	クラリネット八重奏 金管八重奏	金賞 銅賞	
舞踏研究会	第62回東部日本学生競技ダンス選手権大会II部戦	高祖・神村	7位	カンゴ

【体育系・部会】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
アーチェリー部	2018年度関東学生アーチェリー連盟リーグ戦	男子	3位	2部Bグループ
		女子	4位	2部Bグループ
合気道部	第56回全日本合気道演武大会	団体	参加	演武披露
	第58回全国学生合気道演武大会	団体	参加	演武披露
男子アイスホッケー部	平成30年度関東大学アイスホッケーリーグ戦	団体	3位	Dv. II
	平成30年度関東国公立大学アイスホッケーリーグ戦	団体	準優勝	
女子アイスホッケー部	日本学生女子アイスホッケー大会	団体	リーグ3位	
オリエンテーリング部	第6回アジアオリエンテーリング選手権大会(香港)	小牧弘季	M20E 1位	ミドルディスタンス競技
		宮本和奏	W20W 1位	リレー
	2018年度日本学生オリエンテーリング選手権大会	山岸夏希	WUA 1位	スプリント競技
		増澤すず	WE 1位	ロングディスタンス競技
第11回全日本スプリントオリエンテーリング大会	増澤すず	WE 1位		
第7回全日本ミドルオリエンテーリング大会	佐久間若菜	W20E 1位		
空手道部	第67回関東甲信越大学体育大会	男子団体	2位	
弓道部	第66回全日本学生弓道選手権大会	佐藤 碧紀	8位	女子個人射詰
	第30回全国日置流弓道大会	女子団体	準優勝	
	第26回関東学生弓道選手権春季トーナメント大会決勝大会	男子団体	準優勝	
		女子団体	準優勝	
第50回関東弓道選手権大会決勝大会	男子団体	優勝		
	女子団体	準優勝		

剣道部	第17回世界剣道選手権大会(韓国)	星子啓太 竹中美帆	団体優勝 団体優勝	男子 女子
	第66回全日本学生剣道優勝大会	男子団体	準優勝	
	第66回全日本学生剣道選手権大会	星子啓太	3位	
	第64回関東学生剣道選手権大会	星子啓太	優勝	
	第44回関東女子学生剣道優勝大会	団体	準優勝	
	第50回関東女子学生剣道選手権大会	竹中美帆	準優勝	
硬式庭球部	第62回全日本学生テニス選手権大会	牛島里咲 牛島・森崎	優勝 優勝	女子シングルス 女子ダブルス
	平成30年度関東学生テニストーナメント大会	川橋勇太 森崎可南子 牛島・森崎	優勝 優勝 優勝	男子シングルス 女子シングルス 女子ダブルス
硬式野球部	首都大学野球連盟2017秋季リーグ戦1部	団体	準優勝	
	第67回関東甲信越大学体育大会	団体	準優勝	
	横浜市長杯争奪第14回関東地区大学野球選手権大会	団体	準優勝	
サイクリング部	第18回アジア競技大会(インドネシア)	梶原悠未	金メダル	トラック女子 オムニアム
	2019アジア選手権トラック競技(インドネシア)	梶原悠未	金メダル	女子オムニアム
	第22回全日本選手権個人タイムトライアル・ロードレース大会	梶原悠未	優勝	女子U23
	全日本選手権自転車競技大会-トラック	梶原悠未	優勝	3km個人追抜き, マテイヤン,ホーイントレス, チームスプリント
	2018全日本自転車競技選手権大会オムニアム	梶原悠未	優勝	女子エリート
	全日本学生RCS第4戦 第13回白馬クリテリウム	齊藤伸吾	優勝	クラス3C
	2018年度全日本学生RCS第10戦埼玉幸手工業団地クリテリウム	古賀太暁	優勝	クラス3B
蹴球部	第18回アジア競技大会(インドネシア)	三苦薫	銀メダル	
	第67回全日本大学サッカー選手権大会	団体	ベスト8	
	JR東日本カップ 2018第92回関東大学サッカーリーグ戦1部	団体	2位	
女子サッカー部	第32回関東大学女子サッカーリーグ戦	団体	2部優勝	
	第26回全国大学女子サッカーつくばフェスティバル	団体	優勝	一般リーグ
柔道部	2018年ワールドマスターズ(中国)	佐々木健志	優勝	男子81kg級
	グランプリ・フフホト大会	佐々木健志	優勝	男子81kg級
	グランドスラム大阪2018	佐々木健志	優勝	男子81kg級
	世界ジュニア柔道選手権大会2018(バハマ)	関根聖隆	優勝	男子100kg級
	全日本学生柔道体重別選手権大会	田嶋剛希	優勝	男子90kg級
	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	関根聖隆	優勝	男子100kg級
	第60回全国国立大学柔道優勝大会	男子団体	優勝	
	平成30年全日本学生柔道優勝大会	男子団体	準優勝	
	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	男子団体 女子団体	準優勝 3位	

準硬式野球部	東都大学準硬式野球秋季リーグ戦	団体	3部3位	
	第67回関東甲信越大学体育大会	団体	3位	
水泳部	第65回 全国国公立大学選手権水泳競技大会	男子 女子	総合優勝 総合優勝	
	第94回日本学生選手権大会水泳競技大会競泳競技	女子 岡野圭穂	総合5位 1位	女子50m自由形
	第94回日本選手権水泳競技大会飛込競技	大久保柊	優勝	男子高飛込
	第73回国民体育大会水泳競技大会飛込競技	榎本遥香	優勝	成年女子高飛込 成年女子3m飛板飛込
	2018年度関東学生水球リーグ	男子	2位	1部
	第94回日本学生選手権大会水泳競技大会水球競技	男子	3位	
漕艇部	第40回全日本軽量級選手権大会	柴田知実	7位	女子シングルスカル
	第45回全日本大学選手権大会	棚橋・柴田	6位	女子ダブルスカル
	第68回東日本選手権競漕大会	棚橋・柴田	3位	女子ダブルスカル
男子ソフトボール部	関東学生ソフトボール秋季リーグ戦	団体	準優勝	II部
女子ソフトボール部	関東学生ソフトボール春季リーグ戦	団体	II部4位	II部
体操部	2018年度第24回全日本ラート競技選手権大会	松浦佑希	1位 2位	女子個人総合、跳躍 斜転
		瓜兼汐里	3位 4位	斜転 女子個人総合、直転
	第14回全日本学生ラート競技選手権大会	Aチーム	1位	規定演技
		富名腰真子	1位 2位	女子規定個人総合、斜転 直転
		瓜兼汐里	2位 1位	女子規定個人総合、斜転 直転、跳躍
		山田光穂	3位	女子規定個人総合、直転、斜転
体操競技部	2018 FIG種目別チャレンジカップ・ポルトガル大会	前田航輝	3位	男子あん馬
	第57回NHK杯体操	小森敬介	1位	男子跳馬
	第72回全日本学生体操競技選手権大会	小畠廉生 男子 女子	1位 6位 4位	鉄棒 団体総合 団体総合
	東日本学生体操競技選手権大会	男子 女子	4位 3位	団体総合 団体総合
	第67回関東甲信越大学体育大会	男子 女子	1位 1位	団体総合 団体総合
	卓球部	第88回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)	男子 女子	3位 ベスト16
平成30年度関東学生卓球選手権大会		坪井勇磨 田口瑛美子	準優勝 準優勝	男子シングルス 女子シングルス
平成30年度秋季関東学生卓球リーグ戦		男子 女子	1部7位 2部3位	
第67回関東甲信越大学体育大会		男子	準優勝	
ダンス部	第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)	団体		文部科学大臣賞
	アーティストikum-メント イン・トヤマ2018	団体	特別賞	
トライアスロン部	第34回全日本トライアスロン宮古島大会	小嶋岳	5位	
	第11回日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会	宮崎集	2位	
	2018関東学生トライアスロン選手権那須塩原大会	女子団体 宮崎集	4位 5位	

軟式庭球部	東都大学ソフトテニス秋季リーグ	男子 女子	5位 4位	
	第67回関東甲信越大学体育大会	女子 井出・田村 射場・高杉	3位 優勝 準優勝	男子ダブルス 女子ダブルス
馬術部	全日本学生馬術三大大会2018	勝田祥	4位	MD障害馬術競技
	第39回全日本ヤング総合馬術大会2018	佐々木拓真	7位	EV100
	第10回北関東学生馬術大会	団体	1位	
男子バスケットボール部	第70回全日本大学バスケットボール選手権大会	団体	4位	
	第67回関東大学バスケットボール選手権大会	団体	優勝	
	第94回関東大学バスケットボールリーグ戦	団体	4位	1部
	第67回関東甲信越大学体育大会	団体	優勝	
女子バスケットボール部	第70回全日本大学バスケットボール選手権大会	団体	4位	
	第52回関東大学女子バスケットボール選手権大会	団体	優勝	
	第35回バスケットボール秋季Jr.大会	団体	準優勝	
	第67回関東甲信越大学体育大会	団体	優勝	
バドミントン部	第69回全日本学生バドミントン選手権大会	女子団体 香山未帆 男子団体	優勝 優勝 3位	5連覇 女子シングルス
	第61回東日本学生バドミントン選手権大会	女子団体 香山未帆 安田美空 香山・保田	優勝 優勝 準優勝 優勝	女子シングルス 女子シングルス 女子ダブルス
	平成30年度関東大学バドミントン春季リーグ戦	女子団体 男子団体	優勝 5位	1部 1部
男子バレーボール部	第71回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 (ミキプルンスパーカレッジバレー2018)	団体	ベスト8	
	平成30年度春季関東大学1部バレーボールリーグ戦	団体	2位	
	平成30年度秋季関東大学1部バレーボールリーグ戦	団体	3位	
	第67回関東甲信越大学体育大会	団体	優勝	
女子バレーボール部	第71回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 (ミキプルンスパーカレッジバレー2018)	団体	優勝	
	第37回東日本バレーボール大学選手権大会	団体	優勝	
	平成30年度春季関東大学1部バレーボールリーグ戦	団体	3位	
	第67回関東甲信越大学体育大会	団体	準優勝	
男子ハンドボール部	(高松宮記念杯男子)第61回全日本学生ハンドボール選手権大会	団体	ベスト8	
	平成30年度関東学生ハンドボール春季リーグ戦	団体	2位	1部
	平成30年度関東学生ハンドボール秋季リーグ戦	団体	優勝	1部
女子ハンドボール部	(高松宮記念杯女子)第54回全日本学生ハンドボール選手権大会	団体	3位	
	平成30年度関東学生ハンドボール春季リーグ戦	団体	3位	1部
	平成30年度関東学生ハンドボール秋季リーグ戦	団体	3位	1部

フイールドホッケー部	平成30年度関東学生ホッケー春季リーグ戦	男子	4位	3部
	平成30年度関東学生ホッケー秋季リーグ戦	男子	3位	3部
ライフセービング部	第31回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会	古川・深澤・福島	2位	SERC
	第33回全日本ライフセービング学生選手権大会	土肥はづき	3位	女子サーフスキー
	全日本ライフセービング種目別選手権大会	古川萌子	8位	ホーンウーマン
ラグビー部	平成30年度関東大学春季大会	団体	1位	Bグループ
	2018年度関東大学対抗戦	団体	5位	Aグループ
	第40回関東大学ジュニア選手権大会	団体	3位	カテゴリー2
男子ラクロス部	第31回関東学生ラクロスリーグ	団体	3位	2部Aブロック
女子ラクロス部	第31回関東学生ラクロスリーグ	団体	4位	3部Bブロック
陸上競技部	第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会	吉田唯莉	優勝	女子100mH
	天皇賜杯第87回日本学生陸上競技対校選手権大会	男子 女子 山下潤 剣持クリア 江原宇宙	総合3位 総合優勝 優勝 優勝 優勝	男子200m 女子三段跳 女子ハンマー投
	2018日本学生陸上競技個人選手権大会	桑添友花	優勝	女子やり投
	第97回関東学生陸上競技対校選手権大会	男子1部 男子3部 女子1部 女子2部	5位 優勝 優勝 3位	
	第67回関東甲信越大学体育大会	男子 女子	総合優勝 総合優勝	

【体育系・同好会】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
剣道同好会	第67回関東甲信越大学体育大会	松井貴宏	5位	男子個人戦
サッカー同好会	スポーツマネジメント オータムカップ	団体	準優勝	
トランポリン同好会	第53回全日本学生トランポリン競技選手権大会	女子団体	3位	Cクラス
バドミントン同好会	第38回UBSシングルス大会	猪俣笙子 櫻井幸穂	1位 2位	女子Bランク 女子Bランク
	第39回UBSダブルス大会	青山・堀江	2位	男子Cランク
	第31回UBSミックス大会	日向・酒井 鈴木・藤田 後藤・河野	1位 2位 2位	Aランク Aランク Bランク
医学アイスホッケー部	第61回東日本医科学生総合体育大会	団体	準優勝	
医学弓道部	第61回東日本医科学生総合体育大会	海老原賢治 塚崎榮里子	5位 6位	男子個人戦 女子個人戦
	第49回東日本看護学生弓道大会	沼田幸樹	3位	男子個人戦
	第14回花弓大会	団体 五十嵐ももな	優勝 準優勝	女子個人戦
	第37回関東医学部予科学生弓道大会	岸本巧実	3位	男子個人戦
医学剣道部	看護学生交流剣道大会	富永涼風 女子団体Aチーム	優勝 ベスト8	女子個人戦
	春季関東医科系大学女子剣道大会	女子団体Aチーム	3位	

医学硬式庭球部	第61回東日本医科学生総合体育大会	男子団体 女子団体	準優勝 4位	
	関東医科歯科リーグ春季団体戦	男子 女子	1部2位 3部1位	
医学ゴルフ部	第61回東日本医科学生総合体育大会	男子団体 女子団体	1位 3位	
	全日本医科大学ゴルフ連盟秋季大会	男子団体	1位	
医学サッカー部	第61回東日本国公立医科学生サッカー大会	団体	準優勝	
	関東医歯薬獣大学春期リーグ	団体	準優勝	
医学準硬式野球部	第61回東日本医科学生総合体育大会	団体	3位	
医学水泳部	第61回東日本医科学生総合体育大会	女子	総合4位	
	第67回関東甲信越大学体育大会	男子 女子	総合2位 総合優勝	
	東日本医歯薬看護学生水泳競技大会	女子	総合2位	
医学スキー部	第46回関東中部国公立十大学医学部対抗スキー大会	寺門咲歩 丸山夏樹	1位 6位	女子総合 男子総合
医学ソフトテニス部	第61回東日本医科学生総合体育大会	女子団体	4位	
医学卓球部	第61回東日本医科学生総合体育大会	男子団体 川島・銭	4位 3位	女子ダブルス
医学バスケットボール部	全日本医科学生総合体育大会	女子	優勝	
	第61回東日本医科学生総合体育大会	女子	準優勝	
医学バドミントン部	第61回東日本医科学生総合体育大会	男子団体 女子団体 石井・入江	準優勝 3位 優勝	男子ダブルス
	関東医科リーグ	男子団体	優勝	1部
	関東医科リーグ	女子団体	優勝	2部
医学バレーボール部	第61回東日本医科学生総合体育大会	男子団体	優勝	
	関東医歯薬秋季リーグ	男子団体	1部3位	
医学ハンドボール部	関東医歯薬獣系大学秋期大会	女子部	3位	
医学ヨット部	第61回東日本医科学生総合体育大会	団体	4位	
	関東医科歯科学生ヨットレース	団体	3位	
	北日本医科学生総合体育大会	団体	優勝	
医学ラグビー部	第66回関東医歯薬ラグビーリーグ	団体	優勝	I部
医学陸上競技部	第61回東日本医科学生総合体育大会	男子 女子	総合2位 総合2位	
	第72回全関東医歯薬獣医科大学対抗陸上競技大会	男子 女子	総合優勝 総合優勝	
	第35回関東医科大学陸上競技大会	男子 女子	総合優勝 総合優勝	

【一般学生団体】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
麻雀同好会	第5回麻雀王国杯学生麻雀甲子園	団体	優勝	
カヌークラブ	世界学生カヌースプリント選手権大会（ハンガリー）	八角周平	7位	男子1000m
	第54回全日本学生カヌー選手権大会	八角周平	2位 4位	男子1000m 男子200m

(9)就職等

ア 国家試験等

(ア) 医師国家試験

第113回医師国家試験

試験日	平成31年2月9日(土)～10日(日)
受験者数	121名
合格者数	117名
合格率(%)	96.7%

[過去5年の合格率の推移]

第109回	第110回	第111回	第112回	第113回
96.2%	94.1%	98.2%	94.3%	96.7%

(イ) 司法試験

年度	受験者	短答式筆記試験合格者	最終合格者	合格率(%)
30	76	46	10	13.2%

(ウ) 国家公務員採用総合職試験

平成30年度試験結果				
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	3 (2)	0 (0)	0 (0)
政治・国際	大卒	11 (3)	1 (0)	0 (0)
法律	大卒	26 (14)	3 (2)	0 (0)
経済	大卒	10 (1)	5 (0)	3 (0)
人間科学	院卒	13 (6)	11 (5)	6 (2)
	大卒	6 (6)	0 (0)	0 (0)
工学	院卒	12 (2)	9 (1)	5 (0)
	大卒	17 (3)	1 (0)	0 (0)
数理学・物理・地球科学	院卒	8 (1)	2 (0)	0 (0)
	大卒	8 (0)	2 (0)	1 (0)
化学・生物・薬学	院卒	6 (0)	1 (0)	1 (0)
	大卒	7 (2)	1 (0)	1 (0)
農業科学・水産	院卒	7 (4)	5 (3)	3 (2)
	大卒	7 (3)	3 (1)	1 (0)
農業農村工学	院卒	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	大卒	1 (0)	1 (0)	1 (0)
森林・自然環境	院卒	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	大卒	7 (2)	3 (0)	2 (0)
合計		150 (50)	49 (13)	26 (5)
合格率			32.7%	17.3%

前年度試験結果				
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	7 (3)	2 (1)	0 (0)
政治・国際	大卒	13 (8)	1 (1)	0 (0)
法律	大卒	32 (17)	1 (1)	0 (0)
経済	大卒	7 (3)	1 (1)	0 (0)
人間科学	院卒	14 (3)	11 (1)	3 (1)
	大卒	10 (7)	1 (1)	1 (1)
工学	院卒	19 (3)	10 (1)	3 (0)
	大卒	11 (1)	1 (1)	1 (1)
数理学・物理・地球科学	院卒	10 (0)	0 (0)	0 (0)
	大卒	9 (1)	3 (0)	1 (0)
化学・生物・薬学	院卒	5 (1)	1 (0)	1 (0)
	大卒	6 (3)	0 (0)	0 (0)
農業科学・水産	院卒	6 (3)	3 (1)	3 (1)
	大卒	12 (7)	4 (2)	2 (2)
農業農村工学	院卒	2 (2)	2 (2)	1 (1)
	大卒	1 (0)	0 (0)	0 (0)
森林・自然環境	院卒	6 (3)	2 (1)	2 (1)
	大卒	13 (3)	2 (0)	2 (0)
合計		183 (68)	45 (14)	20 (8)
合格率			24.6%	10.9%

注) 人事院からの資料に基づき集計したもので、既卒者を含み、()内は女子を内数で示す。

[過去5年の合格状況の推移]

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
志願者数	196	200	209	183	150
合格者数	18	22	31	20	26

(工) 地方公務員上級採用試験

都道府県	受験者	合格者	都道府県	受験者	合格者
北海道			山口県	0	0
青森県	2	2	徳島県		
岩手県	3	0	香川県		
宮城県	4	1	愛媛県		
秋田県	3	1	高知県	0	0
山形県	3	1	福岡県	0	0
福島県	4	1	佐賀県	2	0
茨城県	67	21	長崎県	2	1
栃木県	6	1	熊本県	2	0
群馬県	12	6	大分県	3	2
埼玉県			宮崎県	3	1
千葉県			鹿児島県	3	1
東京都			沖縄県		0
神奈川県	14	1	札幌市	5	2
新潟県	3	1	仙台市	4	0
富山県	2	1	さいたま市		2
石川県	2	1	千葉市		0
福井県	1	0	特別区		
山梨県			横浜市	24	5
長野県			川崎市	9	1
静岡県			相模原市	2	0
愛知県	4	2	新潟市		
岐阜県			静岡市	3	1
三重県	2	1	浜松市	2	1
滋賀県	0	0	名古屋市		
京都府	0	0	京都市	4	1
大阪府	5	0	大阪市		
兵庫県	2	0	堺市		
奈良県	0	0	神戸市		
和歌山県	1	1	岡山市	0	0
鳥取県	1	0	広島市		
島根県			北九州市	0	0
岡山県			福岡市	3	1
広島県	0	0	熊本市		
			合計	212	61
			昨年度	223	60

- 注) 1. 重複受験者及び重複合格者を含む。
 2. 各都道府県市人事委員会への照会を集計したものである。
 3. 既卒者を含む。
 4. 空白は不明

〔過去5年の合格者数の推移〕

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
120	116	79	60	61

(才) 公立学校教員採用試験

都道府県	受験者	合格者	都道府県	受験者	合格者
北海道	19	4	山口県	5	0
青森県	7	2	徳島県	3	1
岩手県	9	2	香川県	10	1
宮城県	3	2	愛媛県	1	0
秋田県	11	2	高知県	5	0
山形県			福岡県	13	6
福島県	20	1	佐賀県	5	1
茨城県	118	52	長崎県	5	1
栃木県	27	10	熊本県	8	1
群馬県	30	5	大分県	7	2
埼玉県	33	9	宮崎県	9	1
千葉県	47	17	鹿児島県	5	2
東京都	98	26	沖縄県	17	3
神奈川県	33	10	札幌市	1	1
新潟県	7	1	仙台市	5	1
富山県	11	2	さいたま市	0	0
石川県			千葉市	千葉県と共通	千葉県と共通
福井県	7	2	横浜市	13	3
山梨県	13	3	川崎市	5	3
長野県	21	12	相模原市	1	0
静岡県	21	6	新潟市	0	0
愛知県			静岡市	1	0
岐阜県	7	2	浜松市	1	0
三重県	9	0	名古屋市	2	0
滋賀県	5	3	京都市	2	1
京都府	5	2	大阪市	4	0
大阪府	18	3	堺市	0	0
兵庫県	8	1	神戸市	3	0
奈良県	7	1	岡山市	1	0
和歌山県	5	2	広島市	広島県と共通	広島県と共通
鳥取県	2	0	北九州市	0	0
島根県	4	0	福岡市		
岡山県	5	0	大阪府豊能地区	0	0
広島県	9	0	熊本市	1	1
			合計	752	211
			昨年度	778	186

- 注) 1. 重複受験者及び重複合格者を含む。
 2. 各都道府県市教育委員会への照会を集計したものである。
 3. 既卒者を含む。
 4. 空白は不明

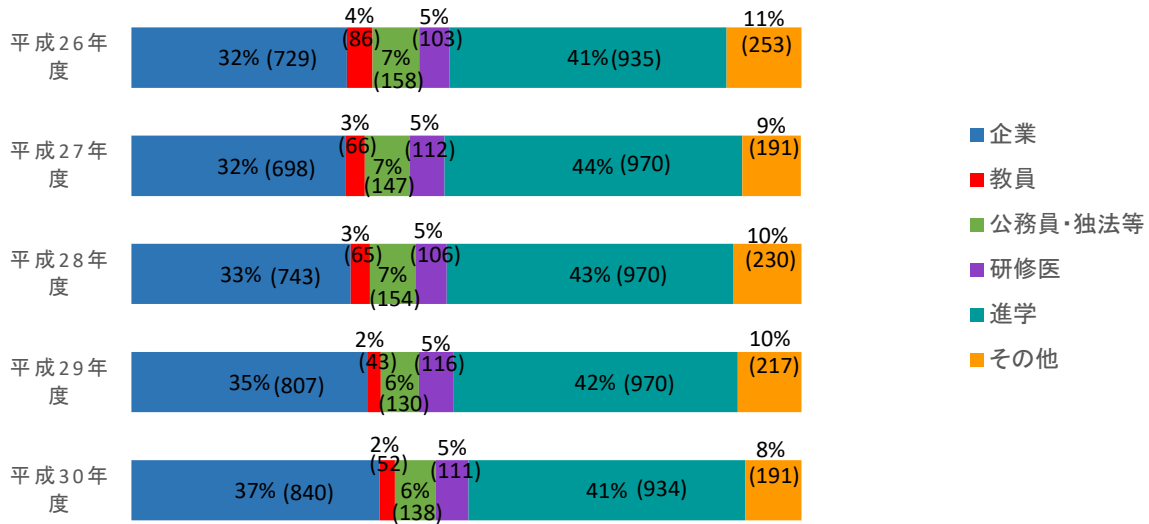
〔過去5年の合格者数の推移〕

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
227	215	199	186	211

イ 就職

(ア) 学 群

① 進路(就職)の推移



② 平成30年度学群・学類卒業生進路状況

(令和元年5月1日現在)

学群・学類	卒業生	進学者	就職者	就職者の内訳					その他		
				企業	教員	公務員	独法等	研修医	研究生等・留学	資格・試験等準備 他	
人文・文化学群	人文学類	124 (55)	19 (8)	89 (42)	66 (35)	3 (1)	18 (5)	2 (1)		1	15 (5)
	比較文化学類	66 (43) [1] (1)	11 (4)	47 (33)	40 (26)	1 (1)	5 (5)	1 (1)		1 (1)	7 (5) [1] (1)
	日本語・日本文化学類	44 (31) [1]	9 (5) [1]	28 (24)	20 (17)	4 (4)	4 (3)				7 (2)
社会学群・国際	社会学類	97 (41) [9] (4)	5 [2]	72 (33)	52 (25)		19 (8)	1			20 (8) [7] (4)
	国際総合学類	101 (64) [13] (9)	7 (5) [1]	80 (49) [3] (1)	69 (42) [3] (1)	1 (1)	8 (5)	2 (1)			14 (10) [9] (8)
人間学群	教育学類	36 (16)	9 (4)	24 (11)	15 (6)	8 (4)	1 (1)				3 (1)
	心理学類	60 (39) [3] (3)	17 (10) [2] (2)	33 (24)	27 (19)		5 (5)	1			10 (5) [1] (1)
	障害科学類	35 (28)	9 (6)	22 (18)	16 (14)	3 (3)	3 (1)			1 (1)	3 (3)
生命環境学群	生物学類	102 (47) [12] (6)	72 (28) [7] (3)	18 (13)	14 (10)		3 (2)	1 (1)		1	11 (6) [5] (3)
	生物資源学類	141 (76) [11] (8)	92 (47) [5] (3)	37 (21)	28 (17)		7 (4)	2		2 (2) [1] (1)	10 (6) [5] (4)
	地球学類	56 (14) [2]	43 (11) [2]	12 (3)	9 (2)		2	1 (1)			1
理工学群	数学類	40 (4)	18 (2)	20 (1)	14 (1)	4	2				2 (1)
	物理学類	61 (8)	43 (4)	14 (2)	11 (1)	2		1 (1)		1 (1)	3 (1)
	化学類	54 (13)	43 (6)	10 (7)	10 (7)						1
	応用理工学類	128 (16) [4] (1)	108 (11) [4] (1)	15 (5)	14 (5)		1			1	4
	工学システム学類	136 (9) [3]	119 (7) [3]	15 (2)	14 (2)			1			2
	社会工学類	115 (23) [2] (2)	77 (10)	33 (9)	28 (7)		3 (1)	2 (1)			5 (4) [2] (2)
情報学群	情報科学類	109 (8) [1]	69 (1) [1]	39 (7)	38 (7)		1				1
	情報メディア創成学類	55 (13)	29 (2)	25 (11)	24 (11)		1				1
	知識情報・図書館学類	120 (66)	16 (4)	93 (60)	76 (44)	1 (1)	13 (12)	3 (3)			11 (2)
医学群	医学類	114 (43)		111 (42)					111 (42)		3 (1)
	看護学類	78 (76)	4 (4)	69 (67)	57 (55)	6 (6)	6 (6)				5 (5)
	医療科学類	42 (27) [1]	23 (9) [1]	17 (16)	15 (14)		2 (2)				2 (2)
体育専門学群	248 (81)	57 (22)	165 (48)	132 (40)	19 (5)	14 (3)				26 (11)	
芸術専門学群	104 (81)	35 (25)	53 (43)	51 (41)		2 (2)				16 (13)	
学群合計	2,266 (922) [63] (34)	934 (235) [29] (9)	1,141 (591) [3] (1)	840 (448) [3] (1)	52 (26)	120 (65)	18 (10)	111 (42)	8 (5) [1] (1)	183 (91) [30] (23)	

(注) ()内は、女子を内数で示す
[]は、留学生を内数で示す
< >は留学生のうち女子を内数で示す

平成29年度卒業生

学群合計	2,283 (914) [81] (46)	970 (289) [42] (28)	1,096 (531) [12] (6)	807 (391) [12] (6)	43 (17)	115 (73)	15 (10)	116 (40)	12 (2) [1]	205 (92) [26] (12)
------	--------------------------	------------------------	-------------------------	-----------------------	---------	----------	---------	----------	---------------	-----------------------

③ 産業分類別進路状況 (学群)

(令和元年5月1日現在)

学群・学類	企業 (自営業を含む)											公務員					合計	平成29年度最終 (同期)			
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・ 砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・ 熱供給	運輸・通信業	卸売・小売業・ 飲食店	金融・保険業	不動産業・ 物品賃貸業	サービス業	分類不能産業	小計	教員			国家公務員 (国大法除)	独立行政法人等	地方公務員
人文・文化学群	人文学類				3	15			5	14	1	3	25	66	3	3	2	15	20	89	75
	比較文化学類				3	7			3	5	4	2	16	40	1		1	5	6	47	67
	日本語・日本文化学類				2	2				1	1		14	20	4			4	4	28	30
社会学群	社会学類				5	9			4	4	10	1	19	52		7	1	12	20	72	78
	国際総合学類					12	1		6	4	12		34	69	1	4	2	4	10	80	73
人間学群	教育学類					2	1				1		11	15	8			1	1	24	22
	心理学類				1	6				5	1		14	27		2	1	3	6	33	30
	障害科学類				1	2	1	1					11	16	3			3	3	22	17
生命環境学群	生物学類					5				1	1		7	14		2	1	1	4	18	16
	生物資源学類	1				10			1	3	2		11	28		1	2	6	9	37	29
	地球学類				1	1			1	1			5	9		1	1	1	3	12	14
理工学群	数学類					2					4		8	14	4			2	2	20	12
	物理学類												11	11	2		1		1	14	7
	化学類					2							8	10						10	11
	応用理工学類					4				2	1		7	14		1			1	15	17
	工学システム学類					4	1		4	1			4	14			1		1	15	10
	社会工学類					2				2	2	1	5	16			2	3	5	33	51
情報学群	情報科学類					6			3	1	2		26	38				1	1	39	24
	情報メディア創成学類					1			5	1			17	24				1	1	25	31
	知識情報・図書館学類				1	10	1		5	6	6	1	46	76	1	1	3	12	16	93	77
医学群	医学類																				
	看護学類					2							55	57	6			6	6	69	68
	医療科学類												15	15				2	2	17	14
体育専門学群					7	30	2	10	8	19	8	48	132	19			14	14	165	161	
芸術専門学群					7	12		2	7	1	1	21	51		1		1	2	53	46	
学群合計	1				33	144	7	52	66	67	21	449	840	52	23	18	97	138	1030	980	
平成29年度最終 (同期)					20	147	7	39	51	84	22	437	807	43	16	15	99	130	980	(491)	

(注) () 内は女子を内数で示す

(イ) 大学院

① 平成30年度修了者の進路状況

(令和元年5月1日現在)

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳				研究員	その他			
				企業	教員	公務員	独法等		職務復帰	帰国	研究生等・留学	資格・試験等準備等
教 育	106 (41) [6] (5)	5 (2) [2] (2)	60 (17) [1] (1)	7 (2) [1] (1)	53 (15)				13 (7)	3 (2) [3] (2)	2 (2)	23 (11)
人 文 社 会 科 学 (修士課程)	49 (27) [40] (21)	11 (7) [9] (5)	9 (6) [3] (2)	7 (5) [3] (2)		1	1 (1)		17 (10) [17] (10)	11 (4) [11] (4)		1
人 文 社 会 科 学 (博士前期課程)	82 (57) [54] (38)	8 (4) [2] (1)	33 (24) [19] (14)	26 (19) [19] (14)	2 (1)	4 (3)	1 (1)			33 (23) [33] (23)		8 (6)
ビ ジ ネ ス 科 学 (博士前期課程)	61 (17)	1 (1)							59 (16)			1
ビ ジ ネ ス 科 学 (専門職学位課程)	30 (10) [1] (1)								28 (8)	1 (1) [1] (1)		1 (1)
数 理 物 質 科 学 (博士前期課程)	263 (29) [26] (4)	48 (3) [13] (2)	203 (24) [7] (2)	187 (21) [7] (2)	8 (3)	3	5		1	4 [4]		7 (2) [2]
シ ス テ ム 情 報 工 学 (博士前期課程)	482 (82) [113] (45)	42 (9) [21] (8)	392 (59) [59] (25)	380 (56) [59] (25)		7 (2)	5 (1)	1 (1)	5 (1)	32 (11) [32] (11)		10 (1) [1] (1)
生 命 環 境 科 学 (博士前期課程)	298 (139) [111] (59)	44 (15) [17] (8)	167 (78) [17] (11)	137 (66) [16] (11)	2 (1)	18 (6) [1]	10 (5)	2 (1) [2] (1)	23 (11) [23] (11)	48 (26) [48] (26)		14 (8) [4] (2)
人 間 総 合 科 学 (修士課程)	95 (54) [16] (13)	17 (9) [7] (6)	44 (22) [6] (4)	41 (20) [5] (3)		1 (1)	2 (1) [1] (1)		26 (15)	1 (1) [1] (1)	1 (1)	6 (6) [2] (2)
人 間 総 合 科 学 (博士前期課程)	340 (195) [57] (39)	53 (28) [9] (7)	157 (92) [16] (13)	120 (70) [16] (13)	27 (14)	8 (7)	2 (1)	2 (1) [2] (1)	54 (35) [1] (1)	29 (18) [28] (17)		45 (21) [1]
図 書 館 情 報 メ デ ィ ア (博士前期課程)	58 (28) [14] (9)	7 (4) [4] (2)	44 (19) [9] (6)	42 (19) [9] (6)			2		3 (2)	1 (1) [1] (1)		3 (2)
グ ロー バ ル 教 育 院 (博士前期課程)	14 (8) [11] (7)	5 (2) [4] (2)	2 (2) [1] (1)	2 (2) [1] (1)						4 (2) [4] (2)		3 (2) [2] (2)
修士合計	1,878 (687) [449] (241)	241 (84) [88] (43)	1,111 (343) [138] (79)	949 (280) [136] (78)	92 (34)	42 (19) [1]	28 (10) [1] (1)	5 (3) [4] (2)	229 (105) [41] (22)	167 (89) [166] (88)	3 (3)	122 (60) [12] (7)

(注) 1 ()内は女子を内数で示す

2 []は、留学生を内数で示す ()は留学生のうち女子を内数で示す

平成29年度修了者

修士合計	1,805 (647) [424] (221)	205 (80) [76] (34)	1,087 (339) [145] (75)	932 (276) [141] (71)	77 (32) [1] (1)	58 (22) [2] (2)	20 (9) [1] (1)	4 [1]	197 (78) [11] (6)	181 (97) [179] (96)	6 (3) [1] (1)	125 (50) [11] (9)
------	----------------------------	-----------------------	---------------------------	-------------------------	--------------------	--------------------	-------------------	----------	----------------------	------------------------	------------------	----------------------

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳				研究員	博士特別研究員	その他			
				企業	教員	公務員	独法等			職務復帰	帰国	研究生等・留学	資格・試験等準備等
人文社会科学 (一貫制博士課程)	14 (9) [7] (6)		5 (2) [2] (2)		5 (2) [2] (2)			2 (1) [1]	1 (1) [1] (1)	1 (1) [2] (2)	2 (2) [2] (2)		3 (2) [1] (1)
人文社会科学 (博士後期課程)	20 (10) [12] (8)		4 (3) [2] (2)		2 (1)		2 (2) [2] (2)			4 (1) [10] (6)	10 (6) [6]		2
ビジネス科学 (博士後期課程)	12 (4)								1 (1)	11 (3)			
ビジネス科学 (専門職学位課程)	21 (6)									16 (2)			5 (4)
数理解物質科学 (博士後期課程)	66 (7) [14] (3)		25 (2) [6] (1)	20 (1) [4] (1)	4 (1) [2]		1	8 (2) [1] (1)	9 (1) [1] (1)	17 (2) [2]	4 [4]		3
数理解物質科学 (3年制博士課程)	9 (3) [6] (2)		3 (1) [1]	1 (1)	1		1 [1]	4 (1) [3] (1)			2 (1) [2] (1)		
システム情報工学 (博士後期課程)	47 (5) [14] (2)	1	11 (3) [3] (1)	9 (3) [3] (1)			2	9 (1) [4] (1)	2 (1)	15	6 [6]		3 [1]
生命環境科学 (一貫制博士課程)	2 (1) [1] (1)		1 (1) [1] (1)	1 (1) [1] (1)									1
生命環境科学 (博士後期課程)	104 (36) [51] (21)		18 (8) [4] (2)	8 (4) [2] (1)	2 (1)	1 (1) [1] (1)	7 (2) [1]	12 (3) [5] (1)	7 (2) [4] (1)	32 (8) [7] (4)	30 (13) [30] (13)		5 (2) [1]
生命環境科学 (3年制博士課程)	4 (3) [1] (1)									4 (3) [1] (1)			
人間総合科学 (一貫制博士課程)	66 (20) [16] (8)		34 (8) [6] (4)	30 (6) [4] (3)	1	2 (1) [2] (1)	1 (1)	4 (1) [2]	1 (1) [1] (1)	21 (8) [2] (1)	5 (2) [5] (2)		1
人間総合科学 (博士後期課程)	53 (25) [5] (3)		23 (14) [2] (1)	4 (3) [1]	17 (10) [1] (1)	1 (1)	1	7 (2) [2] (2)	5 (3) [1]	13 (3)			5 (3)
人間総合科学 (3年制博士課程)	47 (17) [2] (2)		25 (7)	7 (3)	17 (4)	1		10 (4) [2] (2)	1 (1)	7 (3)		1	3 (2)
図書館情報メディア (博士後期課程)	6 (2) [1]		1 (1)	1 (1)						2	1 [1]		2 (1)
グローバル教育院 (一貫制博士課程)	20 (7) [7] (3)		12 (4) [1]	9 (2) [1]	2 (1)		1 (1)	4 (1) [3] (1)		1	3 (2) [3] (2)		
グローバル教育院 (博士後期課程)	7 (1) [2]		1 [1]				1 [1]	1 [1]		5 (1)			
博士合計	498 (156) [139] (60)	1	163 (54) [29] (14)	90 (25) [16] (7)	51 (20) [5] (3)	5 (3) [3] (2)	17 (6) [5] (2)	61 (16) [24] (9)	27 (11) [8] (4)	149 (35) [12] (6)	63 (26) [63] (26)	1	33 (14) [3] (1)

(注) 1 ()内は女子を内数で示す

2 []は、留学生を内数で示す ()は留学生のうち女子を内数で示す

平成29年度修了者

博士合計	466 (158) [129] (67)	6 (2) [3] (2)	171 (53) [36] (17)	86 (18) [15] (7)	49 (21) [7] (3)	7 (1) [1]	29 (13) [13] (7)	49 (10) [9] (3)	17 (8) [7] (4)	131 (35) [5] (2)	68 (39) [67] (38)	1	23 (11) [2] (1)
------	-------------------------	------------------	-----------------------	---------------------	--------------------	--------------	---------------------	--------------------	-------------------	---------------------	----------------------	---	--------------------

② 産業分類別進路状況 (大学院)

(令和元年5月1日現在)

研究科	企業(自営業を含む)													公務員					合計	平成29年度最終 (同期)	
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・ 砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・ 飲食店	金融・保険業	不動産業・ 物品賃貸業	サービス業	分類不能産業	小計	教員	(国家公務員 国家公務員 (国家公務員 除)	独立行政法人等			地方公務員
教育研究科						1				1			5	7	53						60
人間総合科学研究科 (修士課程)						17	1	1			2		20	41			2	1		3	44
人文社会科学研究所 (修士課程)								1	2			4	7			1	1		2	9	
人文社会科学研究所 (博士前期課程)					1	4			6	2	1	12	26	2	3	1	1	1	5	33	
ビジネス科学研究科 (博士前期課程)									6			8	19	1	2				4	24	
数理解物科学研究所 (博士前期課程)					1	145	5	6	1	5	1	23	187	8	1	5	2	8	203		
システム情報工学研究所 (博士前期課程)			1		18	156	4	53	1	8	3	136	380		3	5	4	12	392		
生命環境科学研究科 (博士前期課程)	3				3	62	2	4	6	2	1	54	137	2	8	10	10	28	167		
人間総合科学研究科 (博士前期課程)	(1)				7	23	1	6	4	2	77	120	27	3	2	5	10	157			
図書館情報メディア研究科 (博士前期課程)					5	2	5	1		1	28	42			2			2	44		
グローバル教育院 (博士前期課程)					2							2							2		
ビジネス科学研究科 (国際経営)																				1	
修士合計	3		1		30	415	14	71	24	23	9	359	949	92	19	28	23	70	1111		
	(1)				(12)	(98)	(2)	(13)	(15)	(2)	(6)	(131)	(280)	(34)	(6)	(10)	(13)	(29)	(343)		
平成29年度最終(同期)	1	1		1	22	437	11	52	24	26	9	348	932	77	19	20	39	78	1,087		
		(1)			(9)	(97)	(2)	(13)	(11)	(5)	(3)	(135)	(276)	(32)	(7)	(9)	(15)	(31)	(339)		

研究科	企業(自営業を含む)													公務員					合計	平成29年度最終 (同期)
	農業	林業	漁業	鉱業・採石業・ 砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・ 飲食店	金融・保険業	不動産業・ 物品賃貸業	サービス業	分類不能産業	小計	教員	(国家公務員 国家公務員 (国家公務員 除)	独立行政法人等		
人文社会科学研究所 (一貫制博士課程)															5					5
人文社会科学研究所 (博士後期課程)															2		2		2	4
ビジネス科学研究科 (博士後期課程)																				
数理解物科学研究所 (一貫制博士課程)																				
数理解物科学研究所 (博士後期課程)					1	18		1					20	4	1	1		1	25	
数理解物科学研究所 (3年制博士課程)						1							1	1			1		3	
システム情報工学研究所 (一貫制博士課程)																				
システム情報工学研究所 (博士後期課程)					4							5	9			2		2	11	
生命環境科学研究科 (一貫制博士課程)					1								1						1	
生命環境科学研究科 (博士後期課程)					4						4	8	2	1	7		8	18		
生命環境科学研究科 (3年制博士課程)																				
人間総合科学研究科 (一貫制博士課程)					2				1			27	30	1	2	1		3	34	
人間総合科学研究科 (博士後期課程)					1							3	4	17		1	1	2	23	
人間総合科学研究科 (3年制博士課程)					2			1				4	7	17			1	1	25	
図書館情報メディア研究科 (博士後期課程)												1	1						1	
グローバル教育院 (一貫制博士課程)					3			1	1			4	9	2		1		1	12	
グローバル教育院 (博士後期課程)																1		1	1	
ビジネス科学研究科 (法曹)																				2
博士合計					1	36		3	2			48	90	51	3	17	2	22	163	
					(7)			(1)	(1)			(17)	(25)	(20)	(2)	(6)	(1)	(9)	(54)	
平成29年度最終(同期)					30	2	4		1			49	86	49	4	29	3	36	171	
					(8)	(1)						(9)	(18)	(21)	(13)	(1)	(14)	(53)		

(注) ()内は女子を内数で示す

6 国際交流関係

(1) 教職員等の交流

(平成30年度)

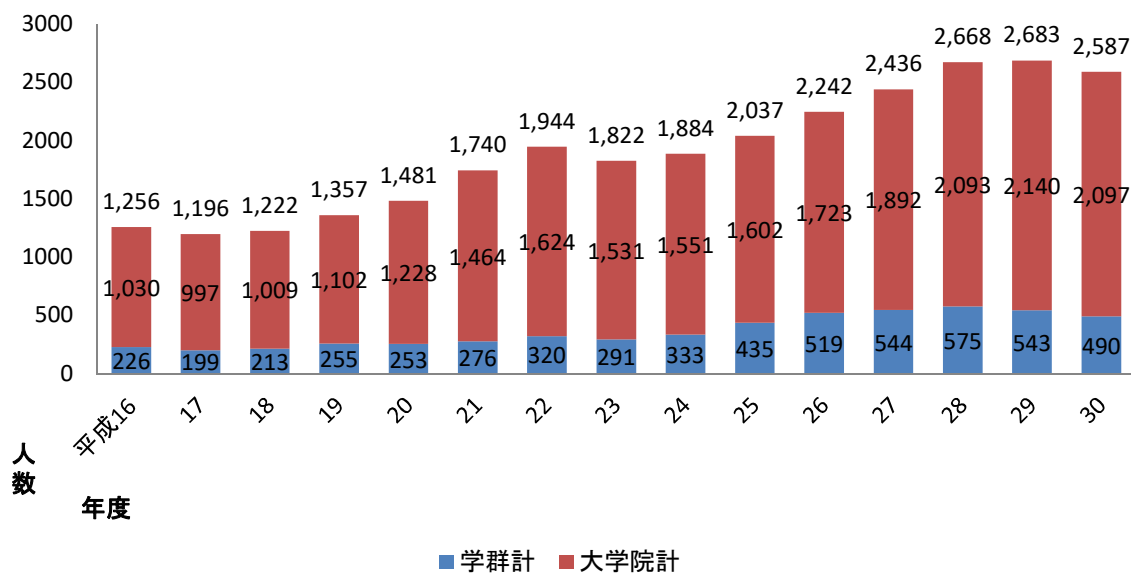
交流組織	外国人研究者の受入数										教職員等の海外派遣数							合計		
	外国人 研究員	外国人 教員	外国人の 非常勤講師	小 計	本 学 の 資 金	科 学 研 究 費 補 助 金	日 本 学 術 振 興 会	科 学 技 術 振 興 機 構	そ の 他	小 計	合 計	科 学 研 究 費 補 助 金	教 育 研 究 費	日 本 学 術 振 興 会	国 際 協 力 機 構	科 学 技 術 振 興 機 構	そ の 他			
学部	人文・文化学群	0	0	11	11	2	0	0	0	0	2	13	0	9	0	0	0	0	9	
	社会・国際学群	0	0	4	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人間学群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	
	生命環境学群	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	4	
	理工学群	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	情報学群	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	
	医学群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	15	
体育専門学群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
芸術専門学群	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
修士専門課程	教育研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4		
博士課程	人文社会科学研究科	0	0	14	14	0	3	0	0	3	17	0	7	1	0	0	0	8		
	ビジネス科学研究科	0	0	10	10	1	0	0	0	1	11	0	2	0	0	0	0	2		
	数理工学科学研究科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	6		
	システム情報工学研究科	0	0	6	6	0	0	0	0	1	7	0	21	0	1	0	0	22		
	生命環境科学研究科	0	0	9	9	9	0	0	0	8	17	26	0	42	0	3	0	3	48	
	人間総合科学研究科	0	0	9	9	8	1	0	0	17	26	35	0	49	0	0	0	75	124	
	図書館情報メディア研究科	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0		
グローバル教育院	グローバル教育院	0	62	2	64	5	0	0	0	4	9	73	0	17	0	0	0	2	19	
系	人文社会系	8	31	0	39	18	12	0	0	11	41	80	170	51	6	3	0	56	286	
	ビジネスサイエンス系	0	5	0	5	40	0	0	0	13	53	58	27	16	0	0	0	19	62	
	数理工学系	13	25	0	38	14	58	0	0	26	98	136	138	82	11	0	4	71	306	
	システム情報系	6	13	0	19	2	4	0	0	20	26	45	107	29	0	3	6	75	220	
	生命環境系	9	25	0	34	24	8	0	0	60	92	126	100	42	15	0	0	110	267	
	人間系	3	9	0	12	3	6	0	0	1	10	22	74	21	0	1	1	23	120	
	体育系	12	10	0	22	5	2	0	0	51	58	80	37	57	0	0	0	97	191	
	芸術系	1	3	0	4	3	2	0	0	19	24	28	49	23	1	0	0	20	93	
	医学医療系	9	19	0	28	14	6	0	0	25	45	73	111	47	1	1	2	158	320	
	図書館情報メディア系	1	5	0	6	1	1	0	0	9	11	17	57	26	0	0	17	16	116	
センター等	計算科学研究センター	4	3	0	7	31	4	0	0	33	68	75	46	24	2	1	12	100	185	
	下田臨海実験センター	1	0	0	1	2	3	0	0	15	20	21	0	5	0	0	0	0	5	
	遺伝子実験センター	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	26	0	1	0	1	28	
	プラズマ研究センター	1	0	0	1	0	0	0	0	32	32	33	0	7	0	0	0	0	7	
	生命領域学際研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	グローバルコミュニケーション教育センター	0	0	28	28	1	0	0	0	0	1	29	0	8	0	0	0	0	8	
	体育センター	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	アスレチックデパートメント・スポーツイノベーション開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	アドミッションセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地中海・北アフリカ研究センター	1	0	0	1	0	0	0	0	8	8	9	1	4	0	19	0	1	25	
	学術情報メディアセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	1	13	
	研究基盤総合センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	サイバニクス研究センター	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	8	0	0	1	1	10	
	アイソトープ環境動態研究センター	2	0	0	2	0	1	0	0	1	2	4	0	6	0	0	0	0	2	8
	保健管理センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	学際物質科学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	農林技術センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	山岳科学センター	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	3
	宇宙史研究センター	0	0	0	0	5	1	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	
	教育開発国際協力研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	15	
	生命科学動物資源センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	次世代医療研究開発・教育統合センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知的コミュニティ基盤研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	陽子線医学利用研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
	特別支援教育研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医療科教員養成施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	8	12
	人工知能科学センター	2	0	0	2	4	0	0	0	3	7	9	0	7	0	0	0	0	17	24
	エネルギー物質科学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ヒューマン・ハイパフォーマンス先端科学研究センター	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	
	つば機能植物イノベーション研究センター	0	0	0	0	3	0	0	0	11	14	14	0	2	0	0	0	0	3	5
つば臨床医学研究開発機構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2		
数理工学融合科学センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
生存ダイナミクス研究センター	0	2	0	2	4	0	0	0	8	12	14	2	4	0	0	0	4	10		
プレジジョン・メディシン開発研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
ヘルスサービス開発研究センター	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	3	5	
国際統合睡眠医学研究機構	10	6	0	16	0	2	0	0	9	11	27	17	1	1	0	0	14	33		
附属図書館	附属図書館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
附属病院	附属病院	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	7	0	0	0	50	59		
附属学校教育局	附属学校教育局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
附属学校	附属学校	0	1	10	11	0	0	0	0	103	103	114	0	44	0	0	0	54	98	
本部・事務・技術職他	本部・事務・技術職他	0	6	0	6	41	0	0	0	90	131	137	6	158	58	23	0	144	389	
合計		88	226	113	427	247	118	0	0	583	948	1,375	950	916	96	56	43	1,143	3,204	

(2) 学生の交流

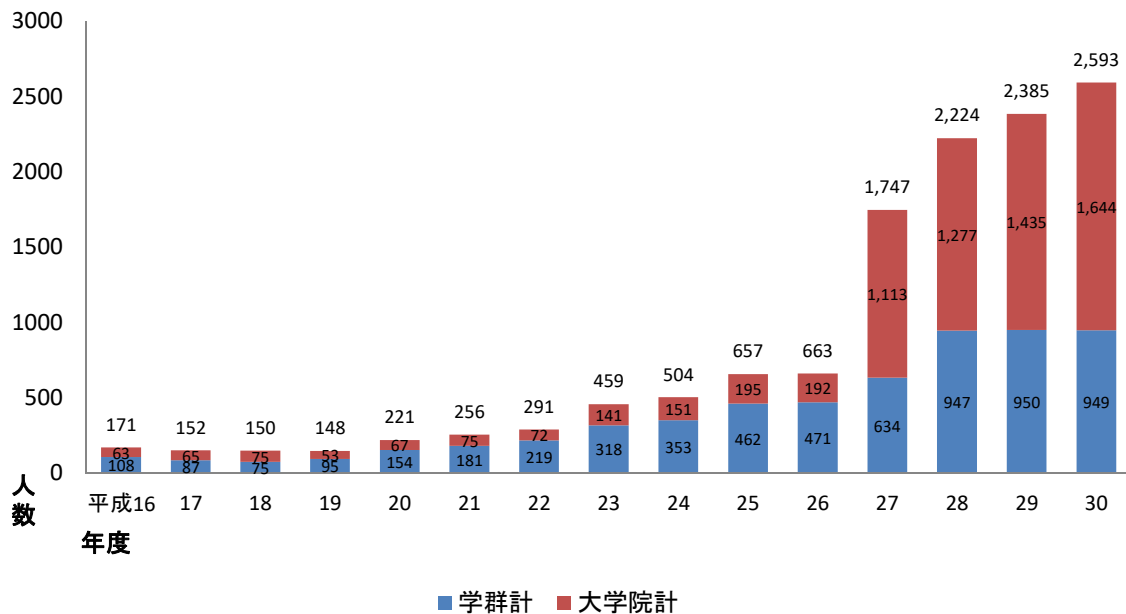
区 分		外国人留学生の受入れ数			学生の海外派遣数	合 計
		正 規 生	非 正 規 生	小 計		
人文・文化学群	人 文 学 類	3	15	18	44	62
	比 較 文 化 学 類	8	23	31	63	94
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	10	28	38	36	74
社会・国際学群	社 会 学 類	34	7	41	26	67
	国 際 総 合 学 類	38	20	58	151	209
人 間 学 群	教 育 学 類	1	1	2	7	9
	心 理 学 類	7	1	8	19	27
	障 害 科 学 類	1	1	2	13	15
生命環境学群	生 物 学 類	56	3	59	33	92
	生 物 資 源 学 類	76	26	102	80	182
	地 球 学 類	17		17	56	73
理 工 学 群	数 学 類	2		2	2	4
	物 理 学 類	7		7	9	16
	化 学 類	4		4	3	7
	応 用 理 工 学 類	19		19	20	39
	工 学 シ ス テ ム 学 類	15	1	16	37	53
	社 会 工 学 類	8	1	9	55	64
情 報 学 群	情 報 科 学 類	8	2	10	15	25
	情 報 メ テ ィ ア 創 成 学 類	6		6	26	32
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	4		4	42	46
医 学 群	医 学 類	0		0	53	53
	看 護 学 類	3		3	27	30
	医 療 科 学 学 類	6		6	13	19
体 育 専 門 学 群		1		1	70	71
芸 術 専 門 学 群		9	7	16	49	65
グローバル教育院	地球規模課題学位プログラム	11		11		11
学 群 計		354	136	490	949	1,439
修士課程	教 育 研 究 科	10	21	31	20	51
博 士 課 程	人 文 社 会 科 学 研 究 科	293	112	405	169	574
	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科			0	8	8
	数 理 物 質 科 学 研 究 科	128	45	173	192	365
	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 科	314	140	454	292	746
	生 命 環 境 科 学 研 究 科	390	89	479	310	789
	人 間 総 合 科 学 研 究 科	326	101	427	496	923
	図 書 館 情 報 シ ス テ ム 研 究 科	38	17	55	51	106
	グ ロ ー バ ル 教 育 院	69		69	81	150
博 士 課 程 小 計		1,558	504	2,062	1,599	3,661
専 門 職 学位 課 程	ビ ジ ネ ス 科 学 研 究 科	4		4	25	29
	専 門 職 学 位 課 程 小 計	4		4	25	29
大 学 院 計		1,572	525	2,097	1,644	3,741
合 計		1,926	661	2,587	2,593	5,180

(注)外国人留学生については、平成31年3月1日現在の現員を示す。

【留学生受入数の推移】(各年度3月1日現在)



【留学生派遣数の推移】(各年度延べ人数)



注：平成27年度より、学内の支援による短期海外出張等も含めた。

(3) 国際交流協定

ア 協定締結期間、交流分野等

(平成30年度)

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
中国	雲南大学	部局間	2013/3/8 ~ 2018/3/7	研究者 学生	環境科学、環境工学、生命科学、エネルギー資源及び関連分野
	河北農業大学	部局間	2017/12/12 ~ 2022/12/11	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(主に生命環境科学、食料バイオ科学、バイオ環境科学、バイオシステム科学、地域システム経済学)
	華東師範大学	全学	2017/7/25 ~ 2022/7/24	研究者 学生	全領域(特に、理学・工学、日本語・日本文化、中国語・中国文化、生命環境、体育)
	吉林大学	全学	2018/2/7 ~ 2023/2/6	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	吉林農業大学	部局間	2014/2/25 ~ 2019/2/24	研究者 学生	農業生物科学、農業経済社会学、応用生化学、生物資源環境工学、その他関連分野
	湖南大学	部局間	2016/8/22 ~ 2021/8/21	研究者 学生	人文科学及び社会科学(文学、語学、社会学、文化学、国際関係学)
	江南大学	部局間	2015/9/28 ~ 2020/9/27	研究者 学生	生物技術、生命科学分野及びその関連分野
	香港科技大学	全学	2017/9/1 ~ 2022/8/31	研究者 学生	全領域
	香港中文大学	全学	2015/2/17 ~ 2020/2/16	研究者 学生	協議により決定
	香港理工大学	部局間	2014/11/11 ~ 2019/11/10	学生	社会学全領域
	四川大学	部局間	2018/3/16 ~ 2023/3/15	研究者 学生	半導体材料とデバイス及び関連分野
	上海外国語大学	部局間	2019/3/4 ~ 2024/3/3	研究者 学生	日本語・日本文化を中心とする人文社会系分野
	上海図書館	部局間	2015/1/5 ~ 2020/1/4	研究者 学生	図書館情報学及び関連分野
	清華大学	部局間	2013/5/10 ~ 2018/5/9	研究者 学生	生命環境科学及び関連分野
	清華大学	部局間	2017/2/27 ~ 2022/2/26	研究者 学生	都市計画・建築計画
	西安外国語大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究者 学生	日本語・日本文化を中心とする人文社会系分野
	西安交通大学	全学	2013/2/21 ~ 2018/2/20	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	西北農林科技大学	部局間	2017/11/1 ~ 2022/10/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(主に生命環境科学、食料バイオ科学、バイオ環境科学、バイオシステム科学、地域システム経済学)
	蘇州大学	部局間	2017/11/13 ~ 2022/11/12	研究者 学生	体育、スポーツ科学
	大連大学	部局間	2017/2/18 ~ 2022/2/17	研究者 学生	日本語・日本文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	大連民族大学	全学	2018/3/1 ~ 2023/2/28	研究者 学生	全学
	中央美術学院	全学	2018/9/22 ~ 2023/9/21	研究者 学生	全領域(特に芸術および社会工学)
	中国科学院 地理科学・資源研究所	部局間	2012/4/1 ~ 2017/3/31	研究者 学生	生命環境科学及び関連分野
	中国科学院大学	部局間	2010/7/7 ~ 2015/7/6	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	中国科学技術大学	全学	2014/4/6 ~ 2019/4/5	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	中国原子能科学研究院	部局間	2012/8/1 ~ 2017/7/31	研究者 学生	加速器科学及び関連分野
	中国人民大学	部局間	2018/10/1 ~ 2023/9/30	研究者 学生	日本語・日本文化を中心とする人文社会系分野
	中国地質大学	部局間	2015/11/23 ~ 2020/11/22	研究者 学生	環境科学、環境工学、生命環境科学及びエネルギー資源
	中国美術学院	部局間	2018/5/19 ~ 2023/5/18	研究者 学生	芸術諸分野
	鄭州大学	部局間	2015/11/28 ~ 2020/11/27	研究者 学生	環境科学、環境工学、衛生環境医学、生命環境科学など
	東北師範大学	全学	2014/4/10 ~ 2019/4/9	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	東北大学	部局間	2017/7/1 ~ 2020/6/30	研究者 学生	経営学、経済学及び関連分野
同済大学	部局間	2015/8/1 ~ 2020/7/31	研究者 学生	環境科学、環境工学、水環境及び関連分野	
内蒙古農業科学院	部局間	2016/4/12 ~ 2021/4/11	研究者 学生	畜産学・草地学及び関連分野	
南開大学	全学	2012/12/26 ~ 2017/12/25	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域	
南京大学	部局間	2013/4/7 ~ 2018/4/6	研究者 学生	生命科学、環境科学、環境工学、生物資源、エネルギー資源及び関連分野	
南京農業大学	部局間	2014/2/1 ~ 2019/3/31	研究者 学生	農業、生命環境科学及びその関連分野	

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	復旦大学	全学	2018/9/13 ~ 2023/9/12	研究生	人文社会科学、生命環境科学、人工知能科学及び関連分野
	福建師範大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究生	日本語・日本文化を中心とする人文社会系分野
	北京航空航天大学	全学	2013/2/25 ~ 2018/2/24	研究生	両大学に共通する全ての領域
	北京師範大学	全学	2016/4/28 ~ 2021/4/27	研究生	全領域
	北京大学	全学	2016/10/12 ~ 2021/10/11	研究生	両大学におけるすべての分野
	蘭州大学	部局間	2016/8/17 ~ 2021/8/16	研究生	原子核物理学及び関連分野
	廈門大学	全学	2018/5/21 ~ 2023/5/20	研究生	両大学に共通する全ての領域
	浙江科技学院	部局間	2018/7/1 ~ 2023/6/30	研究生	両機関に共通するすべての領域(主に生命環境科学)
	浙江大学	全学	2017/11/9 ~ 2022/11/8	研究生	両大学に共通する全ての領域
	澳門大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究生	社会科学、人文科学及び関連分野
台湾	高雄医学大学	部局間	2014/9/22 ~ 2019/9/21	研究生	医学及び関連分野
	国立交通大学	部局間	2015/8/25 ~ 2020/8/24	研究生	ナノエレクトロニクス関連分野での教育及び研究
	国立交通大学	部局間	2017/8/2 ~ 2022/8/1	研究生	医学、工学
	国立彰化師範大学	部局間	2018/3/7 ~ 2023/3/6	研究生	障害科学、教育学、心理学
	国立成功大学	全学	2014/3/21 ~ 2019/3/20	研究生	全領域
	国立政治大学	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究生	人文社会科学及び関連分野(とくに、東アジア地域研究、日本語学、日本文学、国際日本研究)
	国立清華大学	全学	2017/11/29 ~ 2022/11/28	研究生	全領域
	国立台北大学	全学	2018/5/23 ~ 2023/5/22	研究生	全領域
	国立台湾科技大学	部局間	2013/9/30 ~ 2018/9/29	研究生	芸術、デザイン及び感性科学分野
	国立台湾芸術大学	部局間	2015/7/12 ~ 2020/7/11	研究生	芸術諸分野
	国立台湾師範大学	全学	2017/12/1 ~ 2022/11/30	研究生	両大学に共通するすべての分野
	国立台湾体育運動大学	全学	2016/11/19 ~ 2021/11/18	研究生	体育、医学
	国立台湾大学	全学	2012/11/16 ~ 2017/11/15	研究生	全領域
	国立台湾大学	部局間	2015/4/20 ~ 2020/4/19	学生	農学分野
	国立台湾大学	CiC	2015/9/30 ~ 2020/9/29	研究生	CiC協定における全領域
	国立防災科学技術センター	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者	気候変動予測および防災に関する影響評価
	国立屏東科技大学	部局間	2016/11/1 ~ 2021/10/31	研究生	生命環境科学
	東呉大学	全学	2016/4/23 ~ 2021/4/22	研究生	両機関に共通するすべての領域(特に人文社会科学、図書館情報メディア科学)
輔仁大学	全学	2014/4/16 ~ 2019/4/15	研究生	全分野	
韓国	ソウル市立大学校	部局間	2018/2/15 ~ 2023/2/14	研究生	都市計画、空間情報科学、建築・環境デザイン、生命環境科学に関わる分野
	ソウル大学校	部局間	2015/6/18 ~ 2020/6/17	研究生	体育・健康・スポーツ科学及び関連分野
	延世大学校	全学	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究生	両大学に共通するすべての領域
	釜山大学校	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	図書館情報学及び関連分野
	釜山大学校	部局間	2017/2/16 ~ 2022/2/15	研究生	材料科学、物理学及び関連分野
	釜山大学校	部局間	2018/8/16 ~ 2023/8/15	研究生	障害科学、教育学、心理学及びその他の関連分野
	漢陽大学校	全学	2014/1/26 ~ 2019/1/25	研究生	両機関に共通する全ての領域
	韓国科学技術院	全学	2015/6/1 ~ 2020/5/31	研究生	両機関に共通するすべての領域(主に工業デザイン、感性インターフェース、感性インタラクション、ロボット工学、情報工学、音楽情報処理)
	韓国外国語大学校	部局間	2017/10/22 ~ 2022/10/21	研究生	人文科学、社会科学、地域研究、日本語・日本文化及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	韓国教員大学校	部局間	2018/4/1 ~ 2023/3/31	研究者 研究生	教育学関連分野
	韓国国土研究院	部局間	2016/6/12 ~ 2021/6/11	研究者	都市及び地域計画及び関連分野
	啓明大学校	部局間	2017/11/1 ~ 2022/10/31	研究者 研究生	人文社会科学及び関連分野
	慶熙大学校	部局間	2014/6/17 ~ 2019/6/16	研究者 研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	弘益大学校	全学	2019/4/13 ~ 2024/4/12	研究者 研究生	両大学に共通する全ての領域
	高麗大学校	全学	2018/2/1 ~ 2023/1/31	学生	人文科学、社会科学及び自然科学全般（協議により決定）
	国立核融合研究所	部局間	2015/8/1 ~ 2020/7/31	研究者	プラズマ核融合科学
	仁荷大学校	部局間	2017/5/20 ~ 2022/5/19	研究者 研究生	日本語学、日本文学、韓国語学、韓国文学、応用言語学、比較文学、文化交流論及び関連分野
	大邱大学校	部局間	2018/8/24 ~ 2023/8/23	研究者 研究生	心身障害学、リハビリテーション科学及び関連分野
	忠南大学校	部局間	2016/12/6 ~ 2021/12/5	研究者 研究生	医学教育、医学研究、医学分野における産学連携方法についての交流
	忠南大学校	部局間	2017/3/21 ~ 2022/3/20	研究者 研究生	農学、生物学、地球環境科学及び関連分野
	梨花女子大学校	全学	2018/2/1 ~ 2023/1/31	研究者 研究生	全領域（両大学に共通する全ての分野）
インド	ジャワハルラール・ネール大学	部局間	2016/4/1 ~ 2021/3/31	研究者 研究生	日本研究、インド研究、日本語教育、英語教育を含む人文社会科学分野及び関連分野
	ハイデラバード大学	部局間	2016/12/14 ~ 2021/12/13	研究者 研究生	生物学、生命科学及び関連分野
	マドラス大学	部局間	2016/2/4 ~ 2019/2/3	研究者 研究生	陽電子消滅を用いた物性研究
	マナブラチャナ国際大学	部局間	2017/11/1 ~ 2022/10/31	研究者 研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学、スポーツ理学療法、栄養学
	青少年スポーツ省インドスポーツ協会	部局間	2018/10/29 ~ 2021/10/28	研究者	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学、オリンピック教育
インドネシア	KIBIインドネシア生命医科学団体	部局間	2018/9/21 ~ 2023/9/20	研究者 研究生	生命医科学分野
	インドネシア共和国海事調整省	全学	2019/2/14 ~ 2024/2/13	研究者	藻類科学技術および関連技術に関わる分野・領域
	インドネシア教育大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究者 研究生	心身障害学、教育学、心理学及び関連分野
	インドネシア大学	全学	2014/5/22 ~ 2019/5/21	研究者 研究生	協議により決定
	ウダヤナ大学	部局間	2013/6/1 ~ 2018/5/31	研究者 研究生	医学分野
	ガジャマダ大学	全学	2018/9/1 ~ 2023/8/31	研究者 研究生	生命環境科学分野、生命科学分野、システム情報工学分野、土木工学分野、都市地域計画分野
	バジャジャラン大学	全学	2013/8/1 ~ 2018/7/31	研究者 研究生	協議により決定
	バンドン工科大学	部局間	2013/1/27 ~ 2018/1/26	研究者 研究生	生命環境科学
	ピヌス大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究者 研究生	生命環境関連（AIMSプログラムで指定される10学問分野）
	ポゴール農科大学	部局間	2016/8/6 ~ 2021/8/5	研究者 研究生	環境科学、農学、生物工学、生命科学および関連分野
カンボジア	カンボジア王立農業大学	部局間	2010/7/1 ~ 2015/6/30	研究者 研究生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
	王立プノンベン大学	部局間	2015/6/22 ~ 2020/6/21	研究者 研究生	生物学及び環境科学
タイ	アジア工科大学院	全学	2018/9/1 ~ 2023/8/31	研究者 研究生	両機関に共通するすべての領域（主に、生命環境科学、建設工学、情報工学、社会工学、及び関連分野）
	カセサート大学	部局間	2014/2/25 ~ 2019/2/24	研究者 研究生	生命環境関連（AIMSプログラムで指定される10学問分野）
	キング・モンクット工科大学トンブリ校	部局間	2016/8/1 ~ 2021/7/31	研究者 研究生	生物資源科学、環境バイオマス共生学及び関連分野
	コンケン大学	全学	2016/10/19 ~ 2021/10/18	研究者 研究生	両機関に共通する全ての領域
	コンケン大学	部局間	2017/2/8 ~ 2022/2/7	研究者 研究生	医学
	シーナカリンウィロート大学	部局間	2014/11/9 ~ 2019/11/8	研究者 研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	スラナリー工科大学	部局間	2011/4/1 ~ 2016/3/31	研究者 研究生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
	タマサート大学	部局間	2016/9/1 ~ 2021/8/31	研究者 研究生	AIMSプログラム関連分野、主に 農業、食料科学技術、生物多様性、環境科学
	チュラロンコン大学	部局間	2016/8/9 ~ 2021/8/8	研究者 研究生	地球進化科学及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	チュラロンコン大学	部局間	2017/4/1 ~ 2022/3/31	研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	プリンスオブソクラ大学	部局間	2018/3/11 ~ 2023/3/10	研究生	物質科学、バイオマテリアル、薬学、医学及び関連分野
	プリンスオブソクラ大学	部局間	2016/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連(AIMSプログラムで指定される10学問分野)
	メーファールアン大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連(AIMSプログラムで指定される10学問分野)
	メジョ大学	部局間	2011/4/1 ~ 2016/3/31	研究生	生命環境科学
パキスタン	ベシャワール農業大学	全学	2010/11/29 ~ 2015/11/28	研究生	全領域(特に、農学や生物学関連領域を中心とした生命環境科学分野、地域研究や公共政策等の社会科学分野、システム情報工学分野)
バングラデシュ	バングラデシュ工科大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究生	土木工学、機械工学及び関連分野
	バングラデシュ農業大学	部局間	2017/10/1 ~ 2022/9/30	研究生	農学、環境科学及び関連分野
	国際下痢症研究センター	部局間	2017/6/8 ~ 2022/6/7	研究生	医学(社会医学、臨床医学、基礎医学)及び関連分野
フィリピン	セイントラサル大学	部局間	2017/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連(AIMSプログラムで指定される10学問分野)
	セントラルビコール州立農業大学	部局間	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究生	生命環境関連(AIMSプログラムで指定される10学問分野)
	セントラルルソン州立大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連(AIMSプログラムで指定される10学問分野)
	フィリピン大学	部局間	2018/6/25 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連(AIMSプログラムで指定される10学問分野)
ブルネイ	ブルネイ・ダルサラム大学	部局間	2016/4/1 ~ 2019/3/31	学生	生命環境関連(AIMSプログラムで指定される10学問分野)
ベトナム	ヴァイン大学	部局間	2015/5/25 ~ 2020/5/24	研究生	藻類バイオマスおよび藻類バイオマスに関連する基礎から応用までの分野
	サイゴンハイテクパーク	部局間	2012/1/5 ~ 2017/1/4	研究生	医学、生命科学、バイオテクノロジー
	チョライ病院	部局間	2018/9/21 ~ 2023/9/20	研究者	医学及び関連分野
	トゥイロイ大学	部局間	2014/4/1 ~ 2019/3/31	研究生	生命環境関連(AIMSプログラムで指定される10学問分野)
	ナムディン看護大学	部局間	2017/12/8 ~ 2022/12/7	研究生	両機関に共通する全ての領域
	ハノイ医科大学	部局間	2012/10/1 ~ 2017/9/30	研究生	両大学に共通するすべての分野
	ハノイ科学大学	部局間	2012/7/13 ~ 2017/7/12	研究生	生命環境系、生命環境科学研究科、医学医療系、人間総合科学研究科に共通するすべての分野
	ハノイ工科大学	部局間	2009/10/16 ~ 2014/10/15	研究生	物質科学及び関連分野
	フエ医科薬科大学	部局間	2011/4/28 ~ 2016/4/27	研究生	両大学・研究に共通する全ての領域
	ベトナム科学技術アカデミー・バイオテクノロジー研究所	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究生	両機関に共通する全ての領域
	ベトナム教育訓練省国際教育開発局	部局間	2014/4/21 ~ 2019/4/20	研究生	生命環境科学及び関連する分野全般
	ベトナム国家大学ハノイ校 工業技術大学、経済大学、 教育大学、外国語大学、 人文社会科学大学、自然科学大学、 日越大学	全学	2015/12/12 ~ 2017/6/30	研究生	全領域
	ベトナム国家大学ホーチミン校 自然科学大学、経済法科大学、 情報工科大学、国際大学、 人文社会科学大学	全学	2015/9/17 ~ 2020/9/16	研究生	両大学に共通する全ての領域
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	部局間	2013/6/3 ~ 2018/6/2	研究生	環境科学分野とその他の関連分野
	ベトナム国家農業大学	部局間	2013/12/16 ~ 2018/12/15	研究生	生命環境及び関連分野
	ベトナム国立図書館	部局間	2014/2/2 ~ 2019/2/1	研究生	図書館システム、図書館経営、図書館員養成等、図書館関連分野
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	全学	2016/1/9 ~ 2021/1/8	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ホーチミン市医科薬科大学	全学	2016/9/22 ~ 2021/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ホーチミン市医科薬科大学	部局間	~		医学、医療科学、公衆衛生学、看護学、助産学を含む、ヘルスケア分野
ホーチミン市科学技術局	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	研究生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野	
ホーチミン市師範大学	全学	2014/8/12 ~ 2019/8/11	研究生	両大学に共通する全ての領域	

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	ホーチン市美術大学	部局間	2014/1/21 ~ 2019/2/20	研究者 学生	芸術、デザインの諸分野
	交通通信大学	全学	2016/9/9 ~ 2021/9/8	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	熱帯生物学研究所	部局間	2011/9/22 ~ 2016/9/21	学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
マレーシア	ウタラマレーシア大学	部局間	2016/2/16 ~ 2021/2/15	研究者 学生	大学の世界展開力強化推進事業担当 RIJ-TAG プログラム関連分野
	ケバンサアン・マレーシア大学	全学	2011/1/21 ~ 2016/1/20	研究者 学生	生命環境科学、人文社会科学
	ブトラマレーシア大学	部局間	2018/2/1 ~ 2023/1/31	研究者 学生	協議により決定
	マラヤ大学	全学	2014/5/15 ~ 2019/5/14	研究者 学生	協議により決定
	マレーシア工科大学	CiC	2016/9/19 ~ 2021/9/18	研究者 学生	CiC協定における全領域
ミャンマー	パテイン大学	部局間	2014/12/1 ~ 2019/11/30	研究者 学生	協議により決定
	教育省・監査及び評価局	全学	2018/1/10 ~ 2023/1/9	研究者	全学
モンゴル	フスタイ国立公園研究センター	部局間	2015/5/7 ~ 2020/5/6	研究者	環境科学及び関連分野
	モンゴル国立医科大学	部局間	2018/7/6 ~ 2023/7/5	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	モンゴル国立大学	部局間	2017/8/8 ~ 2022/8/7	研究者	法律学
	モンゴル生命科学大学	部局間	2014/7/1 ~ 2019/6/30	研究者 学生	農業及び関連分野
ラオス	ラオス国立大学	部局間	2010/7/27 ~ 2015/7/26	研究者 学生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
オーストラリア	アデレード大学	全学	2013/11/25 ~ 2018/11/24	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域(ただし、一部交流できない分野もある)
	ウーロンゴン大学	部局間	2015/11/18 ~ 2020/11/17	研究者	医学物理学
	オーストラリア国立大学	全学	2018/2/16 ~ 2023/2/15	学生	人文科学、社会科学、自然科学全般(学生交流は医学分野を除く。)
	クイーンズランド大学	全学	2014/8/20 ~ 2019/8/19	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	ジェームズクック大学	部局間	2015/5/20 ~ 2020/5/19	研究者 学生	全領域(ただし、大学、キャンパスあるいは学部 の都合により、交流できない分野もある。)
	タスマニア大学	全学	2018/1/1 ~ 2020/12/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(特に世界遺産 学、自然保護寄附講座に関する領域)
	ディーキン大学	全学	2015/9/24 ~ 2020/9/24	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(とくに海洋学、 生物学、自然保護寄附講座、世界遺産学に関わ る領域)
	ビクトリア大学	部局間	2017/7/24 ~ 2022/7/23	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	マードック大学	全学	2013/5/30 ~ 2016/5/29	研究者 学生	全領域(主に生命環境系、数理工学系、システ ム情報系の各分野)
	モナシュ大学	全学	2015/9/1 ~ 2020/8/31	研究者 学生	協議により決定
ニュージーランド	西オーストラリア大学	全学	2016/2/10 ~ 2021/2/9	研究者 学生	ビジネス科学(企業法学)、農学及び食糧科学、 環境学、スポーツ科学
	オークランド大学	部局間	2015/5/1 ~ 2020/4/30	研究者 学生	健康、スポーツ科学及びその他関連分野
カナダ	オタゴ大学	部局間	2013/6/30 ~ 2018/6/29	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医 学分野及び関連分野
	サスカチュワン大学	部局間	2016/10/27 ~ 2021/10/26	研究者 学生	協議により決定
	ブリティッシュ・コロンビア大学	全学	2012/8/22 ~ 2017/8/21	学生	協議により決定
	プリンス・エドワード島大学	部局間	2018/3/28 ~ 2023/3/27	研究者 学生	カナダ研究、日本研究を中心とした人文科学、社 会科学及び関連分野
	ブロック大学	部局間	2014/10/30 ~ 2019/10/29	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医 学、スポーツ国際開発学
米国	モントリオール大学	全学	2014/9/3 ~ 2019/9/2	研究者 学生	協議により決定
	アラスカ大学フェアバンクス校	部局間	2015/1/11 ~ 2020/1/10	研究者 学生	地球環境科学
	アリゾナ州立大学	部局間	2015/3/3 ~ 2020/3/2	研究者 学生	藻類バイオマスおよび藻類バイオマスに関連す る基礎から応用までの分野
	イリノイ大学・シカゴ校	部局間	2013/5/31 ~ 2018/5/30	研究者 学生	看護学の研究と教育に共通する全ての領域
	オハイオ州立大学	部局間	2016/8/30 ~ 2021/8/29	研究者 学生	人文科学・社会科及び関連分野
	オハイオ州立大学	CiC	2018/6/14 ~ 2023/6/13	研究者 学生	交流可能な全分野
カリフォルニア州立大学	全学	2015/5/18 ~ 2020/5/17	研究者 学生	協議により決定	

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究者 学生	協議により決定
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2015/6/30 ~ 2018/5/31	研究者 学生	医学、生命科学、およびその関連分野
	カリフォルニア大学アーバイン校	全学	2016/4/19 ~ 2021/4/18	研究者	医学、生命科学、スポーツ科学、システム情報およびその関連分野
	カリフォルニア大学アーバイン校	CiC	2017/1/9 ~ 2022/1/8	研究者	CiC協定における全領域 (Research Partner)
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	全学	2016/3/4 ~ 2021/3/3	学生	両機関に共通するすべての領域(主に藻類バイオマスを基軸とした生命環境科学分野、医科学分野とその他双方の関心の一致する分野)
	ケント州立大学	部局間	2013/2/25 ~ 2018/2/24	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	コーネル大学	部局間	2010/9/8 ~ 2015/9/7	研究者 学生	農学全般、生物科学、生命科学、環境科学
	サンディエゴ大学	部局間	2017/3/1 ~ 2020/2/29	学生	経営学、経済学及び関連分野
	シェファード大学	部局間	2018/4/24 ~ 2023/4/23	研究者 学生	医学の研究と教育に共通する全ての領域
	ニューメキシコ大学	部局間	2015/7/13 ~ 2020/7/12	研究者	体育・スポーツ科学
	ニューヨーク州立大学・オスウェゴ校	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究者 学生	教育学、社会科学及び関連分野
	ニューヨーク州立大学・ストニブルク校	部局間	~	研究者	X線領域の放射線実験の応用
	パデュー大学	全学	2016/4/26 ~ 2021/4/25	研究者 学生	全領域
	ハワイ大学マノア校	全学	2014/10/9 ~ 2019/10/8	研究者 学生	協議により決定
	ハワイ大学マノア校	部局間	2017/10/1 ~ 2020/9/30	学生	経営学
	ピッツバーグ大学	部局間	2014/3/16 ~ 2019/3/15	研究者 学生	図書館情報学、情報学
	プリンストン大学	部局間	2013/2/14 ~ 2018/2/13	研究者 学生	核融合分野
	ミシガン州立大学	部局間	2017/11/20 ~ 2022/11/19	研究者 学生	植物科学、作物科学研究
	ミシガン大学	部局間	2014/12/1 ~ 2019/11/30	研究者 学生	図書館情報学及び関連分野
	ユタ州立大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 学生	生命科学・農学及び関連分野
	ユタ州立大学	全学	2016/2/17 ~ 2021/2/16	研究者 学生	両大学に共通するすべての領域(特に農学、芸術学、デザイン学、物理学、宇宙開発分野)
	ワシントン大学・セントルイス	部局間	2018/9/1 ~ 2023/8/31	研究者 学生	人文・社会科学及び関連分野
	聖アンソニー看護大学	部局間	2014/7/1 ~ 2019/6/30	研究者 学生	看護学の研究と教育に共通する全ての領域
	南インディアナ大学	部局間	2014/9/14 ~ 2019/9/13	研究者 学生	人間学、看護学、リハビリテーション科学、ソーシャル・ワーク、医科学及び関連分野
コロンビア	サンタンデル工科大学	全学	2017/1/13 ~ 2022/1/13	研究者 学生	全学(主に藻類バイオマス・エネルギーシステムに関する分野)
	ロスアンデス大学	全学	2015/8/19 ~ 2020/8/18	研究者 学生	協議により決定
チリ	チリ大学	全学	2014/8/5 ~ 2019/8/4	研究者 学生	協議により決定
ブラジル	カンピナス州立大学	全学	2017/2/28 ~ 2022/2/27	研究者 学生	農学、生命科学、環境科学、システム情報工学
	サンタ・クルス病院	部局間	2016/9/19 ~ 2021/9/18	研究者 学生	医学および関連分野
	サンパウロ州研究財団	全学	2017/9/1 ~ 2022/8/31	研究者	
	サンパウロ州立パウリスタ大学	全学	2018/3/8 ~ 2023/3/7	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(特に、医学、システム情報工学)
	サンパウロ大学	部局間	2013/9/27 ~ 2018/9/26	研究者 学生	両大学における医学の領域
	サンパウロ大学	全学	2014/1/16 ~ 2019/1/15	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域(ただし、具体的な交流の実施については、個別の協定書により規定することとする(第2条参照))
	サンパウロ大学	部局間	2014/6/18 ~ 2019/6/17	研究者 学生	両大学における医学の領域
	サンパウロ大学	部局間	2015/4/16 ~ 2020/4/15	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	サンパウロ大学	CiC	2016/9/16 ~ 2021/9/15	研究者 学生	CiC協定における全領域
	サンパウロ大学リベロンブレイト校	部局間	2016/12/7 ~ 2021/12/6	研究者 学生	主に両大学における健康科学および薬学の領域
	ブラジリア大学	全学	2013/3/15 ~ 2018/3/14	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	ペルナンブーコ連邦大学	部局間	1981/7/12 ~	研究者	ラテンアメリカ研究
ペルー	ペルー・カトリカ大学	全学	2018/3/1 ~ 2023/2/28	研究者 学生	全領域(特に、人文社会科学、自然科学)
メキシコ	グアダハラハラ大学	全学	2017/3/15 ~ 2022/3/14	研究者 学生	生命環境科学、人文社会科学、芸術が主体だが世界展開力強化推進事業の対象は全て含む
	メキシコ大学院大学	部局間	2007/10/4 ~	研究者 学生	人文科学、社会科学及び関連分野
サウジアラビア	キング・アブドゥールアジーズ大学	全学	2010/7/8 ~ 2015/7/7	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
トルコ	パムツカレ大学	全学	2014/4/10 ~ 2019/4/9	研究者 学生	協議により決定
	ボアジチ大学	部局間	2013/3/5 ~ 2018/3/4	研究者 学生	日本語・日本文化、日本語教育、トルコ語・トルコ文化
ヨルダン	ヨルダン科学技術大学	全学	2012/2/28 ~ 2017/2/27	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
イタリア	カ・フォスカリ大学	部局間	2011/9/8 ~ 2016/9/7	研究者 学生	日本語・日本文化研究、イタリア語・イタリア文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	フィレンツェ国立美術学院	部局間	2016/7/1 ~ 2021/6/30	研究者 学生	芸術諸分野
	ボローニャ大学	部局間	2015/7/16 ~ 2020/7/15	研究者 学生	医学に関する領域
	マルシェ科学技術大学	部局間	2017/4/24 ~ 2022/4/23	研究者 学生	生命科学、生命環境科学、海洋生物学、海洋生態学、環境科学、バイオリソース学
	ミラノ工科大学	全学	2018/9/13 ~ 2023/9/12	研究者 学生	デザイン領域(建築デザイン、環境デザイン、情報デザイン、プロダクトデザイン)、感性認知脳科学、建築工学、他
エストニア	タリン大学	全学	2016/1/21 ~ 2021/1/20	研究者 学生	人文社会科学(地域研究・歴史研究・国際関係学など)、人間総合科学を中心とした学問分野
オーストリア	ウィーン経済・経営大学	部局間	2017/4/29 ~ 2022/4/28	研究者 学生	経営・社会経済システム分野
	リンツ工科大学造形芸術大学	部局間	2018/8/22 ~ 2023/8/21	研究者 学生	ヒューマンコンピューターインタラクション、メディアアート、アートアンドサイエンス
オランダ	アイントホーフェン工科大学	部局間	2018/6/12 ~ 2023/6/11	研究者 学生	感性情報メディア、感性インタラクション、情報デザイン、工業デザイン、建築デザイン及び関連分野
	デルフト工科大学	部局間	2014/3/20 ~ 2019/3/19	研究者	工学及び関連分野
	デルフト工科大学	部局間	2015/7/1 ~ 2020/6/30	研究者 学生	土木工学、環境工学、水管理、環境史、地球科学
	デルフト工科大学	部局間	2017/4/1 ~ 2022/3/31	研究者 学生	感性認知脳科学、芸術学、デザイン学、情報学及び関連分野
	トウエンテ大学	全学	2013/11/24 ~ 2018/11/23	研究者 学生	サイバニクス分野(工学、医学、人文科学、ビジネス科学)及び関連分野
	ユトレヒト大学	部局間	2016/10/21 ~ 2021/10/20	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	ユトレヒト大学	部局間	2016/9/1 ~ 2019/8/31	研究者 学生	法学分野(学群組織については、(1)国際総合学類国際法専攻又は(2)社会学類法学専攻の学生のみに限る。)
	ユトレヒト大学	GiC	2017/9/15 ~ 2022/9/14	研究者	交流可能な全分野(GiC協定)
英国	イースト・アングリア大学	全学	2014/3/10 ~ 2024/3/9	研究者	両機関に共通する全ての領域(特に環境学、生命科学、農学、芸術学)
	エディンバラ大学	全学	2015/5/11 ~ 2020/5/10	研究者 学生	計算科学、ロボット、地球科学、医学分野
	オックスフォード・ブルックス大学	全学	2015/2/18 ~ 2020/2/17	学生	協議により決定
	シェフィールド大学	全学	2017/9/1 ~ 2022/8/31	研究者 学生	全分野
	ノーザンブリア大学	部局間	2017/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 学生	美術とデザイン分野全般、感性認知脳科学
	プリマス大学	部局間	2017/7/27 ~ 2022/7/26	研究者 学生	放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
	マンチェスター大学	部局間	2014/8/24 ~ 2019/8/23	研究者 学生	生物学及び関連分野
	ラフバラ大学	部局間	2014/6/11 ~ 2019/6/10	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	リバプール大学	部局間	2014/8/6 ~ 2019/8/5	研究者 学生	河川流域内の工砂生産及び工砂移動プロセス、放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
クロアチア	ユライドブリラ大学プーラ	部局間	2018/7/1 ~ 2023/6/30	研究者 学生	日本語教育、言語学、文学、辞書学
スイス	国際スポーツ科学アカデミー	部局間	2017/7/18 ~ 2020/7/17	研究者	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
スウェーデン	ウブサラ大学	部局間	2009/1/16 ~ 2014/1/15	研究者 学生	生命環境科学及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	スウェーデン王立美術大学	部局間	2017/4/1 ~ 2022/3/31	研究者 研究生	芸術及び関連分野
	ルンド大学	部局間	2016/1/8 ~ 2021/1/7	研究者 研究生	健康科学に関する全ての領域
スペイン	サラマンカ大学	全学	2018/2/5 ~ 2023/2/4	研究者 研究生	全領域(特に、人文社会科学及び芸術学・世界遺産学)
	バルセロナ大学	部局間	2016/2/1 ~ 2021/1/31	研究者 研究生	芸術及び関連分野
	マドリード・コンプルテンセ大学	全学	2014/1/1 ~ 2018/12/31	研究者 研究生	両大学に共通するすべての分野
スロベニア	リュブリャナ大学	全学	2017/11/4 ~ 2022/11/3	研究者 研究生	両大学に共通する全ての領域
チェコ	カレル大学	全学	2017/9/9 ~ 2020/9/8	研究者 研究生	両大学に共通するすべての領域(特に社会科学、国際関係学、日本語・日本文化)
デンマーク	コペンハーゲン大学	部局間	2014/10/15 ~ 2019/10/14	研究者 研究生	図書館情報学
ドイツ	アウクスブルク応用科学大学	部局間	2016/2/14 ~ 2021/2/13	研究者 研究生	機械工学及びその周辺分野
	アンハルト応用科学大学	部局間	2019/1/11 ~ 2024/1/10	研究者 研究生	藻類バイオテクノロジー及びその関連分野
	ケルン大学	全学	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 研究生	両大学に共通する全ての分野
	シュトゥットガルト・メディア大学	部局間	2017/11/14 ~ 2022/11/13	研究者 研究生	図書館情報学及び情報学
	デュースブルグエッセン大学	部局間	2014/9/11 ~ 2019/9/10	研究者	先端的がん放射線治療(BNCTならびに陽子線治療)の共同研究
	デュッセルドルフ大学	部局間	2016/10/19 ~ 2021/10/18	研究者 研究生	人文社会科学に係る分野
	ドルトムント工科大学	部局間	2016/6/1 ~ 2021/5/31	研究者 研究生	健康、スポーツ科学
	バイロイト大学	全学	2014/8/5 ~ 2019/8/4	研究者 研究生	両機関に共通する全ての領域
	ハンブルク大学	全学	2018/10/12 ~ 2023/10/11	研究者 研究生	両大学に共通するすべての分野
	フライブルク大学	部局間	2015/7/7 ~ 2020/7/6	研究者 研究生	健康、スポーツ科学及びその他関連分野
	ブランデンブルク工科大学コト布斯・ゼンフテンベルク校	部局間	2017/6/26 ~ 2022/6/25	研究者 研究生	世界遺産学、世界文化遺産学、遺産学、建築保存と建築歴史及び関連分野
	ベルリン自由大学	全学	2018/3/6 ~ 2023/3/5	研究者 研究生	全領域
	ボーフム大学	全学	2016/8/16 ~ 2021/8/15	研究者 研究生	両大学に共通するすべての分野
	ボーフム大学	CoC	2019/3/19 ~ 2024/3/18	研究者 研究生	交流可能な全分野
	ボン大学	全学	2016/2/14 ~ 2021/2/13	研究者 研究生	全領域
	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学	全学	2017/3/14 ~ 2022/3/13	研究者 研究生	全学(人文社会科学と数理工学をはじめとする学内で交流可能な分野)
	ミュンスター大学	部局間	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 研究生	健康、スポーツ科学
	ミュンヘン工科大学	部局間	2018/1/1 ~ 2022/12/31	研究者 研究生	量子ビーム(陽電子消滅・中性子ビーム)を用いた物性研究
	ユーリッヒ総合研究機構(エネルギー・気候研究所)	部局間	2015/11/1 ~ 2020/10/31	研究者 研究生	核融合研究
	ライプツィヒ大学	部局間	2015/6/8 ~ 2020/6/7	研究者 研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	ライプニッツ大学ハノーファー	部局間	2014/10/1 ~ 2019/9/30	研究者 研究生	化学および関連分野
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	部局間	2017/8/1 ~ 2020/7/31	学生	経営学、経済学及び関連分野
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	部局間	2018/4/1 ~ 2023/3/31	研究者 研究生	障害科学、教育学、心理学、その他の関連分野
ノルウェー	オスロ大学	部局間	2017/4/25 ~ 2022/4/24	研究者 研究生	地球科学及び環境科学
	ノルウェー生命科学大学 環境科学・天然資源管理学部 環境放射能センター	部局間	2019/1/8 ~ 2024/1/7	研究者	放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	部局間	2018/10/1 ~ 2023/9/30	研究者	健康、スポーツ科学及び関連分野
	セゲド大学	全学	2015/8/25 ~ 2020/8/24	研究者 研究生	医学、ビジネス科学、化学、生物学
	センメルヴェイス大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者 研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	タンカプヤ仏教単科大学	部局間	2013/10/1 ~ 2018/9/30	研究者	健康・スポーツ科学及び関連分野
	ハンガリー体育大学	部局間	2015/6/17 ~ 2020/6/16	研究者 研究生	体育科学、健康科学とその他関連分野
フィンランド	ヘルシンキ芸術大学 美術アカデミー	部局間	2016/5/1 ~ 2021/4/30	研究者 研究生	芸術及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	ヘルシンキ大学	部局間	2011/11/28 ~ 2016/11/27	研究者 学生	生命科学、環境科学及び関連分野
フランス	グルノーブル経営大学院	部局間	2017/2/1 ~ 2020/1/31	学生	経営学、経済学及び関連分野
	グルノーブル大学	全学	2013/11/12 ~ 2018/11/11	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	グルノーブル大学連合	GiC	2017/11/22 ~ 2022/11/21	研究者 学生	交流可能な全分野
	ストラートデザイン大学	部局間	2017/10/3 ~ 2022/10/2	研究者 学生	プロダクトデザイン、情報デザイン、環境デザイン、建築デザイン
	ナント大学	部局間	2014/4/17 ~ 2019/4/16	研究者 学生	主に藻類バイオマスに関する分野
	パリ・ラ・ヴィレット建築大学	部局間	2017/6/26 ~ 2022/6/25	研究者 学生	社会工学、国際関係学及び国際開発学、北アフリカ学
	パリ・サクレ大学	全学	2018/2/14 ~ 2023/2/13	研究者 学生	全領域(特に、芸術、理学・工学、生命環境)
	パリ第13大学	部局間	2016/9/13 ~ 2020/9/12	研究者 学生	生物学関連分野
	フランシュ=コンテ大学	全学	2015/11/1 ~ 2020/10/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(主に人文、社会科学、体育科学、体育教育)
	フランス放射線防護原子力安全研究所	全学	2018/4/25 ~ 2023/4/24	研究者	両機関に共通するすべての領域(特に放射線生態学、環境保全)
	ベルフォール・モンペリエール工科大学	部局間	2014/9/6 ~ 2019/9/5	研究者 学生	電子・情報工学及び関連分野
	ポール・ヴァレリー モンペリエ第3大学	全学	2017/9/1 ~ 2022/8/31	研究者 学生	全学(特に社会工学、国際関係学及び国際開発学、北アフリカ学)
	ポリテクニク・オー＝ド＝フランス大学	部局間	2016/2/10 ~ 2021/2/9	研究者 学生	人間機械共生系、システム工学、情報工学、制御工学及び関連分野
	ボルドー・モンテーニュ大学	全学	2016/10/6 ~ 2021/10/5	研究者 学生	言語研究・芸術・メディア・コミュニケーションを中心とした人文学全般、芸術・デザインに関する研究、感性認知脳科学に関する研究、地中海・アフリカ
	ボルドーサイエンスアグロ	全学	2018/3/12 ~ 2023/3/11	研究者 学生	全領域(特に、生命環境科学、食料健康科学)
	ボルドー政治学院	部局間	2019/2/1 ~ 2024/1/31	研究者 学生	社会科学、人文科学、その他の関連分野
	ボルドー大学	全学	2016/12/26 ~ 2020/9/29	研究者 学生	交流可能な全分野
	ボルドー大学	GiC	2015/9/30 ~ 2020/9/29	研究者 学生	GiC協定における全領域
	モンペリエ大学	全学	2016/10/1 ~ 2021/9/30	研究者 学生	全学(特に生命環境科学、システム情報系、人文社会科学及び医学)
国立工業工芸大学(パリ工科大学)	部局間	2014/12/16 ~ 2019/12/15	研究者 学生	感性情報学、感性デザイン学、プロダクトデザイン、情報デザイン、環境デザイン、建築デザインを中心とした全ての教育プログラム	
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	全学	2018/4/30 ~ 2023/4/29	研究者 学生	全学(主に数理物質科学研究科)
ポーランド	ピアウイストック大学	部局間	2016/2/16 ~ 2021/2/15	研究者 学生	社会科学及び関連分野
	ヤギェウォ大学	全学	2017/9/2 ~ 2022/9/1	研究者 学生	両大学に共通するすべての領域(特に人文社会科学、数理物質科学)
	ワルシャワ大学	全学	2018/1/10 ~ 2023/1/9	研究者 学生	両大学に共通するすべての領域(特に人文社会科学、数理物質科学)
ラトビア	ラトビア大学	全学	2016/1/24 ~ 2021/1/23	研究者 学生	全学(人文社会科学(地域研究・歴史研究など)、人間総合科学など)
リトアニア	ヴィリニユス大学	全学	2016/12/19 ~ 2021/12/18	研究者 学生	人文社会科学(言語・地域研究・歴史研究など)、情報学および関連分野を中心に相互協力により交流範囲を広げる努力を行う
ルーマニア	ティミショアラ西大学	部局間	2015/9/23 ~ 2020/9/22	研究者 学生	コンピュータサイエンス、情報通信技術(ICT)およびその関連分野
	ブカレスト大学	部局間	2015/10/1 ~ 2020/9/30	研究者 学生	生物学、地質学、地理学、地球物理学及び関連分野
ロシア	カザン連邦大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究者 学生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野。交換学生としての本学学生の語学留学(ロシア語、英語)の推進
	サンクト・ペテルブルグ大学	全学	2017/3/27 ~ 2022/3/26	研究者 学生	全学(人文社会科学、人間総合科学などの関連分野)
	ノヴォシビルスク国立医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究者 学生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(全学群対象、責任対応組織:人文社会系)」「(大学の世界展開力強化事業)における
	ノヴォシビルスク国立大学	全学	2015/7/18 ~ 2020/7/17	研究者 学生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野
	ピロゴフ記念ロシア国立研究医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究者 学生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(全学群対象、責任対応組織:人文社会系)」「(大学の世界展開力強化事業)における医療実務研修および関連の学生交流活動。医学医療系を中心とした学問分野。
	ブドカー原子物理学研究所	部局間	2013/2/16 ~ 2018/2/15	研究者	核融合研究

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
	モスクワ国立大学	部局間	2014/10/7 ~ 2019/10/6	研究者 学生	高分子化学、コロイド科学、生物資源、土壌環境及び関連分野
	モスクワ国立大学	全学	2015/4/1 ~ 2020/3/31	研究者 学生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野。
	モスクワ市立教育大学	全学	2014/5/22 ~ 2019/5/21	研究者 学生	交換学生としての本学学生の語学留学(ロシア全領域)
	ロシア国立人文大学	部局間	2018/3/14 ~ 2023/3/13	研究者 学生	アーカイブズ学及び情報学などの関連分野
	ロシア国立体育・スポーツ・青年・観光大学	部局間	2015/12/1 ~ 2020/11/30	研究者 学生	体育・スポーツ科学及び関連分野
	樺東連邦大学	全学	2015/6/17 ~ 2020/6/16	研究者 学生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした関連分野
	太平洋国立医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究者 学生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(全学群対象、責任対応組織・人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野)
アゼルバイジャン	ADA大学	全学	2016/4/15 ~ 2021/4/14	研究者 学生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野
	アゼルバイジャン言語大学	部局間	2016/3/14 ~ 2021/3/13	研究者 学生	人文社会科学を中心とした学問分野
アルメニア	ロシア・アルメニア・スラヴ大学	全学	2016/5/2 ~ 2021/5/1	研究者 学生	全学(人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野)
ウクライナ	ウクライナ農業放射線研究所、 ウクライナ国立生命環境科学大学	部局間	2017/11/6 ~ 2022/11/5	研究者	両機関に共通するすべての領域(特に環境放射能、水文学、放射生態学)
	キエフ国立大学	部局間	2016/9/11 ~ 2021/9/10	研究者 学生	人文社会科学(地域研究・日本研究など)及び関連分野
ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	部局間	2015/10/25 ~ 2020/10/24	研究者 学生	日本語教育、日本語学、教育学を中心とした学問分野
	サマルカンド国立外国語大学	部局間	2016/9/30 ~ 2021/9/29	研究者 学生	人文社会科学及び人間総合科学
	タシケント国立東洋学大学	全学	2015/5/27 ~ 2020/5/26	研究者 学生	人文科学及び関連分野
	世界経済外交大学	部局間	2016/10/29 ~ 2021/10/28	研究者 学生	人文社会科学
カザフスタン	カザフ国際関係外国語大学	全学	2013/8/25 ~ 2018/8/24	研究者 学生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野
	カザフ国立教育大学	全学	2015/8/28 ~ 2020/8/27	研究者 学生	人間総合科学、人文社会科学を中心とした幅広い学問分野
	カザフ国立大学	全学	2017/1/23 ~ 2022/1/22	研究者 学生	全領域(主として人文社会科学・数理物質科学および関連分野)
	ナザルバエフ大学	全学	2016/5/19 ~ 2021/5/18	研究者 学生	全学(人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野)
	ナルホーズ大学	部局間	2017/4/1 ~ 2020/3/31	学生	経営学、経済学及び関連分野
	ナルホーズ大学	部局間	2017/8/31 ~ 2022/8/30	研究者 学生	人文社会科学
	ユーラシア国立大学	全学	2013/6/3 ~ 2018/6/2	研究者 学生	主に人文科学、社会科学、生命環境科学などの分野
	国立腫瘍移植科学センター	部局間	2015/2/1 ~ 2020/1/31	研究者	両機関に関する医学領域
キルギス	キルギス国立大学	部局間	2015/5/27 ~ 2020/5/26	研究者 学生	人文科学及び社会科学
	キルギス民族大学	全学	2013/10/9 ~ 2018/10/8	研究者 学生	人文社会科学、人間総合科学とその他の関連分野
	ビシュケク人文大学	全学	2013/8/26 ~ 2018/8/25	研究者 学生	人文社会科学、人間総合科学分野
ジョージア	トビリシ自由大学	全学	2016/4/14 ~ 2021/4/13	研究者 学生	全学(人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野)
タジキスタン	タジク国立言語大学	部局間	2015/10/24 ~ 2020/10/23	研究者 学生	人文社会科学及び関連分野
	ロシア・タジク・スラヴ大学	全学	2014/9/1 ~ 2019/8/31	研究者 学生	両大学に共通するすべての領域(主として、人文社会科学、人間総合科学等の分野)
トルクメニスタン	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学	全学	2018/9/12 ~ 2023/9/11	研究者 学生	人文科学及び社会科学及びその他の関連分野
ベラルーシ	ビテプスク国立医科大学	部局間	2018/11/1 ~ 2023/10/31	研究者 学生	医学教育・研究、および関連分野
	ベラルーシ国立医科大学	全学	2015/2/16 ~ 2020/2/15	研究者 学生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(全学群対象、責任対応組織・人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野)
	ベラルーシ国立大学	全学	2017/2/21 ~ 2022/2/20	研究者 学生	全学(主として人文社会科学、生命環境科学)

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
モルドバ	モルドバ国立大学	全学	2016/4/12 ~ 2021/4/11	研究者 学生	全学(人文社会科学、人間総合科学を中心とした学問分野)
アルジェリア	アルジェリア民主人民共和国高等教育・科学技術研究省	全学	2011/4/7 ~ 2016/4/6	研究者 学生	両機関が興味関心を共有するすべての領域(包括協定)
	オラン科学技術大学モハメド・ブーディアフ	全学	2012/11/5 ~ 2017/11/4	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域(主に生命環境科学、物質工学、土木工学)
	ホウアリ・ブーメディエン科学技術大学	全学	2015/3/2 ~ 2020/3/1	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域(主に生命環境科学、都市工学、情報工学)
エジプト	アインシャムス大学	部局間	2018/2/9 ~ 2023/2/8	研究者 学生	日本語・日本文化研究、アラビア語・アラビア文化研究、アラブ・イスラーム研究、中東地域研究 国際関係論
	エジプト日本科学技術大学(E-JUST)	全学	2018/1/22 ~ 2023/1/21	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
	カイロ大学	全学	2013/6/26 ~ 2018/6/25	研究者 学生	生命環境科学、人文科学、ビジネス科学、情報通信科学、等
チュニジア	カルタゴ大学	全学	2011/3/17 ~ 2016/3/16	研究者 学生	バイオテクノロジー、環境科学、情報通信工学、人文社会科学
	スース大学	全学	2011/5/17 ~ 2016/5/16	研究者 学生	人文科学、社会科学、生命環境科学、医学、情報工学を含む、北アフリカ関連の諸問題に関する全学的な学術領域
	スファックス・バイオテクノロジー・センター	部局間	2011/10/30 ~ 2016/10/29	研究者	バイオテクノロジー、環境科学及び関連分野
	スファックス大学	全学	2011/10/26 ~ 2016/10/25	研究者 学生	バイオテクノロジー、環境科学、医学及び関連分野
	チュニス・エル=マナール大学	全学	2018/7/2 ~ 2023/7/1	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域(主に、語学を含む人文社会科学、医療科学)
ナイジェリア	ナイジェリア大学	部局間	2017/10/17 ~ 2022/10/16	研究者 学生	微生物科学、生化学、植物科学、動物科学、農学、環境科学及び関連分野
マラウイ	マラウイ大学	部局間	2017/11/20 ~ 2022/11/19	研究者 学生	医学(社会医学、臨床医学、基礎医学)及び関連分野
モーリタニア	高等技術学院	部局間	2012/10/15 ~ 2017/10/14	研究者 学生	生命環境科学
モロッコ	アル・アハワイン大学	全学	2014/8/1 ~ 2019/7/31	研究者 学生	両大学共通する全ての領域
	カディ・アヤド大学	全学	2015/3/2 ~ 2020/3/1	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域(主に生命環境科学、人文社会科学、情報工学)
	シディー・モハメド・ベン・アブダッラー大学	全学	2011/3/17 ~ 2016/3/16	研究者 学生	両大学共通する全ての領域(主に生命環境科学、人文社会科学、情報工学)
	ハッサンII世農獣医学大学	部局間	2011/5/9 ~ 2016/5/8	研究者 学生	生物資源科学、農業土木工学及び関連分野
	モハメッド5世大学	全学	2017/2/16 ~ 2022/2/15	研究者 学生	全学(生命科学、環境科学、人文科学、社会科学、情報通信科学)
	モロッコ王国高等教育・科学研究・幹部養成省	全学	2012/9/10 ~ 2017/9/9	研究者 学生	両機関が興味関心を共有するすべての領域
リビア	セブハ大学	全学	2015/5/13 ~ 2020/5/12	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
国際連合	国際連合大学	全学	2012/10/13 ~ 2017/10/12	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	国際連合食糧農業機関	全学	2015/2/6 ~ 2020/2/5	研究者	全領域
	国際連合食糧農業機関	部局間	2017/11/7 ~ 2020/11/6	学生	生命環境科学分野、食料農学分野

71カ国・地域、合計396協定(CiC協定:9、大学間協定:150、部局間協定:237)

イ 協定締結機関先交流者

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
中国	雲南大学	2008/3/8	0	5	1	0
	河北農薬大学	2017/12/12	0	1	1	0
	華東師範大学	2012/7/25	6	9	12	23
	吉林大学	2008/2/7	3	15	1	0
	吉林農薬大学	2004/2/25	0	2	0	0
	湖南大学	1996/3/18	2	16	1	2
	江南大学	2010/9/28	1	7	1	2
	香港科技大学	2017/9/1	0	0	2	0
	香港中文大学	1978/1/18	2	7	0	6
	香港理工大学	2014/11/11	0	0	3	4
	四川大学	2018/3/16	2	7	2	0
	上海外国語大学	2019/3/4	0	7	2	1
	上海図書館	1999/10/1	3	0	1	0
	清華大学	2002/2/27	8	27	7	17
	西安外国語大学	2016/11/1	0	4	1	0
	西安交通大学	2008/2/21	3	20	1	0
	西北農林科技大学	2004/2/10	0	2	0	0
	蘇州大学	2017/11/13	0	2	2	9
	大連大学	2007/2/18	0	4	1	1
	大連民族大学	2009/7/1	0	16	2	0
	中央美術学院	2018/9/22	1	1	0	1
	中国科学院 地理科学・資源研究所	2007/4/1	2	8	0	0
	中国科学院大学	2005/7/7	1	2	2	0
	中国科学技術大学	2009/4/6	2	2	9	2
	中国原子能科学研究院	2002/8/1	0	0	0	0
	中国人民大学	2013/6/1	0	4	0	0
	中国地質大学	2005/11/23	5	52	1	3
	中国美術学院	2008/5/19	0	2	0	0
	鄭州大学	2005/11/28	0	4	0	0
	東北師範大学	2009/4/10	0	8	1	5
	東北大学	2017/7/1	1	3	0	0
	同済大学	2015/8/1	2	4	2	15
	内蒙古農薬科学院	2016/4/12	0	0	2	0
	南開大学	2007/12/26	0	4	2	15
	南京大学	2008/4/7	2	6	0	3
	南京農薬大学	2014/2/1	0	3	0	0
	復旦大学	2001/1/15	13	2	12	3
	福建師範大学	2016/11/1	0	4	0	0
	北京航空航天大学	2008/2/25	1	1	2	0
	北京師範大学	2014/4/28	4	11	3	7
	北京大学	2011/10/12	3	18	7	8
	蘭州大学	2016/8/17	0	2	0	1
厦門大学	2008/5/21	0	11	0	1	
浙江科技学院	2013/7/1	7	5	2	0	

(平成30年度)

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数		
			教職員	学生	教職員	学生	
中国	浙江大学	2007/11/9	3	4	4	2	
	澳門大学	2010/3/31	0	4	0	1	
	台湾	高雄医学大学	2014/9/22	0	6	0	0
		国立交通大学	2010/8/25	0	2	5	1
		国立彰化師範大学	2013/3/7	0	1	0	0
		国立成功大学	2014/3/21	6	18	22	7
		国立政治大学	2006/6/30	1	7	5	0
		国立清華大学	2007/11/29	2	6	1	2
		国立台北大学	2008/9/1	12	1	0	0
		国立台湾科技大学	2008/9/30	0	0	1	0
		国立台湾芸術大学	2005/7/12	0	5	0	0
		国立台湾師範大学	2012/12/18	3	11	6	4
	国立台湾体育運動大学	2016/11/19	0	0	7	0	
	国立台湾大学	2007/11/16	5	48	57	79	
	国立防災科学技術センター	2013/10/1	0	0	10	0	
国立屏東科技大学	2011/11/1	0	0	0	0		
東兵大学	1900/1/0	0	6	0	0		
輔仁大学	2014/4/16	0	4	1	0		
韓国	ソウル市立大学校	2013/2/15	0	0	0	0	
	ソウル大学校	2007/3/14	5	2	13	5	
	延世大学校	1997/9/1	0	2	0	1	
	釜山大学校	2009/4/1	2	9	0	7	
	漢陽大学校	2004/1/26	1	2	1	0	
	韓国科学技術院	2010/6/1	5	0	3	1	
	韓国外国語大学校	2002/10/22	3	12	3	1	
	韓国教員大学校	2018/4/1	4	0	2	7	
	韓国国土研究院	1987/11/1	0	0	0	0	
	啓明大学校	2007/11/1	0	4	2	3	
	慶熙大学校	2009/6/17	3	22	2	2	
	弘益大学校	2009/4/13	0	2	1	3	
	高麗大学校	1998/2/1	4	11	3	9	
	国立核融合研究所	2000/8/1	2	0	0	0	
	仁荷大学校	2002/5/20	0	0	0	0	
	大邱大学校	1998/8/24	0	0	0	1	
	忠南大学校	1997/3/21	2	59	0	1	
梨花女子大学校	1998/2/1	0	6	9	1		
インド	ジャワハルラー・ネル大学	2013/4/1	0	3	0	2	
	ハイデラバード大学	2016/12/14	0	0	0	0	
	マドラス大学	2016/2/4	0	0	1	0	
	マナブラチャナ国際大学	2012/11/1	0	0	0	0	
	青少年スポーツ省インドスポーツ協会	2018/10/29	2	0	2	0	
インドネシア	KIBIインドネシア生命医科学団体	2018/9/21	3	6	3	1	
	インドネシア共和国海事調整省	2019/2/14	0	0	0	0	
	インドネシア教育大学	2006/6/13	5	1	1	0	

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
インドネシア	インドネシア大学	2014/5/22	0	18	7	1
	ウダヤナ大学	2013/6/1	0	0	4	0
	ガジャマダ大学	2011/2/21	0	13	5	4
	バジャラン大学	2013/8/1	0	7	2	2
	バンドン工科大学	2013/1/27	9	9	3	0
	ピヌス大学	2014/4/1	0	4	0	4
	ポゴール農科大学	2001/8/6	2	11	0	5
	カンボジア	王立プノンペン大学	2015/6/22	0	1	0
	王立農業大学	2010/7/1	0	0	0	0
タイ	アジア工科大学院	2003/9/1	0	0	0	0
	カセサート大学	1989/2/16	2	8	13	18
	キング・モンクット工科大学トンブリ校	1996/8/1	7	3	2	1
	コンケン大学	2008/9/1	42	49	12	29
	シーナカリンウィロート大学	2014/11/9	0	3	0	0
	スラナリー工科大学	2010/3/26	0	0	0	0
	タマサート大学	1996/9/1	2	0	2	2
	チュロンコン大学	2012/4/2	5	6	8	22
	プリンスオブソクワ大学	1900/1/0	0	3	3	2
	メーフアルアン大学	2014/4/1	0	2	0	2
	メジョ大学	2011/7/8	0	0	1	0
	パキスタン	ベシャワール農業大学	2010/11/29	0	1	0
バングラデシュ	バングラデシュ工科大学	2007/9/1	0	5	0	0
	バングラデシュ農業大学	2012/10/1	1	5	0	0
	国際下痢症研究センター	2007/6/8	0	0	0	0
フィリピン	セントラサル大学	2017/4/1	0	1	1	0
	セントラルビコール州立農業大学	2014/10/1	0	0	0	0
	セントラルルソン州立大学	2014/4/1	0	0	0	0
	フィリピン大学	2007/12/1	5	16	4	3
ブルネイ	ブルネイ・ダルサラム大学	2016/4/1	0	7	0	1
ベトナム	ヴィン大学	2015/5/25	2	0	0	0
	サイゴンハイテクパーク	2012/1/5	0	0	0	0
	チョライ病院	2008/7/18	0	1	6	5
	トゥイロイ大学	2014/4/1	0	1	2	1
	ナムディン看護大学	2017/12/8	0	0	0	0
	ハノイ医科大学	2012/10/1	0	2	0	0
	ハノイ科学大学	2012/7/13	0	2	0	0
	ハノイ工科大学	2009/10/16	0	3	1	0
	フエ医科大学	2011/4/28	0	1	0	0
	ベトナム科学技術アカデミー・バイオテクノロジー研究所	2016/7/1	0	0	0	0
	ベトナム教育訓練省国際教育開発局	2014/4/21	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校	2012/7/1	0	1	6	1
	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	2012/7/1	0	1	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校教育大学	2012/7/1	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	2012/7/1	0	0	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校工業技術大学	2012/7/1	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校自然科学学	2012/7/1	1	7	0	1
	ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学学	2012/7/1	0	0	0	0
	日越大学	2012/7/1	0	11	13	1
	ベトナム国家大学ホーチミン校	2010/9/17	0	5	7	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校経済学	2010/9/17	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校国際大	2010/9/17	0	7	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校自然科	2010/9/17	0	4	0	1
	ベトナム国家大学ホーチミン校情報工科大	2010/9/17	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校人文社会科学学	2010/9/17	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	2013/6/3	0	0	0	0
	ベトナム国家農業大学	2013/12/16	0	3	6	3
	ベトナム国立図書館	2004/2/2	0	0	0	0
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	2007/3/5	2	0	24	9
	ホーチミン市医科薬科大学	2007/3/6	3	11	44	26
	ホーチミン市科学技術局	2006/9/22	0	0	0	0
	ホーチミン市師範大学	2014/8/12	0	6	13	3
	ホーチミン市美術大学	2014/1/21	0	0	0	0
	交通通信大学	2016/9/9	0	0	0	0
	熱帯生物学研究所	2007/3/5	1	0	3	0
マレーシア	ウタラマレーシア大学	2016/2/16	0	3	0	4
	ケバラン・マレーシア大学	2011/1/21	12	12	4	4
	マラヤ大学	2014/5/15	1	1	6	11
	ブトマレーシア大学	2012/10/24	1	18	1	4
	マレーシア工科大学	2012/11/26	17	48	31	35
ミャンマー	バテイン大学	2014/12/1	0	0	0	0
	教育省・監査及び評価局	2018/1/10	0	0	0	0
モンゴル	フスタイ国立公園研究センター	2010/5/7	0	0	2	0
	モンゴル国立医科大学	2018/7/6	2	3	4	9
	モンゴル国立大学	2017/8/8	0	7	0	0
	モンゴル生命科学大学	2009/7/1	0	0	3	0
ラオス	ラオス国立大学	2010/7/27	0	4	1	0
オーストラリア	アデレード大学	2000/3/1	0	0	5	0
	ウーロンゴン大学	1900/1/0	0	0	1	0
	オーストラリア国立大学	2007/8/1	2	2	6	6
	クイーンズランド大学	2003/8/20	2	2	3	1
	ジェームズクック大学	2015/5/20	0	2	0	0
	タスマニア大学	2015/1/1	1	7	4	0
	ディーキン大学	2015/9/24	2	17	2	11
	ビクトリア大学	2017/7/24	1	0	0	0
	マードック大学	2013/5/30	0	0	2	0
	モナシュ大学	1995/8/31	1	6	4	3
	西オーストラリア大学	2016/2/10	4	0	11	7
ニューージーランド	オークランド大学	2015/5/1	0	0	0	3

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数		
			教職員	学生	教職員	学生	
ニュージーランド	オタゴ大学	2008/6/30	1	0	1	1	
カナダ	サスカチュワン大学	2016/10/27	0	1	1	3	
	ブリティッシュ・コロンビア大学	1980/12/8	1	4	14	0	
	プリンス・エドワード島大学	2013/3/28	2	1	4	24	
	ブロック大学	2014/10/30	1	0	0	2	
	モンリオール大学	2009/1/27	0	4	0	7	
米国	アラスカ大学フェアバンクス校	2000/1/11	0	0	0	0	
	アリゾナ州立大学	2015/3/3	0	2	6	1	
	イリノイ大学・シカゴ校	2013/5/31	2	0	2	3	
	オハイオ州立大学	1996/8/31	16	0	22	19	
	カリフォルニア州立大学	2011/8/1	0	5	3	3	
	カリフォルニア大学アーバイン校	2013/4/19	6	1	5	15	
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2016/3/4	4	0	16	4	
	ケント州立大学	2014/7/3	1	0	0	0	
	コーネル大学	2010/9/8	1	0	3	3	
	サンディエゴ大学	2014/3/1	0	0	1	2	
	シェファード大学	2018/4/24	0	0	0	0	
	ニューメキシコ大学	2015/7/13	0	0	2	9	
	ニューヨーク州立大学・オスウェゴ校	1980/4/1	0	1	0	0	
	ニューヨーク州立大学・ストニーブルック校	1985/9/1	0	0	0	0	
	パデュー大学	2001/4/26	0	2	0	1	
	ハワイ大学マノア校	1995/3/2	2	3	10	4	
	ピッツバーグ大学	2004/3/16	0	0	5	3	
	プリンストン大学	2013/2/14	0	0	7	3	
	ミシガン州立大学	2017/11/20	0	0	7	4	
	ミシガン大学	1999/12/1	0	0	2	2	
	ユタ州立大学	2010/4/1	0	5	2	15	
	ワシントン大学・セントルイス	1980/9/1	0	1	0	0	
	聖アンソニー看護大学	2014/7/1	3	1	5	0	
	南インディアナ大学	1999/9/14	0	1	0	0	
	コロンビア	サンタンデル工科大学	2017/1/13	0	0	0	0
		ロスアンデス大学	2015/8/19	0	2	6	3
チリ	チリ大学	2004/8/5	2	2	7	1	
ブラジル	カンピナス州立大学	2017/2/28	1	0	1	0	
	サンタ・クルス病院	2016/9/19	7	0	5	0	
	サンパウロ州研究財団	2017/9/1	0	0	0	0	
	サンパウロ州立パウリスタ大学	2018/3/8	0	1	1	0	
	サンパウロ大学	2009/11/25	0	11	19	4	
	サンパウロ大学リベロンプレイト校	2016/12/7	0	0	0	0	
	ブラジリア大学	2013/3/15	0	2	0	0	
	ベルナンブーコ連邦大学	1981/7/12	0	1	0	0	
ペルー	ペルー・カトリカ大学	2008/3/1	0	7	0	5	
メキシコ	グアダハララ大学	2017/3/15	0	3	0	4	
	メキシコ大学院大学	1979/4/9	0	1	1	9	

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
サウジアラビア	キング・アブドゥールアジーズ大学	2010/7/8	0	0	0	0
トルコ	バムッカレ大学	2014/4/10	0	0	0	0
	ボアジチ大学	2003/3/5	1	3	0	0
ヨルダン	ヨルダン科学技術大学	2012/2/28	0	0	0	0
イタリア	カ・フォスカリ大学	2011/9/8	0	0	7	4
	フィレンツェ国立美術学院	2016/7/1	0	0	0	3
	ボローニャ大学	2015/7/16	0	0	1	0
	マルシェ科学技術大学	2012/4/24	0	0	0	0
	ミラノ工科大学	2013/9/13	0	6	2	6
	国際連合食糧農業機関	2015/2/6	3	0	0	0
エストニア	タリン大学	2006/1/21	15	0	1	8
オーストリア	ウィーン経済・経営大学	1997/4/29	0	0	2	0
	リンツ工科大学	2018/8/22	0	1	0	0
オランダ	アイトホーフェン工科大学	2008/6/12	4	1	5	19
	デルフト工科大学	2001/2/6	1	4	2	0
	トウェンテ大学	2008/11/24	0	0	1	0
	エントレヒト大学	1996/2/1	2	7	0	5
英国	イースト・アングリア大学	1900/1/0	2	0	0	0
	エディンバラ大学	2010/5/11	13	3	12	3
	オックスフォード・ブルックス大学	2015/2/18	0	4	0	4
	シェフィールド大学	2007/9/1	0	1	4	4
	ノーザンブリア大学	2017/4/1	0	0	0	0
	ブリス大学	2012/7/24	0	0	1	0
	マンチェスター大学	1999/8/24	0	3	2	2
	ラフバラ大学	2014/6/11	2	0	1	3
	リバプール大学	2014/8/6	0	0	2	20
	クロアチア	ユライ・ドブリンナ大学ブーラ	2018/7/1	0	0	7
スイス	国際スポーツ科学アカデミー	2014/7/26	3	0	7	3
スウェーデン	ウプサラ大学	2009/1/16	1	0	4	1
	スウェーデン王立芸術大学	2007/3/12	0	0	0	2
	ルンド大学	2016/1/8	0	0	0	0
スペイン	サラマンカ大学	2008/2/5	0	1	0	3
	バルセロナ大学	2011/2/1	1	0	1	1
	マドリッド・コンプルテンセ大学	2009/1/1	0	0	0	0
スロベニア	リュブリャナ大学	2012/11/4	0	6	4	10
チェコ	カレル大学	2002/9/9	0	2	1	3
デンマーク	コペンハーゲン大学	1999/10/15	0	0	1	0
ドイツ	アウクスブルク応用科学大学	2011/2/14	0	0	0	0
	アンハルト応用科学大学	2019/3/13	0	1	0	0
	ケルン大学	2013/10/1	2	6	2	6
	シュトゥットガルト・メディア大学	2002/7/1	1	0	1	3
	デュースブルグエッセン大学	2014/9/11	1	1	0	0
	デュッセルドルフ大学	2016/10/19	0	3	1	2
ドルトムント工科大学	2016/6/1	1	0	0	0	

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
ドイツ	バイロイト大学	1994/7/20	0	1	1	10
	ハンブルク大学	2018/10/12	15	3	1	4
	フライブルク大学	2015/4/1	0	0	0	1
	ブランデンブルク工科大学コッブス・ゼン フテンベルク校	2007/6/26	0	0	0	0
	ベルリン自由大学	2008/3/4	0	7	4	4
	ボーフム大学	2007/3/25	5	16	20	13
	ボン大学	2011/2/14	3	17	2	7
	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク 大学	2012/3/14	0	1	1	1
	ミュンスター大学	2015/4/1	0	0	1	1
	ミュンヘン工科大学	2013/1/1	0	1	0	5
	ユーリッヒ総合研究機構(エネルギー・気候 研究所)	2015/11/1	0	0	0	2
	ライプツヒヒ大学	2005/6/8	0	0	0	6
	ライプニッツ大学ハノーファー	2014/10/1	0	1	0	1
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2007/10/1	1	2	8	5
	ノルウェー	オスロ大学	2017/4/25	1	0	0
ノルウェー生命科学大学		2019/1/8	0	0	2	0
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	2013/10/1	0	0	0	2
	セグド大学	2015/8/25	0	1	0	0
	センメルヴァイス大学	2013/10/1	0	0	0	0
	タンカプヤム教単科大学	2013/10/1	0	0	0	0
	ハンガリー体育大学	2015/6/17	0	1	0	1
フィンランド	ヘルシンキ芸術大学 美術アカデミー	2016/5/1	1	1	0	1
	ヘルシンキ大学	2011/11/28	0	0	2	0
フランス	グルノーブル経営大学院	2017/2/1	0	0	0	0
	グルノーブル大学	2013/11/12	0	13	25	0
	グルノーブル大学連合	2017/11/22	19	5	5	14
	スタートデザイン大学	2017/10/3	0	1	0	0
	ナント大学	2014/4/17	0	0	0	0
	パリ・ラ・ヴァレット建築大学	2017/6/26	0	1	1	3
	パリ・サクレ大学	2018/2/14	3	1	11	3
	パリ第13大学	2011/10/4	0	1	0	1
	フランシュ＝コンテ大学	2010/11/23	7	7	3	11
	フランス放射線防護原子力安全研究所	2012/7/11	0	0	1	0
	ベルフォール・モンベリヤール工科大学	1999/8/19	0	0	0	0
	ポール・ヴァレリー モンペリエ第3大学	2017/9/1	0	0	0	0
	ポリテクニク・オー＝ド＝フランス大学	2011/2/10	0	2	0	0
	ボルドー・モンテニユ大学	2016/10/6	0	0	0	2
	ボルドーサイエンスアグリ	2018/3/12	1	1	7	0
	ボルドー政治学院	2019/2/1	0	0	0	0
	ボルドー大学	2013/10/7	6	23	16	13
	モンペリエ大学	2013/2/28	4	1	1	1
	国立工業工芸大学(パリ工科大学)	2014/12/16	0	0	0	0
	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	2008/3/31	6	0	3
ポーランド	ピアウィストック大学	2010/1/12	0	0	0	0
	ヤギェウォ大学	2002/9/2	0	4	1	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
ポーランド	ワルシャワ大学	2003/1/10	0	1	2	0
ラトビア	ラトビア大学	2006/1/24	0	3	2	3
リトアニア	ヴィリニウス大学	2006/12/19	0	4	0	1
ルーマニア	ティミショアラ西大	2010/9/23	0	0	1	0
	ブカレスト大学	2015/10/1	0	0	0	0
ロシア	カザン連邦大学	2015/2/16	0	9	11	4
	サンクト・ペテルブルグ大学	2012/2/1	2	9	3	10
	ノヴォシビルスク国立医科大学	2015/2/16	0	4	1	0
	ノヴォシビルスク国立大学	2015/9/18	1	1	2	1
	ピロゴフ記念ロシア国立研究医科大学	2015/2/16	0	5	0	0
	ブドカー原子物理学研究所	1998/2/16	15	0	4	0
	モスクワ国立大学	2014/10/7	11	10	4	6
	モスクワ市立教育大学	2009/5/22	0	6	7	15
	ロシア国立人文大学	2018/3/14	0	0	0	0
	ロシア国立体育・スポーツ・青年・観光大学	2015/12/1	0	0	0	0
	極東連邦大学	2015/6/17	2	6	2	2
	太平洋国立医科大学	2015/2/16	1	0	2	3
	アゼルバイジャン	ADA大学	2016/4/15	0	1	4
アゼルバイジャン言語大学		2016/3/14	0	1	0	1
アルメニア	ロシア・アルメニア・スラヴ大学	2016/5/2	0	3	0	1
ウクライナ	ウクライナ国立生命環境科学大学	2017/11/6	0	0	7	11
	キエフ国立大学	2006/9/11	0	3	1	1
ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	2015/10/25	1	2	4	0
	ザマルカンド国立外国語大学	2006/9/30	0	2	0	0
	タンクセント国立東洋学大学	2005/5/27	1	7	7	3
	世界経済外交大学	2006/9/29	0	1	0	0
カザフスタン	カザフ国際関係外国語大学	2013/8/25	0	0	0	0
	カザフ国立教育大学	2015/8/28	0	0	4	6
	カザフ国立大学	2012/1/23	13	8	8	22
	ナザルバエフ大学	2016/5/19	0	1	2	0
	ナルホーズ大学	2007/10/11	0	2	0	0
	ユーラシア国立大学	2006/8/16	0	3	1	0
	国立腫瘍移植科学センター	2015/2/1	0	0	0	0
	カラサエフ記念ビシュケク人文大学	2013/8/26	1	1	6	0
キルギス	キルギス国立大学	2005/5/27	0	0	1	1
	ジュスブ・バラサグン記念キルギス国立総合 大学	2013/10/9	0	2	6	2
	ジョージア	トビリシ自由大学	2016/4/14	0	1	1
タジキスタン	タジク国立言語大学	2015/10/24	0	2	0	1
	ロシア・タジク・スラヴ大学	2007/9/19	0	1	0	1
トルクメニスタン	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学	2013/9/12	0	2	0	0
ベラルーシ	ビテブスク国立医科大学	2018/11/1	0	0	0	0
	ベラルーシ国立医科大学	2015/2/16	0	0	0	0
	ベラルーシ国立大学	2012/2/21	0	2	0	0
モルドバ	モルドバ国立大学	2016/4/12	0	0	0	1
アルジェリア	アルジェリア民主人民共和国高等教育・科 学技術研究省	2011/4/7	0	0	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	協定開始日	受入数		派遣数	
			教職員	学生	教職員	学生
アルジェリア	オラン科学技術大学モハド・ブーディアフ	2012/11/5	0	1	0	0
	ボウアリ・ブーメディエン科学技術大学	2010/3/17	0	0	0	0
エジプト	アインシャムス大学	2003/2/9	0	7	0	0
	エジプト日本科学技術大学(E-JUST)	2013/1/22	3	0	9	0
	カイロ大学	2008/6/26	1	1	0	0
チュニジア	カルタゴ大学	2011/3/17	0	2	2	0
	スース大学	2011/3/17	0	0	5	1
	スファックス・バイオテクノロジー・センター	2006/10/30	0	0	0	0
	スファックス大学	2011/10/26	0	1	1	0
	チュニス・エルマナール大学	2013/7/2	0	2	0	0
ナイジェリア	ナイジェリア大学	2007/10/17	0	0	0	0
マラウイ	マラウイ大学	2017/11/20	2	1	0	0
モーリタニア	高等技術学院	2012/10/15	0	0	1	1
モロッコ	アル・アハワイン大学	2011/4/25	0	1	0	9
	カディ・アヤド大学	2010/3/2	0	5	5	0
	シディー・モハド・ベン・アブダラー大学	2011/3/17	0	0	0	0
	ハッサンII世農獣医大学	2011/5/17	1	2	9	2
	モハメッド5世大学	2007/2/16	0	1	0	0
	モロッコ王国高等教育・科学研究・幹部養成省	2012/9/10	0	0	0	0
リビア	セブハ大学	2010/5/14	0	0	0	0
国際連合	国際連合大学	2012/10/13	0	1	0	0
小計			507	1297	1,004	1,009
合計	375		1,804		2,013	

(4) 国際会議等の開催

(平成30年度)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者 (参加国数/参加者数 うち、外国人参加者)
Tsukuba Global Science Week 2018	2018/09/20 ~ 2018/09/22	つくば国際会議場	筑波大学	Driving Sustainable Development	33か国/1,600人/(298人)
国際保健福祉学会2018	2018/04/16 ~ 2018/04/19	ヨシヨビング大学	国際保健福祉学会・ヨシヨビング大学	Creating Inclusive Communities	12か国/81名(80名)
Workshop on the Section of Jati in Vādvaidhi and Rushi Iun (Tarka-zhastra)	2018/04/26 ~ 2018/04/28	Center for Buddhist Philosophy, Department of Philosophy, National Chengchi University, Taipei	国立政治大学	初期の仏教論理学文献Vādvaidhi 『如実論』の比較検討	4か国/20名(17名)
クラウドソーシングに関する講演会	2018/05/11 ~ 2018/05/11	情報メディアユニオン	図書館情報メディア系	Crowd-Powered Data Management	3か国/50名(3名)
旅、ことばからことばへ、バスケル・キニヤールと文学のアトリエ	2018/05/13 ~ 2018/05/13	日仏会館	日本フランス語フランス文学会/日仏会館・フランス国立日本研究所	フランス現代作家バスケル・キニヤールをめぐる国際シンポジウム	3か国/200名(30名)
2nd World Summit on Exploring the Dark Side of the Universe	2018/06/25 ~ 2018/06/29	アンティル大学	アンティル大学	宇宙暗黒物質・エネルギー解明のために実験観測、理論面から議論する	20か国/68名(66名)
日蘭合同サマーワークショップ	2018/07/07 ~ 2018/07/15	アイントホーフェン工科大学	アイントホーフェン工科大学	テクノロジーを用いて健康や運動に関する満足度や生活の質の向上を考える	2か国/32名(22名)
日本国際保健医療学会 第33回東日本地方会	2018/07/07 ~ 2018/07/07	筑波大学大会館	日本国際保健医療学会 第33回東日本地方会事務局	輝くグローバルエイジングへの垣根なき対話	14か国/205名(23名)
BigCloud 第5回F2Fミーティング	2018/07/17 ~ 2018/07/19	神奈川県藤沢市役所	筑波大学 計算科学研究センター	ビッグデータ、クラウド、IoT	不明か国/31名(14名)
人間系国際連携セミナー	2018/07/20 ~ 2018/07/20	筑波大学 つくばキャンパス	筑波大学	オハイオ州立大学の特別支援教育や障害科学を専門とした研究者による最新の研究、教育の動向についての講演会を実施。	3か国/76名(16名)
第39回ARHHP/ARHHP Human High Performance セミナー	2018/07/25 ~ 2018/07/25	筑波大学5C606	筑波大学ARHHP	講演タイトル「Muscle over brain」	2か国/34名(3名)
第2回日本インドネシア高校生SDGsミーティング @ ジャカルタ	2018/08/09 ~ 2018/08/09	インドネシア政府環境林業省	筑波大学附属戸高等学校	SDGs × High School Students - 未来をつくる変革者として	2か国/140名(120名)
第2回 NIPS-ARHHP 共同ワークショップ「ヒューマン・ハイパフォーマンスの実現を目指した次世代健康スポーツ科学と神経科学の融合・統合」	2018/08/09 ~ 2018/08/10	生理学研究所	生理学研究所・筑波大学ARHHP	不明	2か国/61名(1名)
ASIAN SHORT COURSE ON AGRIBIOTECHNOLOGY, BIOSAFETY REGULATION AND COMMUNICATION	2018/08/13 ~ 2018/08/17	Bandar Sunway, Selangor, Malaysia	This course is a joint effort of Global Asia in the 21st Century (GA21) platform, Monash University Malaysia and the Malaysian Biotechnology Information Centre (MABIC) with other international partners.	ASIAN SHORT COURSE ON AGRIBIOTECHNOLOGY, BIOSAFETY REGULATION AND COMMUNICATION	25か国/190名(189名)
HCI, AI及び認知科学に関する講演会	2018/08/20 ~ 2018/08/20	情報メディアユニオン	図書館情報メディア系	Computational Design Thinking: AI in Human-Computer Interaction	8か国/16名(10名)
International Conference on Nursing and Midwifery: Advancing clinical practice and Research	2018/08/24 ~ 2018/08/24	モンゴル国立医科大学	モンゴル国立医科大学・筑波大学	Share and exchange clinical practice and research in nursing and midwifery in Mongolia, Japan, Russia and USA	4か国/79名(70名)
International Nursing Conference: New Challenges for the global standard	2018/08/25 ~ 2018/08/25	オークホン県地域診断治療センター病院	モンゴル国立医科大学・筑波大学	Share and exchange new challenges in nursing practice	4か国/59名(50名)
12th International Conference on Open Magnetic Systems for Plasma Confinement (OS2018)	2018/08/27 ~ 2018/08/31	筑波大学大会館	筑波大学プラズマ研究センター	開放型プラズマ閉じ込め装置における最新の研究成果の共有	7か国/95名(29名)
International Nursing Seminar: Clinical Nurse leader	2018/08/27 ~ 2018/08/27	モンゴル国立がんセンター	モンゴル国立医科大学・筑波大学	Exchange and discuss role of the clinical nurse leader in Mongolia, Japan, Russia and USA	4か国/69名(60名)
International Student Conference in Nursing	2018/09/01 ~ 2018/09/01	モンゴル国立医科大学	モンゴル国立医科大学・筑波大学	Academic, carrier development and cultural exchange among undergrade nursing students (Japan, mOngolia and Russia)	4か国/51名(42名)
慢性腎臓病 (CKD) に関する国際共同ホスト研究シンポジウム	2018/09/03 ~ 2018/09/03	筑波大学東京キャンパス文京校舎	筑波大学医学医療系臨床医学城腎臓内科学	CKDops (REACH-J)研究の現状と課題	2か国/33名(4名)
International Conference on Respectful Childbirth Care	2018/09/04 ~ 2018/09/04	筑波大学東京キャンパス	筑波大学 (医学群看護学類、大学院人間総合科学研究科看護科学専攻)	第1部:「女性が大切にされる出産ケア～人権としての医療～」 第2部:「WHO新ガイドライン『肯定的な出産体験のための分娩期ケア』を実現するために」	4か国/120名(7名)
T-LSI Symposium on Life Science Innovation and Biomaterials	2018/09/05 ~ 2018/09/05	筑波大学(総合研究棟A 205号室)	筑波大学	生体材料について	2か国/37名(20名)
第41回ARHHP/ARHHP Human High Performance セミナー	2018/09/10 ~ 2018/09/10	筑波大学5C105	筑波大学ARHHP	講演タイトル「VO2kinetics in swimming and other modes of exercise:mechanistic bases」	2か国/46名(1名)
INTERNATIONAL SYMPOSIUM "TSUKUBA DAY IN PULA"	2018/09/17 ~ 2018/09/17	プーラ大学人文学部	プーラ大学人文学部	日本研究とパルカン研究の最新の研究成果の共有	5か国/50名(40名)
14th International Symposium on Biomechanics and Medicine in Swimming	2018/09/17 ~ 2018/09/21	筑波大学	代表 高木英樹	不明	27か国/1000名(220名)
第69回コロイドおよび界面化学討論会	2018/09/18 ~ 2018/09/20	筑波大学筑波キャンパス中地区第3エリア	公益社団法人 日本化学会 コロイドおよび界面化学部会 筑波大学生物資源コロイド工学リサーチユニット	分散系、凝集、ソフトマターの科学	12か国/692名(21名)
Tsukuba Global Science Week 2018	2018/09/20 ~ 2018/09/22	つくば国際会議場	筑波大学	Driving Sustainable Development	33か国/1600名(298名)
第9回アジア印刷技術会議 (生命環境科学研究科共催)	2018/09/26 ~ 2018/09/27	東京ビッグサイト会議棟	日本印刷学会 (会長・実行委員長 江前敏晴)	現行印刷技術の継承と次世代技術への発展	8か国/40名(20名)
第11回日中韓大学院生フォーラム	2018/09/27 ~ 2018/09/29	筑波大学	筑波大学	生命・環境分野のグローバル高度人材の育成を目的とする「大学院生による、大学院生のための、大学院生のフォーラム」	3か国/200名(141名)
科学研究費補助金による 国際ワークショップおよび公開講演会	2018/10/05 ~ 2018/10/06	筑波大学東京キャンパス	筑波大学人文社会系田中洋子	仕事とケアの関係はどう変わったのか、ドイツの歴史から考える	4か国/10名(2名)
第10回「学際計算科学による新たな知の発見・統合・創出」シンポジウム	2018/10/15 ~ 2018/10/16	筑波大学大会館 国際会議室	筑波大学計算科学研究センター	計算機・計算科学	8か国/237名(17名)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者 (参加国数/参加者数 (うち、外国人参加者))
27th International Workshop on Vertex Detectors	2018/10/21 ~ 2018/10/26	MGMビーチリノート	インド工科大学 マドラス	最新および将来の半導体衝突検出器に関してレビューする	20か国/72名(69名)
XcalableMPワークショップ	2018/11/01 ~ 2018/11/01	筑波大学計算科学研究センター	筑波大学 計算科学研究センター	並列処理言語XcalableMPIに関するシステム及びアプリケーション	1か国/30名(不明名)
SACSEM 1st	2018/11/07 ~ 2018/11/09	筑波大学 総合研究棟B # 110	筑波大学数理解物質系およびエネルギー物質科学研究センター	燃料電池・太陽電池・バッテリー・光機能材料などエネルギー材料に関する研究	5か国/60名(16名)
Southeast Asia Collaborative Symposium on Energy Materials 2018 (SACSEM2018)	2018/11/07 ~ 2018/11/09	筑波大学 総合研究棟B 0110公開講義室、0112講義室	筑波大学 数理解物質系	不明	不明か国/不明名(不明名)
第7回高校生国際ESDシンポジウム	2018/11/08 ~ 2018/11/08	筑波大学東京キャンパス	筑波大学附属坂戸高等学校	SDGs × High School Students - よりよい世界を創造するためにできること -	6か国/260名(20名)
第4回 内閣府SIP革新的構造材料先端計測拠点国際会議	2018/11/13 ~ 2018/11/15	JST東京本部(市ヶ谷サイエンスプラザ)	産業技術総合研究所 物質・材料研究機構 筑波大学 高エネルギー加速器研究機構 東京大学	内閣府SIP「革新的構造材料」における先端計測拠点の形成	5か国/118名(12名)
International Symposium on Ab Initio Electron Dynamics Simulations	2018/11/14 ~ 2018/11/16	つくば国際会議場	ホスト(京)重点課題⑨「光・電子融合デバイス」、CREST課題「光・電子融合第一原理ソフトウェアの開発と応用」研究チーム	Ab-initio computational approaches for quantum dynamics of electrons in molecules, nano-structures, and solids.	12か国/75名(44名)
山岳科学センター第2回国際シンポジウム	2018/11/15 ~ 2018/11/15	つくば国際会議場(中ホール)	山岳科学センター	Mountains:Biodiversity and sustainability under climate change	3か国/125名(7名)
5th International CIC Management Committee Meeting	2018/11/16 ~ 2018/11/16	国立台湾大学	筑波大学	CIC事業での優良事例と課題、今後の展望	5か国/48名(15名)
CiC Workshop 2018- International Research Collaboration	2018/11/16 ~ 2018/11/16	国立台湾大学	筑波大学	International Research Collaboration	5か国/25名(11名)
チュニジアー日本 文化・科学・技術学術会議 (TJASST 2018)	2018/11/23 ~ 2018/11/26	Diar Medina Hammamet, Tunisia	CERTE, Borj-Cedria Science and Technology Park (Tunisia)・筑波大学地中海・北アフリカ研究センター	持続可能な水資源管理のためのイノベーション創造	2か国/100名(84名)
国際開発学会第29回全国大会	2018/11/23 ~ 2018/11/24	筑波大学第3エリア	国際開発学会	持続可能な開発における文化の「居場所」～開発と文化の実践的距離感～	25か国/486名(72名)
The 19th International Symposium on Knowledge and Systems Sciences	2018/11/25 ~ 2018/11/27	筑波大学東京キャンパス文京校舎	筑波大学/International Society for Knowledge and Systems Sciences (ISKSS)	Knowledge Acquisition from Structured and Unstructured Data for Effective Social Implementation	5か国/75名(62名)
ICMI Study 24	2018/11/25 ~ 2018/11/30	つくば国際会議場	世界数学連合・数学教育国際委員会 (IMU/ICMI)	「学校数学におけるカリキュラム改革」	30か国/120名(90名)
2nd UT- NTU Radiation Oncology Joint Symposium	2018/12/01 ~ 2018/12/01	筑波大学	筑波大学・国立台湾大学	陽子線治療・放射線腫瘍学に関する研究成果の共有	2か国/62名(12名)
2018 CCS-EPCWワークショップ	2018/12/03 ~ 2018/12/04	Bayes Centre, the University of Edinburgh	Edinburgh Parallel Computing Centre, and Center for Computational Sciences, University of Tsukuba	CCSとEPCW (Edinburgh Parallel Computing Center)の共催による高性能計算及び計算科学に関するワークショップ	2か国/30名(25名)
Workshop for development and applications of fast timing semiconductor devices	2018/12/08 ~ 2018/12/08	筑波大学(東京キャンパス)	筑波大学	LGADの開発状況と将来の開発研究を総括する	5か国/14名(3名)
	2018/12/09 ~ 2018/12/13	筑波大学(東京キャンパス)	筑波大学	バルクエッジ対応の普遍性の研究	7か国/84名(15名)
3大学連携ショークースカンファレンス	2018/12/10 ~ 2018/12/10	筑波大学東京キャンパス文京校舎	筑波大学つくば国際スポーツアカデミー	スポーツアカデミー形成支援事業の成果発信と今後の展望について議論	12か国/100名(12名)
2nd Tsukuba CCS workshop on microscopic theories of nuclear structure and dynamics	2018/12/10 ~ 2018/12/12	筑波大学計算科学研究センター	筑波大学 計算科学研究センター	原子核物理・天体核物理、計算核物理	12か国/55名(24名)
第4回並列Fortranに関するシンポジウム「並列Fortranの現状と展望」～Pythonは味方なのか?～	2018/12/12 ~ 2018/12/12	秋葉原UDX	高性能Fortran推進協議会	並列Fortranにおける仕様・性能等に関するシンポジウム	1か国/40名(不明名)
第7回HISシンポジウム	2018/12/20 ~ 2018/12/20	東京コンファレンスセンター品川	筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構	睡眠・覚醒の謎に挑む	14か国/158名(56名)
復旦大学とC-AIRの交流ワークショップ	2018/12/25 ~ 2018/12/25	筑波大学・総合研究棟B	筑波大学	AIおよびビッグデータの最新の研究成果の共有	2か国/20名(10名)
第42回ARHHP/ARHHP Human High Performance セミナー	2019/01/11 ~ 2019/01/11	筑波大学SCI05	筑波大学ARHHP	講演タイトル「Understanding & Applying Sport and Athlete Development Pathways」	2か国/43名(1名)
International Symposium on Intrinsic Josephson Effects and Plasma Oscillations in High-Tc Superconductors (Plasma 2019)	2019/01/18 ~ 2019/01/21	セントラルフロリダ大学	セントラルフロリダ大学	超伝導プラズマに関する研究成果の共有	7か国/100名(80名)
スピン自由度を介した光機能性材料の国際ワークショップ	2019/01/24 ~ 2019/01/24	大阪大学基礎工学部J棟セミナー室	新学術領域研究「高次複合光応答」	新規なスピン自由度を介した光応答分子の機能に関して、実験と理論を交えた議論を行った。	3か国/41名(4名)
The 2nd Southeast Asia Collaborative Symposium on Energy Materials (SACSEM 2nd)	2019/01/28 ~ 2019/01/29	筑波大学 総合研究棟B 0110公開講義室、0112講義室	筑波大学数理解物質系およびエネルギー物質科学研究センター	燃料電池・太陽電池・バッテリー・光機能材料などエネルギー材料に関する研究	3か国/51名(17名)
第13回筑波大学-APEC国際会議	2019/02/07 ~ 2019/02/09	筑波大学 東京キャンパス	筑波大学	AI-デジタル社会における情報・数学教育の革新	12か国/115名(100名)
AGBM-Tsukuba International Management Conference	2019/02/08 ~ 2019/02/09	筑波大学東京キャンパス文京校舎	筑波大学	How can we advance the frontiers of management and move forward in today's rapidly changing and challenging business landscape?	11か国/21名(17名)
第7回筑波大学-東南アジア教育大臣機構 SEAMEOシンポジウム	2019/02/10 ~ 2019/02/10	筑波大学 東京キャンパス	筑波大学	21世紀型教師教育の展開: 東南アジアと日本の広域挑戦	12か国/57名(48名)
文化的資源のアーカイブとメタデータに関する研究集会	2019/02/11 ~ 2019/02/12	情報メディアユニオン	図書館情報メディア系	デジタルアーカイブ間の複合的・横断的連携によるコンテンツの利活用高度化の研究	5か国/15名(5名)
Korea-Japan HPC Winter School	2019/02/12 ~ 2019/02/13	Ewha Campus Complex, Ewha Womans University	Korea Institute of Science and Technology, and Center for Computational Sciences, University of Tsukuba	韓国KISTIとの共催による高性能計算に関するスクール	2か国/50名(45名)
第4回JAMBIO国際シンポジウム	2019/02/18 ~ 2019/02/18	筑波大学東京キャンパス	筑波大学	マリンステーションの国際連携	6か国/38名(6名)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者 (参加国数/参加者数 (うち、外国人参加者))
シンポジウム「地域社会と多文化共生」	2019/02/19 ~ 2019/02/20	筑波大学筑波キャンパス第二エリア 2B412教室	筑波大学 (人文・文化学群日本語・日本文学類/ 人文社会科学研究所国際日本研究専攻)	アジアの各地の急速な多国籍化を受け、課題解決の知 見を共有する	7か国/126名(17名)
BDEC2国際ワークショップ	2019/02/19 ~ 2019/02/21	理化学研究所 計算科学研究センター	BDEC2 神戸実行委員会	Big Data and Extreme Computingに関する国際ワー クショップでエッジからスベコシまでの統一なモデルとア プリケーションに関する議論	不明か国/40名(20名)
第43回ARHHP/ARHHP Human High Performance セミナー	2019/02/21 ~ 2019/02/21	筑波大学5C606	筑波大学ARHHP	講演タイトル 「The role of combined stressors in human performance and physiology」	2か国/33名(1名)
持続可能な開発目標達成に向けた国際教育協力 日本フォーラム(第16回)	2019/02/22 ~ 2019/02/22	文部科学省第1講堂(東館3階)	文部科学省、外務省、広島大学、筑波大 学	持続可能な成長を担う次世代の教育の現状と課題—乳 幼児期を中心に	6か国/107名(24名)
筑波大学ホーチミンオフィス10周年記念シンポジ ウム 日本語教育拠点ベトナムと日本国内との連携を 目指して	2019/02/22 ~ 2019/02/22	ホーチミン市師範大学	筑波大学	日本語教育の連携のための研究成果の共有	3か国/40名(30名)
感染症シンポジウム	2019/02/22 ~ 2019/02/22	ホーチミン市医科薬科大学	筑波大学・ホーチミン市医科薬科大学	感染症研究に関する研究成果の共有し、共同研究を促 進する	2か国/50名(40名)
筑波大学ホーチミンオフィス開設10周年記念式典 ヘルスケアシンポジウム	2019/02/22 ~ 2019/02/22	ホーチミン市医科薬科大学	筑波大学看護学類・UMP-HCMC看護医 療技術学部	ヘルスケア(主に高齢者ケア)に関する研究成果の共有	3か国/50名(40名)
第6回IEEEビッグデータとスマートコンピューティ ングに関する国際会議	2019/02/27 ~ 2019/03/02	京都大学	IEEE	ビッグデータ、スマートコンピューティング	不明か国/300名(不明名)
スマートシティ向けビッグデータ、クラウド、および IoTテクノロジーに関する第1回国際ワークショップ	2019/02/27 ~ 2019/02/27	京都大学	IEEE	ビッグデータ、クラウド/エッジコンピューティング、IoT、ブ ロックチェーンなどのスマートシティ関連技術	不明か国/100名(不明名)
International Workshop: Translating and Educating: The Transmission of Indian and Buddhist Texts and Thought	2019/03/01 ~ 2019/03/02	筑波大学東京キャンパス	筑波大学	翻訳と教育によるインド-仏教文献と思想の伝承	5か国/40名(10名)
Importance of the Near Eastern Archaeology for the Next Generations	2019/03/01 ~ 2019/03/03	イスタンブール・アクガホンホテル1	筑波大学・文化庁	シリア文化遺産の重要性を、シリアの若者たちに伝え、文 化遺産保護につなげる	4か国/55名(50名)
筑波大学研究重点費による国際ワークショップ および 国際シンポジウム	2019/03/01 ~ 2019/03/02	筑波大学東京キャンパス	筑波大学人文社会系田中洋子	正規・非正規の構造変化と雇用の未来、日本とドイツの比較から考える	3か国/11名(3名)
日本語日本文化フォーラム2019	2019/03/03 ~ 2019/03/03	復旦大学・邯郸キャンパス文系棟	筑波大学	日本語および日本文化の最新の研究成果の共有	2か国/60名(40名)
国際シンポジウム「災害アーカイブの保全と活用 —日本とインドネシアの経験を伝える」	2019/03/04 ~ 2019/03/04	シアクアラ大学	図書館情報メディア系・リサーチユニット 「記憶資源」	災害アーカイブ	2か国/82名(67名)
ARHHP Human High Performance International Forum 2019	2019/03/05 ~ 2019/03/05	筑波大学5C216	筑波大学ARHHP	“Sport Sciences for Olympic and Paralympic Games”	3か国/112名(2名)
CCS-LBNL Workshop	2019/03/06 ~ 2019/03/07	Building 59, Lawrence Berkeley National Laboratory	Computational Research Division, Lawrence Berkeley National Laboratory, and Center for Computational Sciences, University of Tsukuba	CCSとLBNL (Lawrence Berkeley National Laboratory)の 共有による高性能計算及び計算科学に関するワー クショップ	2か国/30名(25名)
International Workshop on Forward Physics and Forward Calorimeter Upgrade in ALICE	2019/03/07 ~ 2019/03/09	筑波大学計算科学研究センター	筑波大学、ユトレヒト大学	LHC, RHIC 加速器エネルギー領域における前方物理と カロリメータ検出器に関する国際ワークショップ	8か国/40名(9名)
ヒューマニクス学位プログラム キックオフシンポジ ウム	2019/03/09 ~ 2019/03/09	筑波大学国際統合睡眠医学科学研 究機構(IIS)講堂	筑波大学グローバル教育院ヒューマニクス 学位プログラム	ヒューマニクス学位プログラムが卓越大学院プログラムに 採択されてことを一般に周知するためのシンポジウム	4か国/100名(25名)
『集量論』第6章・『正理門論』過類段 研究会	2019/03/19 ~ 2019/03/21	Room A-815 of the Institute Building for the Humanities and the Social Sciences of the University of Tsukuba	筑波大学人文社会系哲学・思想専攻小野 研究室	『集量論』第6章梵文の再建	3か国/4名(2名)
日本学術振興会二国間交流事業セミナー第3回 行動神経内分泌学の最前線に関する日中シンポ ジウム	2019/03/20 ~ 2019/03/22	筑波大学 つくばキャンパス	筑波大学	行動神経内分泌学の最前線に関する日中シンポジウム	3か国/100名(21名)
Vadanyāyika 研究会	2019/03/26 ~ 2019/03/27	Room A-811 of the Institute Building for the Humanities and the Social Sciences of the University of Tsukuba	筑波大学人文社会系哲学・思想専攻小野 研究室	後期仏教論理学の重要文献Vadanyāyikaの再校訂プロ ジェクト	2か国/9名(1名)
国際ワークショップ『如実論』道理難品とVa davidhi誤難セクシヨンの比較講読	2019/03/28 ~ 2019/03/29	Room A-823 of the Institute Building for the Humanities and the Social Sciences of the University of Tsukuba	筑波大学人文社会系哲学・思想専攻小野 研究室	初期の仏教論理文学『方便心論』如実論』ならびに 『大乘家珍論』に現れる「過類」概念の検討	4か国/11名(3名)

(5) 国別交流者数

	国・地域名	研究者等の受入	教職員の派遣	外国人留学生	学生の派遣	計	
アジア	インド	57	29	33	14	133	
	インドネシア	34	79	90	67	270	
	カンボジア	4	15	11	12	42	
	シンガポール	10	53	5	31	99	
	スリランカ	5	8	21	16	50	
	タイ	44	96	33	101	274	
	ネパール	6	7	7	10	30	
	パキスタン	3	1	13	1	18	
	バングラデシュ	10	3	39	4	56	
	フィリピン	52	14	28	62	156	
	ブータン	1		1		2	
	ブルネイ			4	1	5	
	ベトナム	30	112	81	70	293	
	マレーシア	36	75	35	92	238	
	ミャンマー	5	12	15	2	34	
	モルディブ	19	2			21	
	モンゴル	5	21	30	10	66	
	ラオス		8	7	7	22	
	韓国	91	173	145	95	504	
	香港	4	30	7	18	59	
	台湾	42	188	103	133	466	
中国	275	228	1,358	201	2,062		
東ティモール			1		1		
中東	アフガニスタン			13		13	
	アラブ首長国連邦	2	2		3	7	
	イエメン			1		1	
	イスラエル	13	4	1		18	
	イラク		3	2		5	
	イラン	5	3	9	1	18	
	オマーン		2			2	
	カタール		3			3	
	キプロス	1	6	1	2	10	
	クウェート		1	1		2	
	サウジアラビア		4	2		6	
	シリア	1		7		8	
	トルコ	4	10	5	7	26	
	バーレーン		2	2	8	12	
	ヨルダン	1				1	
	レバノン	1	4	1	3	9	
	C I S	アゼルバイジャン		6	1	2	9
		アルメニア		2	1	1	4
		ウクライナ	2	17	6	16	41
		ウズベキスタン	5	20	20	7	52
		カザフスタン	11	13	10	24	58
キルギス		1	8	5	18	32	
ジョージア			3	3	1	7	
タジキスタン		2	1	4	1	8	
トルクメニスタン			21	1		22	
ベラルーシ		1		2		3	
モルドバ			1		1	2	
ロシア		31	69	31	45	176	
ヨーロッパ		アイスランド	1				1
	アイルランド	2	12		13	27	
	アルバニア		1			1	
	イタリア	12	71	6	70	159	
	エストニア	4	2	2	8	16	
	オーストリア	8	53	1	42	104	
	オランダ	18	25	7	42	92	
	ギリシャ	4	17	4	10	35	
	クロアチア	1	14	2	12	29	
	スイス	15	61		35	111	
	スウェーデン	4	33	1	23	61	
	スペイン	11	46	3	41	101	
	スロバキア	1	2		1	4	
	スロベニア		11	3	14	28	
	セルビア		3	1	7	11	
	チェコ		14	3	6	23	
	デンマーク	5	22		13	40	
	ドイツ	55	140	33	134	362	
	ノルウェー	2	14	1	6	23	
	ハンガリー	2	2	3	8	15	
	フィンランド	3	17	1	7	28	
	フランス	64	138	27	98	327	
	ブルガリア	1	5	2	1	9	
	ベルギー	7	18		6	31	
	ポーランド	6	17	6	16	45	
	ボスニア・ヘルツェゴビナ			1		1	
	ポルトガル	2	11	5	10	28	
	モナコ		2			2	
	モンテネグロ		1			1	
	ラトビア		5	3	7	15	
	リトアニア			6	1	7	
	ルーマニア	5	9	1	8	23	
	ルクセンブルク	1			1	2	
英国	59	114	9	104	286		

	国・地域名	研究者等の受入	教職員の派遣	外国人留学生	学生の派遣	計	
北米	カナダ	23	80	1	111	215	
	米国	162	606	44	455	1,267	
オセアニア	オーストラリア	17	75	6	55	153	
	サモア			2		2	
	ソロモン諸島		1	3		4	
	ニューカレドニア		1			1	
	ニュージーランド	4	18	1	18	41	
	パプアニューギニア			1		1	
	バヌアツ			4		4	
	パラオ		3	1	1	5	
	フィジー		2	5	3	10	
	ミクロネシア		2			2	
	アルゼンチン	1	28	2	2	33	
中南米	アンティグア・バーブーダ			1		1	
	ウルグアイ		2			2	
	ガイアナ			2		2	
	キューバ		1		1	2	
	グアテマラ			2		2	
	コスタリカ			1	3	4	
	コロンビア	1	6	3	4	14	
	ジャマイカ			3		3	
	チリ	4	13	3	1	21	
	ドミニカ			1		1	
	ハイチ			1	1	2	
	パナマ		1			1	
	パラグアイ			2		2	
	ブラジル	8	37	39	9	93	
	ペネズエラ	2		3		5	
	ペルー	1	13	15	6	35	
	ボリビア		1			1	
	メキシコ	2	10	7	18	37	
	アフリカ	アルジェリア			5	2	7
		ウガンダ			4	2	6
		エジプト	10	14	12	3	39
エチオピア		1		9	2	12	
エリトリア				2		2	
ガーナ			2	12	3	17	
カメルーン		2		2	1	5	
ギニア				2		2	
ケニア		1	5	7	4	17	
コートジボワール				1	1	2	
コンゴ民主共和国				1	1	2	
シエラレオネ				1		1	
ジンバブエ		1	1			2	
スーダン		1		2	1	4	
セネガル			3	3	4	10	
タンザニア			2	3	2	7	
チュニジア		9	12	8	8	37	
ナイジェリア				8		8	
ボツワナ			1	1		2	
マダガスカル			1			1	
マラウイ		2		5	3	10	
マリ	1		1		2		
モーリタニア		2		2	4		
モザンビーク		1	4		5		
モロッコ	1	11	10	17	39		
リベリア			3		3		
ルワンダ		2	3	5	10		
南アフリカ		4	2	5	11		
その他	その他	3			8	11	
	国・地域不明	11				11	
合計		1,375	3,204	2,587	2,593	9,759	

7 社会連携・大学公開関係

(1) 社会貢献プロジェクト(採択課題)

※所属/氏名欄の網掛けは、学生の取組みを示す。

分野	所属/氏名	取組み名
科学振興	システム情報系 /亀田敏弘	超小型人工衛星の開発と利用を通じた体験実習型科学教育による地域・社会貢献プロジェクト
	数理物質系 /後藤博正	地域社会貢献のための小中高校生への理科教育啓発活動
	生命環境系 (山岳科学センター)/石田健一郎	多様な人々に対応できる自然観察環境整備
	生命環境系 /Matthew C. Wood	学生によるサイエンスコミュニケーションの実践 ～筑波大学サイエンスコミュニケーショングループSCOUT～
	システム情報工学研究科 /讃井知	大学院生による国内外における学術的交流の促進
環境	生命環境系 /田村憲司	環境マイスターの育成による地域環境教育の推進および環境保全事業
	生命環境系 /丸尾文昭	「いもりの里」をモデル拠点とした谷津田・里山の復元・維持管理ネットワークの継続的発展2018
文化・地域活性化	人文社会系 /井川義次	哲学カフェによる地方創生
	芸術系 /太田圭	アートと英語に親しむ「夏休みアート・デイキャンプ&アートたんけん隊2018」の実施
	附属坂戸高等学校 /深澤孝之	つくさか地域食育支援プロジェクト ～食と協働の学習支援～
	システム情報系 /川島宏一	Hack My Tsukuba ～市民の市民による市民のための問題解決～
	人文社会系 /滝沢誠	博学連携による地域文化財の再生と利活用 —土浦市における重要遺跡の調査とパブリック・アーケオロジーの実践—
	人間系 /原田悦子	高齢者コミュニティで作る産学・社会連携プロジェクト 広報誌を介した地域づくり
	体育系 /岡田弘隆	柔道を通じた世界の一流選手と日本の子どもたちとの国際交流
	体育センター /山田幸雄	スポーツを通して東北を元気にする
	比較文化学類 /小田島実結	盆LIVE2018
健康・医療・福祉	体育系 /中田由夫	住民主導による健康減量教室の普及
	附属病院 /渡辺小百合	『つくばキッズメディカルユニバーシティ 2018』 ～小学生対象の医療現場体験ツアー～
	附属病院 /塚田恵鯉子	摂食障害の早期発見・早期治療、医療連携、社会復帰を目的とした総合的な疾患啓発と疾患教育
防災・復興支援	体育系 /長谷川聖修	原発事故避難者に対する自立型スポーツ・体操活動の継続支援
	比較文化学類 /小林彩香	地域コミュニティ形成の継続的支援
その他	生命環境系 /加藤盛夫	農業体験学習を通じた地元小学生の農業理解の推進

(2) 地方自治体との連携協定

自治体名	連携事項	締結日	備考
つくば市	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と市の情報、資源及び研究成果等の交流並びにその活用 ・大学と市が共同して行う事業の企画及び実施 	H15.10.1	包括
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と県の相互の情報、技術等知的資源の活用 ・地域の活力を育む人材の育成 ・大学と県が共同して実施する事業の企画、調整及び推進 	H17.2.7	包括
大子町	<ul style="list-style-type: none"> ・教育等の人材育成のための特色ある取り組みに関すること ・地域の健康増進 ・地域の自然、文化を活かしたまちづくり ・農産物等の地域資源の振興 	H20.8.7	包括
文京区	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・文化、スポーツ、芸術の発展及び産業の振興 ・地域コミュニティの発展 	H22.2.9	包括
牛久市	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、文化、スポーツの振興 ・健康及び福祉の増進 ・地域資源の活用及び振興 ・地域の自然及び環境対策 ・まちづくりの推進 	H22.7.28	包括
土浦市	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの推進 ・地域資源の活用及び振興 ・教育、文化及びスポーツの振興 ・地域施策の助言 	H23.3.1	包括
常総市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を活かしたまちづくり ・文化・スポーツ・芸術を通じた地域活性化 ・教育支援及び人材育成 ・健康及び福祉の増進 	H24.2.14	包括
行方市	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・食、運動、休息による地域活性化 ・まちづくり推進及び健康サービスモデル開発事業 	H24.10.3	共同研究
福島県いわき市	<ul style="list-style-type: none"> ・津波等により甚大な被害を受けた沿岸地域等の復興 ・地域力の再生及び強化 ・地域産業の再生及び復興 ・都市魅力の再生及び復興 	H23.8.10	震災復興
宮城県仙台市及び 国立大学法人東北 大学	<ul style="list-style-type: none"> ・藻類バイオマス技術による東北の復興に向けて、 ・三者の相互の情報、技術的知的資源の活用 ・三者が共同して実施する事業の企画、調整及び推進 	H23.11.10	震災復興
潮来市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・産業の振興による復興支援 ・震災復興に係る施策への助言 	H23.11.21	震災復興
福島県伊達市	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づく先進的な健康づくり ・放射性核種による汚染の実態と対策及び健康管理 	H23.11.28	震災復興
神栖市	<ul style="list-style-type: none"> ・液状化被害、ライフライン被害等の調査検討 ・地域防災計画の見直し ・復興に向けたまちづくりの推進 	H23.11.29	震災復興
北茨城市	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活基盤の復旧及び地域コミュニティの再生 ・地域産業及び経済の再建 ・防災基盤の整備及び防災体制の強化 ・地域の現状や特性に応じたまちづくり 	H23.12.2	震災復興
高萩市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・生涯を通じた心身の健康づくり 	H23.12.6	震災復興
鹿嶋市	<ul style="list-style-type: none"> ・震災からの復興に向けたまちづくりの推進 ・津波及び液状化対策 ・地域防災計画の改定 	H24.2.27	震災復興

(3) 高大連携事業一覧

事業名		対応員数等	参加人数	備考
茨城県教育委員会	高校生公開授業	4 科目	8 名	1 3 科目提供
	高校生公開講座	7 講座	1 2 3 名	7 講座提供
	未来の科学者育成プロジェクト	9 研究室	3 3 名	科学体験教室、12研究室提供 県からの委託事業
		教員 1 名	1 7 名	「地学地理」強化トレーニング
茨城県高校生科学研究発表会	審査員 5 4 名	発表者 3 4 2 名 (発表件数132件)	審査員には大学院生含む	
竹園高校	筑波大学図書館研修	中央図書館対応	8 0 名	2 年生対象
	「探Q」アドバイザー派遣	派遣大学院生 1 0 名	国際科 8 0 名	中間発表会(2月)に教員1名派遣
	研究室体験学習 (文系)	5 名	国際科 3 9 名	国際科2年、教育研究科で担当
	研究室体験学習 (理系)	4 名	国際科 4 1 名	国際科2年
	先端科学講座 (物化生)	派遣教員 3 名	1 6 0 名	全学年 (1 年生中心) 1 分野40~60名
	学類・学群紹介模擬授業	派遣教員 1 4 名	3 0 0 名	1 年生全員、2~3 年生希望者
	国際科オリエンテーション	探Qアドバイザー 5 名	8 0 名	国際科進級予定 1 年生対象
茗溪学園	科学研究アドバイザー	派遣大学生 2 名	2 5 名	2 年生対象
	SSH講演会	派遣教員 8 名	2 7 0 名	1 年生対象
	SS研究・個人課題研究発表会	室員(座長) 8 名	発表者 2 8 名 参加者 5 0 0 名	大学会館使用 全校生徒参加
	SSH運営指導委員会	教員(運営委員) 6 名	高校教員 1 0 名	
		教員(運営委員) 6 名	高校教員 1 0 名	発表会も参観
医療科学類リサーチプログラム	—	3 名	2 年生 (個人参加)	
土浦一高	出前講義	対応教員 1 名	2 6 名	医学研 2 年生
		対応教員 1 名	1 8 名	医学研 2 年生
		対応教員 1 名	2 1 名	医学研 2 年生
	病院実習	対応教員 4 名	延べ 4 7 名	医学研 2 年生
	海外フィールドワーク	対応教員 2 名	2 6 名	事前指導
		対応教員 1 名	2 6 名	UCアーバイン
	留学生とのワークショップ	留学生延べ22名	3 1 7 名	1 年生対象
グローバルビジネスアイデアコンテスト	対応教員 2 名	3 4 3 名	1, 2 年生	
模擬国連ワークショップ	対応教員 1 名 学生 5 名	3 名	社会・国際学群高大連携企画	
附属駒場	高校生大学訪問 (研究室体験)	1 9 研究室	1 6 1 名	2 年生
	中学生大学訪問 (研究室体験)	(前半) 1 0 研究室 (後半) 7 研究室	1 2 0 名	中学 3 年生
附属高校	大学訪問 (研究室体験)	2 9 研究室	2 4 0 名	2 年生

事業名		対応員数等	参加人数	備考	
附属坂戸	大学訪問(模擬授業+施設見学)	6学類	163名	1年生、生物資源学類は2グループ受け入れ	
附属聴覚	大学訪問	対応教員2名	21名	3年生、DACアセスビリティ部門が対応	
附属視覚	大学訪問	対応教員3名	18名	2年生、DACアセスビリティ部門が対応	
各組織による独自の取り組み	ワールドカフェ	対応教員1名	5県(5校)	比較文化学類	
	古典籍入門	対応教員2名	9名	日本語・日本文化学類	
	TAによる授業支援	対応教員1名 派遣大学院生2名	120名	生物資源学類	
	高大連携シンポジウム	対応教員6名	52名	社会工学類	
	高校生アトライター大賞	対応教員20名	募集の周知のみ	芸術専門学群	
	理工系一日体験教室	数学類		45名	体験学習
		物理学類		58名	体験学習
		化学類		96名	一日体験化学教室
応用理工学類			60名 48名	サマースクール スプリングスクール	
米軍子弟教育高大連携プロジェクト		12研究室	100名	米軍の委託事業	
出前(出張)講義、模擬授業・研究室体験等		205件	—	WEB申込分、115校	

(4) 公開講座実施状況

ア 一般公開講座

公開講座名	講座数	対象者	募集人数	応募者数	受講者数	修了者数
剣道（春季）	1	一般市民(小学校1年生以上)	50	50	50	45
剣道（秋季）	1	一般市民(小学校1年生以上)	50	51	50	47
弓道	1	一般市民(中学生以上の初心者)	40	53	40	39
バレーボール	1	一般市民（成人女性）	72	19	18	15
ゴルフ（初級）	1	一般市民（初心者）	24	62	23	23
ゴルフ（中級）	1	一般市民（「初級講座」修了者）	24	25	25	24
ゴルフ（上級）	1	一般市民（「中級講座」を修了し、ベストスコアが100以下の方）	24	31	30	30
ゴルフ（上級アドバンスコース）	1	一般市民（「上級講座」を修了し、ベストスコアが95以下の方）	24	28	28	28
スポーツ教室	8 講座		308	319	264	251
油絵（初級・中級）	1	一般市民(初級：16歳以上、中級：18歳以上)	35	31	30	27
日本画	1	一般市民(16歳以上)	20	19	18	16
電気炉でガラス作品を作ろう！ （入門基礎、応用）	2	一般市民(入門基礎：初心者、応用：経験者)	32	26	23	23
芸術教室	4 講座		87	76	71	66
まちなか自然講座～昆虫・植物・菌類～	1	一般市民	20	36	30	26
筑波山地域ジオパークの魅力	1	一般市民	25	30	29	25
私たちはなぜ働くのだろうーあなたと考える「哲学カフェ」	1	一般市民	20	13	10	10
植物遺伝資源研究の最前線～育種から植物分子デザイン研究まで～	1	一般市民（高校生以上）	20	40	39	38
政治、歴史学およびアーカイブズ～日露戦争、ロシア革命とシベリア出兵を事例に～	1	一般市民	30	7	7	5
海洋生物学入門	1	高校生	25	35	25	25
食品の機能性に深く関係する生物たちとその機能	1	一般市民	30	39	36	32
高齢者が求めるこれからのヒューマン・ケアリング：認知症、フレイル、肺炎予防	1	一般市民	60	54	49	49
アドバンス・スポーツ・ボランティア講座	1	一般市民（高校生以上）	30	14	14	13
東洋医学でリフレッシュ！	1	一般市民	40	22	22	19
教養講座	10 講座		300	290	261	242
計	22 講座		695	685	596	559

イ 現職教育講座

公開講座名	講座数	対象者	募集人数	応募者数	受講者数	修了者数
ユニバーサルデザインのリハビリテーションサービス	1	一般市民、サービス実践者、研究者・教育者	20	10	10	10
弱視教育研修講座	1	弱視教育担当教員等	35	32	35	34
視覚に障害のある重複障害児の指導と教材・教具	1	特別支援学校・特別支援学級教員等	40	45	45	45
学校教育相談	1	教職員、一般市民	40	25	21	18
さまざまな障害の子どもたちの体育指導	1	中学・高校の保健体育教員、小学校・特別支援学校の教員、支援員	30	31	29	27
いじめ対応スキルアップ研修会～カウンセリングからのアプローチ	1	学校教職員、スクールカウンセラー	30	18	17	16

公開講座名	講座数	対象者	募集人数	応募者数	受講者数	修了者数
教員のための遺伝子組換え実験教育研修会	1	中学・高校の教員及び博物館等の教育施設に勤務する者	16	17	15	14
視覚障害教育における自立活動の理論と実際	1	特別支援教育に関わる教員及び児童福祉施設等職員	30	19	19	19
自閉症のある子供のアセスメントと実態に応じた教材・教具づくり	1	現職教員、教職を目指す大学生、療育機関および福祉施設の職員	30	12	8	7
特別支援教育における社会性支援のための音楽活動Ⅰ	1	幼稚園、小学校、特別支援学校教員等	30	32	29	28
特別支援教育における社会性支援のための音楽活動Ⅱ	1	幼稚園、小学校、特別支援学校教員等	30	45	36	35
特別支援教育における教材・教具の活用と製作	1	特別支援教育及び関連する指導者等	20	32	15	14
特別支援教育における行動問題の理解と援助	1	幼稚園及び特別支援教育教員等	24	39	27	27
特別支援教育における情動調整の理解と支援	1	幼稚園及び特別支援教育教員等	36	25	25	23
自閉症児における社会性の評価と支援	1	幼稚園及び特別支援教育教員等	36	25	23	23
聴覚障害・発音指導研修講座	1	聴覚障害児、言語障害児の教育、療養に関わる者	50	40	38	35
静的弛緩誘導法を基盤とする障害の重い子の成長・発達の援助	1	特別支援学校教員、医療・療育施設職員等	24	31	28	26
授業で生きる知覚－運動学習	1	保育園、幼稚園、小・中・高、特別支援学校の教員、教育委員会職員等	30	10	9	9
自立活動に活かす動作法実習	1	特別支援学校教員等	25	30	28	26
特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援	1	小・中・高及び特別支援学校の教員、教育委員会等の教育関係者	30	28	25	20
自閉症のある子供と音楽	1	教員・保育士・施設職員	50	47	43	40
知的障害を伴う自閉症児の幼児期の指導	1	教員・保育士・施設職員	30	23	21	19
盲・弱視児童生徒理科実験指導研修講座	1	視覚障害児の教育に関わる教員等	15	13	10	9
免許法認定公開講座「特別支援教育の基礎理論」	1	幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教諭普通免許状を有し、国公私立学校に勤務する教員で、特別支援学校教諭免許状を取得しようとする者	70	107	67	65
免許法認定公開講座「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」	1		70	105	68	66
免許法認定公開講座「視覚障害の理解」	1		40	53	38	38
免許法認定公開講座「聴覚障害の理解」	1		40	52	40	35
免許法認定公開講座「知的障害の理解」	1		70	67	64	63
免許法認定公開講座「肢体不自由の理解」	1		30	43	35	34
免許法認定公開講座「視覚障害の指導法」	1		40	46	38	38
免許法認定公開講座「聴覚障害の指導法」	1		40	32	25	24
免許法認定公開講座「知的障害の指導法」	1		70	63	50	50
免許法認定公開講座「肢体不自由の指導法」	1		30	34	31	30
免許法認定講習「特別支援学校（視覚）理療科教員免許法認定講習」	1	視覚特別支援学校に勤務している教員で理療に係る特別支援学校自立教科教諭の臨時免許状または二種免許状を有する者	40	19	18	18
計	34 講座		1,241	1,250	1,030	985

(5) 教員免許状更新講習

(平成30年度)

区分		講習名	受講者数
必修領域	必修A	教育の最新事情(4講習)	1,010人
	選択必修領域	学習指導要領の変遷と学校教育をめぐる今日的課題(2講習)	132人
「教育法規と教育政策」及び「学校における危機管理上の課題」(2講習)		67人	
国際バカロレア教育と日本の教育課題		35人	
次期学習指導要領が求めるキャリア教育の在り方(2講習)		58人	
開かれた学校(2講習)		74人	
学校予防教育ー子どもの問題の理解と対応のためにー		47人	
学校を巡る近年の状況の変化(2講習)		96人	
すぐに役立つ 児童生徒の望ましい人間関係づくりを身につけよう(2講習)		75人	
アクティブ・ラーニングの理論と方法ー主体的・対話的で深い学びを目指してー(2講習)		75人	
いじめ・不登校の理解と対応		71人	
学校教育におけるICT活用ーその可能性と課題を考えるー		27人	
カリキュラム評価からみたカリキュラム・マネジメント		23人	
道徳教育の最新動向ー「考える道徳」・「議論する道徳」へー		47人	
学校組織マネジメント		25人	
グローバル時代の教育課題		39人	
コミュニケーション能力の定義をもとにした英語教育の基本的認識と指導方法概論		9人	
新学習指導要領に基づく小学校英語教育の理論と実践		49人	
進路と教育		35人	
学校で苦戦する子供の援助ーチーム学校の視点から		65人	
カリキュラム・マネジメント		30人	
選択領域		選択B	オリンピック・パラリンピック教育の授業づくりー
	特別支援教育における体育ー障害のある子どもも“いきいき”できる体育活動をめざしてー		30人
	特別なニーズのある子どもの理解と支援(3講習)		142人
	理科好きな子どもを育てる授業		36人
	国語科における教育課程の動向と対話活動の充実		38人
	図画工作・美術教育を複眼的に考える		28人
	地理情報システム(GIS)を取り入れた社会科(地理歴史科)の教材作成		7人
	英語を学ぶ教室への、英米文学、英語学、英語教育学の3つの視点からの提案		28人
	「おや?」「なるほど!」による算数・数学科問題解決の指導ー愉しく・優しく育まれる人の心、生きる術、卓越した叡智		63人
	体づくり運動の教材づくり ～ 楽しく動いて動きを身に付けようー		39人
	心の教育からの脱却と道徳教育		91人
	性や薬物乱用等の現代的課題に対応した保健教育の考え方と進め方		33人
	世界の授業、日本の授業ー算数・数学授業の国際比較		36人
	フィールドワークを取り入れた社会科(地理歴史科)の授業の構成		27人
	英語で進める授業の基礎・基本		29人
	書写・書道教育の今日的課題		40人
	4技能を伸ばし、測定するテストと評価		20人
	視覚に障害のある児童・生徒等の様々なサポート		21人
	授業のユニバーサルデザイン化を考えるー見える子も、見えない子も一緒に学ぶためにー		19人
	触って考える数学		17人
	見えにくさ・わかりにくさへの配慮って何だろう?ー拡大教科書や教材・試験問題のアクセシビリティなど学習環境から考えるー		14人
	幼稚園や小中学校等に在籍する気になる子への支援ー発達障害に焦点を当ててー	53人	
	エクセルとフリーソフトを用いたやさしい統計教材の作成(2講習)	47人	
	考える算数・体験的算数	91人	
	オリンピックを題材とする体育理論の授業づくりー文化としてのスポーツ学習を中心に	23人	
	主体的で深い学びのある言語活動の充実と英語学習指導のあり方ー昔も、今も、これからも変わらない大切なことー	34人	
	演劇の専門家とつくる教室	19人	
	書写指導ー児童・生徒の文字への関心を高めるためにー	21人	
	漢文訓読ー高等学校国語での漢文教材の工夫と有効活用ー	18人	
	5年後のICT技術と授業・教室ーエバンジェリストと教員との対話ー	16人	
	選択C	丈夫でおいしい野菜の品種をめざしてー園芸植物育種研究所での体験型学習ー(2講習)	36人
		イタズラ実験オモシロ工作	46人
		外国人生徒・保護者のニーズ:多様性をはぐむ学校教育のあり方	43人
学校の大規模災害対処と法的責任(2講習)		125人	
簡単にヴィジュアルプログラミングー楽しみながら魅力的な教材をつくらうー		56人	
情報活用能力や発想力を題材にしたアクティブ・ラーニングの実践		17人	
スクリーンプリント基礎実習		11人	
哲学カフェー「アクティブラーニング」スタート講座		29人	
日本の経済・金融事情		16人	
発見!「筑波山地域ジオパーク」		39人	
あなたの英語、使えます!簡単な英語で楽しもう!ー小学校英語授業に挑戦する教師のためにー		29人	
稲と米のはなし		19人	
学校における個人情報保護(2講習)	166人		
気になる放射線を理解するー放射線の基礎と測定ー	31人		
国際的視野から見た日本:市民社会、江戸の児童教育、外国人にとつての日本語	48人		
知的好奇心を引き出す数学	34人		
身近な物質の不思議さ・面白さ	22人		
アジア・太平洋戦争を問い直す(4講習)	168人		
エネルギー資源と新技術	22人		
総合学習に取り入れる栽培学習	19人		
変動する大地ー地震・津波・火山・地すべりー	30人		
学校・図書館で取り扱う情報と法的諸問題	26人		
学校トラブルへの法的対処(幼稚園・小学校編)(2講習)	167人		
現代の文化・芸術の学際的研究の視点からみた教育と学習	12人		
里山探検隊	47人		
スポーツ化時代の学校体育の存在意義を考える	36人		
学校トラブルへの法的対処(中学校・高等学校編)(2講習)	172人		
人工知能・ビッグデータを支える技術	8人		
楽しく伝えるビジュアルデザイン	30人		
ミュージアムパークで開く野外観察へのとびらー身近な草木やコケの名前を調べようー	30人		
動物観察ことはじめーミジンコの観察からクマの話までー	32人		
実習と実験による役に立つ防災教育(土木学会との共催)	39人		
心から心に響くうた	17人		
知識社会を支える社会調査法	30人		
超少子高齢社会における学期からの生涯を通じた健康支援	36人		
スーパーボール講義	21人		
東洋医学的アプローチによる生徒の健康管理	19人		
リハビリテーションの理論と実際	17人		
楽しく学べるやさしい天気予報活用術(2講習)	115人		
発達期のこころと行動ー小児科・精神科の視点からー	104人		
選択D	附属小学校実践演習(3講習)	110人	
	附属中学校実践演習(2講習)	56人	
	附属高等学校実践演習(2講習)	61人	
	附属駒場中・高等学校実践演習	46人	
	附属坂戸高等学校実践演習	29人	
	附属視覚特別支援学校実践演習	21人	
	附属聴覚特別支援学校実践演習(2講習)	48人	
	附属大塚特別支援学校実践演習(2講習)	63人	
	附属桐が丘特別支援学校実践演習(2講習)	35人	
	附属久里浜特別支援学校実践演習(2講習)	37人	
他の講座等を活用した講習	療育教育とオリンピック・パラリンピック	34人	
合計	132講習	5,721人	

区分		講習名	受講者数
必修領域	必修A	教育の最新事情(4講習)	1,010人
	選択必修領域	学習指導要領の変遷と学校教育をめぐる今日的課題(2講習)	132人
「教育法規と教育政策」及び「学校における危機管理上の課題」(2講習)		67人	
国際バカロレア教育と日本の教育課題		35人	
次期学習指導要領が求めるキャリア教育の在り方(2講習)		58人	
開かれた学校(2講習)		74人	
学校予防教育ー子どもの問題の理解と対応のためにー		47人	
学校を巡る近年の状況の変化(2講習)		96人	
すぐに役立つ 児童生徒の望ましい人間関係づくりを身につけよう(2講習)		75人	
アクティブ・ラーニングの理論と方法ー主体的・対話的で深い学びを目指してー(2講習)		75人	
いじめ・不登校の理解と対応		71人	
学校教育におけるICT活用ーその可能性と課題を考えるー		27人	
カリキュラム評価からみたカリキュラム・マネジメント		23人	
道徳教育の最新動向ー「考える道徳」・「議論する道徳」へー		47人	
学校組織マネジメント		25人	
グローバル時代の教育課題		39人	
コミュニケーション能力の定義をもとにした英語教育の基本的認識と指導方法概論		9人	
新学習指導要領に基づく小学校英語教育の理論と実践		49人	
進路と教育		35人	
学校で苦戦する子供の援助ーチーム学校の視点から		65人	
カリキュラム・マネジメント		30人	
選択領域		選択B	オリンピック・パラリンピック教育の授業づくりー
	特別支援教育における体育ー障害のある子どもも“いきいき”できる体育活動をめざしてー		30人
	特別なニーズのある子どもの理解と支援(3講習)		142人
	理科好きな子どもを育てる授業		36人
	国語科における教育課程の動向と対話活動の充実		38人
	図画工作・美術教育を複眼的に考える		28人
	地理情報システム(GIS)を取り入れた社会科(地理歴史科)の教材作成		7人
	英語を学ぶ教室への、英米文学、英語学、英語教育学の3つの視点からの提案		28人
	「おや?」「なるほど!」による算数・数学科問題解決の指導ー愉しく・優しく育まれる人の心、生きる術、卓越した叡智		63人
	体づくり運動の教材づくり ～ 楽しく動いて動きを身に付けようー		39人
	心の教育からの脱却と道徳教育		91人
	性や薬物乱用等の現代的課題に対応した保健教育の考え方と進め方		33人
	世界の授業、日本の授業ー算数・数学授業の国際比較		36人
	フィールドワークを取り入れた社会科(地理歴史科)の授業の構成		27人
	英語で進める授業の基礎・基本		29人
	書写・書道教育の今日的課題		40人
	4技能を伸ばし、測定するテストと評価		20人
	視覚に障害のある児童・生徒等の様々なサポート		21人
	授業のユニバーサルデザイン化を考えるー見える子も、見えない子も一緒に学ぶためにー		19人
	触って考える数学		17人
	見えにくさ・わかりにくさへの配慮って何だろう?ー拡大教科書や教材・試験問題のアクセシビリティなど学習環境から考えるー		14人
	幼稚園や小中学校等に在籍する気になる子への支援ー発達障害に焦点を当ててー	53人	
	エクセルとフリーソフトを用いたやさしい統計教材の作成(2講習)	47人	
	考える算数・体験的算数	91人	
	オリンピックを題材とする体育理論の授業づくりー文化としてのスポーツ学習を中心に	23人	
	主体的で深い学びのある言語活動の充実と英語学習指導のあり方ー昔も、今も、これからも変わらない大切なことー	34人	
	演劇の専門家とつくる教室	19人	
	書写指導ー児童・生徒の文字への関心を高めるためにー	21人	
	漢文訓読ー高等学校国語での漢文教材の工夫と有効活用ー	18人	
	5年後のICT技術と授業・教室ーエバンジェリストと教員との対話ー	16人	
	選択C	丈夫でおいしい野菜の品種をめざしてー園芸植物育種研究所での体験型学習ー(2講習)	36人
		イタズラ実験オモシロ工作	46人
		外国人生徒・保護者のニーズ:多様性をはぐむ学校教育のあり方	43人
学校の大規模災害対処と法的責任(2講習)		125人	
簡単にヴィジュアルプログラミングー楽しみながら魅力的な教材をつくらうー		56人	
情報活用能力や発想力を題材にしたアクティブ・ラーニングの実践		17人	
スクリーンプリント基礎実習		11人	
哲学カフェー「アクティブラーニング」スタート講座		29人	
日本の経済・金融事情		16人	
発見!「筑波山地域ジオパーク」		39人	
あなたの英語、使えます!簡単な英語で楽しもう!ー小学校英語授業に挑戦する教師のためにー		29人	
稲と米のはなし		19人	
学校における個人情報保護(2講習)	166人		
気になる放射線を理解するー放射線の基礎と測定ー	31人		
国際的視野から見た日本:市民社会、江戸の児童教育、外国人にとつての日本語	48人		
知的好奇心を引き出す数学	34人		
身近な物質の不思議さ・面白さ	22人		
アジア・太平洋戦争を問い直す(4講習)	168人		
エネルギー資源と新技術	22人		
総合学習に取り入れる栽培学習	19人		
変動する大地ー地震・津波・火山・地すべりー	30人		
学校・図書館で取り扱う情報と法的諸問題	26人		
学校トラブルへの法的対処(幼稚園・小学校編)(2講習)	167人		
現代の文化・芸術の学際的研究の視点からみた教育と学習	12人		
里山探検隊	47人		
スポーツ化時代の学校体育の存在意義を考える	36人		
学校トラブルへの法的対処(中学校・高等学校編)(2講習)	172人		
人工知能・ビッグデータを支える技術	8人		
楽しく伝えるビジュアルデザイン	30人		
ミュージアムパークで開く野外観察へのとびらー身近な草木やコケの名前を調べようー	30人		
動物観察ことはじめーミジンコの観察からクマの話までー	32人		
実習と実験による役に立つ防災教育(土木学会との共催)	39人		
心から心に響くうた	17人		
知識社会を支える社会調査法	30人		
超少子高齢社会における学期からの生涯を通じた健康支援	36人		
スーパーボール講義	21人		
東洋医学的アプローチによる生徒の健康管理	19人		
リハビリテーションの理論と実際	17人		
楽しく学べるやさしい天気予報活用術(2講習)	115人		
発達期のこころと行動ー小児科・精神科の視点からー	104人		
選択D	附属小学校実践演習(3講習)	110人	
	附属中学校実践演習(2講習)	56人	
	附属高等学校実践演習(2講習)	61人	
	附属駒場中・高等学校実践演習	46人	
	附属坂戸高等学校実践演習	29人	
	附属視覚特別支援学校実践演習	21人	
	附属聴覚特別支援学校実践演習(2講習)	48人	
	附属大塚特別支援学校実践演習(2講習)	63人	
	附属桐が丘特別支援学校実践演習(2講習)	35人	
	附属久里浜特別支援学校実践演習(2講習)	37人	
他の講座等を活用した講習	療育教育とオリンピック・パラリンピック	34人	
合計	132講習	5,721人	

※受講者数:受講申込者数から事前辞退者・当日欠席者を除いた数。

(6) 大学会館施設利用状況

H30.04.01～H31.03.31

施設名	回数	利用者数				主な利用内容
		学生	教職員	学外者	計	
ホール	136	5,652	1,809	9,369	16,830	式典等(10回), 音楽会等(13回) 学会(7回), シンポジウム等(10回) 授業等(19回), その他(77回)
講堂	131	24,741	2,269	10,505	37,515	式典等(7回), 音楽会等(8回) 学会(4回), シンポジウム等(1) 授業等(35回), その他(76回)
国際会議室	97	2,422	2,242	3,999	8,663	国際会議等
特別会議室	151	3,794	1,787	4,763	10,344	学会等諸会議
第1～6会議室	654	12,353	5,831	6,514	24,698	学会等諸会議, 学生健康診断
レクリエーション室	143	733	172	250	1,155	職員の華道, 茶道の講習会等
小計	1,312	49,695	14,110	35,400	99,205	
多目的ホール	143	4,490	430	1,777	6,697	学生, 教職員の作品展示会等
ラウンジ	82	4,041	239	986	5,266	学生, 教職員の作品展示会等
ギャラリー	65	2,710	157	749	3,616	学生, 教職員の作品展示会等
マルチメディアルーム	103	3,436	830	811	5,077	見学者対応等
同窓交流室	39	66	71	102	239	元教職員等の交流
小計	432	14,743	1,727	4,425	20,895	
筑波大学ギャラリー	299	1,642	706	13,973	16,321	見学等
大学会館宿泊施設(20室, 22名)	286	5	1,096	1,110	2,211	講師等の宿泊 ※10月1日から20室22名
天久保宿泊施設(16室, 16名)	353	279	606	2,067	2,952	〃
春日宿泊施設(6室, 6名)	239	119	228	371	718	〃
小計	878	403	1,930	3,548	5,881	
合計	2,921	66,483	18,473	57,346	142,302	

(7) 視察・来訪者

ア キャンパスツアー見学受入数(平成30年度)

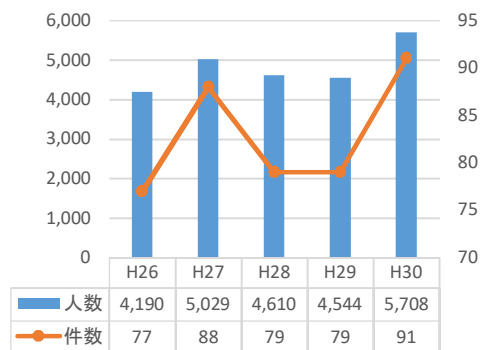
見学者別受入数

団体の種類	件数	人数
高等学校(中等教育学校4年以上含む)	67	3,895
中学校	9	1,009
P T A	10	540
その他	5	264
合計	91	5,708

目的別受入数

目的の種類	件数	人数
進路指導	78	5,008
研修・研究会	10	540
施設見学	2	140
修学旅行	1	20
合計	91	5,708

キャンパスツアー見学受入数の推移



内訳

月	学校等名	件数	人数	見学目的
4月	福島県立磐城高等学校普通科3年	2	80	進路指導
	城北学園城北高等学校1年		47	進路指導
5月	仙台市立上杉山中学校3年	10	20	修学旅行
	山梨学院高等学校2年		69	施設見学
	千葉県旭市立飯岡中学校1年		80	進路指導
	(千葉県)市原中央高等学校普通科2年		30	進路指導
	筑駒歴史を歩く会(附属駒場高校卒業生のPTA)		120	施設見学
	福島県立磐城高等学校普通科2年		80	進路指導
	聖ウルスラ学院英智高等学校普通科2年		50	進路指導
	栃木県立茂木高等学校総合学科2年		30	進路指導
	(東京都)岩倉高等学校普通科2年		100	進路指導
	(群馬県)樹徳高等学校普通科特進コース2年		73	進路指導
6月	岩瀬日本大学高等学校国立・特進コース2年	10	28	進路指導
	茨城県立勝田高等学校普通科2年		80	進路指導
	埼玉県立春日部高等学校普通科理系2・3年		80	進路指導
	大宮開成高等学校普通科1年		98	進路指導
	栃木県立さくら清修高等学校総合学科2年		45	進路指導
	さいたま市立浦和高等学校PTA進路委員会		11	PTA研修
	茨城県立古河中等教育学校3年(中学3年)		120	進路指導
	香川県立高松桜井高等学校2年		51	進路指導
	(埼玉県)星野学園中学校2年		150	進路指導
	都立小松川高等学校PTA		49	PTA研修

7月	栃木県立黒磯高等学校PTA	15	54	PTA研修
	栃木県立宇都宮青陵高等学校普通科2年		42	進路指導
	矢板中央高等学校普通科1・2・3年		50	進路指導
	日本工業大学駒場高等学校理数工学科1・2年		160	進路指導
	東京都立小山台高等学校普通科2年		52	進路指導
	東京都立戸山高等学校2年		41	進路指導
	東京都立城東高等学校PTA		42	進路指導
	西武学園文理高等学校理数科1年		33	進路指導
	東京都立北園高等学校普通科2年		71	進路指導
	本庄東高等学校附属中学校3年		123	進路指導
	埼玉県立浦和第一女子高等学校PTA		91	PTA研修
	富山県立呉羽高等学校2年(理系)		80	進路指導
	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校5年		69	進路指導
	新潟県立巻高等学校普通科2年		48	進路指導
	明星高等学校普通科特進クラス2年		52	進路指導
8月	東京農業大学第三高等学校1年	7	53	進路指導
	群馬県立高崎女子高等学校1・2年		80	進路指導
	埼玉県立越ヶ谷高等学校1年		79	進路指導
	武相高等学校普通科1・2年		43	進路指導
	富山県立水橋高等学校普通科体育コース2年		45	進路指導
	明秀学園日立高等学校普通科2年		37	進路指導
	富山県立砺波高等学校普通科2年		89	進路指導
9月	土浦日本大学高等学校2年	7	80	進路指導
	白門まちだ(中央大学OB会)		20	施設見学
	千葉県立柏高等学校普通科、理数科1・2・3年		36	進路指導
	長野県立上田高等学校普通科2年		42	進路指導
	東洋大附属牛久高等学校1年		61	進路指導
	土浦日本大学中等教育学校3年・4年・5年		43	進路指導
	大分工業高等専門学校情報工学科4年		40	進路指導
10月	岡山県立玉野高等学校体育科2年	20	17	進路指導
	千葉県立小金高等学校PTA		53	PTA研修
	茨城県立並木中等教育学校中学3年		164	進路指導
	新田高等学校普通科特別進学コース2年		104	進路指導
	小山工業高等専門学校		40	進路指導
	島根県立大田高等学校理数科2年		41	進路指導
	茨城県立日立第一高等学校1年(普通科・サイエンス科)		84	進路指導
	栃木県立鹿沼南高等学校普通科1年		42	進路指導
	八千代町立下結城小学校家庭教育学級(PTA)		30	PTA研修
	茨城県立下館第二高等学校普通科1年		43	進路指導
	霞が浦高等学校普通科2年		38	進路指導
	千葉県立八千代高等学校PTA		45	PTA研修
	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校普通科1年		80	進路指導
	栃木県立栃木女子高等学校普通科1年		90	進路指導
	埼玉県立川越高等学校PTA		80	PTA研修
	茨城県立日立北高等学校1年		42	進路指導
	茨城県立水海道第一高等学校1年		84	進路指導
	高輪高等学校1年		31	進路指導
	福井工業高等専門学校電子情報工学科3年		44	進路指導
	私立鹿島学園高等学校1年		80	進路指導

11月	結城市立結城南中学校3年	9	146	進路指導
	山形県立山形南高等学校理数科1年		42	進路指導
	山形明正高等学校1年		22	進路指導
	伊勢崎興陽高等学校総合学科1年		32	進路指導
	沖縄県立球陽高等学校理数科2年		160	進路指導
	埼玉県立松山高等学校理数科2年		45	進路指導
	群馬県立桐生高等学校理数科1年		80	進路指導
	群馬県立前橋女子高等学校普通科1年		42	進路指導
	埼玉県立川口北高等学校PTA		85	PTA研修
12月	新島学園高等学校1・2年	7	22	進路指導
	鹿児島高等学校2年		92	進路指導
	山形県立米沢興譲館高等学校1年		20	進路指導
	新潟県立燕中等教育学校中学1年		80	進路指導
	熊本県立宇土中学校・宇土高等学校高校1年		57	進路指導
	常総市立石下中学校2年		126	進路指導
	群馬県立高崎工業高等学校情報技術科1年		42	進路指導
1月	栃木県立石橋高等学校1年	2	21	進路指導
	群馬県立太田東高等学校普通科1年		26	進路指導
2月	(長野県)野沢北高等学校1年	1	44	進路指導
3月	山形県立鶴岡南高等学校	1	45	進路指導
合 計		91	5,708	

イ 外国人来訪者

●キャンパスツアー

年・月	キャンパスツアー	件数	人数
平成30.4	JSTさくらサイエンス インド・中央アジア(5ヶ国)高校生・教員一行	1	84
平成30.5	台湾高校生・教員一行	2	22
	JSTさくらサイエンス 台湾・ブラジル高校生・教員一行		59
平成30.6	シンガポール高校生・教員一行	2	11
	アジア国際支援財団 シンガポール他3ヶ国高校生・スタッフ一行		22
平成30.8	オランダ・アイントフォーヘン工科大学生・教員一行	3	31
	国立台湾大学 大学生・大学院生		10
	中国・清華大学 学生・教員一行		9
平成30.9	タイ高校生・教員一行	2	35
	台湾高校生・教員一行		26
平成30.10	インドネシア高校生・教員一行	1	31
平成30.11	東南アジア(インドネシア・タイ・フィリピン)高校生・教員一行	1	20
平成30.12	インド大学生・教員一行	3	20
	韓国高校生・教員一行		12
	フィリピン高校生・教員一行		5
平成31.1	中国 小中高高校生・教員一行	1	76
平成31.2	中国高校生・教員一行	2	24
	マレーシア・英国 高校生・教員一行		9
平成31.3	UAEテレビ制作会社	2	3
	ロシア教育関係者		12
合 計		20	521

●視察等

年・月	主な視察・来訪者	件数	人数
平成30.4	ドイツ・ボーフム大学	1	1
平成30.5	ウズベキスタン・駐日ウズベキスタン共和国大使館	7	25
	フランス・グルノーブル大学		
	マレーシア・マレーシア工科大学		
平成30.6	アメリカ・カリフォルニア大学サンディエゴ校	4	18
	タイ・コンケン大学		
	タジキスタン・アリフキャピタル他		
平成30.7	トルクメニスタン・在日トルクメニスタン大使館他	2	46
	中国・中国科学技術部他		
平成30.8	中国・中華人民共和国国家発展改革委員会他	2	12
平成30.9	フランス・グルノーブル大学	11	48
	ブラジル・サンタクルス病院		
	国際連合食糧農業機関		
平成30.10	タジキスタン大統領	14	77
	ドイツ・ハンブルク大学		
	中国・北京師範大学		
平成30.11	マレーシア首相	7	34
	中国・浙江科技学院		
	オランダ・アイントホーフェン工科大学		
平成30.12	ベルギー・ルーヴアンカトリック大学	5	14
	オーストラリア・西オーストラリア大学		
	フランス・フランシュ＝コンテ大学		
平成31.1	中国・駐日中国大使館	5	48
	インドネシア・バンドン工科大学		
	マレーシア・マレーシア国民大学		
平成31.2	タジキスタン・駐日タジキスタン共和国大使館	4	11
	タイ・モンクット王工科大学トンプリー校		
	マレーシア・マレーシア元留日学生協会(JAGAM)		
平成31.3	台湾・国立台湾大学	6	55
	アメリカ・オハイオ州立大学		
	カザフスタン・カザフ国立大学		
合 計		68	389

(8) 広報刊行物等

刊 行 物 名
筑波大学概要 筑波大学概要英語版
リーフレット リーフレット英語版
筑波大学入学案内2019
Outline of the University of Tsukuba
Guide to the University of Tsukuba
筑波大学紹介（企業の方向け）
筑波大学スタンダード
附属図書館概要 Outline of University of Tsukuba Library
附属図書館年報2018年度（平成30年度）
病院のご案内

(9) エクステンションプログラム実績

	H28年度	H29年度	H30年度
講座数（件）	5	14	19
参加者数（人）	115	453	590

(10) 現金による寄附受入実績

(単位：千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	寄附額	件数	寄附額	件数	寄附額	件数
寄附目的						
○一般基金	17,206	4,060	62,322	4,090	51,380	3,071
○特定基金	218,509	4,060	113,835	3,016	116,511	4,374
<内訳>						
創基151年筑波大学50周年記念基金					13,900	1,350
筑波大学スポーツアソシエーション (TSA) 事業	5,394	206	6,949	383	5,496	309
附属病院支援事業	19,099	90	38,483	127	15,344	44
紫峰会基金	113,416	1,686	39,569	1,481	36,836	1,372
留学生後援会基金	18,078	183	887	180	804	170
附属駒場中・高70周年基金	57,512	1,893	22,665	826	38,929	1,096
修学支援事業基金	5,010	2	5,282	19	5,202	33
計	235,715	8,120	176,157	7,106	167,891	7,445

8 医療・保健関係

(1) 附属病院

ア 診療グループ構成

(平成31年3月1日現在)

診療グループ	延従事者
総合	20
保健衛生外来	8
遺伝	5
睡眠呼吸障害	3
膠原病リウマチアレルギー(内)	12
腫瘍内科	5
腎泌尿器(内)	14
血液	15
細菌学的診断(感染症)	2
呼吸器(内)	17
消化器(内)	21
内分泌代謝(内)	10
循環器(内)	29
脳神経(内)	11
精神神経	10
小児(内)	27
病院総合内科	5
呼吸器(外)	9
循環器(外)	10
乳腺・甲状腺・内分泌(外)	6
消化器(外)	14
救急・集中治療	21
形成	6
小児(外)	9
脳神経(外)	22
脳卒中	4
整形	26
皮膚	9

診療グループ	延従事者
腎泌尿器(外)	13
眼	9
耳鼻咽喉頭	8
婦人・周産期	16
放射線腫瘍科	11
放射線診断・IVR	12
病理診断	12
麻酔	15
歯・口腔	6
臨床病理	7
合計	459

イ 業務従事者数(実数)

(平成31年3月1日現在)

職 種		人 数
教 員	医学医療系	265
	人間系	1
	体育系	2
小 計		268
病 院 講 師	医師・歯科医師	53
	薬剤師	3
	事務系・技術系	2
病院助教 医師・歯科医師		25
医員・医員(研修医)		282
看護師		812
助産師		47
薬剤師		57
診療放射線技師		50
臨床検査技師		59
臨床工学技士		25
理学療法士		38
作業療法士		14
言語聴覚士		8
歯科技工士		2
歯科衛生士		2
視能訓練士		3
栄養士		9
調理師		9
臨床心理士		6
社会福祉士		9
診療情報管理士		10
精神保健福祉士		1
保育士		3
内視鏡技師		1
看護助手		3
技術職員		21
事務職員		162
合 計		1,716

ウ 診療実績

区分		件数	備考
患者数	外来	432,706	1日平均 1,773名
			新 来 23,460名
患者数	入院	258,939	1日平均 709名(病床800床)
			稼働率 88.7%
			新入院 19,162名
			退 院 19,162名
計		691,645	
臨床検査		2,992,390	
X線		140,702	
リハビリテーション		115,782	
調剤処方		705,657	処方延患者 326,172名
手術		22,164	
麻酔		16,034	
分娩		1,020	(死産を除く。)
病理解剖		44	

エ 受託実習生等受入数

区分	受託実習生	病院研修生
臨床検査関係	19	2
放射線関係	38	0
薬剤関係	46	2
看護関係	327	11
理学療法関係	29	2
栄養士関係	14	0
合 計	473	17

オ ボランティア受入状況

活動内容	人数
総合案内	12
成人病棟	7
小児病棟 (読み聞かせ8名を含む)	12
患者図書室	11
合 計	42

(2) 保健管理センター

ア 保健管理センター勤務職員数

職 種		人数
教 員	内 科	3
	整 形 外 科	1
	眼 科	0
	精 神 科	3
	婦 人 科	0
	歯 科	0
	学 生 相 談	4
	小 計	11
薬 剤 師	1	
看 護 職 員	5	
診 療 放 射 線 技 師	1	
臨 床 検 査 技 師	0	
歯 科 衛 生 士	1	
栄 養 士	0	
事 務 職 員	1	
合 計	20	

イ 利用者数

事項 利用者	一般定期 健康診断	その他の 健康診断	診療及び 健康相談	予防接種	学生相談	精神衛生 相談	救護等 その他	合計
学 群 学 生	8,617	191	2,134	1,104	2,986	1,955	6,164	23,151
大 学 院 生	4,610	584	1,492		1,896	1,748	4,946	15,276
研 究 生 等	688	9	250		4	43	86	1,080
職 員	5,870	3,692	156		11	12	82	9,823
そ の 他	48		0		15		40	103
合 計	19,833	4,476	4,032	1,104	4,912	3,758	11,318	49,433

(注1) 一般定期健康診断、学生相談、精神衛生相談における利用者区分の詳細については、後掲の項目参照。

(注2) 救護等その他の内容は、入試・各種大学行事等における救護、入学志願者等の健康診断書の書類審査、健康診断書の発行件数等について計上。

(注3) 利用者のその他は、理療科教員養成施設の学生、研究員、外部者等。

ウ 一般定期健康診断受診内訳

区 分		在籍者数	受診者数	未受診数	受診率(%)
人文・文化学群	人 文 学 類	594	438	156	73.7
	比 較 文 化 学 類	401	313	88	78.1
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	276	238	38	86.2
社会・国際学群	社 会 学 類	421	321	100	76.2
	国 際 総 合 学 類	476	349	127	73.3
人間学群	教 育 学 類	173	139	34	80.3
	心 理 学 類	234	196	38	83.8
	障 害 科 学 類	164	146	18	89.0
生命環境学群	生 物 学 類	420	360	60	85.7
	生 物 資 源 学 類	694	588	106	84.7
	地 球 学 類	236	195	41	82.6
理工学群	数 学 類	176	140	36	79.5
	物 理 学 類	274	203	71	74.1
	化 学 類	216	175	41	81.0
	応 用 理 工 学 類	551	421	130	76.4
	工 学 シ ス テ ム 学 類	584	470	114	80.5
	社 会 工 学 類	525	406	119	77.3
情報学群	情 報 科 学 類	404	292	112	72.3
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	248	204	44	82.3
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	474	421	53	88.8
医学群	医 学 類	818	765	53	93.5
	看 護 学 類	314	306	8	97.5
	医 療 科 学 類	169	155	14	91.7
体 育 専 門 学 群		1,073	962	111	89.7
芸 術 専 門 学 群		492	403	89	81.9
グ ロ ー バ ル 教 育 院		12	11	1	91.7
学 群 生 合 計		10,419	8,617	1,802	82.7
大学院生	修 士 課 程	235	188	47	80.0
	博 士 課 程	7,498	4,422	3,076	59.0
	小 計	7,733	4,610	3,123	59.6
職員	常 勤 職 員	5,038	4,726	312	93.8
	非 常 勤 職 員	1,204	1,144	60	95.0
	小 計	6,242	5,870	372	94.0
合 計		24,394	19,097	5,297	78.3

(注) 在籍者数は、健康診断実施時の数である。

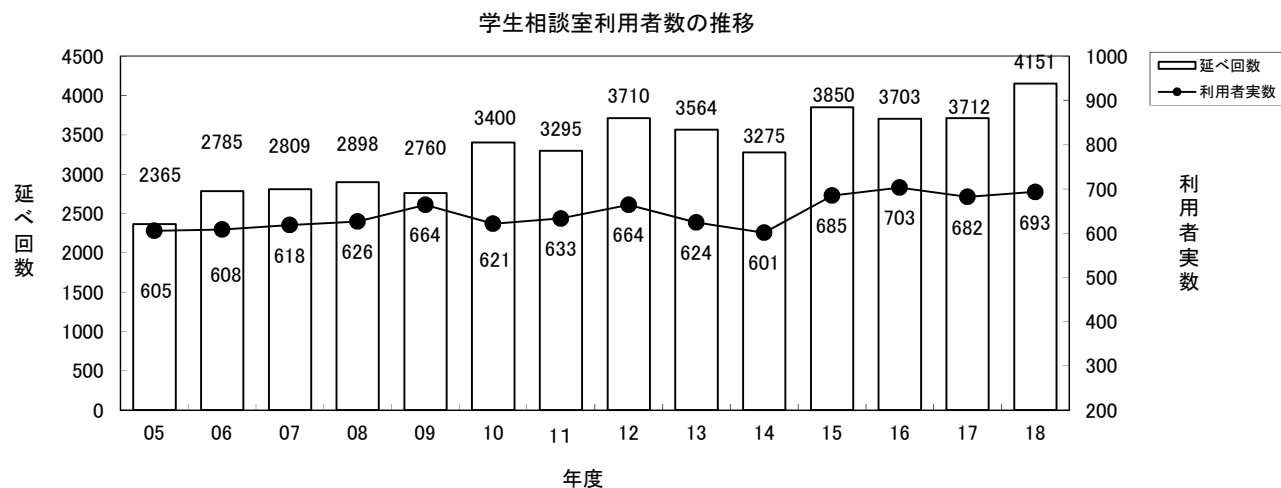
エ 学生相談利用状況

(ア) 学生相談内訳

区分		修	進	友	異	結	家	情	人	経	住	そ	U	合	実
		学	路	人	性	婚	庭	緒	生	済	居	他	P	計	
		学	路	係	性	婚	庭	格	問	済	居	の	I		数
		学	路	係	性	婚	庭	格	問	済	居	の	I		数
学 群	人文・文化学群	115	10	11	12		9	398				25	16	596	84
	社会・国際学群	6	22		1		8	48	1			10	4	100	26
	人間学群	15	8	1	1		24	199	1	3		23	14	289	57
	生命環境学群	73	14	2	1		1	138	4			14	26	273	71
	理工学群	92	24		2		9	223	9			29	17	405	82
	情報学群	43	6		11			331	1			11	7	410	50
	医学群	19		2			3	19				10	7	60	27
	体育専門学群	1		4				12				12	3	32	11
	芸術専門学群	27	7	8	2			266	6			4	5	325	45
	小計	391	91	28	30		54	1,634	22			138	99	2,487	453
大学院生	教育研究科	102					1	43				5		151	16
	人文社会科学研究科	18	3	2	3			160	50			9		245	26
	人間総合科学研究科	56	16	1			10	180	27			59		349	60
	生命環境科学研究科	30	6		3		3	174	26			35		277	40
	数理解物質科学研究科	30	3	3	3			96				22		157	27
	システム情報工学研究科	45	8		3		9	247	1			20		333	50
	図書館メディア研究科	16	11	1			3	99				1		131	11
	ビジネス科学研究科							2						2	2
	グローバル教育院							10						10	3
	小計	297	47	7	12		26	1011	104			151		1,655	235
研究生								1					1	1	
その他	1							1			3		5	4	
合計	689	138	35	42		80	2,647	126	3		292	99	4,151	693	

実	数	124	19	7	12		16	333	14	1	68	99	693
---	---	-----	----	---	----	--	----	-----	----	---	----	----	-----

(※)UPI(University Personality Inventory)とは、大学生の心の健康調査をいう。



(イ) 総合相談窓口の利用状況

	学生本人	保護者・家族	友人・知人	教職員	その他	計
相談	381	76	6	44		507
問い合わせ	184	40		6	8	238
苦情要望	2			2		4
その他	4			7	1	12
計	571	116	6	59	9	761

各相談窓口内訳

・スチューデントプラザ

	学生本人	保護者・家族	友人・知人	教職員	その他	計
相談	343	65	5	29		442
問い合わせ	163	34		6	8	211
苦情要望	1		1	1		3
その他	4			5	1	10
計	511	99	6	41	9	666

・春日

	学生本人	保護者・家族	友人・知人	教職員	その他	計
相談	38	11	1	15		65
問い合わせ	21	6				27
苦情要望				1		1
その他				2		2
計	59	17	1	18	0	95

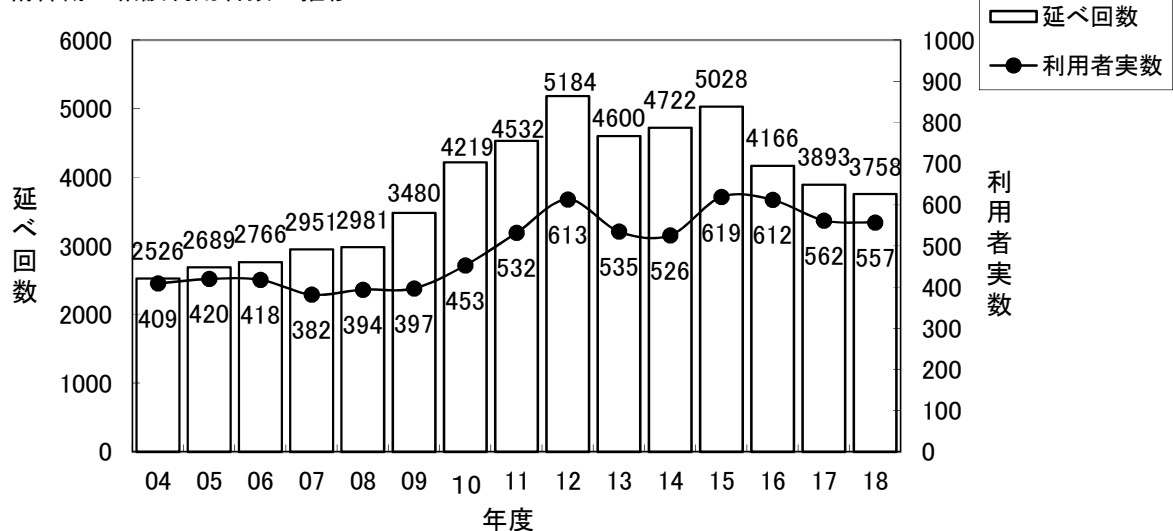
オ 精神衛生相談利用状況

(ア) 精神衛生相談内訳

区 分		延 数	実 数	
学群学生	人文・文化学群	人 文 学 類	186	24
		比 較 文 化 学 類	100	16
		日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	63	11
	社会・国際学群	社 会 学 類	72	13
		国 際 総 合 学 類	33	10
	人間学群	教 育 学 類	26	4
		心 理 学 類	78	15
		障 害 科 学 学 類	62	12
	生命環境学群	生 物 学 類	112	19
		生 物 資 源 学 類	112	23
		地 球 学 類	10	3
	理工学群	数 学 類	30	4
		物 理 学 類	41	6
		化 学 類	29	5
		応 用 理 工 学 類	52	8
		工 学 シ ス テ ム 学 類	106	17
		社 会 工 学 類	88	12
	情報学群	情 報 科 学 類	82	13
		情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	64	13
		知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	60	12
	医学群	医 学 類 (旧 医 専 含 む)	103	16
		看 護 学 類	76	11
		医 療 科 学 類	35	3
	体 育 専 門 学 群	84	11	
	芸 術 専 門 学 群	251	30	
	小	計	1,955	311
	大学院生	修 士 (前 期) 課 程	1,189	149
博 士 (後 期) 課 程		559	79	
小 計		1,748	228	
研 究 生	43	11		
そ の 他	12	7		
合 計	3,758	557		

(注)その他は教職員、家族等である。

精神衛生相談利用者数の推移



(イ) ICD-10分類による学生の診断別件数（実数）

器質性精神障害

F06	2
F07	1
F09	2
計	5

成人の人格および行動の障害

F60	8
F63	4
F64	2
計	14

統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

F20	22	統合失調症
F21	7	
計	29	

心理的発達障害

F84	63	広汎性発達障害
計	63	

小児〈児童〉期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

F90	45	多動性障害
F98	3	
計	48	

気分障害

F31	28	躁うつ病
F32	70	うつ病
F33	13	反復性うつ病
F34	14	持続性気分障害
F38	5	
計	130	

その他

てんかん	3
ナルコレプシー	1
問題なし	23
計	27

合計	647
----	-----

神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害

F40	11	社会不安障害など
F41	28	パニック障害など
F42	14	
F43	202	適応障害
F44	5	
F45	5	
F48	1	
計	266	

生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群

F50	8	摂食障害
F51	54	非器質性睡眠障害
F54	3	
計	65	

9 附属図書館関係

(1) 利用統計

ア 利用者数等

		中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
年間開館日数 (日)	平日	239	239	239	247	247	-
	土・日・祝日	113	78	113	115	117	-
	合計	352	317	352	362	364	-
入館者数 (人)	平日	510,571	96,850	137,015	54,705	52,083	851,224
	(学外者 内数)	20,276	1,822	3,603	3,244	20,578	49,523
	土・日・祝日	94,365	11,317	27,567	7,333	38,679	179,261
	(学外者 内数)	9,500	540	2,349	1,808	13,050	27,247
	合計	604,936	108,167	164,582	62,038	90,762	1,030,485
平均入館者数 (人/日)	平日	2,136	405	573	221	211	-
	(学外者 内数)	85	8	15	13	83	-
	土・日・祝日	835	145	244	64	331	-
	(学外者 内数)	84	7	21	16	112	-
	1日当たり	1,718	341	467	171	249	-
貸出冊数 (冊)	学群生	93,263	14,468	12,323	9,845	696	130,595
	院生	83,737	13,022	4,282	5,193	9,785	116,019
	教員	23,349	4,619	3,292	2,360	3,426	37,046
	学外者	7,461	624	644	1,111	1,938	11,778
	その他	558	4	0	0	0	562
合計	208,368	32,737	20,541	18,509	15,845	296,000	
貸出利用者数 (人)	学群生	41,209	6,511	6,355	4,708	362	59,145
	院生	28,571	4,783	1,910	1,897	4,456	41,617
	教員	5,627	793	1,042	716	856	9,034
	学外者	2,668	269	272	481	868	4,558
	その他	20	1	0	0	0	21
	合計	78,095	12,357	9,579	7,802	6,542	114,375
文献複写(コピー) (件)	学外依頼	3,357	566	2,148	232	1,391	7,694
	学外提供	1,777	266	394	63	99	2,599
	合計	5,134	832	2,542	295	1,490	10,293
相互貸借(図書) (件)	学外借受	1,169	59	14	75	241	1,558
	学外貸出	2,017	259	75	92	115	2,558
	合計	3,186	318	89	167	356	4,116
レファレンス件数 (件)	学生	6,271	1,374	590	604	3,490	12,329
	教職員	3,204	262	2,467	154	654	6,741
	その他	1,315	53	28	362	1,451	3,209
	合計	10,790	1,689	3,085	1,120	5,595	22,279
	資料に関するもの	7,961	991	2,983	173	3,091	15,199
	利用案内・指導	2,787	698	102	936	2,504	7,027
	事実に関するもの	42	0	0	11	0	53
	合計	10,790	1,689	3,085	1,120	5,595	22,279

イ Webコンテンツアクセス数

Webサイトアクセス件数

	(件)
学内	386,329
学外	841,177
合計	1,227,506

※システム更新のため2・3月に各1週間程度未集計期間あり

つくばリポジトリアクセス件数

	(件)
メタデータアクセス数	737,182
本文ダウンロード数	4,627,219

主要な電子ジャーナルフルテキストアクセス件数

	(件)
Cambridge Journals Online	7,738
JSTOR	39,433
Nature	210,992
Oxford Journals	60,214
ProQuest Central	141,629
Science	36,316
ScienceDirect	763,001
SpringerLink	133,641
Wiley Online Library	179,146

主要な文献情報データベースアクセス件数(サーチ数)

	(件)
Business Source Complete	6,493
InCites-Journal and Highly Cited Data	14,935
Lexis Advance	3,638
Oxford English Dictionary	1,796
ProQuest Central	24,885
SciFinder	100,383
Web of Science	153,773
医中誌Web	70,756

主要な電子ブックアクセス件数

	(件)
Cambridge University Press	1,406
ProQuest Ebook Central	10,799
Maruzen eBook Library*	3,453
NetLibrary*	1,124
Springer	142,712
Wiley Online Library	7,207

*タイトルアクセス数(その他はセクションアクセス数)

(2) 基盤統計

ア 施設環境

	中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
建物面積 (㎡)	19,330	3,518	2,793	2,848	1,552	30,041
座席数 (席)	1,138	369	340	254	132	2,233
利用者用PC台数 (台)	148	62	70	32	24	336

(※2018年度末現在)
(冊)

イ 図書

年度受入冊数		中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
(和洋区分)	和書	9,981	2,418	974	2,126	1,158	16,657
	洋書	2,129	246	79	282	149	2,885
	合計	12,110	2,664	1,053	2,408	1,307	19,542
(受入区分)	購入	6,549	1,261	828	850	941	10,429
	寄贈	4,589	1,118	172	1,416	243	7,538
	製本	952	282	53	140	120	1,547
	その他	20	3	0	2	3	28
	合計	12,110	2,664	1,053	2,408	1,307	19,542
蔵書冊数 (和洋区分)	和書	1,121,309	199,685	93,252	183,699	53,576	1,651,521
	洋書	796,577	68,563	80,589	74,065	26,814	1,046,608
	合計	1,917,886	268,248	173,841	257,764	80,390	2,698,129

ウ 雑誌(冊子)

	年度受入タイトル数			所蔵 タイトル数
	購入	寄贈	合計	
和雑誌	787	6,520	7,307	17,558
洋雑誌	442	988	1,430	12,889
合計	1,229	7,508	8,737	30,447

エ Webコンテンツ

つくばリポジトリ累積登録件数 (*2018年度末現在)

内訳	件数
学術雑誌掲載論文	9,665
学位論文全文	4,464
学位論文内容・審査の要旨	9,702
修士論文	273
紀要論文	19,337
研究報告書	3,651
会議発表資料	405
講義資料	108
研究業績目録	23
つくば3Eフォーラム	95
A-LIEP	64
その他(図書)	318
合計	48,105

電子ジャーナル契約タイトル数 (*有料契約誌のみ)

内訳	タイトル数
Cambridge Journals Online	390
JSTOR	962
Nature	31
Oxford Journals	260
ProQuest Central	19,500
Science	1
ScienceDirect	2,320
SpringerLink	1,605
Wiley Online Library	1,403
その他	6,284
合計	32,756

提供データベース・検索ツール
(主要契約データベース)

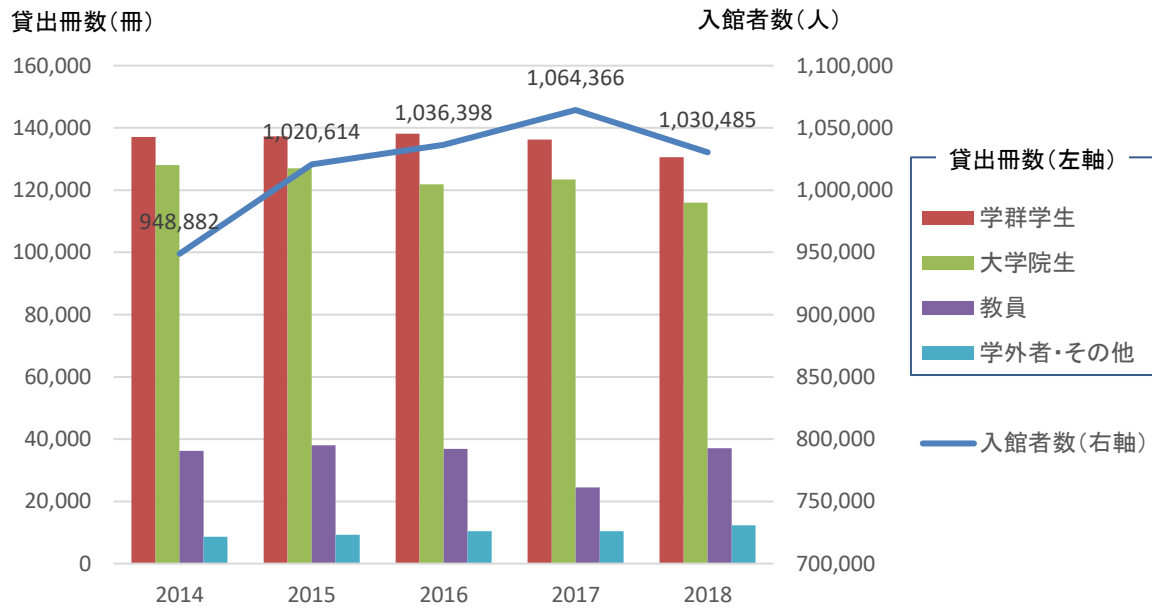
データベース名
Business Source Complete
CINAHL
DI-Law.com
InCites-Journal and Highly Cited Data
Lexis Advance
MLA International Bibliography
Oxford English Dictionary
ProQuest Central
PsycINFO
SciFinder (Academic)
Ulrichsweb
Web of Science
Westlaw Japan
医中誌Web
聞蔵IIビジュアル
雑誌記事索引集成データベース
ジャパンナレッジLib
日経テレコン21
毎索
ヨミダス歴史館

電子ブック契約タイトル 累積数(*2018年度末現在)

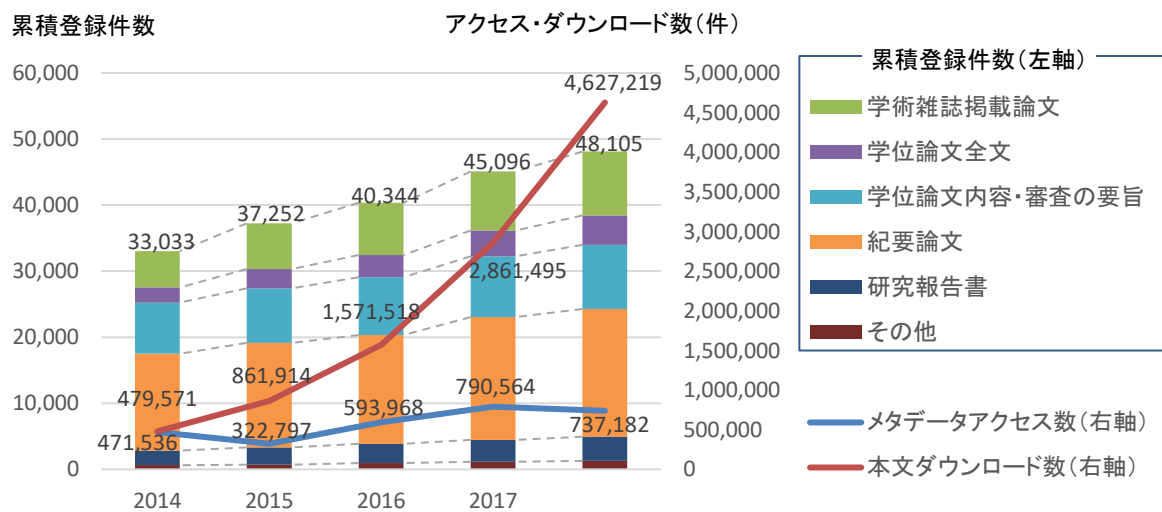
内訳	タイトル数	
	和	洋
Cambridge University Press	-	1,669
ProQuest Ebook Central	-	559
Maruzen eBook Library	1,060	172
NetLibrary	490	1,028
Springer	-	25,417
Wiley Online Library	-	1,125
その他	19	3,691
合計	1,569	33,661

(3) 推移

ア 利用サービスの推移



イ つくばリポジトリ 登録件数と利用の推移



(4) オリエンテーション・講習会

内 容	実施回数	参加者数
新入生オリエンテーション（学群生）	5回	2,808名
新入大学院生オリエンテーション（院生）	7回	324名
留学生オリエンテーション	9回	144名
新任教員オリエンテーション	2回	20名
図書館の本や雑誌の探し方講習会	1回	1名
論文の探し方講習会	30回	309名
自由テーマオリエンテーション	15回	62名
科目関連指導	69回	2,914名
（内訳）		
フレッシュマンセミナー（各学類等）	47回	2,018名
日本語・日本語学類フレッシュマンセミナー応用編	1回	46名
理療科教員養成施設新入生向け 論文の探し方講習会	1回	17名
リハビリテーションコース新入生向け講習会	1回	24名
授業「国語Ⅲ」春学期2コマ分を担当	2回	157名
授業「基礎化学実験」春学期2コマ分を担当	2回	114名
授業「看護学研究法」春学期2コマ分を担当	2回	43名
授業「看護学の探求」春学期1コマ分を担当	1回	9名
授業「知識情報特論Ⅰ」春学期2コマ分を担当	2回	221名
授業「アーカイブズ構築」春学期1コマ分を担当	1回	25名
授業「知の探検法」秋学期9コマ分を担当	9回	240名
その他	6回	131名

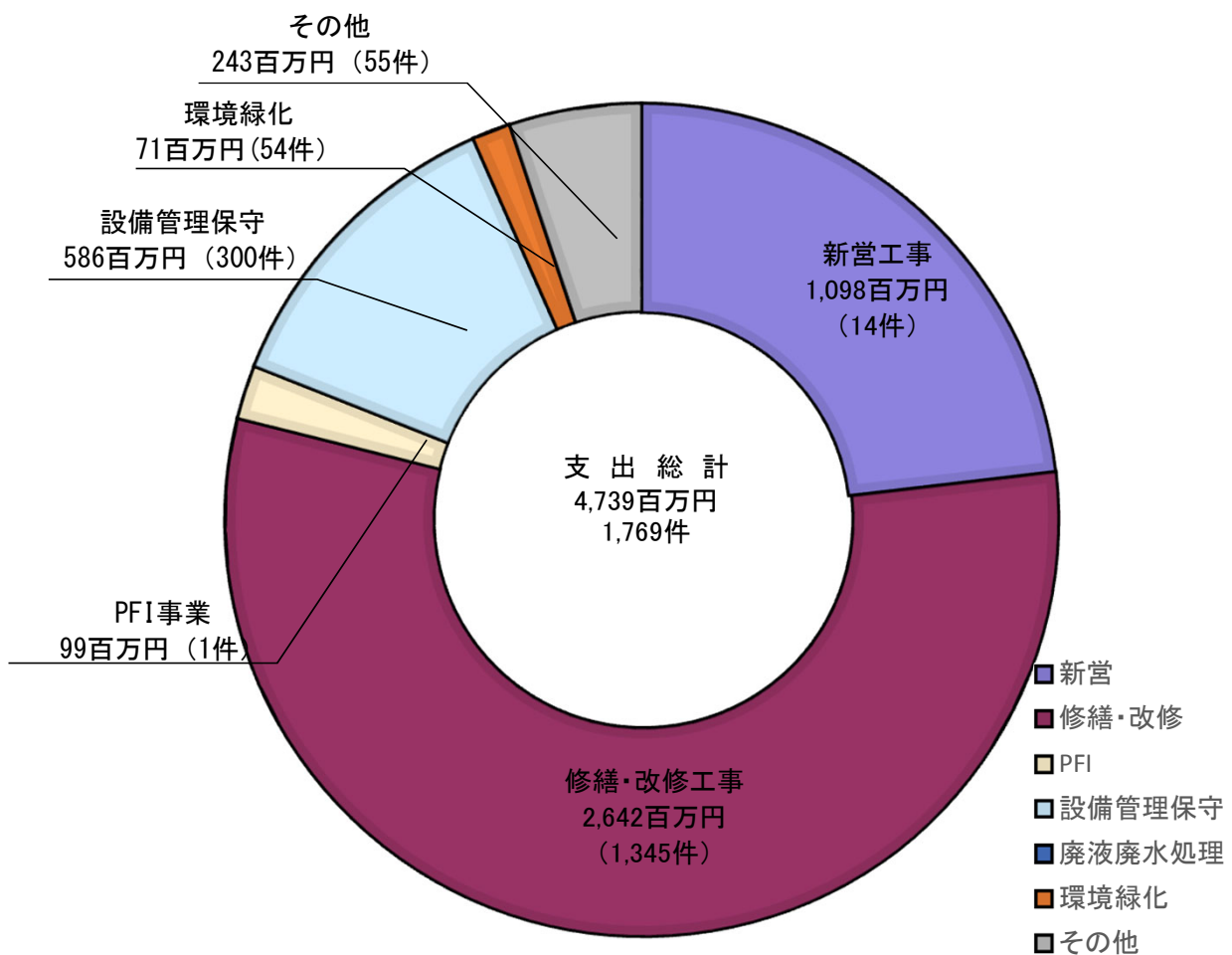
開催日	内 容	講 師	参加者数
ライティング支援連続セミナー 研究者入門：自分を守る情報リテラシー			
2018.4.19	良い論文を書くには	逸村裕（図書館情報メディア系）	15名
2018.4.26	論文投稿の基礎：ハゲタカ出版者(Predatory Publisher)に気をつけて		16名
ライティング支援連続セミナー レポート作成基礎編			
2018.4.25	疑うことから始めよう：批判的に読む	島田康行（人文社会系／アドミッションセンター長）	37名
2018.5.9	文書の目的を理解する：レポートvs論文 付：引用入門	三波千穂美（図書館情報メディア系）	32名
2018.5.17	文章を構成する		25名
2018.5.23	論理的に書く	田川拓海（人文社会系）	17名
2018.5.30	レポートのコツ：図表の表現	野村港二（生命環境系）	9名
2018.6.6	レポートのコツ：「事実」と「意見」を区別する		9名
2018.6.13	最終回：さあ、「良いレポート」を書こう！	五十嵐沙千子（人文社会系）	11名
LAセミナー			
2018.10.10	今からでも間に合う！卒論セミナー！！	植原督詞、中村憲史、川上若奈（附属図書館ラーニング・アドバイザー）	43名
その他の研究・学習支援企画			
2018.5.10	セミナー「博士論文インターネット公表の基礎知識」	佐藤まみ子、中原由美子（リポジトリ担当）	6名
2018.5.11			16名
2018.8.7	著作権に関するワークショップ（芸術系）	根田剛彦（相互利用担当）、佐藤まみ子（リポジトリ担当）、大原央聡（芸術系）	25名
2018.12.10	平成30年度SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）シリーズセミナー「メディア虎の穴」第2回 学術情報の探し方（筑波大学附属駒場中・高等学校）	渡邊朋子（ラーニングサポート担当）	21名
2018.12.21	著作権法の一部改正に係る説明会	南亮一（国立国会図書館関西館アジア情報課）、村井麻衣子（図書館情報メディア系）	86名
2019.2.18	講演会「オープンアクセスの今と未来」	逸村裕（図書館情報メディア系）、林正治、尾城孝一、山地一禎（国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター）	89名

10 施設・環境関係

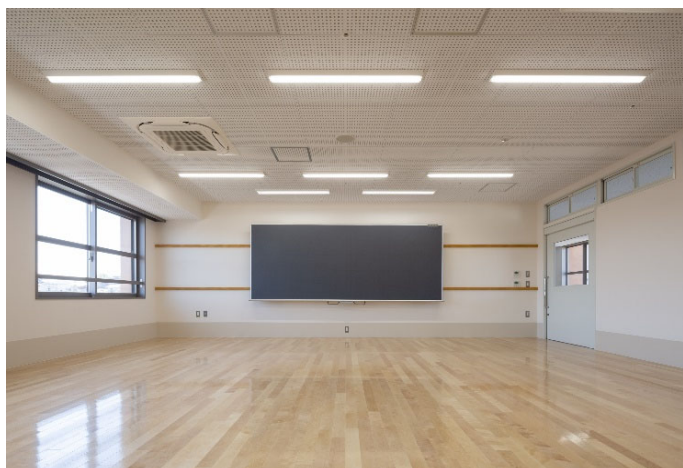
(1) 平成30年度施設整備状況(竣工ベース)

名称	財源	予算年度	構造階数	建築面積	延面積	完成日
筑波大学附属桐が丘特別支援学校(本校)校舎新営その他工事(I期)	施設整備費	28年度	RC4	812	2,830	平成31年3月28日
筑波大学学生会館B棟改修その他工事	施設整備費	29年度	RC4	1,115	2,467	平成31年3月22日
筑波大学春日講堂天井耐震改修工事	施設整備費	29年度	RC2	1,188	1,046	平成31年3月29日
筑波大学附属病院中央診療棟1階核医学改修工事	運営費交付金	30年度	RC5	2,508	13,763	平成30年5月18日
筑波大学1D棟等太陽光発電設備工事	運営費交付金(省エネ対策経費)	30年度	RC3	1,715	3,807	平成30年5月31日
筑波大学1A棟改修その他工事	施設整備費	29年度	RC3	1,615	3,107	平成30年6月29日
筑波大学構内排水流量計No. 4更新工事	運営費交付金(保守)	30年度	-	-	-	平成30年7月27日
筑波大学一の矢学生宿舎38号給湯設備改修工事	運営費交付金(建物維持費)	30年度	RC4	424	1,535	平成30年9月21日
筑波大学南地区ショッピングプラザ西側歩道改修工事	運営費交付金(建物維持費)	30年度	-	-	-	平成30年9月25日
筑波大学追越学生宿舎12号等防水改修工事	運営費交付金(建物維持費)	30年度	RC4	665	2,585	平成30年9月28日
筑波大学中央図書館(新館)空調設備改修工事	運営費交付金(空調等施設基盤整備)	30年度	RC6	4,942	19,092	平成30年9月28日
筑波大学一の矢学生宿舎38号等電力量計更新工事	運営費交付金(建物維持費)	30年度	RC4	424	1,535	平成30年10月19日
筑波大学構内仮設電源取設業務	運営費交付金(保守)	30年度	-	-	-	平成30年11月16日
筑波大学医学食堂2階トイレ改修工事	運営費交付金(環境整備)	30年度	RC2	959	1,270	平成30年11月19日
筑波大学構内高圧変電設備改修工事(平成30年度)	運営費交付金(保守)	30年度	-	-	-	平成30年11月30日
筑波大学工学系学系F棟835室空調設置工事	運営費交付金(公募スペース使用料)	30年度	SRC12	1,733	20,088	平成30年12月14日
筑波大学附属桐が丘特別支援学校(本校)校舎空調設備改修工事	施設整備費	30年度	-	-	-	平成30年12月18日
筑波大学6B棟トイレ改修工事	運営費交付金(環境整備)	30年度	RC4	648	2,254	平成30年12月27日
筑波大学人間学系学系A棟エレベーター設備改修工事	運営費交付金(保守)	30年度	RC5	2,329	6,194	平成31年1月15日
筑波大学構内PHS基地局更新工事	運営費交付金(建物維持費)	30年度	-	-	-	平成31年1月21日
筑波大学竹園職員宿舎改修工事	運営費交付金	30年度	RC1~4	4,034	8,264	平成31年2月15日
筑波大学生物・農林学系D棟等研究・実験室空調設備改修工事	スペースチャージ	30年度	RC6	1,020	4,675	平成31年2月15日
筑波大学球技体育館地窓改修工事	施設費交付金	30年度	S1	2,021	2,011	平成31年2月15日
筑波大学農場施設タワーサイロ等とりこわし工事	運営費交付金(その他)	30年度	-	-	-	平成31年2月15日
筑波大学本部棟(高層棟)秘書電話改修工事	運営費交付金(建物維持費)	30年度	SRC8	635	4,552	平成31年2月26日
筑波大学学生会館A棟等天井耐震改修工事	施設費交付金	30年度	SRC4	2,389	5,632	平成31年2月28日
筑波大学追越学生宿舎27号等防水改修工事	施設費交付金	30年度	RC4	776	2,426	平成31年2月28日
筑波大学一の矢学生宿舎36号外壁改修工事	運営費交付金(建物維持費)	30年度	RC4	389	1,330	平成31年3月15日
筑波大学総合研究棟B802室他空調設備改修工事	スペースチャージ	30年度	SRC12	1,533	17,430	平成31年3月19日
筑波大学ミラクリントマト実験研究棟(仮称)新営その他工事	運営費交付金	30年度	S2	219	416	平成31年3月22日
筑波大学西地区テニスコート(医学)改修工事	運営費交付金	30年度	-	-	-	平成31年3月22日
筑波大学第1体育館屋根他改修工事	施設費交付金	30年度	S1	1,552	1,541	平成31年3月22日
筑波大学中央機械室不活性ガス消火設備貯蔵容器更新工事	施設費交付金	30年度	RC3	620	992	平成31年3月26日
筑波大学西地区屋外ガス配管改修工事	運営費交付金(建物維持費)	30年度	-	-	-	平成31年3月27日
筑波大学1H棟太陽光発電設備他工事	運営費交付金(省エネ対策経費)	30年度	RC3	700	1,352	平成31年3月27日
筑波大学1C棟等講義室他空調設備改修工事	運営費交付金(空調等施設基盤整備)	30年度	RC5	1,769	4,883	平成31年3月29日

平成30年度 施設関係事業構成



【小茂根2丁目】 筑波大学附属桐が丘特別支援学校新営その他工事(1期)



【中地区】 筑波大学1A棟改修その他工事



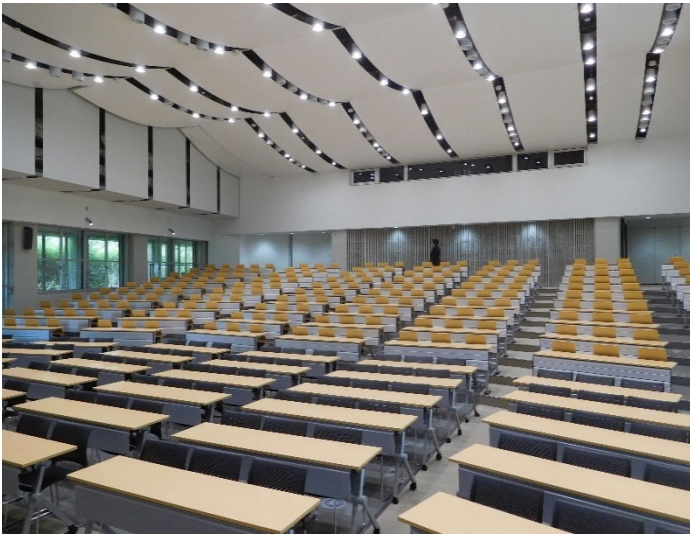
【中地区】 バイオ・マテリアル植物生産実験棟



【南地区】 筑波大学大学会館B棟耐震改修工事



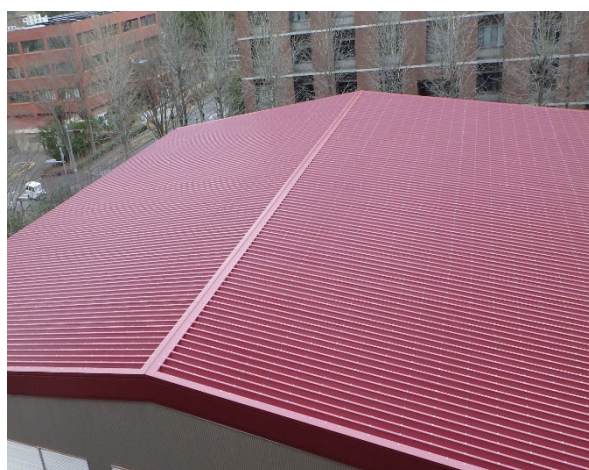
【春日地区】筑波大学春日講堂天井耐震改修工事



【南地区】筑波大学大学会館A棟等天井耐震改修工事



【中地区】 筑波大学第1体育館屋根他改修工事



【北地区】 筑波大学一の矢学生宿舎36号外壁改修工事



筑波大学(竹園・吾妻)職員宿舎改修工事

(竹園)



(吾妻)



(2) 施設所在地



遠隔地

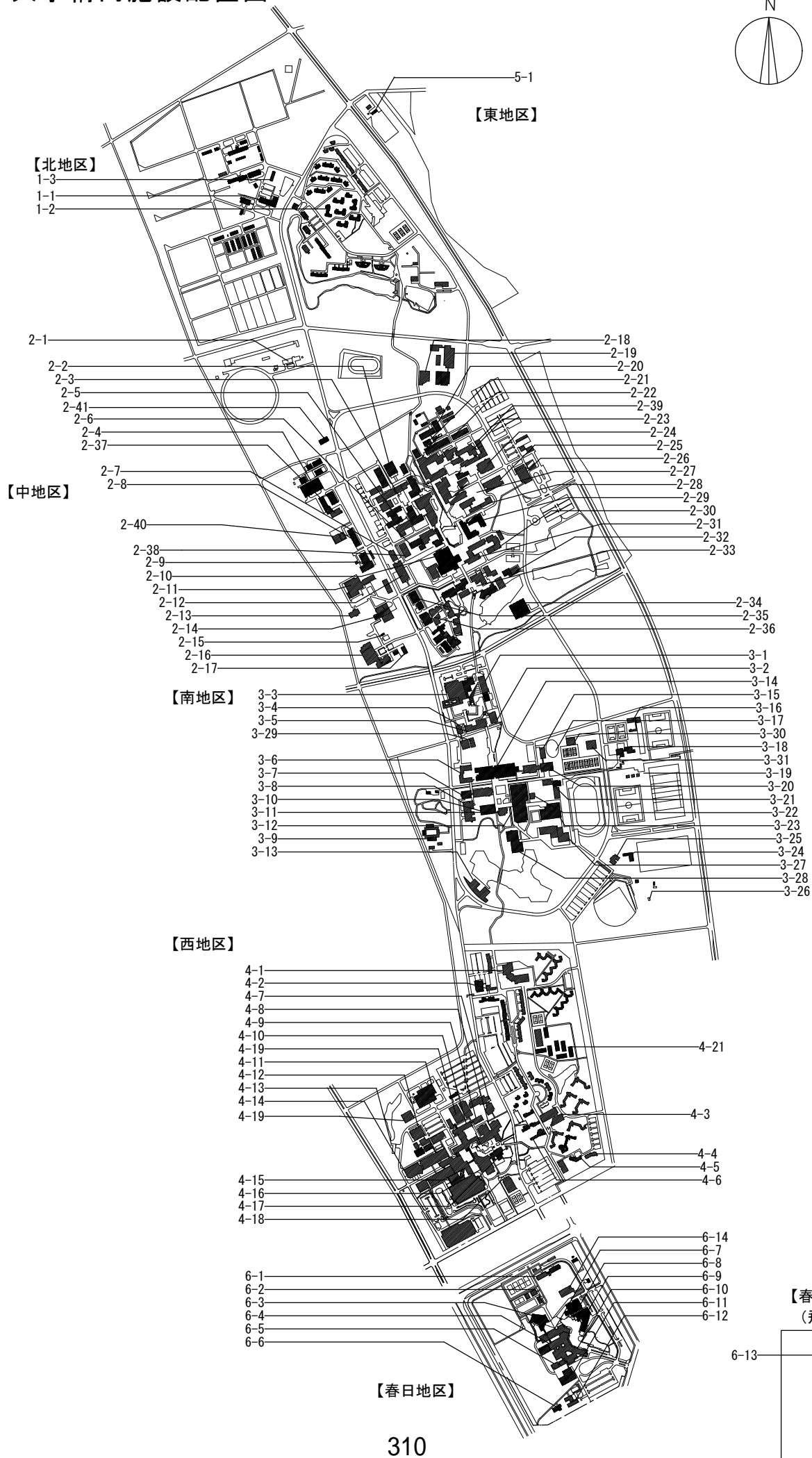
- ① 菅平高原実験所
- ② 八ヶ岳演習林
- ③ 附属坂戸高等学校
- ④ 戸田艇庫・合宿所
- ⑤ 附属聴覚特別支援学校
- ⑥ 山中共同研修所
- ⑦ 井川演習林
- ⑧ 下田臨海実験センター
- ⑨ 館山研修所
- ⑩ 附属久里浜特別支援学校



東京都内

- ① 附属桐が丘特別支援学校
- ② 附属視覚特別支援学校
- ③ 東京キャンパス文京校舎
- ④ 附属中学校
附属高等学校
- ⑤ 附属大塚特別支援学校
- ⑥ 附属駒場中学校
附属駒場高等学校

(3) 大学構内施設配置図



(4) 施設整備状況

地図 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			m ²	m ²		
【北地区】						
1-1	農林技術センター・農場施設	鉄筋2階, 他	8,805	9,202	昭48,49,51,52,56,57,平2,16,27	車庫含 1,466戸
1-2	一の矢学生宿舎, 同共用棟	鉄筋4・5・8階, 他	11,517	40,467	昭51,52,61,62, 平2,5,8,9,21,24,25,26,27,28,29,30	
1-3	次世代野菜共同研究棟	木造1階	335	335	平30	
【中地区】						(定員1,795)
2-1	アインオブ環境動態研究センター	鉄筋2階, 鉄骨2階, 鉄骨1階	2,617	2,807	昭51,平18	車庫等含
2-2	第3体育館	鉄骨1階	1,224	1,219	昭54	
2-3	第3エリア	鉄筋3・4・5階	10,677	38,987	昭51,52,53,58, 平5,6,7,8,19,20,27,28,29,30	
2-4	プラズマ研究センター	鉄骨鉄筋3階・地下1階, 他	3,150	6,432	昭55,56,62,平8	
2-5	工学系学系棟	鉄骨鉄筋12階・地下1階, 他	6,245	32,186	昭52,53,54,平2,3,5,6,25,26	
2-6	理科系棟	鉄筋5階	2,545	8,473	昭51,53,57,平25,26	
2-7	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	鉄筋4階	527	2,017	平7,8	
2-8	研究基盤総合センター(工作部門)	鉄筋1階, 鉄骨1階	898	889	昭52,58	
2-9	研究基盤総合センター(低温部門)	鉄筋1階	1,532	1,460	昭51	
2-10	中央図書館	鉄筋5・6階	4,942	19,092	昭52,53,平3,5,6,20,21,22,27,29	
2-11	研究基盤総合センター(応用加速器部門) ・共同研究棟C・プロジェクト研究棟	鉄筋9・3階, 鉄骨4階	3,174	7,697	昭48,49,52,平21,29	
2-12	総合研究棟B	鉄骨鉄筋12階・地下1階	1,816	17,641	平15,30	
2-13	研究基盤総合センター(分析部門)	鉄筋2階	495	819	昭52	
2-14	研究基盤総合センター	鉄筋2階	1,859	2,588	昭52,56,平25	
2-15	水銀廃棄物保管庫	鉄骨1階	121	119	昭60	
2-16	中央機械室(中)	鉄筋2・3階	3,152	5,474	昭48,49,50,平3,25,27,28,30	
2-17	無機系廃液処理施設	鉄筋2階, 鉄骨1・2階, 他	458	648	昭50,55,57	
2-18	産学リエゾン共同研究センター	鉄筋3階	1,002	3,056	平15	
2-19	生命領域学際研究センター	鉄筋2・3階	4,336	6,957	平7,8,9,24,25,28,29	
2-20	遺伝子実験センター・温室	鉄筋2・4階, 鉄骨1階	3,038	5,643	昭58,60,平13,15,17,18,19, 20,21,23,24,25	
2-21	生物・農林RI研究棟	鉄筋2階	352	580	昭58	
2-22	バイオシステム研究科棟	鉄筋5階	827	4,108	平7,8	
2-23	生物・農林学系棟	鉄骨鉄筋8階, 他	4,659	23,381	昭50,51,52,53,平8,9,25,28,29,30	
2-24	第1体育館	鉄骨1階	1,552	1,541	昭51平30	
2-25	総合研究棟A	鉄骨鉄筋7階	1,662	9,286	平14	
2-26	本部棟	鉄骨鉄筋8階, 他	3,340	9,877	昭50,51,57,平25,26,27	
2-27	第2エリア	鉄骨鉄筋2・3・5階, 他	10,082	29,259	昭49,50,51,60,62,平25,26,28	
2-28	文科系修士棟	鉄筋4階	1,738	6,235	昭50,53	
2-29	人間系学系棟	鉄筋5階	3,514	12,026	昭51,52,53,54,30	
2-30	共同研究棟A・共同利用棟A・D	鉄筋3・6階, 鉄骨2階	1,876	6,785	昭54,平18,25,26	
2-31	人文社会学系棟	鉄骨鉄筋8階	2,814	14,416	昭50,51,平3,25,26,27	
2-32	文科系サークル館	鉄筋3階	805	2,061	昭50,53	
2-33	第1エリア	鉄筋3・4・5階, 他	9,148	24,711	昭48,49,50,61,平22,25,26,29,30	
2-34	実験廃水処理施設(中)	鉄筋1階, 他	2,061	2,061	昭50	
2-35	計算科学研究センター	鉄筋1・3階	1,535	3,075	平4,5,6,18,26,28	
2-36	自然系学系棟	鉄骨鉄筋8階, 他	5,098	21,055	昭49,50,51,52,平25,26,27,28	
2-37	グリーンエネルギー実験・実証温室・カーボン ニュートラル実験実証設備建家・用途分 析・ビジネス解析室	鉄骨1階	676	676	平22,24	
2-38	サイバニクス研究棟	鉄筋4階	892	3,210	平22	
2-39	環境防災研究棟	鉄筋3階	407	1,198	平22	
2-40	エンパワーメントスタジオ大空間棟・実験棟	鉄骨1階	1,087	1,087	平26,27	
2-41	バイオ・マテリアル植物生産研究棟	鉄骨2階	219	416	平30	
【南地区】						

地図 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			㎡	㎡		
3-1	大学会館	鉄筋4階	5,315	11,890	昭49,50,57,58,59,平27,29,30	
3-2	保健管理センター	鉄筋2階	667	1,186	昭48,49,平26	
3-3	講堂・留学生センター・総合交流会館	鉄骨鉄筋4階, 鉄骨2階	4,360	5,908	昭53,54,平18,25,28,29	
3-4	学術情報メディアセンター	鉄筋2・3・4階・地下1階, 他	1,761	5,202	昭49,50,54,平5,6,28	
3-5	外国語・学術情報メディアセンター	鉄筋5階	1,589	5,253	昭50	
3-6	芸術学系棟・建築デザイン実習棟	鉄筋6階, 木造1階	1,335	5,513	昭51,52,平17,21,22,26	
3-7	6A棟・6B棟	鉄筋4階	2,237	7,433	昭50,57,平26	
3-8	芸術学系棟(工房)	鉄筋2階	1,638	2,055	昭51,52	
3-9	開学記念館	木造1階	991	928	昭50	
3-10	体芸図書館	鉄骨4階, 他	1,059	3,516	昭47,48,平7,8,24,28	
3-11	体芸食堂	鉄筋3階	677	1,214	昭48	
3-12	中央体育館	鉄骨鉄筋4階	3,192	6,280	平25	
3-13	総合研究棟D	鉄骨鉄筋7階	2,470	15,108	平15,28	
3-14	5C棟・建築デザイン実習棟	鉄骨鉄筋6階・地下1階, 鉄骨1階	4,279	18,090	昭47,48,平	
3-15	共同研究棟B	鉄筋2階	515	1,000	昭52,平28	
3-16	弓道場	鉄骨1階	591	577	昭49,55,56,57	
3-17	体育総合実験棟	鉄筋3階	1,679	3,508	平15,29	
3-18	合宿所	鉄骨鉄筋2階	791	1,497	昭47	
3-19	体育グラウンド施設				昭46,47,48,57	
3-20	体育科学系棟	鉄筋6階	2,050	10,695	昭49,52,53,平20,21	
3-21	体育センター・体育系サークル館	鉄筋2階	1,936	3,111	昭48,49,51,平2	
3-22	サイクリング実習棟	鉄骨1階	267	249	昭62	
3-23	屋内プール	鉄筋2階	2,497	2,778	昭53	
3-24	課外活動練習施設	鉄骨1階	527	414	昭61	
3-25	クラブハウス	鉄筋2階	381	500	昭55	
3-26	野外活動実習管理棟	木造2階	48	69	平15	
3-27	武道館	鉄筋2階	2,376	4,611	昭52,平25,29	
3-28	球技体育館	鉄骨1階	2,021	2,011	昭53,平26	
3-29	国際講義棟	鉄筋2階	278	500	平23	
3-30	T-Dome	鉄骨1階	495	495	平23	
3-31	スポーツ流体工学実験棟	鉄骨1階	810	899	平23	
3-32	グローバルスポーツイノベーション棟	鉄筋4階	1,022	3,154	平28	
【西地区】						
4-1	平砂学生宿舎, 同共用棟	鉄筋2・3・4階	8,948	26,802	昭48,49,平21,22,23,24,25,26,29	1,324戸
4-2	レジデント宿泊施設	鉄筋6階	1,188	4,611	昭54,平20	110戸
4-3	追越学生宿舎, 同共用棟	鉄筋2・4・5階	7,357	24,062	昭49,50,平3,11,21,26,29,30	1,025戸
4-4	外国人教師等宿泊施設	鉄筋3階	310	900	昭53	12戸
4-5	客員研究員等宿泊施設	鉄筋3階	346	892	昭52,平7	20戸
4-6	看護師宿舎	鉄骨鉄筋8階, 他	2,577	12,207	昭50,51,52,55,平5,6,7,8,20,28	313戸
4-7	4B棟・共同利用棟B	鉄筋2・5階, 鉄骨2階, 他	3,484	7,858	昭53,55,平15,16,18,24	
4-8	4A棟	鉄筋4階	3,228	9,594	昭48,49,平3,20,21,25,27	
4-9	医科学棟	鉄骨鉄筋3階	427	1,234	昭54,平25	
4-10	医学系学系棟	鉄骨鉄筋9階・地下1階, 他	3,271	25,627	昭50,51,52,平25,26,27,28	
4-11	中央機械室(西)	鉄筋2階	2,931	3,196	昭48,49,平24,25,27	
4-12	生命科学動物資源センター	鉄筋5階	2,449	9,159	昭52,53,平17,25	
4-13	実験廃水処理施設(西)	鉄筋1階・地下1階	185	1,220	昭50	
4-14	陽子線医学利用研究センター	鉄筋2階, 地下1階	2,142	5,138	平11,13	
4-15	附属病院	鉄骨鉄筋6・12階・地下1階, 他	24,073	121,255	昭48,49,50,51,54,55,61,62, 平3,4,5,11,12,13,14,21,24,26	800床
4-16	医学図書館・臨床講義室	鉄筋3階	2,157	4,499	昭51,52,平26	
4-17	医学食堂	鉄筋2階	959	1,270	昭50,平29	
4-18	第2体育館	鉄骨1階	1,221	1,218	昭53	
4-19	健康医科学イノベーション棟	鉄骨鉄筋8階	1,101	7,501	平22	
4-20	睡眠医科学研究棟	鉄骨6階	1,444	7,989	平26,27	
4-21	グローバルビレッジ	鉄筋2・3階	2,796	7,708	平28	

地区 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			㎡	㎡		
【東地区】						
5-1	厩舎・堆肥舎	鉄骨1階	297	263	昭59,平17,19	
【春日地区】						
6-1	春日1・2号棟	鉄筋5階	596	2,906	昭55,56,平6,11,23,24	160戸
6-2	トレーニング室	鉄骨1階	100	100	平6	
6-3	春日講堂	鉄筋2階	1,188	1,046	昭60,30	
6-4	7C棟	鉄筋2階	440	878	平8	
6-5	7D棟	鉄筋5階	229	1,118	平8	
6-6	春日宿泊施設	鉄筋2階	233	423	昭58	8戸
6-7	7A棟	鉄筋2階	1,304	2,592	昭54,平29	
6-8	第4体育館	鉄筋1階	1,056	1,050	昭55,平26	
6-9	春日福利厚生棟	鉄筋2階	1,238	1,829	昭55	
6-10	図書館研究管理棟	鉄筋5階	3,615	8,744	昭56,平13,27,28	
6-11	情報メディアユニオン	鉄筋4階	1,128	3,372	平13	
6-12	春日3号棟(留学生)	鉄筋4階	382	762	昭63	20戸
6-13	春日プラザ・車庫	鉄筋4階・鉄骨1階	1,332	4,252	平22	
6-14	高細精医療イノベーション棟	鉄骨鉄筋5階	1,381	6,088	平26	
手代木	外国人教師等宿泊施設 客員研究員宿泊施設	鉄筋2階	1,870	2,547	昭57(所管替)	22戸
東京	東京キャンパス文教科舎	鉄筋6階, 地下1階, 他	3,875	16,049	平23	
竹園3丁目	職員宿舎	鉄筋1、2階	6,937	9,928	昭51,52,平30	
吾妻1丁目	職員宿舎	鉄筋4階	2,740	16,178	昭53,平30	
【附属学校】						
大塚3丁目	附属小学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 木造1階	4,313	9,680	昭52(所属替),56,57,62, 平6,10,25,26,27	
大塚1丁目	附属中学校、附属高等学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 他	8,408	16,483	昭52(所属替),55,60, 平5,8,21,26,27,29	
池尻	附属駒場中学校、附属駒場高等学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1階, 他	6,361	11,040	昭52(所属替),53,55,63, 平2,3,11,21,26,27	
坂戸	附属坂戸高等学校	鉄筋1・3階, 鉄骨1階, 他	10,974	17,625	昭52(所属替),53,55,56,58,61, 平6,8,10,26,27,28,29	
目白台	附属視覚特別支援学校	鉄筋2・4・5階, 鉄骨1階, 他	4,222	12,325	昭52(所属替), 平6,7,8,25,27,28	
国府台	附属聴覚特別支援学校	鉄筋1～4階, 鉄骨1階, 他	6,937	14,510	昭52(所属替),53,55, 平3,5,12,15,26,27	
春日	附属大塚特別支援学校	鉄筋1～3階, 鉄骨1・3階, 他	1,715	3,858	昭52(所属替),59,平10,15,27	
小茂根2丁目	附属桐が丘特別支援学校(本校)	鉄筋1～3階, 鉄骨1階	4,493	6,339	昭52(所属替),58,63, 平元,26,27,30	
小茂根1丁目	附属桐が丘特別支援学校(併設学級)	鉄筋2階	1,493	3,444	昭52(所属替),平26	
野比	附属久里浜特別支援学校	鉄筋1～3階	4,708	5,132	平16(所属替),28	
埼玉	戸田艇庫・合宿所・土方リユニオンホール	鉄筋2階, 他	398	676	昭52(所属替),平23	
千葉	館山研修所	鉄筋2階, 他	583	949	昭50("),57,平22	定員53
山梨	山中共同研修所	鉄筋2階, 他	705	1,177	昭52("),平3,8,22,28,29	定員76
長野	八ヶ岳演習林	鉄筋1階, 他	1,164	1,151	昭50("),63,平6,21,27	
〃	菅平高原実験センター	鉄筋2階, 他	1,063	2,459	昭53("),53,56,59, 平11,25	
静岡	下田臨海実験センター	鉄筋2階, 他	2,129	3,931	昭51("),53, 平11,21,26,28	
〃	井川演習林	鉄骨1階, 他	589	586	昭50("),平3,29	